

原子力防災関係法令等の概要

【炉規法】
○原子炉の運転等に関する規制による災害の防止、公共の安全の確保

・炉規法64条の措置命令



【災害対策基本法】

- 自然災害を主とする災害対策の基本、総合的かつ計画的な防災行政の推進
- 防災計画の作成
- 災害予防対策、災害応急対策(市町村、都道府県が主)、災害復旧対策

【原子力災害対策特別措置法】

- 事業者の責務・義務の明確化
- 国の役割、緊急時の対応の明確化
- 原子力災害の特殊性に鑑みた特別の措置(オフサイトセンターの設置等)を規定

防災指針

(原子力安全委員会)

専門的・技術的事項

防災基本計画(原子力災害対策編)

- 防災に関する基本的な計画(災害対策基本法の具体的運用を定めたもの)

原子力事業者 防災業務計画

- 原子力事業者の予防対策、緊急事態応急対策、事後対策

防災業務計画

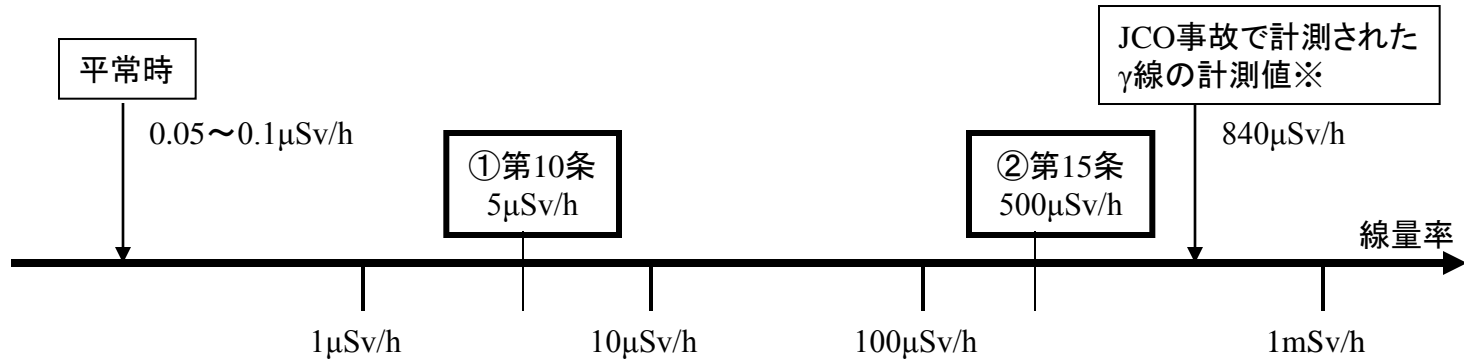
- 関係省庁、関係機関の防災に関する計画

地域防災計画

- 都道府県、市町村の防災に関する計画

※防災訓練等により、関係機関の連携による原子力災害への対応能力を強化

原災法における線量率基準と事態進展への対応について(事故時) (原災法第10条、15条)



(単位)シーベルト(Sv)

放射線が物質に当たったとき、人体に吸収されるエネルギーとして放射線の種類毎に補正係数をかけて算出したもの。

(人体への影響(急性障害))

100%死亡	7,000 mSv
吐き気	1,000 mSv
リンパ球の一時的減少	250 mSv

(参考)敷地境界付近の線量率の変動

- (1) 降雨時: $\sim 0.2\mu\text{Sv/h}$
- (2) 雷時: $100\mu\text{Sv/h}$ (瞬間値)
- (3) 輸送容器通過: $\sim 20\mu\text{Sv/h}$ (数分程度)
- (4) その他(RI投与者の通過等): $\sim 100\mu\text{Sv/h}$ (瞬間値)

※中性子線の放出と同時に検出されたγ線の計測値。

原子力施設等の防災対策について(防災指針)

防災基本計画 原子力災害対策編(抜粋)

- 専門的・技術的事項については、原子力安全委員会が定める防災指針「原子力施設等の防災対策について」を十分に尊重するものとする。
- 地域防災計画原子力災害対策編を策定すべき地域については、上記指針において示されている『原子力施設を中心とした防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲』をめやすとして、その自然的、社会的周辺状況を勘案して定めるものとする。

防災指針に定める内容

- 防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲(EPZ)
- 緊急時環境放射線モニタリング
- 災害応急対策の実施のための指針(防護対策)
- 緊急被ばく医療 他

防災指針作成の経緯

○昭和54年3月に発生した米国スリーマイルアイランド原子力発電所の事故を契機に、原子力災害特有の事象に着目し原子力発電所等の周辺における防災活動をより円滑に実施できるよう技術的、専門的事項について検討した結果をとりまとめた。

○その後必要に応じ改訂がなされている。(下記は主な改訂)

- 平成12年5月...平成11年9月に発生したJCO事故を契機として制定された原災法に基づいた内容の追加、改訂の実施
- 平成13年6月...JCO事故による被ばく患者に対する緊急被ばく医療の経験をふまえ、実効的な緊急被ばく医療のための改訂
- 平成14年4月...安定ヨウ素剤予防服用に係る防護対策についての改訂
- 平成14年11月...原子力災害時におけるメンタルヘルス対策についての改訂
- 平成15年7月...緊急被ばく医療体制における地域ブロック化について改訂

「原子力施設等の防災対策について」 原子力安全委員会

防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲 :EPZ (Emergency Planning Zone)

施設の種類		EPZのめやすの距離(半径)
原子力発電所、研究開発段階にある原子炉及び50MWより大きい試験研究の用に供する原子炉施設		約 8~10km
核燃料再処理施設		約 5km
試験研究の用に供する原子炉施設 (50MW以下)	熱出力 \leq 1kW	約 50m
	1kW < 熱出力 \leq 100kW	約100m
	100kW < 熱出力 \leq 10MW	約500m
	10MW < 熱出力 \leq 50MW	約1500m
	特殊な施設条件等を有する施設	個別に決定
加工施設及び臨界量以上の核燃料物質を使用する使用施設	核燃料物質(質量管理、形状管理、幾何学的安全配置等による厳格な臨界防止策が講じられている状態で、静的に貯蔵されているものを除く。)を臨界量以上使用する施設であって、以下のいずれかの形状に該当するもの	約500m
	・不定形状(溶液状、粉末状、気体状)、不定形状(物理的・化学的の工程)で取り扱う施設	
	・濃縮度5%以上のウランを取り扱う施設	
	・プルトニウムを取り扱う施設	
	それ以外の施設	約 50m
廃棄施設		約 50m

「原子力施設等の防災対策について」 原子力安全委員会

屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量（単位：mSv）		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 ・放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量 ・ウランによる骨表面又は肺の等価線量 ・プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量	
10～50	100～500	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50以上	500以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

福島第一原子力発電所 1～3号機の
炉心の状態について

目 次

1. はじめに	1
2. 評価結果のまとめ	1
3. 炉心の状態に関する解析及び評価	3
3. 1 福島第一原子力発電所 1号機	3
3. 1. 1 解析条件	3
3. 1. 2 解析結果	7
3. 1. 3 評価結果	8
3. 2 福島第一原子力発電所 2号機	19
3. 2. 1 解析条件	19
3. 2. 2. 1 解析結果【解析ケース（その1）】	22
3. 2. 2. 2 解析結果【解析ケース（その2）】	31
3. 2. 3 評価結果	32
3. 3 福島第一原子力発電所 3号機	40
3. 3. 1 解析条件	40
3. 3. 2. 1 解析結果【解析ケース（その1）】	44
3. 3. 2. 2 解析結果【解析ケース（その2）】	54
3. 3. 3 評価結果	55

1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震により、福島第一原子力発電所 1 号機から 3 号機においては、設計基準事象を大幅に超え、かつ、アクシデントマネジメント策の整備において想定していた多重故障の程度をも超えた状態、すなわち隣接プラントも含め、非常用炉心冷却系が全て動作しない、もしくは停止する、加えて全交流電源が喪失しかつ継続するといった事故に至った。今後の事故収束・復旧に向けて、地震後のプラントの事象進展や、現在のプラントの状態を把握することは重要である。

平成 23 年 4 月 25 日に経済産業省原子力安全・保安院より「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 67 条第 1 項の規定に基づく報告の徴収について」(平成 23・04・24 原第 1 号) の指示文書を受領し、その指示文書に基づき、今回地震発生時におけるプラントデータについて可能な限り回収、整理し、平成 23 年 5 月 16 日に報告を行った。今回これらの地震発生初期の設備状態や運転操作等に関する情報より、事故解析コード (Modular Accident Analysis Program、以下「MAAP」という) を用いてプラントの状態を評価し、情報の整理を行った。

なお、ここで得られた解析結果は、あくまで本報告書作成時点で得られた限られた情報と解析上必要な条件に推定・仮定を置いた解析であり、解析結果の不確定性は極めて大きい。よって、今後原因調査が進むに従い、解析結果とは大幅に異なる結果になり得るものである。

2. 評価結果のまとめ

MAAP コードにより解析を行った結果、福島第一原子力発電所 1 号機 (以下「1 号機」という) は、仮定した非常用復水系 (以下「IC」という) の停止後、比較的早期に炉心損傷が開始し、その後原子炉圧力容器は破損に至るとの解析結果となる。

福島第一原子力発電所 2 号機 (以下「2 号機」という) 及び福島第一原子力発電所 3 号機 (以下「3 号機」という) は、原子炉隔離時冷却系 (以下「RCIC」という) 又は高圧注水系 (以下「HPCI」という) の機能低下に伴う原子炉水位の低下により、炉心損傷が開始するものの、最終的には原子炉圧力容器内において炉心は保持されるとの解析結果となった。しかしながら、実際の水位が計測値より低く、有効燃料棒底部以下であった場合は、炉心損傷はさらに進展し、その後原子炉圧力容器破損に至るとの解析結果となる。

1 号機～3 号機における現在の原子炉圧力容器温度等のプラントパラメータによれば、熱源 (燃料) の大部分は原子炉圧力容器内にあることを示唆する温度挙動であり、原子炉圧力容器に損傷があったとしても、今回の解析結果のように大規模なものではないと推測されることから、解析結果は現実より厳しいものとなっていると考えられる。

よって、今回の解析結果とプラントパラメータによる考察の両者によれば、炉心の状態は、いずれのプラントにおいても相当量のペレットの溶融が進展しており、炉心の形状・

位置は大幅に変化しているものと評価された。

なお、現在の原子炉圧力容器周辺温度によれば、現時点において冷却は十分に行われていることから、現在の注水を継続することにより、今後大規模な放射性物質の放出に繋がるような事象の進展はないと考えられる。

3. 炉心の状態に関する解析及び評価

3. 1 福島第一原子力発電所 1号機

3. 1. 1 解析条件

福島第一原子力発電所 1号機の主要な解析条件について表 3. 1. 1 及び表 3. 1. 2 に示す。

解析においては格納容器からの漏えい及び IC については以下の仮定をおき解析を行っている。

① 格納容器からの気相漏えいの仮定について

解析においては、実際に計測された格納容器圧力の値にある程度あわせるため、地震発生から約 18 時間後において格納容器（ドライウェル（以下「D/W」という））の気相部からの漏えい（約 $\phi 3\text{ cm}$ ）を仮定した。また、約 50 時間後において漏えいの拡大（約 $\phi 7\text{ cm}$ ）を仮定した。

但し、あくまで解析上の仮定であり、実際に格納容器（D/W）から漏えいがあったのか、計器側の問題による計測値と解析値の不整合なのかは、現時点では不明である。

② IC の動作条件に対する見解

全交流電源喪失以降の IC の動作状況は未だ不明確であることから、解析においては全交流電源喪失以降の動作は仮定しないこととした。また、感度解析として、全交流電源喪失以降に IC が一時的に動作していたと仮定した場合についても実施した。

なお、全交流電源喪失より前の期間は、逃がし安全弁（以下「SRV」という）の動作設定圧力（約 7.4MPa[abs] ）以下で原子炉圧力が変動していたことから、IC の片側一系統を間欠動作させたと仮定した。

表 3. 1. 1 プラント条件

項目	条件
初期原子炉出力	1380 MWt（定格出力）
初期原子炉圧力	7.03MPa [abs]（通常運転圧力）
初期原子炉水位	通常水位
格納容器空間容積	D/W 空間：3410m ³ S/C 空間：2620m ³
サプレッション・プール水量	1750m ³

表3. 1. 2 事象イベント

凡例 ○：記録あり △：記録に基づき推定 □：解析上の仮定として整理

No	解析条件		分類	備考	○の場合：記録の参照箇所 △、□の場合：推定、仮定した根拠等
	日時	解析事象			
1	3/11	14:46	地震発生	○	—
2		14:46	原子炉スクラム	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌
3		14:47	MSIV 閉	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌
4		14:52	IC(A) (B)自動起動	○	5/16 報告 3.警報発生記録等データ アラームタイプ
5		15:03 頃	IC(A)停止	△	5/16 報告 6.過渡現象記録装置データの記録から、IC が停止しているものと推定
6		15:03 頃	IC(B)停止	△	5/16 報告 6.過渡現象記録装置データの記録から、IC が停止しているものと推定
7		15:17	IC(A)再起動	△	原子炉圧力の推移 (5/16 報告 2.チャートの記録) から、IC の動作を推定 ※1
8		15:19	IC(A)停止	△	原子炉圧力の推移 (5/16 報告 2.チャートの記録) から、IC の動作を推定 ※1
9		15:24	IC(A)再起動	△	原子炉圧力の推移 (5/16 報告 2.チャートの記録) から、IC の動作を推定 ※1
10		15:26	IC(A)停止	△	原子炉圧力の推移 (5/16 報告 2.チャートの記録) から、IC の動作を推定 ※1
11		15:32	IC(A)再起動	△	原子炉圧力の推移 (5/16 報告 2.チャートの記録) から、IC の動作を推

					定 ※1
12		15:34	IC(A)停止	△	原子炉圧力の推移 (5/16 報告 2.チャートの記録) から、IC の動作を推定 ※1
13		15:37	全交流電源喪失	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌
14		18:10	IC(A)系 2A, 3A 弁開／蒸気発生確認	□	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めに当該の記載はあるものの、本解析では全交流電源喪失以降 IC の機能が喪失していたものと仮定 ※2
15		18:25	IC(A)系 3A 弁閉	□	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めに当該の記載はあるものの、本解析では全交流電源喪失以降 IC の機能が喪失していたものと仮定 ※2
16		21:19	IC について、ディーゼル駆動消火ポンプ (D/D-FP) からのラインナップ実施	□	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めに当該の記載はあるものの、本解析では全交流電源喪失以降 IC の機能が喪失していたものと仮定 ※2
17		21:30	IC 3A 弁開	□	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めに当該の記載はあるものの、本解析では全交流電源喪失以降 IC の機能が喪失していたものと仮定 ※2
18		21:35	IC について、D/D-FP から供給中	□	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めに当該の記載はあるものの、本解析では全交流電源喪失以降 IC の機能が喪失していたものと仮定 ※2
19	3/12	1:48	IC について、D/D-FP を確認したところ、燃料切れでなくポンプ不具合により供給停止	□	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めに当該の記載はあるものの、本解析では全交流電源喪失以降 IC の機能が喪失していたものと仮定 ※2
20		5:46	消防ポンプによる淡水注水を開始	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※3
21		14:30	格納容器ベントについて、10:17 圧力抑制室側 AO 弁操作を実施し、14:30 に格納容器圧力低下を確認	△	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め。ベント成功は、圧力の低下が確認された 14:30 と仮定
22		14:49	格納容器ベント弁閉止	△	格納容器圧力の上昇から、解析上当該事項を仮定
23		14:53	淡水注水終了	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め

24		15:36	1号機原子炉建屋の爆発	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め
25		20:20	海水による注水を開始	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め※3

- ※1 全交流電源喪失以前の IC の動作には不明な点があるものの、2.チャートの記録 (5/16 報告) によると、原子炉圧力は約 6.2~7.2MPa[abs] で推移しているが、SRV 第一弁の逃がし弁機能の設定圧力は約 7.4MPa[abs]、吹き止まり圧力は約 6.9MPa[abs]であることから、解析上は IC 片系が間欠的に動作したものと仮定。
- ※2 全交流電源喪失以降の IC の動作についても不明な点があるものの、機能したことの記録が不足していることから、IC の機能が喪失しているものと仮定。
- ※3 注水流量変更の時期や注水流量については、7.各種操作実績取り纏め (5/16 報告) に日付毎の炉内への注水量に基づき、日毎の平均流量及び注水総量を超えないように設定。

3. 1. 2 解析結果

3. 1. 1で示した条件に基づき、解析した結果を表3. 1. 3に示す。また、原子炉水位の変化等の解析結果について図3. 1. 1から図3. 1. 12に示す。

表3. 1. 3 1号機解析結果の纏め

項目	解析結果
炉心露出開始時間	地震発生後約3時間
炉心損傷開始時間	地震発生後約4時間
原子炉压力容器破損時間	地震発生後約15時間

解析結果の詳細について以下に述べる。

原子炉水位は、仮定したICの停止後、約2時間で有効燃料棒頂部（以下、TAFという）へ到達し、その後炉心損傷に至る（図3. 1. 1参照）。

地震発生以降、実際に計測された原子炉水位は燃料域内において推移している。解析結果とは大幅に異なるが、解析結果では原子炉压力容器が破損するとの結果となっており、原子炉水位は原子炉压力容器内において維持ができない。これに関しては格納容器内が高温になることで水位計内の水が蒸発し、正確な水位を示していない可能性がある。1号機についてはその後水位計を校正したところ、水位は燃料域未満であるとの知見が得られている。

原子炉圧力は、仮定したICの停止後、原子炉圧力は上昇するが、逃がし安全弁により8MPa近傍で維持される。炉心損傷後、溶融したペレット等が下部プレナムに移行し、地震発生から約15時間後、原子炉压力容器が破損し原子炉圧力は急激に減少する（図3. 1. 2参照）。

格納容器圧力は、原子炉压力容器より放出された蒸気と炉内の水-金属反応で発生した水素ガスにより、一時的に上昇するが、その後、解析において仮定した格納容器からの漏えいにより、格納容器圧力は低下傾向となり、3/12のベント操作により急激に減少する（図3. 1. 3参照）。

なお、事象初期において格納容器圧力は解析より高い圧力が計測されているが、例えば、炉心損傷初期に炉内の計装配管が損傷し格納容器内へ蒸気が流入した、もしくは、主蒸気系において使用されているガスケットのシール機能が高温になることで喪失するなど、何らかの原子炉压力容器から蒸気が放出される状況が発生した等が考えられるが、現時点では計測器の問題なのかどうかも含め、原因は分かっていない。

格納容器漏えいの仮定に関して、漏えいを仮定した、地震発生から約18時間後では、格

格納容器温度は約 300°C以上となっており、格納容器設計温度 (138°C) を大幅に超えている。過去に電力共通研究において、このような過温条件ではガスケットは損傷に至る可能性があるとの知見があることから、格納容器からの漏えいが事実とすれば過温によるガスケット損傷は要因の一つとして考えられる。また、地震発生から約 50 時間後における格納容器からの漏えいの仮定に関しても、解析において格納容器内温度は高温で推移していることから (図 3. 1. 5 参照)、漏えい箇所が徐々に増加することは要因の一つとして考えられる。

原子炉内への注水は、仮定した IC の停止後から約 14 時間後に始まるものの、それまでに燃料は崩壊熱により溶融し、下部プレナムへ移行した後、地震発生から約 15 時間後に原子炉圧力容器破損に至る (図 3. 1. 4 及び図 3. 1. 9 参照)。

炉心が損傷することにより放出される放射性物質 (以下「FP」という) については、希ガスはベント操作によりほぼ全量が環境中へ放出されることとなる。ヨウ化セシウムについては約 1%の放出であり、その他の核種は約 1%未満の放出という解析結果となっている (図 3. 1. 7 及び図 3. 1. 8 参照)。なお、プルトニウムについては PuO_2 として UO_2 グループに含まれるが、解析結果において放出割合は 10^{-7} 以下であった。

発生する水素については、炉心損傷開始とほぼ同時に発生し、3/12 の爆発はこの際に発生した水素による可能性がある (図 3. 1. 6 参照)。

IC については津波到達以降の動作については不明確であるが、仮に IC が一時的に動作していたと仮定した場合のケース (3/11 18 時頃から 3/12 2 時頃までの間、片系の IC 動作を仮定) について解析を行った。原子炉水位は絶対値としては異なるものの類似の挙動を示している (図 3. 1. 10 参照)。しかしながら、この仮定により格納容器圧力は計測された値と全く異なる挙動を示すこととなり (図 3. 1. 11 参照)、全交流電源喪失以降の IC の動作状況は本解析では明らかにはできない。なお、この IC の感度解析においても燃料域内において水位は維持できないことから、炉心は損傷することとなる (図 3. 1. 12 参照)。

なお、この評価は MAAP コードを用いた解析をベースに実施しているが、解析条件設定における不確定性、解析モデルの不確定性があり、結果としての事象進展にも不確定性があることに留意する必要がある。特に、放出される FP 量については、これら不確定性の影響を大きく受けることから、その数値は参考的に扱うべきものとする。

3. 1. 3 評価結果

上述のとおり、解析結果からは全交流電源喪失 (津波到達) 以降、比較的早期に炉心の損傷が開始し、原子炉圧力容器が破損するとの解析結果となったが、以下に示す各部温度等から推測されるプラントの状態を考慮すると解析は厳しめな結果であると思われる。

各部の温度が測定できるようになった段階で、原子炉圧力容器温度は複数の測定点で 400°C を超えていた。この時期には、炉心の冷却が不十分な状態が継続していたと考えられ

るが、この後に給水ラインから原子炉へ注水することで、確実に原子炉に注水できるよう変更したことを期に、各部温度が急速に低下したため、冷却は十分に行われたものと考えられる。

また、原子炉水位計の校正を行った結果、原子炉圧力容器内の水位は燃料域内にないということが分かった。

一方、現時点においても原子炉圧力容器下部の CRDハウジング等の温度は測定できており、仮に原子炉圧力容器が破損していた場合は、温度の測定はできていない可能性があること、現在の原子炉圧力容器の鋼材温度は 100℃～120℃付近で推移しており複数の測定点が注水量の変動等と同じように応答していること、原子炉圧力容器上部の複数の温度が高めであり熱源は原子炉圧力容器内にあると推定されることから、燃料の大部分は原子炉圧力容器内で冷却されていると考えられる。

よって、解析及びプラントパラメータ（原子炉圧力容器周辺温度）によれば、炉心は大幅に損傷しているが、所定の装荷位置から下（下部プレナム）に移動・落下し、大部分はその位置付近で安定的に冷却できていると考える。

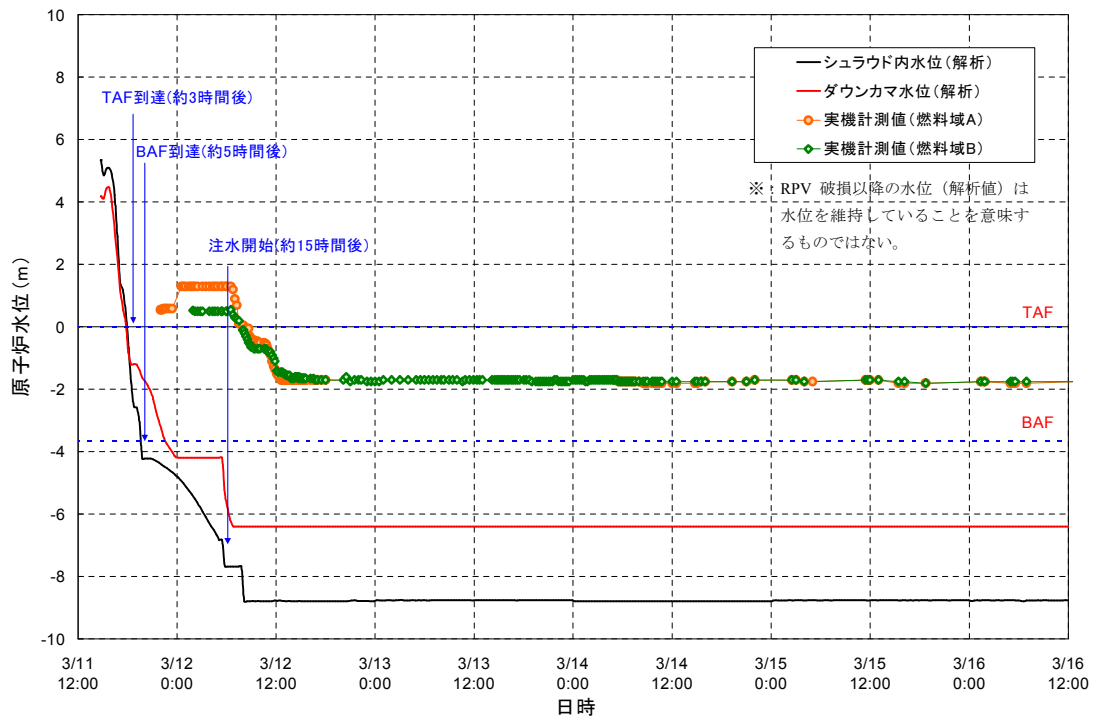


図 3. 1. 1 1号機 原子炉水位変化

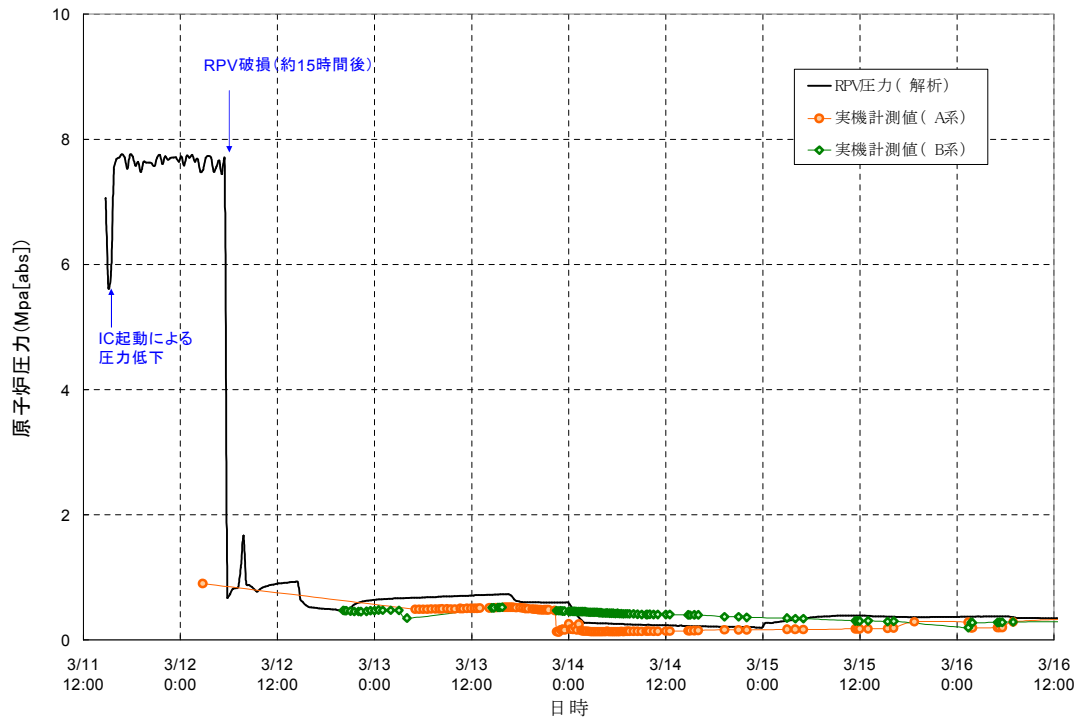


図 3. 1. 2 1号機 原子炉压力容器圧力変化

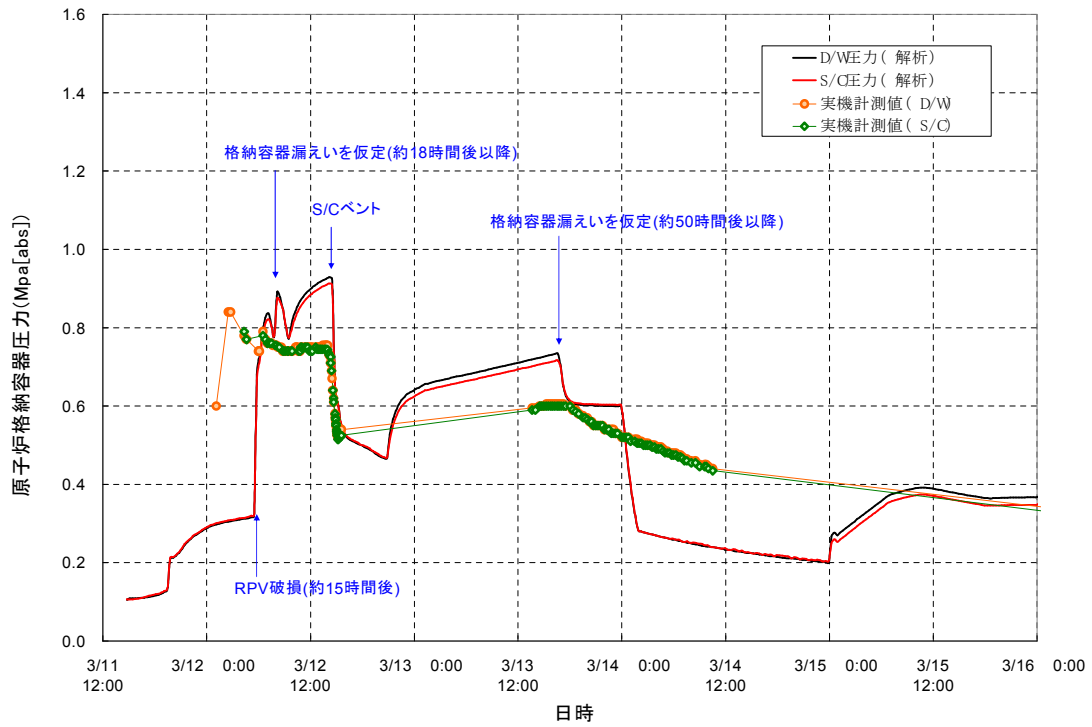


図3. 1. 3 1号機 原子炉格納容器圧力変化

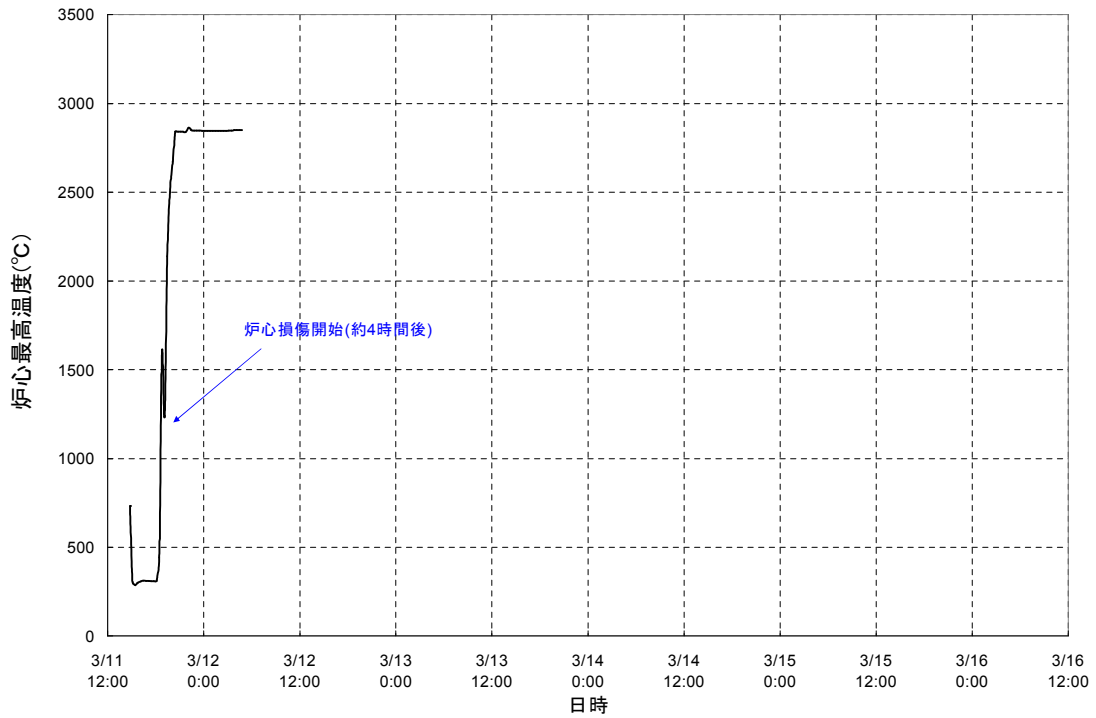


図3. 1. 4 1号機 炉心温度変化

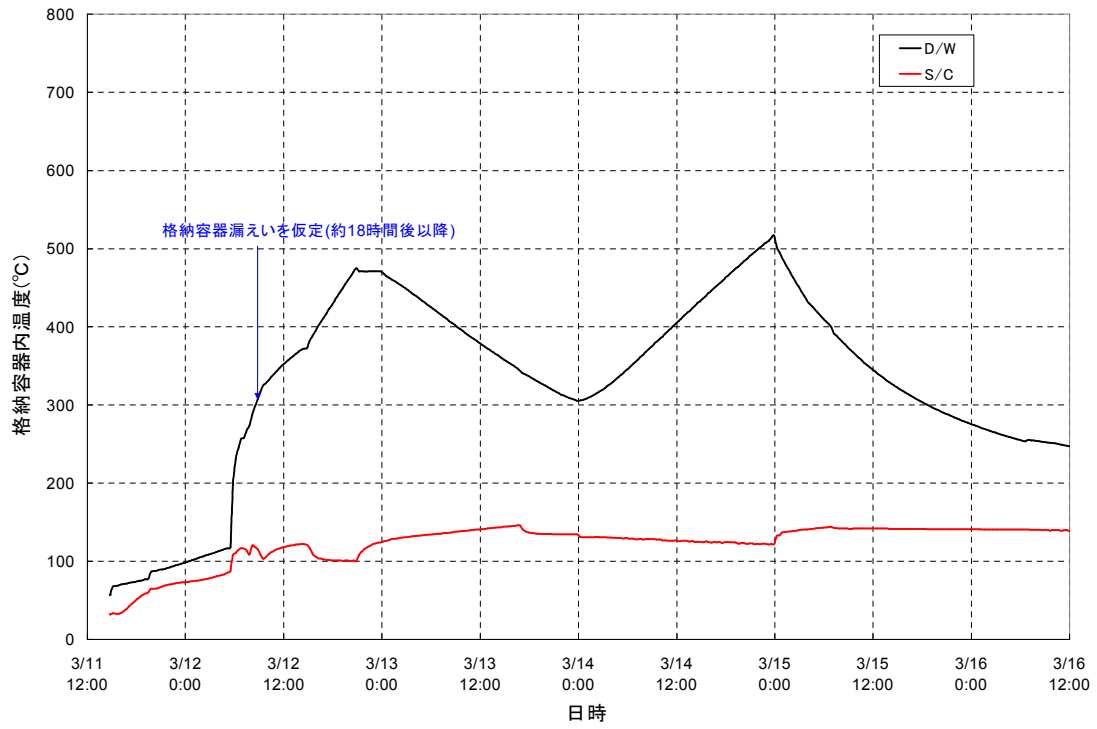


図3. 1. 5 1号機 原子炉格納容器温度変化

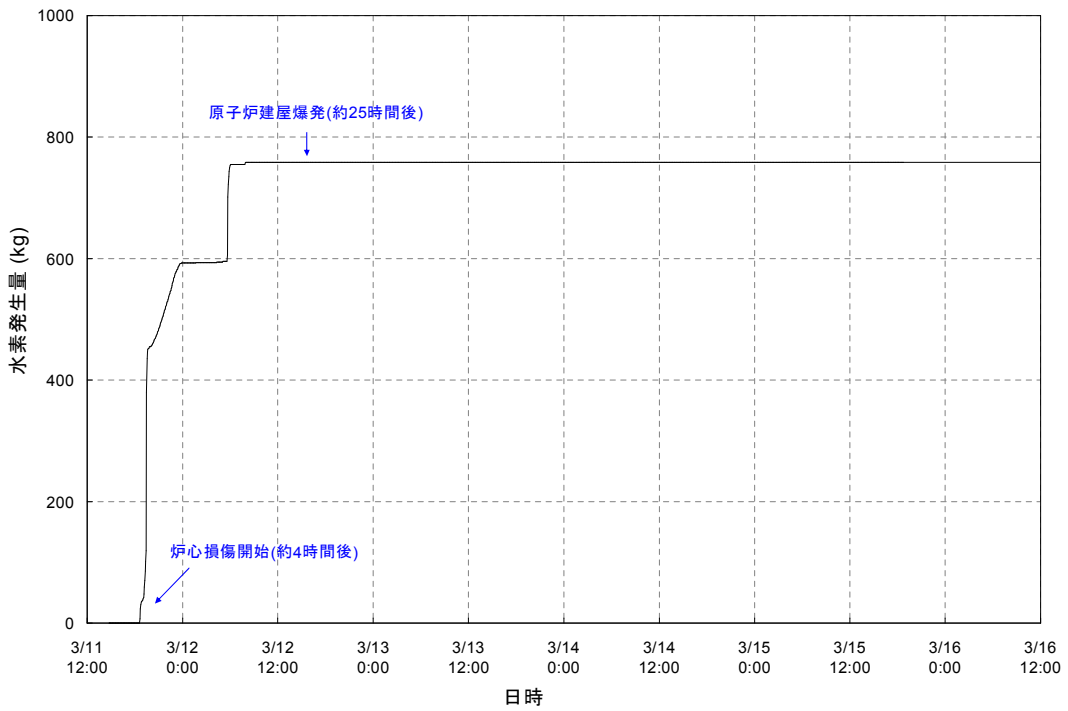


図3. 1. 6 1号機 水素発生量変化

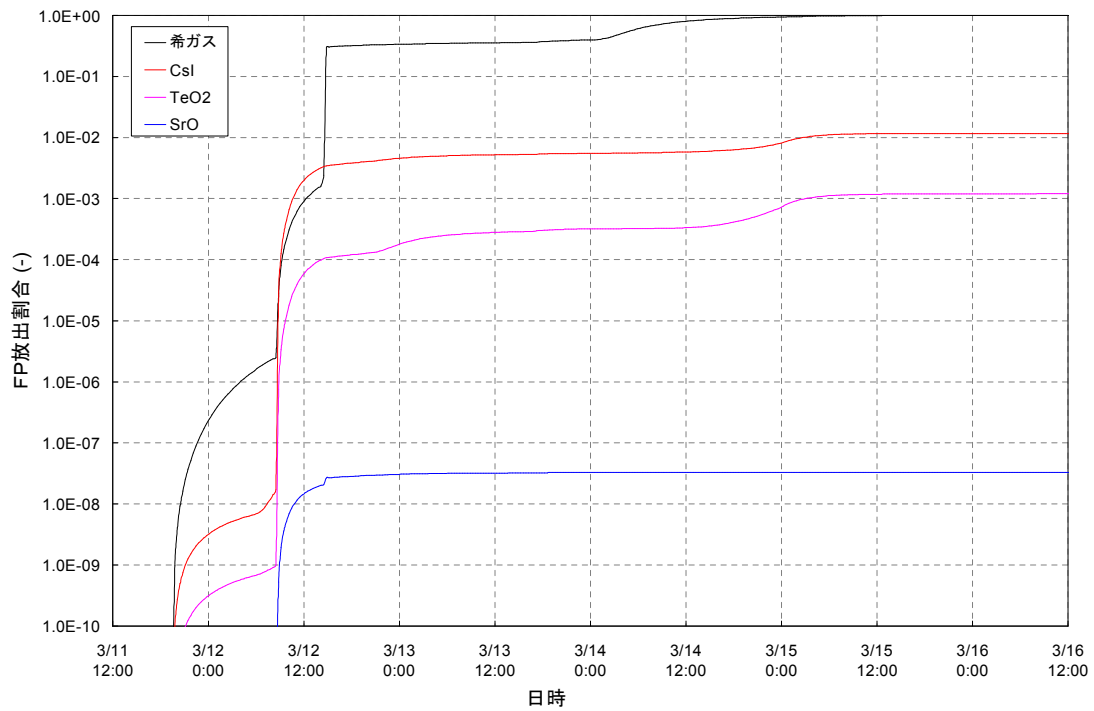


図3. 1. 7 1号機 FPの放出割合 (1 / 3)

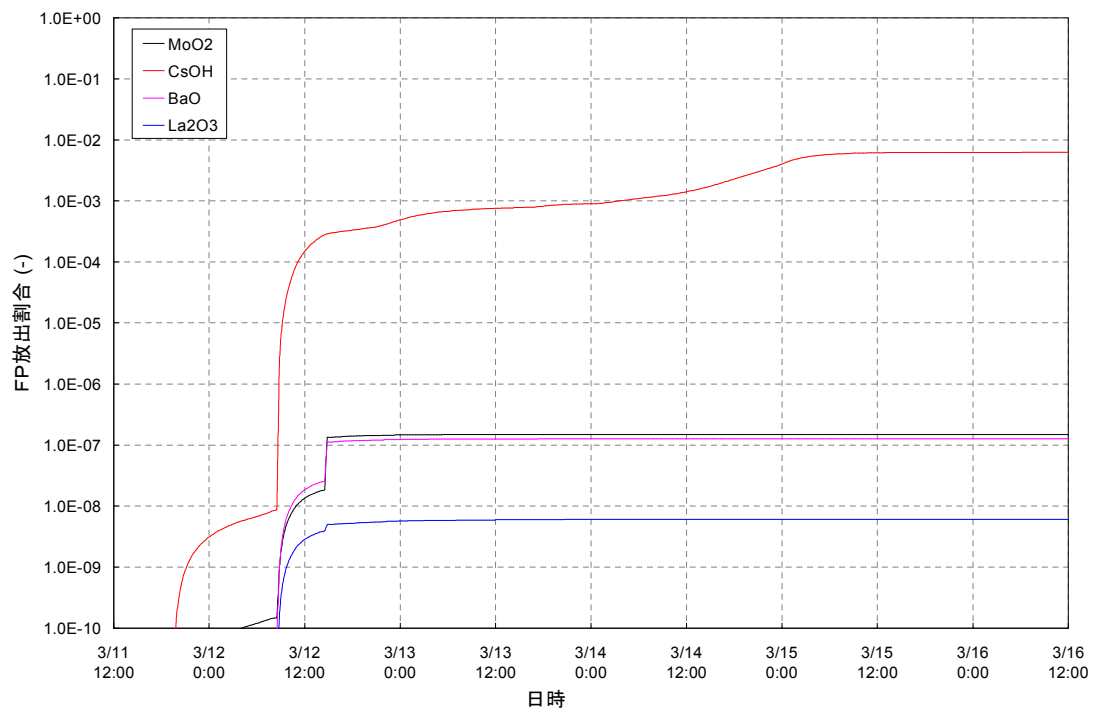


図3. 1. 7 1号機 FPの放出割合 (2 / 3)

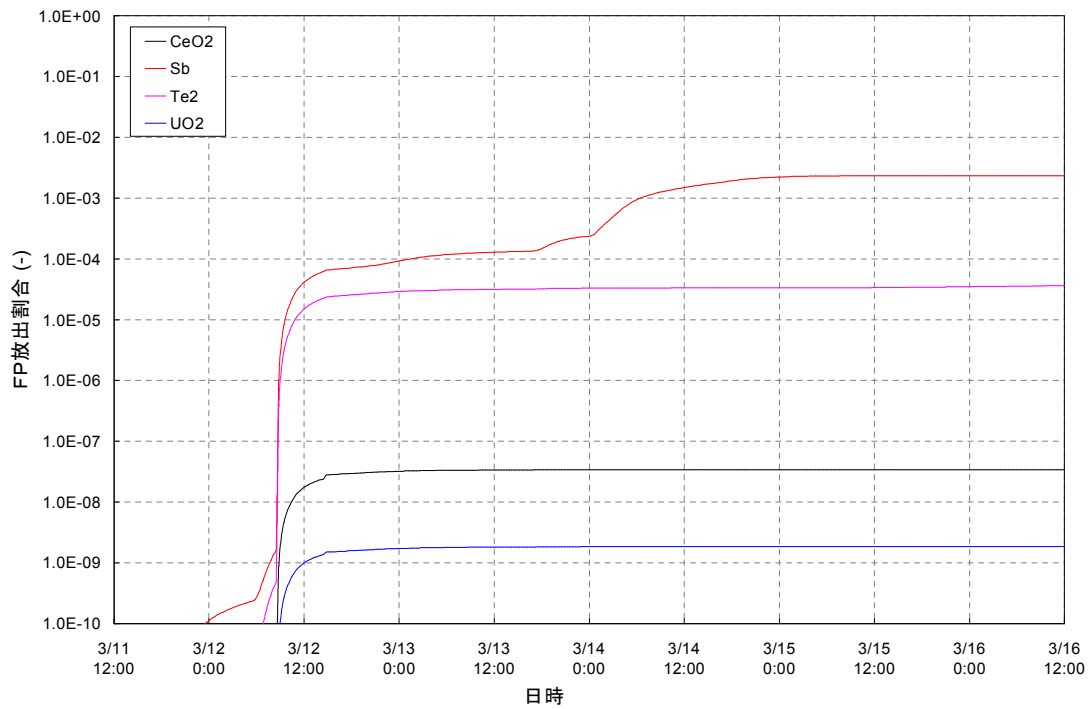


図3. 1. 7 1号機 FPの放出割合 (3 / 3)

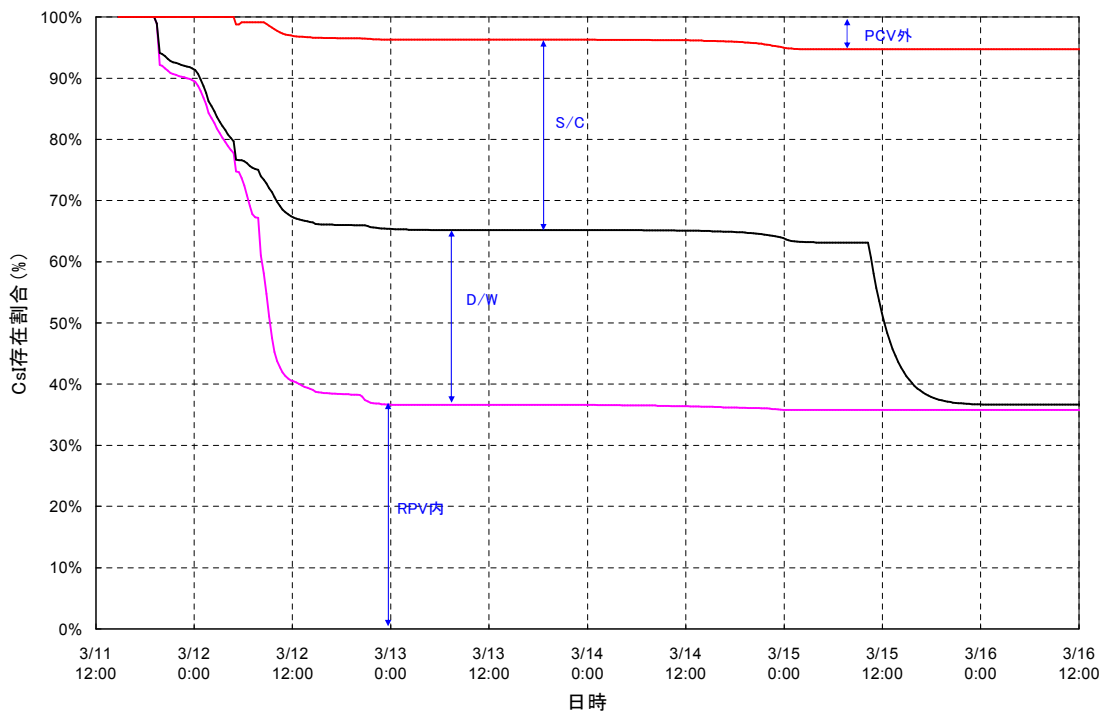


図3. 1. 8 1号機 FPの存在割合 (1 / 2)

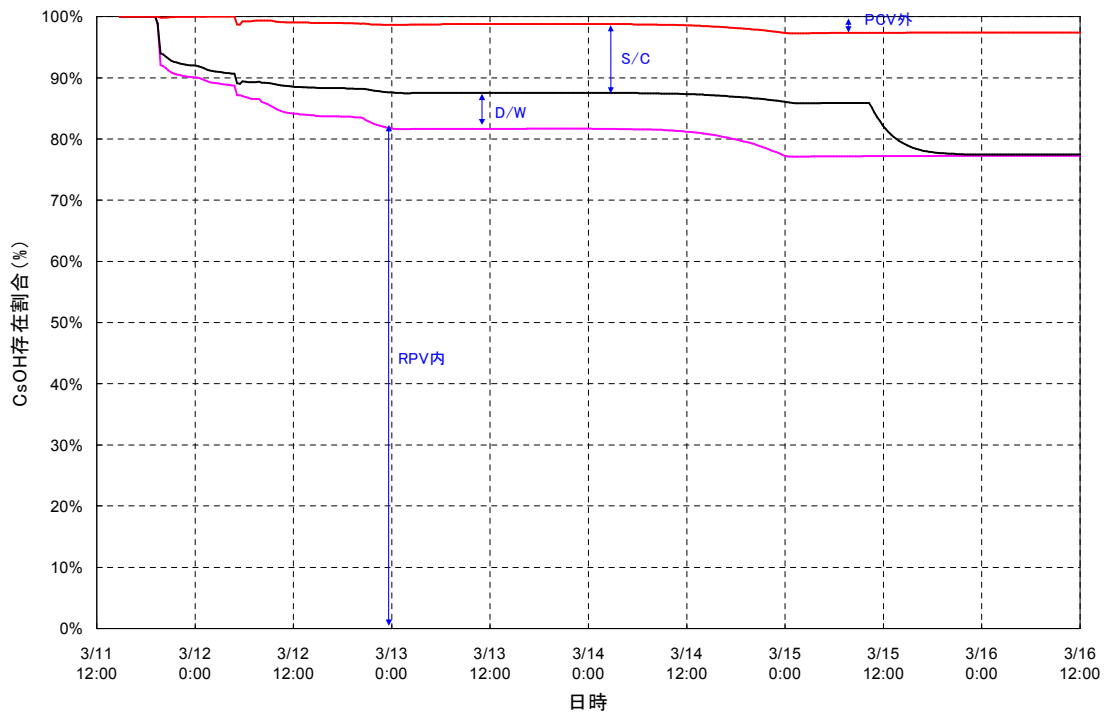
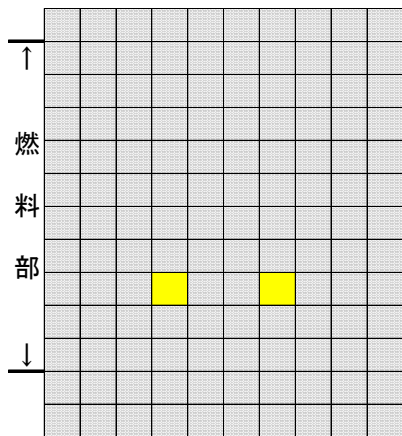
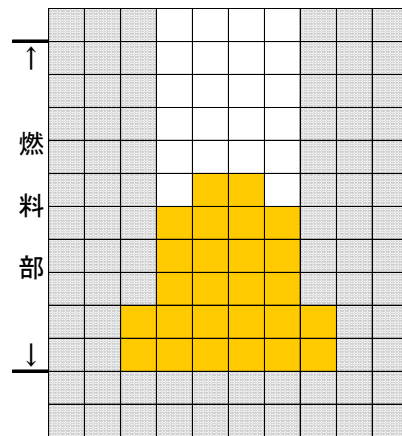


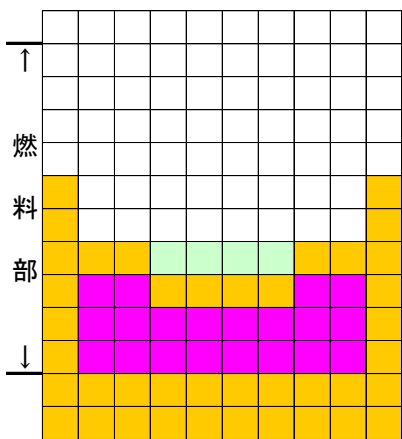
図3. 1. 8 1号機 FPの存在割合 (2 / 2)



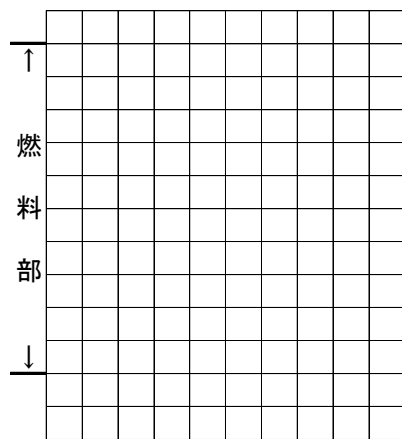
スクラム後 約4.7時間



スクラム後 約5.3時間



スクラム後 約14.3時間



スクラム後 約15時間

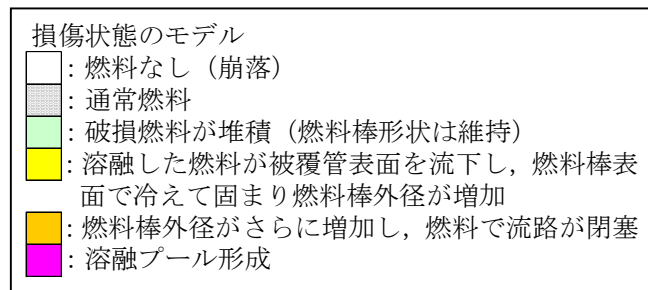


図3. 1. 9 1号機 炉心の状態図

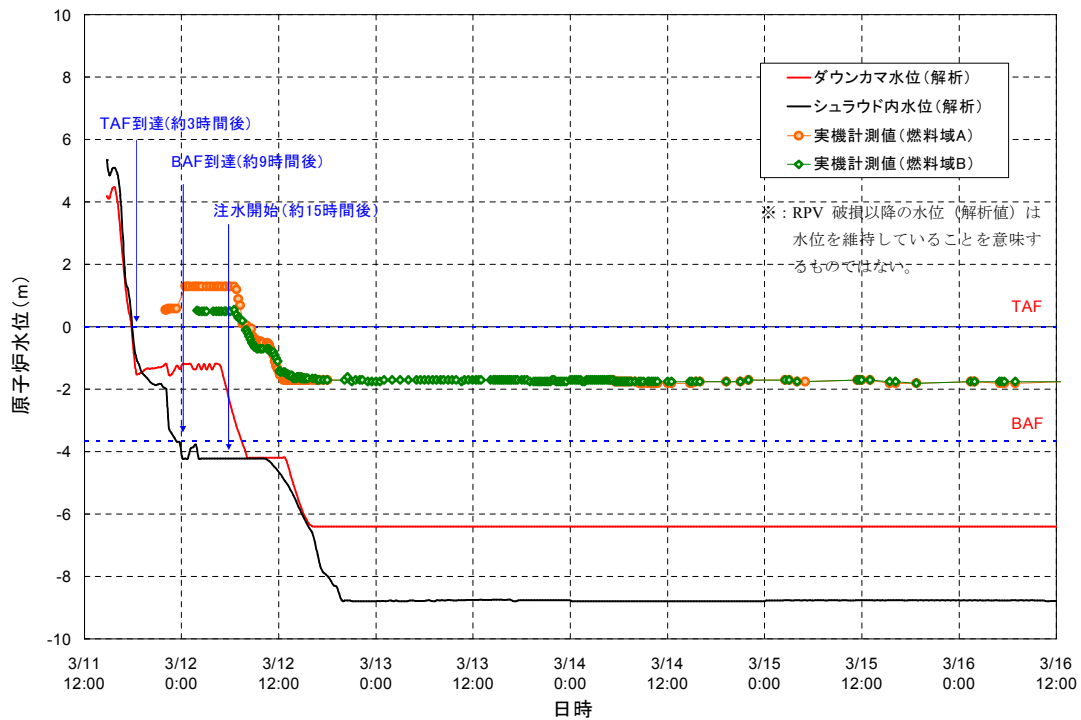


図 3. 1. 10 1号機 原子炉水位変化 (IC 継続運転)

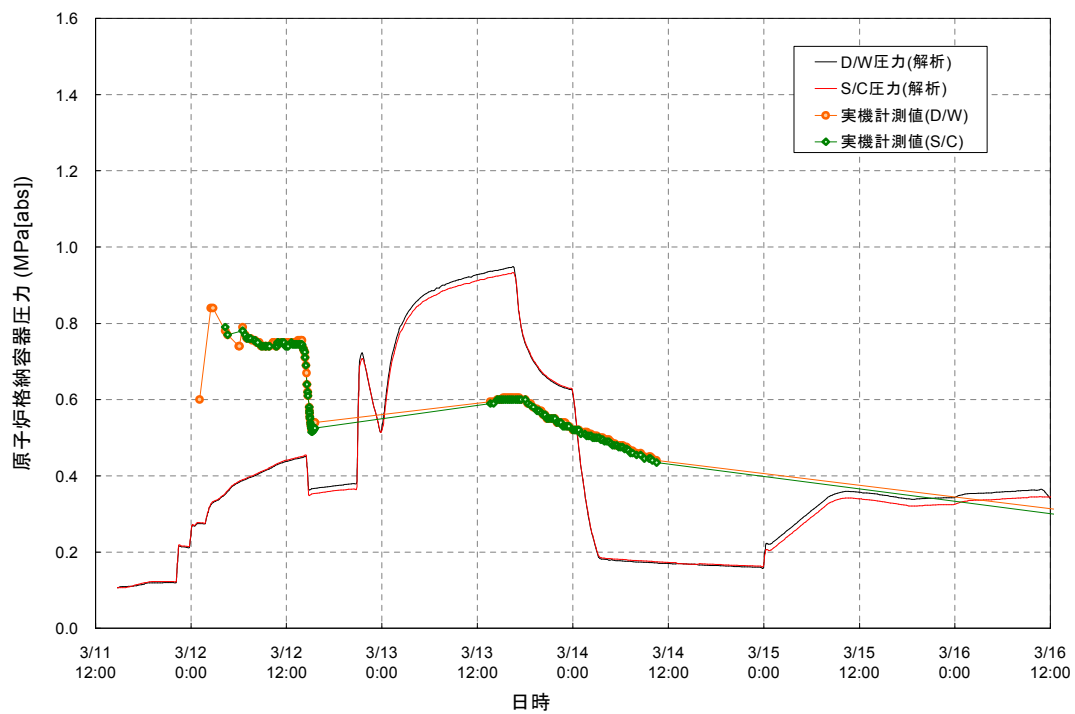


図 3. 1. 11 1号機 原子炉格納容器圧力変化 (IC 継続運転)

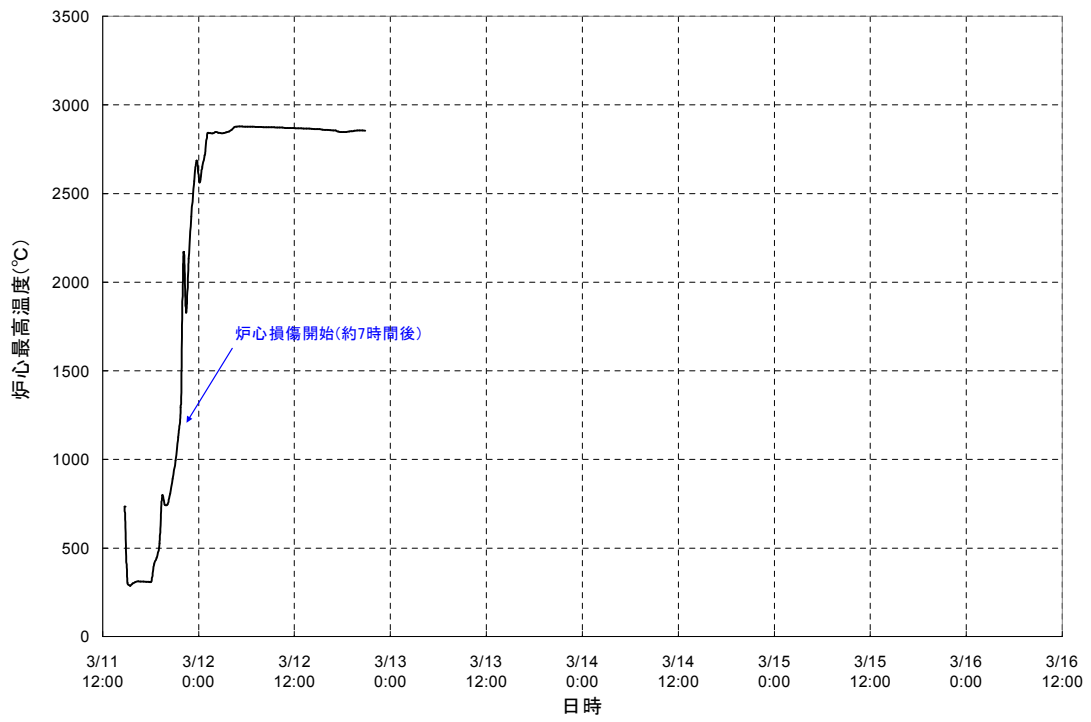


図 3. 1. 12 1号機 炉心温度変化 (IC 継続運転)

3. 2 福島第一原子力発電所2号機

3. 2. 1 解析条件

福島第一原子力発電所2号機の主要な解析条件について表3. 2. 1及び表3. 2. 2に示す。

解析は以下の2つのケースを行い、また、格納容器からの漏えいについては以下の仮定をおき解析を行っている。

① 解析ケース

【その1】：原子炉水位の計測値にあわせるため、消防ポンプの吐出側の流量ではなく、原子炉水位維持を可能な量として少なめに仮定する

【その2】：原子炉水位は燃料域内において維持できていないとして、消防ポンプの吐出側の流量ではなく、燃料域以下程度を維持する注水量を仮定する

② 原子炉格納容器からの気相漏えいの仮定について

解析においては、実際に計測された格納容器圧力の値にある程度あわせるため、地震発生から約21時間後に、格納容器(D/W)の気相部からの漏えい(約φ10cm)を仮定した。また、同様に3/15の圧力抑制室(以下「S/C」という)付近で発生した異音を境に、格納容器(S/C)の気相部からの漏えい(約φ10cm)を仮定した。

但し、あくまで解析上の仮定であり、実際に格納容器から漏えいがあったのか、計器側の問題による計測値と解析値の不整合なのかは、現時点では不明である。

表3. 2. 1 プラント条件

項目	条件
初期原子炉出力	2381 MWt (定格出力)
初期原子炉圧力	7.03 MPa[abs] (通常運転圧力)
初期原子炉水位	通常水位
格納容器空間容積	D/W 空間 : 4240 m ³ S/C 空間 : 3160 m ³
サプレッション・プール水量	2980 m ³

表3. 2. 2 事象イベント

凡例 ○：記録あり △：記録に基づき推定 □：解析上の仮定

No	解析条件		解析事象	分類	備考	○の場合：記録の参照箇所 △、□の場合：推定、仮定した根拠等
	日時					
1	3/11	14:46	地震発生	○	—	
2		14:47	原子炉スクラム	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌	
3		15:02	RCIC 手動起動	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
4		15:28	RCIC トリップ (L-8)	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
5		15:41	全交流電源喪失	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌	
6	3/12	4:20 ～5:00	RCIC 水源を復水貯蔵タンクから圧力抑制室に切替	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
7	3/14	13:25	RCIC 停止	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
8		16:34	原子炉圧力容器減圧 (SRV1 弁開) 操作開始	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
		16:34	消火系ラインを用いた海水注入作業開始	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1	
9		18:00 頃	原子炉圧力低下確認	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
10		19:20	消防ポンプが燃料切れで停止	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1	
11		19:54	消防ポンプ起動	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1 ※2	
		19:57	消防ポンプ 2 台目起動	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1	

12		21:20	SRV2 弁開により原子炉を減圧、水位が回復する	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1
13		23:00 頃	SRV1 弁閉を仮定	□	23 時頃の原子炉圧力の上昇から、当該時刻に SRV1 弁が閉じたことを仮定。
14	3/15	6:14 頃	圧力抑制室付近で異音が発生するとともに、同室内の圧力が低下	○	東京電力 HP (http://www.tepco.co.jp/index-j.html) のプレスより

※1 海水注水開始の時期について、3/14 19:20 の記録で「消防ポンプが停止」とあることから、3/14 16:34 以降ある程度の注水がなされた可能性があるが、解析上はその後の水位上昇が確認された 3/14 19:54 からの注水を、最初の海水注水開始時期と仮定。

※2 注水流量変更の時期や注水流量については、7.各種操作実績取り纏め（5/16 報告）の日付毎の炉内への注水量に基づき、日毎の平均流量及び注水総量を超えないように設定。

3. 2. 2. 1 解析結果【解析ケース（その1）】

3. 2. 1で示した条件に基づき、解析した結果を表3. 2. 3に示す。また、原子炉水位の変化等の解析結果について図3. 2. 1. 1から図3. 2. 1. 10に示す。

表3. 2. 3 2号機解析結果の纏め

項目	解析結果
炉心露出開始時間	地震発生後約 75 時間
炉心損傷開始時間	地震発生後約 77 時間
原子炉圧力容器破損時間	— (本解析では原子炉圧力容器破損に至らず)

解析結果の詳細について以下に述べる。

原子炉水位は、RCIC が停止した後徐々に低下し、炉心が露出し始め、SRV 開放により炉心は完全に露出することとなり、炉心損傷が開始する（図3. 2. 1. 1参照）。ほぼ同時に注水は開始されるものの今回の解析では計測値で示した原子炉水位に見合った注水量となるよう仮定して解析を行っていることから、注水量は十分ではなく、炉心領域の半分程度が冠水する程度に維持される。このため炉心は損傷することとなる。

原子炉圧力は、RCIC が停止するまでの間は、SRV 作動圧力近傍で高圧状態に維持される。RCIC 停止後の SRV 開放により原子炉は急速に減圧され、その後大気圧近傍まで低下する。

RCIC 動作期間において原子炉圧力の計測値は解析値より低い値で推移しており、SRV を通じて S/C へのリークパスが形成されていた可能性があるが、実際にリークがあったか、計測器の問題かは現時点では不明である。SRV 開以降の挙動は解析値と計測値で概ね一致している（図3. 2. 1. 2参照）。

原子炉格納容器圧力は、サプレッション・プールの水温の上昇に伴い上昇するが、原子炉格納容器（D/W）からの漏えいを仮定しているため、計測値と同様に、地震発生からの D/W 圧力上昇は緩慢となる。その後、3/14 の SRV の開放により一時的な圧力上昇が生じ、その後計測値では格納容器圧力は低下傾向に転じることとなる。解析においても 3/15 の S/C 付近で観測された異音を境に、S/C の気相部において漏えいが発生したものと仮定して解析を実施した（図3. 2. 1. 3参照）。

格納容器からの漏えいの仮定に関して、仮定した時点においては、既に格納容器温度は格納容器設計温度を超えていることから、過温の影響による格納容器からの漏えいの増加は要因の一つとして考えられる（図3. 2. 1. 5参照）。格納容器に何らかの漏えいを仮定しない場合、格納容器圧力は比較的早期に 2Pd（格納容器設計圧力の 2 倍）に到達するこ

ととなる（図3. 2. 1. 10参照）。また、S/C 付近で観測された異音を境に圧力は急減しており、解析においても S/C からの漏えいを仮定しているが、これらが実際に格納容器に漏えいがあったか、もしくは計器の問題かは現時点では明らかではない。

炉心温度変化は、RCIC 停止以降、原子炉水位が低下するのに伴い温度が上昇し、燃料ペレットの溶融が発生する（図3. 2. 1. 4参照）。

水素は、炉心が露出し、燃料被覆管の温度が上昇し始める時期に大量に発生する。地震後約1週間で燃料有効部被覆管の約79%の反応に相当する量が発生する（図3. 2. 1. 6参照）。

FPの放出は、炉心損傷後、希ガスは原子炉圧力容器からS/Cに放出され、本解析において仮定した格納容器からの漏えいにより、希ガスのほぼ全量が放出されるとの結果であった。ヨウ化セシウムは約1%の放出割合であり、大半はS/C内に存在する。但し、FPの格納容器外への放出に寄与したのは格納容器からの漏えいの仮定によるものであり、現実とは異なる解析結果となっている可能性がある（図3. 2. 1. 7及び図3. 2. 1. 8参照）。

2号機の炉心は一部溶融プールが存在しているものの燃料域にとどまり、原子炉圧力容器破損には至らないとの結果となった。これは初期のRCICによる注水が比較的継続的に行われていたこと、RCIC停止から注水開始までの時間が1号機に比べて短かったこと、などが理由として挙げられる（図3. 2. 1. 9参照）。

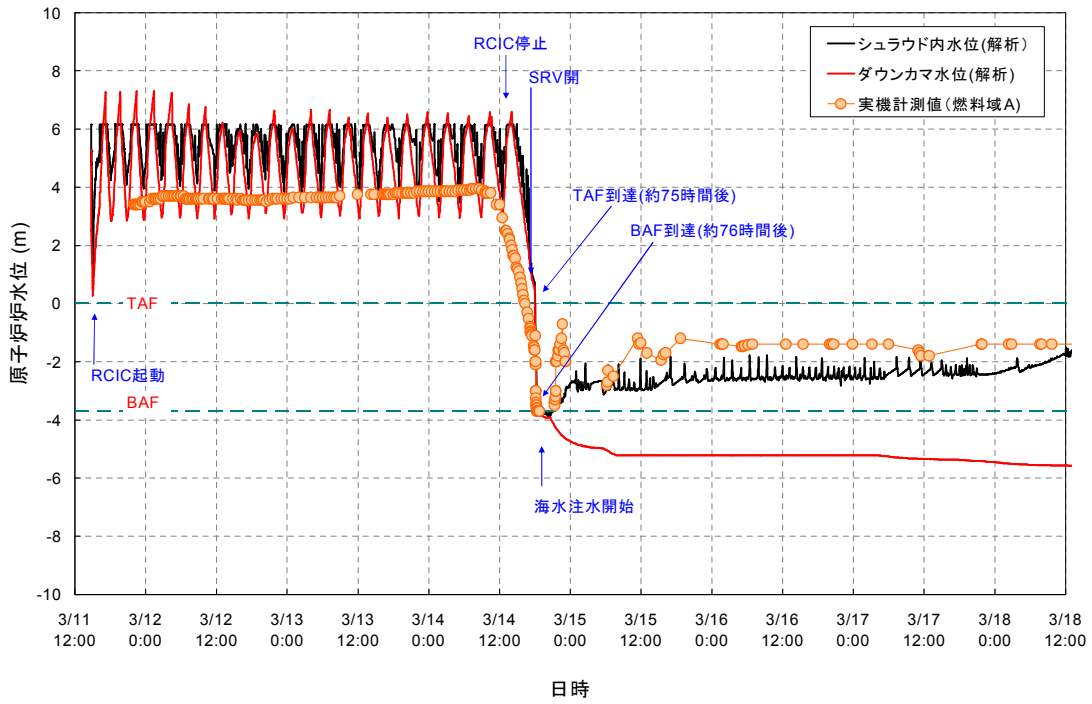


図3. 2. 1. 1 2号機 原子炉水位変化【その1】

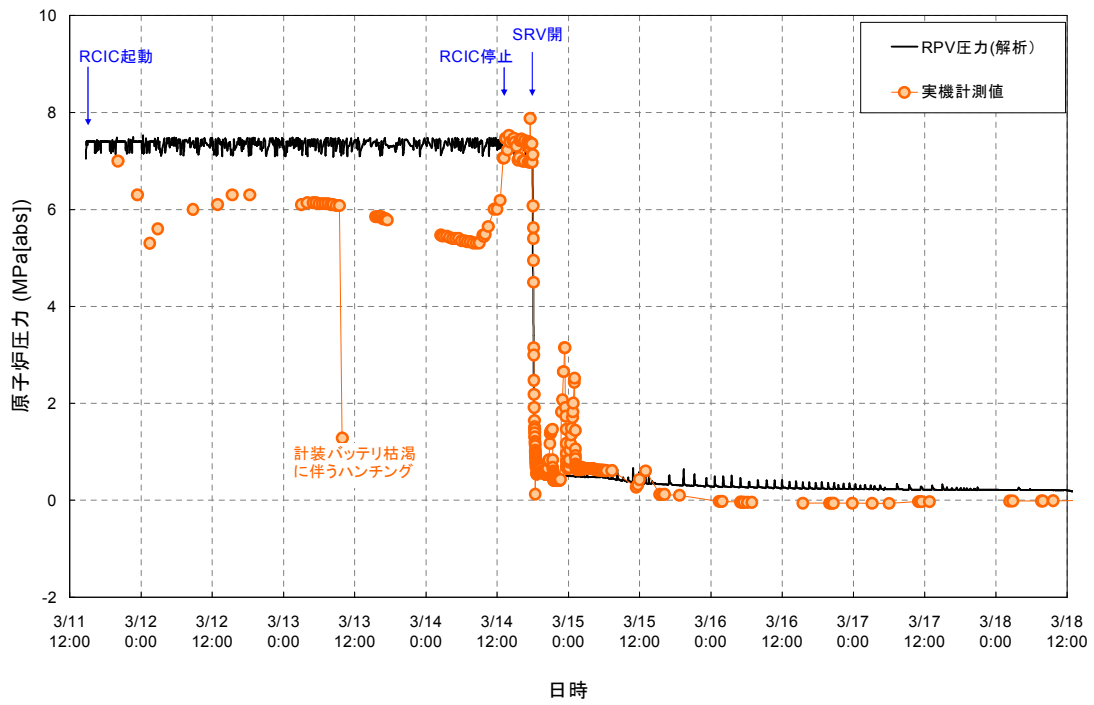


図3. 2. 1. 2 2号機 原子炉压力容器圧力変化【その1】

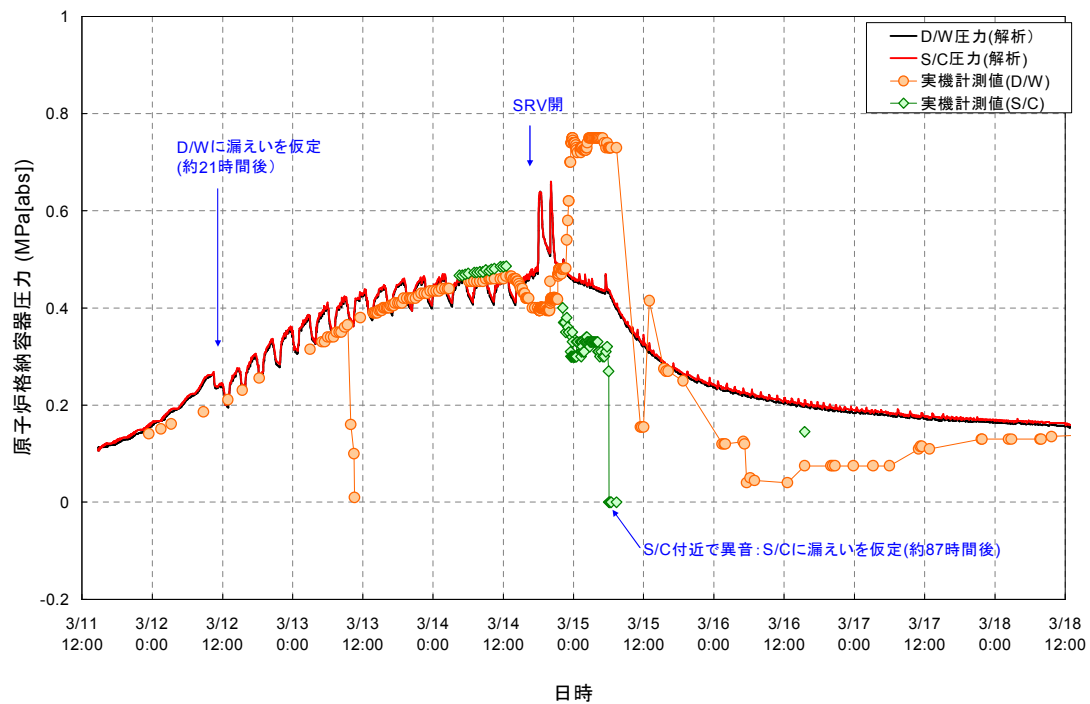


図3. 2. 1. 3 2号機 原子炉格納容器圧力変化【その1】

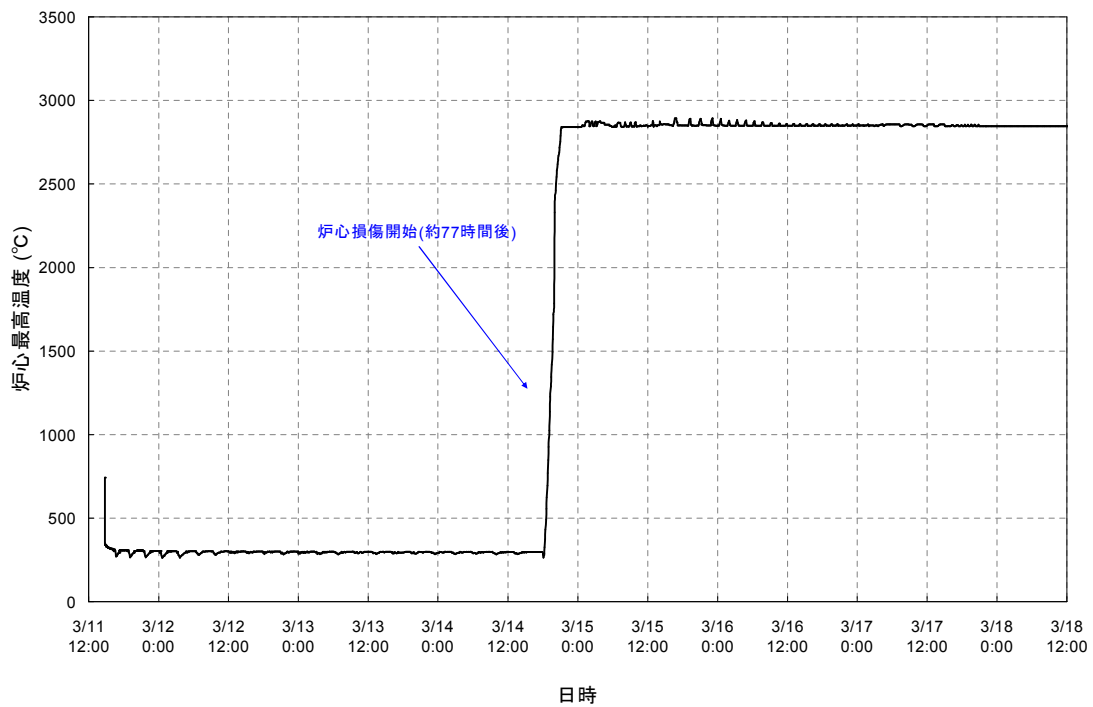


図3. 2. 1. 4 2号機 炉心温度変化【その1】

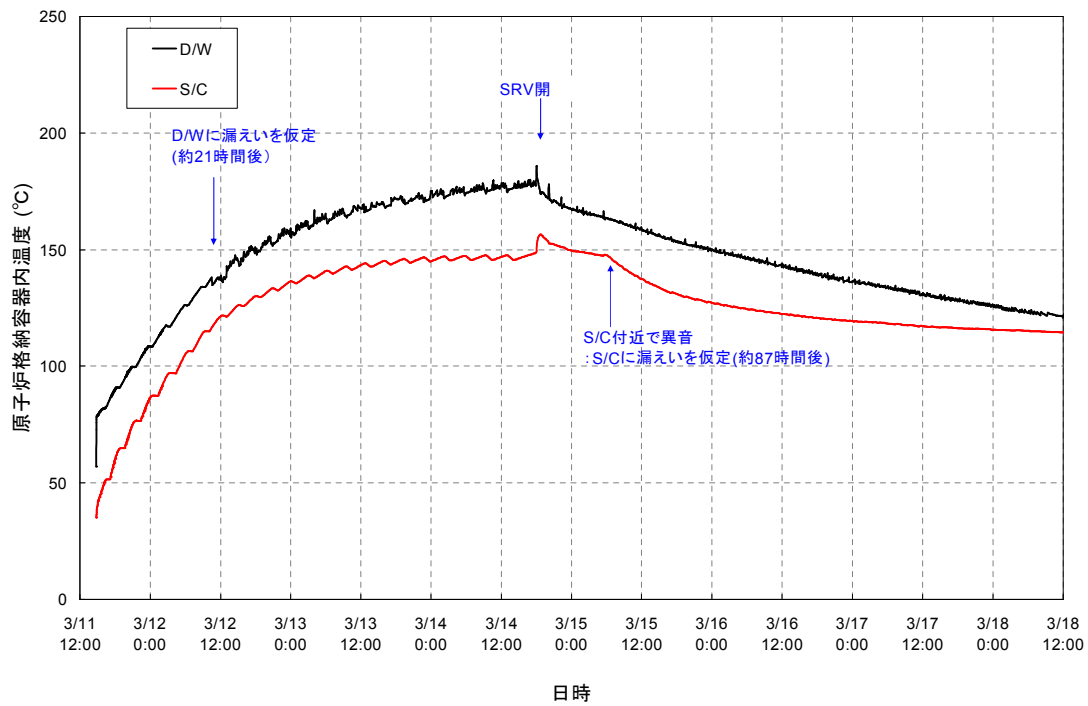


図3. 2. 1. 5 2号機 原子炉格納容器温度変化【その1】

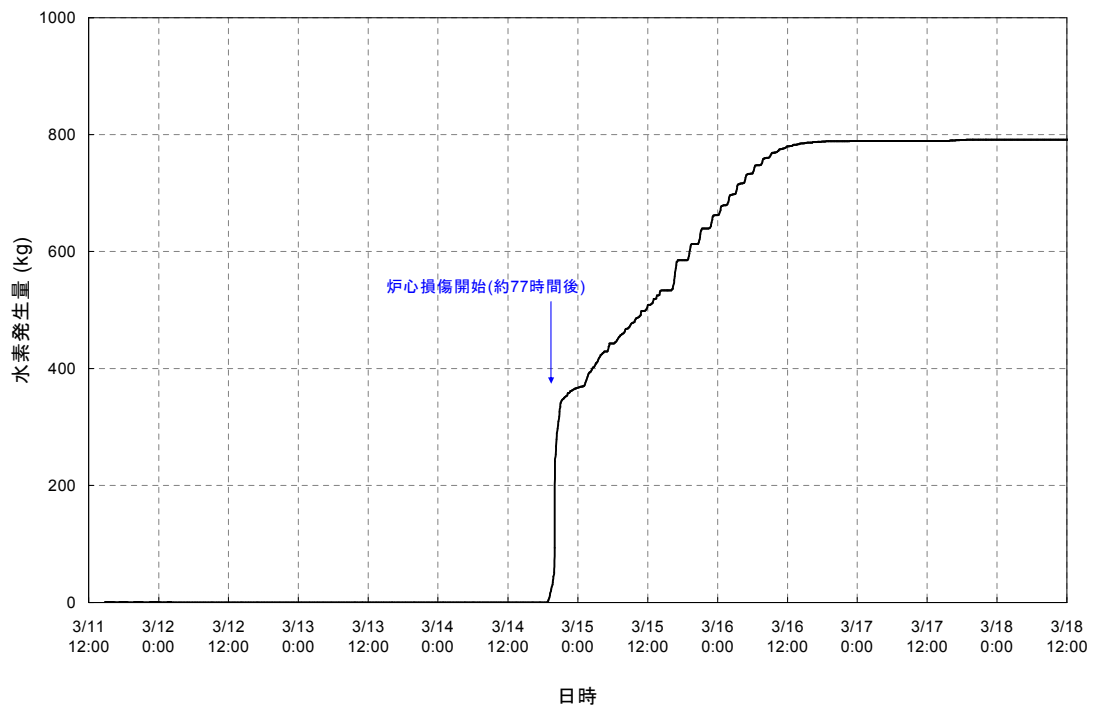


図3. 2. 1. 6 2号機 水素発生量変化【その1】

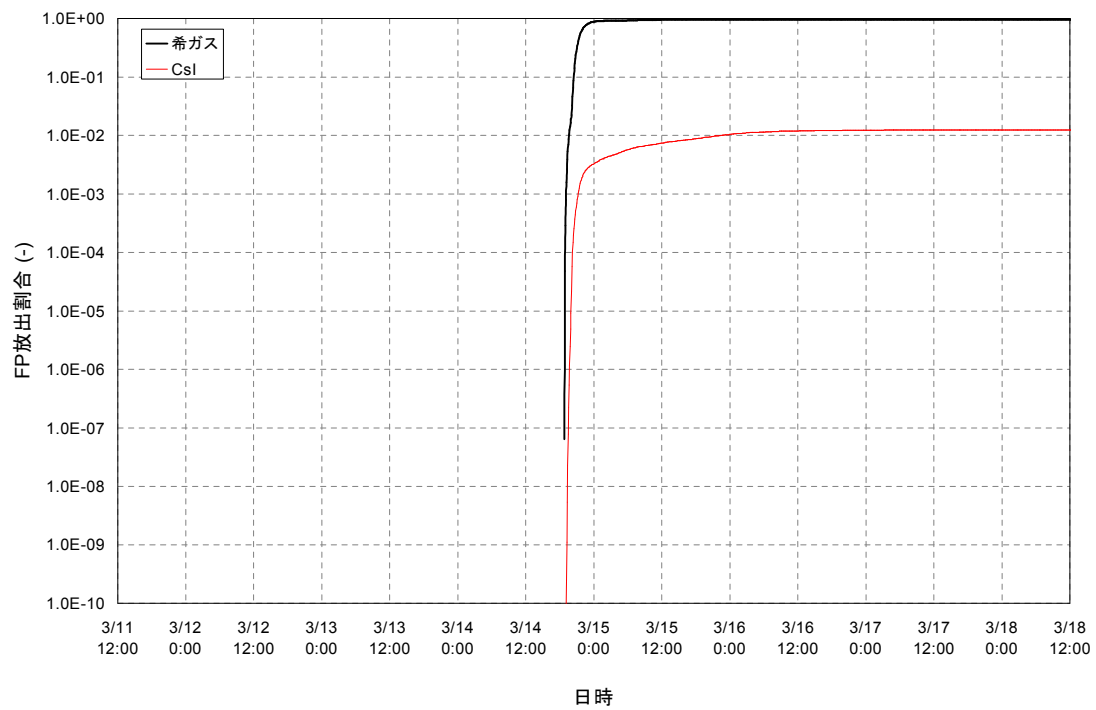


図 3. 2. 1. 7 2号機 FPの放出割合【その1】

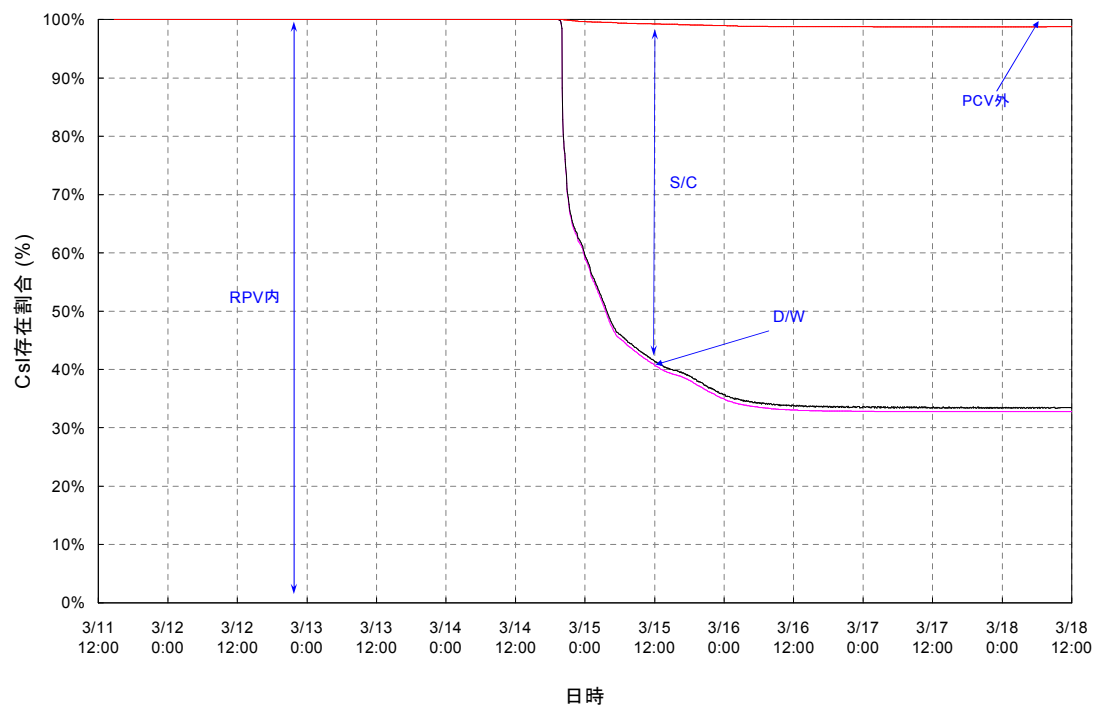


図 3. 2. 1. 8 2号機 FPの存在割合 (1/2)【その1】

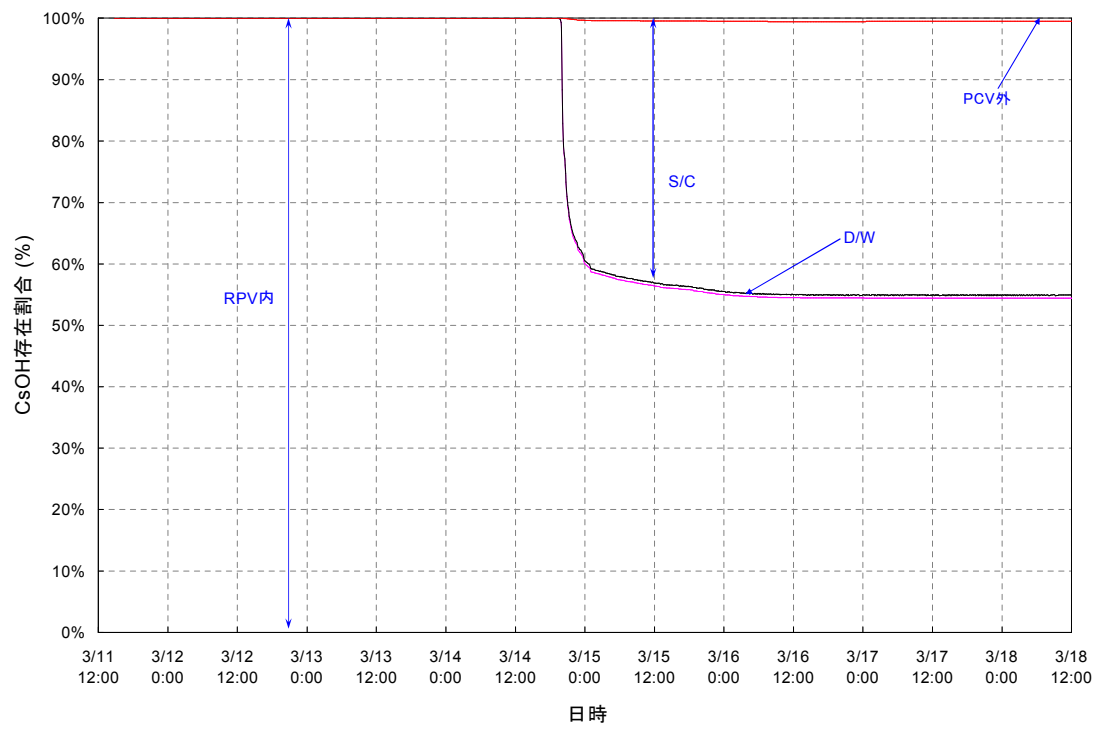
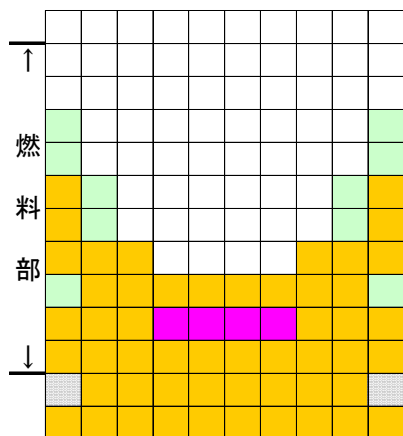
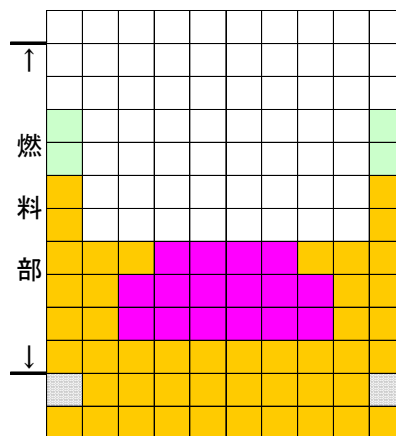


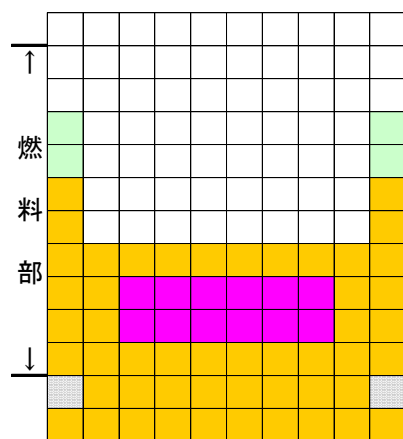
図 3. 2. 1. 8 2号機 FP の存在割合 (2 / 2) 【その 1】



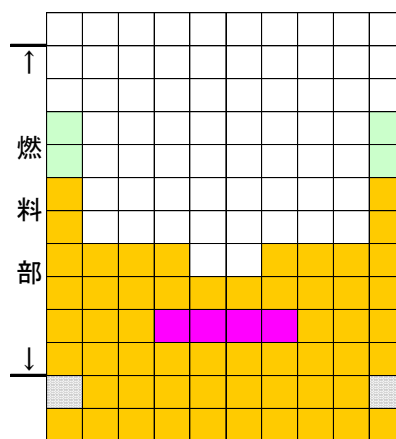
スクラム後 約 87 時間



スクラム後 約 96 時間



スクラム後 約 120 時間



スクラム後 約 1 週間

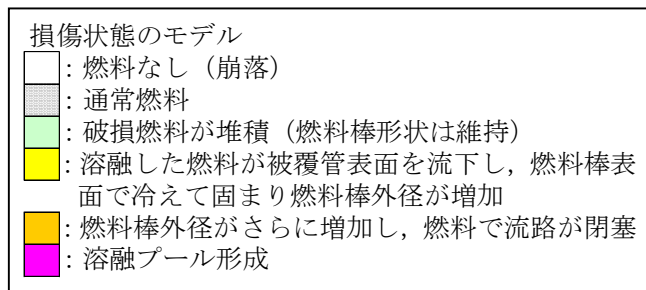


図 3. 2. 1. 9 2号機 炉心の状態図【その 1】

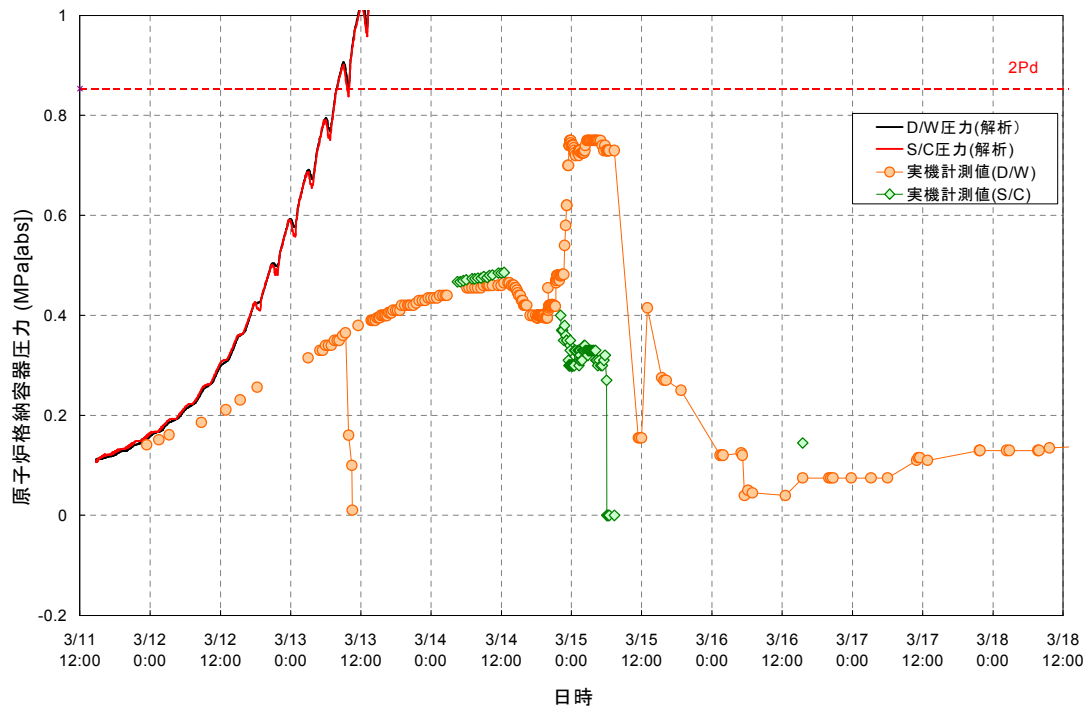


図3. 2. 1. 10 2号機 原子炉格納容器圧力変化【その1】(過温リーク想定なし)

3. 2. 2. 2 解析結果【解析ケース（その2）】

3. 2. 1で示した条件に基づき、解析した結果を表3. 2. 4に示す。また、原子炉水位の変化等の解析結果について図3. 2. 2. 1から図3. 2. 2. 9に示す。

表3. 2. 4 2号機解析結果の纏め

項目	解析結果
炉心露出開始時間	地震発生後約 75 時間
炉心損傷開始時間	地震発生後約 77 時間
原子炉圧力容器破損時間	地震発生後約 109 時間

解析結果の詳細について以下に述べる。

原子炉水位は RCIC 停止後、徐々に低下し、炉心が露出し始め、SRV 開放により炉心は完全に露出することとなり、炉心損傷が開始する。ほぼ同時期に注水は開始されるものの、仮定した注水量は十分でないため有効燃料棒底部以上には上がらない（図3. 2. 2. 1参照）。

原子炉圧力は、SRV による減圧以降、炉心が下部プレナムへ移行する際に発生する蒸気等による一時的な圧力の増加が見られるが、その他の挙動については、【その1】の解析結果とほぼ同様の挙動を示している（図3. 2. 2. 2参照）。

原子炉格納容器圧力は、原子炉圧力同様、炉心が下部プレナムへ移行する際に発生する蒸気等による一時的な圧力の増加が見られるが、その他の挙動については、【その1】の解析結果とほぼ同様の挙動を示している（図3. 2. 2. 3参照）。

炉心温度変化は、原子炉水位が低下するのに伴い温度が上昇し、燃料ペレットの溶融が生じている（図3. 2. 2. 4参照）。

水素は、炉心が露出し、燃料被覆管の温度が上昇し始める時期に大量に発生し、燃料有効部被覆管の約36%の反応に相当する量が発生する（図3. 2. 2. 6参照）。

放射性物質の放出について、希ガスは【その1】同様に S/C からのリークによりほぼ全量が放出されるとの結果であった。ヨウ化セシウム等他の核種は約1%以下の放出割合であった（図3. 2. 2. 7及び図3. 2. 2. 8参照）。

一部の燃料については原子炉圧力容器内にとどまる結果となったものの、原子炉圧力容器は破損する結果となった。初期の注水量を【その1】より少なめに設定したことで、炉心の損傷がさらに進展する結果となった（図3. 2. 2. 9参照）。

3. 2. 3 評価結果

【その1】における解析では、2号機の炉心は一部溶融プールが存在しているものの燃料域にとどまり、原子炉圧力容器破損には至らないとの解析結果となった。【その2】における解析では、一部の燃料については原子炉圧力容器内にとどまる結果となったものの、原子炉圧力容器は破損するとの解析結果となった。

なお、1号機では原子炉水位計の校正を行った結果、原子炉圧力容器内の水位は燃料域内にないということが分かった。同様のことが2号機で発生している可能性は否定できない。

プラントパラメータによれば、現在の原子炉圧力容器底部の温度は約100℃～約120℃付近で推移しており、複数の測定点が注水量の変動等と同じように応答していること、原子炉圧力容器上部の温度が高めであり熱源は原子炉圧力容器内にあると推定されることから、燃料の大部分は原子炉圧力容器内で冷却されていると考えられる。

よって、本解析及びプラントパラメータによれば、炉心は大幅に損傷しているが、所定の装荷位置から下（下部プレナム）に移動・落下し、大部分はその位置付近で安定的に冷却できているものとする。

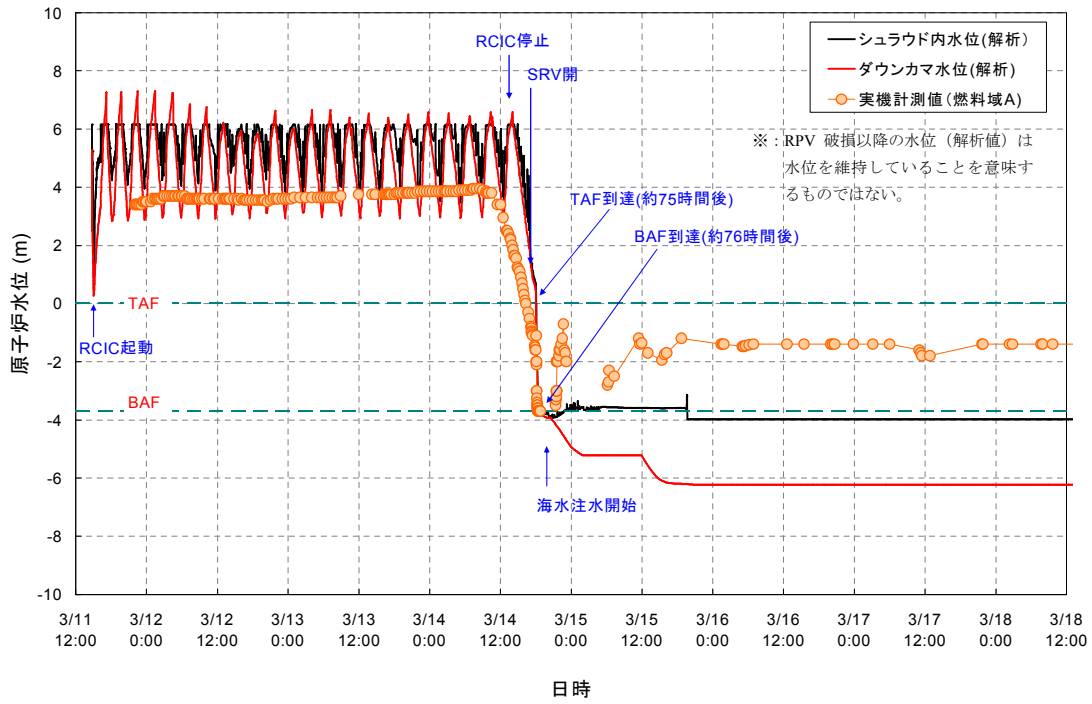


図3. 2. 2. 1 2号機 原子炉水位変化【その2】

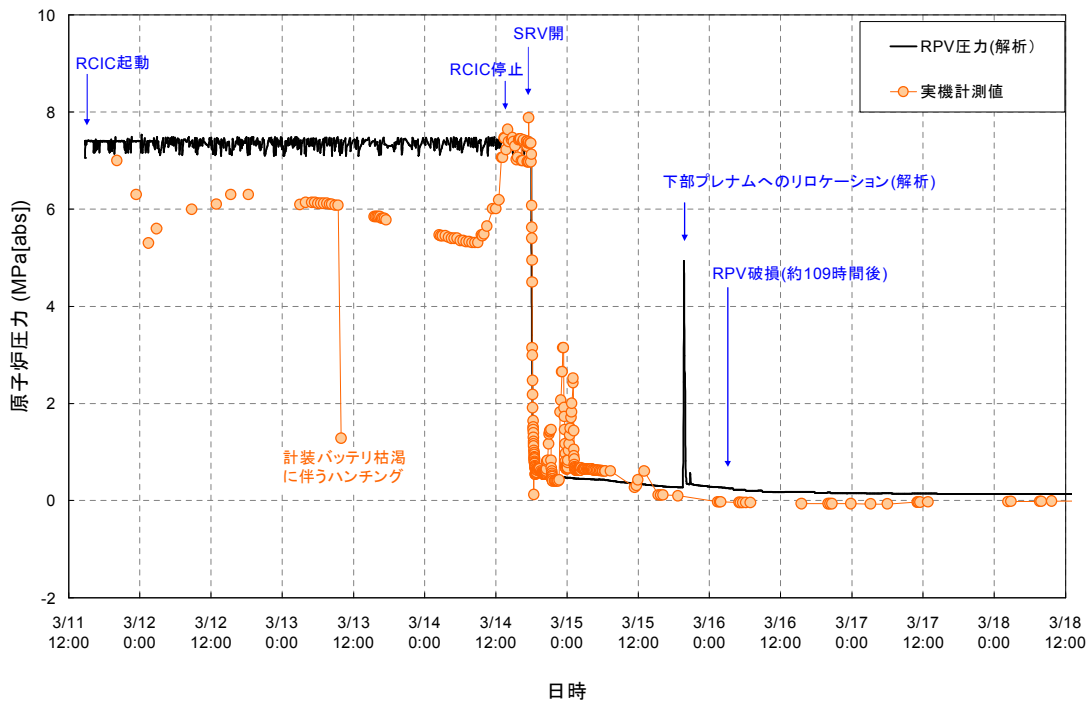


図3. 2. 2. 2 2号機 原子炉压力容器圧力変化【その2】

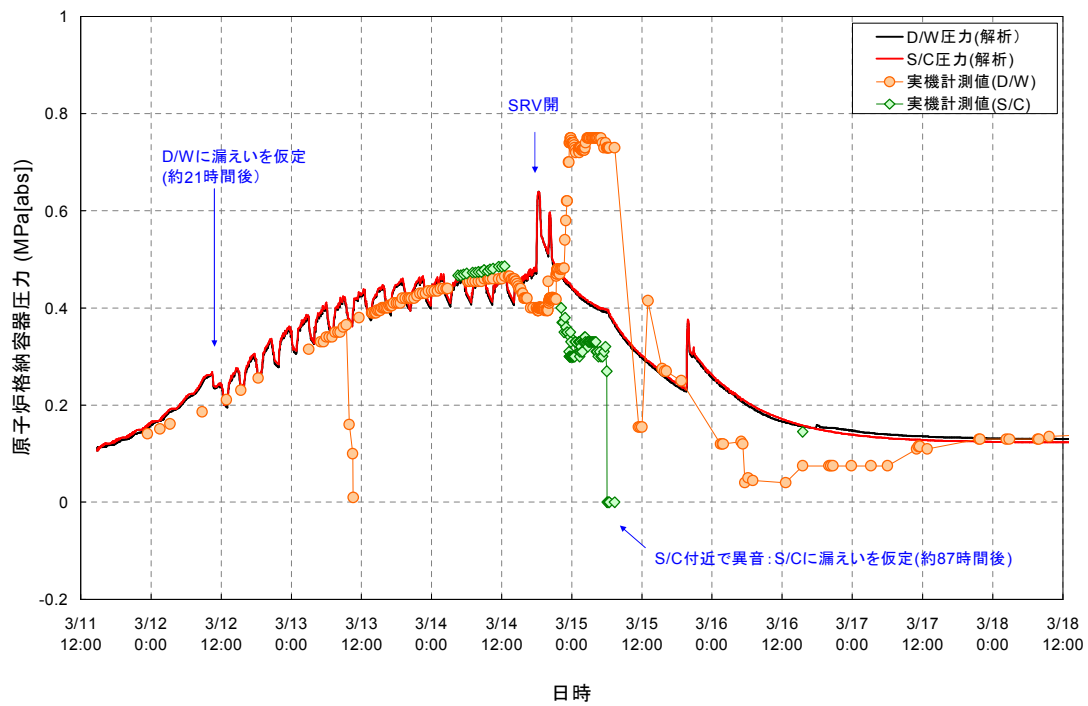


図3. 2. 2. 3 2号機 原子炉格納容器圧力変化【その2】

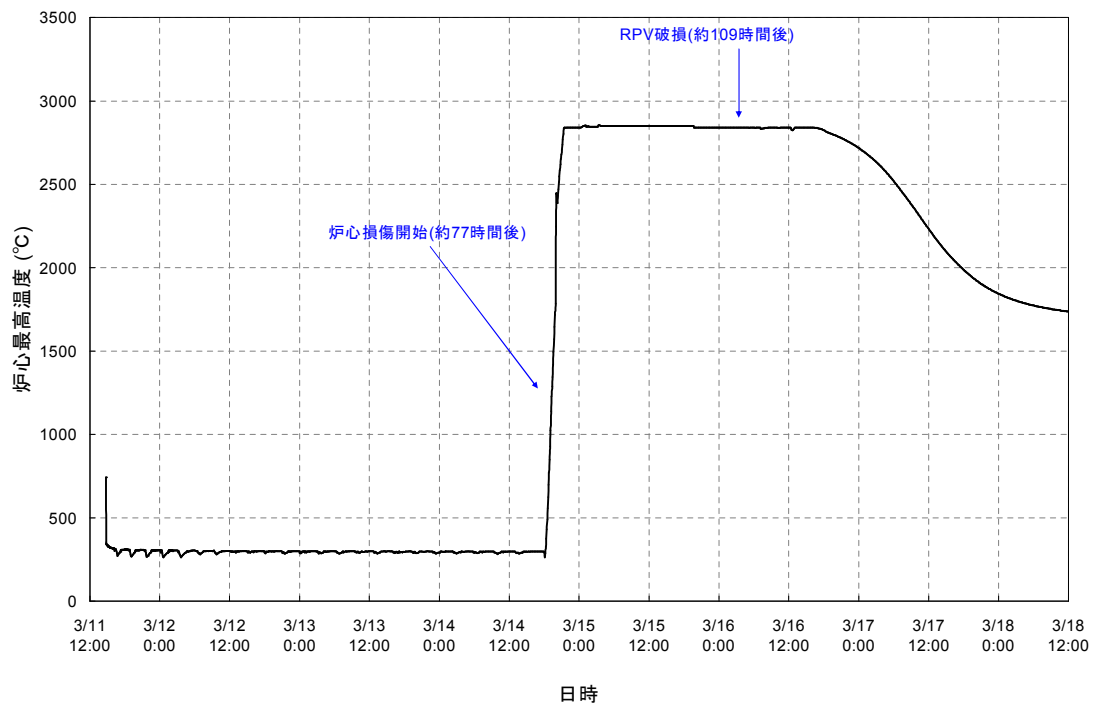


図3. 2. 2. 4 2号機 炉心温度変化【その2】

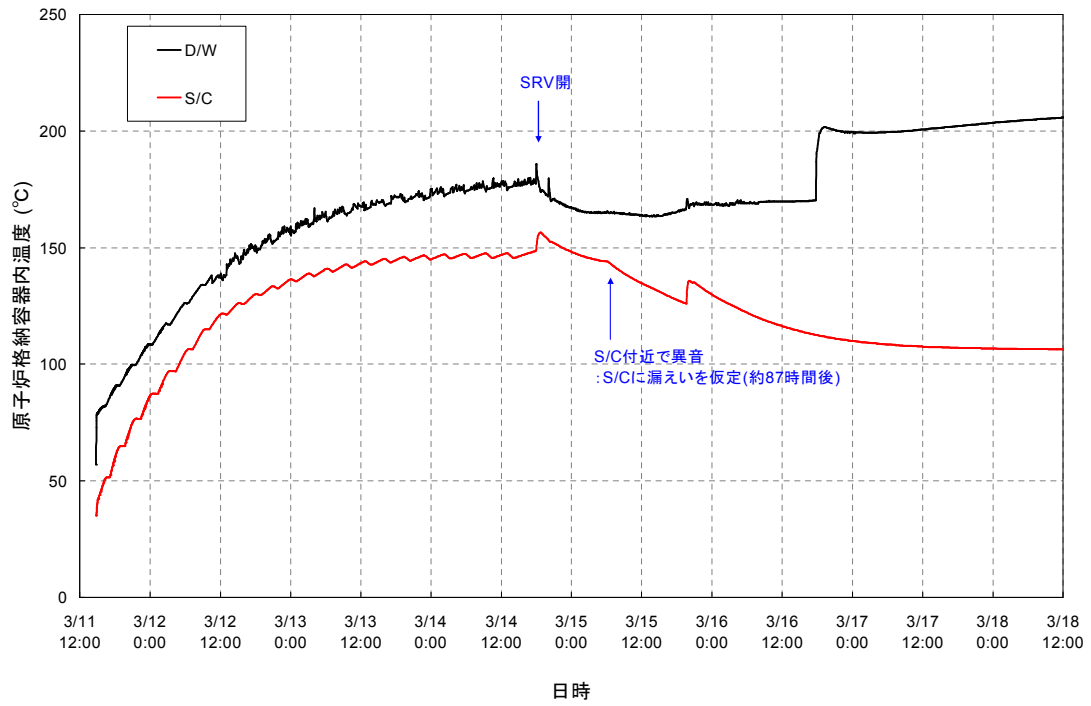


図3. 2. 2. 5 2号機 原子炉格納容器温度変化【その2】

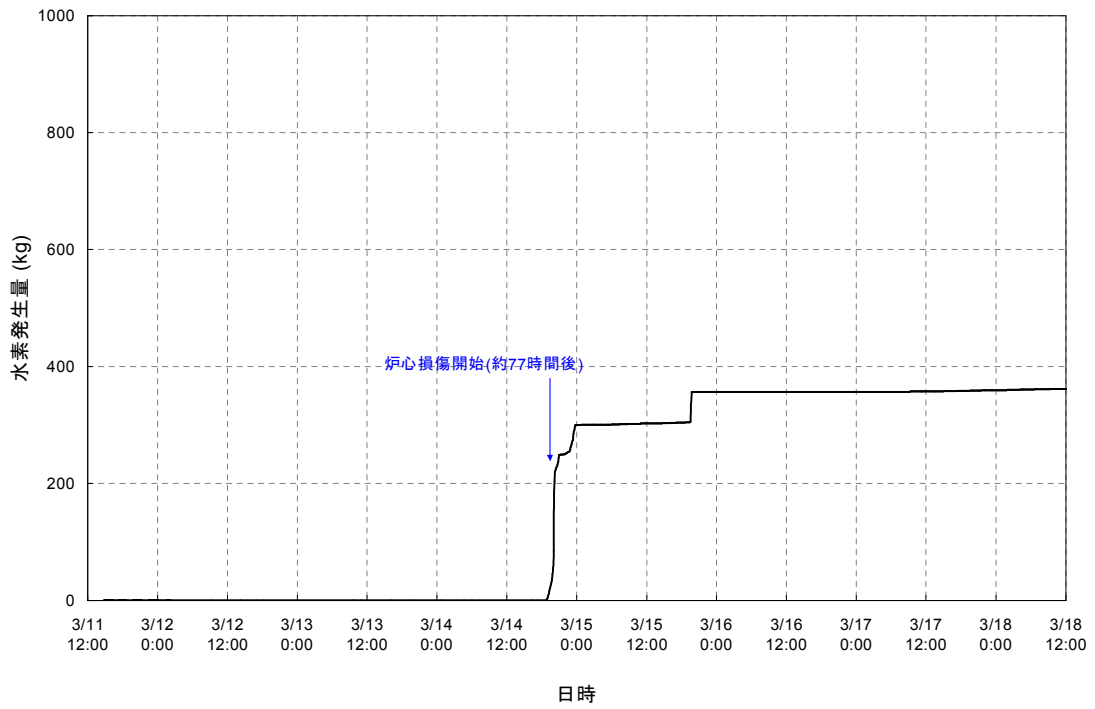


図3. 2. 2. 6 2号機 水素発生量変化【その2】

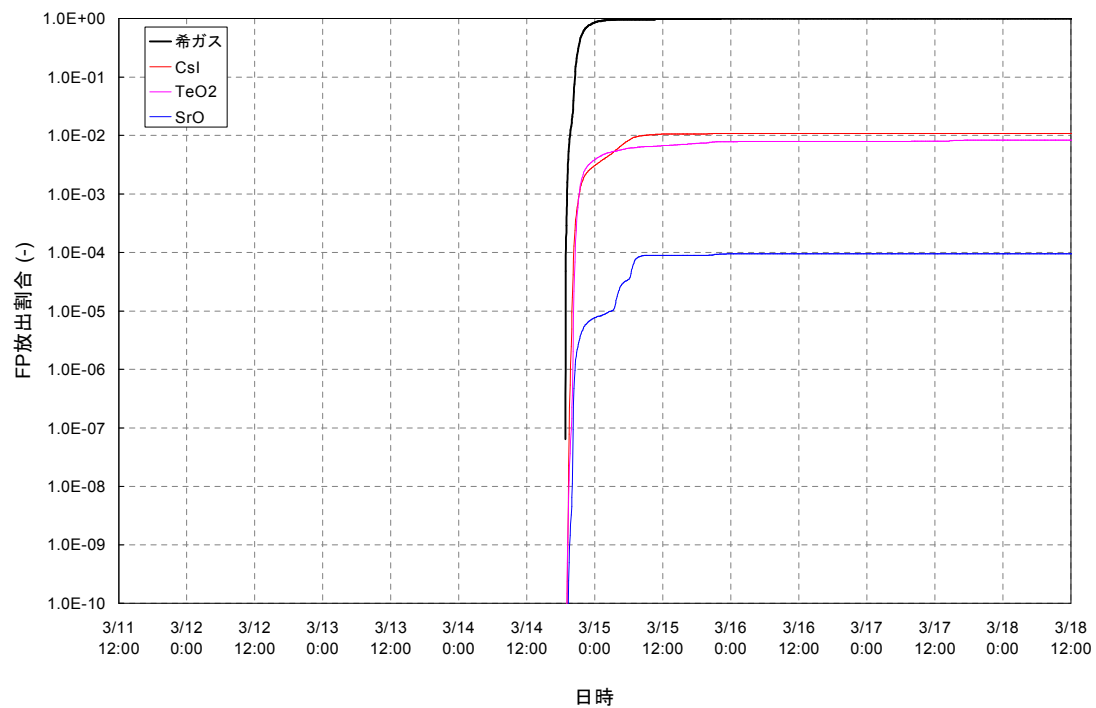


図 3. 2. 2. 7 2号機 FPの放出割合 (1 / 3) 【その2】

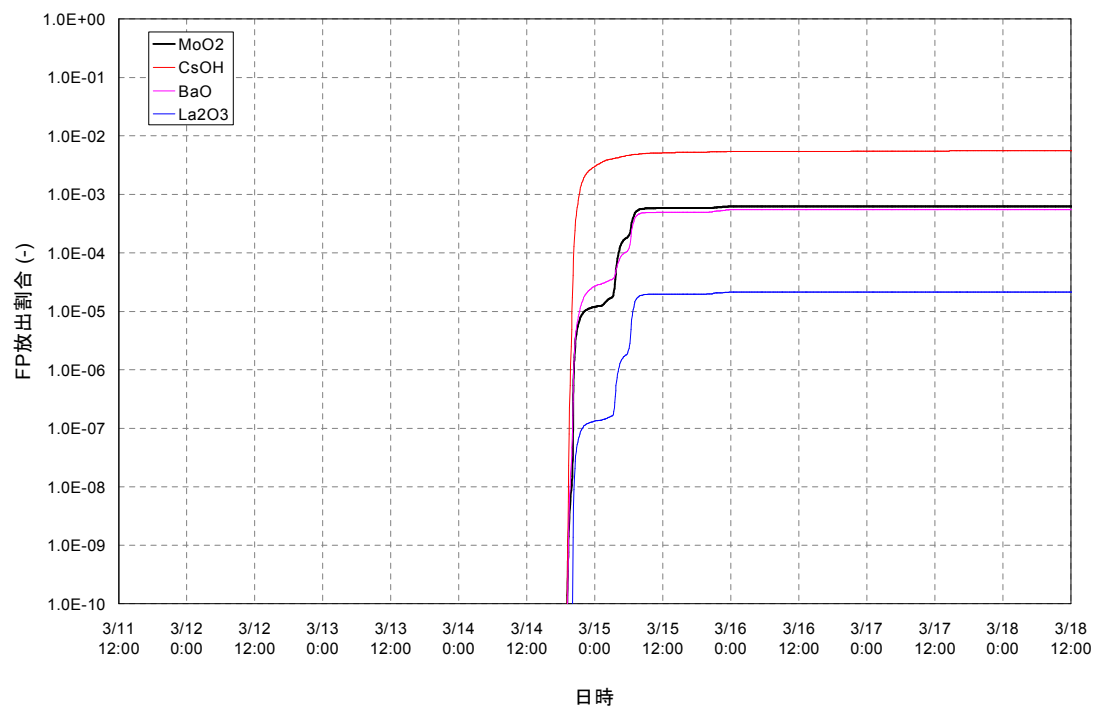


図 3. 2. 2. 7 2号機 FPの放出割合 (2 / 3) 【その2】

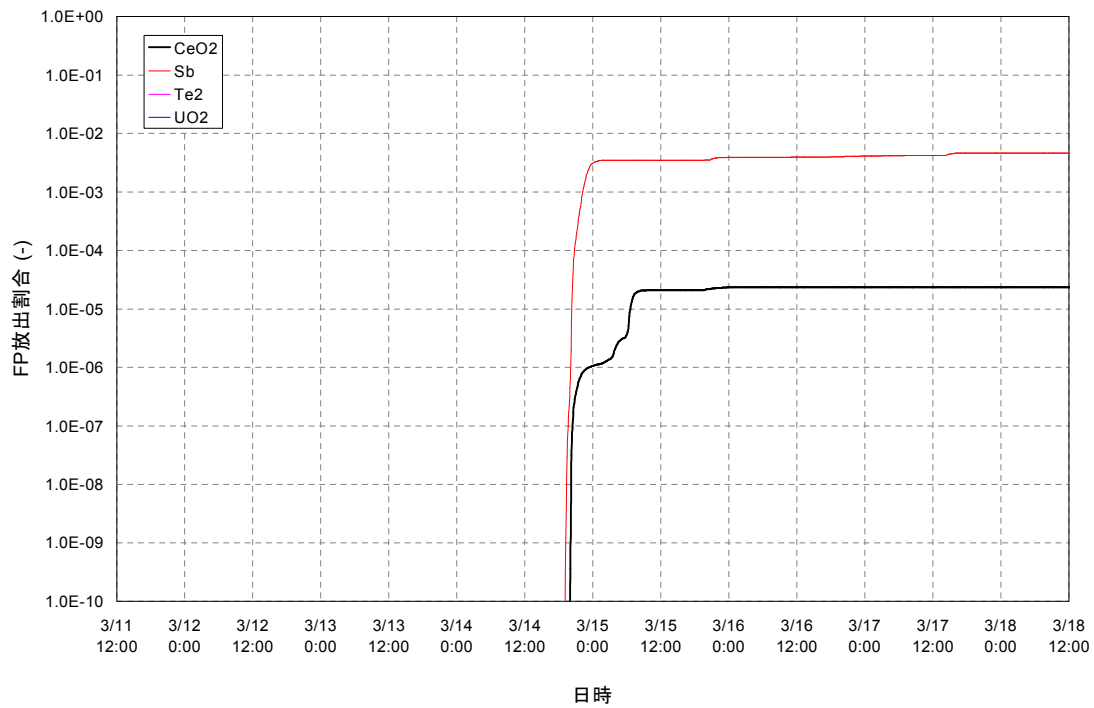


図 3. 2. 2. 7 2号機 FPの放出割合 (3 / 3) 【その2】

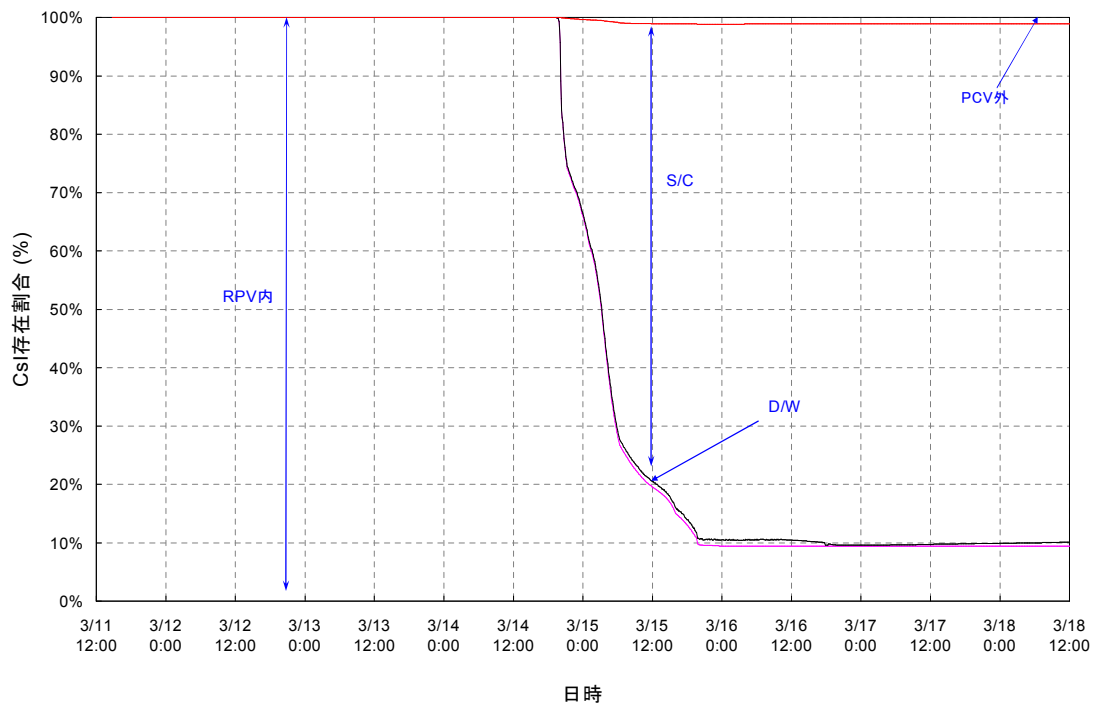


図 3. 2. 2. 8 2号機 FPの存在割合 (1 / 2) 【その2】

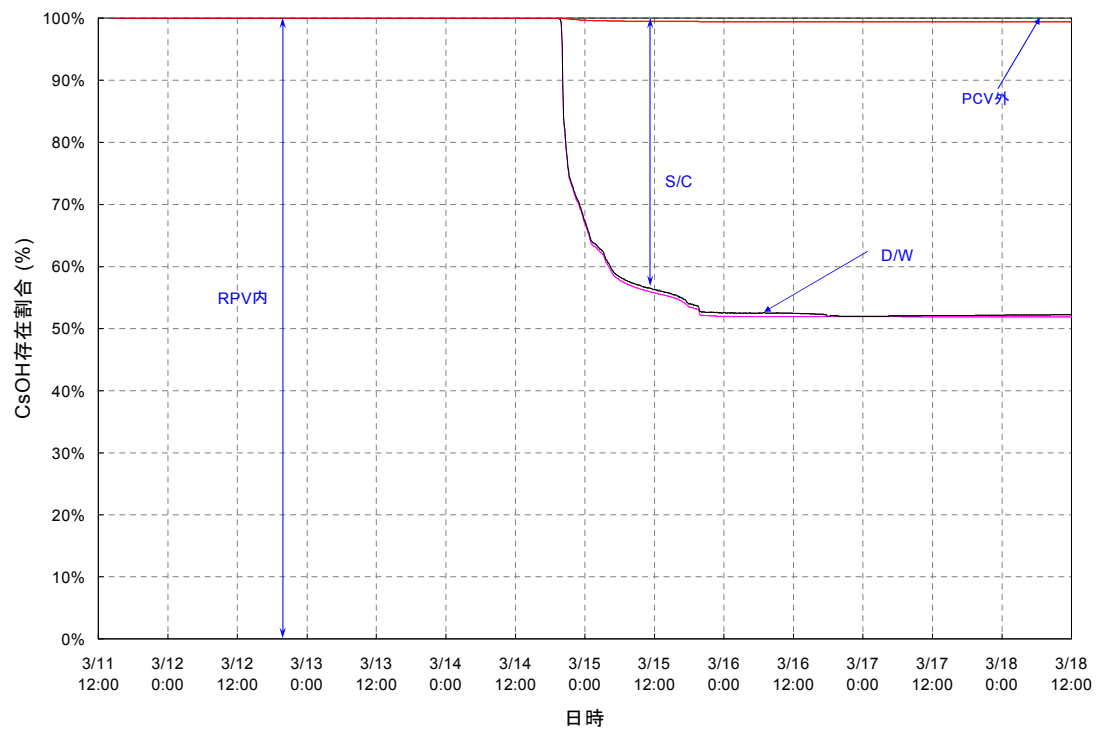
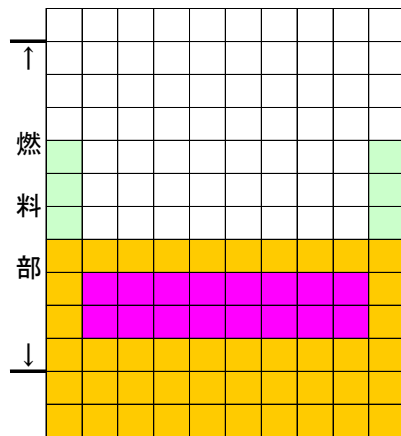
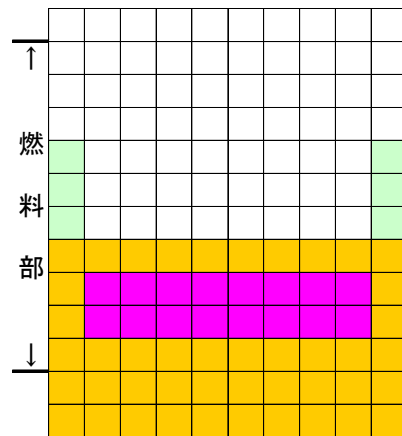


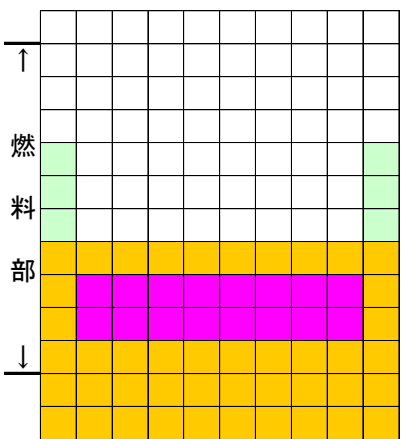
図 3. 2. 2. 8 2号機 FP の存在割合 (2 / 2) 【その 2】



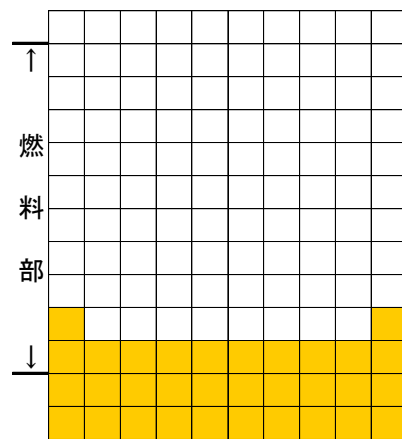
スクラム後 約 87 時間



スクラム後 約 96 時間



スクラム後 約 100 時間



スクラム後 約 109 時間

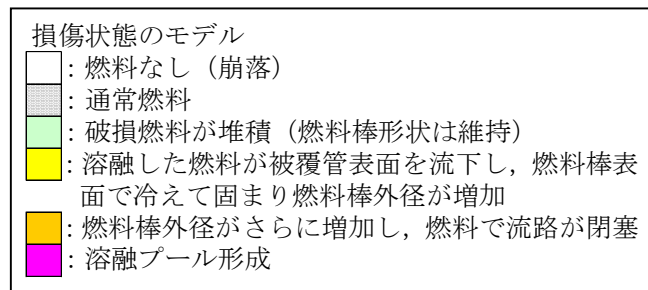


図 3. 2. 2. 9 2号機 炉心の状態図【その2】

3. 3 福島第一原子力発電所3号機

3. 3. 1 解析条件

福島第一原子力発電所3号機の主要な解析条件について表3. 3. 1及び表3. 3. 2に示す。

解析は以下の2つのケースを行った。

① 解析ケース

【その1】：原子炉水位の計測値にあわせるため、消防ポンプの吐出側の流量ではなく、原子炉水位維持を可能な量として少なめに仮定する

【その2】：原子炉水位は燃料域内において維持できていないとして、消防ポンプ吐出側の流量ではなく、燃料域以下程度を維持する注水量を仮定する

表3. 3. 1 プラント条件

項目	条件
初期原子炉出力	2381 MWt (定格出力)
初期原子炉圧力	7.03 MPa[abs] (通常運転圧力)
初期原子炉水位	通常水位
格納容器空間容積	D/W 空間 : 4240 m ³ S/C 空間 : 3160 m ³
サプレッション・プール水量	2980 m ³

表3. 3. 2 事象イベント

凡例 ○：記録あり △：記録に基づき推定 □：解析上の仮定として整理

No	解析条件		解析事象	分類	備考	○の場合：記録の参照箇所等 △、□の場合：推定、仮定した根拠等
	日時					
1	3/11	14:46	地震発生	○	—	
2		14:47	原子炉スクラム	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌	
3		15:06	RCIC 手動起動	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
4		15:25	RCIC トリップ (L-8)	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
5		15:38	全交流電源喪失	○	5/16 報告 4.運転日誌類 当直長引継日誌	
6		16:03	RCIC 手動起動	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
7	3/12	11:36	RCIC トリップ	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
8		12:35	HPCI 起動 (L-2)	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
9	3/13	2:42	HPCI 停止	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
10		9:08 頃	逃がし安全弁による原子炉圧力容器減 圧操作	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	
11		9:20	格納容器ベントについて、格納容器圧 力の低下を確認	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めでは、8:41 圧力抑制室側 AO 弁操作 によってベントライン構成が終了しているが、格納容器の圧力降下が 確認された 9:20 をベントの開始と仮定	
12		9:25	淡水注入開始	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1	
13		11:17	格納容器ベントについて、駆動用空気 圧抜けによるベントライン AO 弁閉確 認	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め	

14		12:30	格納容器ベントについて、開操作	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め
15		13:12	淡水注入より海水注入に切替	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1
16		14:10	格納容器ベントについて、ベント弁閉を仮定	△	D/W 圧力の上昇から、3/13 12:30 開始のベントの終了をこの時刻に仮定。なお、5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めでは、3/15 16:00 に閉が確認されたことが記載されている
17	3/14	1:10	水源ピットへの水補給のため注水停止	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め
18		3:20	水源ピットへの水補給完了、注水開始	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め ※1
19		5:20	格納容器ベントについて、圧力抑制室側 AO 弁操作	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め
20		12:00	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁閉を仮定	△	D/W 圧力の上昇から、3/14 5:20 開始のベントの終了をこの時刻に仮定。なお、5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めでは、3/15 16:00 に閉が確認されたことが記載されている
21		16:00	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁開操作を仮定	△	D/W 圧力の下降から、当該時刻のベントを仮定
22		21:04	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁閉操作を仮定	△	D/W 圧力の上昇から、当該時刻にベントの終了を仮定
23	3/15	16:05	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁開操作	○	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏め
24	3/16	1:55	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁開操作	△	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めでは当該の時刻にベントが実施されたことが記載されているが、D/W 圧力の変動がないことから、ベントは実施されなかったものと仮定
25	3/17	21:00	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁閉確認	△	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めでは、3/15 16:05 ベント弁開操作に対する閉確認がなされているものの、D/W 圧力の推移から閉していな

					いものと仮定
26		21:30	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁開操作	△	5/16 報告 7.各種操作実績取り纏めでは、開操作の記載があるものの、D/W 圧力の推移から開していないものと仮定
27	3/18	5:30	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁閉確認	—	5/16 報告に当該ベントの記載があるものの、本解析では解析対象の期間外
28		5:30頃	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁開操作	—	5/16 報告に当該ベントの記載があるものの、本解析では解析対象の期間外
29	3/19	11:30	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁閉確認	—	5/16 報告に当該ベントの記載があるものの、本解析では解析対象の期間外
30	3/20	11:25頃	格納容器ベントについて、圧力抑制室側弁開操作	—	5/16 報告に当該ベントの記載があるものの、本解析では解析対象の期間外

※1 注水流量変更の時期や注水流量については、7.各種操作実績取り纏め（5/16 報告）の日付毎の炉内への注水量に基づき、日毎の平均流量及び注水総量を超えないように設定。

3. 3. 2. 1 解析結果【解析ケース（その1）】

3. 3. 1 で示した条件に基づき、解析した結果を表 3. 3. 3 に示す。また、原子炉水位の変化等の解析結果について図 3. 3. 1. 1 から図 3. 3. 1. 13 に示す。

表 3. 3. 3 3号機解析結果の纏め

項目	結果
炉心露出開始時間	地震発生後約 40 時間
炉心損傷開始時間	地震発生後約 42 時間
原子炉圧力容器破損時間	— (本解析では原子炉圧力容器破損に至らず)

解析結果の詳細について以下に述べる。

原子炉水位は、HPCI が停止した後徐々に低下し、炉心が露出し始め、SRV 解放により炉心は完全に露出することとなり、炉心損傷が開始する（図 3. 3. 1. 1 参照）。注水は開始されるものの今回の解析では計測値で示した原子炉水位に見合った注水量となるよう仮定して解析を行っていることから、注水量は十分ではなく、炉心領域の半分程度が冠水する程度に維持される。このため炉心は損傷することとなる。

原子炉圧力は、RCIC、HPCI が停止するまでの間は、SRV 作動圧力近傍で高圧状態に維持される。HPCI 停止後の SRV 開放により原子炉は急速に減圧され、その後大気圧近傍まで低下する（図 3. 3. 1. 2）。なお、解析では RCIC と HPCI は継続して運転していると仮定しているが、HPCI が動作している部分において圧力の低下傾向が見られている。例えば HPCI の蒸気配管を通じて格納容器外へ蒸気がリークすると仮定して解析を行うと、原子炉圧力容器圧力変化及び格納容器圧力変化は概ね一致する結果となる（図 3. 3. 1. 10 及び図 3. 3. 1. 11 参照）。但し、実際に HPCI の系統にリークパスが形成されていたのか、計器の問題なのかについては現状では特定できない。

格納容器圧力は、炉内発生蒸気を S/C へ放出するため D/W 及び S/C の圧力は上昇を続ける。また、SRV の開放により圧力は一時的に大きく上昇するが、S/C ベントにより圧力は低下する。その後においてもベント操作に応じて圧力は増加・減少を繰り返す。（図 3. 3. 1. 3 参照）

炉心温度は、HPCI 停止以降、原子炉水位が低下するのに伴い温度が上昇し、燃料ペレットの熔融が発生しているとの結果となった。（図 3. 3. 1. 4 参照）

水素は、炉心が露出し、燃料被覆管の温度が上昇始めると同時に大量に発生し、地震後約 1 週間で燃料有効部被覆管の約 70% の反応に相当する水素が発生する。解析においては、S/C ベントにより大部分が PCV 外へ放出されるが、水素発生総量では 3 号機の原子炉

建屋の爆発を引き起こすのに十分な量であると考えられる（図3.3.1.6参照）。

FPの放出は、炉心損傷後、希ガスは原子炉圧力容器からS/Cに放出され、ベントにより、希ガスの約86%が放出されるとの結果であった。また、ヨウ化セシウムは約0.5%の放出であり、大半はS/C内に存在する（図3.3.1.7及び図3.3.1.8参照）。

炉心の状態は、一部溶融プールが存在しているものの、燃料域にとどまり、原子炉圧力容器破損には至らない結果となった。これは初期のRCIC・HPCIによる注水が比較的継続的に行われていたこと、HPCI停止から注水開始までの時間が1号機に比べて短かったこと、などが理由として挙げられる（図3.3.1.9参照）。

また、本解析では、水源ピットへの水補給のため、注水を途中約2時間停止しているが、仮にこの注水が継続して行われていた場合について解析を実施した。初期の原子炉水位は若干ではあるが、高めに水位するも、燃料域を冠水するには至らないことから、炉心は損傷することとなる（図3.3.1.12及び図3.3.1.13参照）。

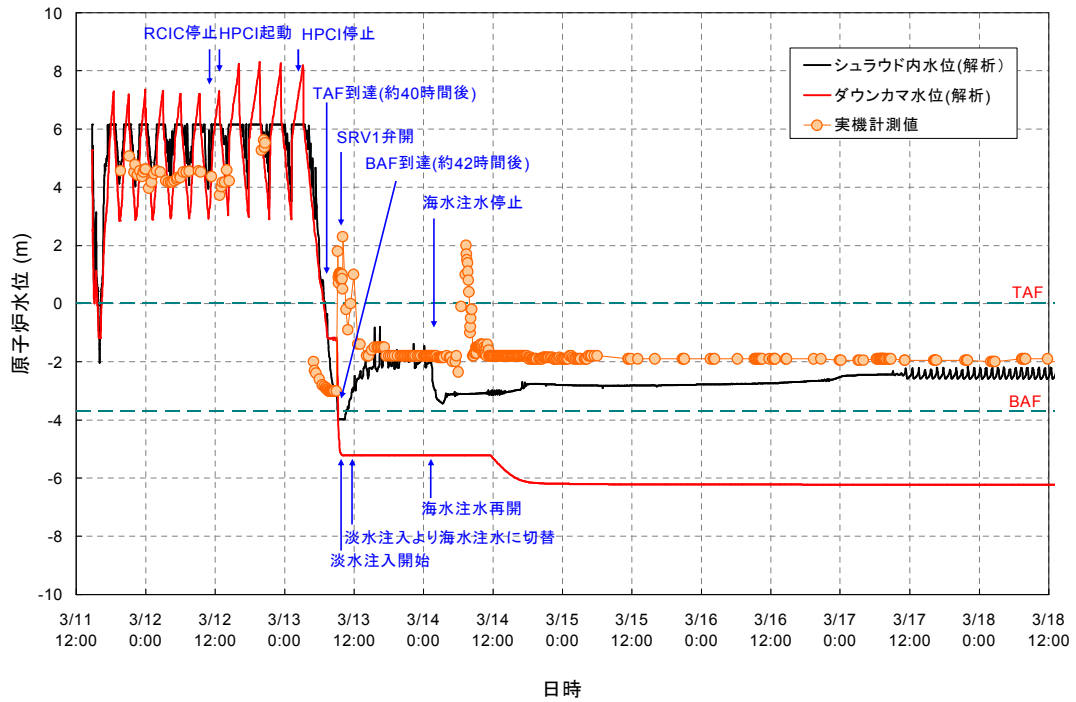


図 3. 3. 1. 1 3号機 原子炉水位変化【その1】

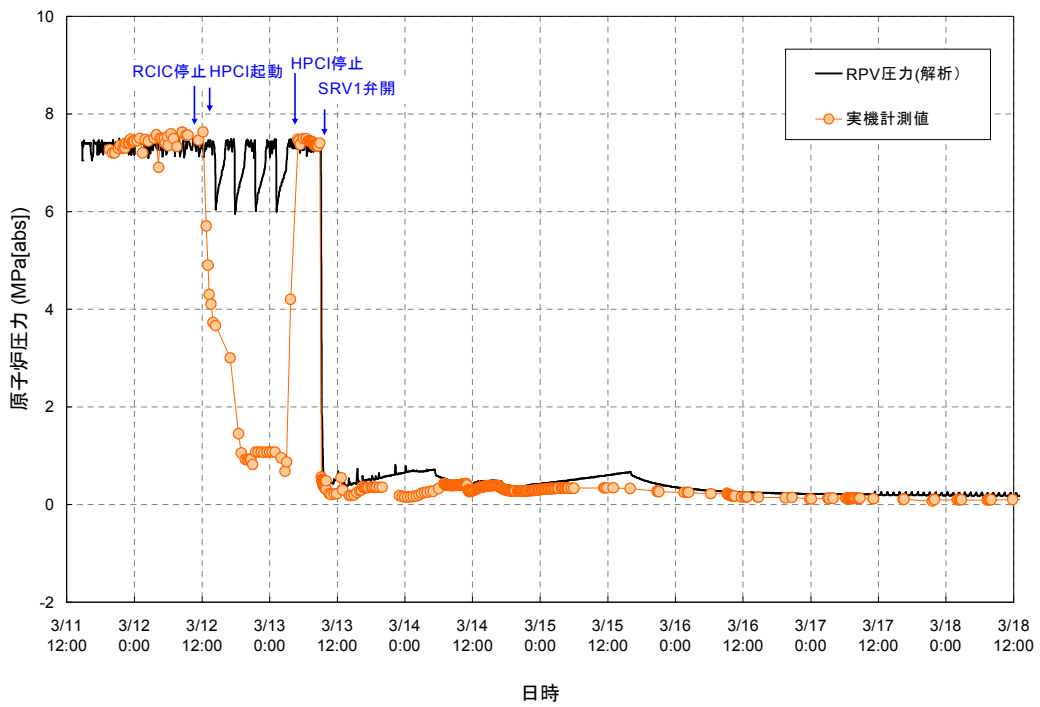


図 3. 3. 1. 2 3号機 原子炉压力容器圧力変化【その1】

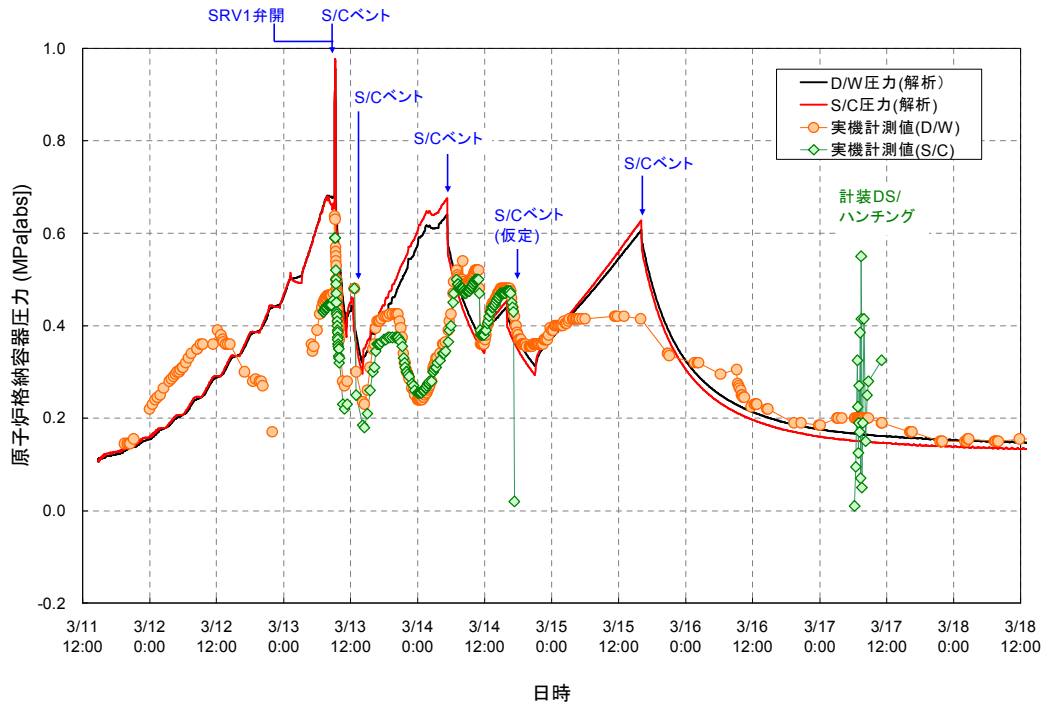


図3. 3. 1. 3 3号機 原子炉格納容器圧力変化【その1】

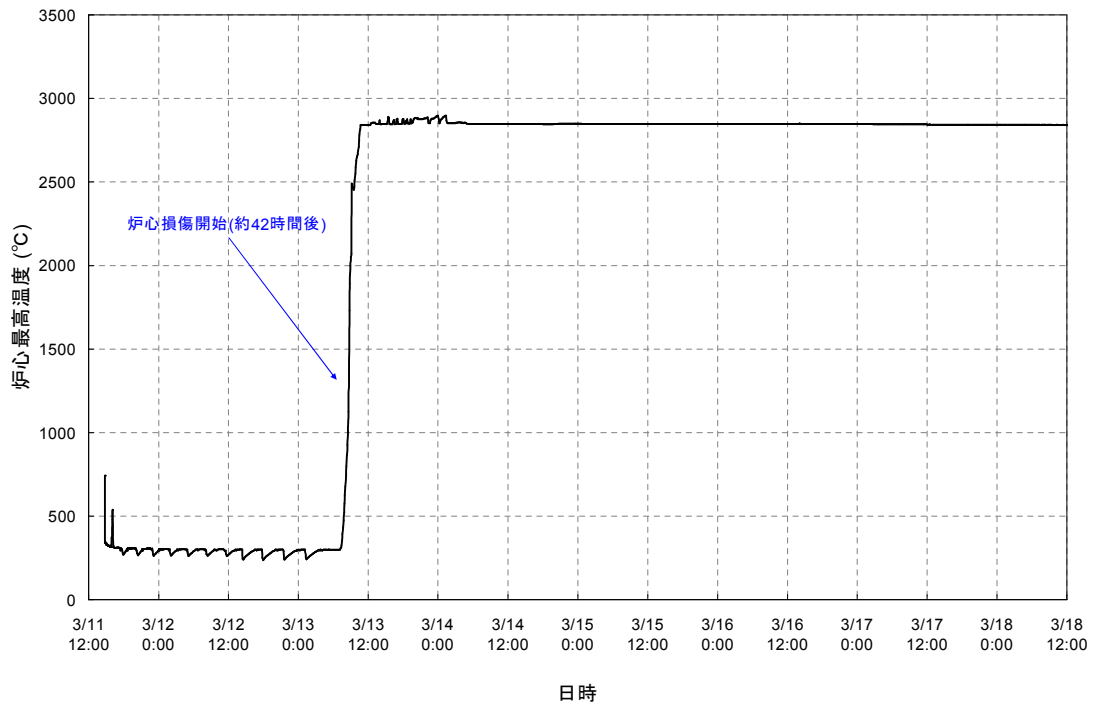


図3. 3. 1. 4 3号機 炉心温度変化【その1】

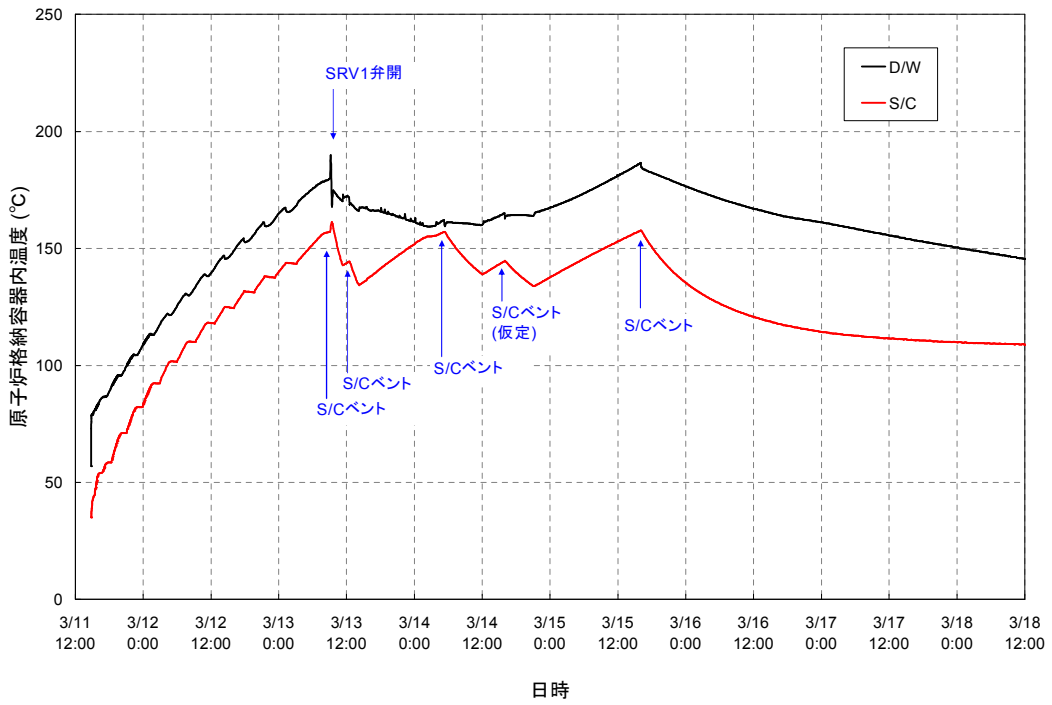


図 3. 3. 1. 5 3号機 原子炉格納容器温度変化【その1】

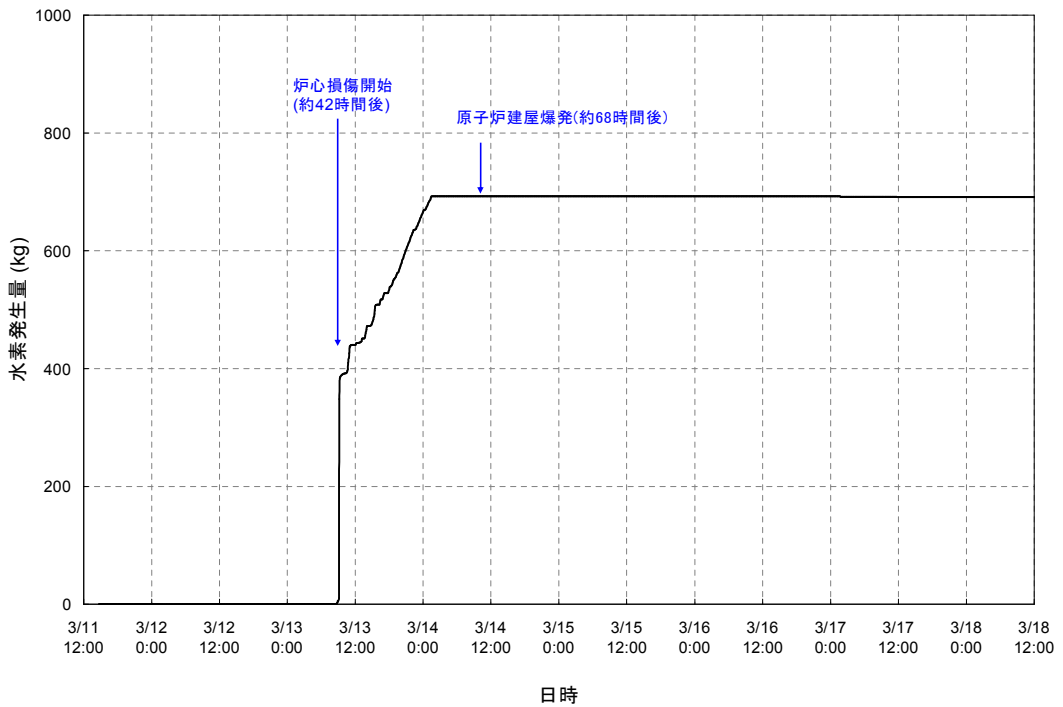


図 3. 3. 1. 6 3号機 水素発生量変化【その1】

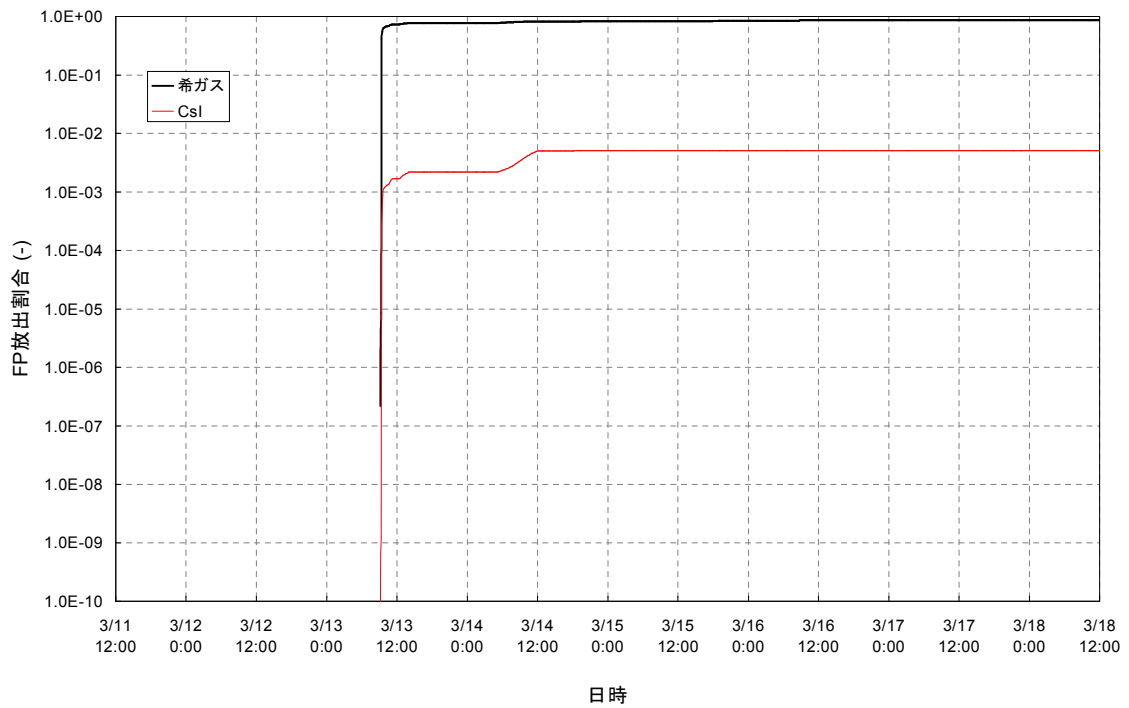


図 3. 3. 1. 7 3号機 FPの放出割合【その1】

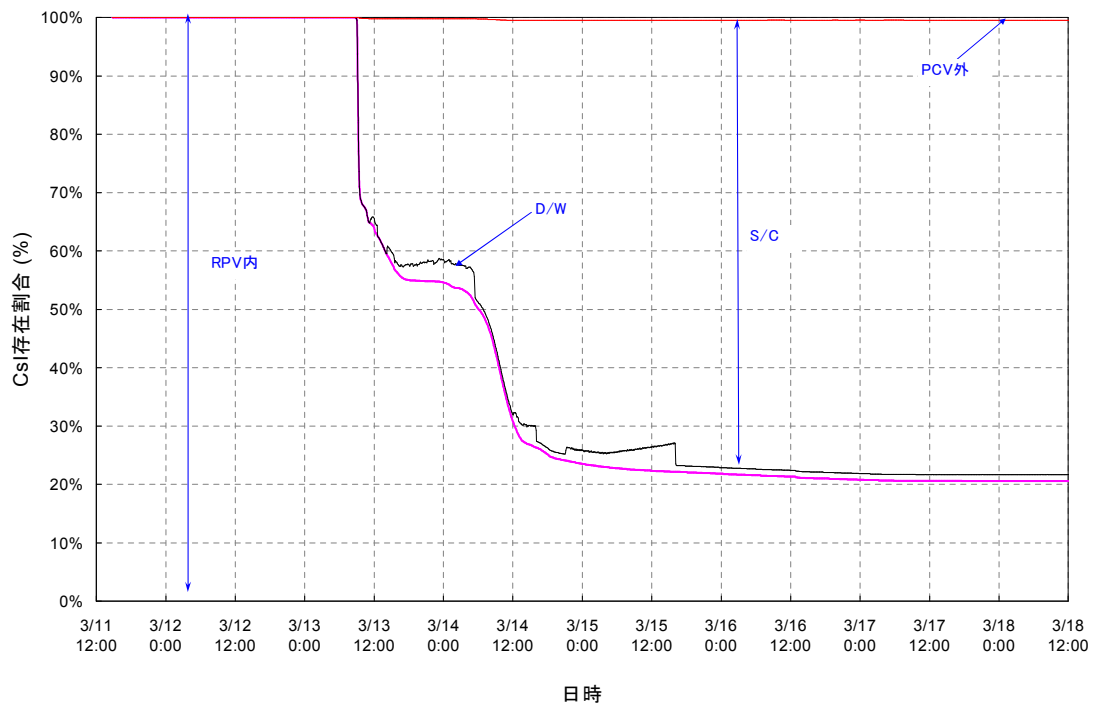


図 3. 3. 1. 8 3号機 FPの存在割合 (1 / 2)【その1】

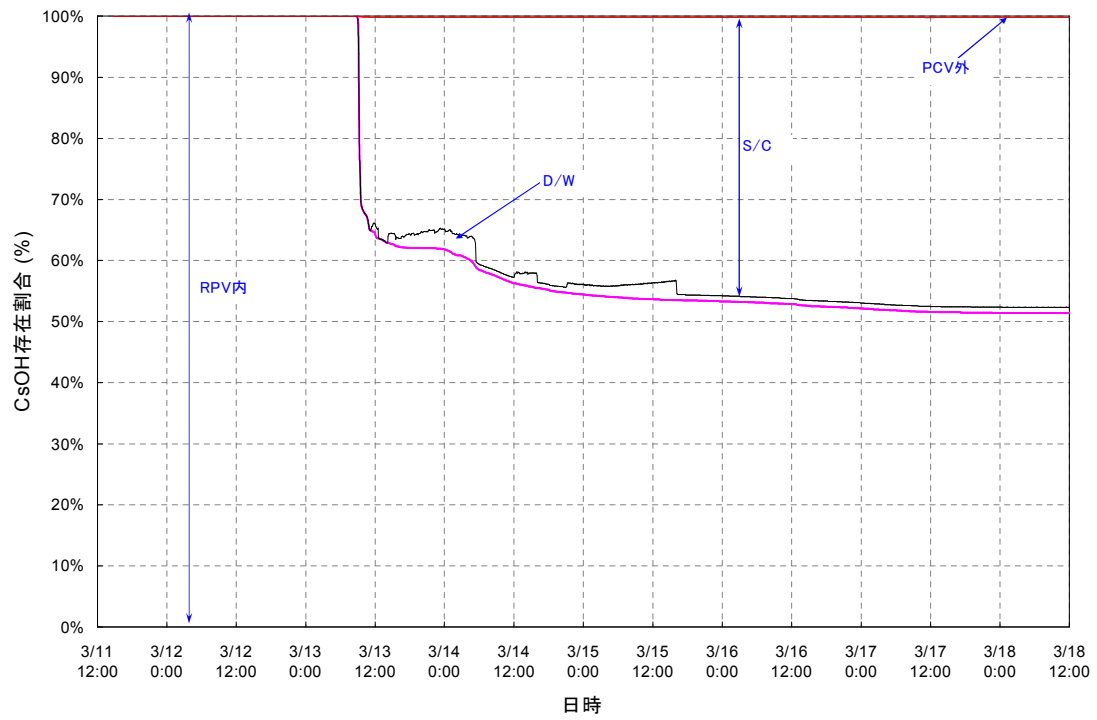
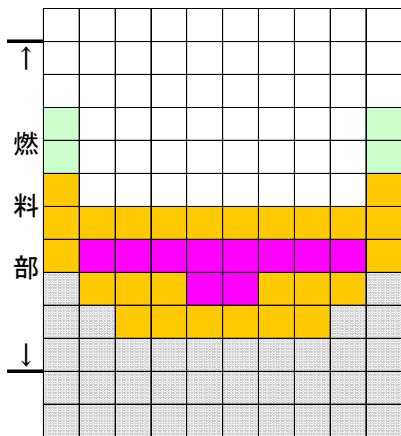
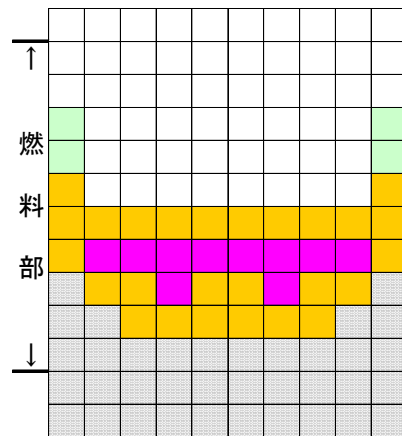


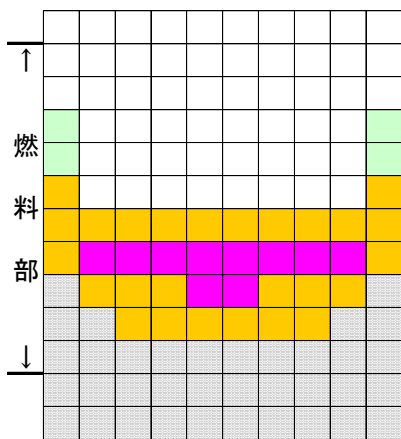
図 3. 3. 1. 8 3号機 FPの存在割合 (2 / 2) 【その1】



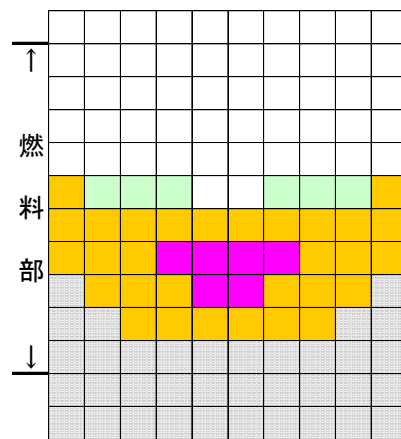
スクラム後 約64時間



スクラム後 約68時間



スクラム後 約72時間



スクラム後 約1週間

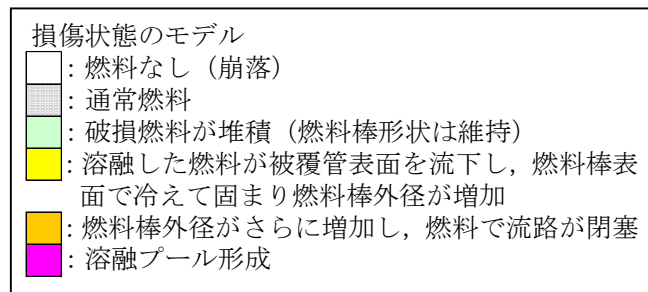


図3.3.1.9 3号機 炉心の状態図【その1】

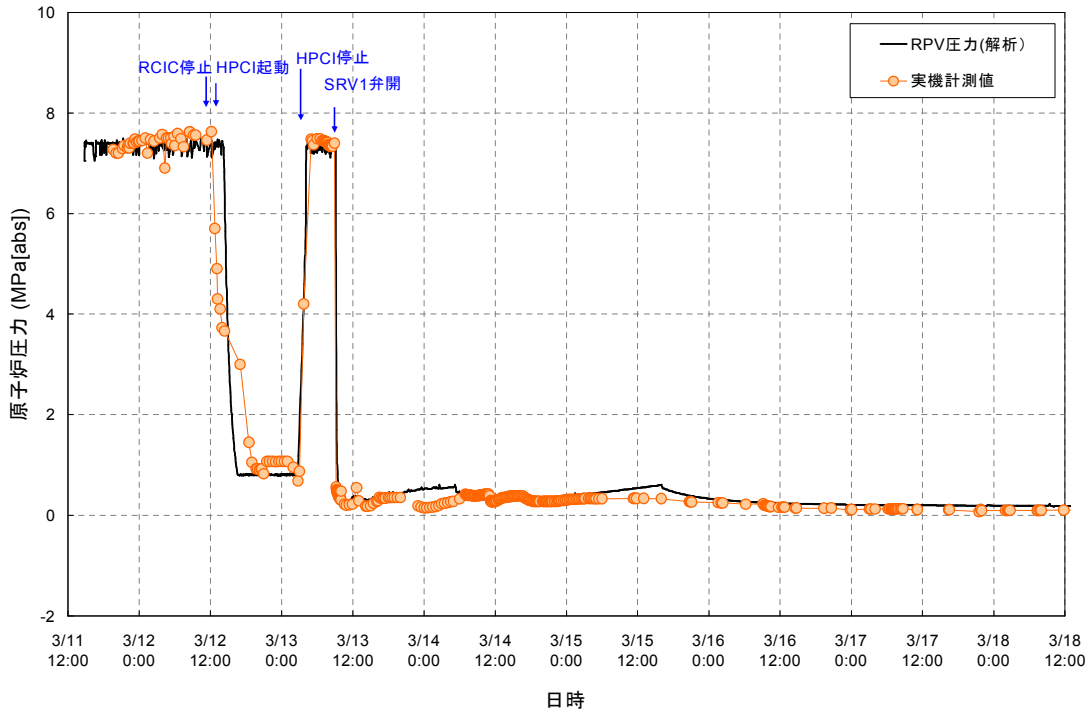


図3. 3. 1. 10 3号機 原子炉圧力変化【その1】(蒸気漏えい)

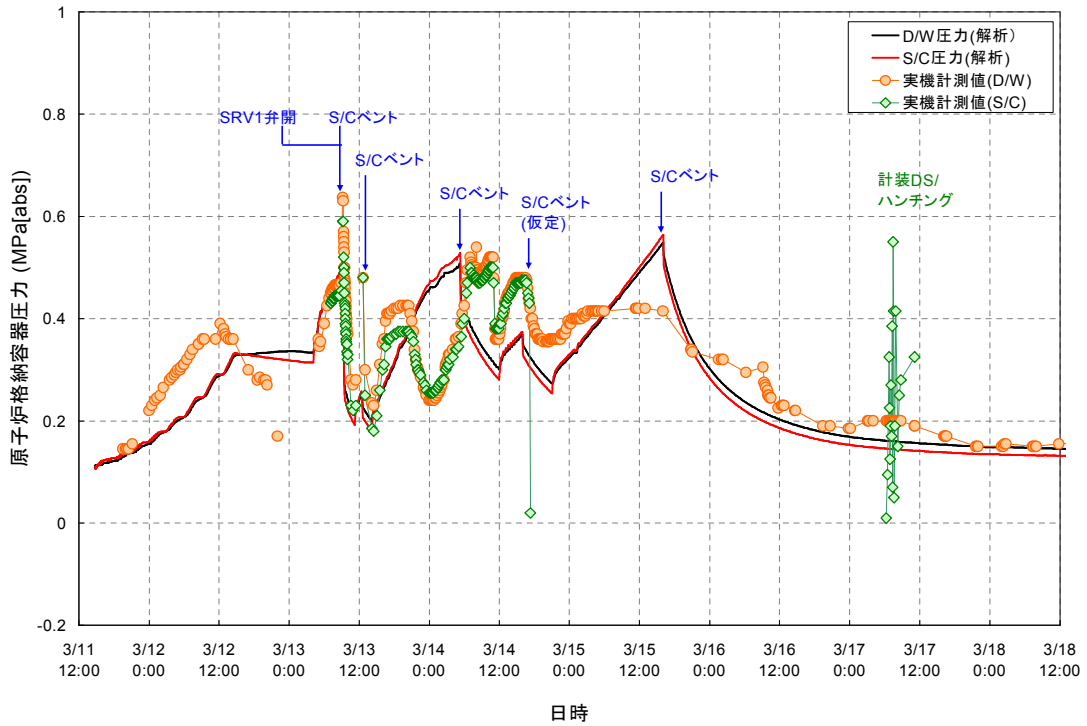


図3. 3. 1. 11 3号機 原子炉格納容器圧力変化【その1】(蒸気漏えい)

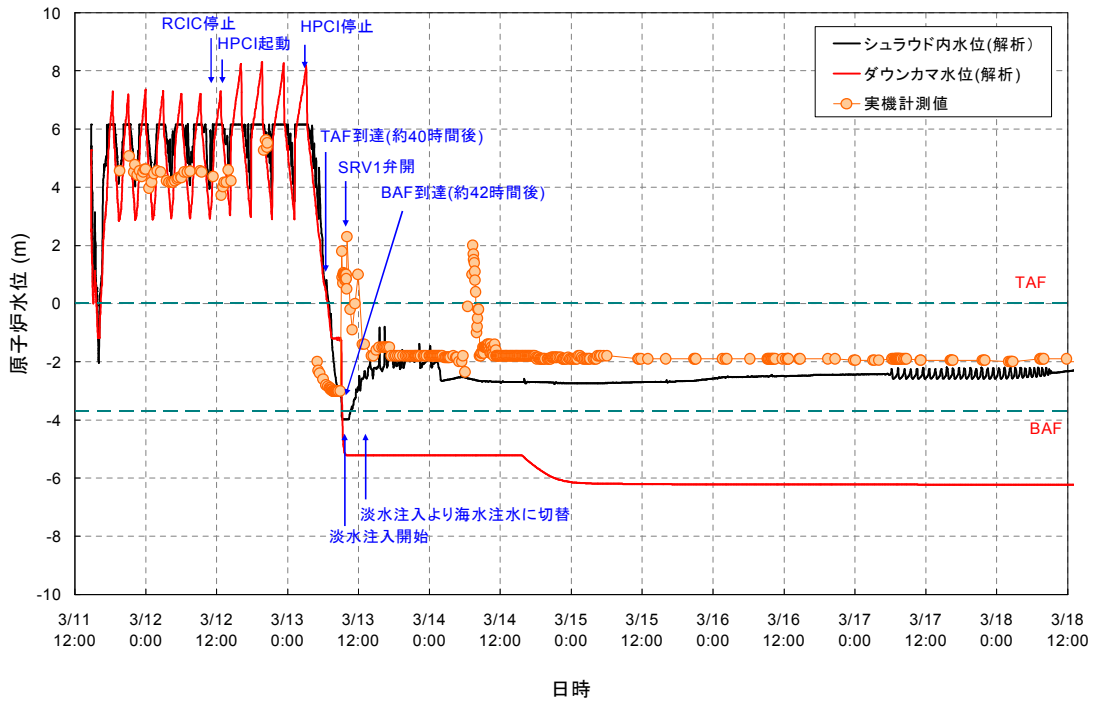


図3. 3. 1. 12 3号機 原子炉水位変化【その1】(注水継続)

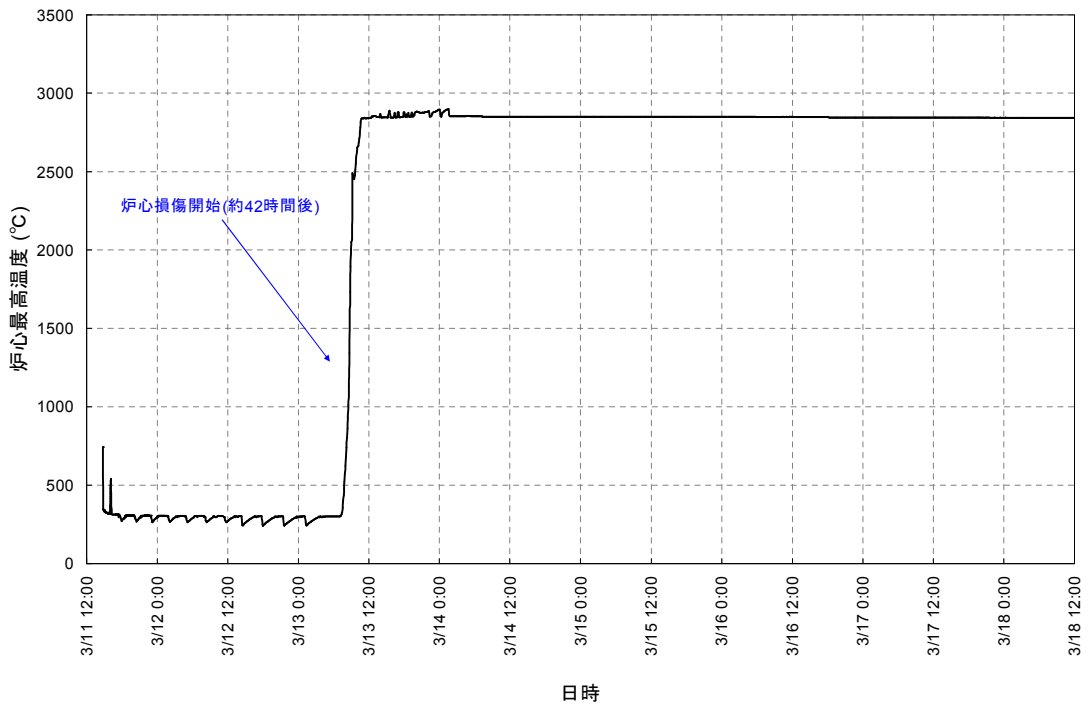


図3. 3. 1. 13 3号機 炉心温度変化【その1】(注水継続)

3. 3. 2. 2 解析結果【解析ケース（その2）】

3. 3. 1で示した条件に基づき、解析した結果を表3. 3. 4に示す。また、原子炉水位の変化等を解析結果について図3. 3. 2. 1から図3. 3. 2. 9に示す。

表3. 3. 4 3号機解析結果の纏め

項目	結果
炉心露出開始時間	地震発生後約 40 時間
炉心損傷開始時間	地震発生後約 42 時間
原子炉圧力容器破損時間	地震発生後約 66 時間

解析結果の詳細について以下に述べる。

原子炉水位変化は、HPCI が停止して以降、徐々に低下し、炉心が露出し始め、SRV 開放により炉心は完全に露出することとなり、炉心損傷が開始する（図3. 3. 2. 1参照）。注水は開始されるものの、仮定した注水量が十分ではないため有効燃料棒底部以上には上がらず、炉心損傷は【その1】よりも進展する結果となる。

原子炉圧力は、SRV による減圧以降、炉心が下部プレナムへ移行する際に発生する蒸気により一時的な圧力の増加が見られるが、その他の挙動については、【その1】の解析結果とほぼ同様の推移を示している（図3. 3. 2. 2参照）。

原子炉格納容器圧力は、原子炉圧力同様、炉心が下部プレナムへ移行する際に発生する蒸気により一時的な圧力の増加が見られるが、その他の挙動については、【その1】の解析結果とほぼ同様の推移を示している（図3. 3. 2. 3参照）。

炉心温度変化は、HPCI 停止以降、原子炉水位が低下するのに伴い温度が上昇し、燃料ペレットが融点に達するとの結果が得られた（図3. 3. 2. 4参照）。

水素は、炉心が露出し、燃料被覆管の温度が上昇し始める時期に大量に発生し、燃料有効部被覆管の約 59%の反応に相当する量が発生する。解析においては、S/C ベントにより大部分が PCV 外へ放出される。水素発生総量は、3号機の原子炉建屋の爆発を引き起こすのに十分な量であると考えられる（図3. 3. 2. 6参照）。

放射性物質の放出は、炉心損傷後、希ガスは原子炉圧力容器から S/C に放出され、ベントにより、希ガスのほぼ全量が放出されるとの結果であった。また、ヨウ化セシウムは約 0.5%の放出であり、大半は S/C 内に存在するとの結果であった。（図3. 3. 2. 7及び図3. 3. 2. 8参照）

一部の燃料については原子炉圧力容器内にとどまる結果となったものの、原子炉圧力容器は破損する結果となった。初期の注水量が【その1】より少ないため、炉心の損傷がさ

らに進展する結果となった（図3.3.2.9参照）。

3.3.3 評価結果

【その1】における解析では、3号機の炉心は一部溶融プールが存在しているものの、燃料域にとどまり、原子炉压力容器破損には至らないとの解析結果となった。【その2】における解析では、一部の燃料については原子炉压力容器内にとどまる結果となったものの、原子炉压力容器は破損するとの解析結果となった。

なお、1号機では原子炉水位計の校正を行った結果、原子炉压力容器内の水位は燃料域内にないということが分かった。同様のことが3号機で発生している可能性は否定できない。

プラントパラメータによれば、現在の原子炉压力容器の鋼材温度は約100℃～約200℃付近で推移しており、複数の測定点が注水量の変動等に同じように応答していること、5月に入り数点の温度が上昇を示しており、現在炉心流量を増加し経過を観察中であるが、このことから熱源は原子炉压力容器内にあると推定されること、原子炉压力容器底部の温度は約100℃～約170℃とその他の原子炉压力容器周りの温度と同程度で推移していることから、燃料の大部分は原子炉压力容器内で冷却されていると考えられる。

よって、本解析及びプラントパラメータによれば、炉心は大幅に損傷しているが、所定の装荷位置から下（下部プレナム）に移動・落下し、大部分はその位置付近で安定的に冷却できているものとする。

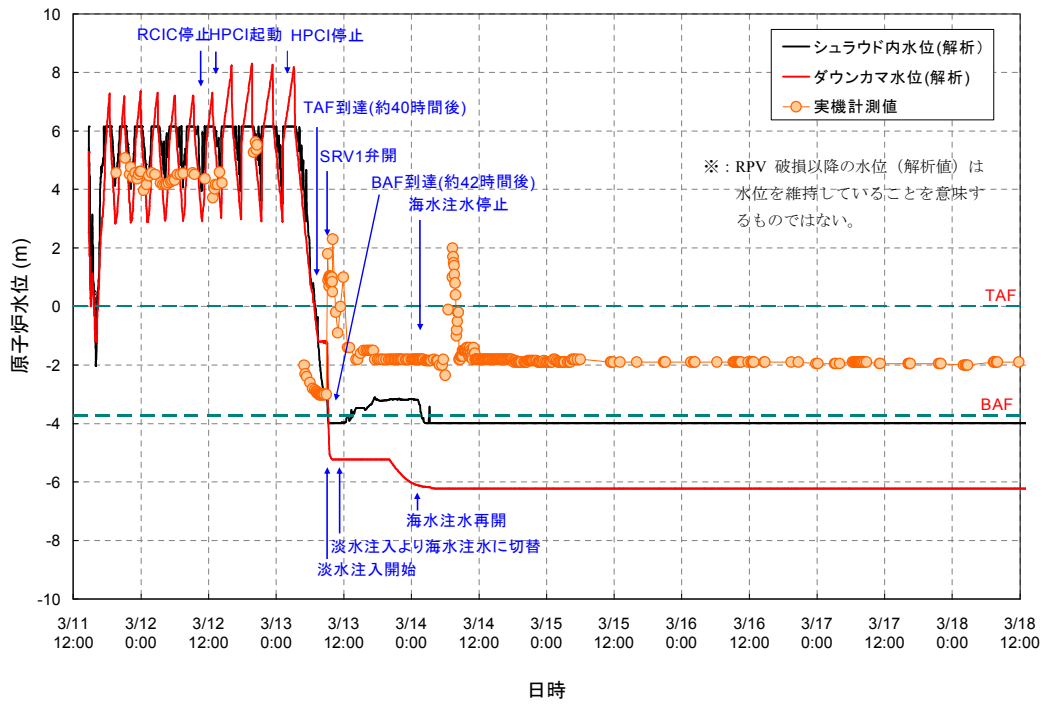


図 3. 3. 2. 1 3号機 原子炉水位変化【その2】

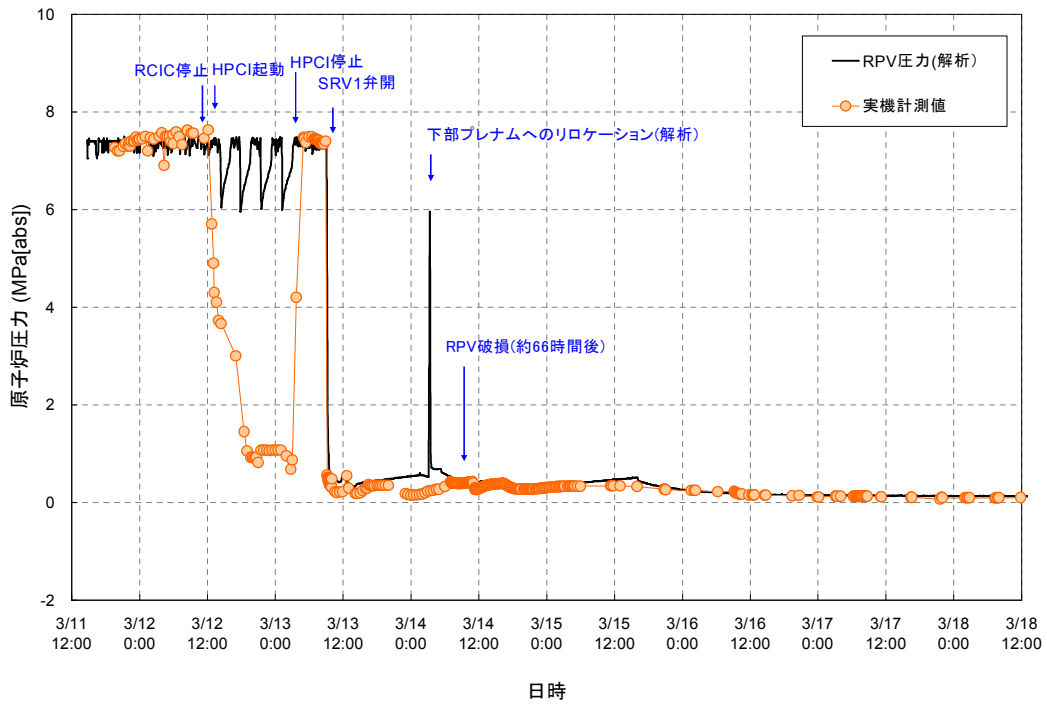


図 3. 3. 2. 2 3号機 原子炉压力容器圧力変化【その2】

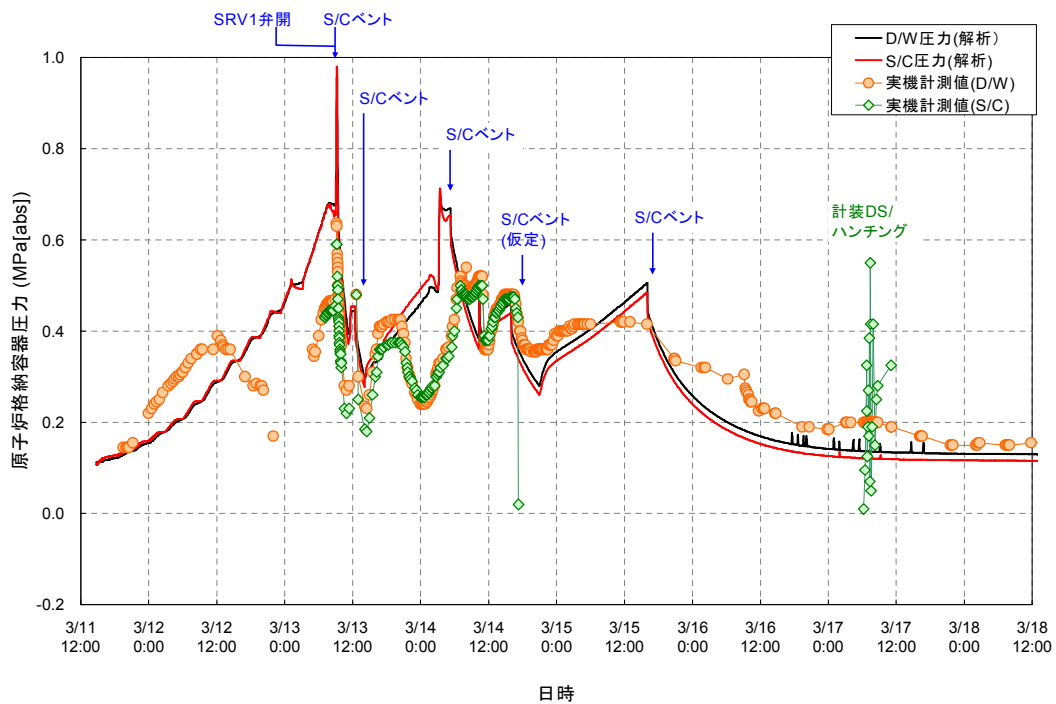


図3. 3. 2. 3 3号機 原子炉格納容器圧力変化【その2】

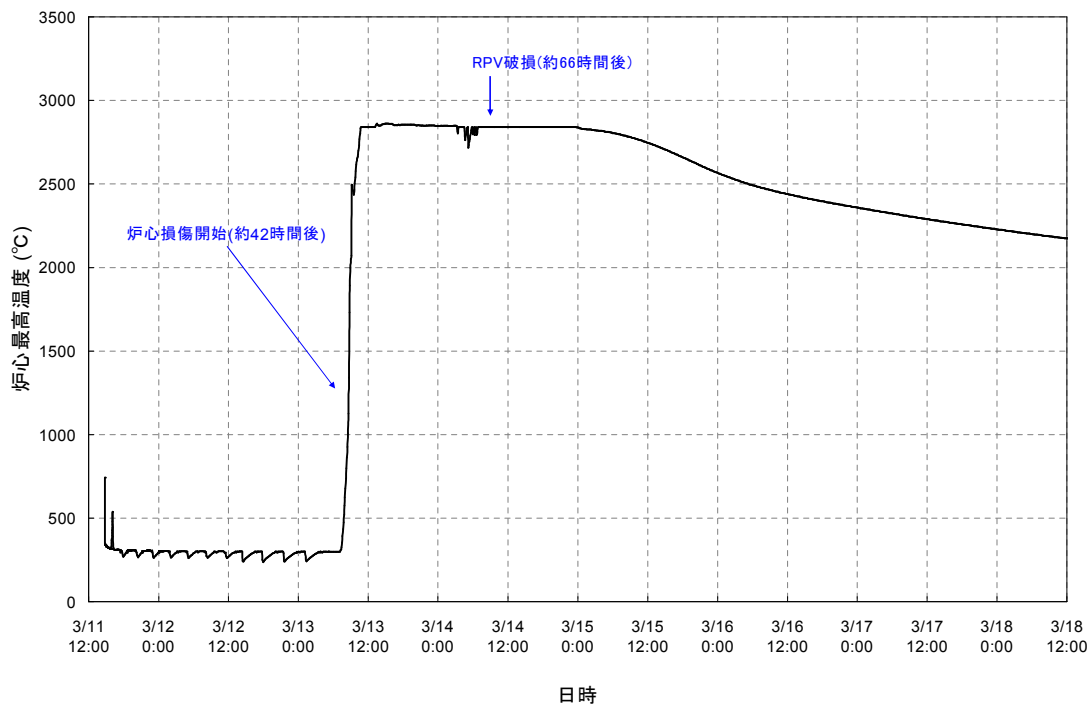


図3. 3. 2. 4 3号機 炉心温度変化【その2】

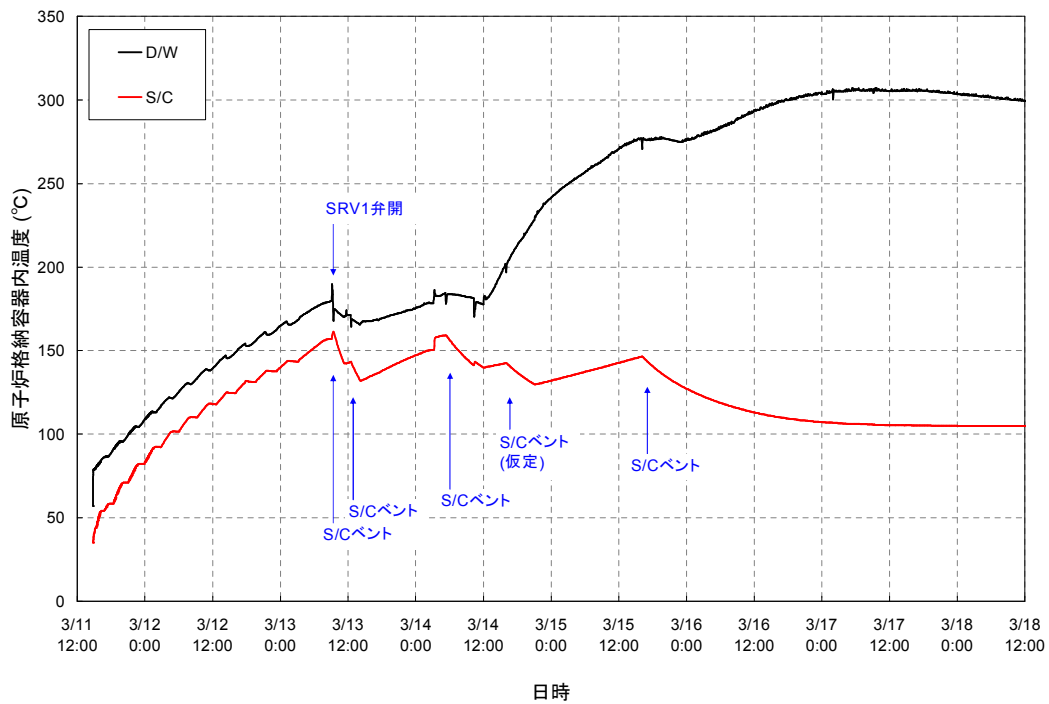


図3. 3. 2. 5 3号機 原子炉格納容器温度変化【その2】

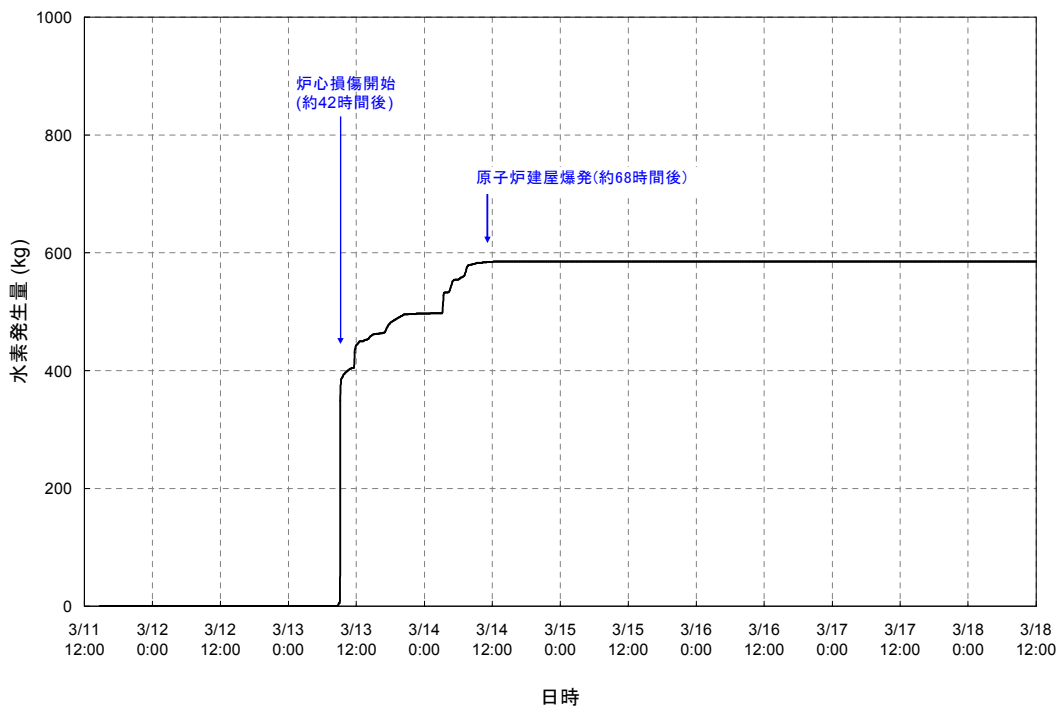


図3. 3. 2. 6 3号機 水素発生量変化【その2】

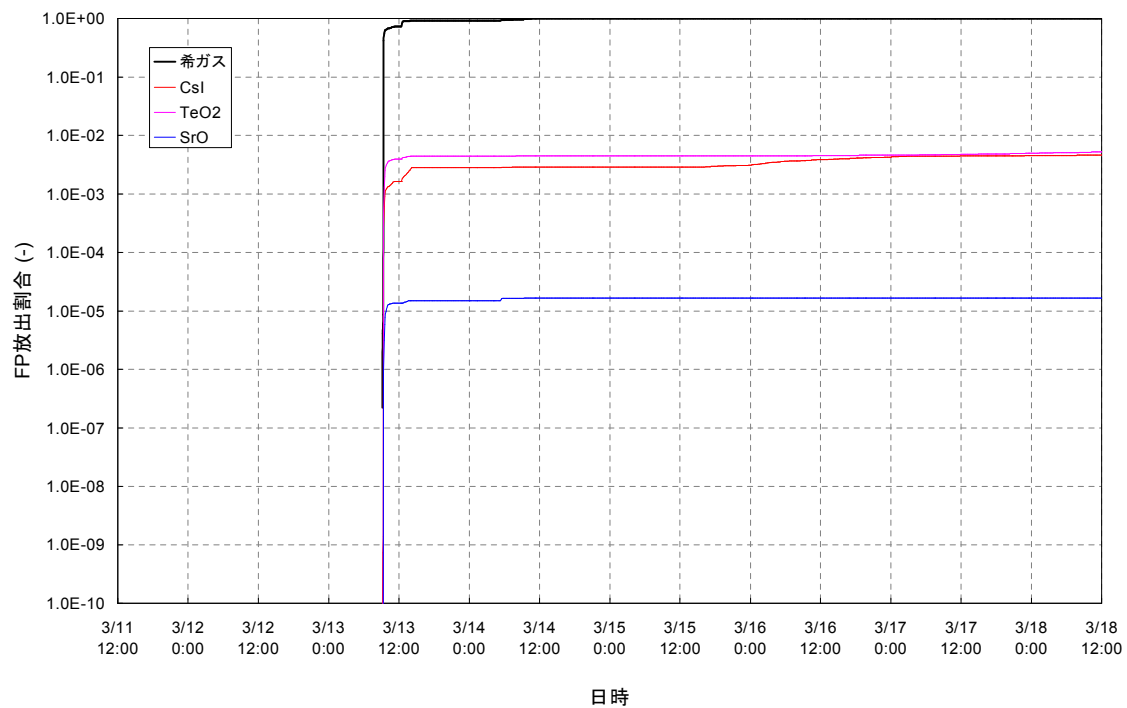


図 3. 3. 2. 7 3号機 FPの放出割合 (1 / 3) 【その2】

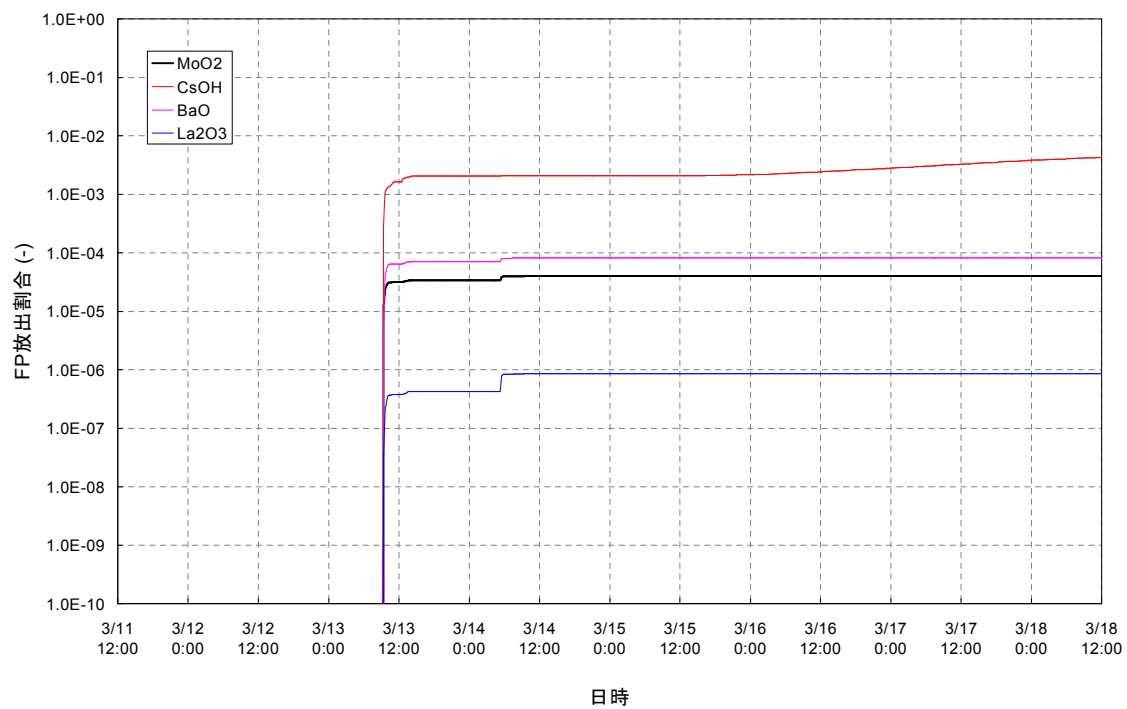


図 3. 3. 2. 7 3号機 FPの放出割合 (2 / 3) 【その2】

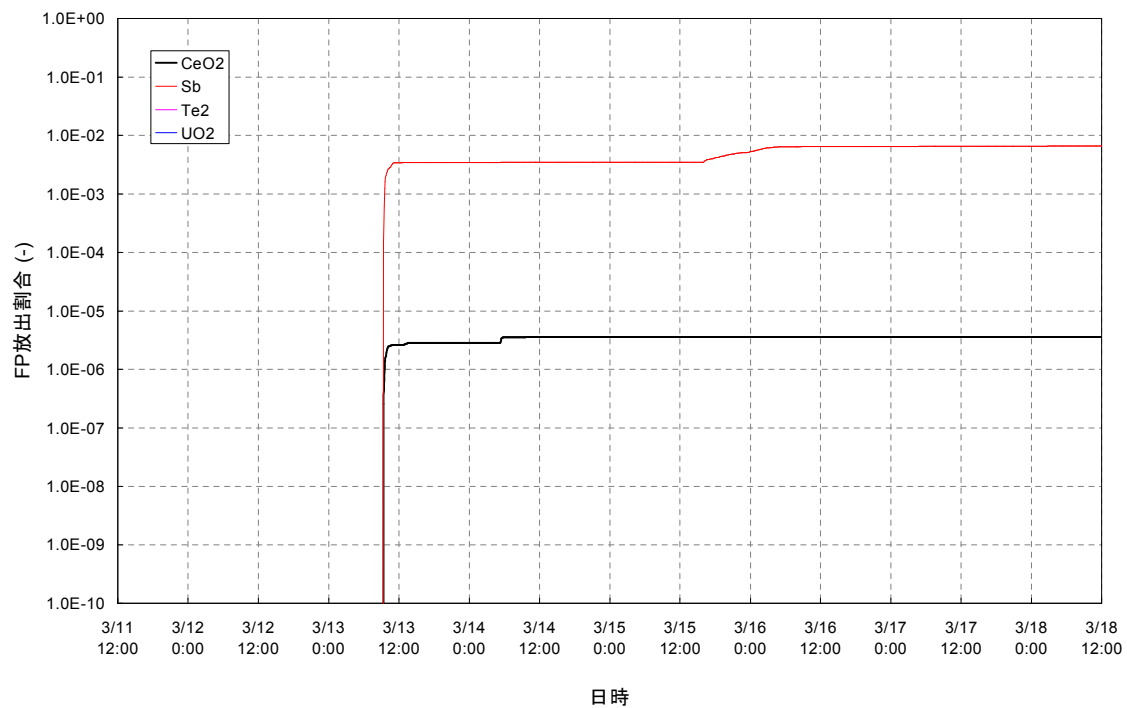


図 3. 3. 2. 7 3号機 FPの放出割合 (3 / 3) 【その2】

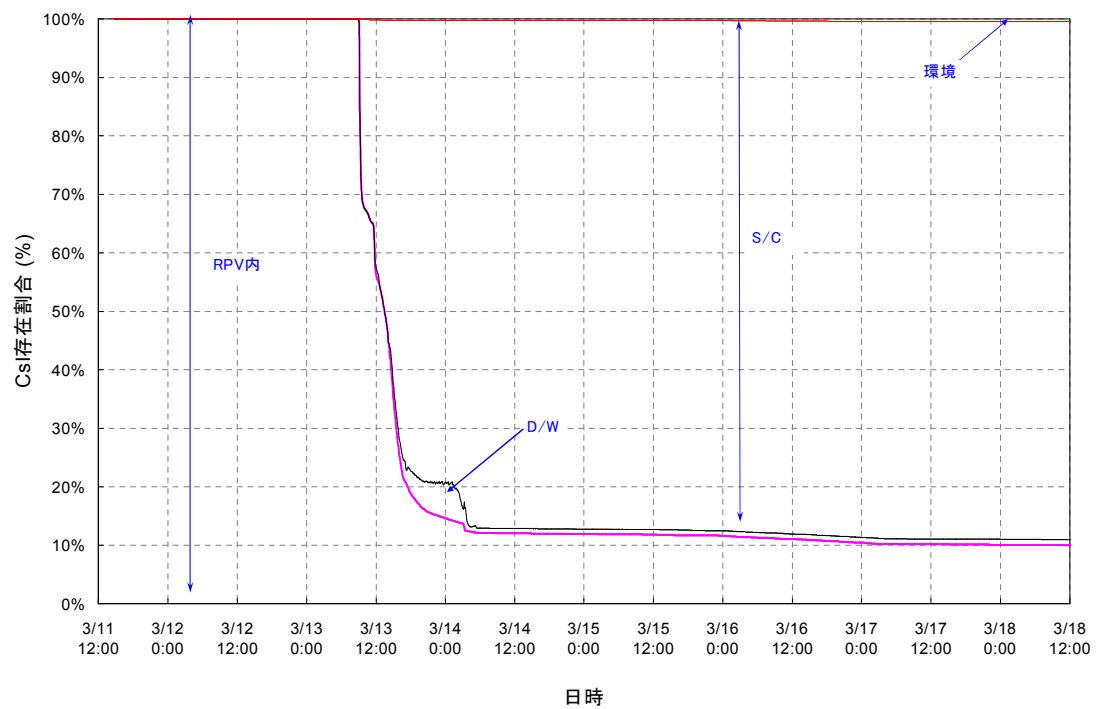


図 3. 3. 2. 8 3号機 FPの存在割合 (1 / 2) 【その2】

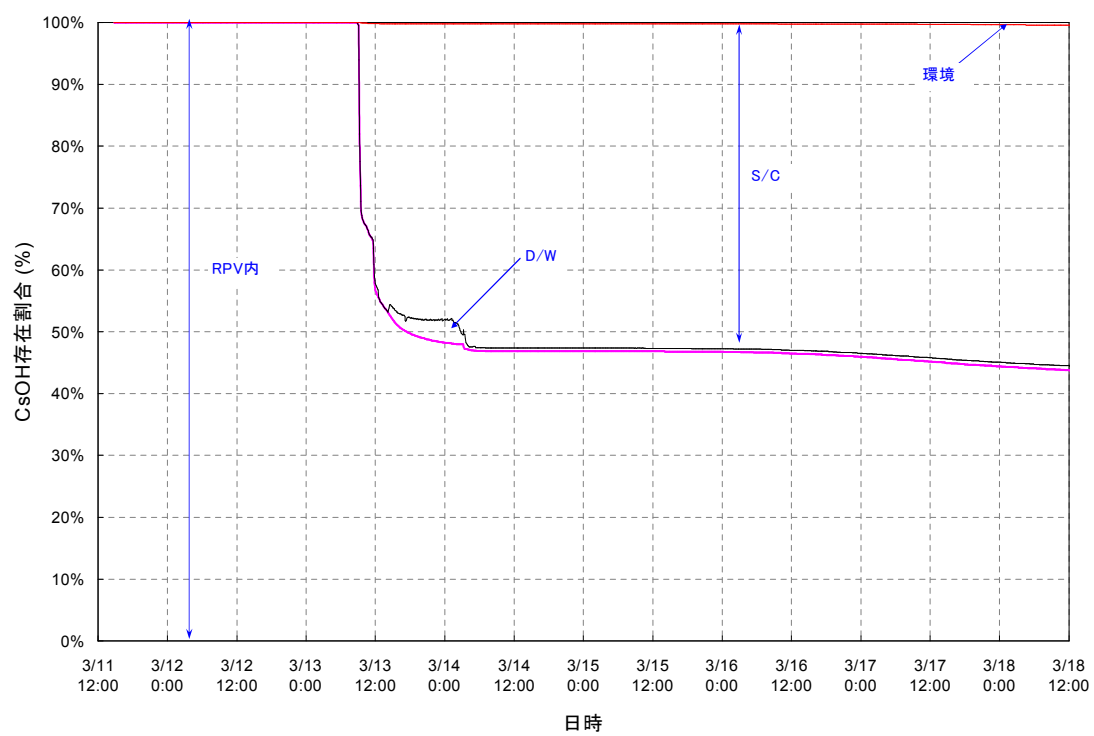
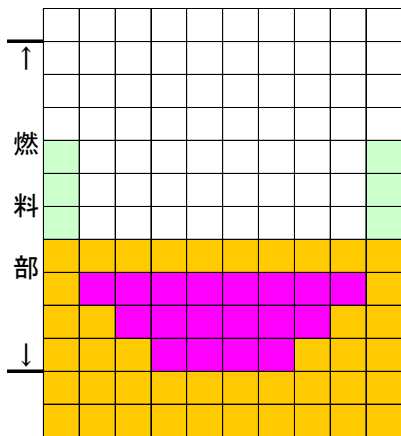
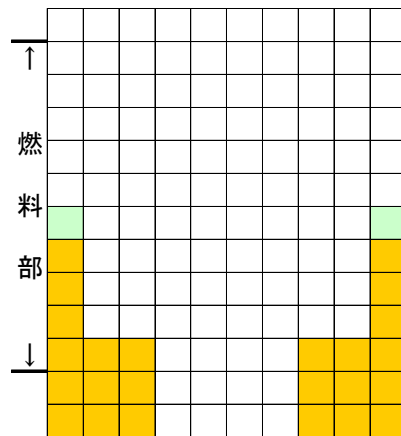


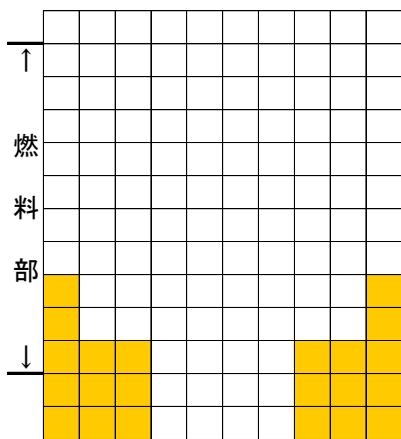
図 3. 3. 2. 8 3号機 FP の存在割合 (2 / 2) 【その2】



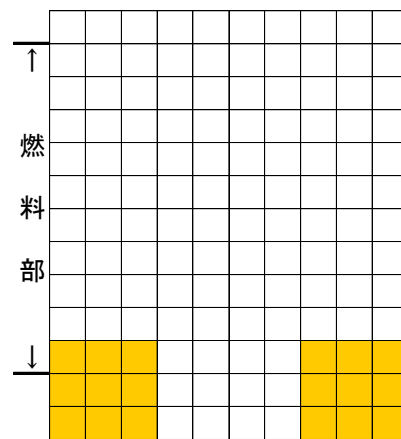
スクラム後 約58時間



スクラム後 約62時間



スクラム後 約66時間



スクラム後 約96時間

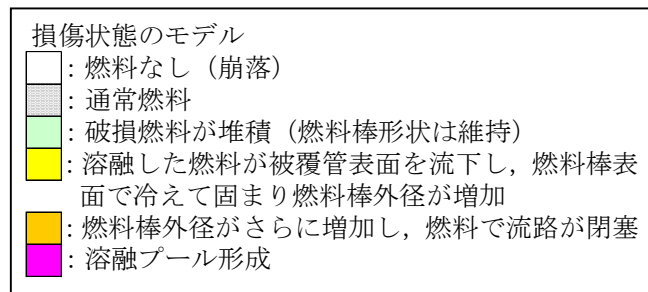


図3.3.2.9 3号機 炉心の状態図【その2】

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に係る 1 号機、
2 号機及び 3 号機の炉心の状態に関する評価のクロスチェック解析
概要

1. 概要

福島第一原子力発電所の事故においては、事故収束に向けた作業が継続しており、事故の究明に関する必要な情報の収集は現在においても継続して実施しているところである。原子力安全・保安院においては、2011 年 4 月 25 日付文書をもって、東京電力に対し、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 67 条第 1 項に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の事故に係る運転記録及び事故記録に関する報告を命じるとともに、その報告を踏まえ、5 月 16 日付文書をもって、東北地方太平洋沖地震発生前後の記録の分析結果を踏まえた原子炉施設の安全性への影響の評価結果についての報告を東京電力に指示した。

当該報告に含まれる福島第一原子力発電所の事故に係る 1 号機、2 号機及び 3 号機の炉心の状態に関する評価結果については、東京電力は、これまでに得られた操作実績、パラメータ等をもとにして、シビアアクシデント解析コードである MAAP を用いた炉心状態に関する解析及び評価を行い、5 月 23 日に原子力安全・保安院に報告した。

原子力安全・保安院においては、当該解析及び評価結果の妥当性を確認するため、独立行政法人原子力安全基盤機構（以下「JNES」という。）の支援を受け、他のシビアアクシデント解析コードである MELCOR (Methods for Estimation of Leakages and Consequences of Releases) によるクロスチェックを行った。ここでは、クロスチェックにおいて実施した MELCOR による解析結果の概要を示す。

2. 解析方法・条件

本解析では、事業者より報告された福島第 1 原子力発電所 1 号機～3 号機のプラント実測データ及びクロノロジー等に基づき、米国 NRC が主体となり国際協力により開発され幅広く規制及び JNES 等の規制を支援する機関で利用されているシビアアクシデント解析コード (Methods for Estimation of Leakages and Consequences of Releases、以下「MELCOR」という。) を使用して解析を実施した。

この MELCOR 解析では、シビアアクシデント事故の主要な事象が発生する事故直後から事故後約 4 日間までの事故時のプラントの過渡変化（事故シナリオ）を対象とした。事故の進展への影響が大きくクロノロジーも不確定なパラメータについては特に注目し、感度解析を実施して不確実なクロノロジーの確認を行いつつシナリオの特定を図った。

具体的には、東京電力の解析条件を確認するとともに、表 1-a、表 2-a 及び表 3-a のとおり、東京電力の解析ケースの他に、条件を変更した感度解析を行った。

3. 解析結果及び評価

MELCOR 解析での結果の概略を以下に示す。また、事業者解析との比較については表 1-1~3、表 2-1~2 及び表 3-1~2 に示す。

さらに、各号機の内蔵量を踏まえて今回の解析で対象とした期間での大気中への放射性物質の放出量の試算値について、表 4 に示す。今回、5 月 16 日付で報告徴収により提出された運転データ、警報、過渡事象発生時のプラントの挙動などを踏まえた解析条件（非常用復水器の動作状況や格納容器ベントの操作状況、代替注水状況など）により解析し、より詳細に放射性物質の放出量について分析を行ったところ、1、2、3 号機合計での I-131 と Cs-137 の I-131 換算での総量は約 84 万テラベクレルとなっている。これは、4 月 12 日の INES 評価における想定量 37 万テラベクレル（原子力安全委員会の試算では 63 万テラベクレル）と、規模としては概ね変わらない程度の結果となっている。

なお、現状においても操作実績や機器の動作状況に関する情報は不足しており、事故の究明に向けて調査、検討を継続していくこととしている。

以上

表 1-a 福島第一原子力発電所 1 号機に係る解析条件

解析ケース	解析条件	備考 (解析結果)
事業者解析	事業者の解析ケース相当	表 1-1、図 1-1-1～11
感度解析 (ケース 1)	除熱量の増加(IC 再起同時に 2 系統を動作)	表 1-2、図 1-2-1～2
感度解析 (ケース 2)	①消火系からの注水時は RPV の圧力に応じて注水量を変更 ②約 50 時間で仮定している PCV 漏えいを 35 cm ² 相当に変更	表 1-3、図 1-3-1～12

表 2-a 福島第一原子力発電所 2 号機に係る解析条件

解析ケース	解析条件	備考 (解析結果)
事業者解析 1	事業者解析ケース(その 1)相当	表 2-1、図 2-1-1～13
事業者解析 2	事業者解析ケース(その 2)相当の注水量 ①消火系からの注水時は RPV の圧力に応じて注水量を変更 ②PCV 気相部の破損口の大きさを約 50 cm ² ③S/C 部の破損口の大きさを約 300 cm ²	表 2-2、図 2-2-1～12
感度解析 (ケース 1)	事業者解析ケース(その 1)相当で PCV 気相部の破損無し	図 2-3-1～2
感度解析 (ケース 2)	事業者解析ケース(その 1)相当で PCV 気相部の破損口の大きさを約 50 cm ²	図 2-4-1
感度解析 (ケース 3)	事業者解析ケース(その 1)相当で S/C 部の破損口の大きさを約 300 cm ²	図 2-5-1

表 3-a 福島第一原子力発電所 3 号機に係る解析条件

解析ケース	解析条件	備考 (解析結果)
事業者解析 1	事業者解析ケース(その 1)相当	表 3-1、図 3-1-1～11
事業者解析 2	事業者解析ケース(その 2)相当	表 3-2、図 3-2-1～14

表 1-1 福島第一原子力発電所 1 号機に係る事業者解析ケースでの結果と比較

項目	解析結果		事業者解析
炉心露出開始時間	3 月 11 日 16 : 40 頃	地震発生後約 2 時間	地震発生後約 3 時間
炉心損傷開始時間	3 月 11 日 18 : 00 頃	地震発生後約 3 時間	地震発生後約 4 時間
原子炉圧力容器破損時間	3 月 11 日 20 : 00 頃	地震発生後約 5 時間	地震発生後約 15 時間

表 1-2 福島第一原子力発電所 1 号機に係る感度解析（ケース 1）での結果と比較

項目	解析結果		事業者解析
炉心露出開始時間	3 月 11 日 16 : 50 頃	地震発生後約 2 時間	地震発生後約 3 時間
炉心損傷開始時間	3 月 11 日 18 : 20 頃	地震発生後約 4 時間	地震発生後約 4 時間
原子炉圧力容器破損時間	3 月 12 日 2 : 50 頃	地震発生後約 12 時間	地震発生後約 15 時間

表 1-3 福島第一原子力発電所 1 号機に係る感度解析（ケース 2）での結果と比較

項目	解析結果		事業者解析
炉心露出開始時間	3 月 11 日 16 : 40 頃	地震発生後約 2 時間	地震発生後約 3 時間
炉心損傷開始時間	3 月 11 日 18 : 00 頃	地震発生後約 3 時間	地震発生後約 4 時間
原子炉圧力容器破損時間	3 月 11 日 20 : 00 頃	地震発生後約 5 時間	地震発生後約 15 時間

表 2-1 福島第一原子力発電所 2 号機に係る事業者解析 1 での結果と比較

項目	解析結果		事業者解析(その 1)
炉心露出開始時間	3 月 14 日 18 : 00 頃	地震発生後約 75 時間	地震発生後約 75 時間
炉心損傷開始時間	3 月 14 日 22 : 30 頃	地震発生後約 80 時間	地震発生後約 77 時間
原子炉圧力容器破損時間	— (本解析では圧力容器破損に至らない)		— (圧力容器破損に至らない)

表 2-2 福島第一原子力発電所 2 号機に係る事業者解析 2 での結果と比較

項目	解析結果		事業者解析(その 2)
炉心露出開始時間	3 月 14 日 18 : 00 頃	地震発生後約 75 時間	地震発生後約 75 時間
炉心損傷開始時間	3 月 14 日 19 : 50 頃	地震発生後約 77 時間	地震発生後約 77 時間
原子炉圧力容器破損時間	3 月 14 日 22 : 50 頃	地震発生後約 80 時間	地震発生後約 109 時間

表 3-1 福島第一原子力発電所 3 号機に係る事業者解析 1 での結果と比較

項目	本解析結果		事業者解析(その 1)
炉心露出開始時間	3 月 13 日 7 : 40 頃	地震発生後約 41 時間	地震発生後約 40 時間
炉心損傷開始時間	3 月 13 日 10 : 20 頃	地震発生後約 44 時間	地震発生後約 42 時間
原子炉圧力容器破損時間	— (本解析では圧力容器破損に至らない)		— (圧力容器破損に至らない)

表 3-2 福島第一原子力発電所 3 号機に係る事業者解析 2 での結果と比較

項目	本解析結果		事業者解析(その 2)
炉心露出開始時間	3 月 13 日 7 : 40 頃	地震発生後約 41 時間	地震発生後約 40 時間
炉心損傷開始時間	3 月 13 日 10 : 20 頃	地震発生後約 44 時間	地震発生後約 42 時間
原子炉圧力容器破損時間	3 月 14 日 22 : 10 頃	地震発生後約 79 時間	地震発生後約 66 時間

表 4 各解析ケースでの放射性物質の放出割合

号機	解析ケース	希ガス	CsI	Cs	Te	Ba	Ru	Ce	La
1	事業者解析ケース 1	9.9E-01	1.9E-03	9.1E-04	2.4E-02	1.2E-04	6.4E-09	1.1E-06	1.1E-06
	感度解析ケース 1	9.5E-01	1.2E-03	8.2E-04	1.1E-02	6.2E-05	2.1E-11	8.9E-07	6.9E-07
	感度解析ケース 2	9.5E-01	6.6E-03	2.9E-03	1.1E-02	4.0E-05	9.0E-10	1.4E-07	1.2E-07
2	事業者解析ケース 1	8.1E-01	3.8E-03	3.4E-03	4.2E-03	4.9E-04	7.6E-10	7.4E-11	6.5E-08
	事業者解析ケース 2	9.6E-01	6.7E-02	5.8E-02	3.0E-02	2.6E-04	5.4E-10	4.0E-06	8.4E-07
	感度解析ケース 1	9.7E-01	1.3E-03	4.6E-04	2.5E-04	3.3E-04	2.0E-11	1.5E-12	1.5E-09
	感度解析ケース 2	9.7E-01	3.9E-02	3.8E-02	5.1E-02	2.9E-04	4.1E-11	8.2E-06	1.1E-06
	感度解析ケース 3	9.7E-01	4.1E-02	3.9E-02	3.5E-02	4.0E-04	4.6E-11	1.3E-05	1.2E-06
3	事業者解析ケース 1	6.5E-01	8.2E-03	5.9E-03	2.7E-03	6.1E-04	2.9E-10	2.5E-11	2.7E-08
	事業者解析ケース 2	9.9E-01	3.0E-03	2.7E-03	2.4E-03	4.3E-04	8.6E-10	5.0E-08	1.3E-07

表5 解析で対象とした期間での大気中への放射性物質の放出量の試算値(Bq)

核種	半減期	1号機	2号機	3号機	合計
Xe-133	5.2 d	3.4×10^{18}	3.5×10^{18}	4.4×10^{18}	1.1×10^{19}
Cs-134	2.1 y	7.1×10^{14}	1.6×10^{16}	8.2×10^{14}	1.8×10^{16}
Cs-137	30.0 y	5.9×10^{14}	1.4×10^{16}	7.1×10^{14}	1.5×10^{16}
Sr-89	50.5 d	8.2×10^{13}	6.8×10^{14}	1.2×10^{15}	2.0×10^{15}
Sr-90	29.1 y	6.1×10^{12}	4.8×10^{13}	8.5×10^{13}	1.4×10^{14}
Ba-140	12.7 d	1.3×10^{14}	1.1×10^{15}	1.9×10^{15}	3.2×10^{15}
Te-127m	109.0 d	2.5×10^{14}	7.7×10^{14}	6.9×10^{13}	1.1×10^{15}
Te-129m	33.6 d	7.2×10^{14}	2.4×10^{15}	2.1×10^{14}	3.3×10^{15}
Te-131m	30.0 h	9.5×10^{13}	5.4×10^{10}	1.8×10^{12}	9.7×10^{13}
Te-132	78.2 h	7.4×10^{14}	4.2×10^{11}	1.4×10^{13}	7.6×10^{14}
Ru-103	39.3 d	2.5×10^{09}	1.8×10^{09}	3.2×10^{09}	7.5×10^{09}
Ru-106	368.2 d	7.4×10^{08}	5.1×10^{08}	8.9×10^{08}	2.1×10^{09}
Zr-95	64.0 d	4.6×10^{11}	1.6×10^{13}	2.2×10^{11}	1.7×10^{13}
Ce-141	32.5 d	4.6×10^{11}	1.7×10^{13}	2.2×10^{11}	1.8×10^{13}
Ce-144	284.3 d	3.1×10^{11}	1.1×10^{13}	1.4×10^{11}	1.1×10^{13}
Np-239	2.4 d	3.7×10^{12}	7.1×10^{13}	1.4×10^{12}	7.6×10^{13}
Pu-238	87.7 y	5.8×10^{08}	1.8×10^{10}	2.5×10^{08}	1.9×10^{10}
Pu-239	24065 y	8.6×10^{07}	3.1×10^{09}	4.0×10^{07}	3.2×10^{09}
Pu-240	6537 y	8.8×10^{07}	3.0×10^{09}	4.0×10^{07}	3.2×10^{09}
Pu-241	14.4 y	3.5×10^{10}	1.2×10^{12}	1.6×10^{10}	1.2×10^{12}
Y-91	58.5 d	3.1×10^{11}	2.7×10^{12}	4.4×10^{11}	3.4×10^{12}
Pr-143	13.6 d	3.6×10^{11}	3.2×10^{12}	5.2×10^{11}	4.1×10^{12}
Nd-147	11.0 d	1.5×10^{11}	1.3×10^{12}	2.2×10^{11}	1.6×10^{12}
Cm-242	162.8 d	1.1×10^{10}	7.7×10^{10}	1.4×10^{10}	1.0×10^{11}
I-131	8.0 d	1.2×10^{16}	1.4×10^{17}	7.0×10^{15}	1.6×10^{17}
I-132	2.3 h	4.5×10^{14}	9.6×10^{11}	1.8×10^{13}	4.7×10^{14}
I-133	20.8 h	6.5×10^{14}	1.4×10^{12}	2.6×10^{13}	6.8×10^{14}
I-135	6.6 h	6.1×10^{14}	1.3×10^{12}	2.4×10^{13}	6.3×10^{14}
Sb-127	3.9 d	1.7×10^{15}	4.2×10^{15}	4.5×10^{14}	6.4×10^{15}
Sb-129	4.3 h	1.6×10^{14}	8.9×10^{10}	3.0×10^{12}	1.6×10^{14}
Mo-99	66.0 h	8.1×10^{07}	1.0×10^{04}	6.7×10^{06}	8.8×10^{07}

※：表4で示す各ケースのうち、実態の1号機では感度解析ケース2、2号機では事業者解析ケース2、3号機では事業者解析ケース2

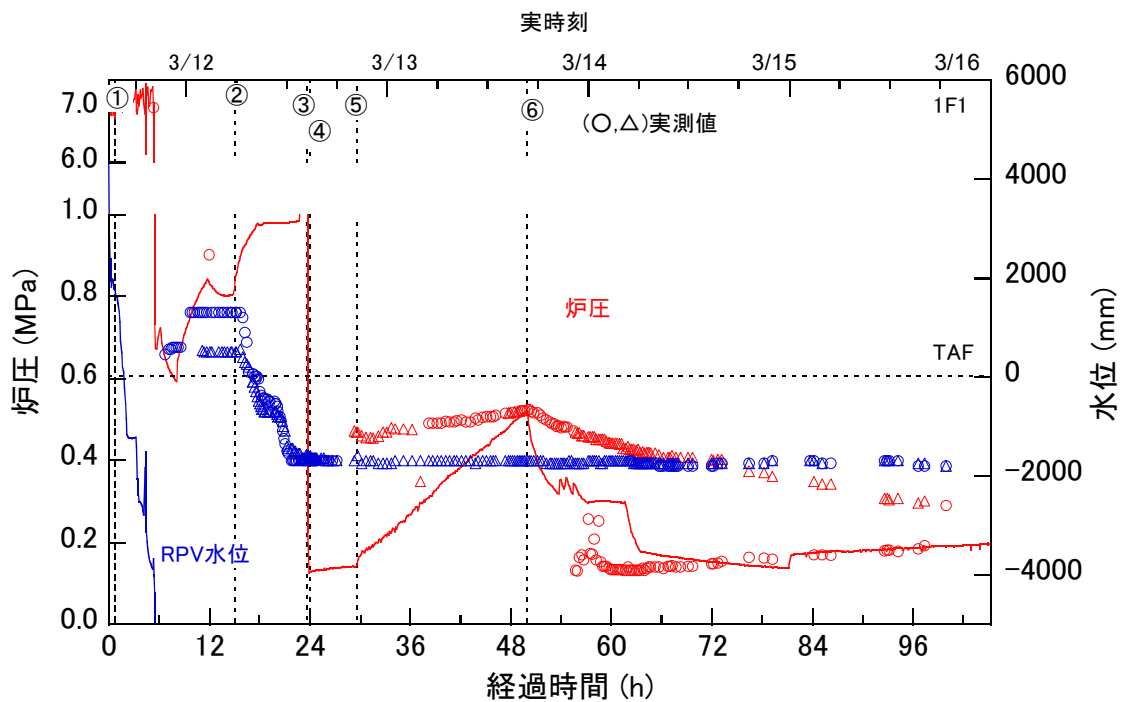


図 1-1-1 事業者解析ケースでの炉圧及び水位(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

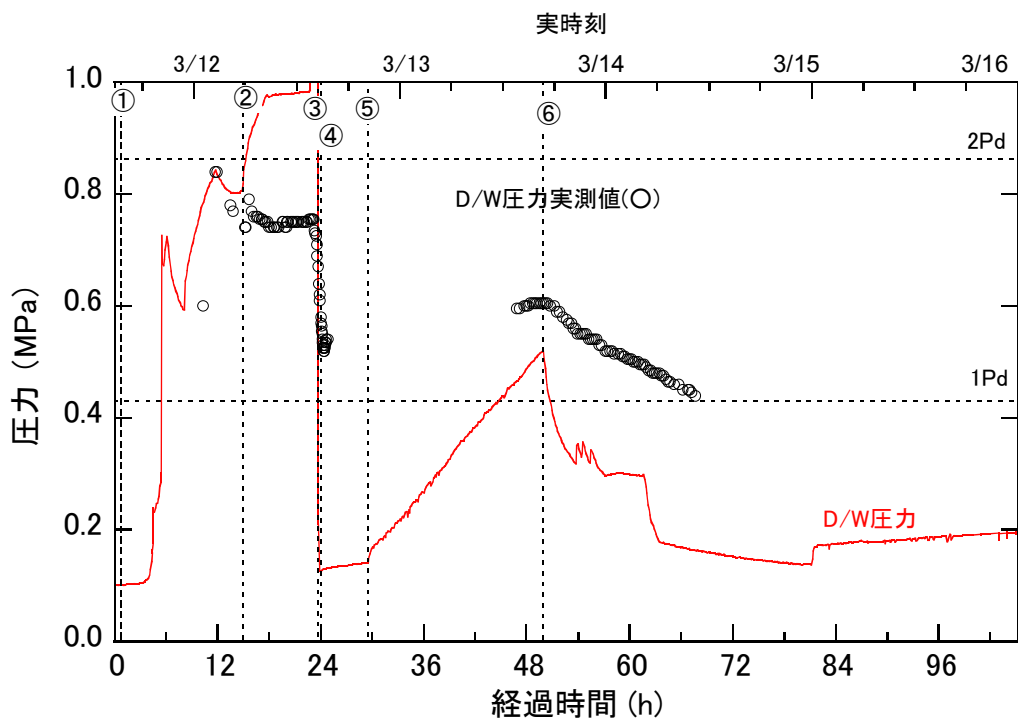


図 1-1-2 事業者解析ケースでの D/W 圧力(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

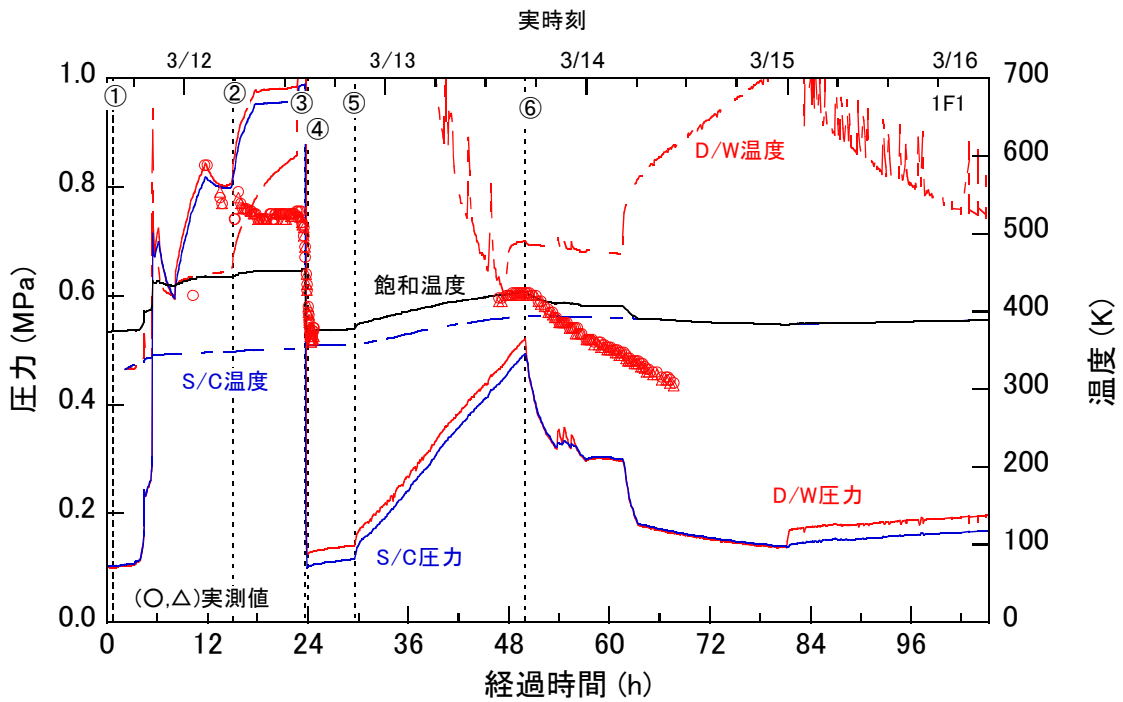


図 1-1-3 事業者解析ケースでの PCV 圧力及び温度(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

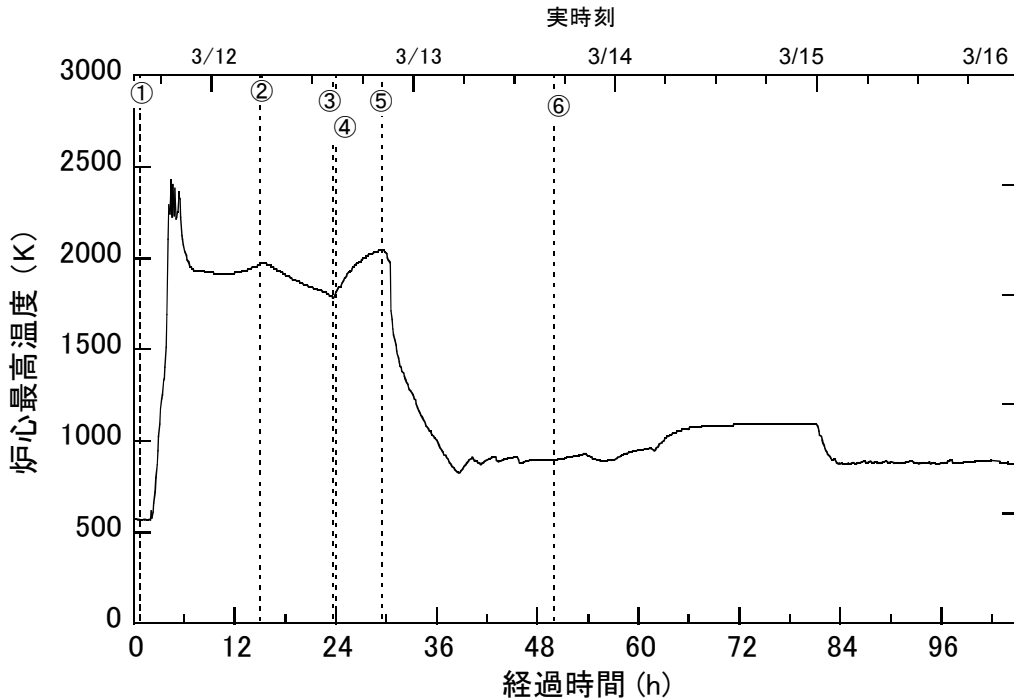


図 1-1-4 事業者解析ケースでの炉心最高温度(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

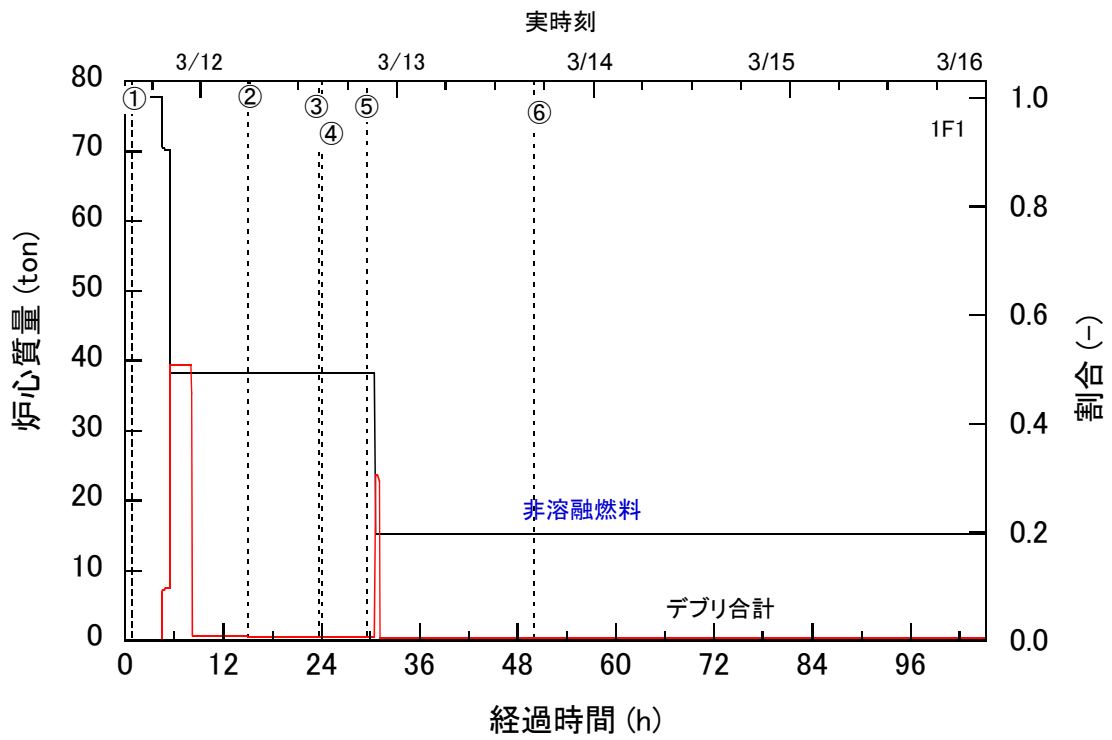


図 1-1-5 事業者解析ケースでの炉心質量(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

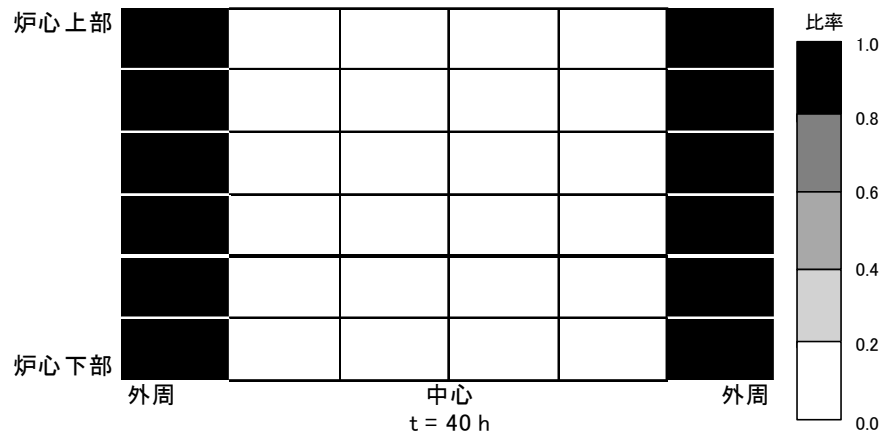
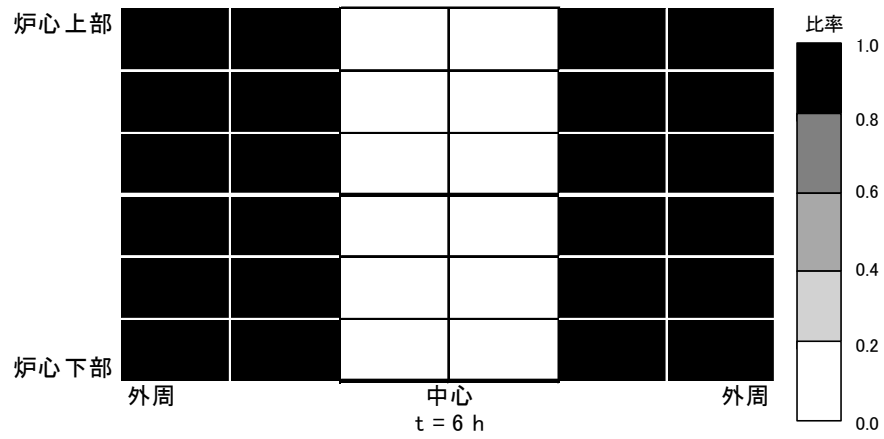
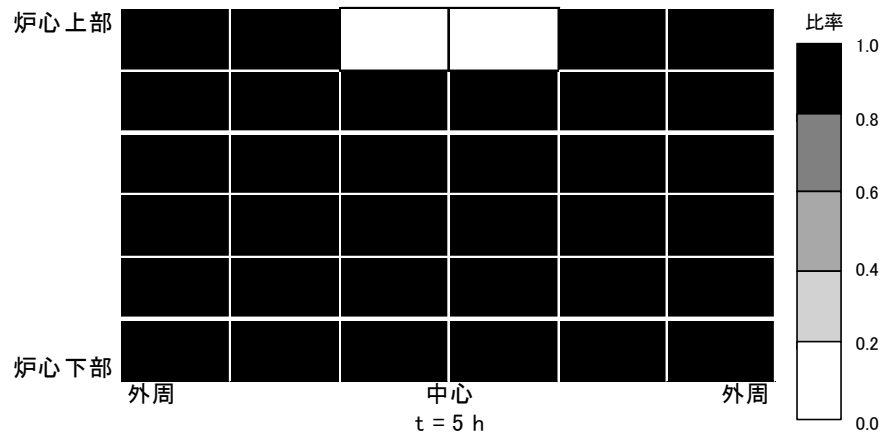


図 1-1-6 事業者解析ケースでの炉心の非溶解燃料の質量分布(1号機)

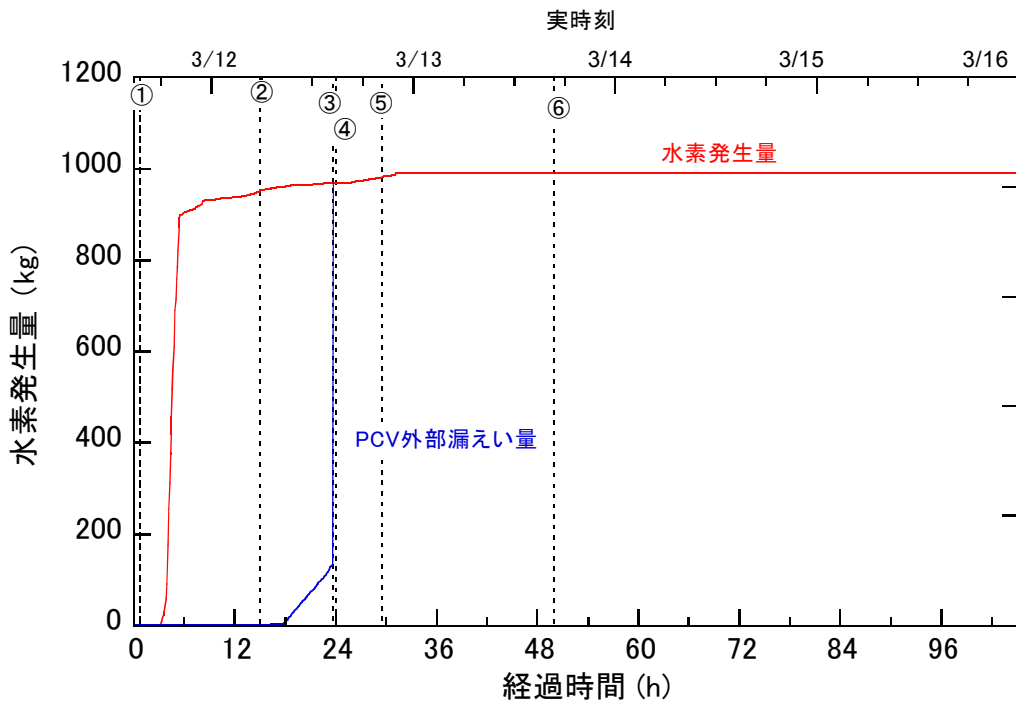


図 1-1-7 事業者解析ケースでの水素発生量(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

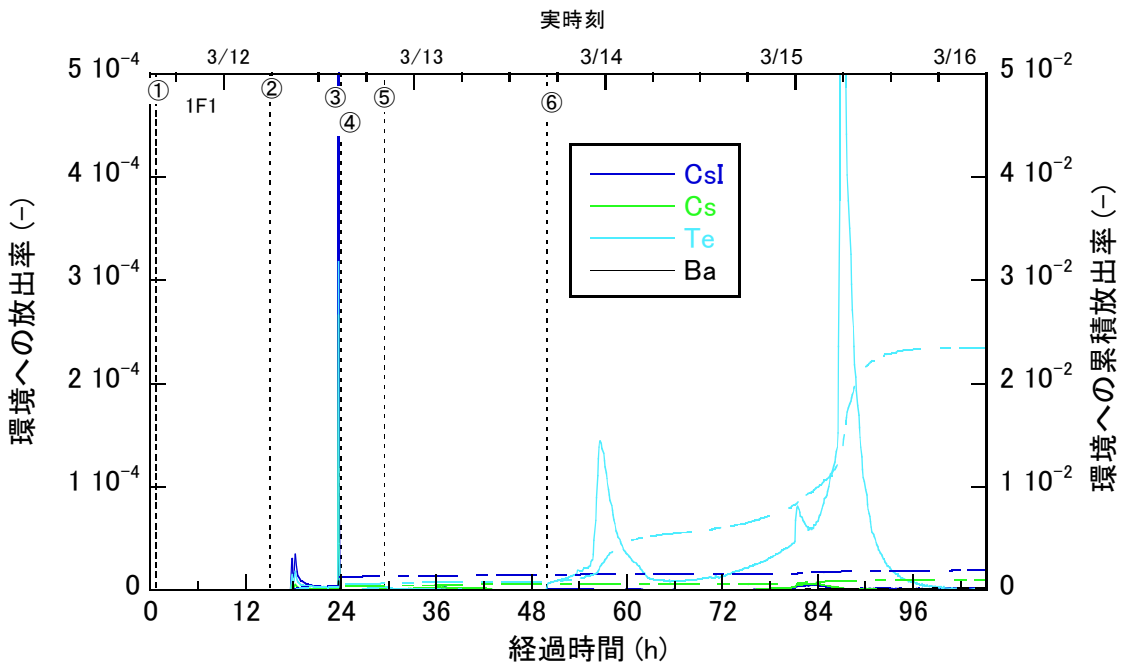
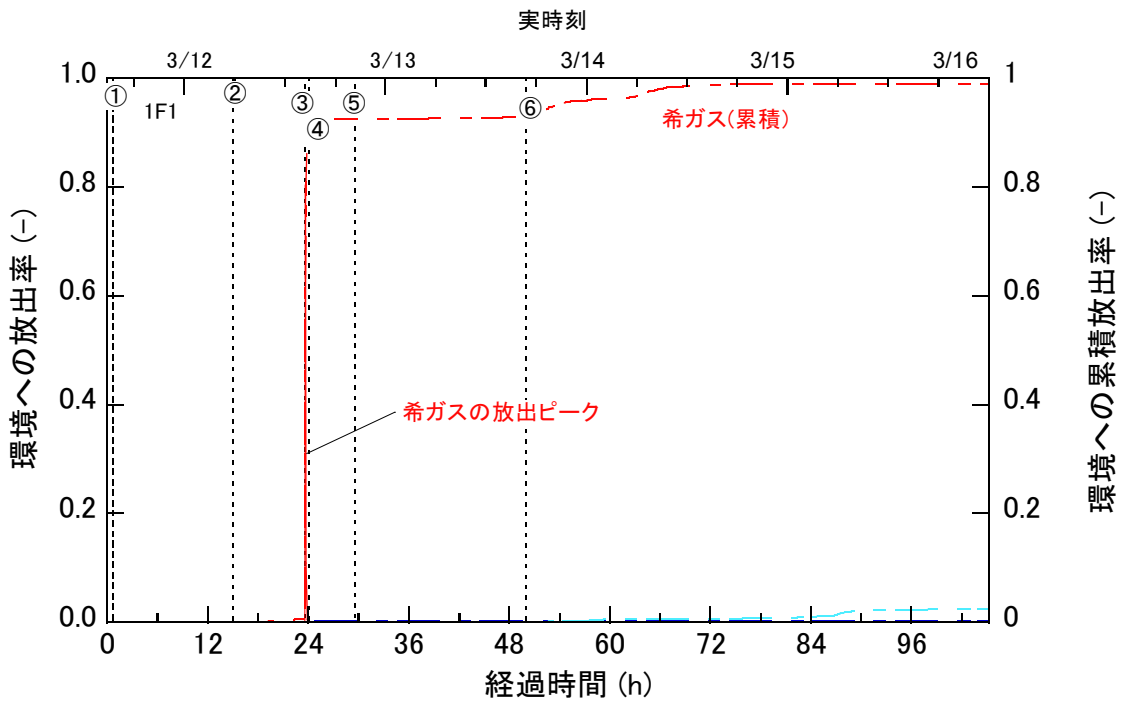


図 1-1-8 事業者解析ケースでの FP の環境への放出率(1/2)(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

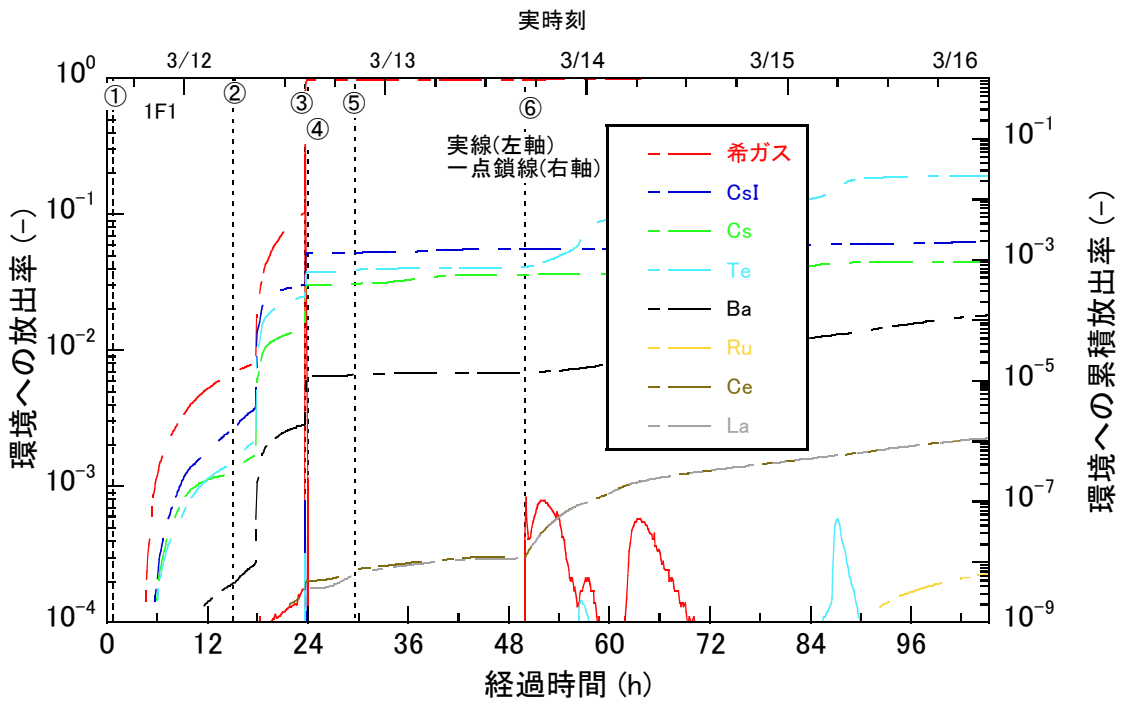


図 1-1-9 事業者解析ケースでの FP の環境への放出率(2/2)(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

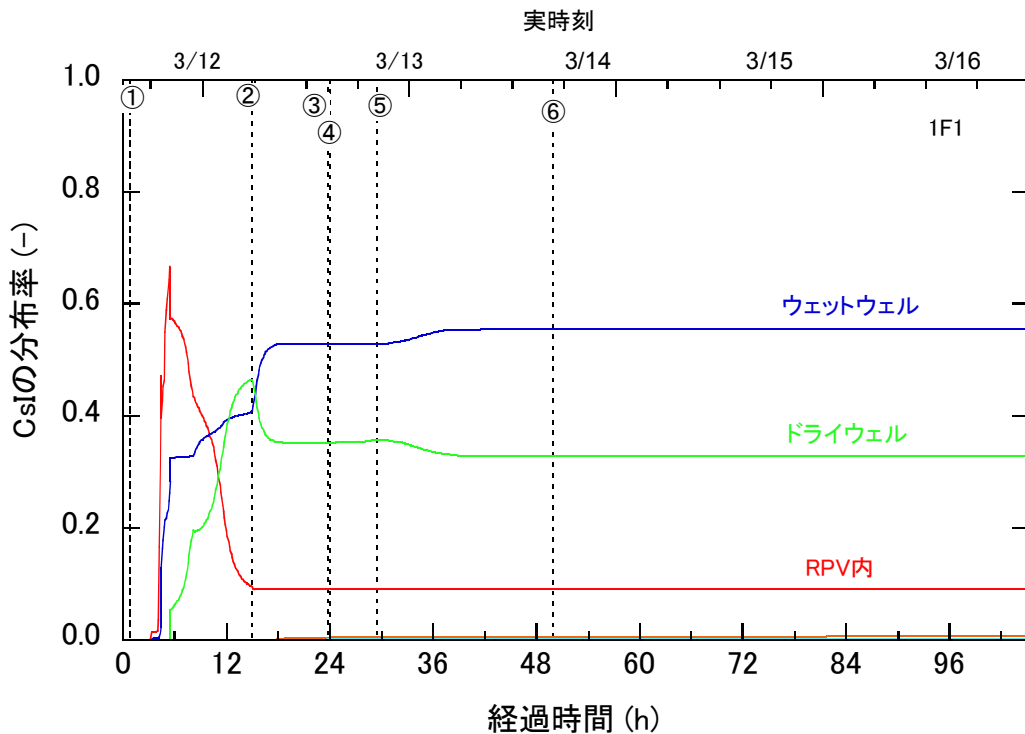


図 1-1-10 事業者解析ケースでの CsI の分布(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

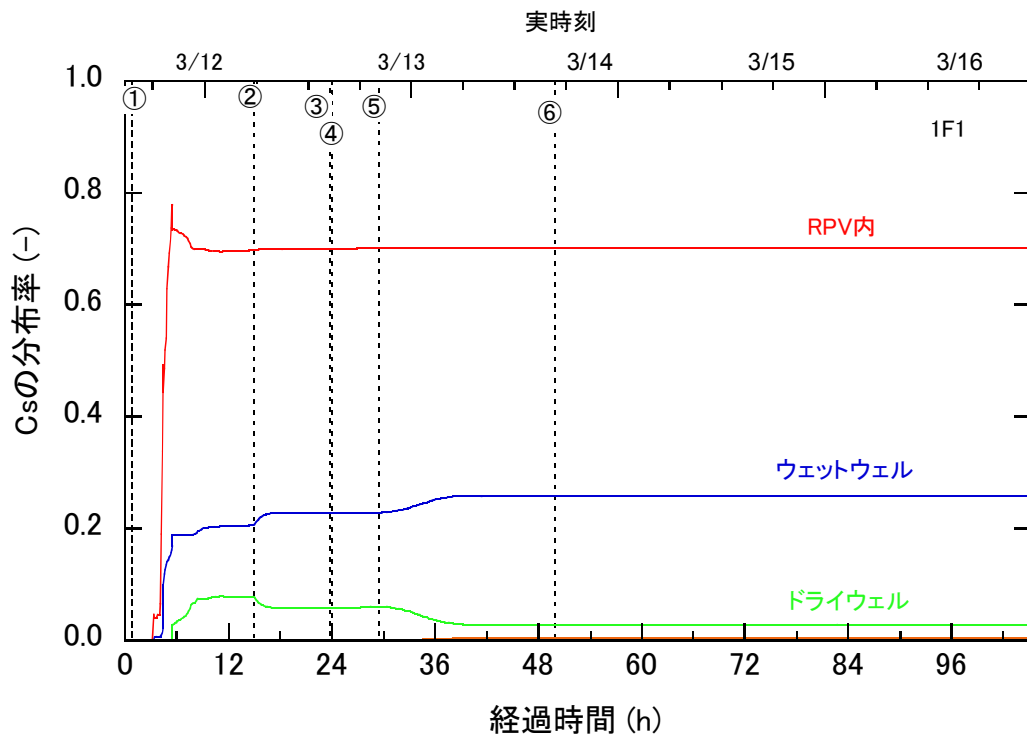


図 1-1-11 事業者解析ケースでの Cs の分布(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

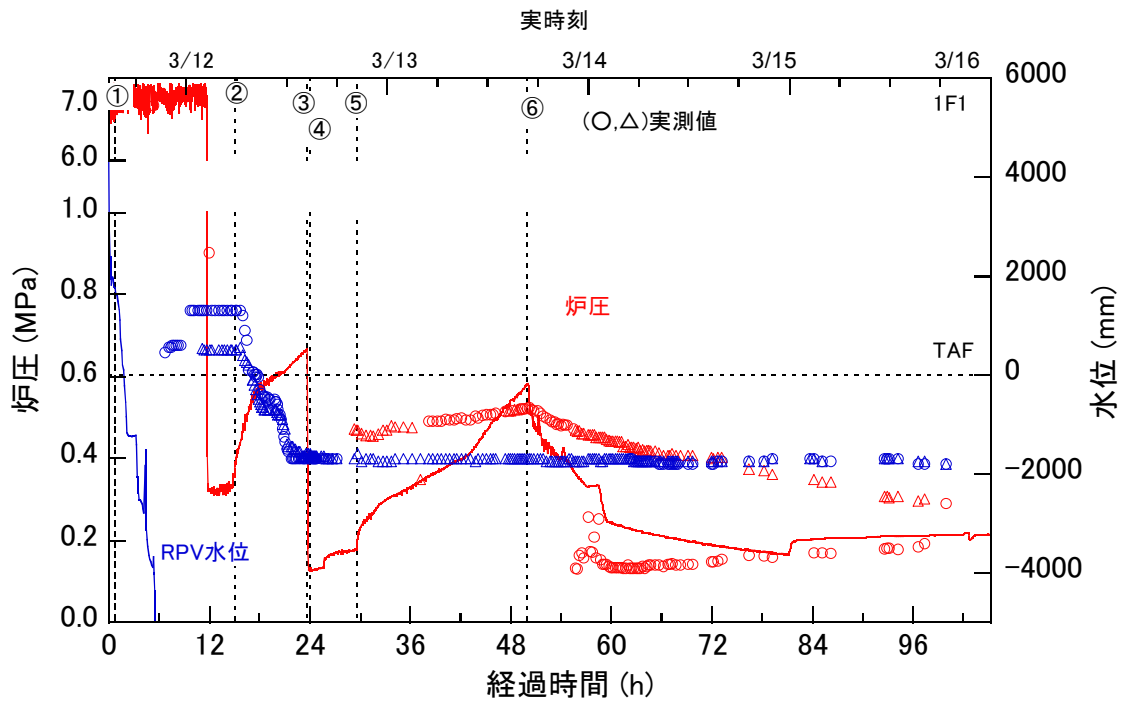


図 1-2-1 感度解析 1 での炉圧及び水位(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

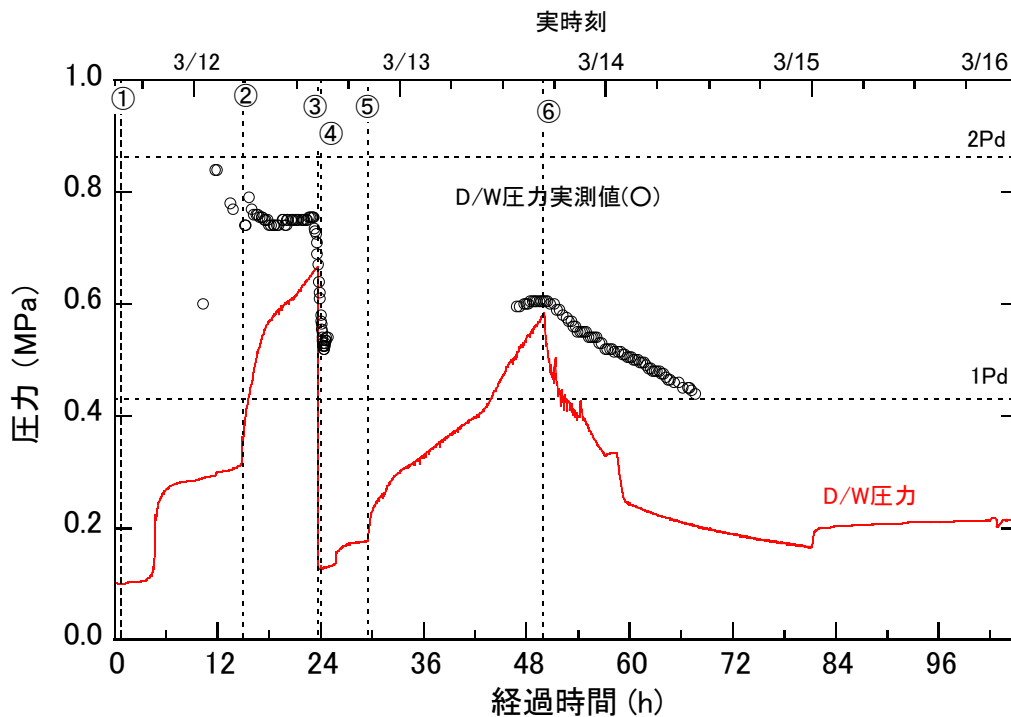


図 1-2-2 感度解析 1 での D/W 圧力(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

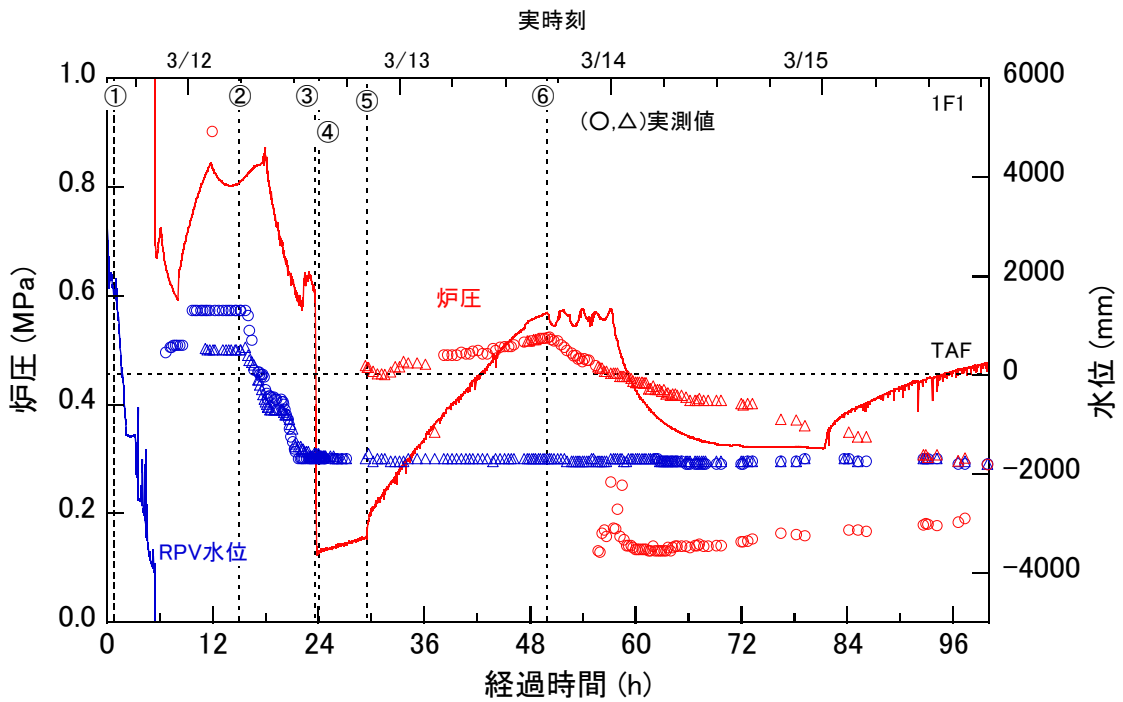


図 1-3-1 感度解析 2 での原子炉圧力及び水位(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

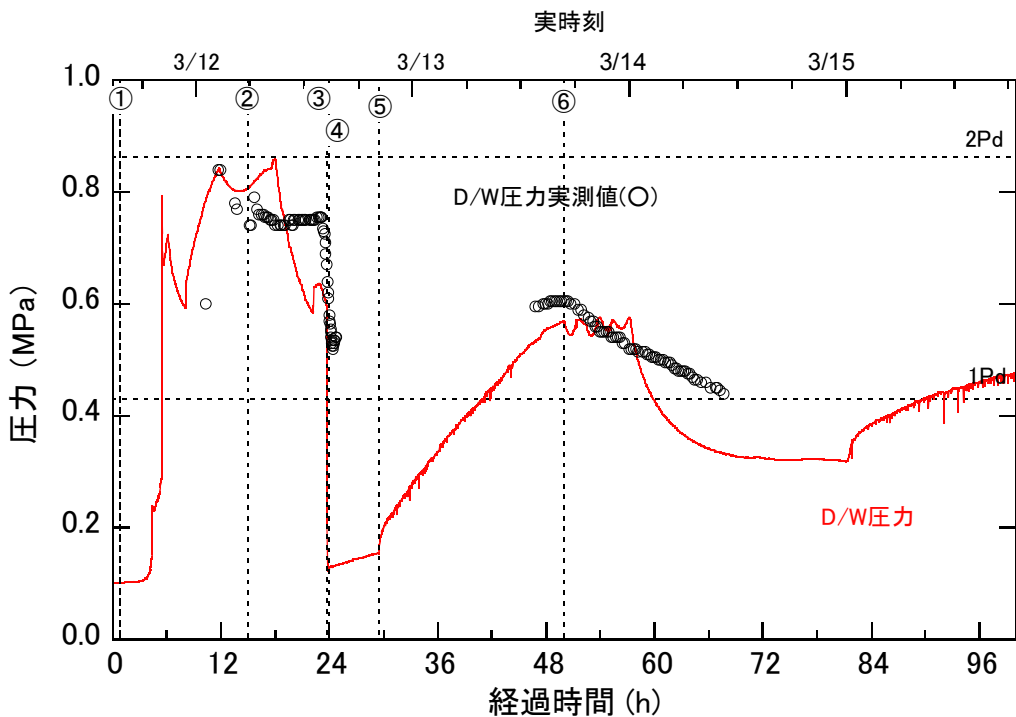


図 1-3-2 感度解析 2 での D/W 圧力(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

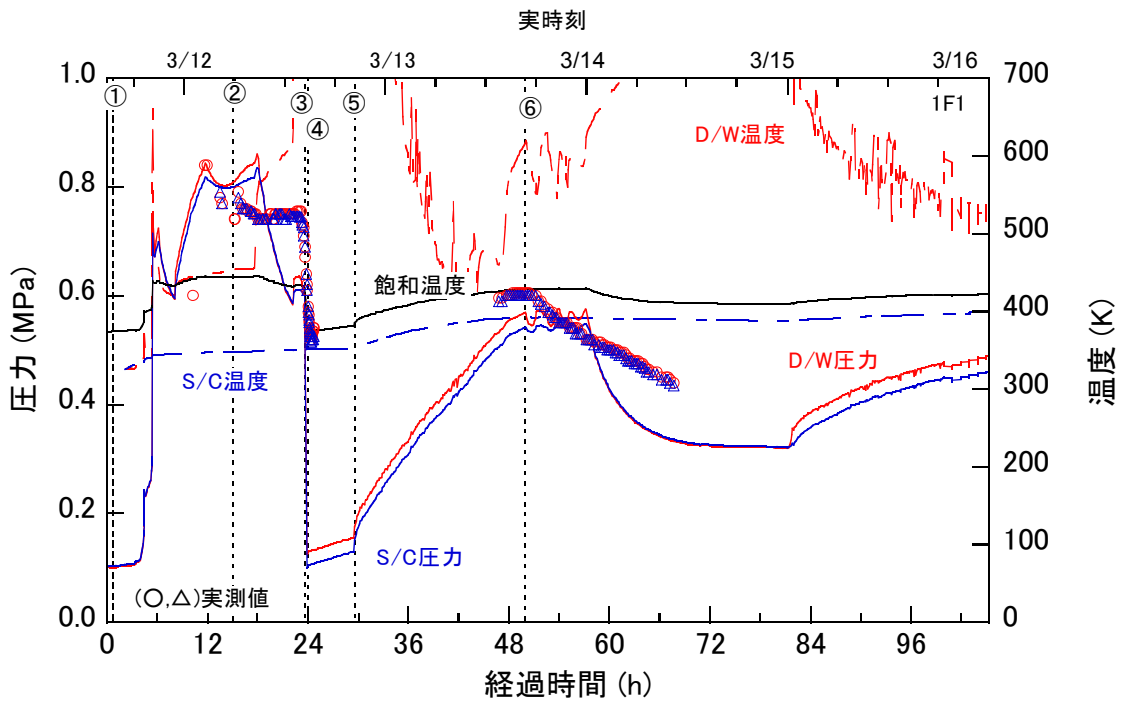


図 1-3-3 感度解析 2 での PCV 圧力及び温度(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

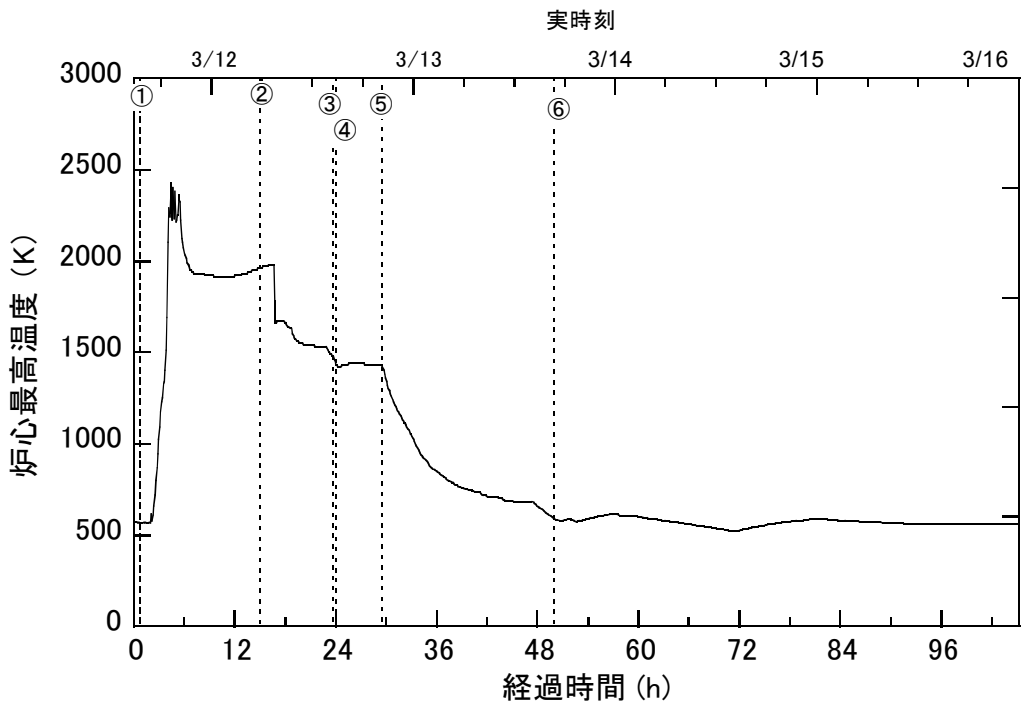


図 1-3-4 感度解析 2 での炉心最高温度(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

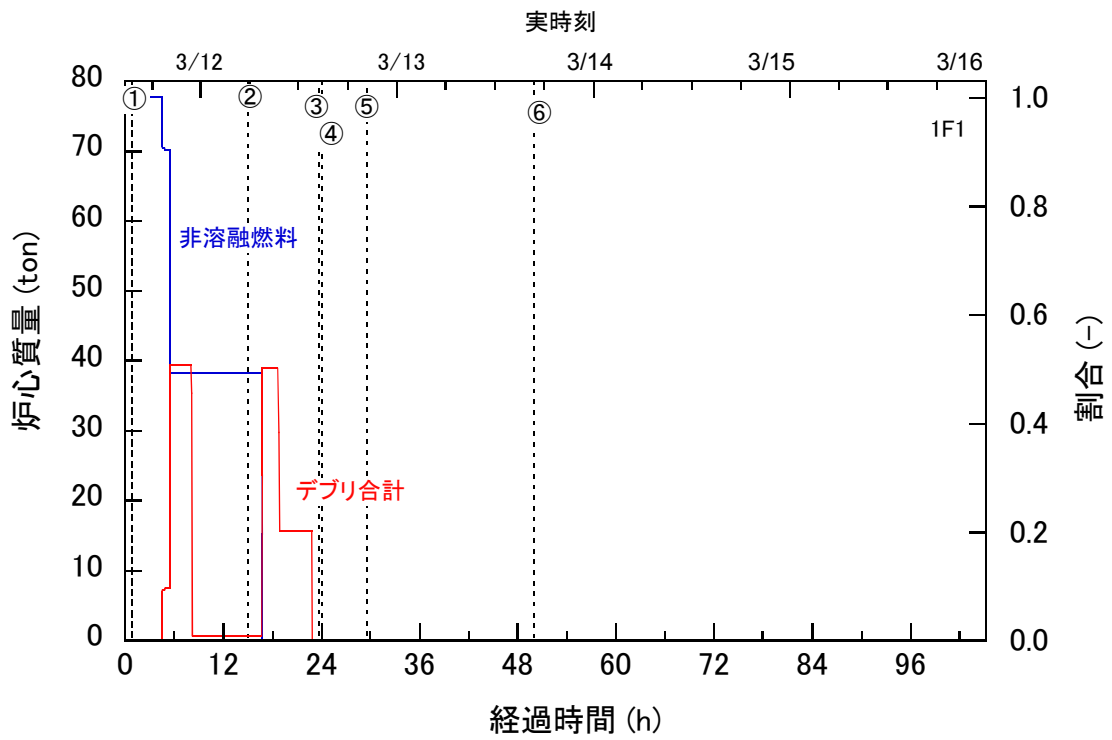


図 1-3-5 感度解析 2 での炉心質量(1号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

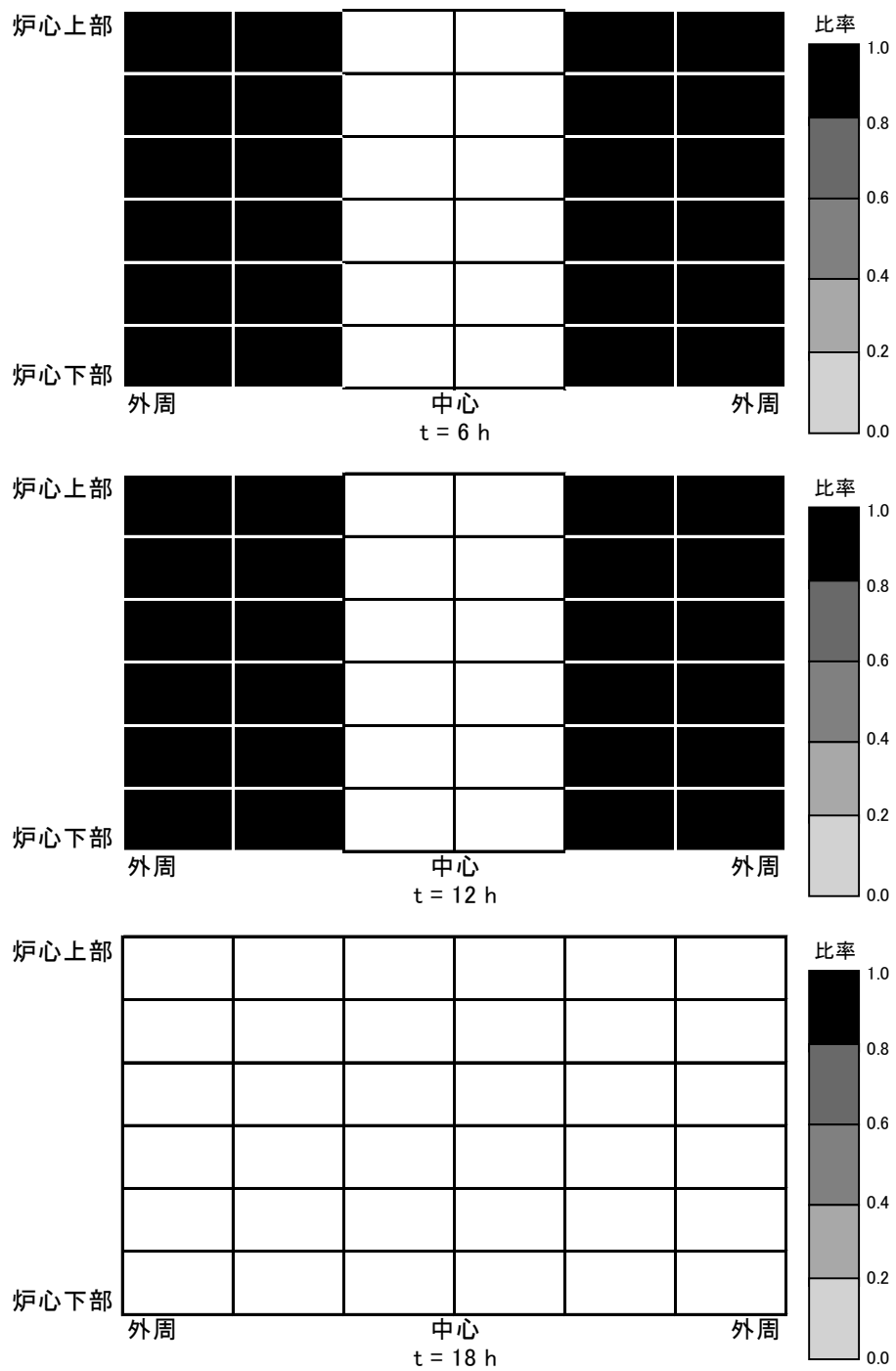


図 1-3-6 感度解析 2 での炉心の損傷割合(1号機)

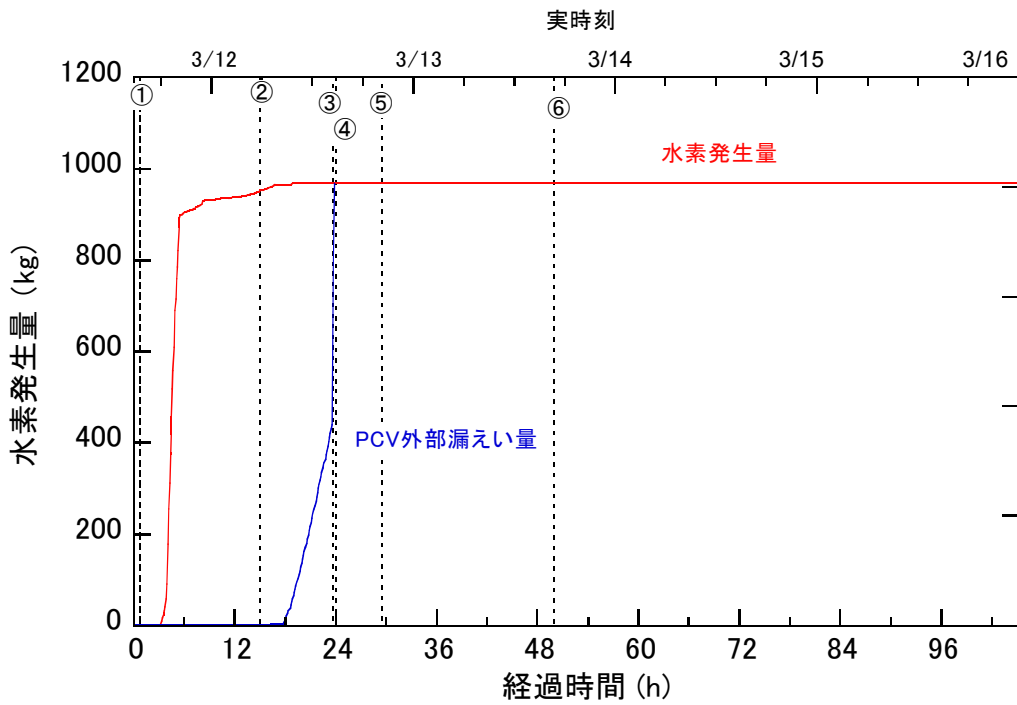


図 1-3-7 感度解析 2 での水素発生量(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

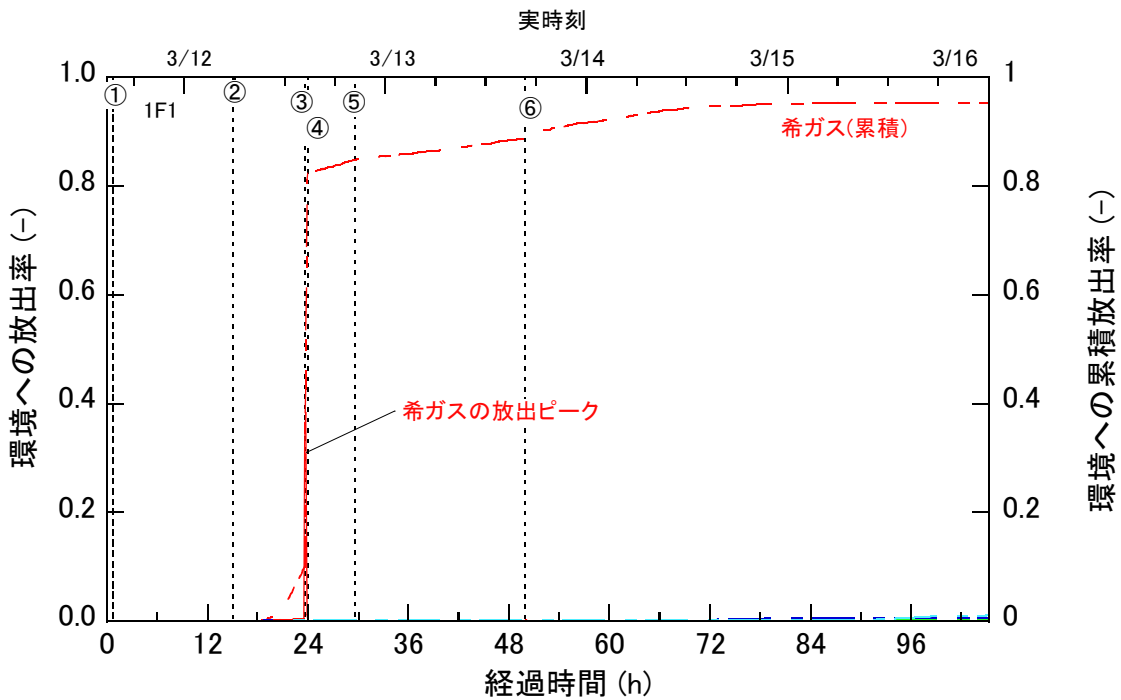


図 1-3-8 感度解析 2 での FP の環境への放出率(1/3)(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

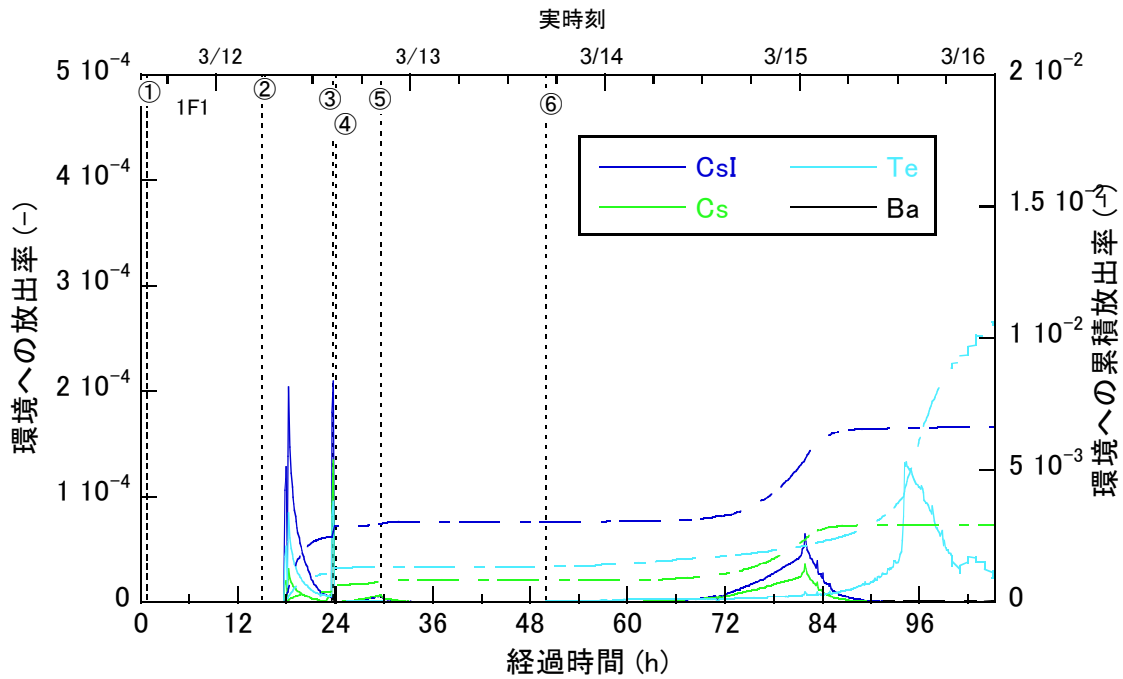


図 1-3-9 感度解析 2 での FP の環境への放出率(2/3)(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

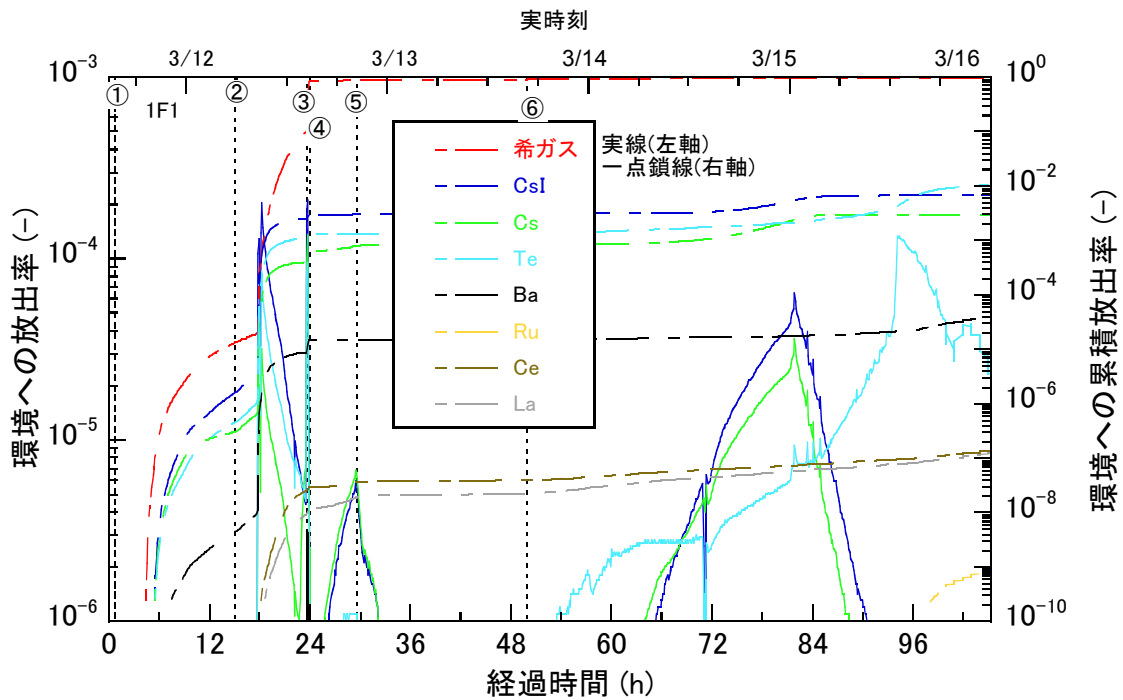


図 1-3-10 感度解析 2 での FP の環境への放出率(3/3)(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

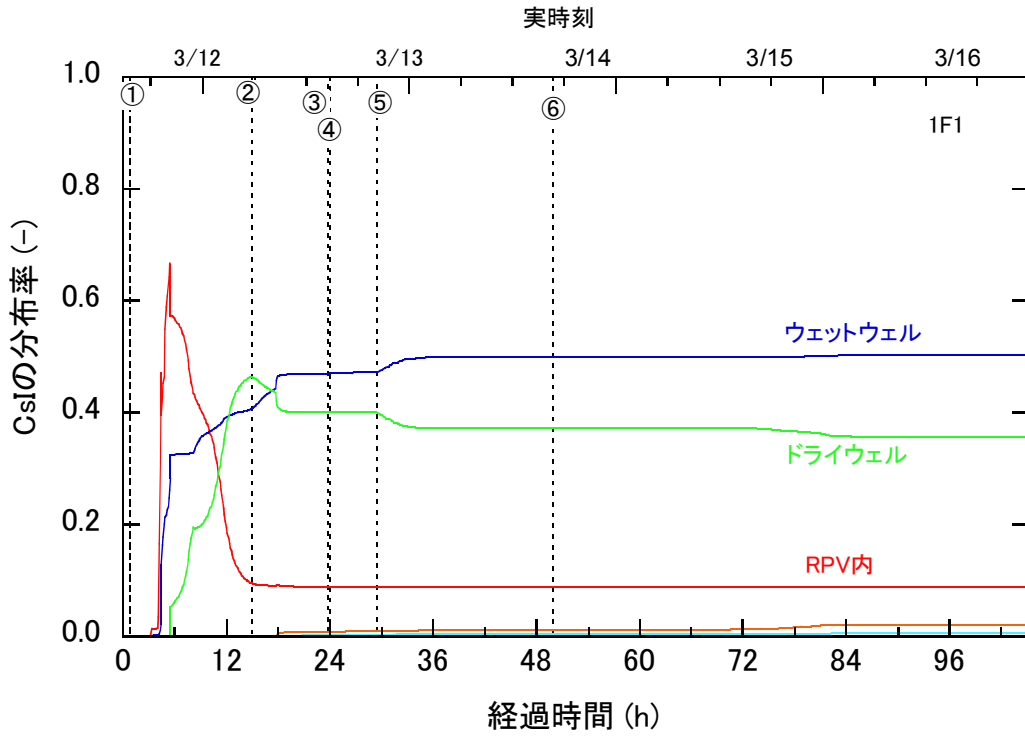


図 1-3-11 感度解析 2 での CsI の分布率(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

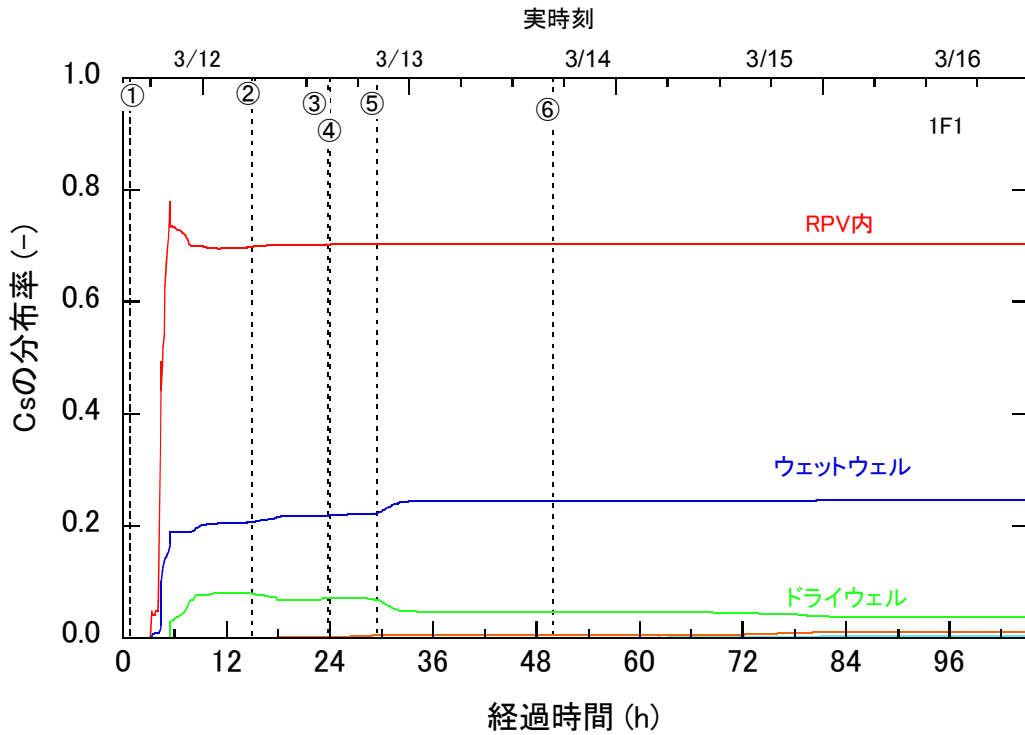


図 1-3-12 感度解析 2 での Cs の分布率(1 号機)

①IC 停止、②PCV リーク(仮定)、③W/W ベント開、④W/W ベント閉、⑤海水注水、⑥PCV リークの拡大(仮定)

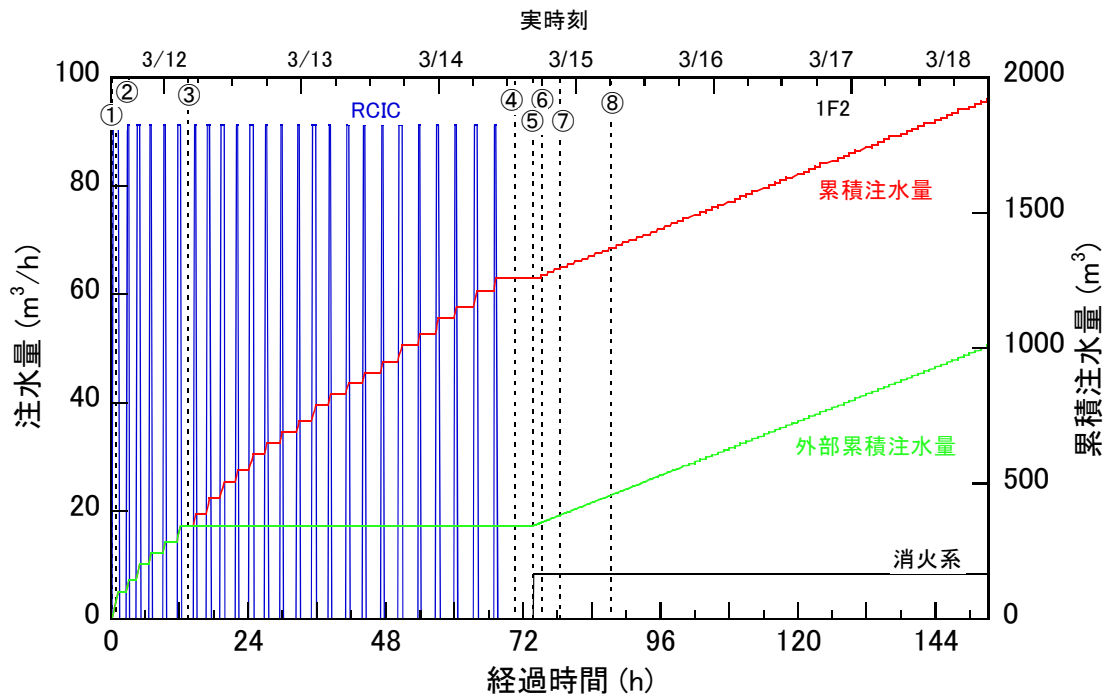


図 2-1-1 事業者解析 1 での注水量(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

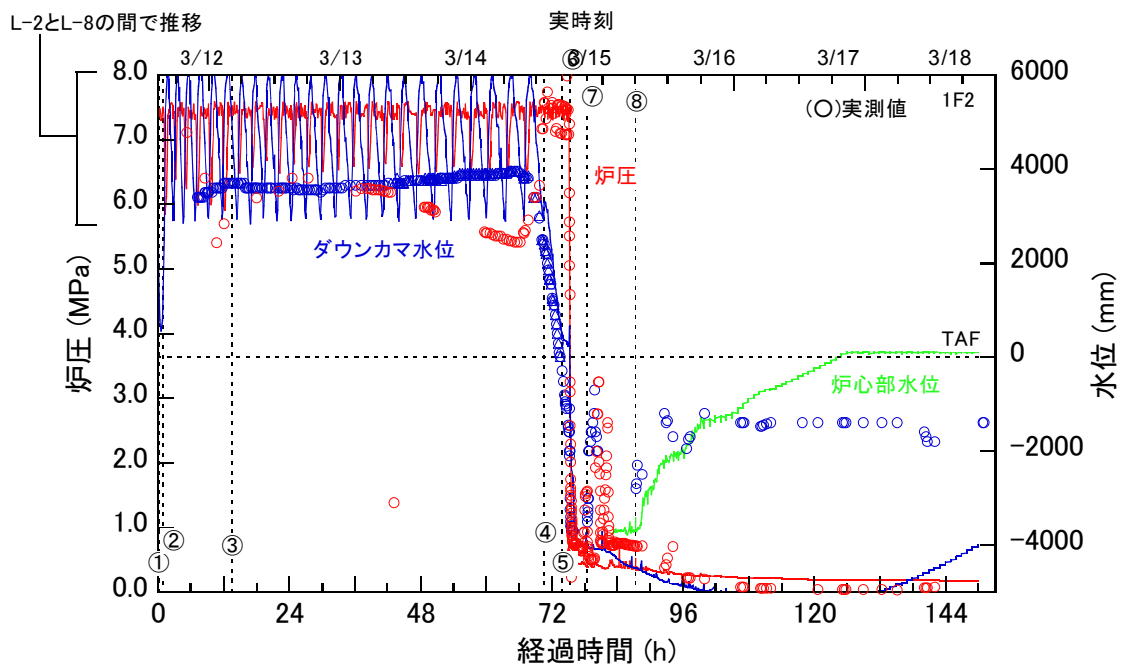


図 2-1-2 事業者解析 1 での炉圧及び水位(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

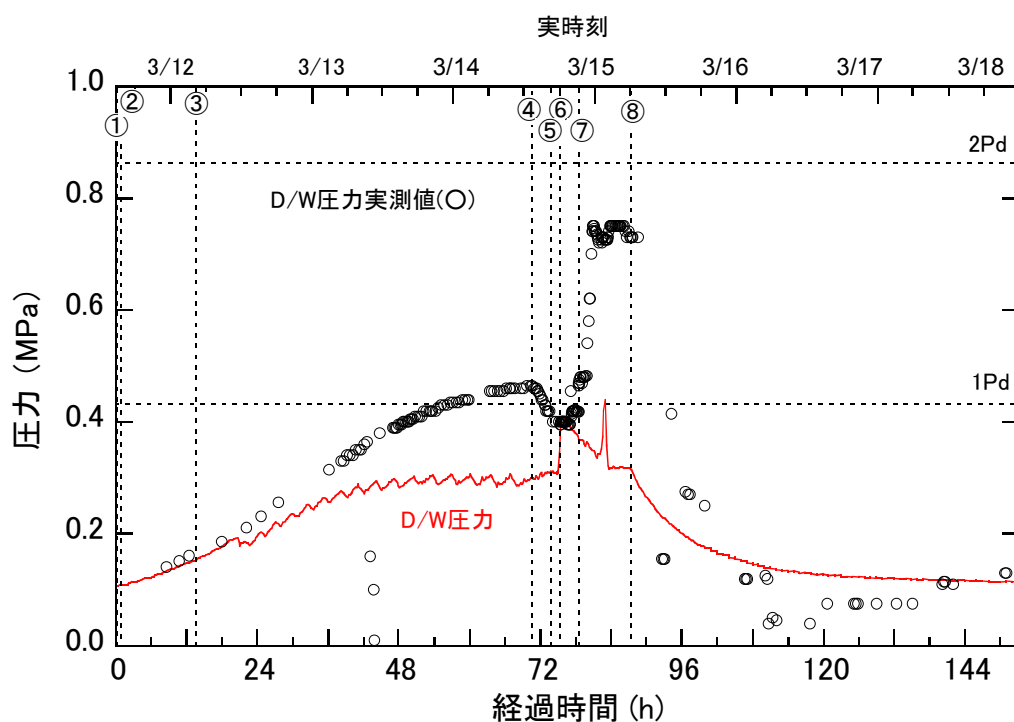


図 2-1-3 事業者解析 1 での D/W 圧力(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

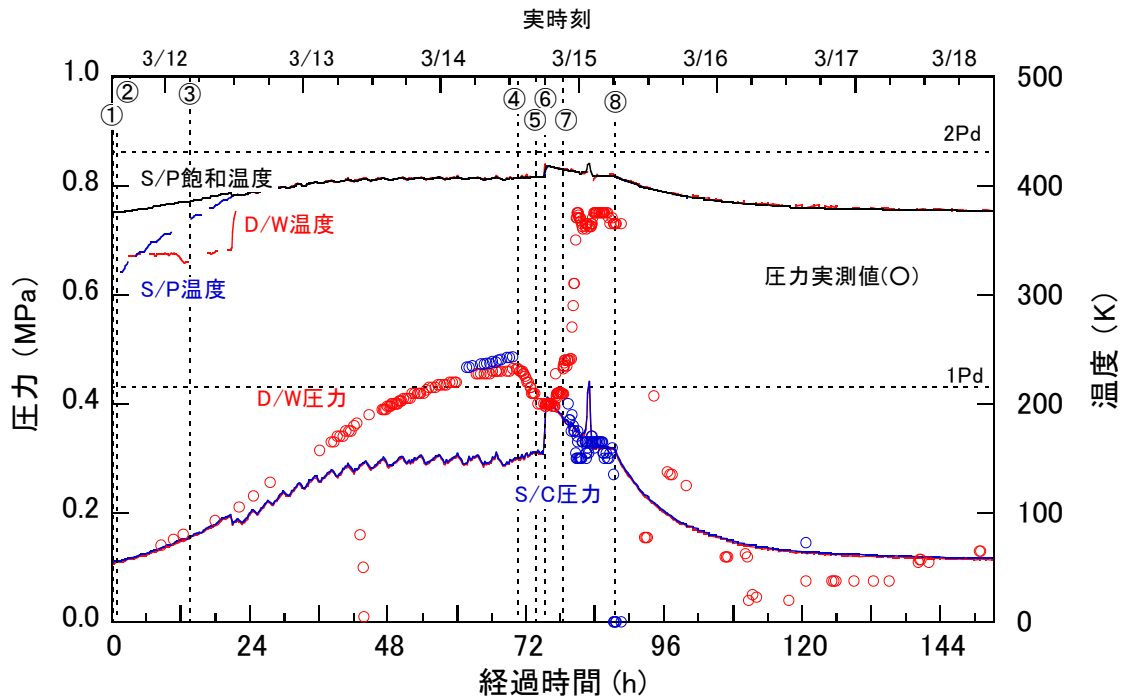


図 2-1-4 事業者解析 1 での格納容器圧力及び温度(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

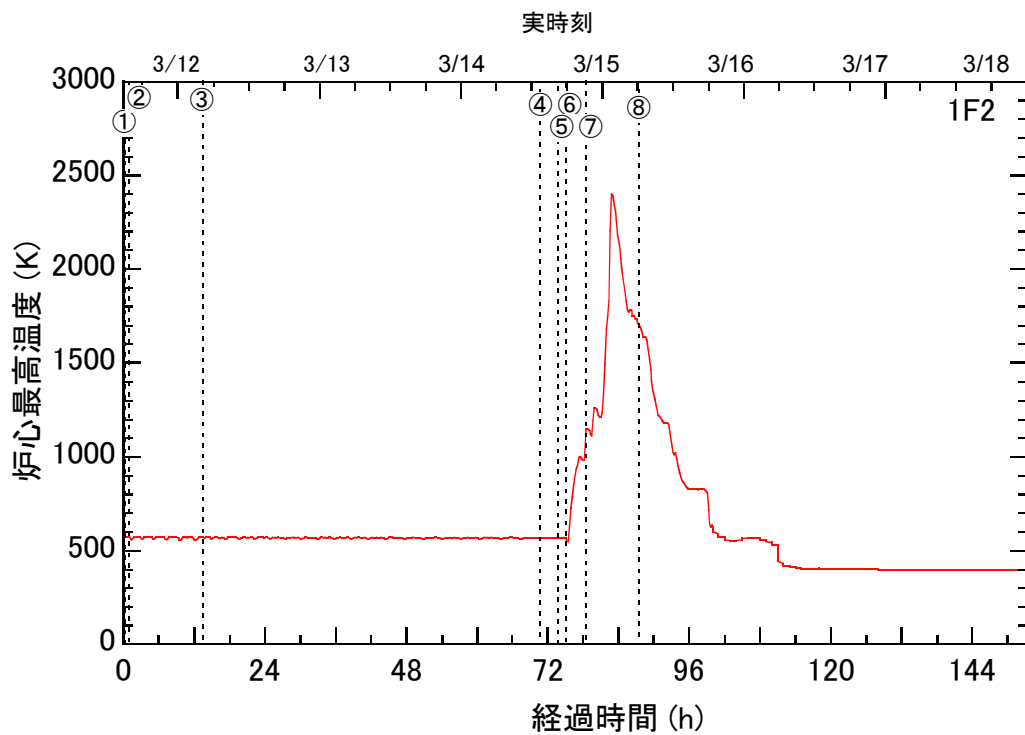


図 2-1-5 事業者解析 1 での炉心最高温度(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

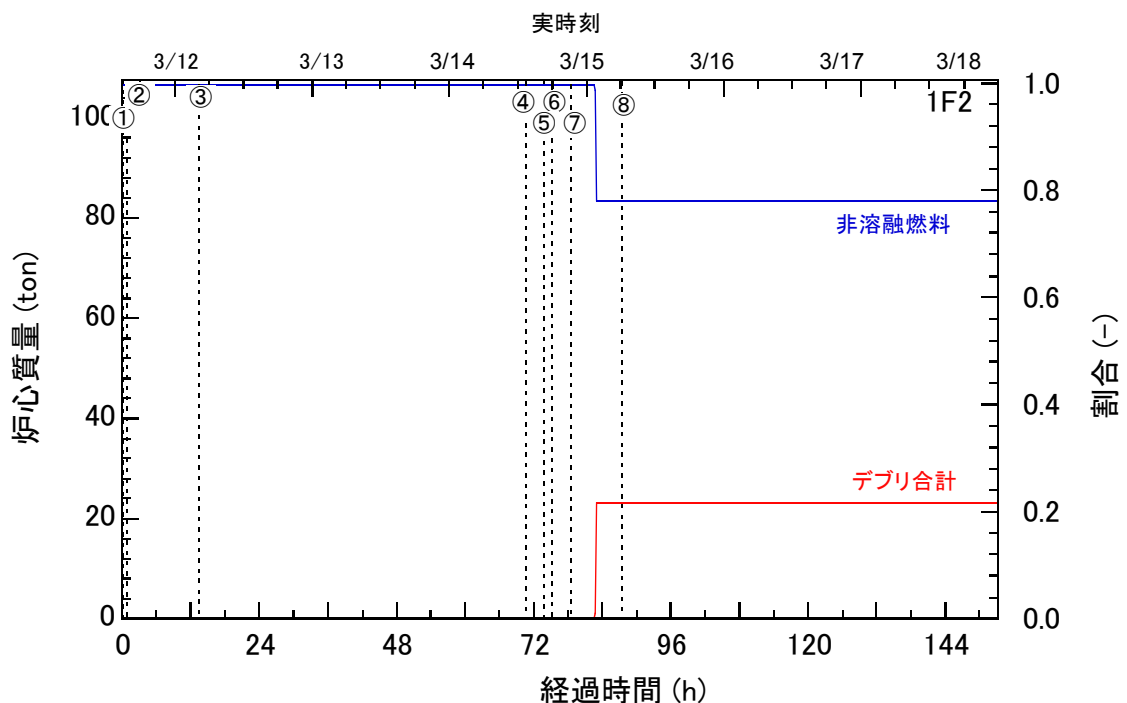


図 2-1-6 事業者解析 1 での炉心質量(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

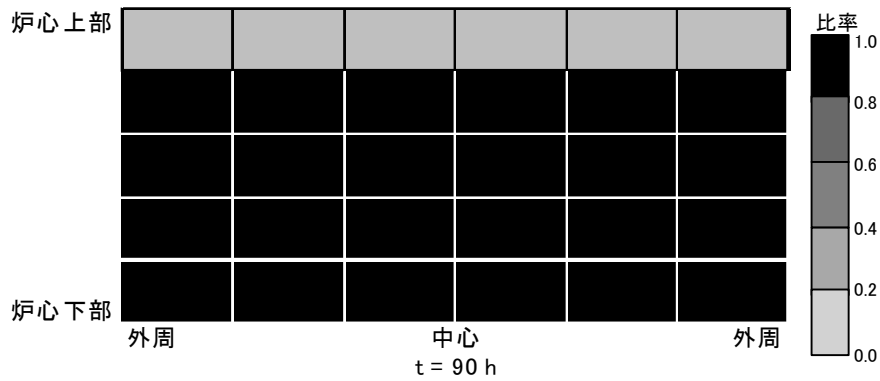
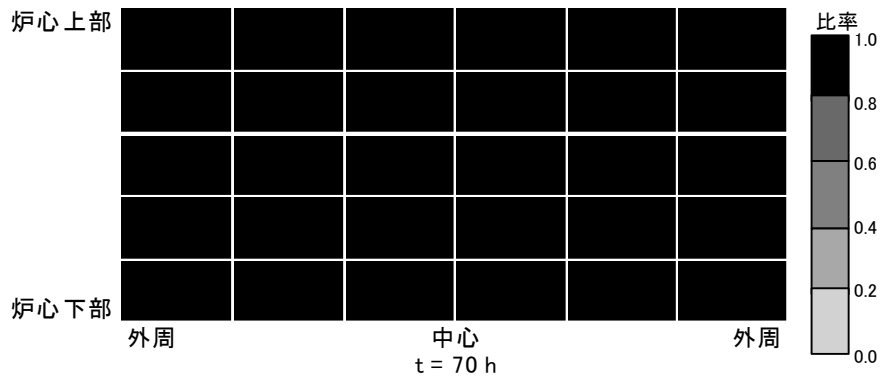


図 2-1-7 事業者解析 1 での炉心の非溶解燃料の質量分布(2号機)

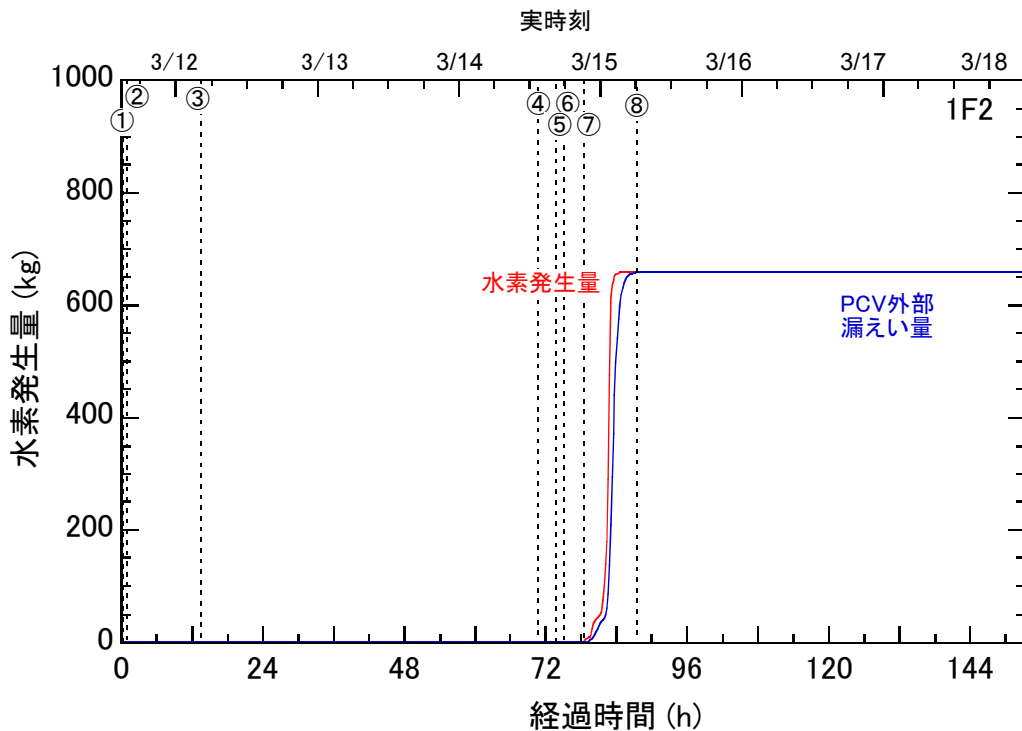


図 2-1-8 事業者解析 1 での水素発生量(2号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

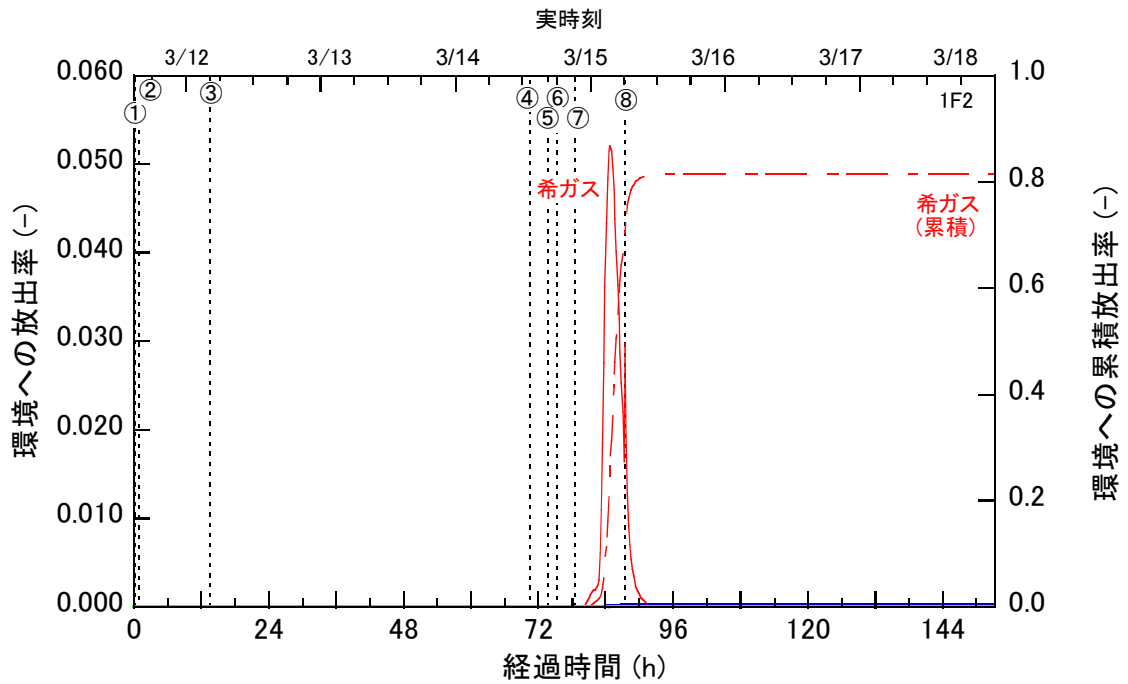


図 2-1-9 事業者解析 1 での FP の環境への放出率(1/3)(2 号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

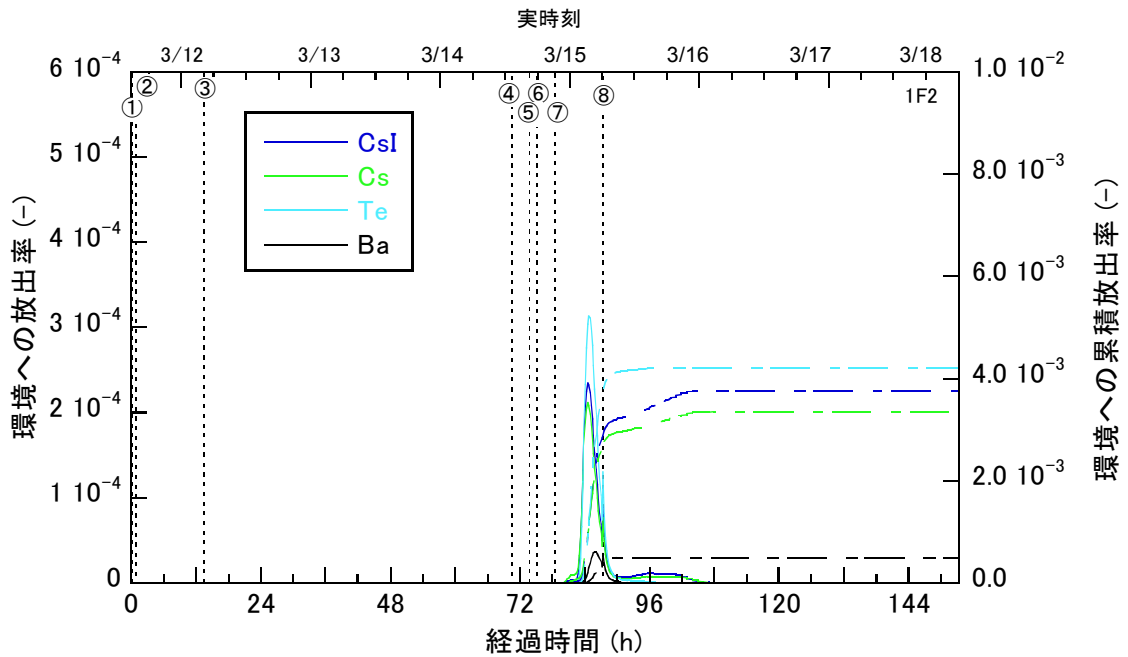


図 2-1-10 事業者解析 1 での FP の環境への放出率(2/3)(2 号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

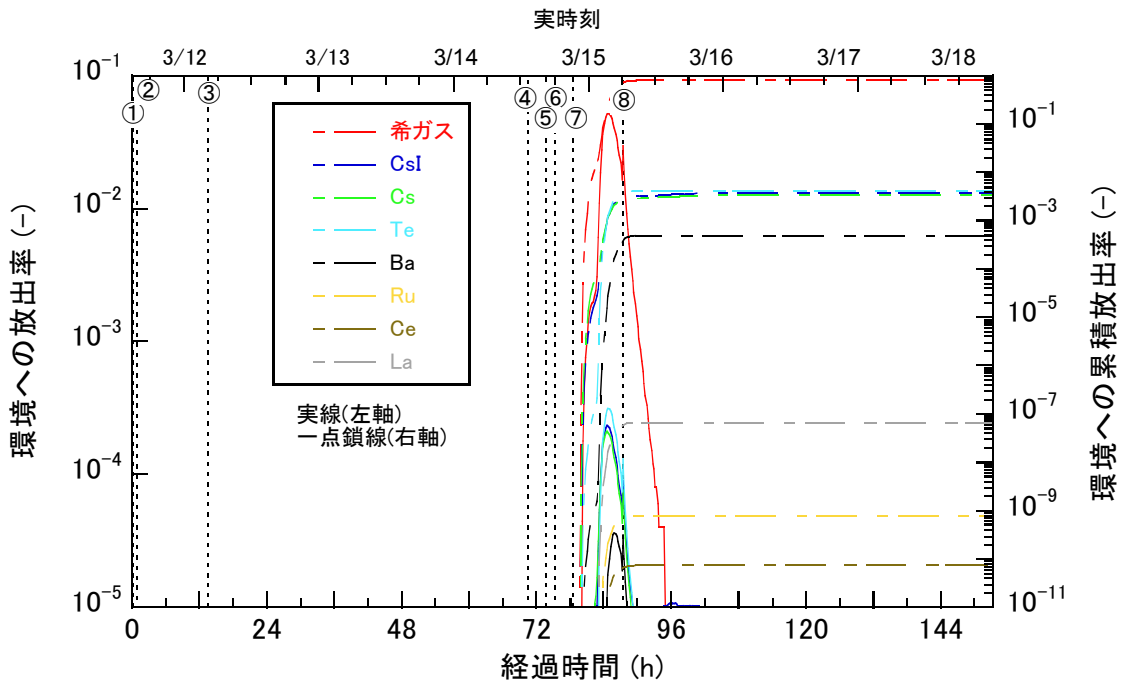


図 2-1-11 事業者解析 1 での FP の環境への放出率(3/3)(2 号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

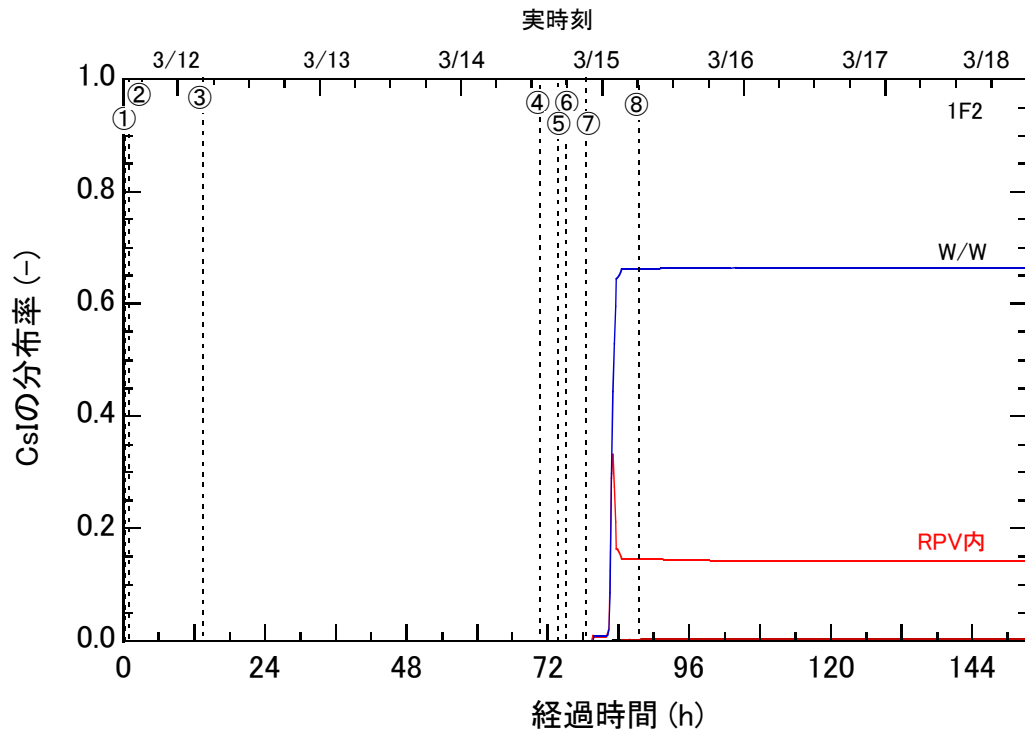


図 2-1-12 事業者解析 1 での CsI の分布(2 号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

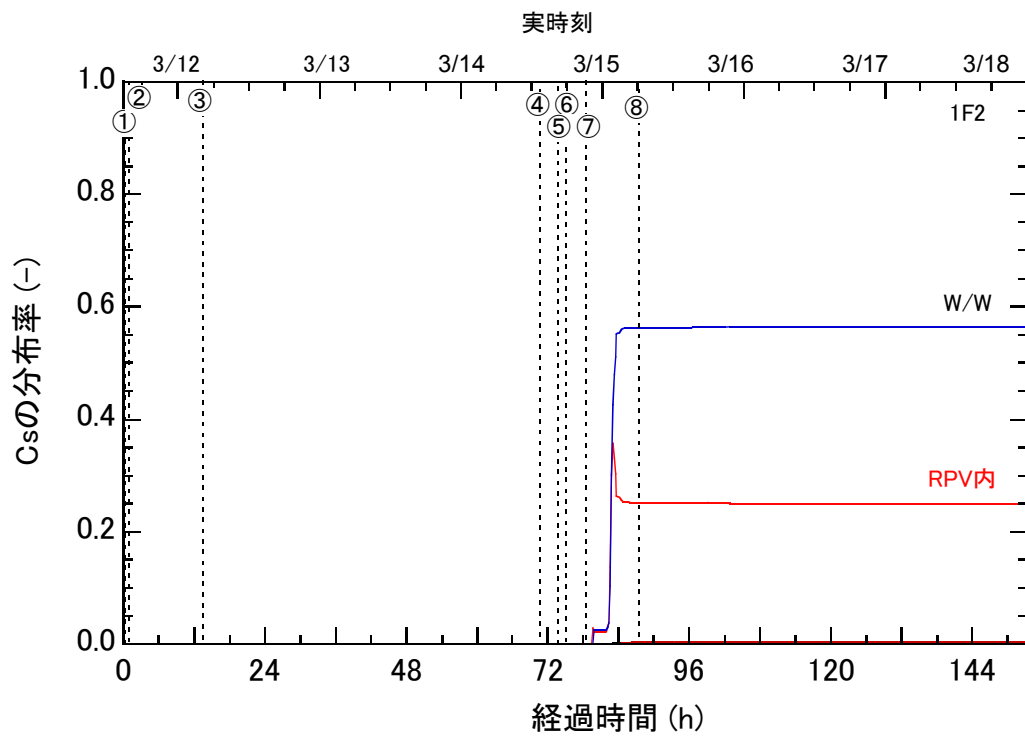


図 2-1-13 事業者解析 1 での Cs の分布(2 号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

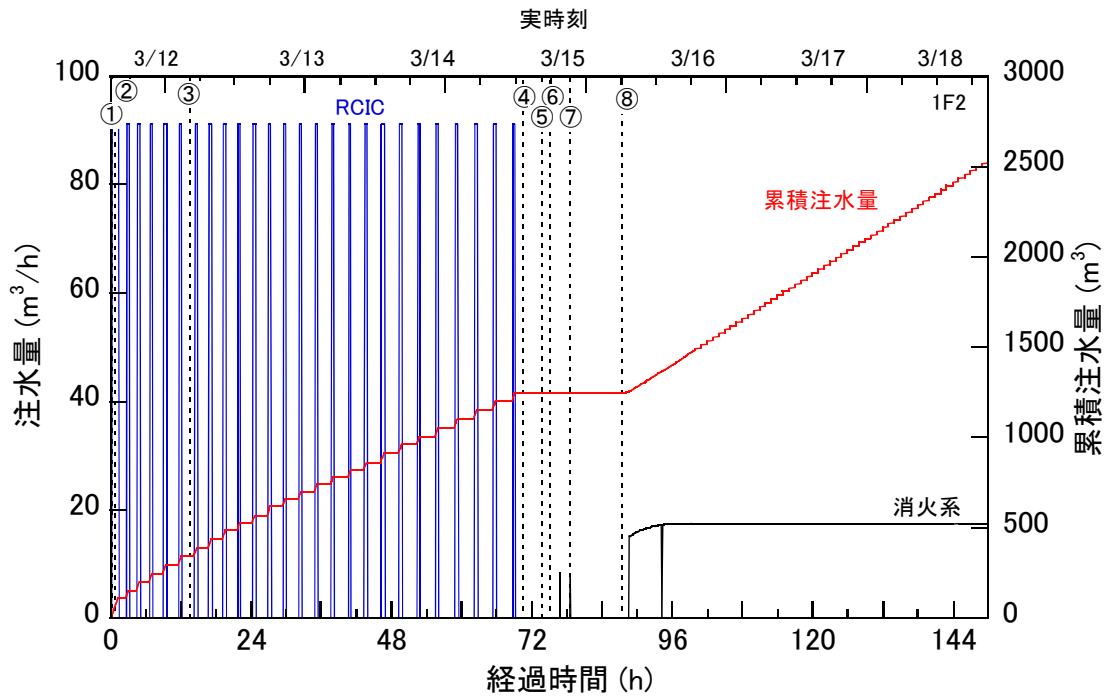


図 2-2-1 事業者解析 2 での注水量(2号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

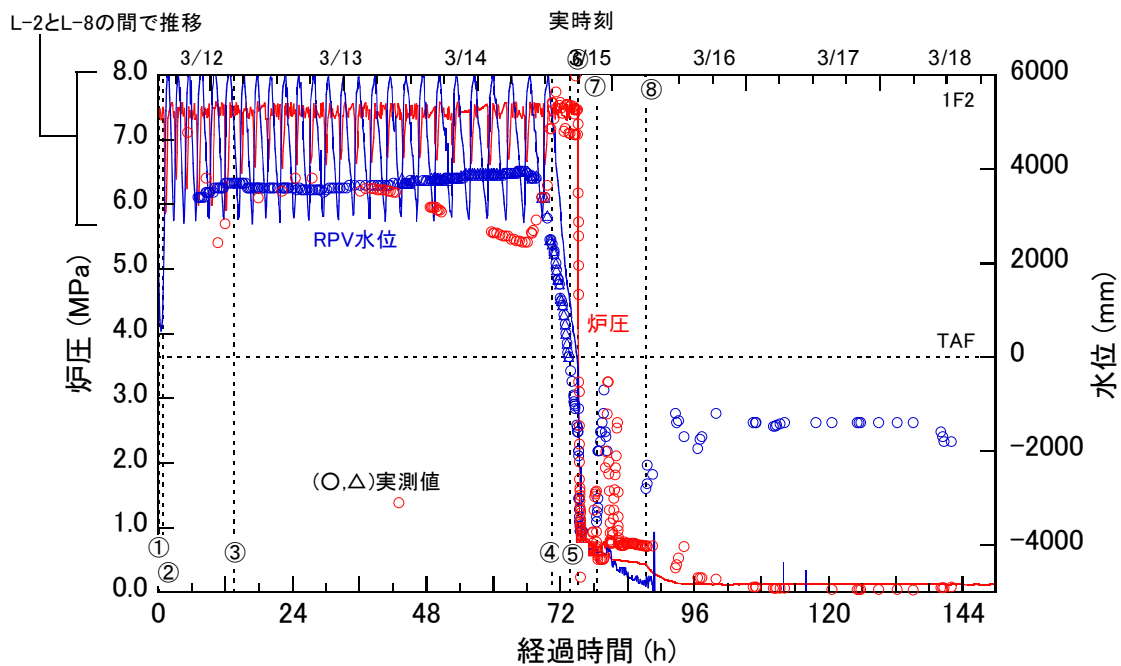


図 2-2-2 事業者解析 2 での炉圧及び水位(2号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

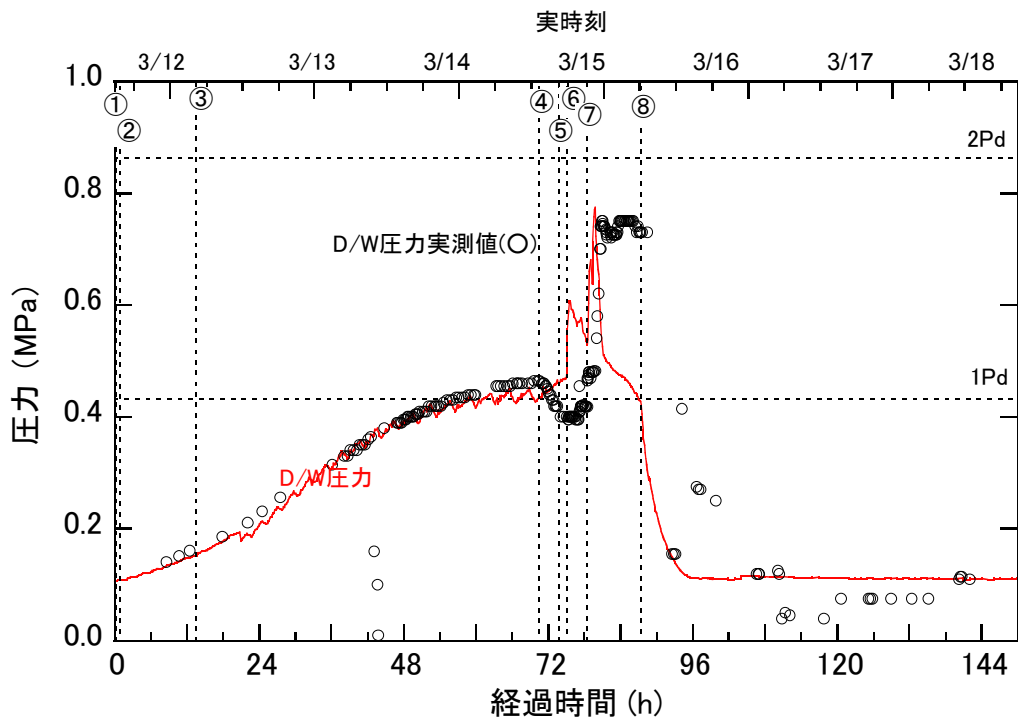


図 2-2-3 事業者解析 2 での D/W 圧力(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

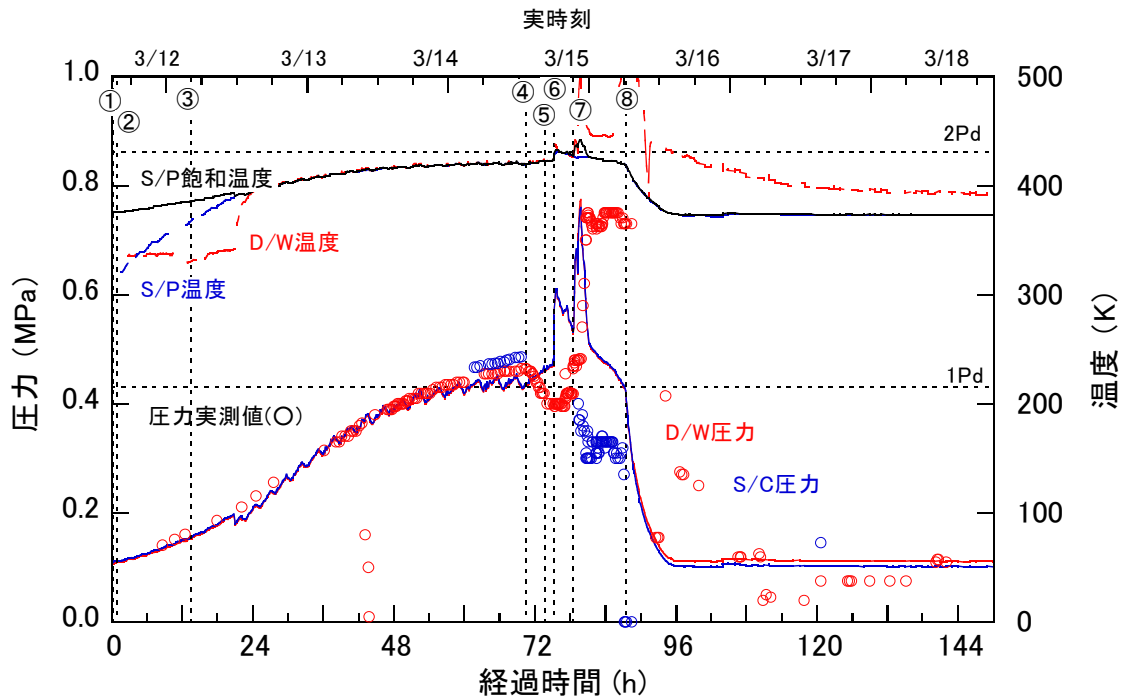


図 2-2-4 事業者解析 2 での格納容器温度変化(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

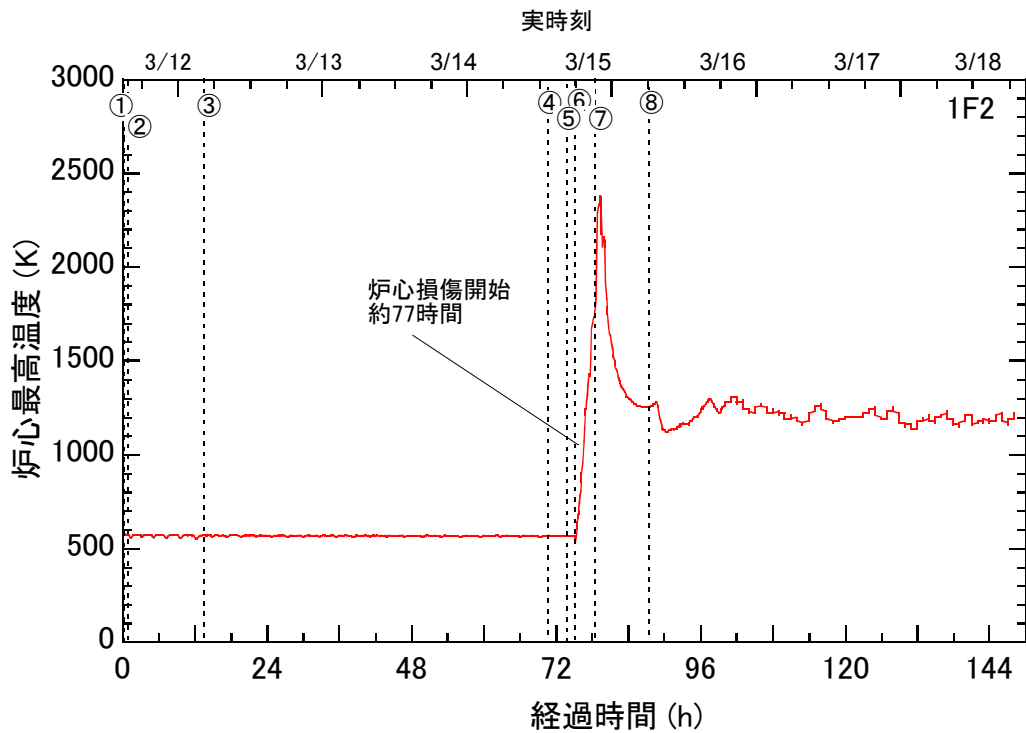


図 2-2-5 事業者解析 2 での炉心最高温度(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

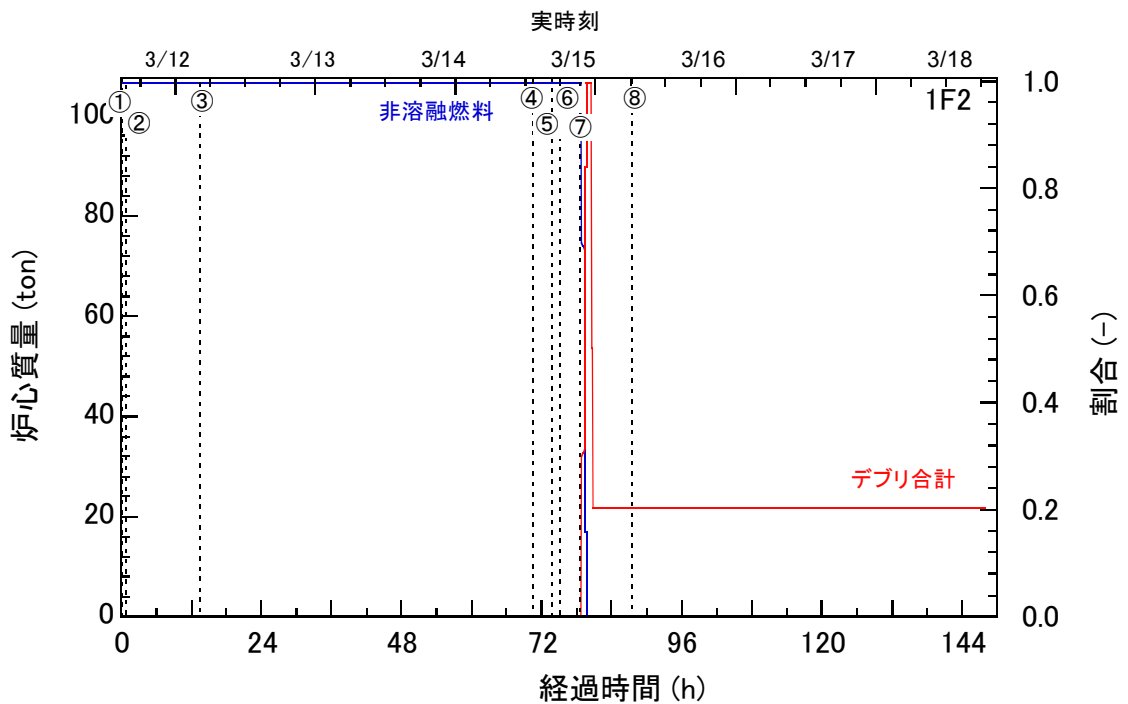


図 2-2-6 事業者解析 2 での炉心質量(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

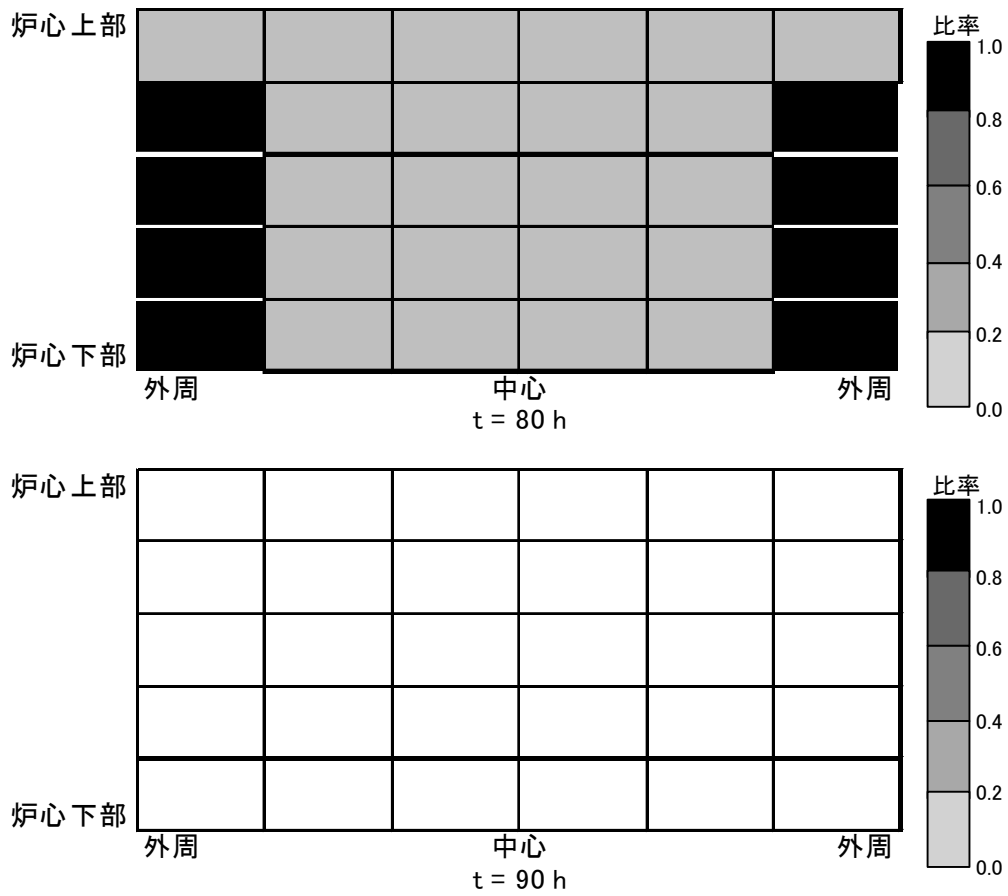


図 2-2-7 事業者解析 2 での炉心の状態図(2 号機)

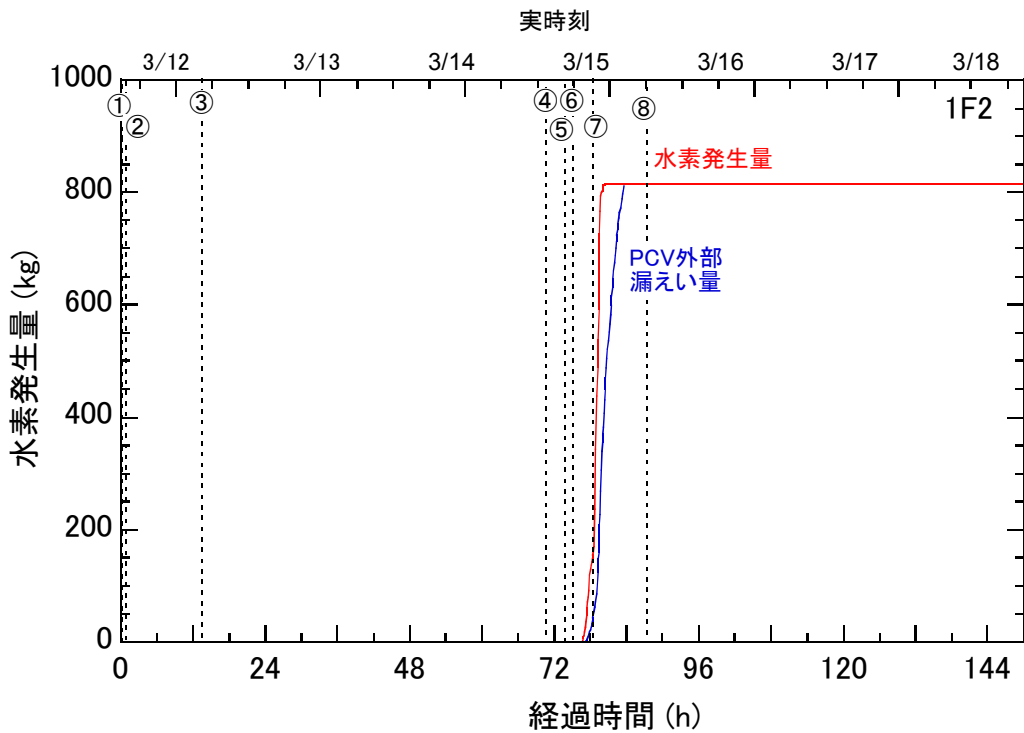


図 2-2-8 事業者解析 2 での水素発生量(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

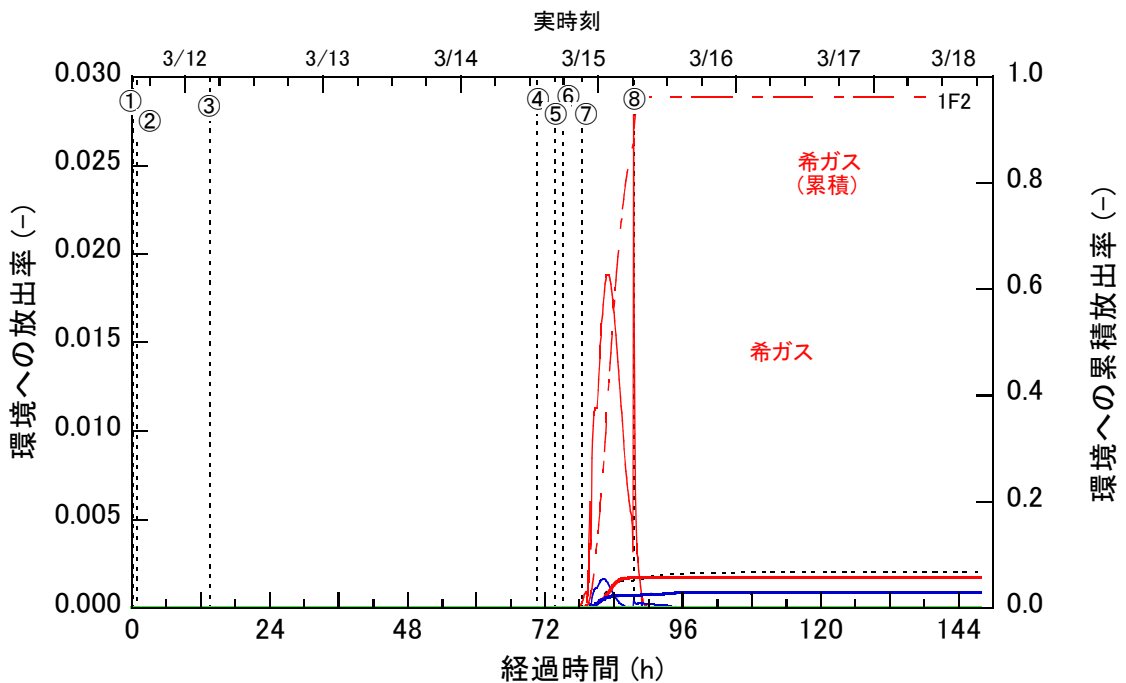


図 2-2-9 事業者解析 2 での FP 放出割合(1/2)(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

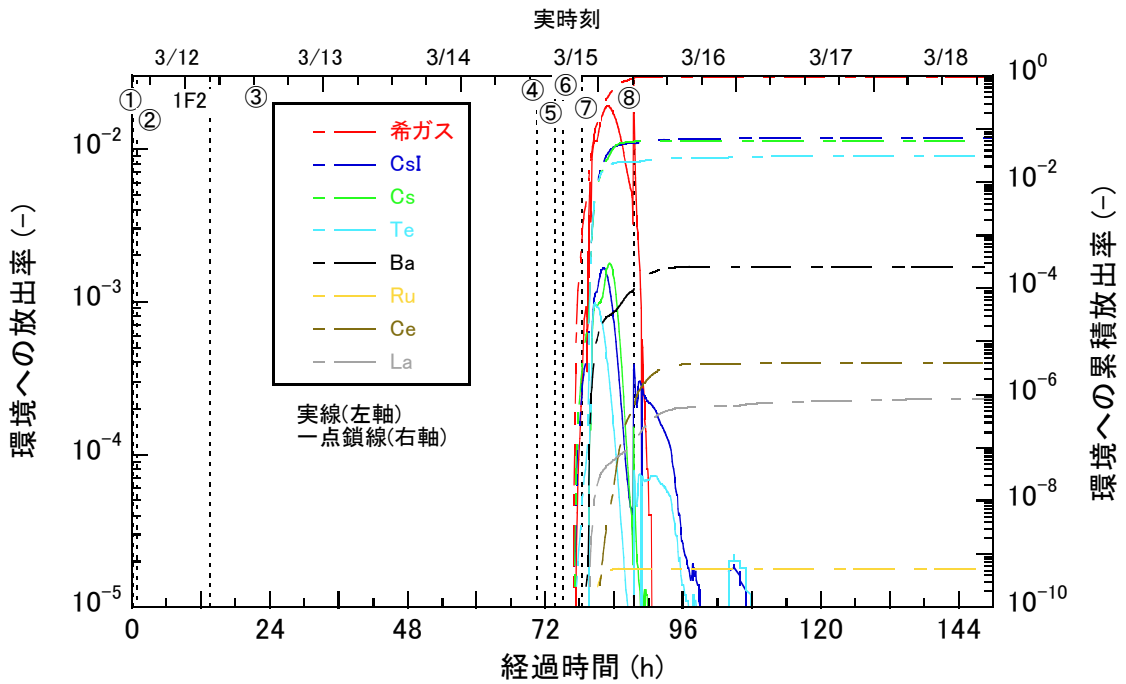


図 2-2-10 事業者解析 2 での FP 放出割合(2/2)(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

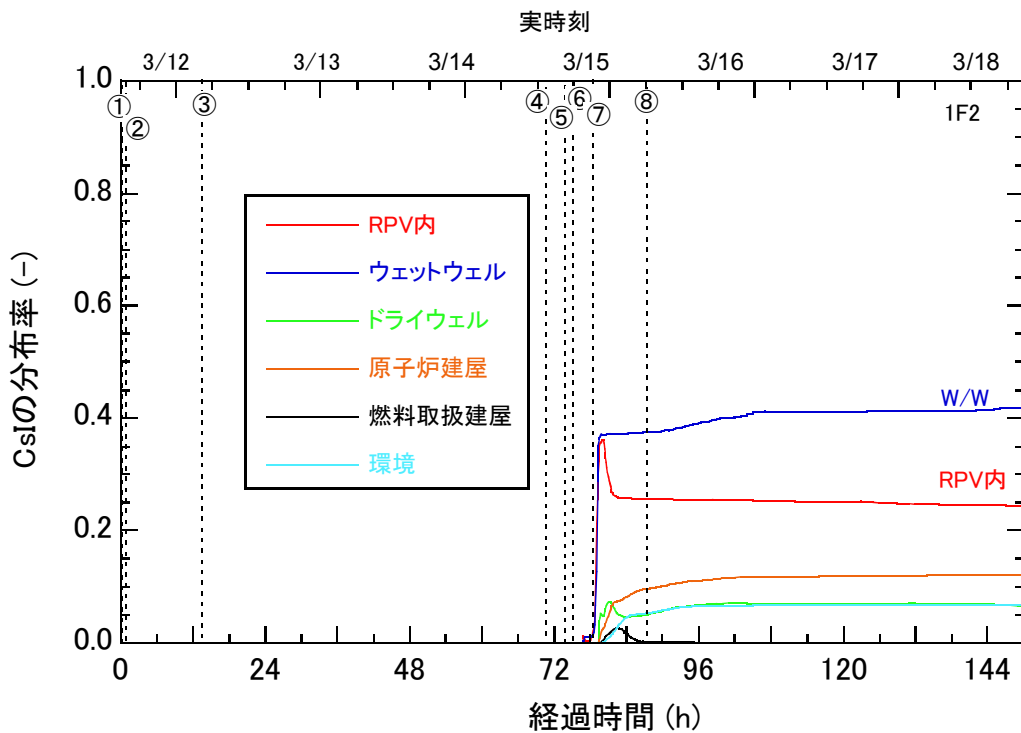


図 2-2-11 事業者解析 2 での CsI の分布(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

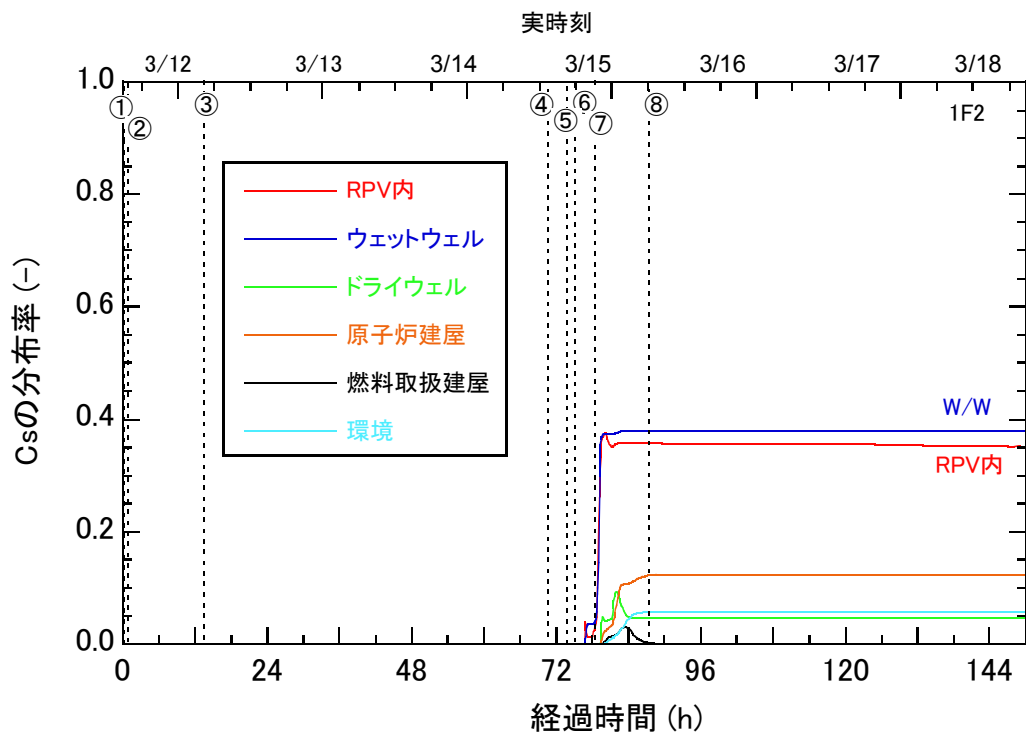


図 2-2-12 事業者解析 2 での Cs の分布(2 号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

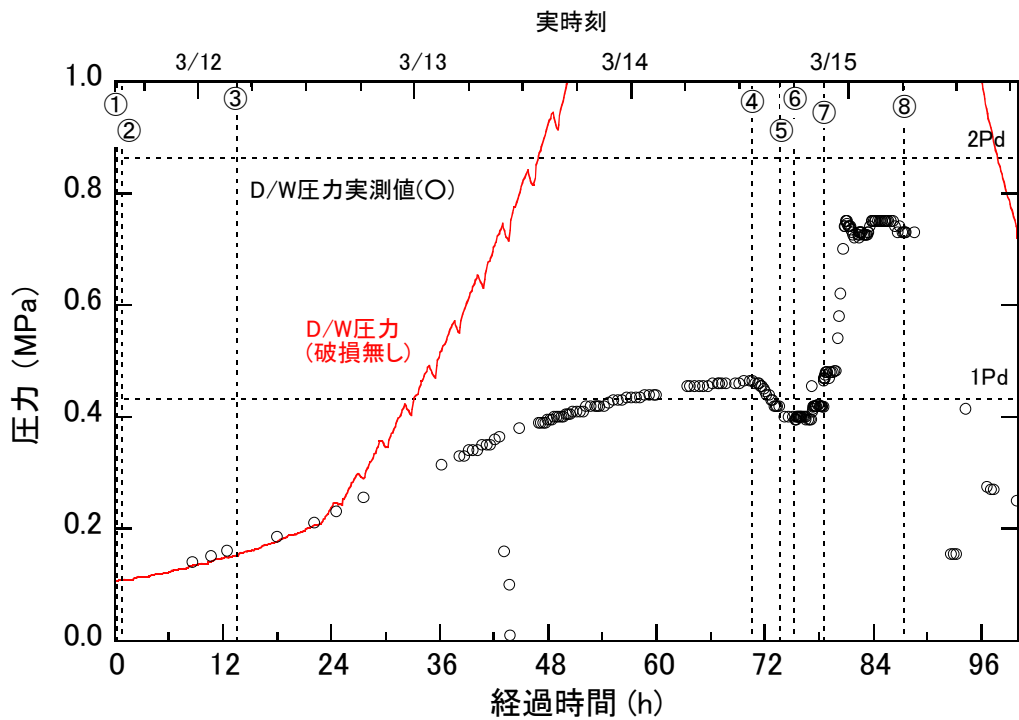


図 2-3-1 感度解析(ケース 1)での D/W 圧力(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

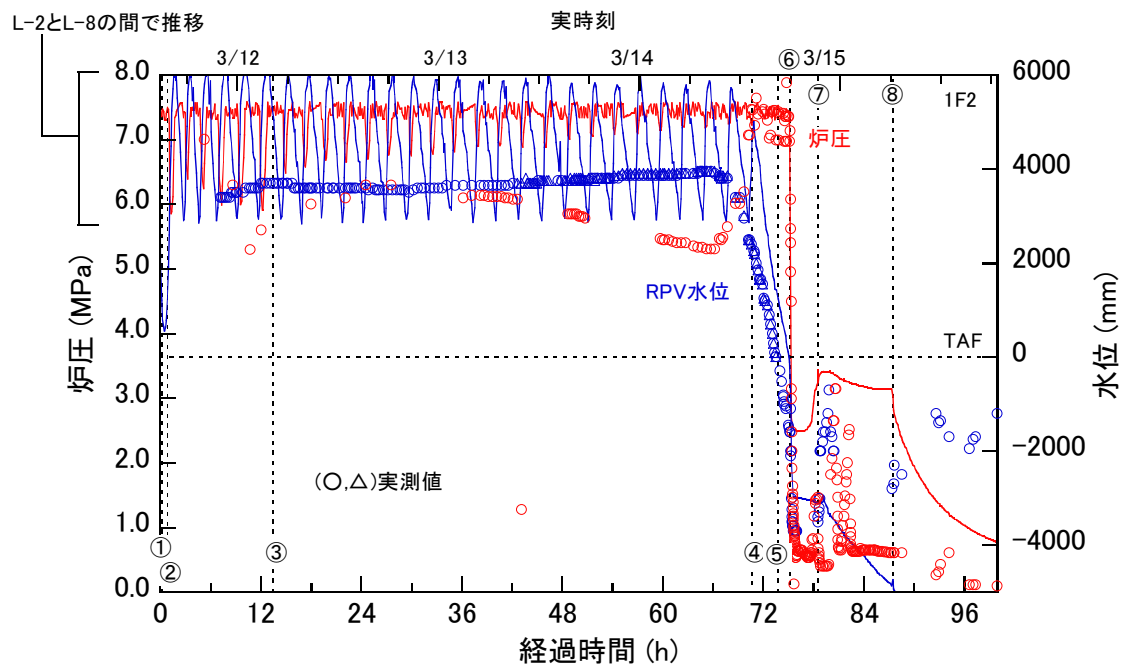


図 2-3-2 感度解析(ケース 1)での炉圧及び水位(2号機)

①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

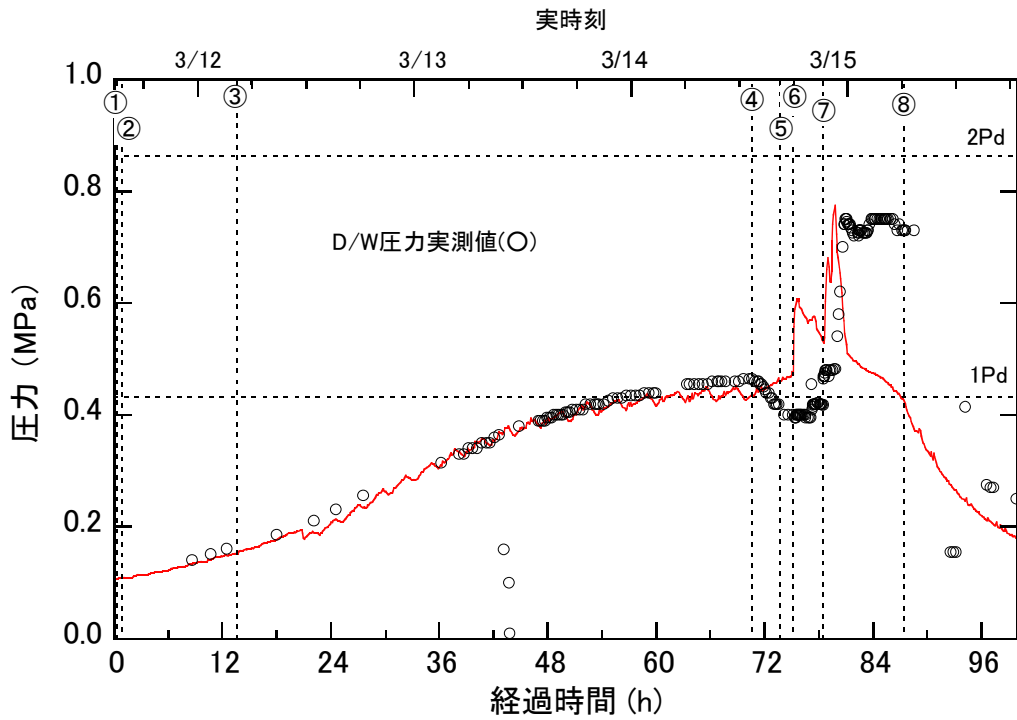


図 2-4-1 感度解析(ケース 2)での D/W 圧力(2号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

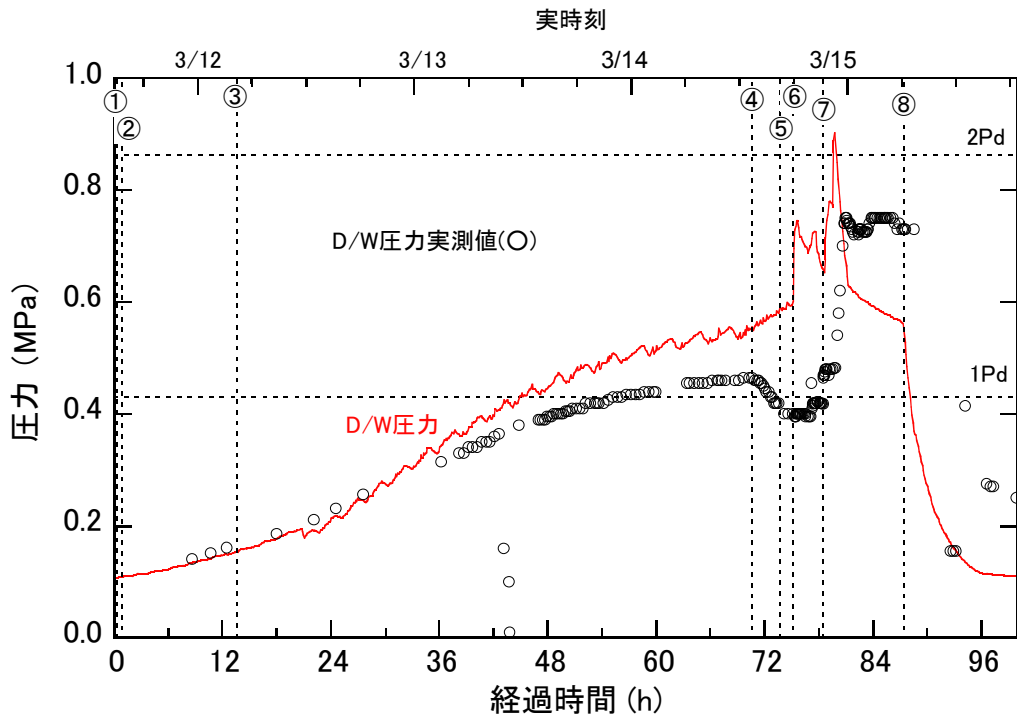


図 2-5-1 感度解析(ケース 3)での D/W 圧力(2号機)

- ①RCIC 手動起動、②全交流電源喪失、③RCIC 水源を CST から S/C に切り替え、④RCIC 作動停止、⑤海水注水作業開始、⑥RPV 圧力低下確認、⑦S/R2 弁開、⑧衝撃音

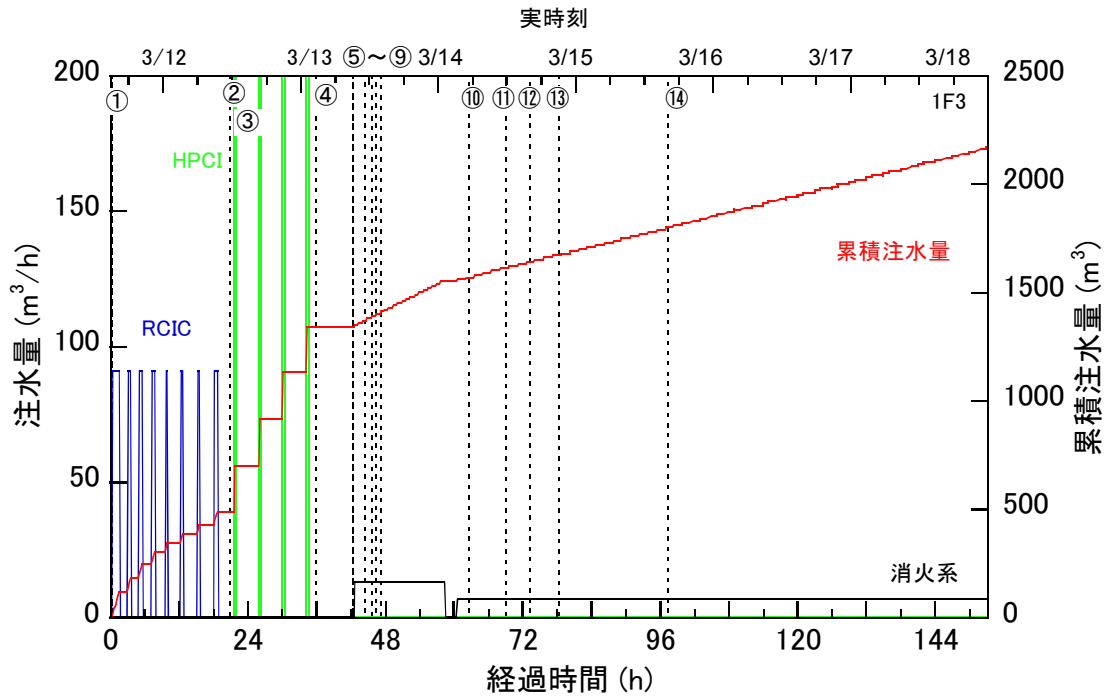


図 3-1-1 事業者解析 1 での注水量(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

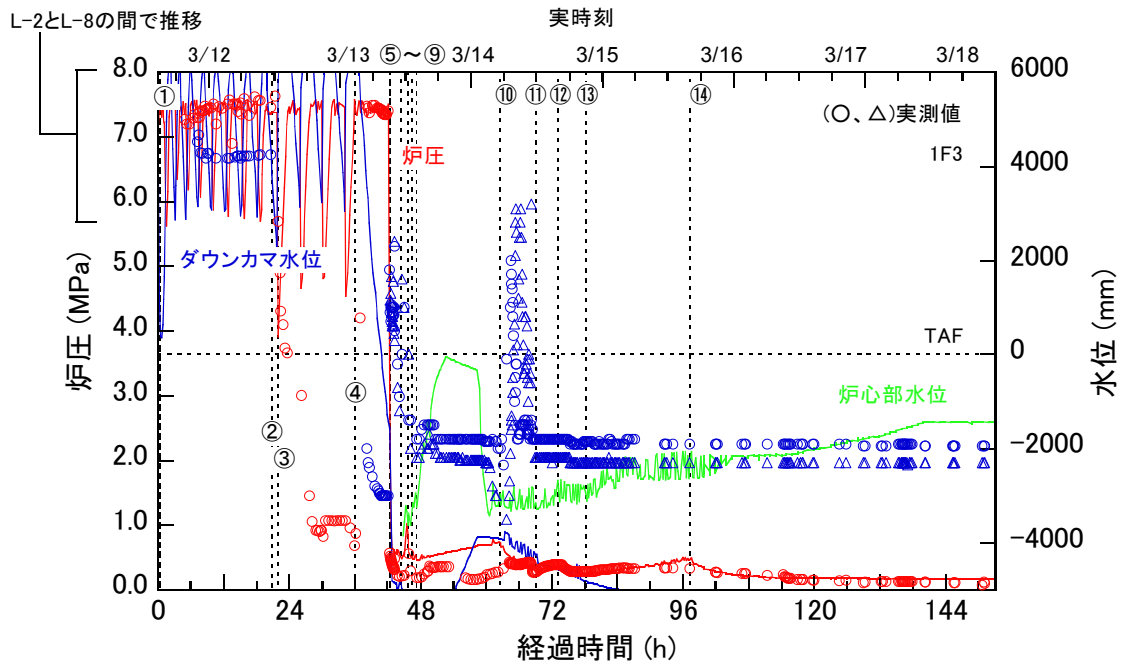


図 3-1-2 事業者解析 1 での RPV 圧力と水位(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

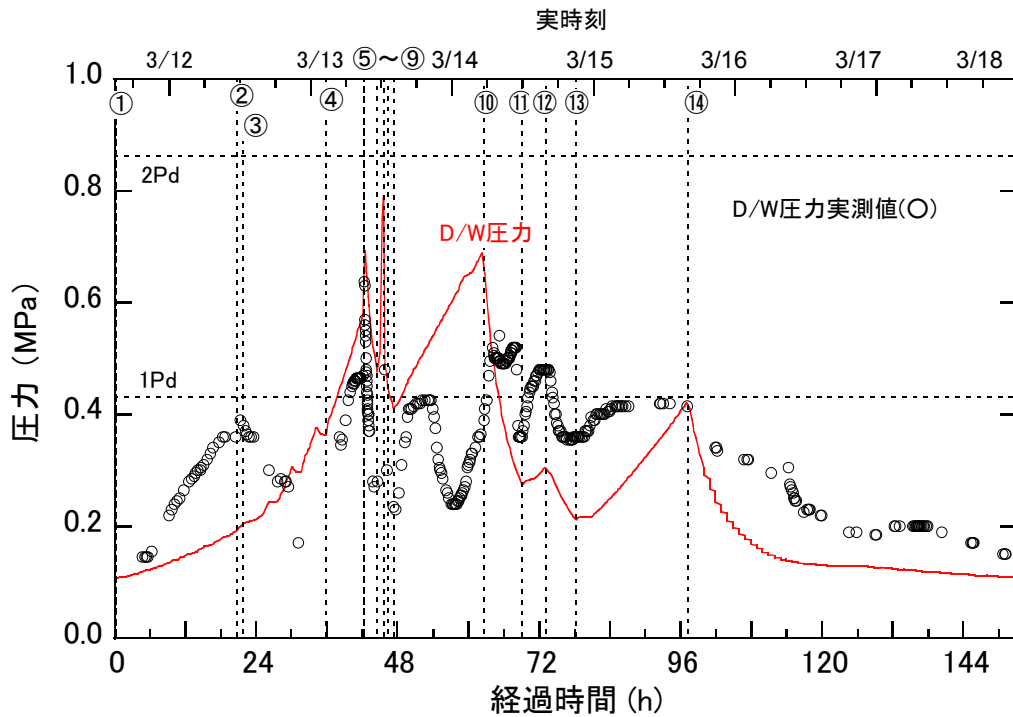


図 3-1-3 事業者解析 1 での D/W 圧力(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

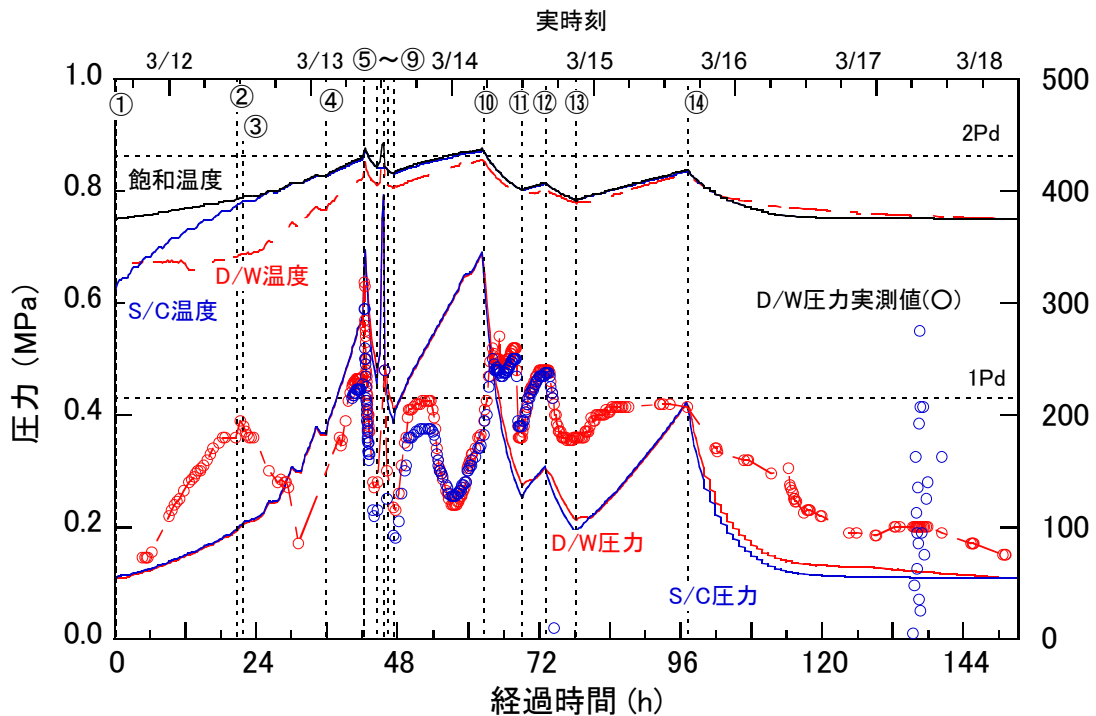


図 3-1-4 事業者解析 1 での PCV 圧力と温度(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

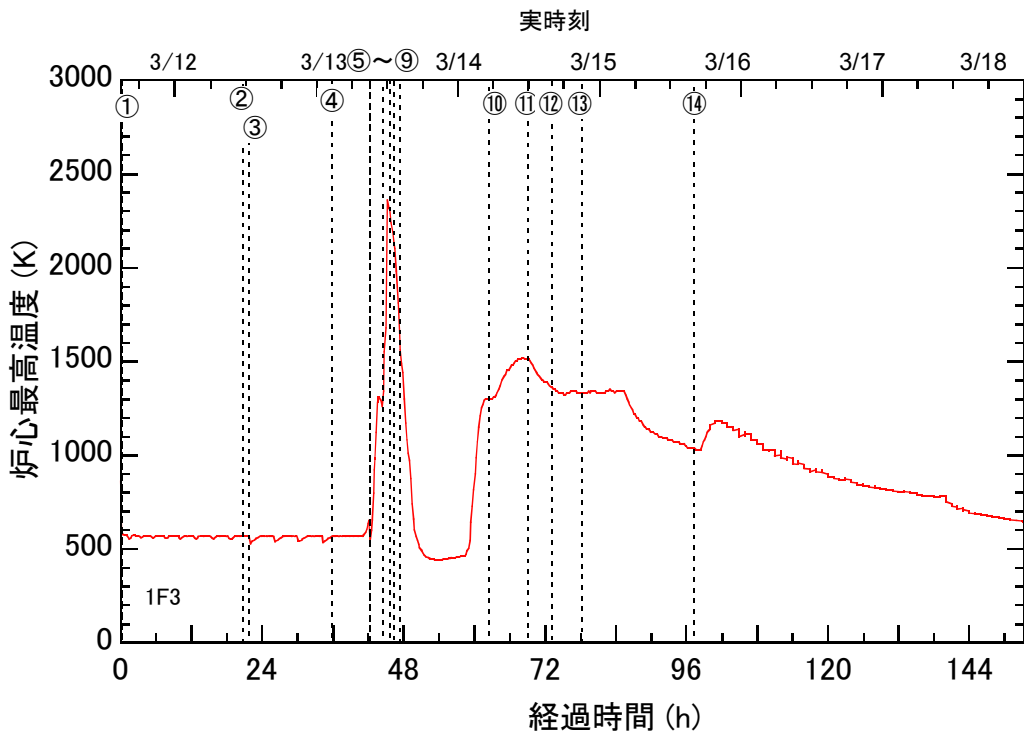


図 3-1-5 事業者解析 1 での炉心最高温度(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

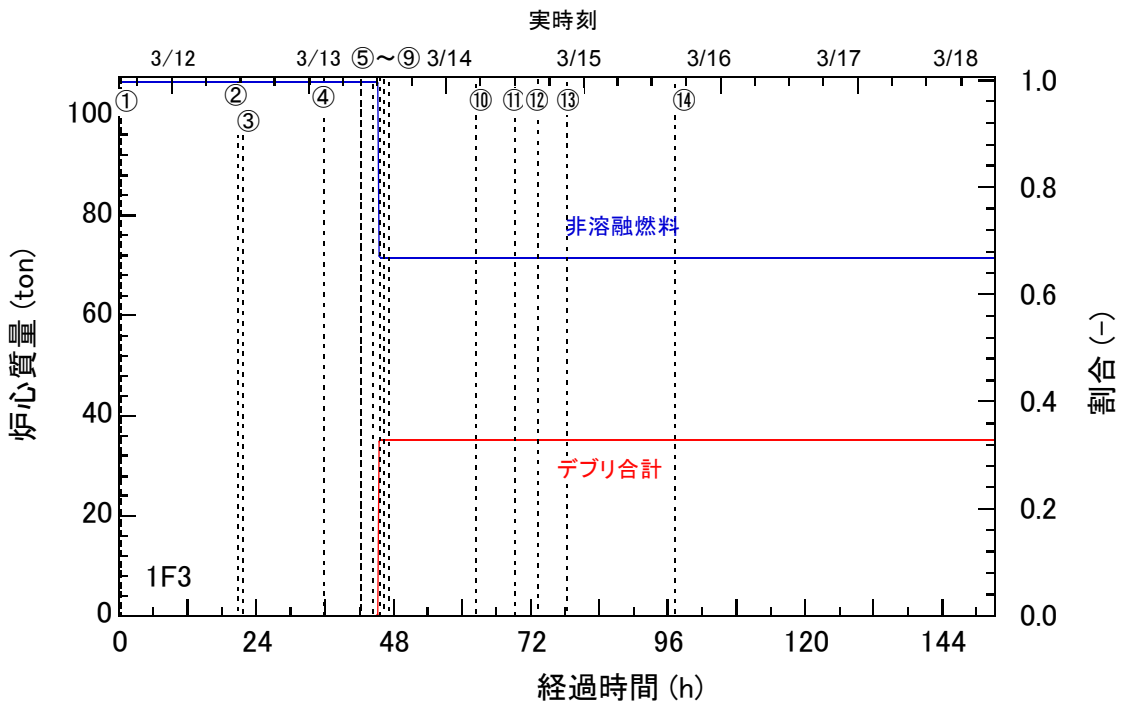


図 3-1-6 事業者解析 1 での炉心質量(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

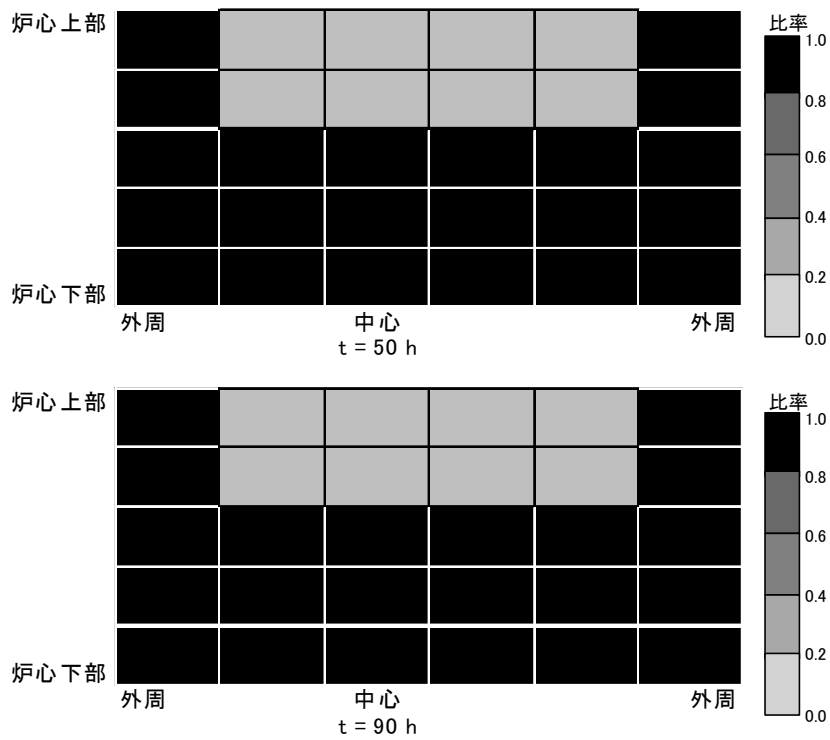


図 3-1-7 事業者解析 1 での炉心の非溶解燃料の質量分布(3 号機)

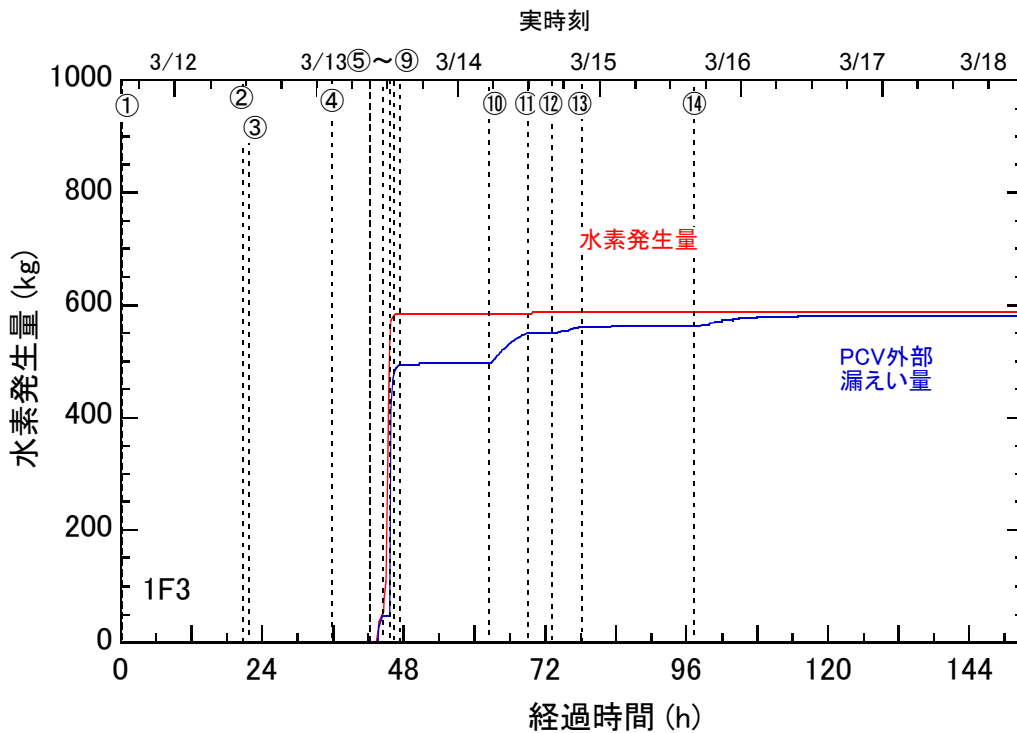


図 3-1-8 事業者解析 1 での水素発生量(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

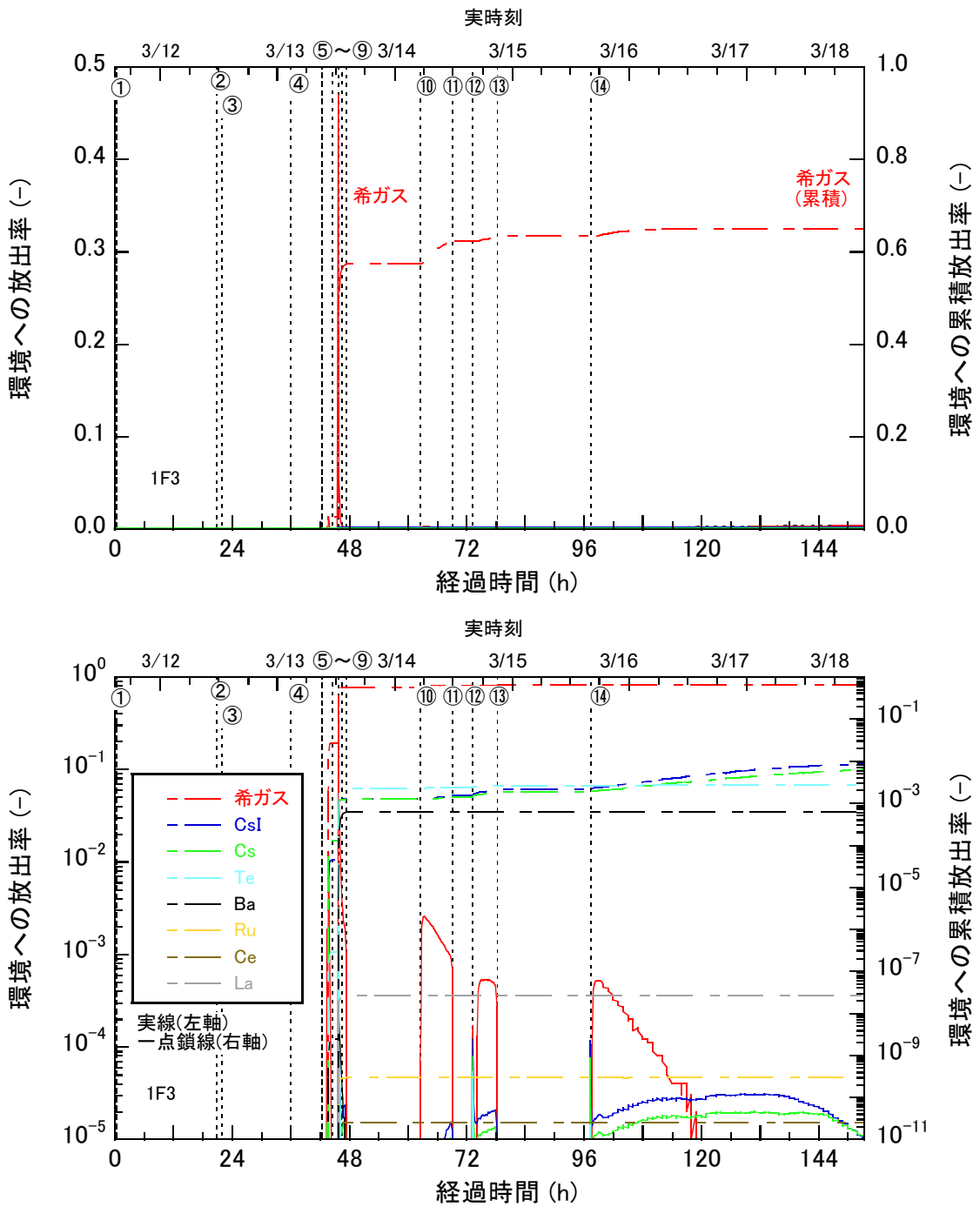


図 3-1-9 事業者解析 1 での FP の環境への放出率(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

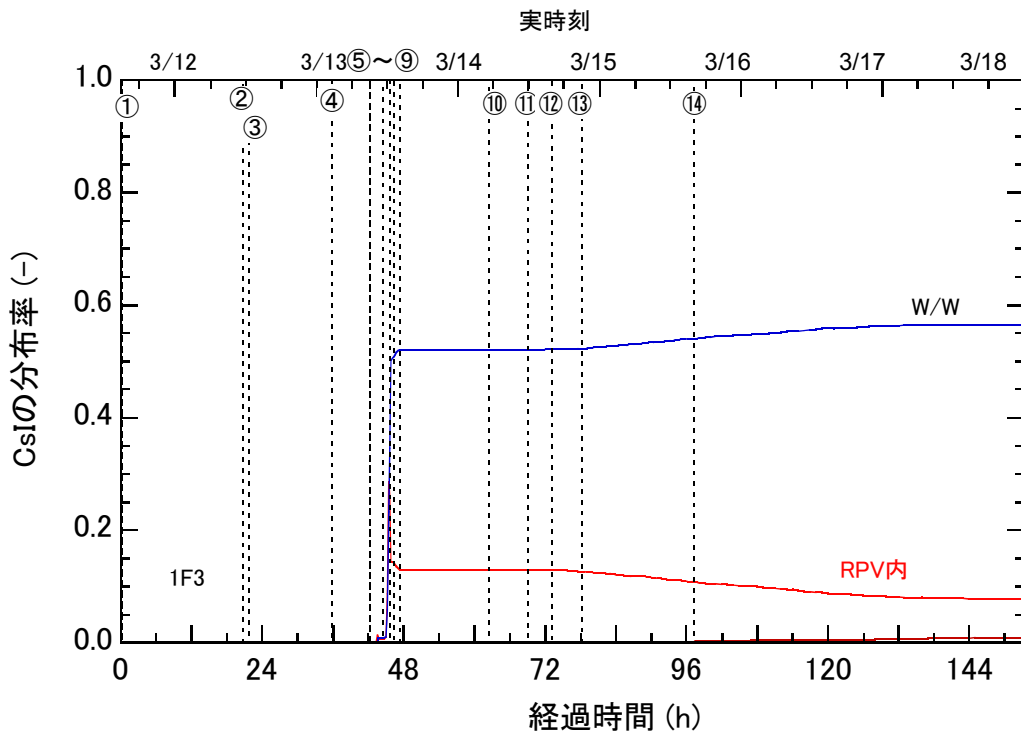


図 3-1-10 事業者解析 1 での CsI の分布(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

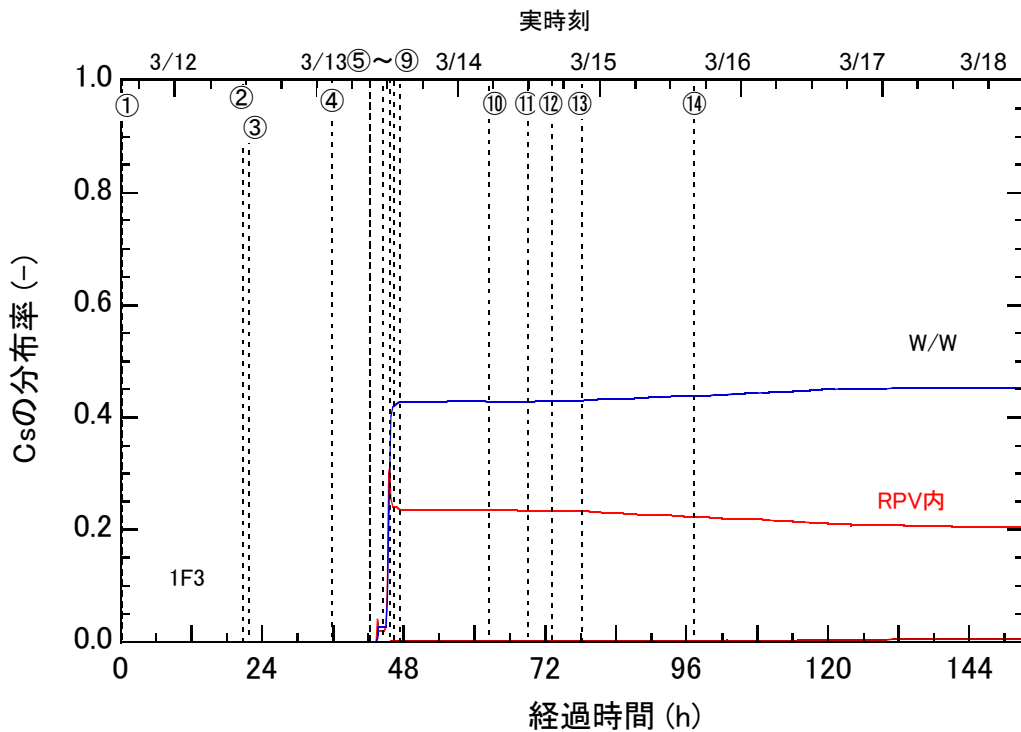


図 3-1-11 事業者解析 1 での Cs の分布(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

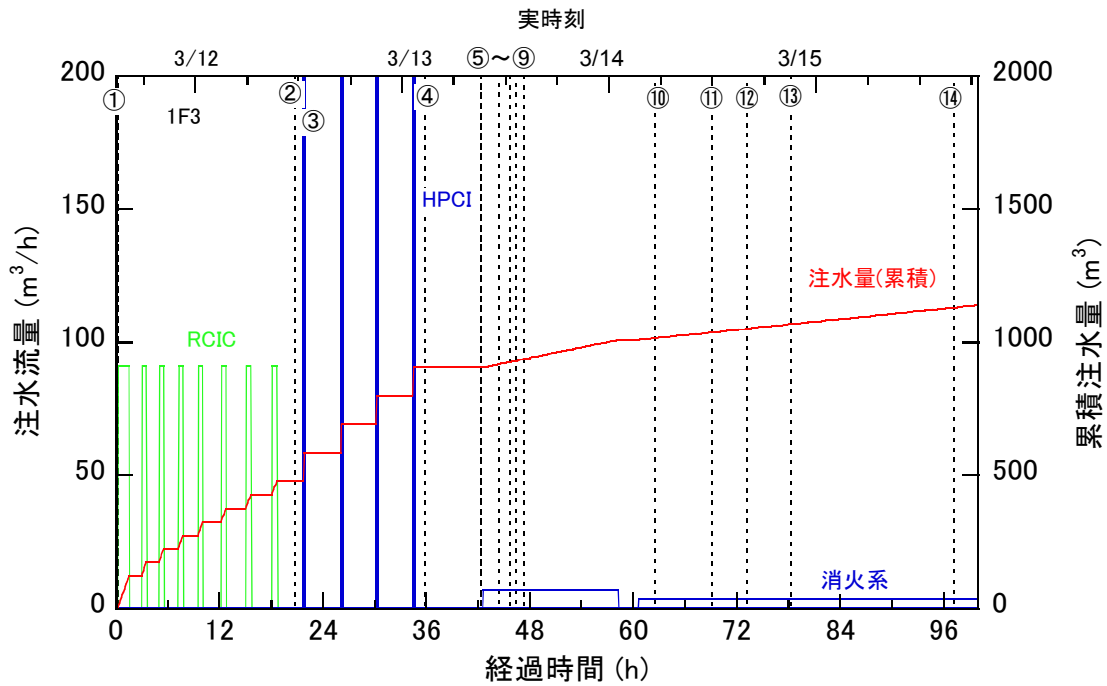


図 3-2-1 事業者解析 2 での注水量(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

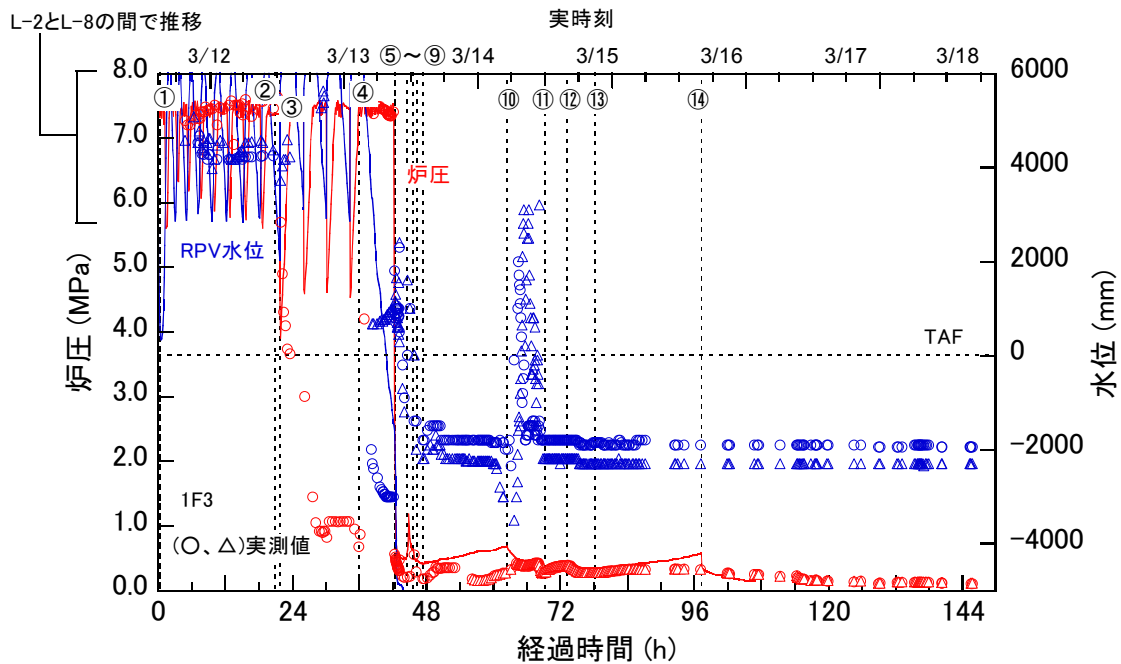


図 3-2-2 事業者解析 2 での RPV 圧力と水位(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

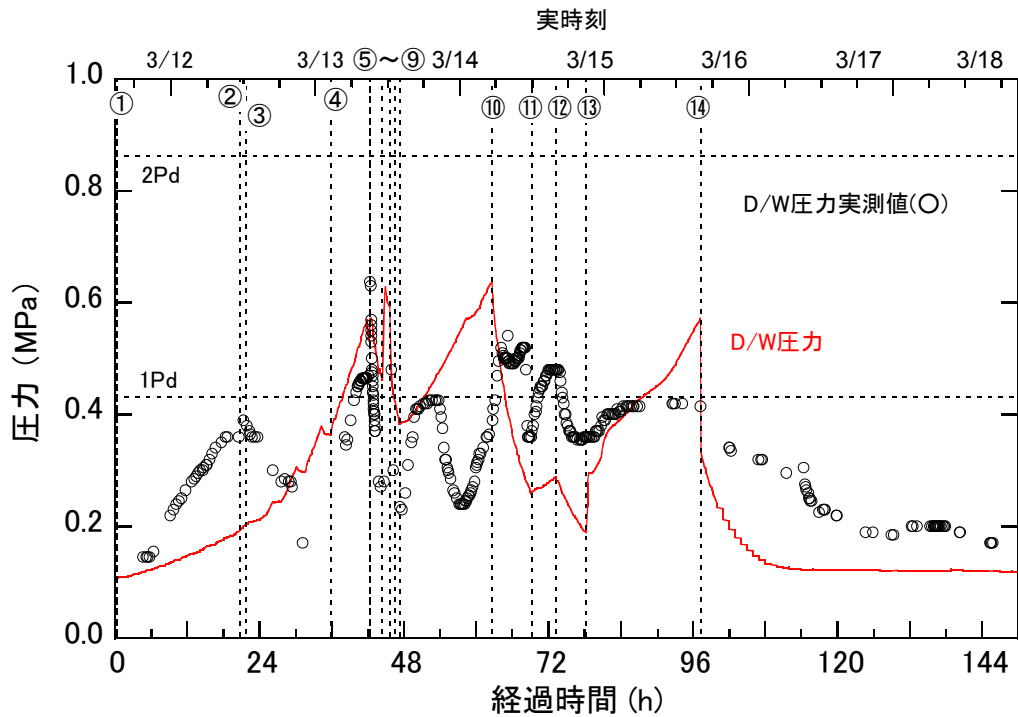


図 3-2-3 事業者解析 2 での D/W 圧力(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

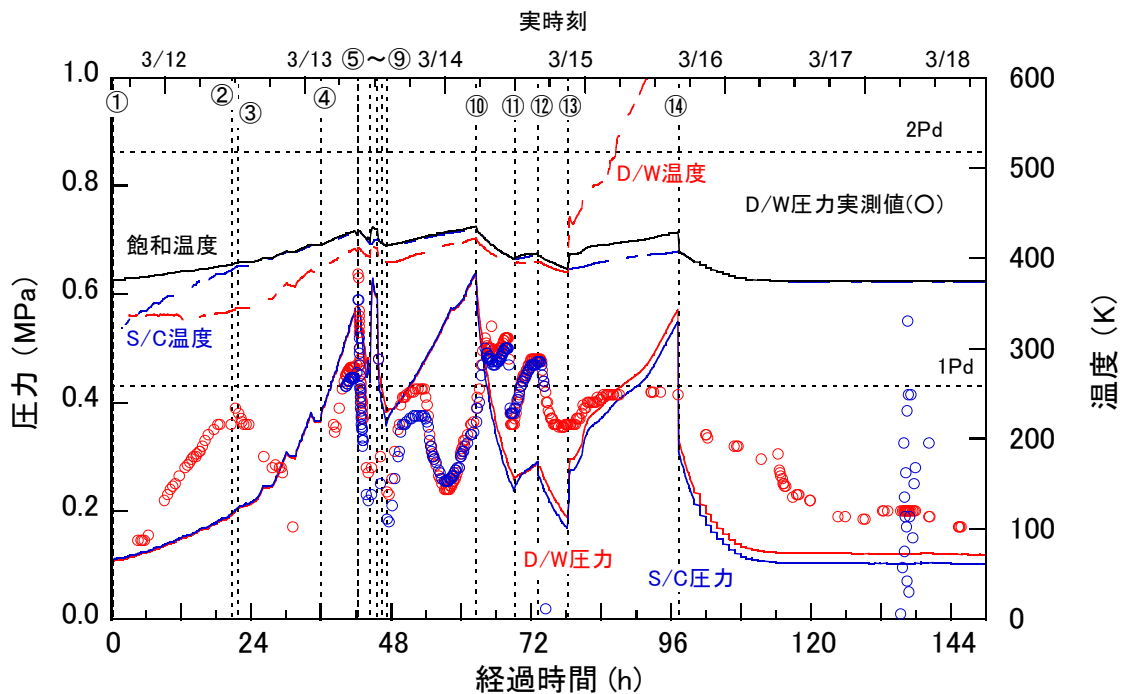


図 3-2-4 事業者解析 2 での D/W 圧力と温度(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

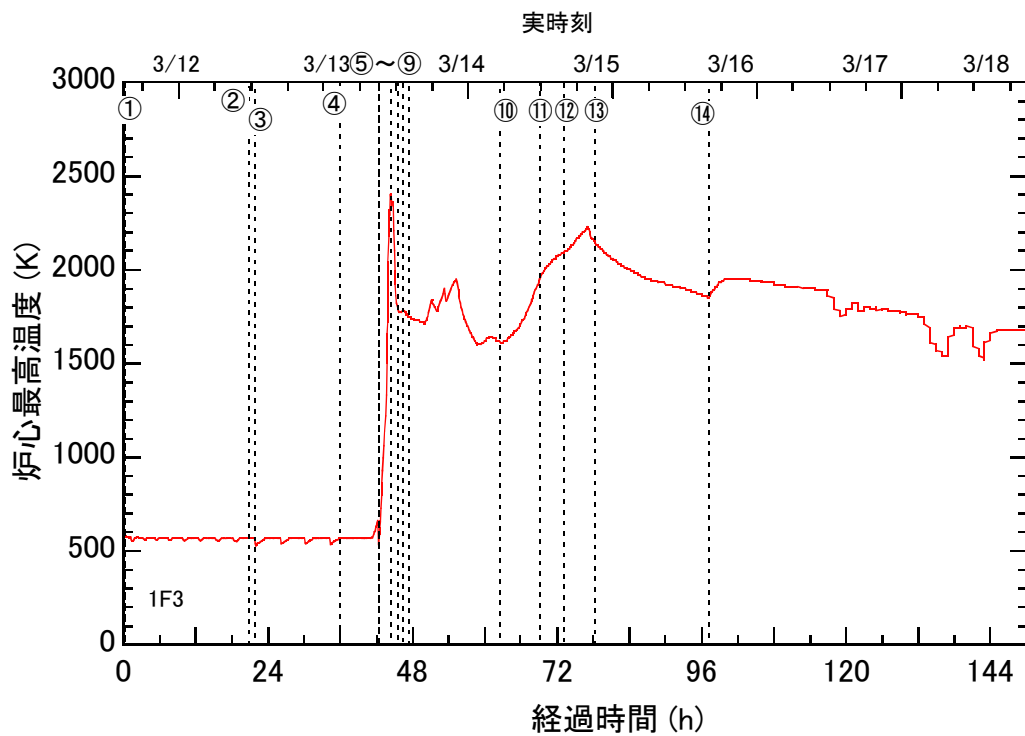


図 3-2-5 事業者解析 2 での炉心最高温度(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

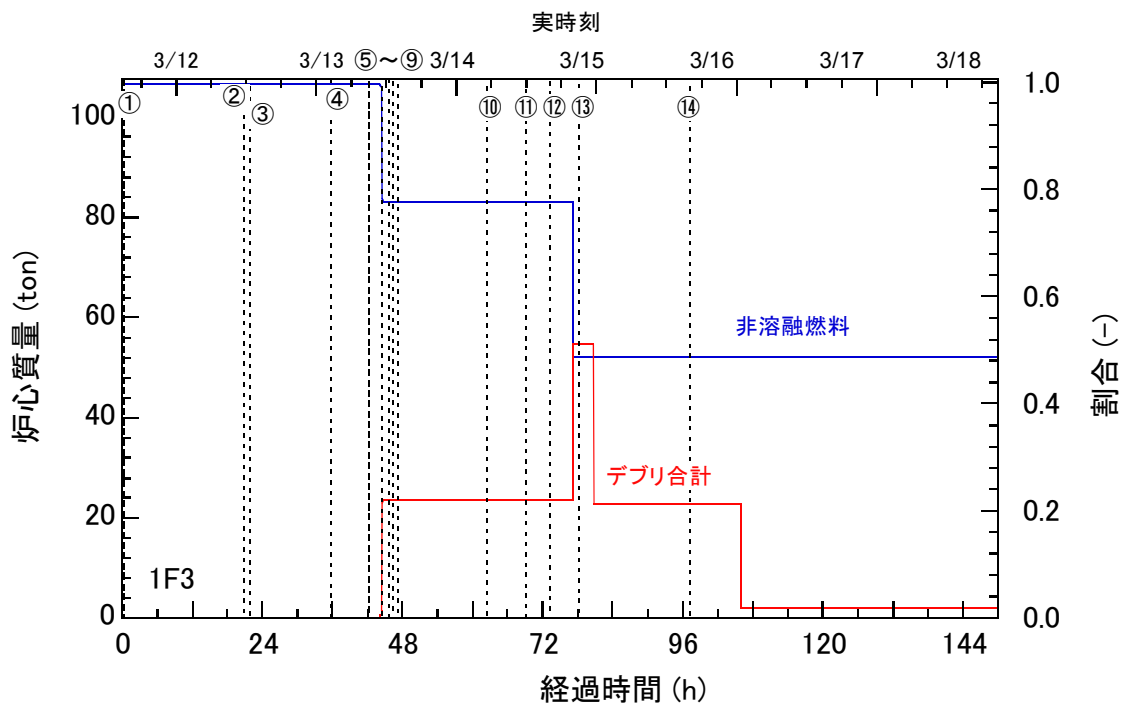


図 3-2-6 事業者解析 2 での炉心質量(3号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

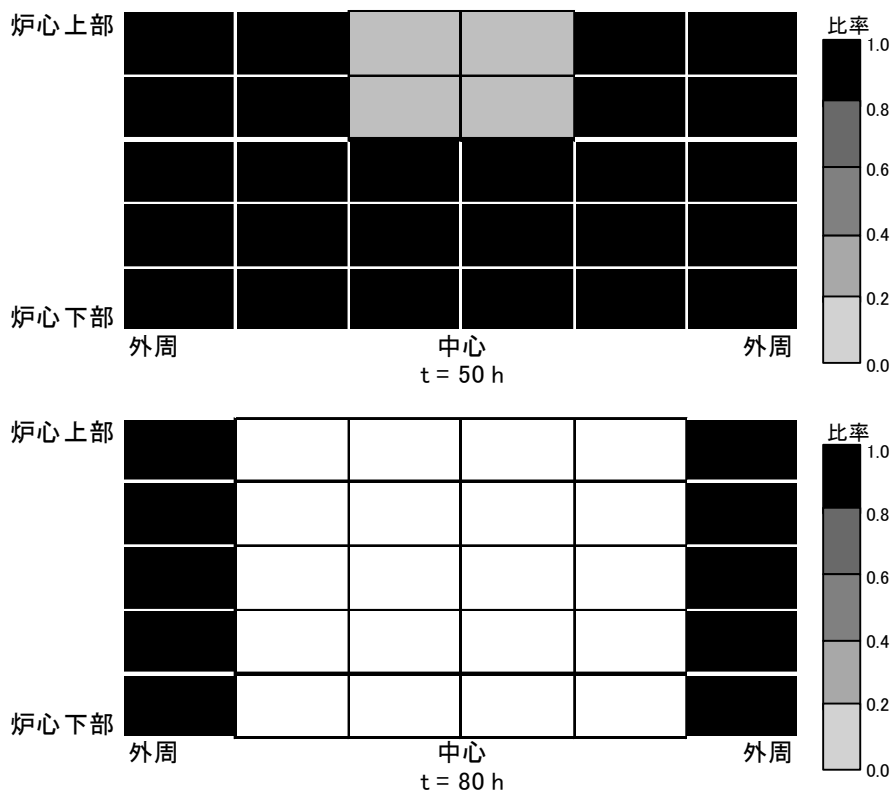


図 3-2-7 事業者解析 2 での炉心の質量分布(3 号機)

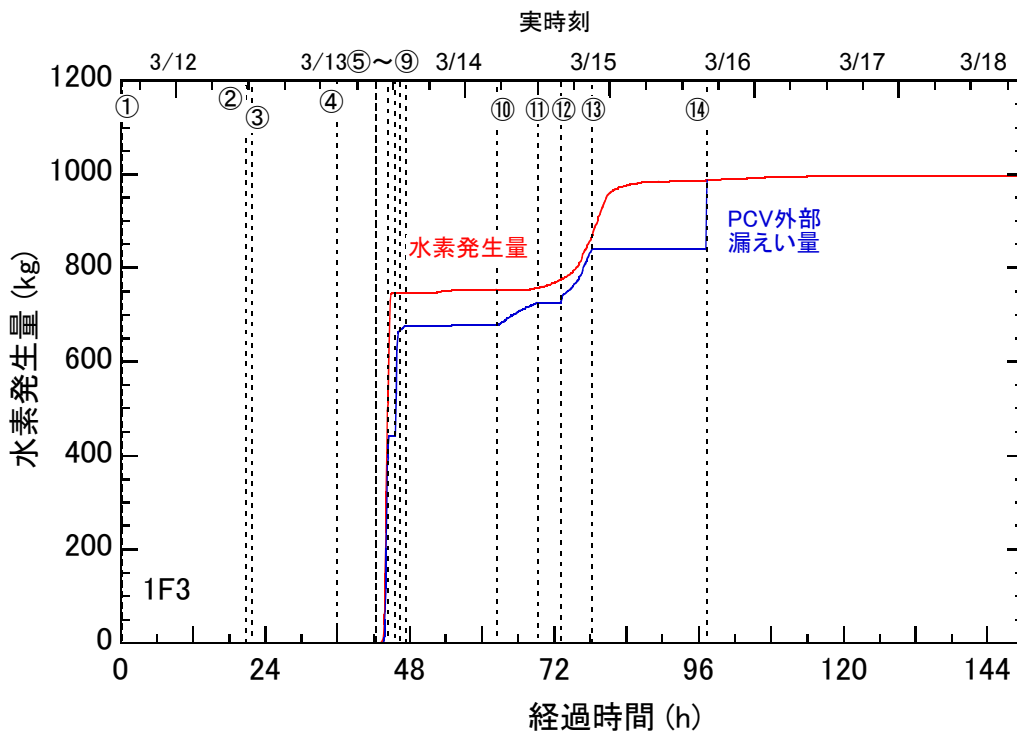


図 3-2-8 事業者解析 2 での水素発存量(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

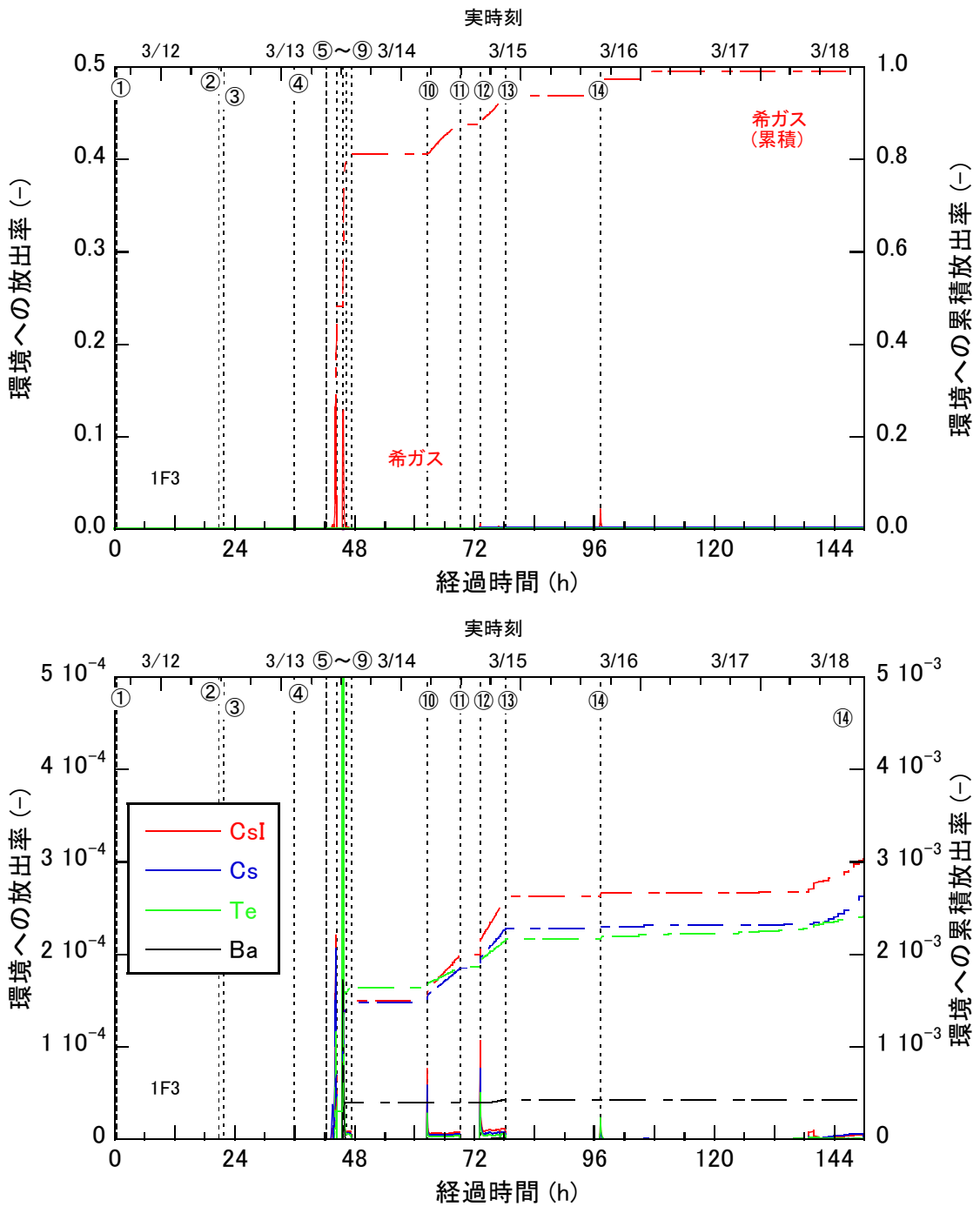


図 3-2-9 事業者解析 2 での FP の環境放出率(1/2)(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

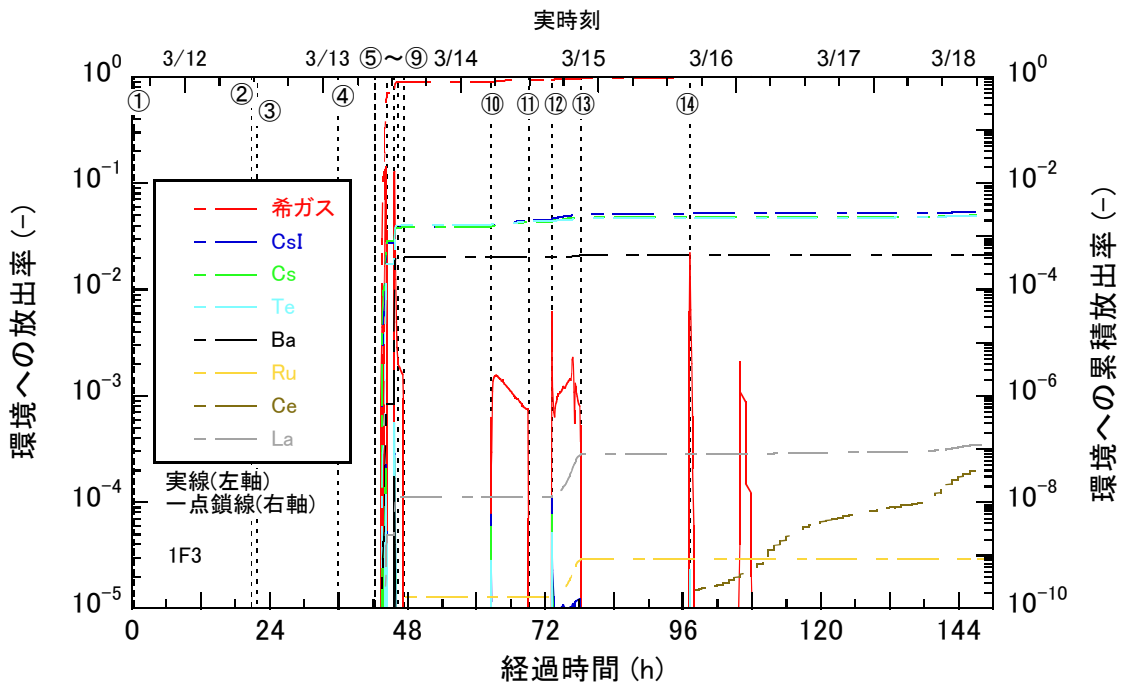


図 3-2-10 事業者解析 2 での FP の環境放出率(2/2)(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

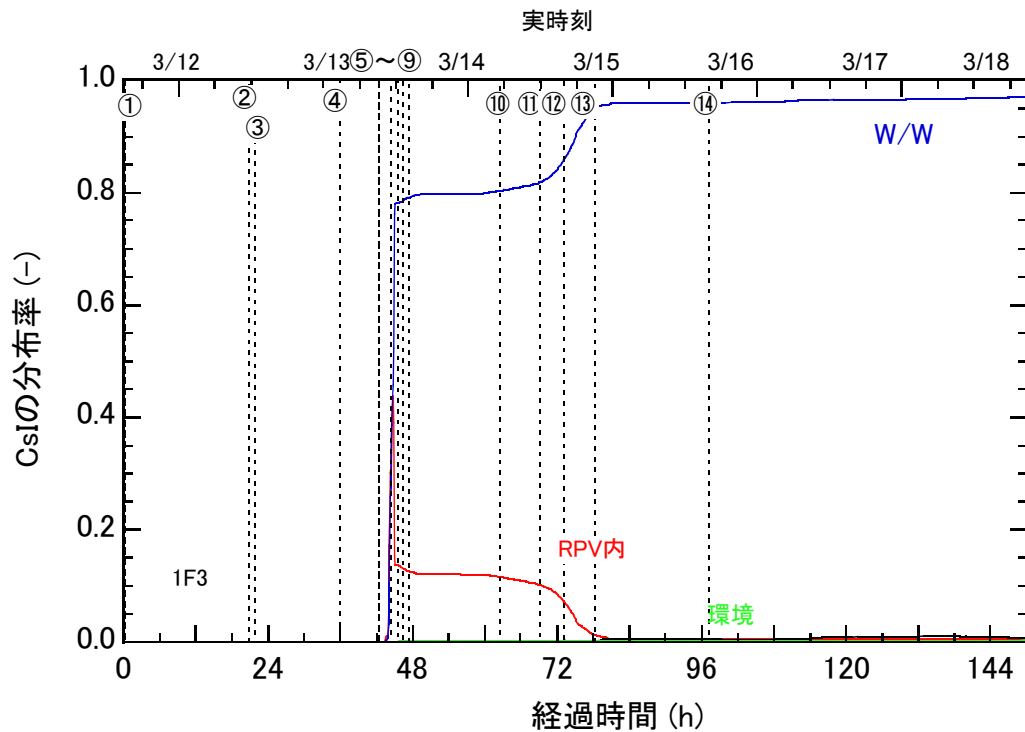


図 3-2-11 事業者解析 2 での CsI の分布(1/2)(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

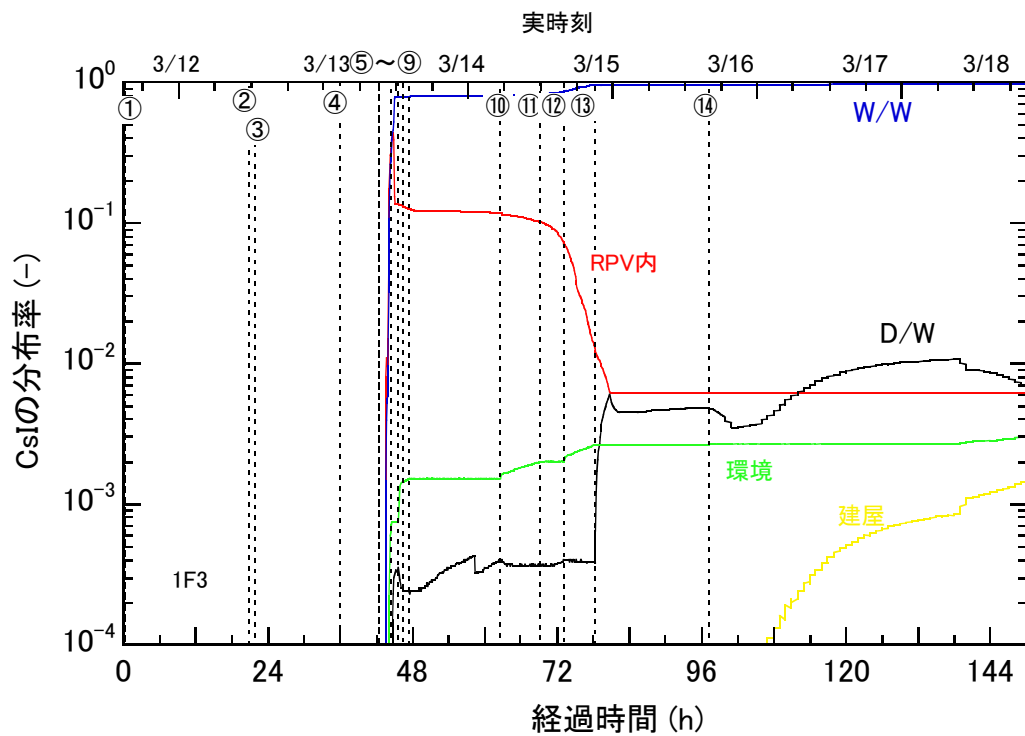


図 3-2-12 事業者解析 2 での CsI の分布(2/2)(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

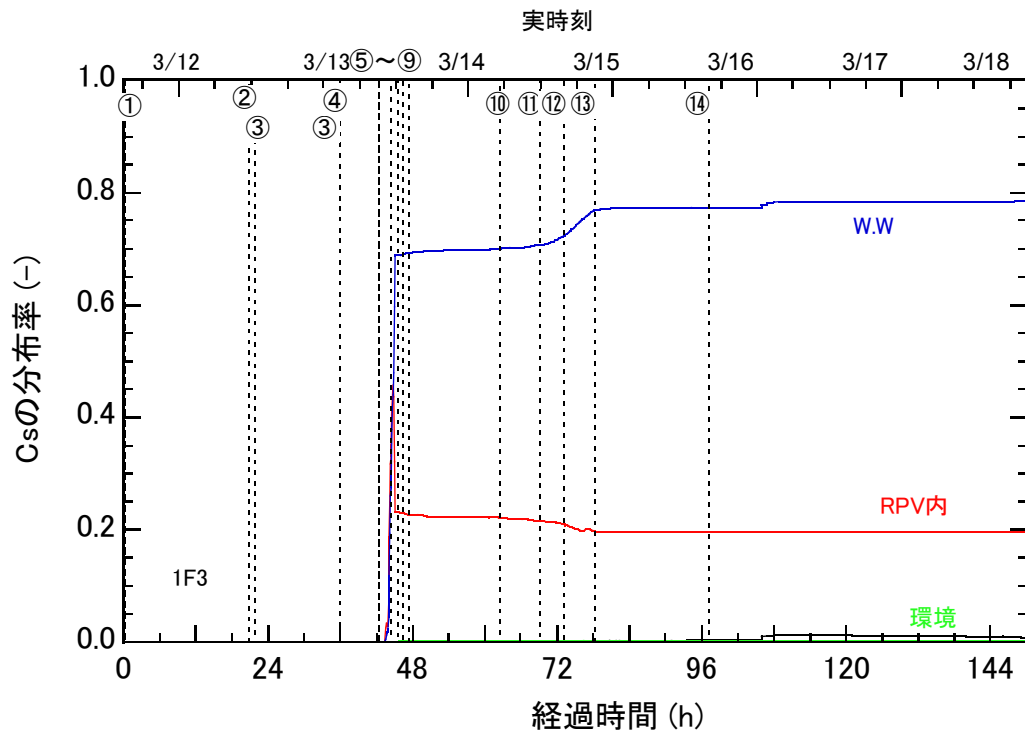


図 3-2-13 事業者解析 2 での Cs の分布(1/2)(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩~⑭PCV ベント開⇄PCV ベント閉

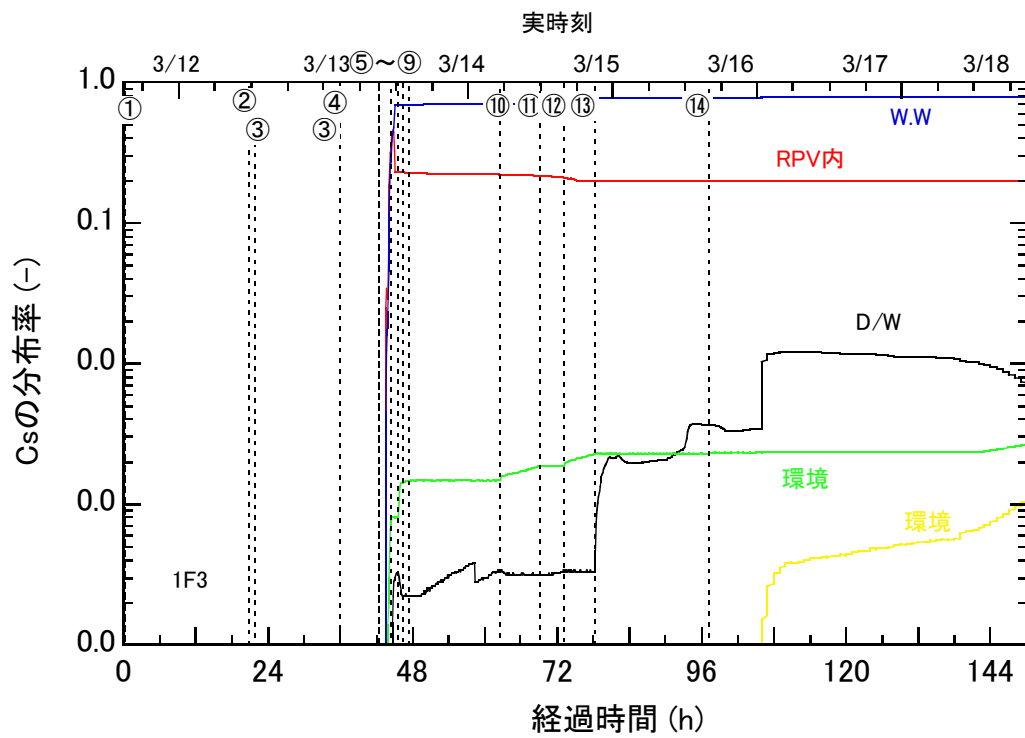


図 3-2-14 事業者解析 2 での Cs の分布(2/2)(3 号機)

①RCIC 手動起動②RCIC 作動停止③HPCI 起動④HPCI 停止⑤S/R 弁開⑥PCV ベント開⑦淡水注入開始⑧PCV ベント閉⑨海水注水⑩～⑭PCV ベント開⇔PCV ベント閉

図表集

図 1-1	福島第一原子力発電所 1号機から 4号機	建屋平面図	……2
図 1-2	福島第一原子力発電所 5号機から 6号機	建屋平面図	……3
図 2-1	福島第一原子力発電所 1号機	建屋断面図	……4
図 2-2	福島第一原子力発電所 2号機	建屋断面図	……4
図 2-3	福島第一原子力発電所 3号機	建屋断面図	……5
図 2-4	福島第一原子力発電所 4号機	建屋断面図	……5
図 2-5	福島第一原子力発電所 5号機	建屋断面図	……6
図 2-6	福島第一原子力発電所 6号機	建屋断面図	……6
図 3-1	原子炉水位計の概略範囲 (福島第一 1号機)		……7
図 3-2	原子炉水位計の概略範囲 (福島第一 2号機)		……8
図 3-3	原子炉水位計の概略範囲 (福島第一 3号機)		……9
図 3-4	原子炉水位計の概略範囲 (福島第一 4号機)		……10
図 3-5	原子炉水位計の概略範囲 (福島第一 5号機)		……11
図 3-6	原子炉水位計の概略範囲 (福島第一 6号機)		……12
図 4-1	直流電源系統 (1号機)		……13
図 4-2	直流電源系統 (2、3号機)		……14
図 5-1	福島第一原子力発電所 4号機、5号機	系統構成図	……15
図 5-2	福島第一原子力発電所 6号機及び福島第二原子力発電所 1号機から 4号機	系統構成図	……15
図 6	原子炉格納容器への窒素ガス封入	系統概略図	……16
表 1-1	1F-1 非常用炉心冷却系 (ECCS系)	機器等の状況	……17
表 1-2	1F-2 非常用炉心冷却系 (ECCS系)	機器等の状況	……18
表 1-3	1F-3 非常用炉心冷却系 (ECCS系)	機器等の状況	……19
表 1-4	1F-4 非常用炉心冷却系 (ECCS系)	機器等の状況	……20
表 1-5	1F-5 非常用炉心冷却系 (ECCS系)	機器等の状況	……21
表 1-6	1F-6 非常用炉心冷却系 (ECCS系)	機器等の状況	……22

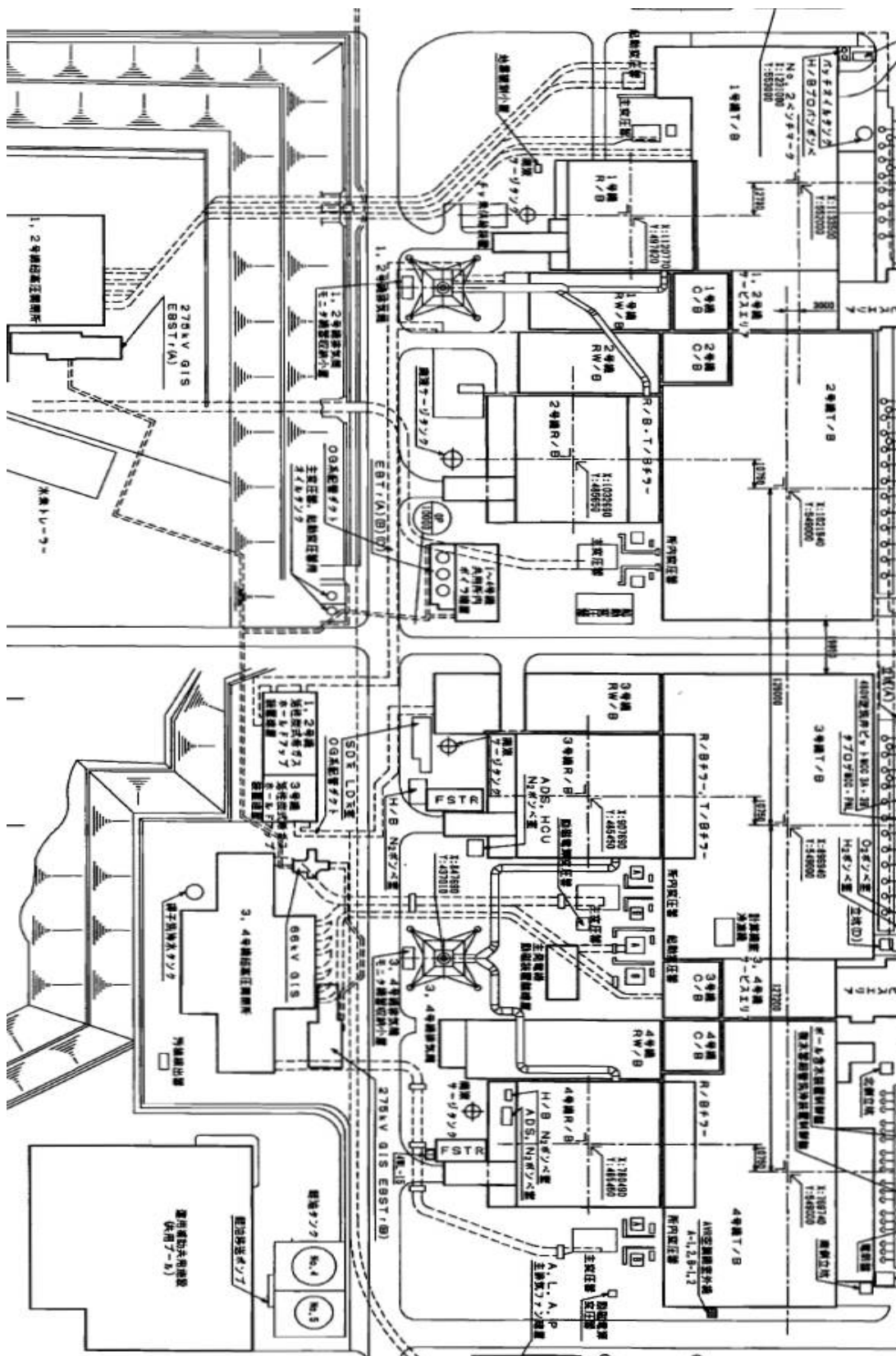


図 1-1 福島第一原子力発電所 1号機から 4号機 建屋平面図

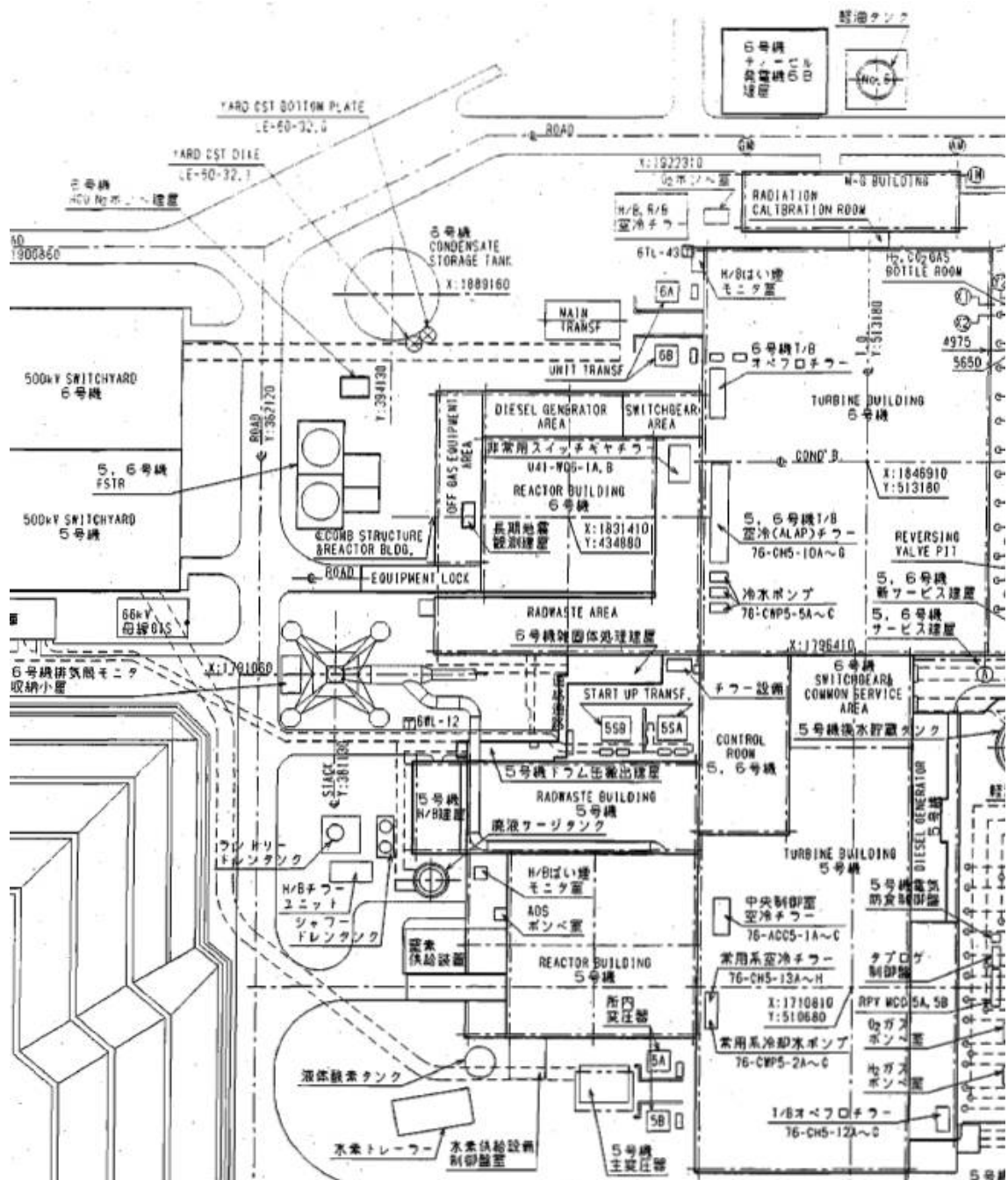


図 1-2 福島第一原子力発電所 5号機から 6号機 建屋平面図

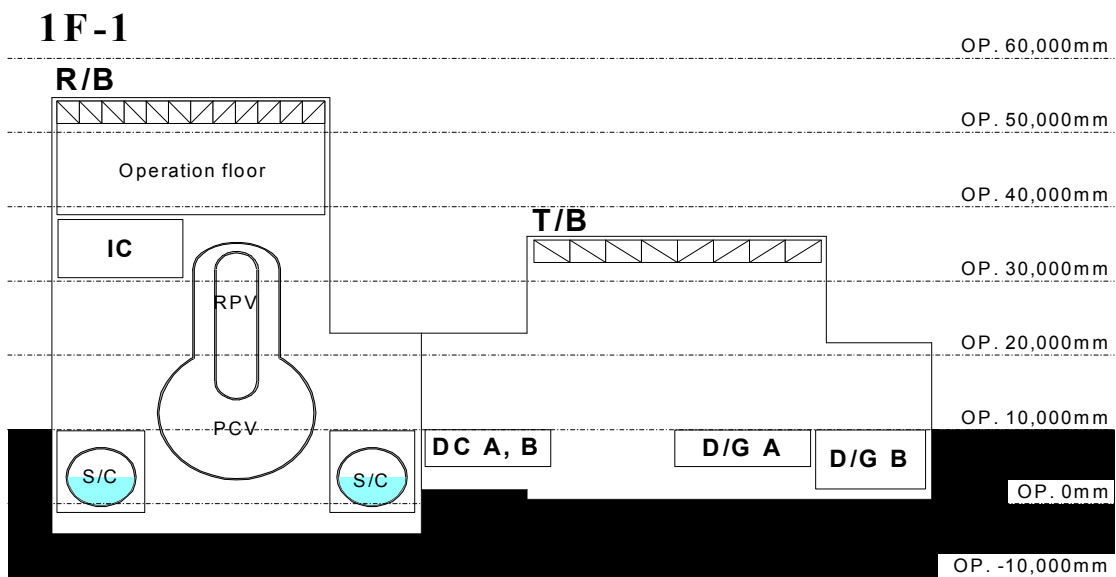


図 2-1 福島第一原子力発電所 1号機 建屋断面図

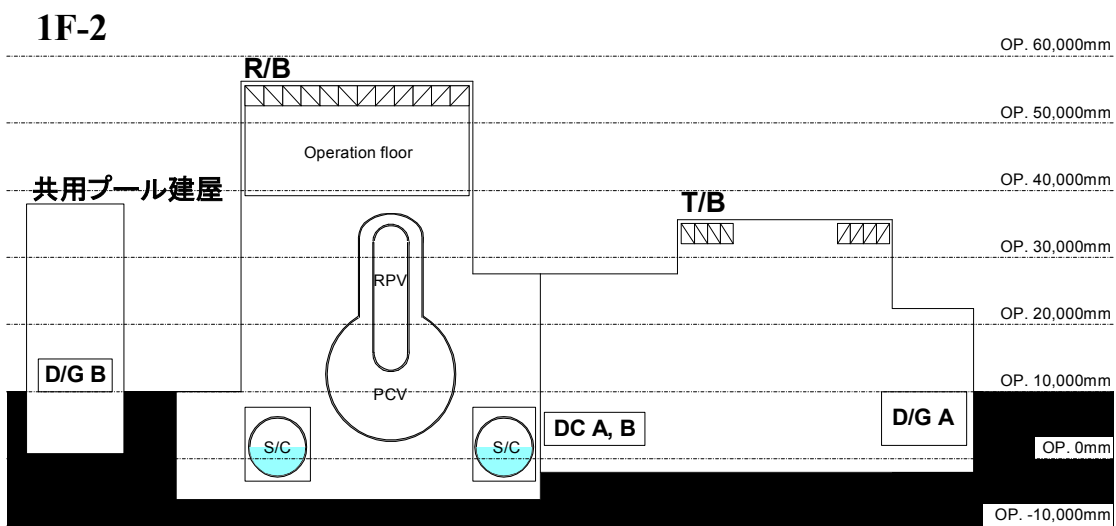


図 2-2 福島第一原子力発電所 2号機 建屋断面図

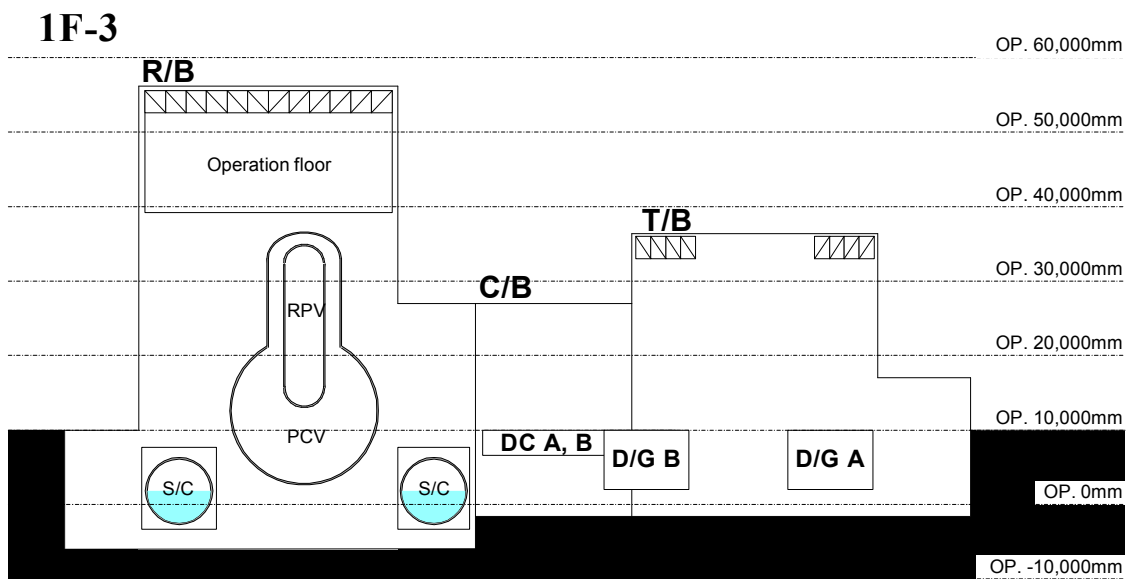


図 2-3 福島第一原子力発電所 3号機 建屋断面図

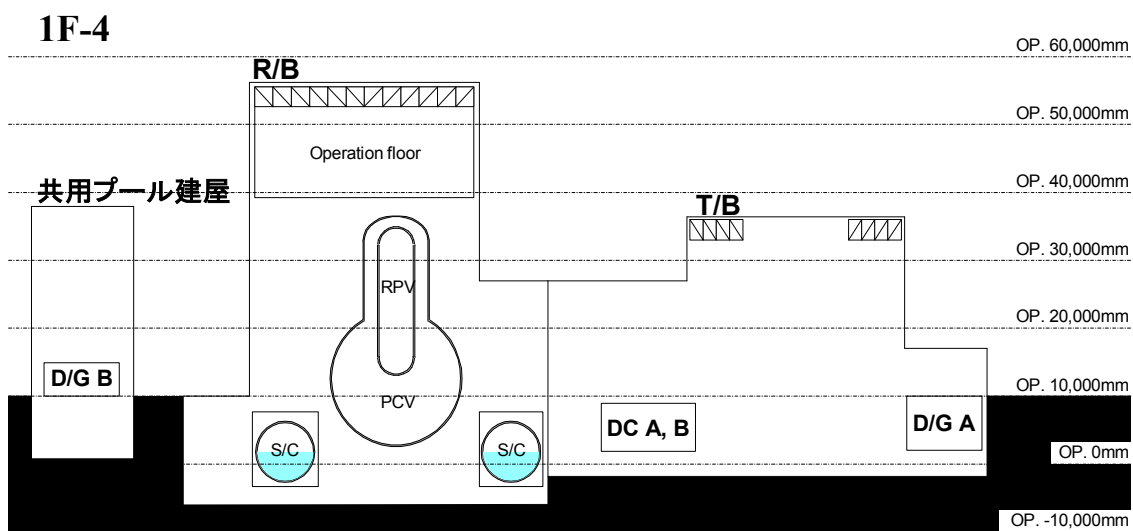


図 2-4 福島第一原子力発電所 4号機 建屋断面図

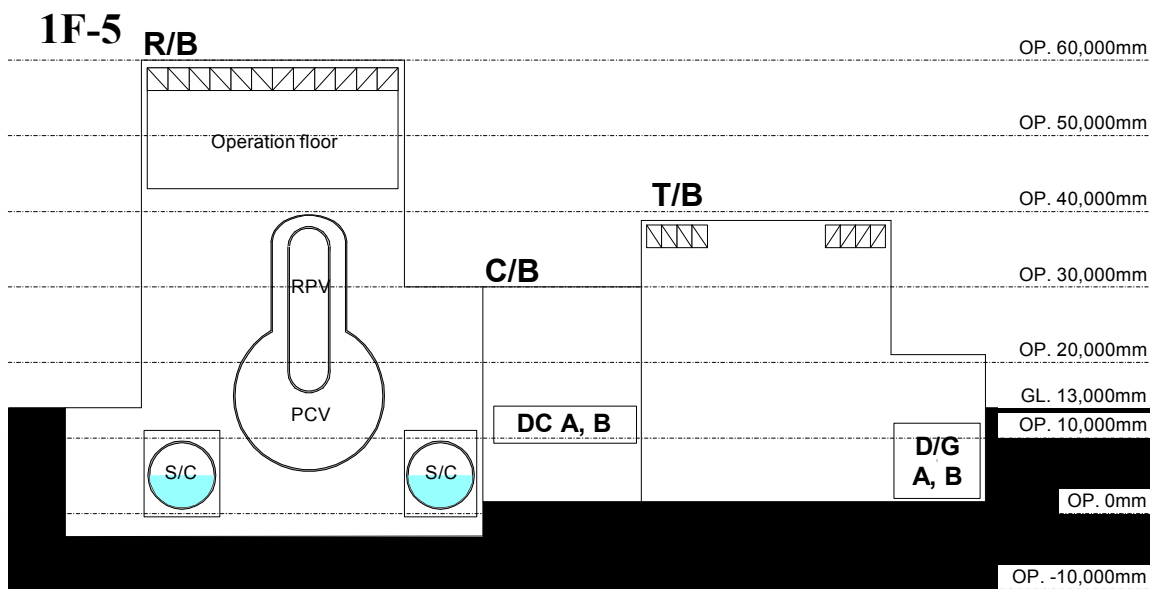


图 2-5 福島第一原子力発電所 5号機 建屋断面図

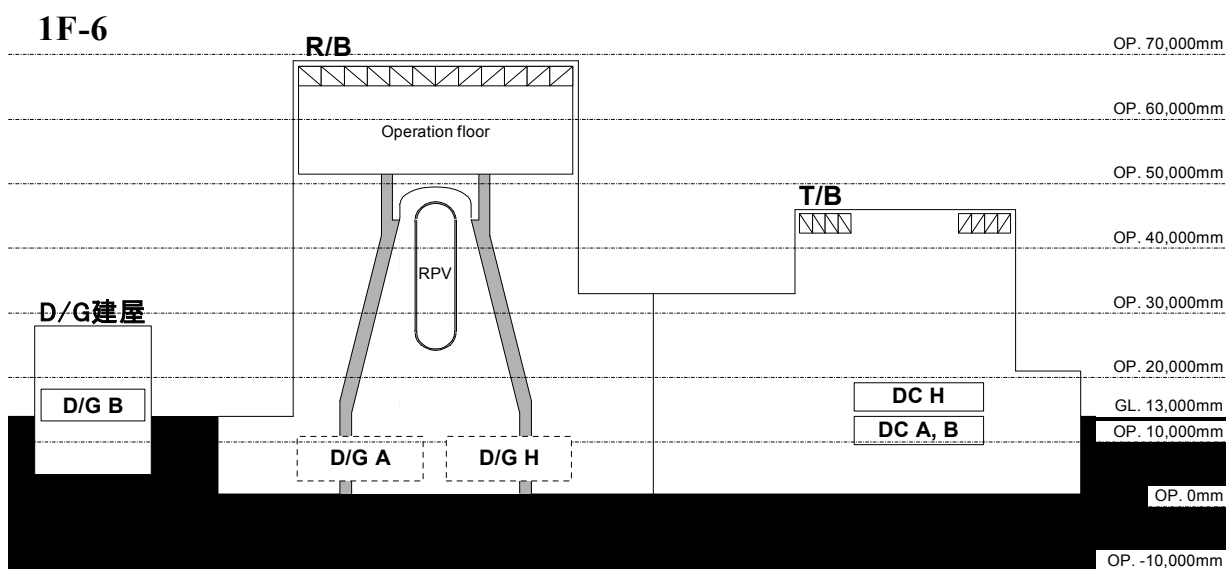


图 2-6 福島第一原子力発電所 6号機 建屋断面図

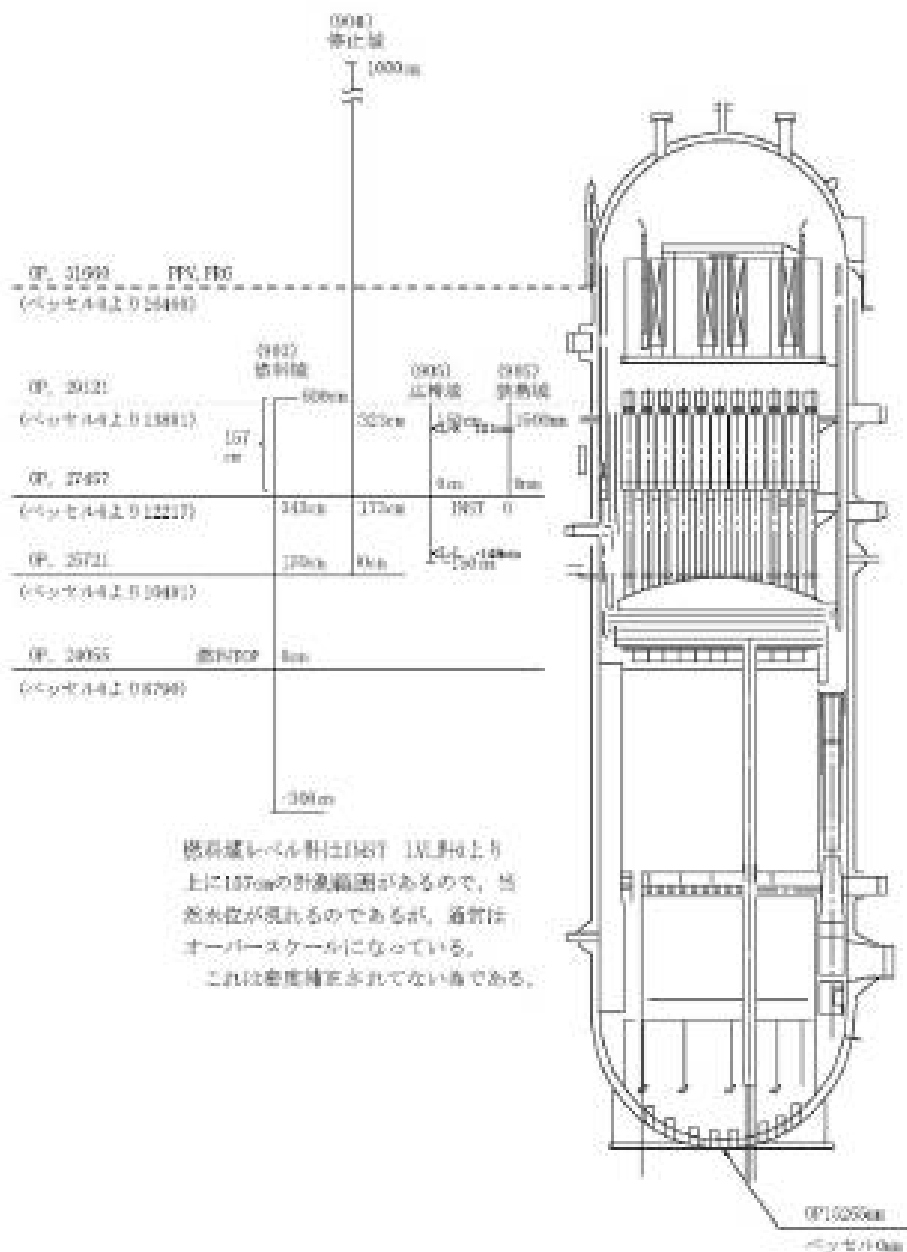


図3-1 原子炉水位計の概略範囲（福島第一1号機）

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

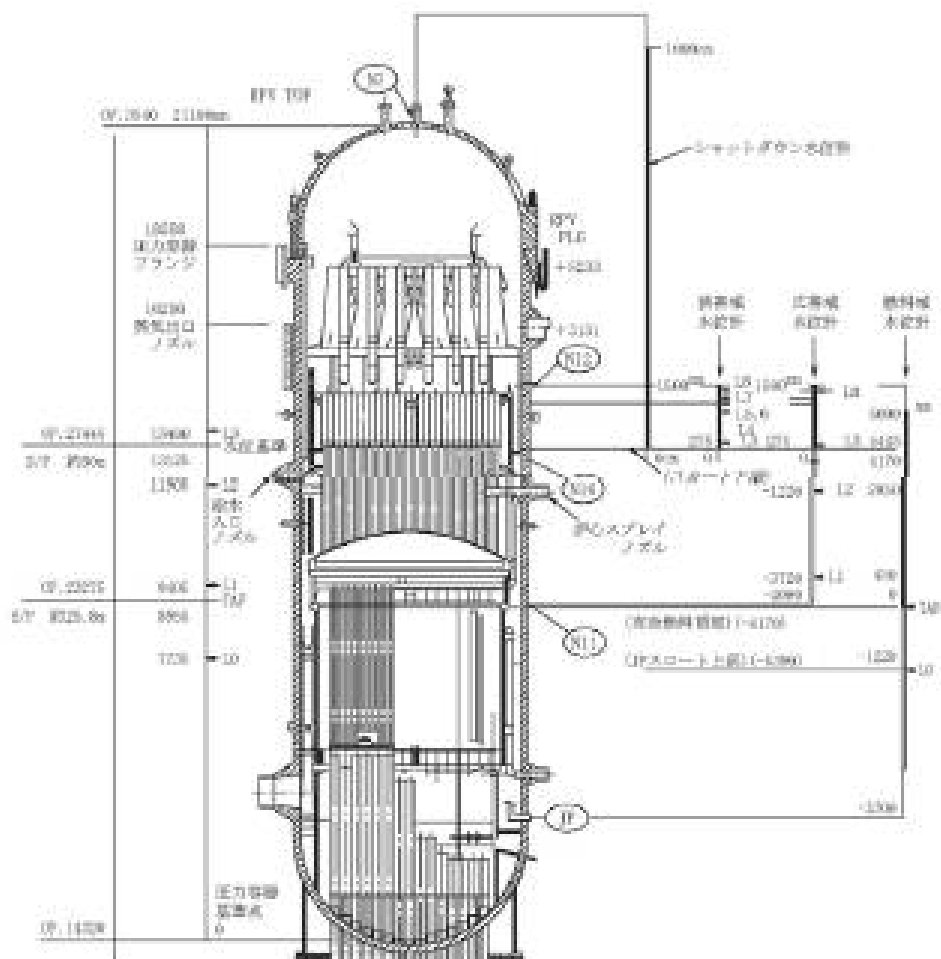


図3-2 原子炉水位計の概略範囲（福島第一2号機）

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

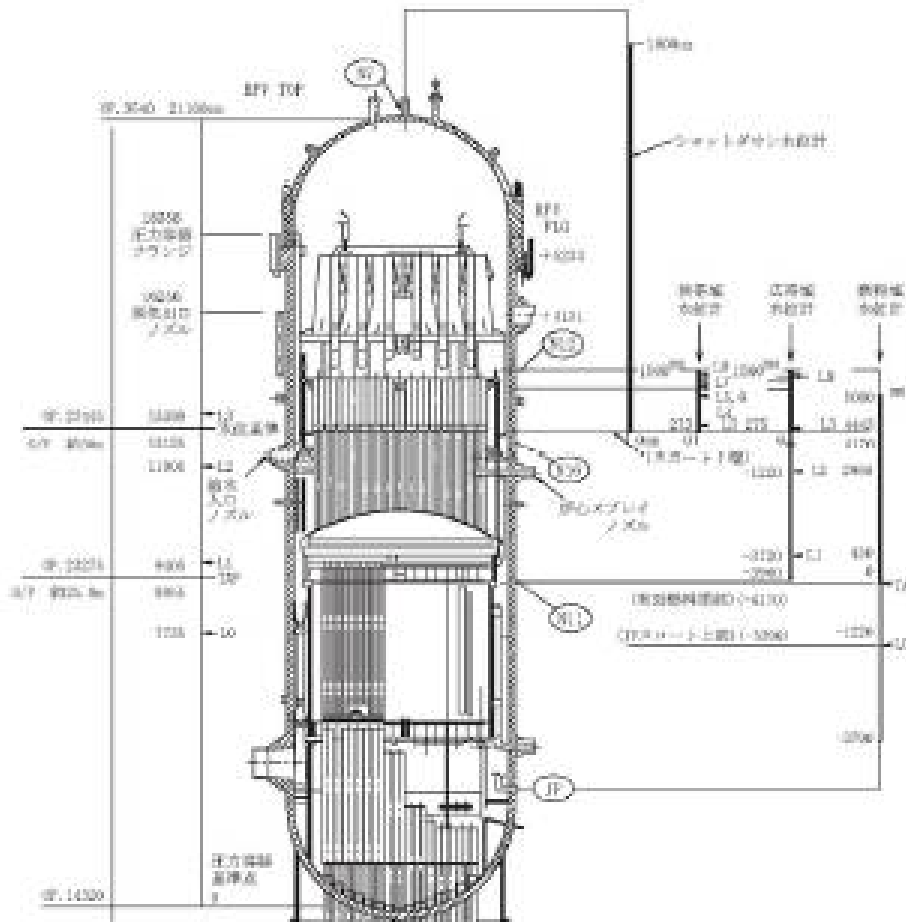


図3-3 原子炉水位計の概略範囲（福島第一3号機）

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

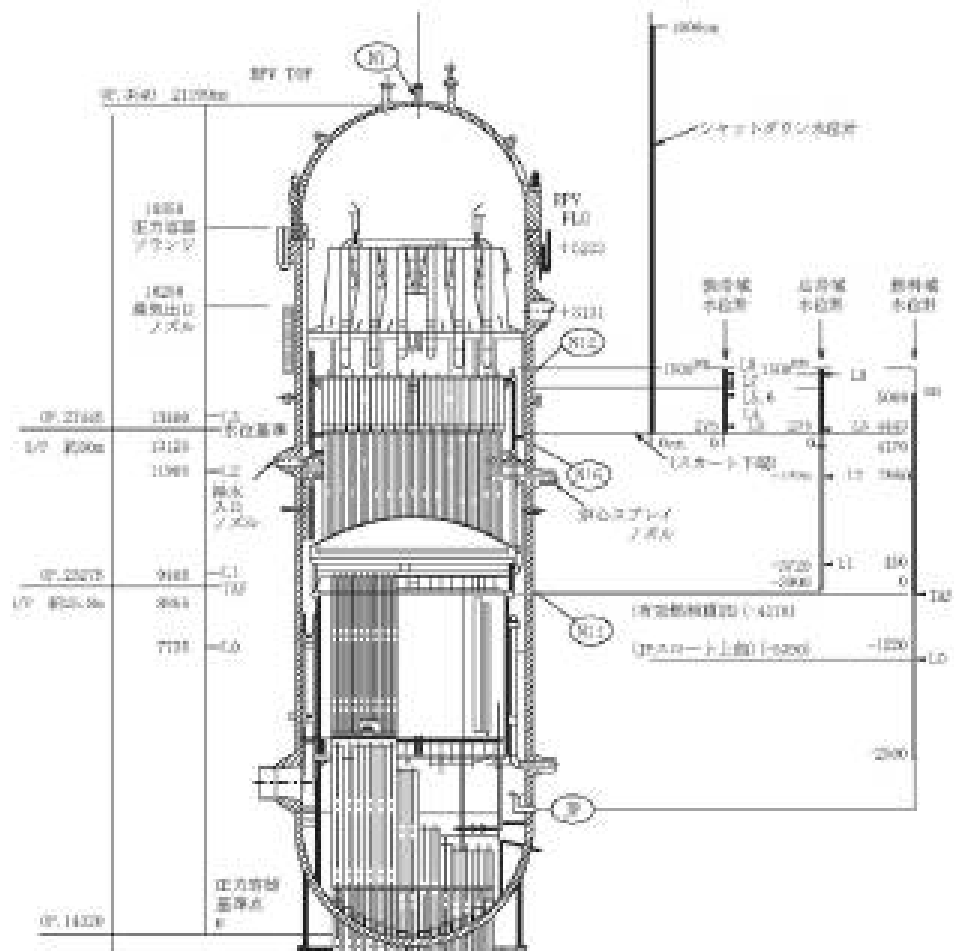


図3-4 原子炉水位計の概略範囲（福島第一4号機）

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

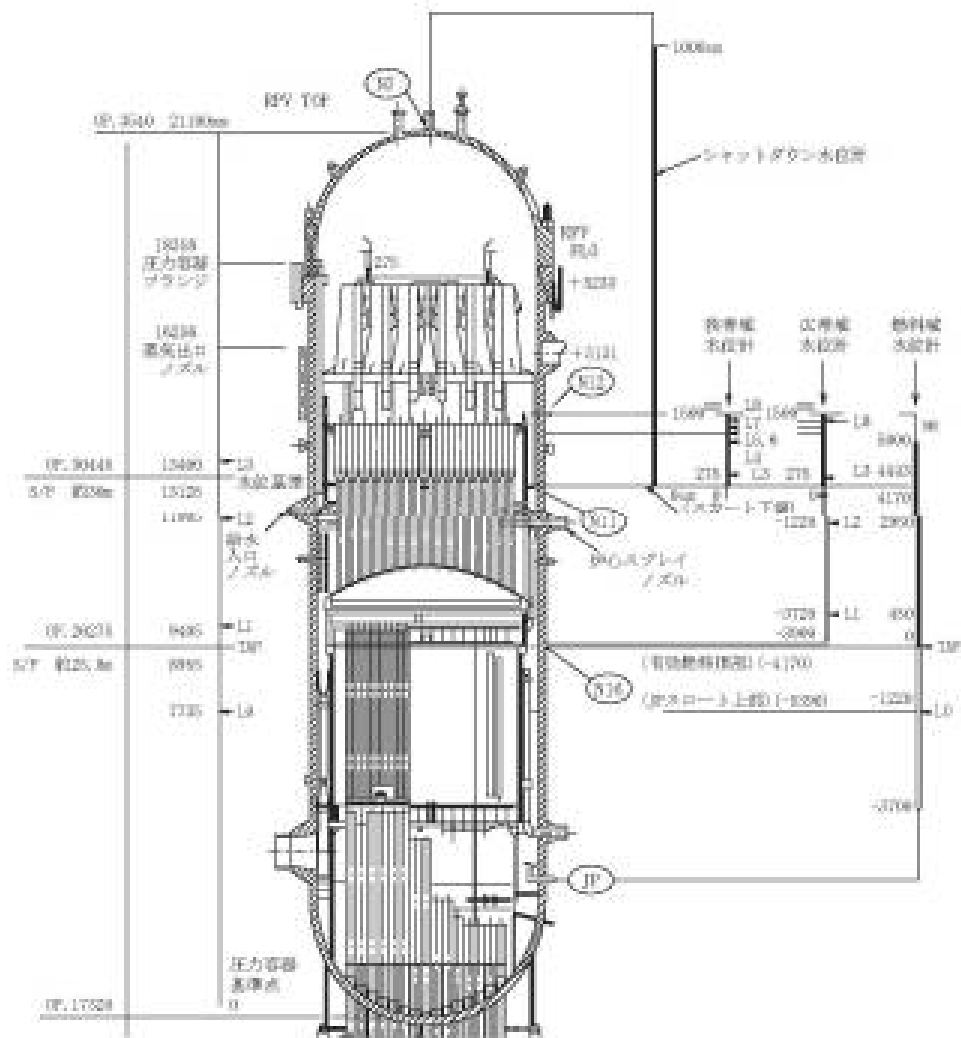


図3-5 原子炉水位計の概略範囲（福島第一5号機）

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

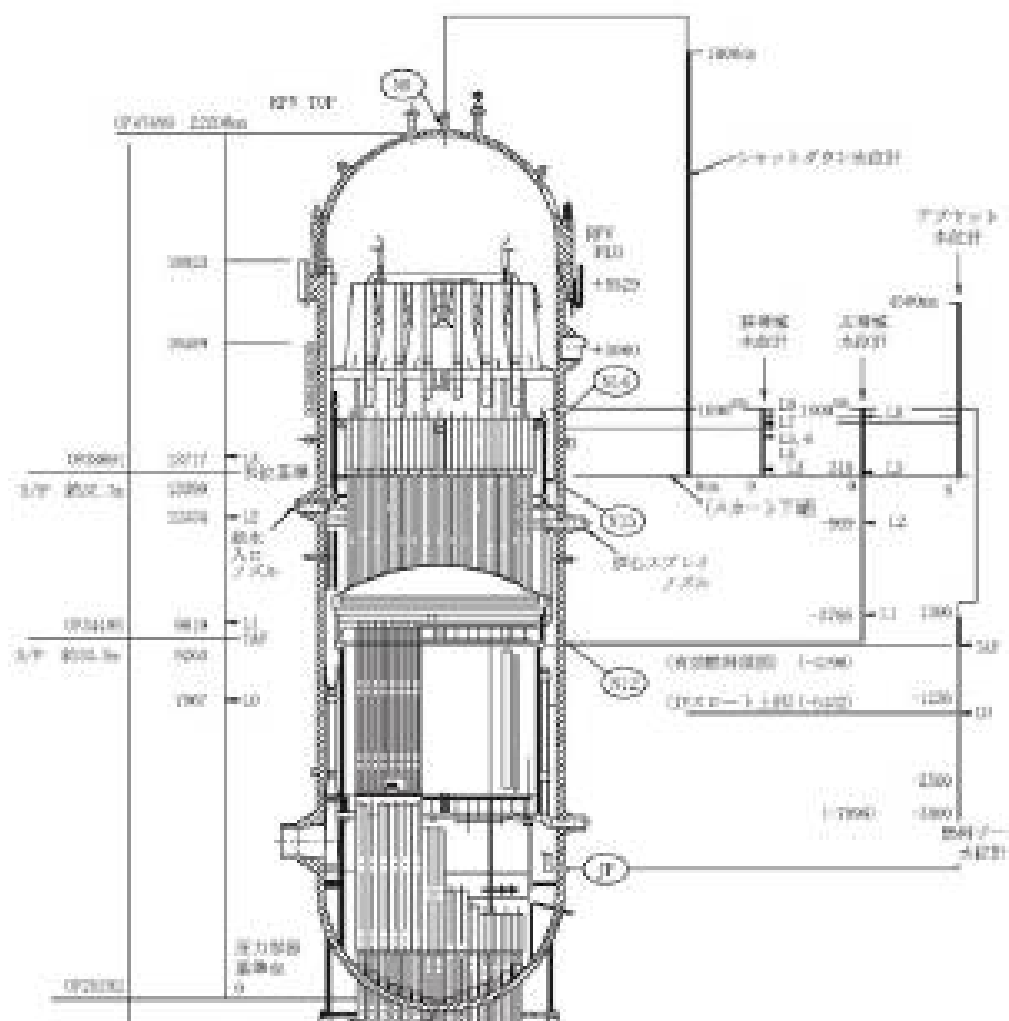


図3-6 原子炉水位計の概略範囲（福島第一6号機）

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

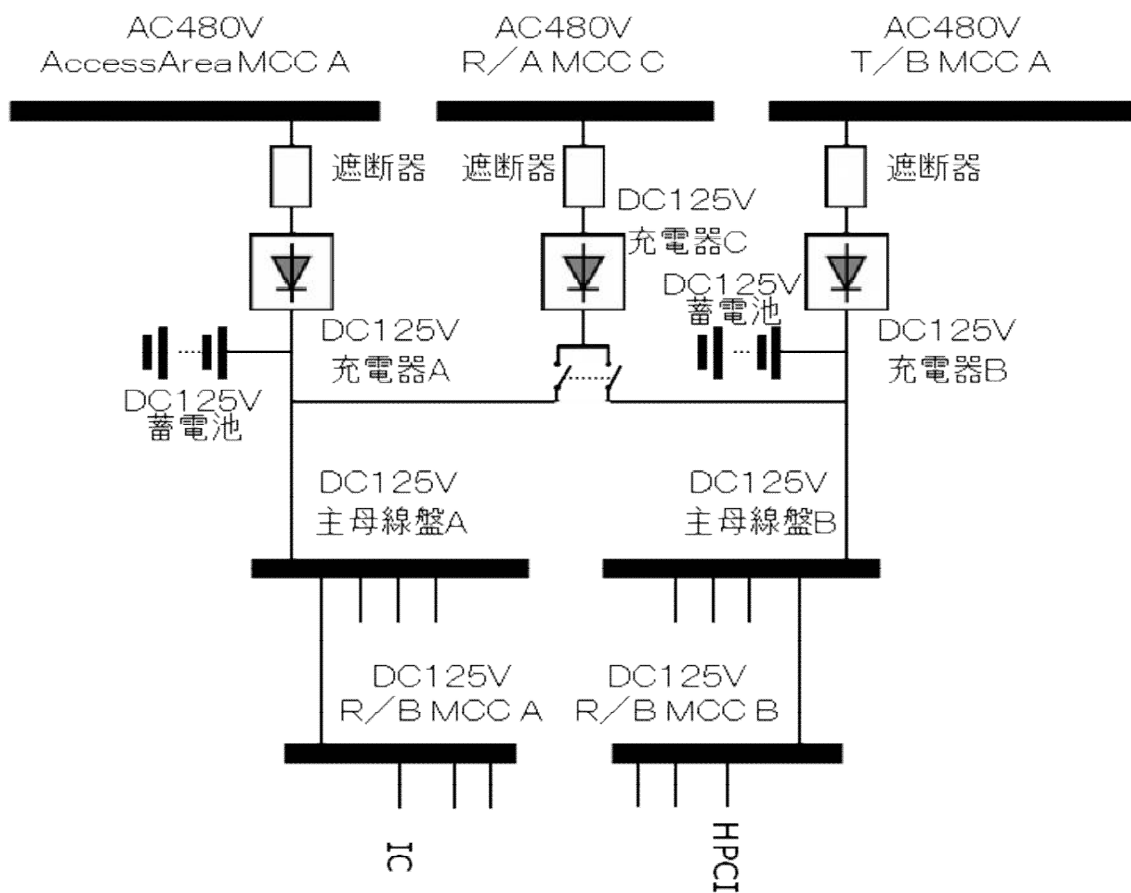


図4-1 直流電源系統（1号機）

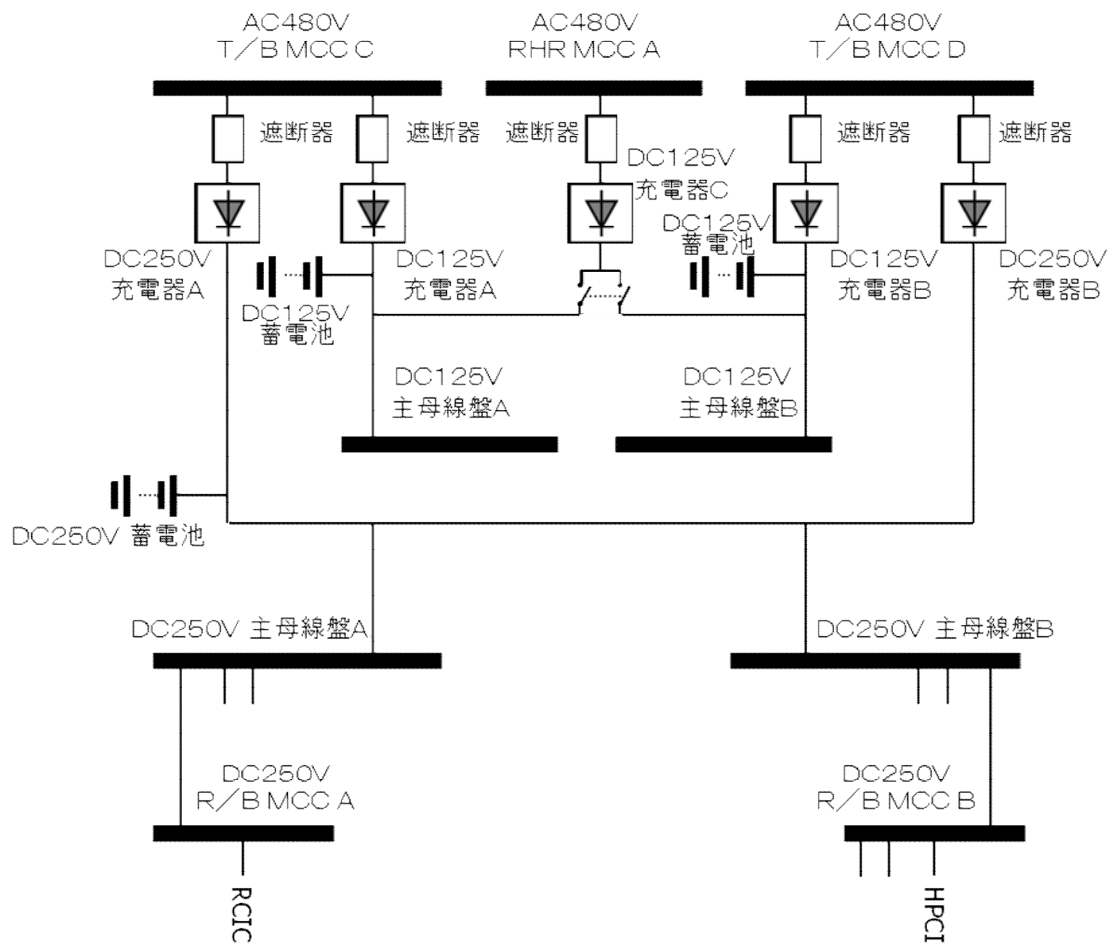


図4-2 直流電源系統（2、3号機）

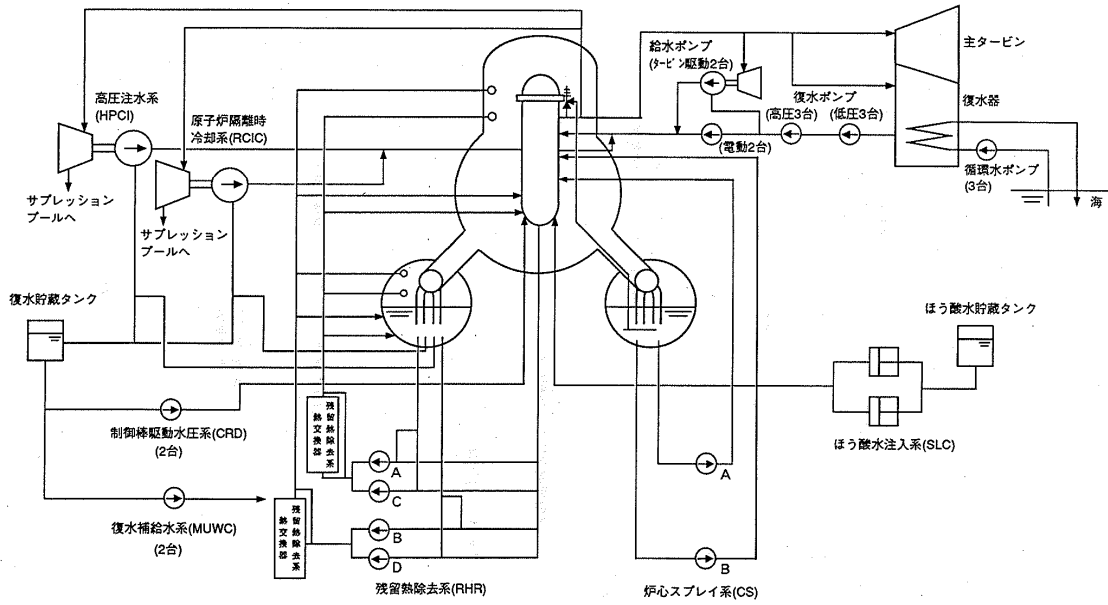


図5-1 福島第一原子力発電所4号機、5号機 系統構成図

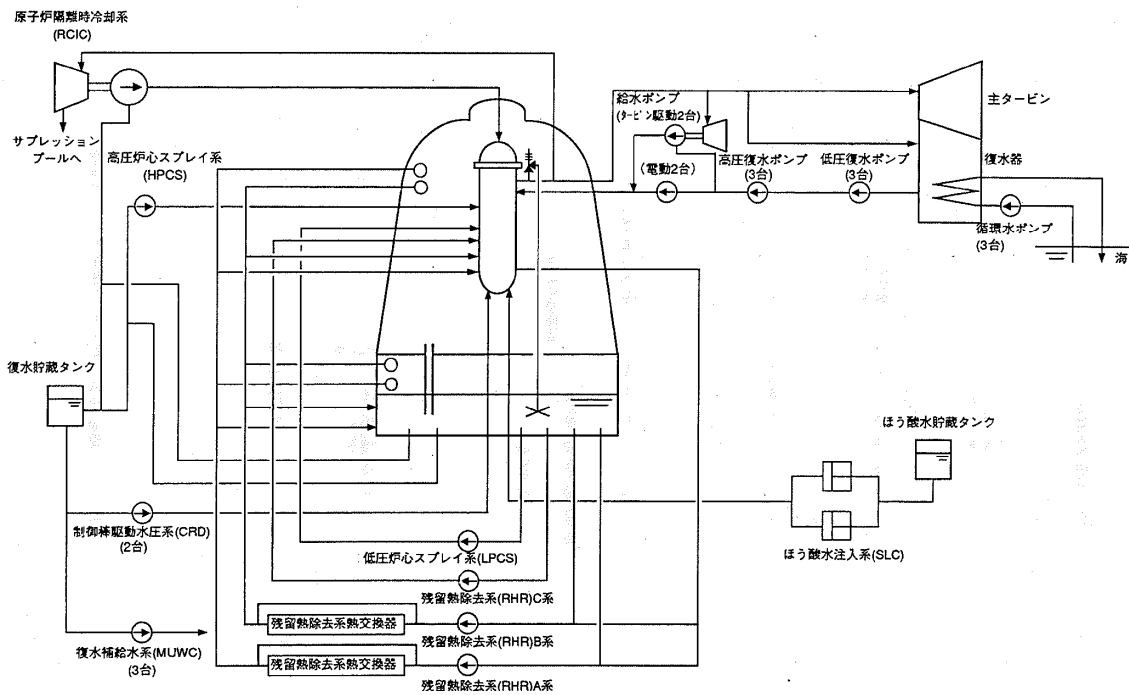


図5-2 福島第一原子力発電所6号機及び福島第二原子力発電所1号機から4号機 系統構成図

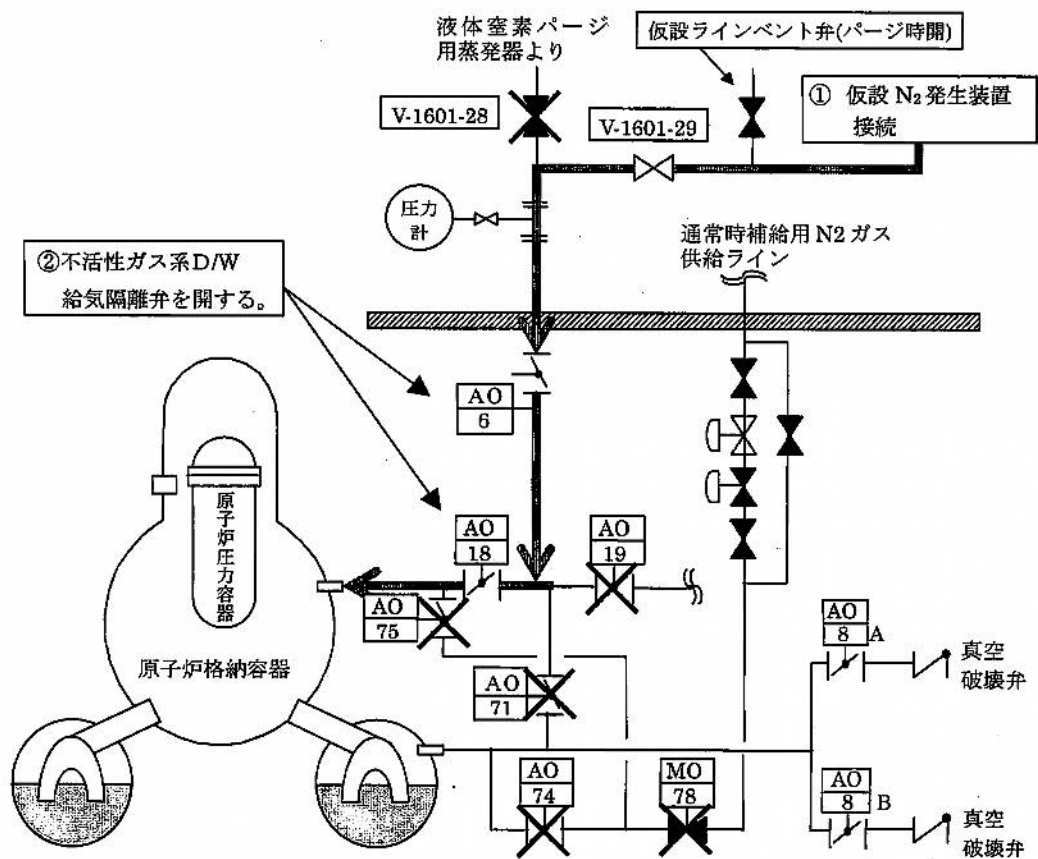


図6 原子炉格納容器への窒素ガス封入 系統概略図

表 1-1 1F-1 非常用炉心冷却系（ECCS系）機器等の状況

		設置場所	耐震クラス	地震スクラム時	地震スクラム～津波到達直前まで	津波到達以降	備考	
ECCS系	冷やす機能	CS (A)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	注1	×	津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		CS (C)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	注1	×	津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		OCS (A)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		OCS (B)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		CCSW (A)	屋外 (OP.4000)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		CCSW (B)	屋外 (OP.4000)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		CS (B)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	注1	×	津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		CS (D)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	注1	×	津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		OCS (C)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		OCS (D)	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波後、電源・海水系（CCSW）とも喪失
		CCSW (C)	屋外 (OP.4000)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		CCSW (D)	屋外 (OP.4000)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		HPCI	R/B地下階 (OP.-1230)	A	○	注1	×	津波後、電源喪失（油ポンプ）
		IC (A)	R/B4階 (OP.31000)	A	○	◎	—	津波前、自動起動（原子炉圧力高）で作動を確認 津波後、電源喪失により弁状態確認できず
		IC (B)	R/B4階 (OP.31000)	A	○	◎	—	津波前、自動起動（原子炉圧力高）で作動を確認 津波後、電源喪失により弁状態確認できず
伊注水	M/MC (代替注水)	T/B地下階 (OP.3200)	B	◎	◎	×	津波後、電源喪失	
		プールの冷却	SFP冷却 (FPC系)	R/B3階 (OP.25900)	B	◎	△	×
SFP冷却 (SHC系)	R/B1階 (OP.10200)		A	○	○	×	津波後電源喪失。津波後、海水系（SW）喪失	
閉じ込める機能	格納施設	原子炉建屋		A	◎	◎	×	スクラムまでは通常空調系、スクラム後津波まではSGTSが作動し負圧維持が果たされた。その後、爆発により破損
		原子炉格納容器		A	○	○	×	津波到達前、格納容器圧力に破損を示す徴候は認められず

(凡例) ◎：運転 ○：待機 △：通常電源断による停止 ×：機能喪失又は待機除外

注1：本震で比較的大きな揺れを観測した5号機では、地震発生後の3月19日に残留熱除去系を使用しており、当直員によるパトロールからも各系統・設備に大きな損傷は認められていない。
また、これら機器が設置されている原子炉建屋地下階で今般得られた観測記録における最大加速度は、機器の動的機能維持確認許容加速度を十分下回っている。
このことから、各機能は概ね確保されていたものと推定される。
※JEA4601-2008「原子力発電所副業設計技術規程」

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

表 1-2 1F-2 非常用炉心冷却系（ECCS系）機器等の状況

		設置場所	耐震 クラス	地震 スクラム時	地震スクラム～ 津波到達直前 まで	津波到達 以降	備 考	
冷やす機能	ECCS系	RHR (A)	R/B地下階 (OP. -1030)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波後、電源・海水系（RHRS A/C） とも喪失
		RHR (B)	R/B地下階 (OP. -1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D） とも喪失
		RHR (C)	R/B地下階 (OP. -1030)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波後、電源・海水系（RHRS A/C） とも喪失
		RHR (D)	R/B地下階 (OP. -1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D） とも喪失
		RHRS (A)	屋外 (OP. 4000)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波時、本体津波による海水冠水し、かつ電 源喪失
		RHRS (B)	屋外 (OP. 4000)	A	○	○注1	×	津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (C)	屋外 (OP. 4000)	A	○	◎	×	津波前、手動起動(S/Pクーリング)で作動を確認 津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (D)	屋外 (OP. 4000)	A	○	○注1	×	津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		CS (A)	R/B地下階 (OP. -1000)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS A/C） とも喪失
		CS (B)	R/B地下階 (OP. -1000)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D） とも喪失
	HPCI	R/B地下階 (OP. -2060)	A	○	○注1	×	津波後、電源喪失（補助油ポンプ）	
	伊注水	RCIC	R/B地下階 (OP. -2060)	A	○	◎	◎	地震後、津波後に手動起動。暫くして、高圧 蒸気喪失
		風機C (代替注水)	T/B地下階 (OP. 1900)	B	◎	◎	×	津波後、電源喪失
プールの冷却	SFP冷却 (FPC系)	R/B3階 (OP. 26900)	B	◎	△	×	地震発生後電源喪失。津波後、海水系（S W）喪失	
	SFP冷却 (RHR系)	R/B地下階 (OP. -1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系とも喪失	
閉じ込める機能	原子炉建屋 格納施設		A	○	○注1	×	ブローアウトパネル開放	
	原子炉格納容 器		A	○	○	×	津波到達前、格納容器圧力に破壊を示す徴候 は認められず	

(凡例) ◎：運転 ○：待機 △：通常電源断による停止 ×：機能喪失又は待機除外

注1：本震で比較的大きな揺れを観測した5号機では、地震発生後の3月19日に残留熱除去系を使用しており、当直員によるパトロールからも各系統・設備に大きな損傷は認められていない。
また、これら機器が設置されている原子炉建屋地下階で今般得られた観測記録における最大加速度は、機器の動的機能維持確認加速度を十分下回っている。
このことから、各機能は概ね確保されていたものと推定される。
※JEA C4601-2008「原子力発電所耐震設計技術規程」

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

表 1-3 1F-3 非常用炉心冷却系（ECCS系）機器等の状況

		設置場所	耐震クラス	地震スクラム時	地震スクラム～津波到達直前まで	津波到達以降	備 考	
冷やす機能	ECCS系	RHR (A)	R/B地下階 (OP.-1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS A/C）とも喪失
		RHR (B)	R/B地下階 (OP.-1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
		RHR (C)	R/B地下階 (OP.-1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS A/C）とも喪失
		RHR (D)	R/B地下階 (OP.-1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
		RHRS (A)	屋外 (OP.4000)	A	○	○注1	×	津波時、本体津波による海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (B)	屋外 (OP.4000)	A	○	○注1	×	津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (C)	屋外 (OP.4000)	A	○	○注1	×	津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (D)	屋外 (OP.4000)	A	○	○注1	×	津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		CS (A)	R/B地下階 (OP.-1000)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS A/C）とも喪失
		CS (B)	R/B地下階 (OP.-1000)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
	HPCI	R/B地下階 (OP.-2060)	A	○	○	◎	津波後、原子炉水位低下時に自動起動。暫くして高圧蒸気喪失	
	炉注水	RCIC	R/B地下階 (OP.-2060)	A	○	○	◎	津波後に起動。暫くしてトリップ。再起動不能
		MJWC (代替注水)	T/B地下階 (OP.2420)	B	◎	◎	×	津波後、電源喪失
プール冷却	SFP冷却 (FPC系)	R/B3階 (OP.26900)	B	◎	△	×	地震発生後電源喪失。津波後、海水系（SW）喪失	
	SFP冷却 (RHR系)	R/B地下階 (OP.-1030)	A	○	○注1	×	津波後、電源・海水系とも喪失	
閉じ込める機能	格納施設		A	○	○注1	×	爆発により破損	
	原子炉格納容器		A	○	○	×	津波到達前、格納容器圧力に破損を示す数値は認められず	

(凡例) ◎：運転 ○：待機 △：通常電源断による停止 ×：機能喪失又は待機除外

注1：本震で比較的大きな揺れを観測した5号機では、地震発生後の3月19日に残留熱除去系を使用しており、当該員によるパトロールからも各系統・設備に大きな損傷は認められていない。
また、これら機器が設置されている原子炉建屋地下階で今般得られた観測記録における最大加速度は、機器の動的機能維持確認加速度²を十分下回っている。
このことから、各機能は概ね確保されていたものと推定される。
※JEA C4601-2008「原子力発電所耐震設計技術規程」

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

表 1-4 1F-4 非常用炉心冷却系（ECCS系）機器等の状況

		設置場所	耐震 クラス	地震 スクラム時	地震スクラム～ 津波到達直前 まで	津波到達 以降	備 考	
冷やす機能	ECCS系	RHR (A)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	—	—	—	
		RHR (B)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	○	○ 注1	×	津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
		RHR (C)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	—	—	—	
		RHR (D)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	⊙ (SFP冷却)	○ 注1	×	地震時、停電により停止。起動前に現場操作が必要であり、起動する前に津波到達。津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
		RHRS (A)	屋外 (OP. 4000)	A	—	—	—	
		RHRS (B)	屋外 (OP. 4000)	A	⊙ (SFP冷却)	○ 注1	×	地震時、停電により停止。起動前に現場操作が必要であり、起動する前に津波到達。津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
		RHRS (C)	屋外 (OP. 4000)	A	—	—	×	
		RHRS (D)	屋外 (OP. 4000)	A	⊙ (SFP冷却)	○ 注1	×	地震時、停電により停止。起動前に現場操作が必要であり、起動する前に津波到達。津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失
		CS (A)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	—	—	—	
		CS (B)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	—	—	—	
	HPCI	R/B地下階 (0. P-2060)	A	—	—	—		
	炉注水	RCIC	R/B地下階 (0. P-2060)	A	—	—	—	
MJMC (代替注水)		T/B地下階 (OP. 1900)	B	⊙	⊙	×	津波後、電源喪失	
プールの冷却	SFP冷却 (FPC系)	R/B3階 (OP. 26900)	B	⊙	△	×	1台は点検。1台は地震前に運転中。地震後通常電源断により停止。	
	SFP冷却 (RHR系)	R/B地下階 (0. P-1110)	A	⊙	○ 注1	×	地震時、停電により停止。起動前に現場操作が必要であり、起動する前に津波到達。津波後、電源・海水系（RHRS B/D）とも喪失	
閉じ込める機能	格納施設	原子炉建屋	A	○	○ 注1	×	爆発により破損	
		原子炉格納容器	A	—	—	—	定検中につき全燃料取り出し、MSIV閉、及びウエル満水。	

(凡例) ⊙：運転 ○：待機 △：通常電源断による停止 ×：機能喪失又は待機除外 —：定検停止中（機能要求なし）

注1：本表で比較的大きな振れを観測した6号機では、地震発生後の3月19日に残留熱除去系を使用しており、当直員によるパトロールからも各系統・設備に大きな損傷は認められていない。
また、これら機器が設置されている原子炉建屋地下階で今般得られた観測記録における最大加速度は、機器の動的機能維持確認許容加速度[※]を十分下回っている。
このことから、各機能は概ね確保されていたものと推定される。
※J EAC4601-2008「原子力発電所耐震設計技術規程」

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

表 1-5 1F-5 非常用炉心冷却系（ECCS系）機器等の状況

		設置場所	耐震クラス	地震スクラム時	地震スクラム～津波到達直前まで	津波到達以降	備考	
冷やす機能	ECCS系	RHR (A)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	注1	○	津波後、電源・海水系 (RHR S A/C) とも喪失
		RHR (B)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	注1	○	津波後、電源・海水系 (RHR S B/D) とも喪失。
		RHR (C)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	○	◎	津波後、電源・海水系 (RHR S A/C) とも喪失。仮設水中ポンプ設置3/19 (電源復旧) より運転・SHCと非常時熱負荷モード交互運転中
		RHR (D)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	注1	○	津波後、電源・海水系 (RHR S B/D) とも喪失
		RHRS (A)	屋外 (OP. 4000)	A	○	注1	×	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (B)	屋外 (OP. 4000)	A	○	注1	×	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRS (C)	屋外 (OP. 4000)	A	○	○	◎	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失。3/18 仮設水中ポンプ設置、仮設電源受電し使用可。(RHRS A/Cで1台)
		RHRS (D)	屋外 (OP. 4000)	A	○	注1	×	津波時、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		CS (A)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	注1	○	津波後、電源・海水系 (RHRS A/C) とも喪失
		CS (B)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	注1	○	津波後、電源・海水系 (RHRS B/D) とも喪失
	HPCI	R/B地下階 (OP. 940)	A	-	-	-	定検停止中	
	炉注水	RCIC	R/B地下階 (OP. 940)	A	-	-	-	定検停止中
		風機 (代替注水)	T/B地下階 (OP. 4900)	B	◎	◎	◎	地震発生後、運転。津波後電源喪失
プール冷却	SFP冷却 (FPC系)	R/B3階 (OP. 32700)	B	◎	△	○	地震発生後通常電源断により停止。津波後、海水系 (SW) 喪失	
	SFP冷却 (RHR系)	R/B地下階 (OP. 940)	A	○	○	◎	津波後、電源・海水系 (RHRS A/C) とも喪失。仮設水中ポンプ設置3/19 (電源復旧) より運転・SHCと非常時熱負荷モード交互運転中	
閉じ込める機能	原子炉建屋		A	○	注1	×	津波後、3/18 屋上に孔開け実施 (水素滞留防止：予防保全)	
	原子炉格納容器		A	○	○	○	格納容器圧力に破損を示す徴候は認められず	

(凡例) ◎：運転 ○：待機 △：通常電源断による停止 ×：機能喪失又は待機除外 -：定検停止中 (機能要求なし)

注1：本震で比較的大きな揺れを観測した5号機では、地震発生後の3月19日に残留熱除去系を使用しており、当直員によるパトロールからも各系統・設備に大きな損傷は認められていない。
また、これら機器が設置されている原子炉建屋地下階で今般得られた観測記録における最大加速度は、機器の動的機能維持確認加速度を十分下回っている。
このことから、各機能は概ね確保されていたものと推定される。
※J E A C 4 6 0 1 - 2 0 0 8 「原子力発電所耐震設計技術規程」

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」(平成23年5月23日 東京電力株式会社)

表 1-6 1F-6 非常用炉心冷却系（ECCS系）機器等の状況

		設置場所	耐震クラス	地震スクラム時	地震スクラム～津波到達直前まで	津波到達以降	備考	
冷やす機能	ECCS系	RHR (A)	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	○	○注1	○	津波後、海水系 (RHRs A/C) が喪失
		RHR (B)	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	◎ (SHC運転)	○	◎	津波後、海水系 (RHRs B/D) が喪失。仮設水中ポンプ設置、3/19 (電源復旧) より運転 ※SHCと非常時熱負荷モード交互運転中
		RHR (C)	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	○	○注1	○	津波後、海水系 (RHRs B/D) が喪失。仮設水中ポンプ設置により運転可
		RHRs (A)	屋外 (OP. 4000)	A	○	○注1	×	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失
		RHRs (B)	屋外 (OP. 4000)	A	◎ (SHC運転)	○	◎	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失。3/18仮設水中ポンプ設置、仮設電源受電し使用可。(RHRs B/Dで2台)
		RHRs (C)	屋外 (OP. 4000)	A	○	○注1	×	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失。
		RHRs (D)	屋外 (OP. 4000)	A	◎ (SHC運転)	○	◎	津波後、本体海水冠水し、かつ電源喪失。3/18仮設水中ポンプ設置、仮設電源受電し使用可。(RHRs B/Dで2台)
		LPCS	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	○	○注1	○	津波後、電源・海水系 (RHRs A/C) とも喪失
		HPCS	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	○	○注1	○	津波後、海水系 (DG (H) SW) が喪失
	炉注水	RCIC	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	-	-	-	定検停止中
MJWC (代替注水)		T/B地下階 (OP. 3400)	B	◎	◎	◎	B系はD/G B系起動、電源D系受電により運転	
プールの冷却	SFP冷却 (FPC系)	R/B4階 (OP. 34000)	B	◎	△	○	地震発生後通常電源喪失。津波後、海水系 (SW) 喪失	
	SFP冷却 (RHR系)	R/B地下2階 (OP. 1000)	A	○	○注1	×	3/18仮設水中ポンプ設置、仮設電源受電し使用可。(RHRs A/Cで1台) ※SHCと非常時熱負荷モード交互運転中	
閉じ込める機能	格納施設	原子炉建屋	A	○	○注1	×	津波後、3/18屋上に孔開け実施 (水素滞留防止：予防保全)	
	原子炉格納容器		A	○	○	○	格納容器圧力に破壊を示す徴候は認められず	
その他設備								

(凡例) ◎：運転 ○：待機 ×：機能喪失又は待機除外 -：定検停止中（機能要求なし）

注1：本震で比較的大きな揺れを観測した5号機では、地震発生後の3月19日に残留熱除去系を使用しており、当直員によるパトロールからも各系統・設備に大きな損傷は認められていない。
また、これら機器が設置されている原子炉建屋地下階で今般得られた観測記録における最大加速度は、機器の動的機能維持確認加速度^①を十分下回っている。
このことから、各機能は概ね確保されていたものと推定される。
※JEA C4601-2008「原子力発電所耐震設計技術規程」

【出典】「東北地方太平洋沖地震発生当時の福島第一原子力発電所運転記録及び事故記録の分析と影響評価について」（平成23年5月23日 東京電力株式会社）

原子力災害対策本部長からの避難指示等

1) 福島第一原子力発電所に係る原子力災害対策本部長からの避難指示等

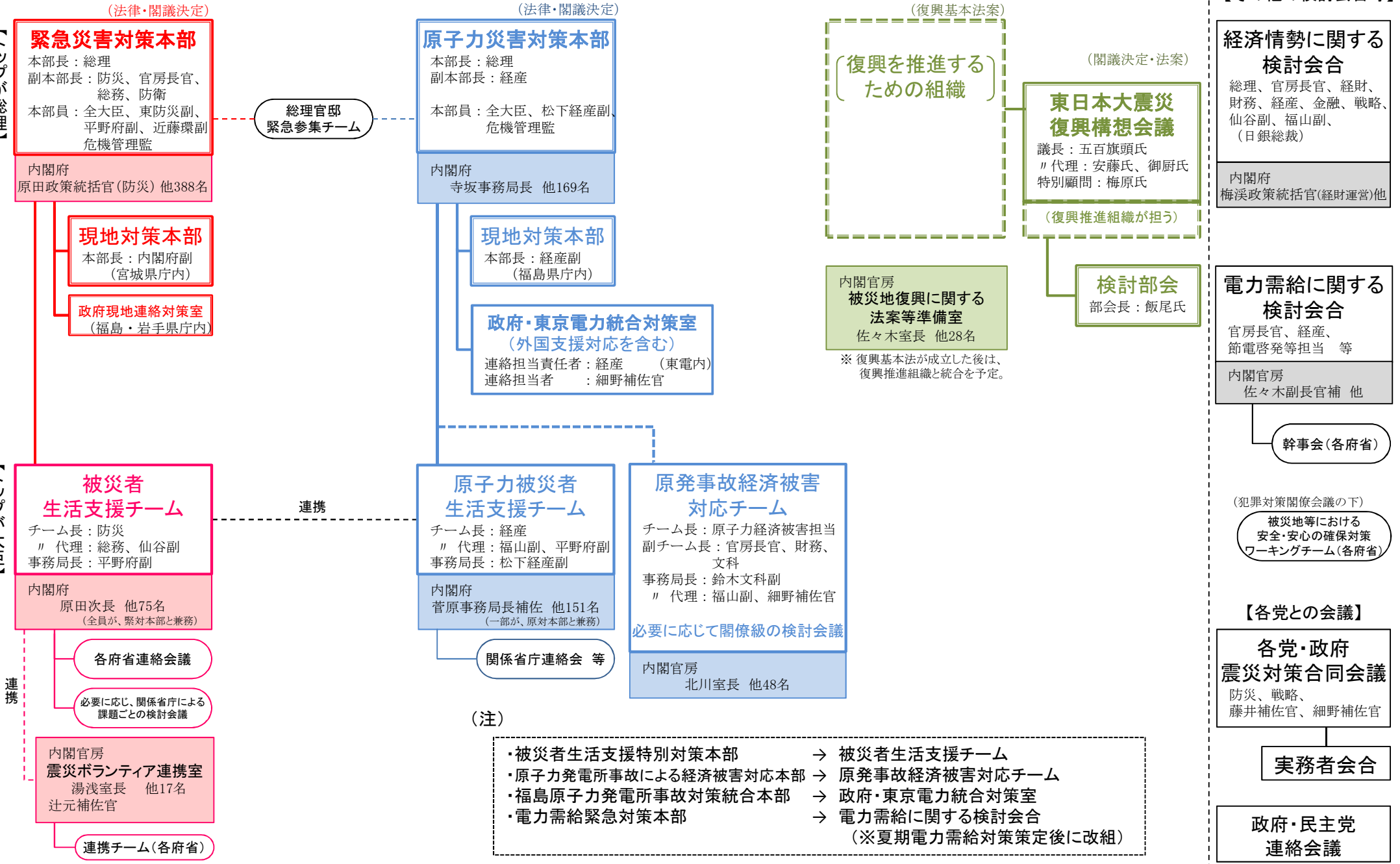
- 3月11日 [21:23] 発電所から半径 3km 圏内の住民は、避難。
発電所から半径 3km から 10km 圏内の住民は、屋内退避。
- 3月12日 [5:44] 発電所から半径 10km 圏内の住民は、避難。
[18:25] 発電所から半径 20km 圏内の住民は、避難。
- 3月15日 [11:00] 発電所から半径 20km 以上 30km 圏内の住民は、屋内退避。
- 4月21日 [11:00] 避難区域を災害対策基本法の警戒区域に設定するよう指示。
- 4月22日 [9:44] 従来の屋内退避指示を解除し、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定。

2) 福島第二原子力発電所に係る原子力災害対策本部長からの避難指示等

- 3月12日 [7:45] 発電所から半径 3km 圏内の住民は、避難。
発電所から半径 3km から 10km 圏内の住民は、屋内退避。
- [17:39] 発電所から半径 10km 圏内の住民は、避難。
- 4月21日 [11:00] 避難区域を発電所から半径 10km 圏内から半径 8km 圏内に変更。

【トップが総理】

【トップが大臣】



添付V-3

原子力災害対策本部長に対する原災法第20条第5項に基づく意見及び原災法第20条第6項に基づく助言

1. 原災法第20条第5項に基づき原子力安全委員会の意見を求められた事項
(緊急事態応急対策を実施すべき区域等への意見)

1) 福島第一原子力発電所関連

日付	事象	公示区域及び公示内容
3月11日	住民避難に関する公示の変更	半径10km圏内の区域で避難区域:3km、屋内退避区域:3~10kmとすること
3月12日	住民避難に関する公示の変更	半径10km圏内の区域で避難区域:10kmとすること
3月12日	住民避難に関する公示の変更	半径20km圏内の区域で避難区域:20kmとすること
3月15日	住民避難に関する公示の変更	半径30km圏内の区域で屋内退避:20~30kmとすること
3月21日	出荷制限・摂取制限に関する公示の変更	福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の県域でハウレンソウ、カキナ、原乳の出荷を差し控えるようにすること
3月22日	出荷制限・摂取制限に関する公示の変更	福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の県域で暫定規制値を著しく超える食品については摂取制限を実施すること
4月4日	出荷制限・摂取制限に関する公示の変更	福島県、茨城県、栃木県及び群馬県の県域並びに千葉県香取市、旭市及び多古町の区域で、関係県知事に行った指示に基づき、当分の間、一部食品の摂取及び出荷を差し控えるようにすること
4月10日	住民避難に関する公示の変更	半径20km以遠の周辺地域において、事故発生から1年間の期間内に積算線量が20ミリシーベルトに達するおそれのある区域を計画的避難区域とすること、及び屋内退避区域の内、上記区域以外の区域を緊急時準備区域とすること
4月21日	住民避難に関する公示の変更	半径20km圏内を警戒区域とすること

4月22日	稲の作付け制限に関する公示の変更	半径 20km 圏内の区域並びに計画的避難及び緊急時避難準備区域で平成 23 年度の稲の作付けを差し控えるようにすること
-------	------------------	--

2) 福島第二原子力発電所関連

日付	事象	公示区域及び公示内容
3月12日	住民避難に関する公示の変更	半径 10km 圏内の区域で避難区域: 10km とすること
4月20日	住民避難に関する公示の変更	半径 8km 以遠の区域を避難区域から解除すること

2. 法第20条第6項に基づく助言

(緊急事態応急対策の実施に関する技術的事項についての助言)

1) 福島第一発電所関連

日付	助言の種類	助言内容(概要)
3月16日	出荷制限・摂取制限に関する助言	放射能汚染された食品の取扱いについて (「原子力施設等の防災対策について、平成 22 年 8 月一部改訂、原子力安全委員会」に記載の「飲食物の摂取制限に関する指標」を暫定規制値とし、これを上回る放射性物質を含有する食品を食用に供しないとすることについて、差支えないと回答)
3月31日	出荷制限・摂取制限に関する助言	暫定規制値を当分の間現行通りとすることについて (「放射性物質に関する緊急とりまとめ」(平成 23 年 3 月食品安全委員会)を受けて、暫定規制値を当分の間、現行のとおりとすることについて、差支え無い旨を回答)
4月4日	出荷制限・摂取制限に関する助言	「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」について (出荷制限の解除条件として 3 週連続暫定規制値以下とすること等、再整理した結果について、差支え無い旨を回答)
4月5日	出荷制限・摂取制限に関する	魚介類の放射性ヨウ素に係る摂取制限値を 2,000Bq/kg とすることについて

	助言	(放射性ヨウ素についての魚介類の食物摂取制限に関する指標については、暫定的に、野菜の基準値である2,000Bq/kgを準用することで差支えない旨を回答)
4月7日	稲の作付け制限に関する助言	「稲の作付け関する考え方」について (水田土壌中の放射性セシウムの濃度調査結果及び水田土壌中の放射性セシウムの米への移行の指標(0.1)から稲の作付け制限を行う考え方については差し支えない旨を回答)

添付V-4

現地対策本部・関係自治体他からの要請に応じて原子力安全委員会が行った種々の事項についての助言の概要（原災法第20条第5項に基づく意見及び第6項に基づく助言を除く）

1) モニタリング計画

陸域、海域、空域のそれぞれの環境モニタリング活動に対して、モニタリング結果等の評価を反映して、対象位置、測定項目および測定時の留意点等について要請や助言を適宜行った。

2) 屋内避難区域等における住民生活等

屋内退避中の生活、避難区域への一時帰宅及び福島県内の学校等の校舎、校庭などの利用判断における暫定的考え方等について助言を行った。

3) 低レベル廃液の海中放出

緊急やむを得ない措置として海洋放出を実施するに当たって、放出された放射性物質の影響をできるだけ低減するために留意すべき事項を含めた助言を行った。

4) スクリーニング及び除染の基準・方法

一般住民の体表面汚染に対する除染の基準など、人体の被ばくや自動車等の汚染を対象に、スクリーニング方法及び除染の必要性に関する基準や具体的除染方法等について助言を行った。

5) 安定ヨウ素剤の必要性・注意点

避難地域（20km圏内）の残留者や避難が遅れている入院患者等に対しては安定ヨウ素剤の投与を推奨する旨を助言した。また、むやみに自己判断で服用することのないよう安定ヨウ素剤の服用についての注意喚起等を行った。

6) 緊急時作業についての対策

被ばく防止のための放射線防護措置の有効性と着実な実施等について助言を行った。

7) 福島県内の学校等の校舎、校庭等の利用判断における暫定的考え方

原子力災害対策本部より示された「福島県内の学校等の校舎、校庭等の利用判断における暫定的考え方」について、学校等における継続的なモニタリング等

の結果について、2週間に1回以上の頻度を目安として、原子力安全委員会に報告すること、学校等にそれぞれ1台程度ポケット線量計を配布し、生徒の行動を代表するような教職員に着用させ、被ばく状況を確認することに留意すべきであることを助言した。

8) 漁業関係者の就労

福島第一原子力発電所周辺海域における漁業関係者の就労については、今後もモニタリングを継続して行い原子力安全委員会に適宜報告するとともに、被ばく線量の低減につとめることに留意すべきであることを助言した。

9) 原子炉建屋内の放射性物質濃度の低減措置に伴う放射性物質の拡散

福島第一原子力発電所1号機の原子炉建屋開口部の開放¹に伴う放射性物質の拡散について、作業の際には周囲の作業者の被ばく線量低減に努めること、周辺のモニタリングを実施し適宜原子力安全委員会に報告することを助言した。

¹東京電力株式会社は、2011年5月8日、原子炉建屋内の放射性物質濃度の低減措置による作業環境改善後に建屋内へ立ち入り、原子炉代替冷却設備工事等を実施するため、開口部の開放を行った。

添付V-5

事故の拡大防止に向けた助言活動等

1) 格納容器ベント操作

原子力安全委員会では、3月11日15:59に福島第一原子力発電所1号機から3号機までの全交流電源喪失の通報、更に3月11日16:45に福島第一原子力発電所1号機及び2号機の非常用炉心冷却装置注水不能の通報（原子力災害対策特別措置法第15条通報）を受信した。3月11日19時過ぎに原子力災害対策本部が総理大臣官邸に設置され、原子力安全委員長は官邸に詰めた。それ以降3月12日にかけては、できる限り制御できる状態で、格納容器の加圧破損を防止するためのベント操作、炉心冷却のための海水注入を含む注水等のアクシデントマネジメントが必要であるとの認識のもと、特に、格納容器の加圧破損を防止するための格納容器ベントを実施するしかないということを数次にわたり、原子力安全委員長は内閣総理大臣、経済産業大臣に進言した。

2) 耐震補強対策

福島第一原子力発電所は、水素爆発後、原子炉建屋の損傷があることから、使用済み燃料貯蔵プール及び原子炉系、原子炉格納容器等の耐震強度の評価を行い、対応策が検討されるべき旨、原子力安全委員会プラント機能班は、原子力安全・保安院に対して助言を行った（4月8日）。

3) 余震による津波に備えた措置

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の余震として、大きな津波を伴う地震発生の可能性があることから、各原子力発電所における緊急安全対策が検討されるよう、原子力安全委員会プラント機能班は、原子力安全・保安院に対して助言を行った（4月8日）。

放射線防護に関する助言に関する基本的考え方について

平成 23 年 5 月 19 日
原子力安全委員会

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、原子力安全委員会は、直ちに緊急技術助言組織を立ち上げて以降、これまで、緊急事態応急対策調査委員、専門委員等の専門家の協力を受け、政府の原子力災害対策本部や関係行政機関等への助言を行ってきた。同発電所の状況は、安定化の方向にあるとはいえ依然として予断を許さず、事故の長期化に伴って、また事故の影響が広い範囲に及んでいることによって、周辺住民等の放射線防護に関わりをもつ社会的課題が数多く生じている。原子力安全委員会は、今後とも必要に応じ、政府の原子力災害対策本部や関係行政機関等による総合的な判断に資するため、放射線防護に関する技術的助言を行っていくこととしているが、この際、これまでの助言について、当委員会として、いかなる考え方に基づいて行ってきたのかを広く示すことは、自らの説明責任を果たす上で意味のあることであるとの認識のもと、以下にその基本的考え方を示すこととする。

1. 放射線防護を踏まえた総合的判断の必要性

東京電力福島第一原子力発電所の事故に関し、今後の周辺住民（避難を余儀なくされている方々を含む。）の生活支援、産業活動、土地利用等に向けた判断を行うに当たっては、周辺住民の生活や社会活動を過度に制限することを避けつつ、放射線被ばくによる健康影響に対する適切な防護を担保することが必要である。このためには、最新の科学的知見や国際的な基準を踏まえた放射線防護の考え方に基づき、さらに環境、健康、社会、経済、政治、倫理等に配慮した判断を行うことが重要である。

2. 放射線防護の対象としての現状の特殊性：（ICRP のいう緊急被ばく状況、現存被ばく状況、計画被ばく状況^[注記]の併存と移行）

今回の事故においては、事故が収束に至らない状態が今後ともある程度の期

間にわたり継続する可能性がある。また、施設の周辺では、地域によってさまざまなレベルでの環境放射線の測定結果が得られているが、これらの地域では、通常どおり、または通常に近い態様での生活や社会活動が維持されている。このことにより、汚染(contamination)レベルの異なる地域間での物流や人の移動が生じている。すなわち、状況が異なる地域が明確に隔てられることなく隣接するとともに、それぞれの状況が時間とともに変化しており、これによって問題が複雑化しているともいえるので、周辺住民等の放射線防護に関わりをもつ判断においては、この点について十分留意することが必要である。

3. 異なる被ばく状況が併存する状況での最適化の努力

周辺住民の生活支援、産業活動、土地利用等に向けた判断においては、避難を始めとする生活や社会活動への制限と、健康に影響を及ぼすには至らないものの平常時を上回る放射線被ばくの受容という、個々人にとっての異なる負担の間のトレードオフを扱うこととなる。生活や社会活動を過度に制限することなく、放射線防護における最適化を達成するため、適切な管理や除染(decontamination)・改善措置(remediation)等による線量の低減が考慮されるべきである。今後、施設の安定化や事故収束に伴って、周辺住民にとって「通常」と考えられる生活状態が回復し、社会的・経済的活動が再開される地域が拡大されていくためには、とくに除染・改善措置が果たす役割が大きいといえる。

4. 利害関係者の関与、透明性、総合的判断

このような総合的な判断においては、地元自治体や地元住民との情報交換や意見交換、ならびに協議を十分に図ることが望ましい。さらに、放射線による人への健康影響(晩発影響)を考慮する一方で、防護措置や除染・改善措置を講ずることに伴う経済的影響、心理的影響および社会的影響を含めたあらゆる側面に対する配慮が必要である。

[注記] 国際放射線防護委員会(ICRP)勧告から抜粋
(ICRP Publ. 103 : 176)

国際放射線防護委員会(ICRP)勧告には、放射線に被ばくする個人に適用されるように意図し、すべての線源およびすべての考えうる事情を扱う被ばく状況をつぎの3つに分類している。

- ・ 計画被ばく状況：線源の意図的な導入と運用をともなう状況である。計画

被ばく状況は、発生が予想される被ばく（通常被ばく）と発生が予想されない被ばく（潜在被ばく）の両方を生じさせることがある。

- ・ 緊急時被ばく状況：計画された状況を運用する間に、若しくは悪意ある行動から、あるいは他の予想しない状況から発生する可能性がある好ましくない結果を避けたり減らしたりするために緊急の対策を必要とする状況である。
- ・ 現存被ばく状況：管理についての決定をしなければならないときに既に存在する、緊急事態の後の長期被ばく状況を含む被ばく状況である。

添付V-7 通常時の監視体制

放射性液体廃棄物の管理

表88-1

分類	測定項目	計測器種類	測定頻度	試料採取箇所
放射性液体 廃棄物	放射性物質の濃度 (主要ガンマ線 放出核種)	試料放射能 測定装置	放出の都度	・収集タンク ・サンプルタンク
	トリチウム濃度	試料放射能 測定装置	1ヶ月に1回	

表88-2

項目	放出管理目標値
放射性液体廃棄物 (トリチウムを除く。)	2.2×10^{11} Bq/年

表88-3

項目	放出管理の基準値
トリチウム	2.2×10^{13} Bq/年

放射性気体廃棄物の管理

表 8 9 - 1

分 類	排気筒等	測定項目	計測器種類	測定頻度
放射性 気体廃棄物	・ 共用排気筒	希ガス濃度	排気筒モニタ	常時
	・ タービン建屋 換気系排気筒	よう素 131 濃度 粒子状物質濃度 (主要ガンマ線 放出核種)	試料放射能 測定装置	1 週間に 1 回
	・ 廃棄物集中 処理建屋 換気系排気筒			
	・ 使用済燃料 共用プール 排気口			
	・ 焼却炉建屋 排気口	よう素 131 濃度 粒子状物質濃度 (主要ガンマ線 放出核種)	試料放射能 測定装置	1 週間に 1 回
	・ 雑固体廃棄物 減容処理建屋 排気口			
・ サイトバンカ 建屋換気系 排気口	粒子状物質濃度 (主要ガンマ線 放出核種)	試料放射能 測定装置	1 週間に 1 回	
・ 第 5 固体廃棄物 貯蔵庫 (固型化 処理エリア) 換気系排気口				
・ 非常用ガス 処理系		希ガス濃度	排気筒モニタ	常時 (非常用ガス処理系 運転時)
		よう素 131 濃度 粒子状物質濃度 (主要ガンマ線 放出核種)	試料放射能 測定装置	1 週間に 1 回 (非常用ガス処理系 運転時)

表 8 9 - 2

項 目	放出管理目標値
放射性気体廃棄物	
希ガス	8.8×10^{15} Bq/年
よう素 131	4.8×10^{11} Bq/年

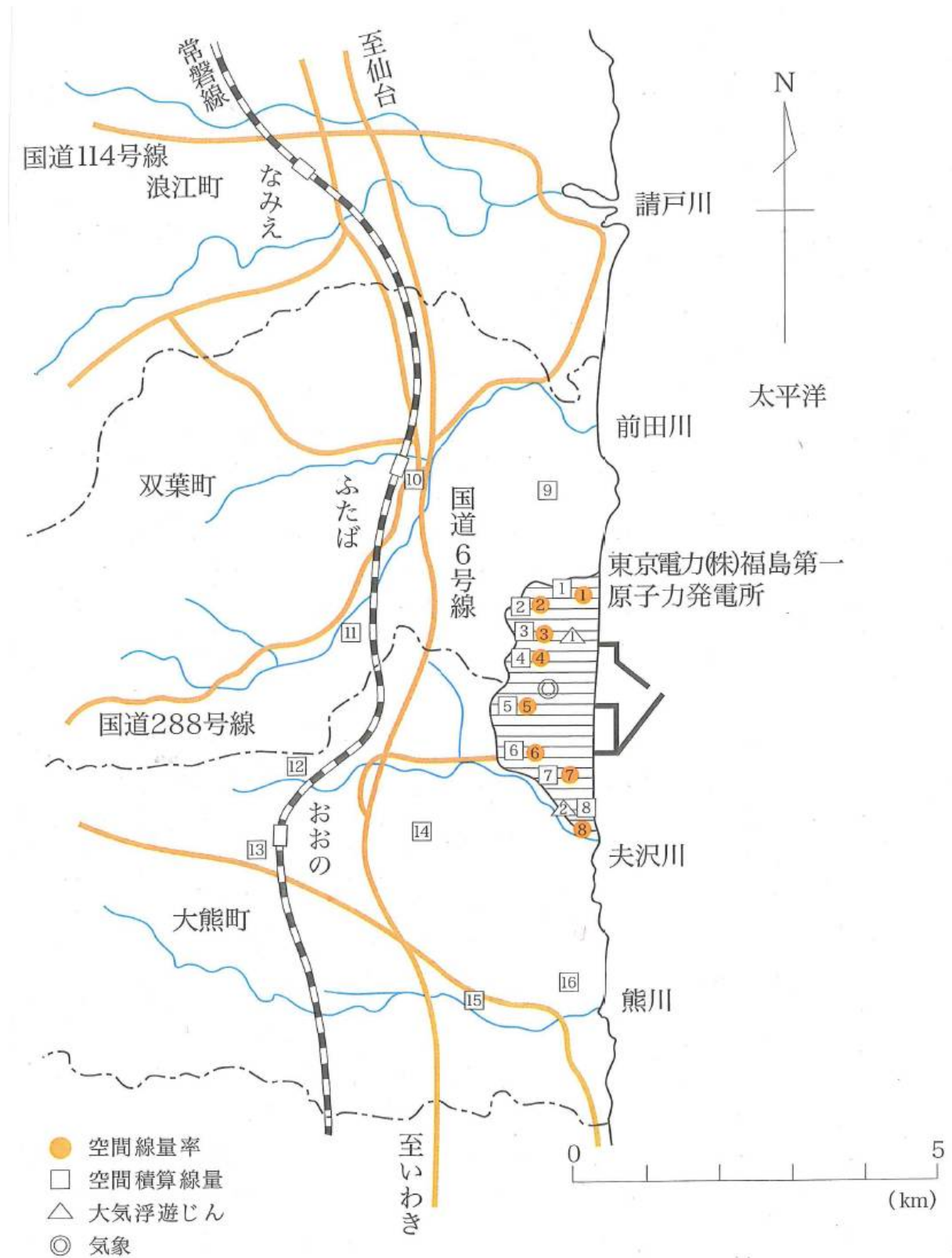
表 8 9 - 3

	測定項目	計測器種類	測定頻度
排気筒等以外の排気出口	粒子状物質濃度 (主要ガンマ線 放出核種)	試料放射能測定 装置	作業の都度 ※1

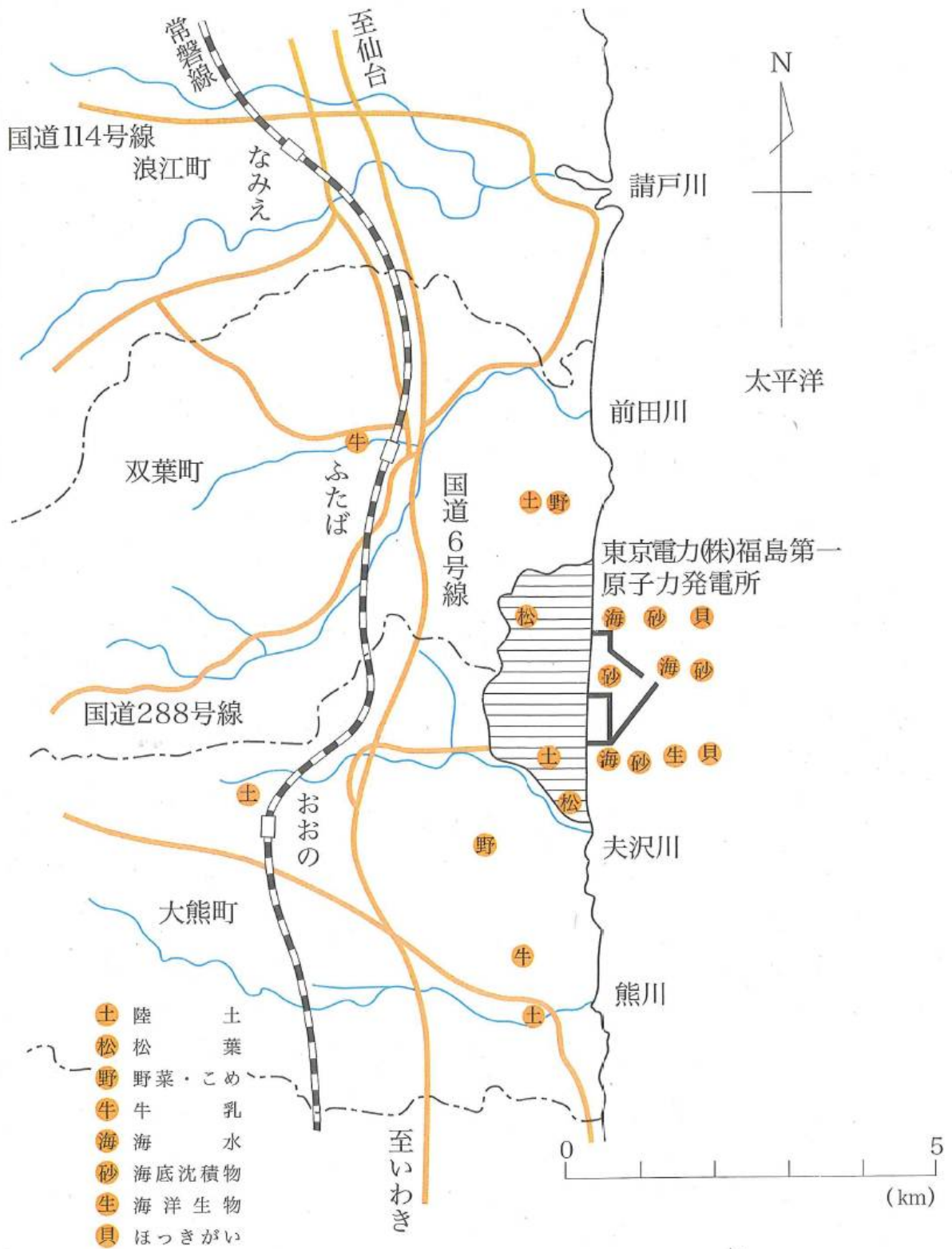
※ 1 : 作業が 1 週間を超える場合は 1 週間に 1 回測定する。

環境放射能等の測定

測定地点



試料採取地点

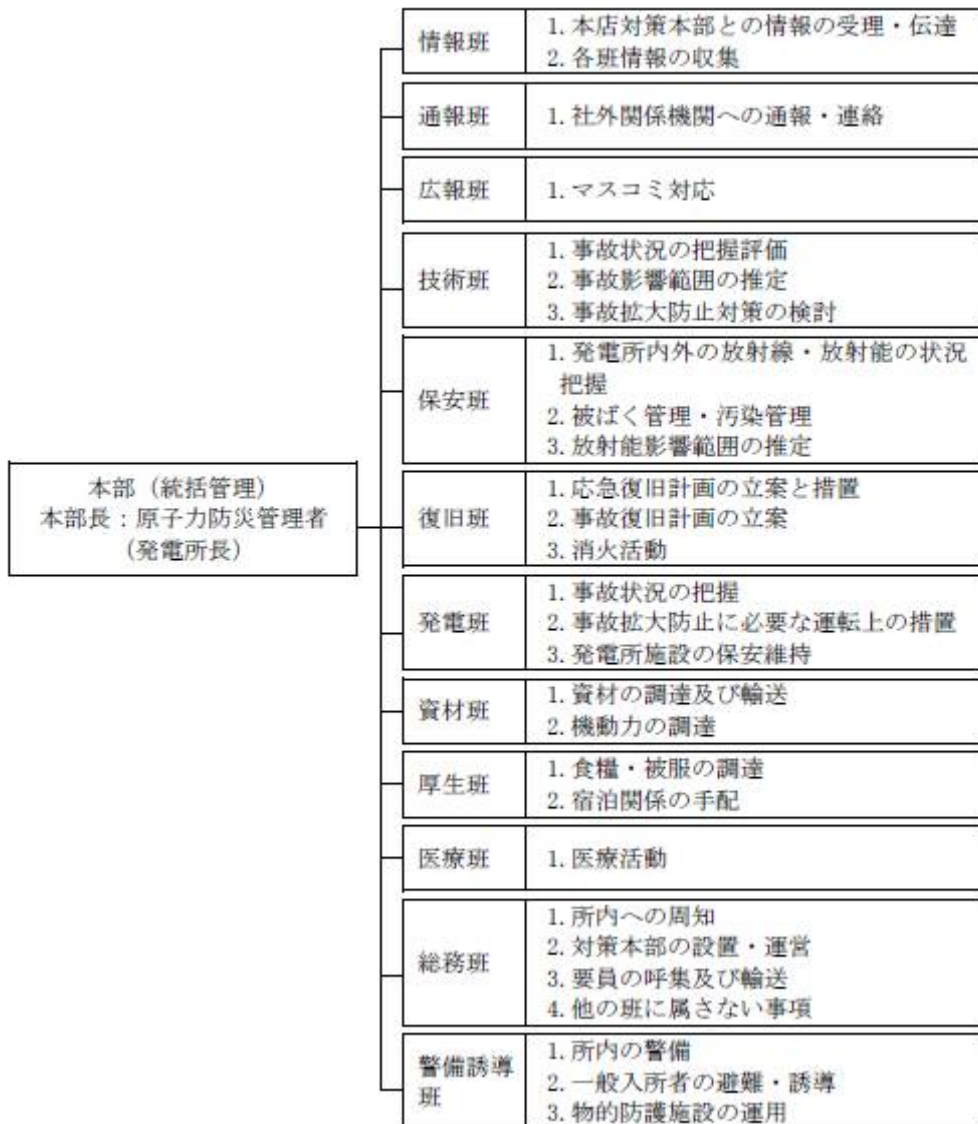


添付V-8 緊急時の監視体制

2. 放射能影響範囲の推定及び防護措置

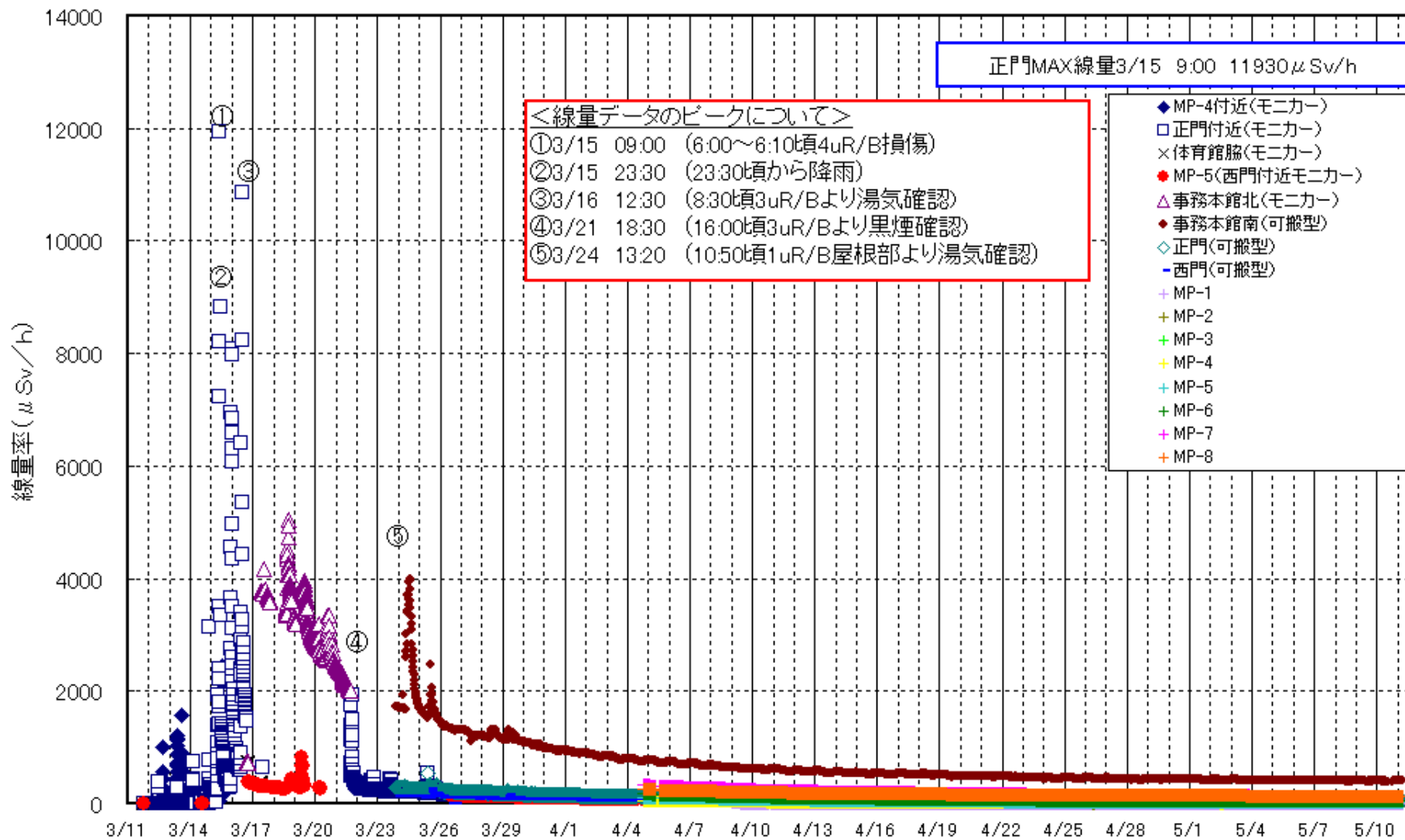
発電所対策本部保安班長は、発電所敷地内及び発電所周辺の放射線並びに放射能の測定を行い、放射性物質が発電所敷地外に放出された場合、放射線監視データ、気象観測データ及び緊急時環境モニタリングデータ等から放射能影響範囲を推定する。

別図2-1 発電所原子力防災組織の業務分掌

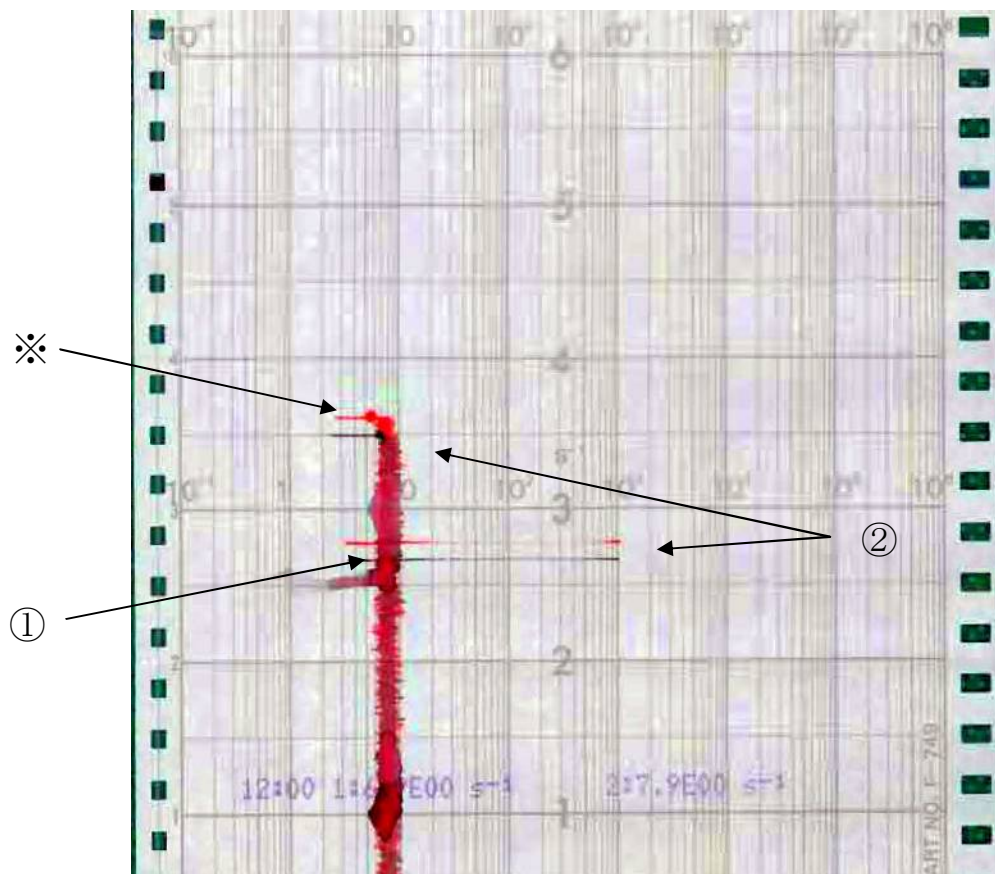


添付V-9 モニタリングポストの測定結果

福島第一 線量率



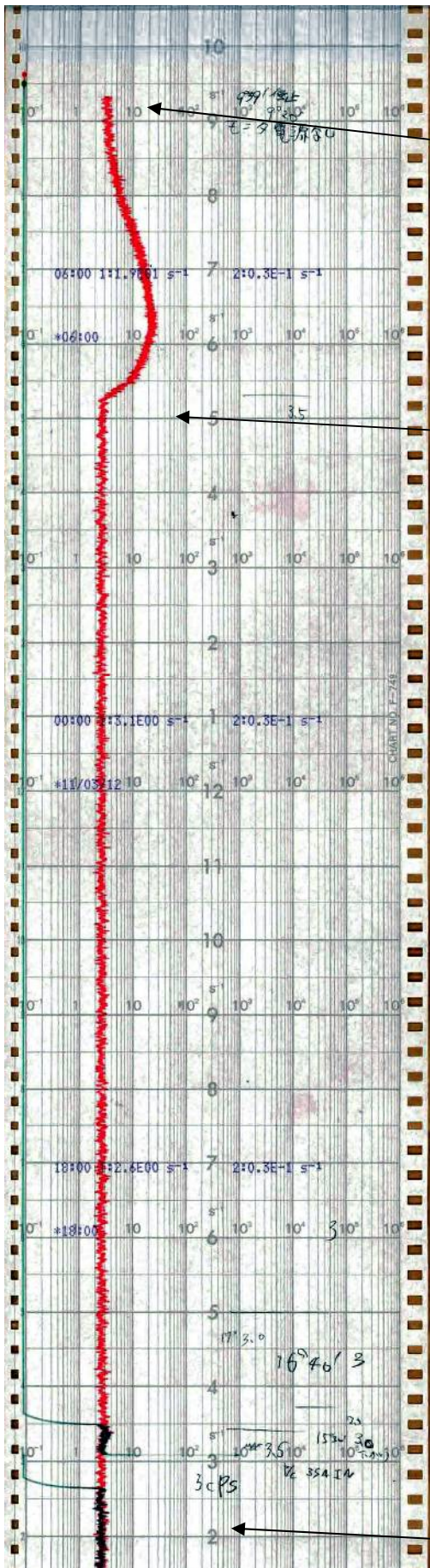
【1号 排気筒放射線モニタ】



B系	排気筒放射線モニタ 2	_____
A系	排気筒放射線モニタ 1	_____

- ① 14時46分 地震によるスクラム
- ② ノイズと思われる信号
- ※ 15時30分過ぎに津波が到来したと想定される。津波の影響によると思われる記録終了。

【3号 主排気筒放射線モニタ】



	主排気筒放射線モニタ(SIN)A	_____
	主排気筒放射線モニタ(SIN)B	_____

※

①

- ① 構内線量上昇の影響を受けたと考えられる指示値上昇
- ② 電源喪失に伴うダウンスケール
- ※ 電源喪失よると思われる記録終了

②

添付V-11 土壤中の放射性物質の核種分析結果

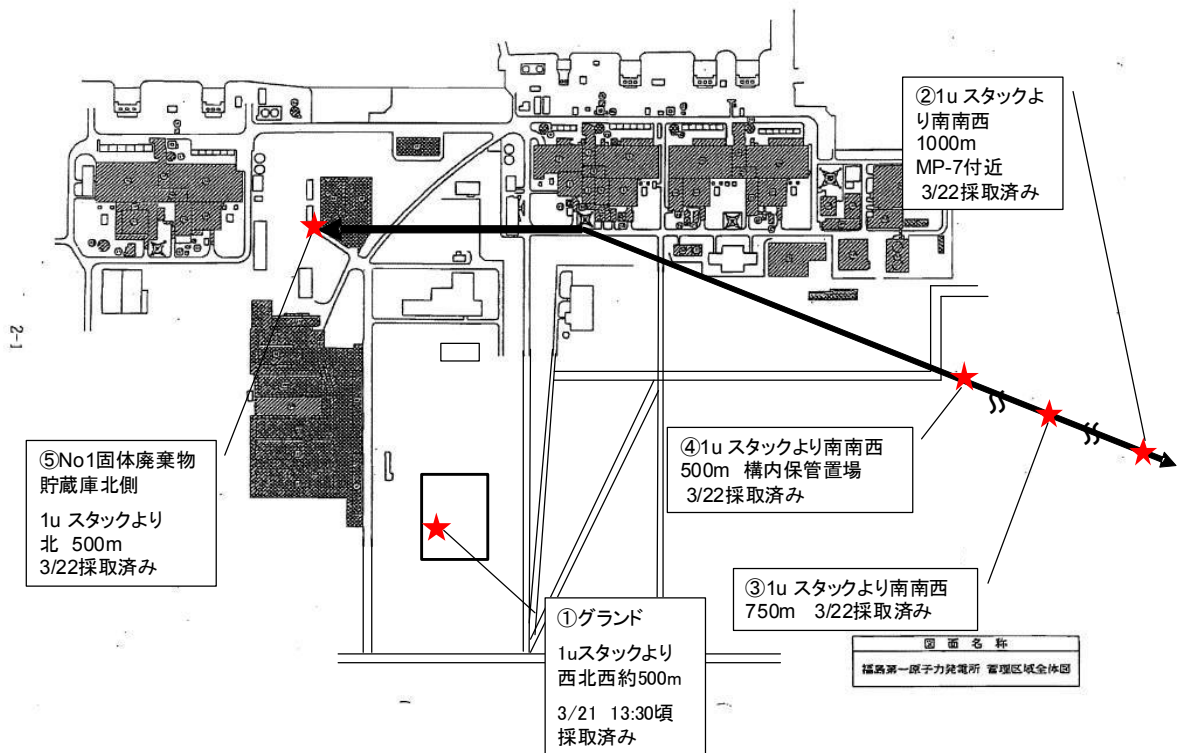
福島第一原子力発電所 土壤中のPu測定結果

(単位:Bq/kg・乾土)

採取場所	採取時間	Pu-238	Pu-239,Pu-240
①グラウンド付近	3月21日 13:30頃	$(5.4 \pm 0.62) \times 10^{-1}$	$(2.7 \pm 0.42) \times 10^{-1}$
②1・2号排気筒から 約1km	3月22日 7:00頃	N.D.	$(2.6 \pm 0.58) \times 10^{-1}$
③1・2号排気筒から 約0.75km	3月22日 7:10頃	N.D.	1.2±0.12
④1・2号排気筒から 約0.5km	3月22日 7:18頃	N.D.	1.2±0.11
⑤固体廃棄物貯蔵 庫前	3月22日 7:45頃	$(1.8 \pm 0.33) \times 10^{-1}$	$(1.9 \pm 0.34) \times 10^{-1}$
国内の土壌*		N.D.~ 1.5×10^{-1}	N.D.~4.5

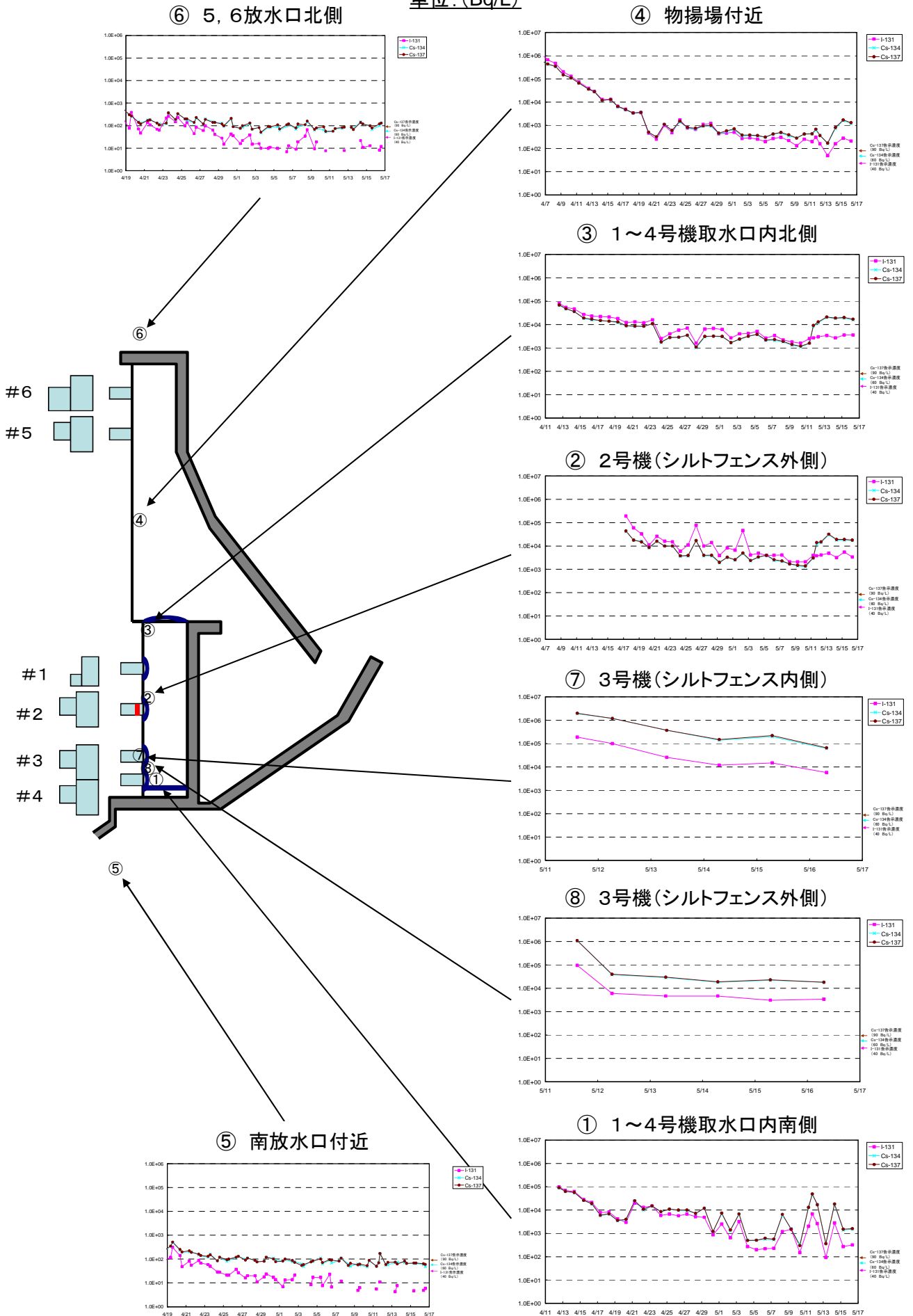
* : 文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年~平成20年

試料採取点



添付V-12 海水の分析結果

単位: (Bq/L)



文部科学省のモニタリングカーを用いた
福島第1発電所及び第2発電所周辺の空間線量率の測定結果について

平成23年3月16日

文 部 科 学 省

1. 背景

文部科学省は、待避している住民や周辺住民の安全・安心の確保のためモニタリングカーを用いて、現在、待避区域となっている、施設から半径20キロメートル以上、30キロメートル以内の範囲でモニタリングを実施した。〈別紙〉

2. 測定条件

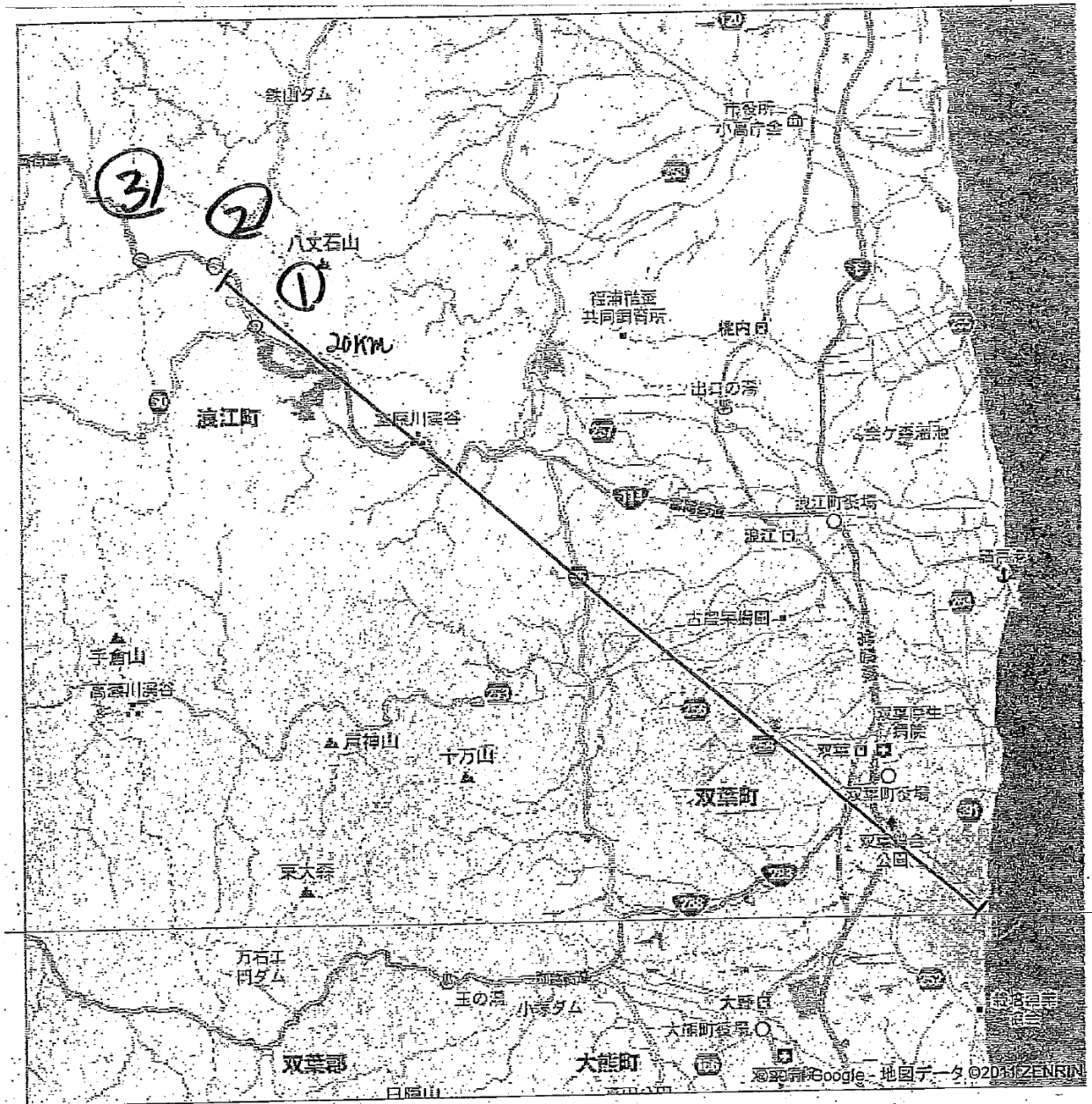
- ・測定日時： 平成23年3月15日 20時40分～50分
- ・測定機器： GMサーベメータ及び電離箱
- ・測定場所： 浪江町周辺（福島第一発電所から北西20キロメートル）
- ・測定環境： 車内及び車外で測定

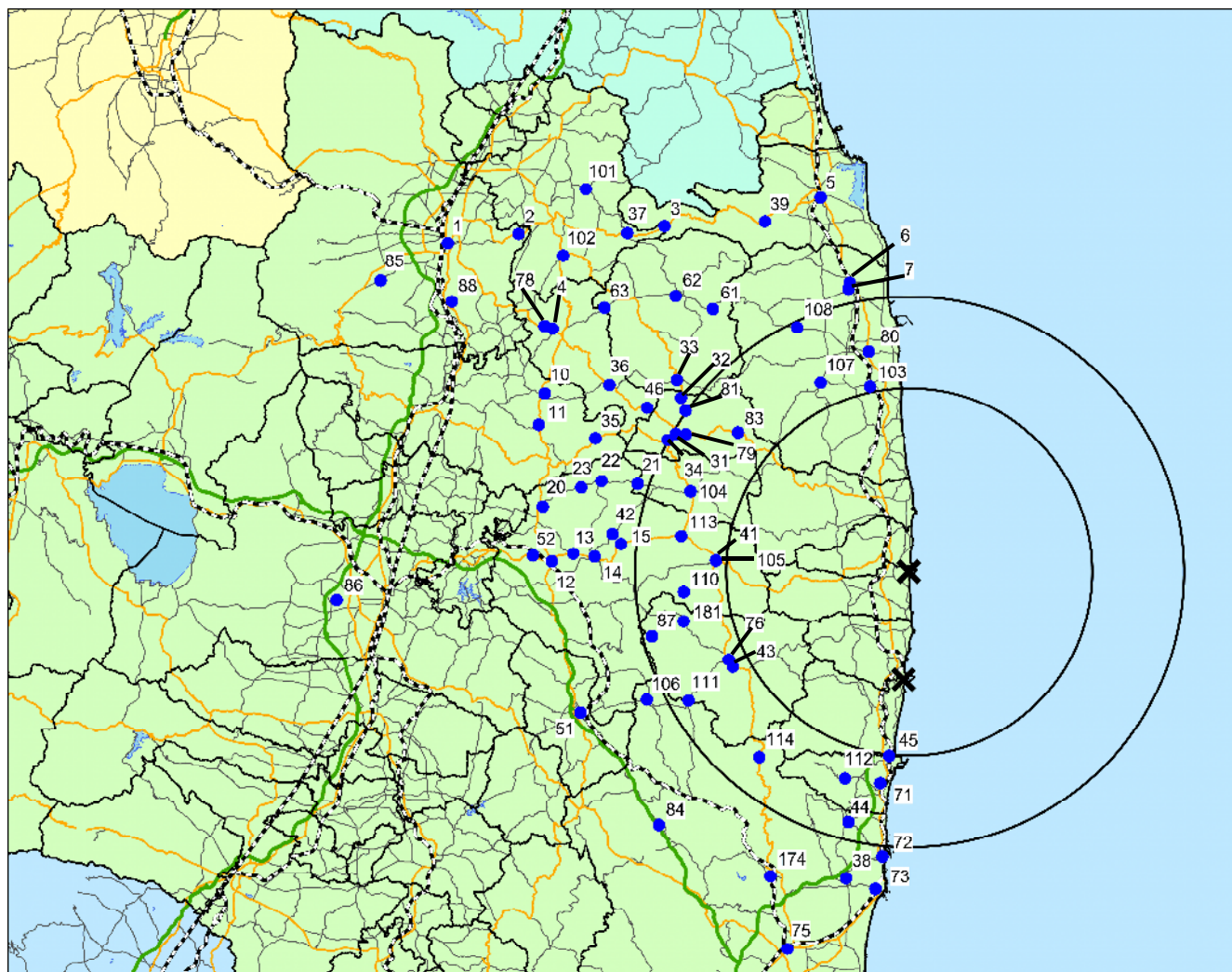
3. 測定結果

本日、モニタリングカーを用いて、空間線量率を測定した結果は下記の通りである。

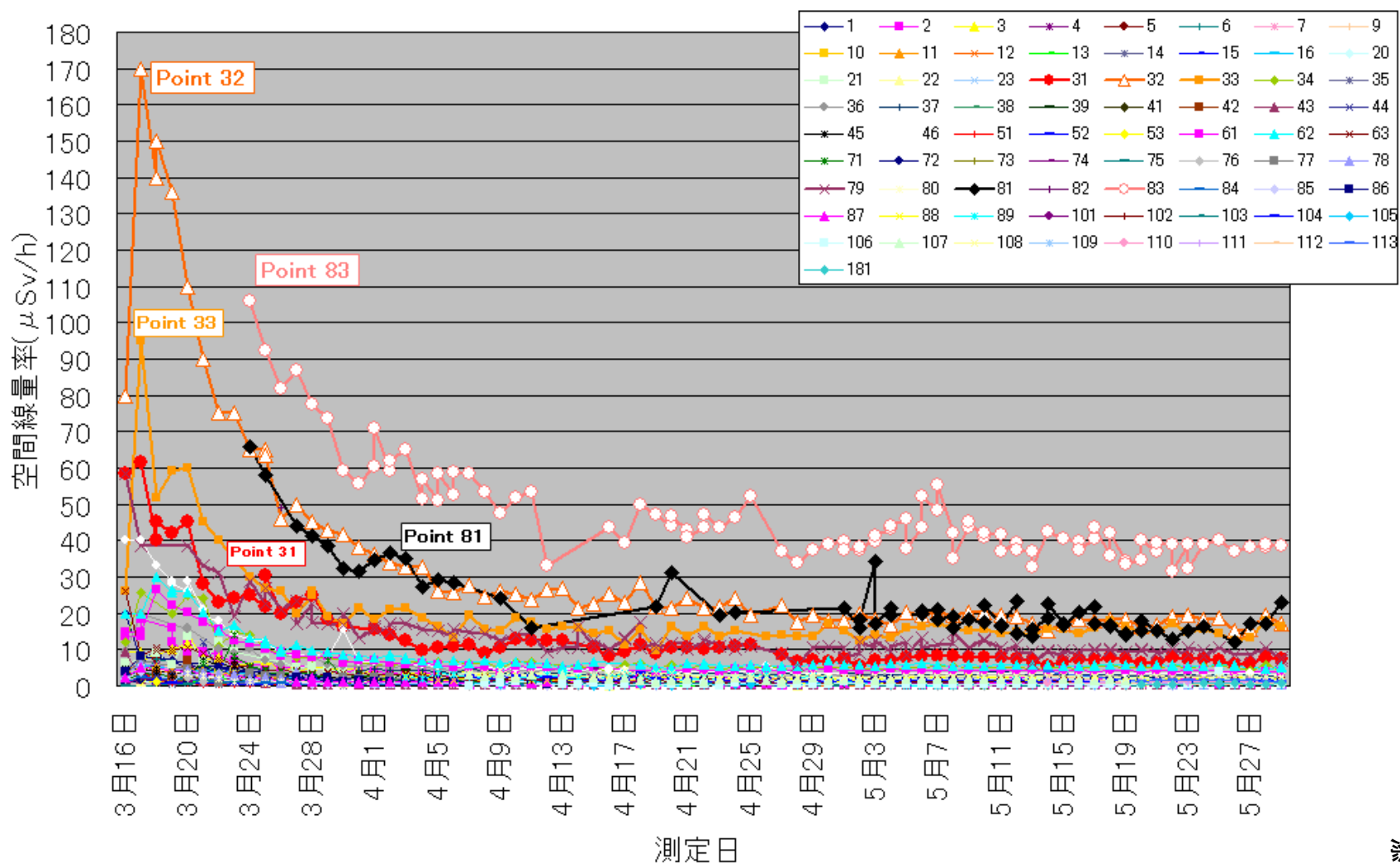
(マイクロシーベルト毎時)

測定点	測定環境	測定機器	
		GMサーベメータ	電離箱
①	車内	223	260
	車外	255	300
②	車内	220	195
	車外	270	240
③	車内	300	210
	車外	330	240

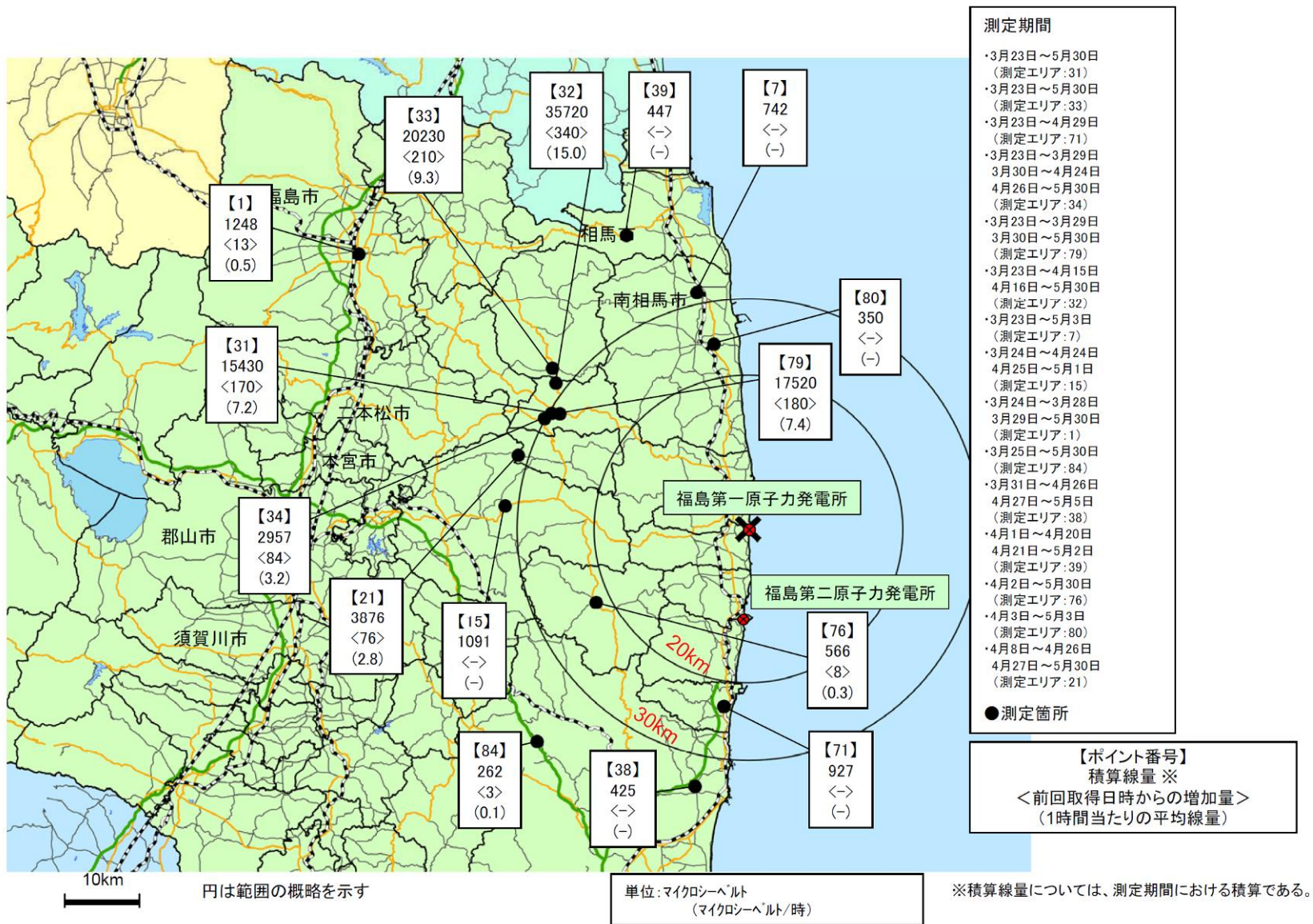




福島第一原子力発電所から20km以遠の空間線量率測定点



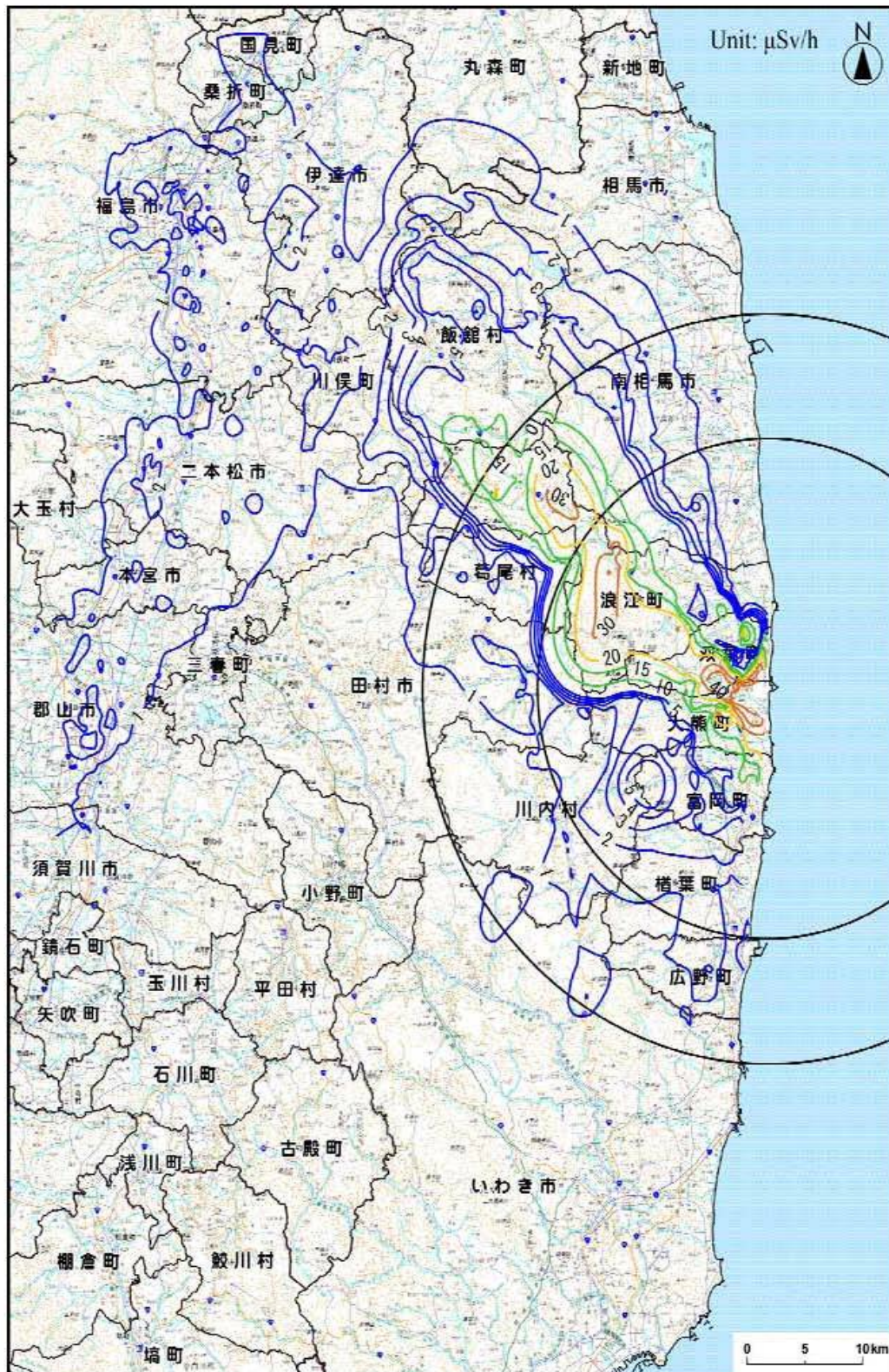
福島第一原子力発電所の20km以遠の空間線量率の推移



福島第一原子力発電所周辺の積算線量測定結果

線量測定マップ（推定値）

（平成23年5月11日時点）

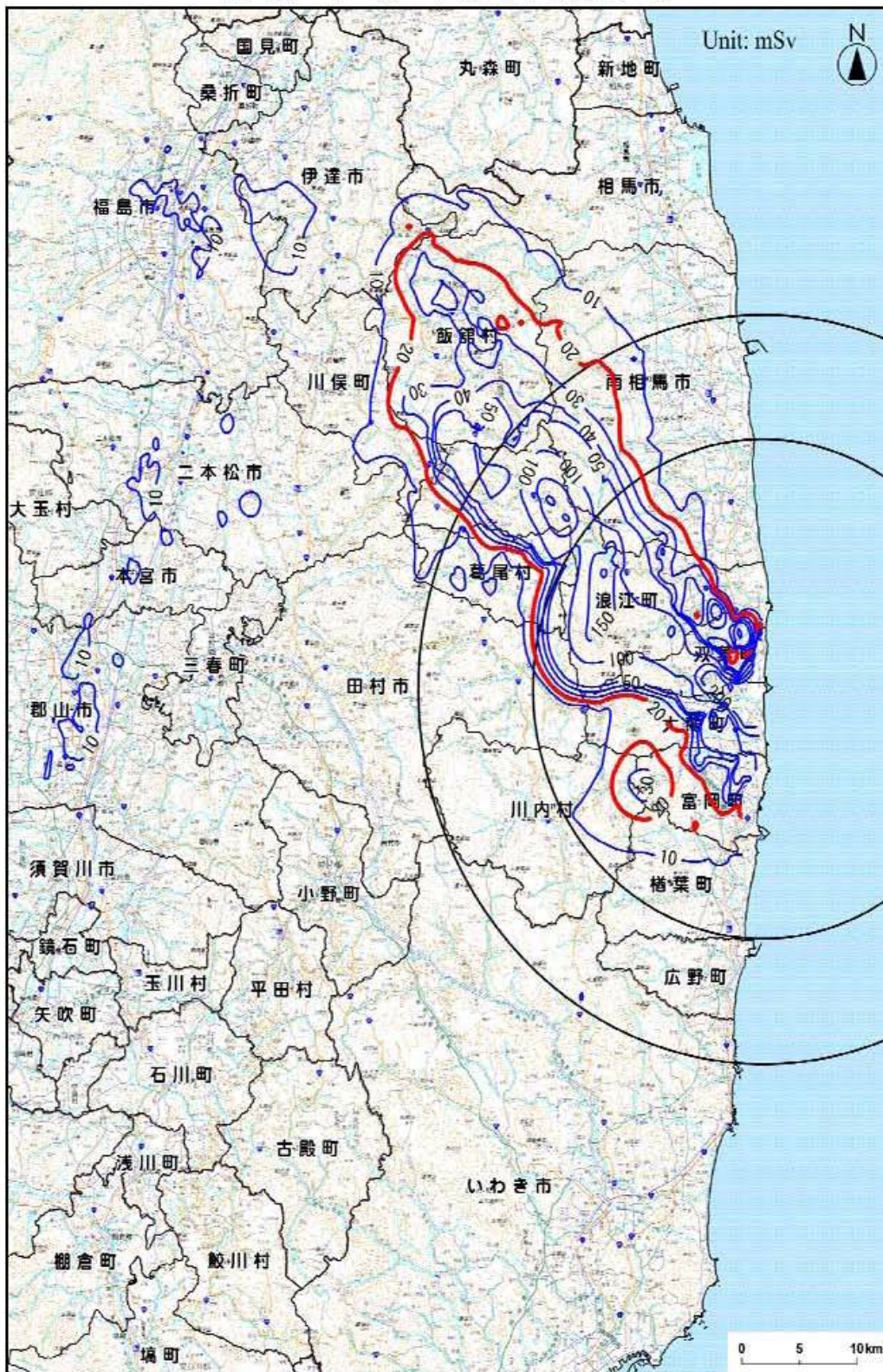


平成23年5月11日24:00までの実測値を使用

背景地図：電子国土

積算線量推定マップ

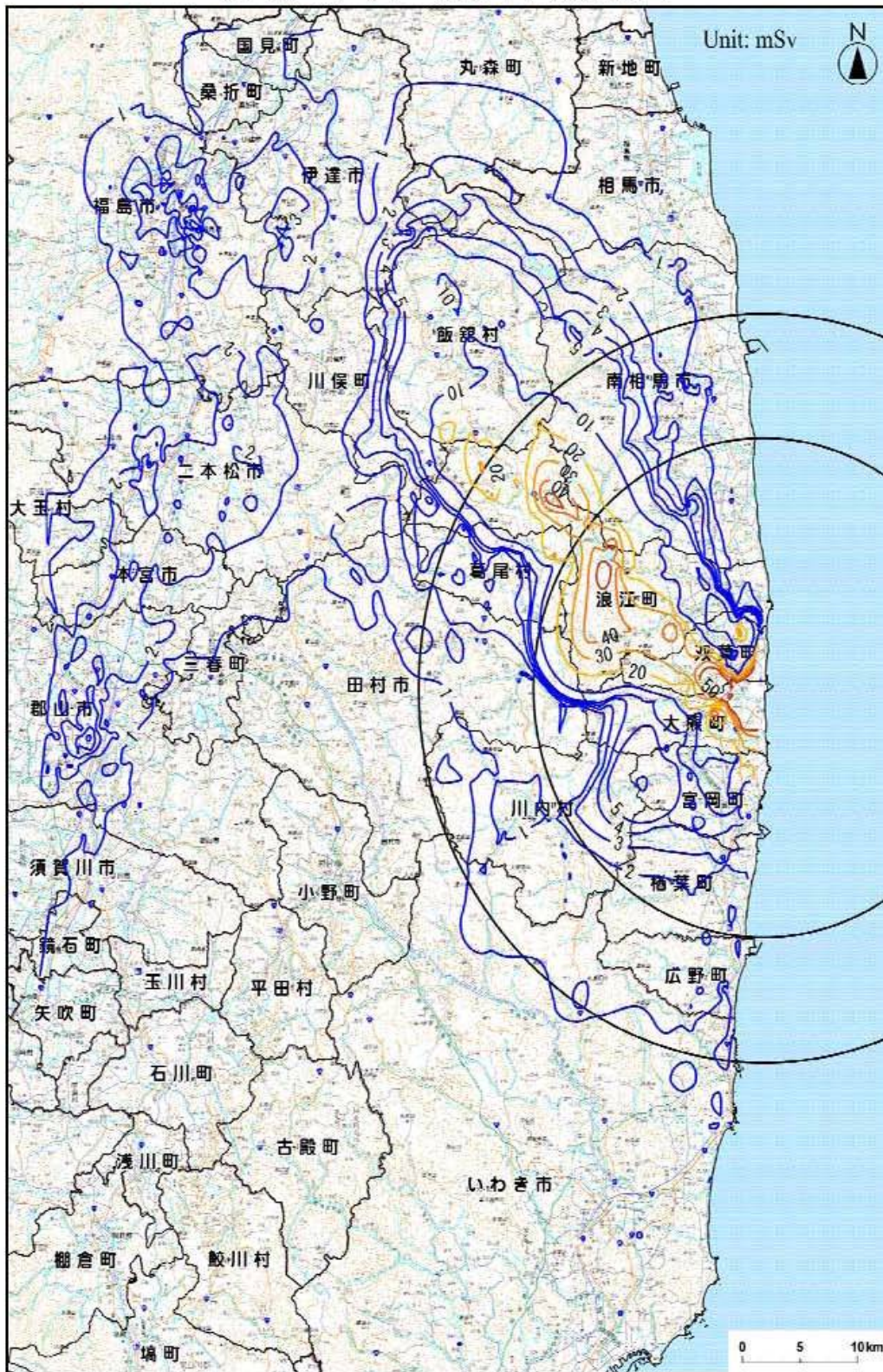
(平成24年3月11日までの積算線量)



平成23年5月11日24:00までの実測値を使用

背景地図：電子国土

積算線量推定マップ (平成23年5月11日までの積算線量)



平成23年5月11日24:00までの実測値を使用

背景地図：電子国土

実測値に基づく各連続観測地点の積算線量の推定値(1/4)

地点番号	地点のおおよその住所【※10】	福島第一原子力発電所からの距離		空間線量率の測定開始日	積算線量の推定値【※1】		最新測定値【※3】	平成24年3月11日時の積算線量の推定値(mSv)【※4】
		方位	距離		(mSv)	注記		
(1) 計画的避難区域								
63	双葉郡浪江町赤字本棚平	北西	24km	3月24日	56.6	【※2】	0.0371	219.5
32	双葉郡浪江町赤字木手七郎	北西	31km	3月16日	29.5	【※5】	0.0172	105.3
81	双葉郡浪江町赤字石小屋	北西	31km	3月24日	31.2	【※2】	0.0164	103.3
79	双葉郡浪江町下浦島萱深	西北西	29km	3月16日	13.3	【※5】	0.0084	50.3
31	双葉郡浪江町津島仲沖	西北西	30km	3月17日	12.0	【※5】	0.0072	43.4
34	双葉郡浪江町津島大高木	西北西	30km	3月19日	5.8	【※2】【※5】	0.0035	21.4
21	双葉郡葛尾村上野川	西北西	32km	3月17日	3.4	【※5】	0.0029	16.0
104	双葉郡葛尾村大字落合字落合	北西	25km	4月7日	3.0	【※2】	0.0013	8.8
33	相馬郡飯沼村梶泥	北西	33km	3月16日	16.5	【※5】	0.0092	57.1
62	相馬郡飯沼村草野大師堂	北西	39km	3月17日	7.0		0.0050	29.0
61	相馬郡飯沼村八木沢	北西	38km	3月17日	5.5		0.0041	23.5
63	相馬郡飯沼村二枚櫓	北西	44km	3月17日	2.5		0.0015	9.0
46	伊達郡川俣町山末屋向出山	西北西	34km	3月17日	6.6		0.0036	22.4
36	伊達郡川俣町山末屋本洪	西北西	40km	3月20日	4.5	【※2】	0.0028	16.8
(2) その他の区域								
108	南相馬市原町区大原台畑	北北西	30km	4月7日	4.2	【※2】	0.0028	16.4
107	南相馬市原町区馬場下中内	北北西	25km	4月7日	3.6	【※2】	0.0021	13.0
6	南相馬市鹿島区西町	北	32km	3月17日	1.1		0.0008	4.5
103	南相馬市原町区高大豆橋内	北	20km	4月7日	0.8	【※2】	0.0005	3.0
7	南相馬市鹿島区寺内本屋敷	北北西	32km	3月17日	0.8	【※5】	0.0008	4.1
80	南相馬市原町区高見町	北	24km	3月20日	0.9	【※2】【※5】	0.0004	2.7
78	伊達郡川俣町鶴沢	北西	48km	3月20日	1.5	【※2】	0.0016	8.7
4	伊達郡川俣町大字難沢字川端	北西	47km	3月17日	1.4		0.0010	3.8
37	伊達市霊山町石田室司沢	北西	48km	3月31日	4.4	【※2】	0.0039	21.7
3	伊達市霊山町石田彦平	北西	46km	3月17日	3.1		0.0023	13.1
102	伊達市月鏡町	北西	50km	4月7日	1.7	【※2】	0.0013	7.5
101	伊達市霊山町大石字三ノ輪	北西	55km	4月7日	1.6	【※2】	0.0011	6.3
2	福島市大波瀾ノ入	北西	58km	3月17日	3.2		0.0022	12.9
88	福島市光が丘	西北西	55km	4月3日	2.5	【※2】	0.0017	10.0
1	福島市杉妻町	北西	62km	3月16日	1.6	【※5】	0.0006	4.1
89	福島市荒井原宿	西北西	68km	3月27日	0.6	【※2】	0.0005	2.8
77	いわき市小川町上小川	南西	28km	3月20日	1.6	【※2】	0.0009	5.5
44	いわき市大久町大久矢ノ目沢	南南西	28km	3月17日	1.1		0.0004	2.7
72	いわき市久之浜町久之浜字北荒崎	南	31km	3月20日	0.9	【※2】	0.0003	2.2
38	いわき市四倉町白岩尾木田	南南西	34km	3月31日	0.8	【※2】【※5】	0.0003	1.9
106	いわき市川前町小白井字将監小屋	南西	30km	4月7日	0.3	【※2】	0.0003	1.7
73	いわき市四倉町	南	35km	3月20日	0.7	【※2】	0.0002	1.6
74	いわき市小川町高萩	南南西	38km	3月20日	0.5	【※2】	0.0001	1.0
64	いわき市三和町差塩	南西	39km	3月26日	0.3	【※2】【※5】	0.0001	0.9
75	いわき市内郷町御厨町	南南西	43km	3月20日	0.3	【※2】	0.0000	0.3
45	双葉郡楢葉町山田岡美し森	南	20km	3月17日	1.3		0.0006	3.8
71	双葉郡広野町下北迫苗代替	南	23km	3月20日	1.1	【※2】【※5】	0.0003	2.3
11	二本松市太田字下田	西北西	43km	3月17日	1.5		0.0011	6.4
10	二本松市針通中島	西北西	44km	3月17日	1.1		0.0008	4.4
35	二本松市田沢秋平	西北西	37km	3月19日	0.8	【※2】	0.0006	3.6

実測値に基づく各連続観測地点の積算線量の推定値(2/4)

地点番号	地点のおおよその住所【※10】	福島第一原子力発電所からの		空間線量率の測定開始日	積算線量の推定値【※1】(mSv)	最新測定値(mSv/h)【※3】	平成24年3月11日時の積算線量の推定値(mSv)【※4】
		方位	距離				
89	郡山市豊田町	西	60km	4月3日	2.5	0.0010	6.9
86	郡山市大瀬町長石工門林	西	63km	3月27日	1.4	0.0007	4.5
87	双葉郡川内村上川内花ノ内	西南西	29km	3月27日	1.1	0.0007	4.2
76	双葉郡川内村上川内早蕨	西南西	22km	3月20日	0.7	0.0003	2.1
43	双葉郡川内村下川内宮薮	西南西	22km	3月16日	0.6	0.0003	2.0
15	田村市常葉町山根鹿島	西	32km	3月17日	1.1	0.0008	4.4
42	田村市常葉町山根富岡	西	33km	3月17日	1.0	0.0007	3.8
23	田村市船引町南移水中内	西北西	39km	3月17日	0.8	0.0007	3.8
41	田村市都路町古道	西	21km	3月17日	0.9	0.0005	3.0
20	田村市船引町新館下	西	41km	3月17日	0.7	0.0005	2.7
22	田村市船引町上移字後田	西北西	35km	3月17日	0.6	0.0004	2.1
109	田村市都路町古道寺ノ前	西	25km	4月7日	0.4	0.0003	1.9
13	田村市常葉町西向屋形	西	37km	3月17日	0.5	0.0003	1.7
12	田村市船引町船引字小沢川代	西	39km	3月17日	0.3	0.0003	1.7
14	田村市常葉町常葉内町	西	34km	3月17日	0.4	0.0003	1.5
52	田村市船引町船引馬場山原	西	41km	3月17日	0.3	0.0002	1.2
39	相馬市山上並木	北北西	41km	4月1日	1.0	0.0006	3.8
5	相馬市中野寺前	北北西	42km	3月17日	0.7	0.0005	3.0
51	田村郡小野町新町龍廻	西南西	39km	3月17日	0.3	0.0002	1.2

この表は原子力安全委員会、文部科学省、原子力安全・保安院が共同で取りまとめたもの

※1: 3月12日6時から5月11日24時までの積算値で、平成23年3月28日に原子力安全委員会が試算した際の推計方法である屋外滞在(8時間)と屋内滞在(16時間)における木造家屋の低減効果(0.4)を考慮して推計する(0.6をかける)方法を採用。

※2: 測定開始日が3月19日以降の地点の3月16日から測定開始日前日までの積算データは、積算変化が最も急である地点32の積算と比例すると仮定して計算。

※3: 5月12日10時プレス発表時までの最新の空間線量率の測定値。簡易式積算線量計の実測値がある地点【※5】については、前回データ採取時からの積算値を経過時間で割った値。

※4: 5月12日以降は最新測定値【※3】が同じ値で継続すると仮定し【※1】と同様の方法で計算。

※5: 簡易式積算線量計の実測値がある期間については、この値を利用。

※6: 5月11日に測定値がないため、地点32の線量と比例すると仮定して計算。

実測に基づく各地点の積算線量の推定値(3/4)

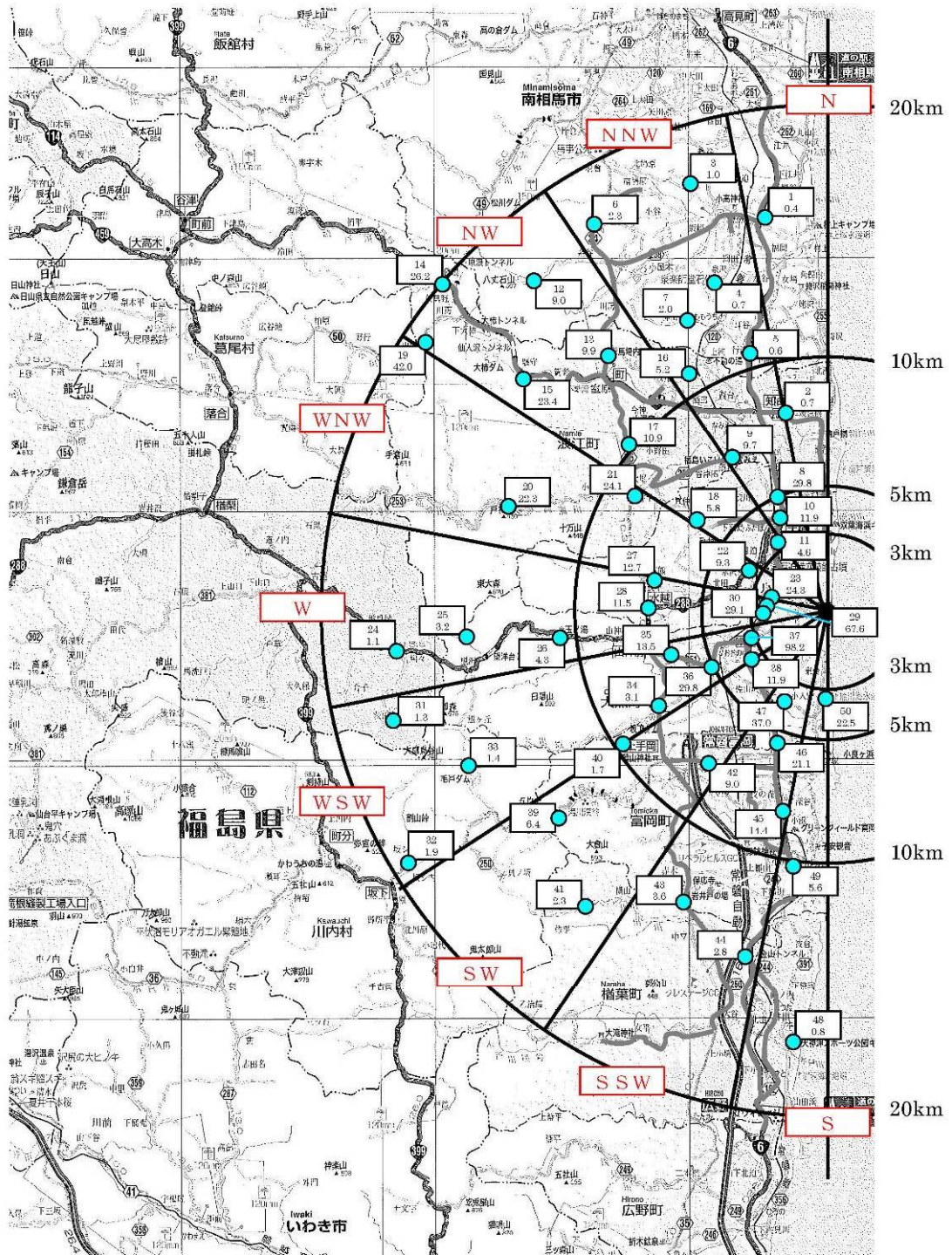
地点番号	地点のおおよその住所【※10】	福島第一原子力発電所からの		積算線量の推定値【※7、8】(mSv/h)	5月11日の推定値(mSv/h)	平成24年3月11日時の積算線量の推定値(mSv)【※9】
		方位	距離			
(3)計画的避難区域(追加分)						
i28	相馬郡飯沼村比叢	北西	34km	28.2	0.0147	92.9
i27	相馬郡飯沼村畷泥	北西	33km	21.5	0.0159	91.3
i26	相馬郡飯沼村畷泥	北西	31km	17.3	0.0109	65.3
i24	相馬郡飯沼村小堂	北西	32km	15.3	0.0095	57.2
i25	相馬郡飯沼村殿平	北西	29km	14.8	0.0095	56.4
i4	相馬郡飯沼村深谷	北西	41km	14.1	0.0085	51.2
i22	相馬郡飯沼村小堂	北西	35km	11.8	0.0079	46.5
i20	相馬郡飯沼村関沢	北西	36km	9.6	0.0079	44.3
i13	相馬郡飯沼村前田	北西	43km	12.0	0.0088	41.8
i19	相馬郡飯沼村関沢	北西	38km	10.9	0.0070	41.5
i29	相馬郡飯沼村比叢	北西	38km	10.1	0.0063	37.9
i23	相馬郡飯沼村小堂	北西	36km	9.8	0.0063	37.3
i21	相馬郡飯沼村小堂	北西	33km	9.5	0.0062	36.8
i14	相馬郡飯沼村草野	北西	40km	8.9	0.0054	32.4
i10	相馬郡飯沼村佐須	北西	46km	8.9	0.0052	31.8
i9	相馬郡飯沼村前田	北西	45km	9.6	0.0048	30.8
i2	相馬郡飯沼村伊丹沢	北西	39km	7.9	0.0052	30.6
i31	相馬郡飯沼村飯盛	北西	38km	7.8	0.0049	29.4
i7	相馬郡飯沼村白石	北西	42km	8.0	0.0048	29.2
i3	相馬郡飯沼村草野	北西	39km	8.0	0.0048	28.9
i6	相馬郡飯沼村深谷	北西	41km	11.0	0.0040	28.8
i32	相馬郡飯沼村飯盛	北西	37km	6.4	0.0049	28.1
i30	相馬郡飯沼村飯盛	北西	40km	7.3	0.0045	27.1
i5	相馬郡飯沼村深谷	北西	41km	7.5	0.0045	27.1
i18	相馬郡飯沼村八木沢	北西	36km	6.1	0.0044	25.5
i11	相馬郡飯沼村佐須	北西	46km	7.0	0.0041	24.9
i1	相馬郡飯沼村伊丹沢	北西	39km	7.0	0.0040	24.7
i17	相馬郡飯沼村草野	北西	38km	6.5	0.0038	23.3
i12	相馬郡飯沼村佐須	北西	43km	4.8	0.0031	18.3
i8	相馬郡飯沼村二枚橋	北西	44km	4.0	0.0031	17.5
i15	相馬郡飯沼村大倉	北西	40km	5.1	0.0028	17.3
i16	相馬郡飯沼村大倉	北西	40km	3.7	0.0027	15.4
K8	双葉郡葛尾村葛尾	北西	21km	32.3	0.0190	115.8
K7	双葉郡葛尾村葛尾	北西	23km	16.3	0.0097	59.1
K6	双葉郡葛尾村葛尾	西北西	26km	15.8	0.0097	58.6
K9	双葉郡葛尾村落合	西北西	21km	5.6	0.0024	16.1
K4	双葉郡葛尾村野川	西北西	28km	4.5	0.0026	15.8
K1	双葉郡葛尾村葛尾	西北西	32km	3.7	0.0020	12.6
K2	双葉郡葛尾村葛尾	西北西	30km	3.1	0.0020	12.0
K11	双葉郡葛尾村落合	西北西	21km	3.6	0.0017	11.2
K3	双葉郡葛尾村葛尾	西北西	28km	2.8	0.0017	10.4
K10	双葉郡葛尾村落合	西北西	24km	2.4	0.0017	9.9
K5	双葉郡葛尾村野川	西北西	29km	3.0	0.0015	9.7
kw6	伊達郡川俣町山木屋	北西	33km	13.2	0.0079	48.1
kw4	伊達郡川俣町山木屋	北西	37km	4.8	0.0029	17.3
kw3	伊達郡川俣町山木屋	西北西	40km	3.2	0.0019	11.7
kw5	伊達郡川俣町山木屋	西北西	34km	3.2	0.0019	11.7
ms6	南相馬市原町区馬場	北西	21km	18.4	0.0111	67.1
ms4	南相馬市原町区高倉	北西	27km	7.5	0.0045	27.4

実測に基づく各地点の積算線量の推定値(4/4)

地点番号	地点のおおよその住所【※10】	福島第一原子力発電所からの		積算線量の推定値【※7、8】(mSv/h)	5月11日の推定値(mSv/h)	平成24年3月11日時の積算線量の推定値(mSv)【※9】
		方位	距離			
n5	双葉郡浪江町高層根	北西	22km	31.7	0.0441	225.4
n11	双葉郡浪江町高層根	北西	20km	24.6	0.0282	148.5
n1	双葉郡浪江町赤字木	北西	31km	18.3	0.0255	130.5
n2	双葉郡浪江町赤字木	北西	28km	16.2	0.0243	123.0
n7	双葉郡浪江町南津島	北西	23km	17.4	0.0231	119.0
n4	双葉郡浪江町赤字木	北西	26km	15.0	0.0224	113.3
n8	双葉郡浪江町下津島	北西	29km	7.9	0.0236	111.7
n6	双葉郡浪江町赤字木	北西	25km	13.8	0.0152	80.4
n3	双葉郡浪江町赤字木	北西	28km	11.0	0.0155	79.0
n8	双葉郡浪江町下津島	北西	27km	11.8	0.0152	78.4
n10	双葉郡浪江町羽附	西北西	33km	1.5	0.0021	10.7
(4)その他の区域(追加分)						
kw1	伊達郡川俣町小綱木	北西	42km	2.5	0.0015	8.9
kw2	伊達郡川俣町小綱木	北西	42km	2.2	0.0013	7.8
ms1	南相馬市原町区大原	北北西	33km	5.4	0.0032	19.6
ms5	南相馬市原町区高倉	北北西	26km	4.6	0.0028	16.8
ms11	南相馬市原町区大原	北北西	29km	3.7	0.0022	13.4
ms2	南相馬市原町区小地	北北西	32km	2.8	0.0017	10.1
ms7	南相馬市原町区馬場	北北西	22km	1.5	0.0009	5.6
ms3	南相馬市原町区上橋	北北西	36km	1.4	0.0008	5.0
ms8	南相馬市原町区金沢	北	20km	0.2	0.0001	0.6
ms10	南相馬市原町区高	北北西	21km	0.2	0.0001	0.6
n1	二本松市下川崎	西北西	50km	2.2	0.0013	7.8
ni2	二本松市田沢	西北西	36km	1.7	0.0010	6.2
me1	本宮市和田	西北西	52km	2.5	0.0015	9.0
ke1	郡山市麓山	南西	59km	4.0	0.0024	14.5
ke2	郡山市開成	南西	59km	2.0	0.0012	7.3
d4	伊達市雲山町上小国	北西	55km	2.3	0.0027	14.1
d5	伊達市雲山町石田	北西	48km	2.0	0.0024	12.8
d2	伊達市雲山町下小国	北西	55km	2.1	0.0023	12.7
d3	伊達市雲山町上小国	北西	55km	1.7	0.0019	10.0
d13	福島市小倉寺	北西	59km	1.4	0.0016	8.2
d6	福島市入江町	北西	62km	1.2	0.0014	7.3
d11	福島市藤菜町	北西	61km	1.2	0.0014	7.3
d12	福島市北茨野目	北西	66km	1.0	0.0011	5.9
d12	福島市渡利	北西	61km	1.0	0.0011	5.9
d7	福島市春日町	北西	63km	0.8	0.0009	4.5
d10	福島市浜田町	北西	61km	0.8	0.0009	4.5
d8	福島市新浜町	北西	63km	0.7	0.0008	4.2
d9	福島市杉妻町	北西	62km	0.5	0.0006	3.1

※7: 3月12日6時から5月11日24時までの積算値で、屋内滞在(16時間)における木造家屋の低減効果を考慮。
 ※8: 3月16日から測定開始日(5月11日)までの積算データは、線量変化が急激な場合は緊急時環境モニタリング測定における空間線量率: 91地点
 ※9: 5月12日以降は5月11日の推定値が継続すると仮定して計算。
 ※10: 各地点の緯度・経度情報は文科省のホームページにて公開。

積算線量推定値の等値線図の作成には、上記の151地点の他、下記の地点の空間線量率測定地点(2297)を加えた、合計2448地点を用いた。
 1) 福島県が4/30~5/11の間に実施した緊急時環境モニタリング測定における空間線量率: 91地点
 2) 文科省が4/9/9に葛尾村および浪江町で実施した空間線量率: 16地点
 3) 文科省が4/12および4/14に飯館村、いわき市、葛尾村、川内村、田村市、浪江町、広野町および南相馬市で実施した空間線量率: 172地点
 4) 福島県が4/12~4/16に実施したメッシュ調査のうち、等値線図作成範囲内における空間線量率: 1790地点
 5) 文科省および電力が3/30、3/31、4/2、4/18、4/19、5/6に実施した20km圏内の空間線量率: 228地点



福島第一原子力発電所より 20km 圏内の空間放射線量測定結果 (測定日: 平成 23 年 5 月 27 日)

※ 四角内の記載については、上段はポイント番号、下段は空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$) を記載。

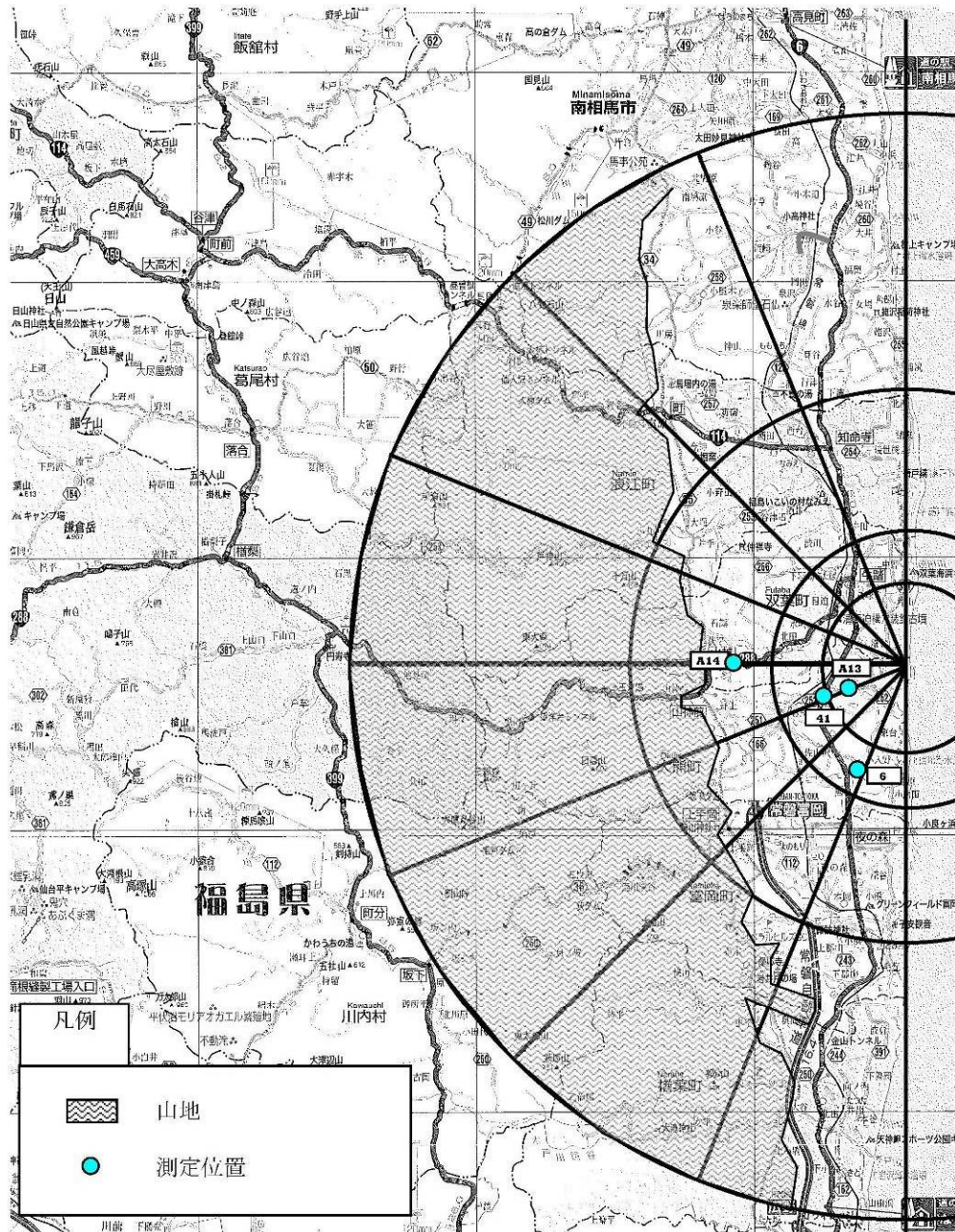
20km圏内空間線量率測定結果(5月27日)

* 1 電離箱における値

* 2 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

図面上 番号	測定場所(福島第一発電所からの距離)	測定日	空間線量率(μ Sv/h)
1	南相馬市小高区大井【北約16km】	2011/5/27 10:35	0.4 ^{*2}
2	双葉郡浪江町大字北幾世橋【北約8km】	2011/5/27 12:30	0.7 ^{*2}
3	南相馬市小高区方草【北北西約18km】	2011/5/27 10:45	1.0 ^{*2}
4	南相馬市小高区泉沢【北北西約14km】	2011/5/27 11:00	0.7 ^{*2}
5	南相馬市小高区行津【北北西約11km】	2011/5/27 11:25	0.6 ^{*2}
6	南相馬市小高区大富【北北西約19km】	2011/5/27 13:25	2.3 ^{*2}
7	南相馬市小高区神山【北北西約13km】	2011/5/27 11:05	2.0 ^{*2}
8	双葉郡双葉町大字長塚【北北西約5km】	2011/5/27 10:51	29.8 ^{*1}
9	双葉郡浪江町酒井【北北西約7km】	2011/5/27 12:15	9.7 ^{*2}
10	双葉郡双葉町大字長塚【北北西約4km】	2011/5/27 11:00	11.9 ^{*2}
11	双葉郡双葉町大字新山【北西約3.5km】	2011/5/27 11:08	4.6 ^{*2}
12	南相馬市小高区金谷【北西約18km】	2011/5/27 13:09	9.0 ^{*2}
13	双葉郡浪江町大字立野【北西約14km】	2011/5/27 12:50	9.9 ^{*2}
14	双葉郡浪江町屋管根【北西約20km】	2011/5/27 12:29	26.2 ^{*1}
15	双葉郡浪江町室原【北西約16km】	2011/5/27 11:30	23.4 ^{*2}
16	双葉郡浪江町大字立野【北北西約11km】	2011/5/27 11:15	5.2 ^{*2}
17	双葉郡浪江町大字末森【北西約11km】	2011/5/27 11:50	10.9 ^{*2}
18	双葉郡双葉町寺沢【北西約7km】	2011/5/27 11:00	5.8 ^{*2}
19	双葉郡浪江町川房【北西約20km】	2011/5/27 11:10	42 ^{*1}
20	双葉郡浪江町大字小丸【西北西約12km】	2011/5/27 11:40	22.3 ^{*2}
21	双葉郡浪江町大字井手【西北西約9km】	2011/5/27 11:20	24.1 ^{*2}
22	双葉郡双葉町大字前田【西北西約3.5km】	2011/5/27 10:30	9.3 ^{*2}
23	双葉郡大熊町大字夫沢【西北西約2.5km】	2011/5/27 11:18	24.3 ^{*1}
24	田村市都路町古道【西約17km】	2011/5/27 12:00	1.1 ^{*2}
25	双葉郡大熊町大字野上【西約14km】	2011/5/27 12:10	3.2 ^{*2}
26	双葉郡大熊町野上【西約11km】	2011/5/27 12:30	4.3 ^{*2}
27	双葉郡双葉町石熊【西約7km】	2011/5/27 10:20	12.7 ^{*2}
28	双葉郡双葉町大字山田【西約7km】	2011/5/27 10:00	11.5 ^{*2}
29	双葉郡大熊町大字夫沢【西約2.5km】	2011/5/27 11:23	67.6 ^{*1}
30	双葉郡大熊町大字夫沢【西約2.5km】	2011/5/27 11:31	29.1 ^{*1}
31	田村市都路町古道【西南西約18km】	2011/5/27 11:50	1.3 ^{*2}
32	双葉郡川内村下川内【西南西約19km】	2011/5/27 10:52	1.9 ^{*2}
33	双葉郡川内村下川内【西南西約16km】	2011/5/27 11:20	1.4 ^{*2}
34	双葉郡大熊町大川原【西南西約8km】	2011/5/27 11:25	3.1 ^{*2}
35	双葉郡大熊町野上【西南西約7km】	2011/5/27 11:16	13.5 ^{*2}
36	双葉郡大熊町下野上【西南西約5km】	2011/5/27 10:46	29.8 ^{*1}
37	双葉郡大熊町小入野【西南西約3km】	2011/5/27 11:40	98.2 ^{*1}
38	双葉郡大熊町小入野【西南西約3.5km】	2011/5/27 10:56	11.9 ^{*2}
39	双葉郡富岡町大字上手岡【南西約13km】	2011/5/27 11:54	6.4 ^{*2}
40	双葉郡富岡町大字上手岡【西南西約10km】	2011/5/27 11:53	1.7 ^{*2}
41	双葉郡檜葉町大字井出【南西約15km】	2011/5/27 11:20	2.3 ^{*2}
42	双葉郡富岡町大字上手岡【南西約8km】	2011/5/27 12:07	9.0 ^{*2}
43	双葉郡富岡町大字上郡山【南南西約13km】	2011/5/27 12:42	3.6 ^{*2}
44	双葉郡檜葉町上繁岡【南南西約14km】	2011/5/27 12:05	2.8 ^{*2}
45	双葉郡富岡町大字本岡【南南西約7km】	2011/5/27 10:51	14.4 ^{*2}
46	双葉郡富岡町大字小良ヶ浜【南南西約6km】	2011/5/27 10:40	21.1 ^{*2}
47	双葉郡大熊町大字熊川【南南西約4km】	2011/5/27 10:28	37 ^{*1}
48	双葉郡檜葉町大字井出【南約16km】	2011/5/27 11:40	0.8 ^{*2}
49	双葉郡富岡町大字小浜【南約10km】	2011/5/27 11:05	5.6 ^{*2}
50	双葉郡大熊町大字熊川【南約4km】	2011/5/27 10:13	22.5 ^{*2}

測定実施者: 電力会社



福島第一原子力発電所より 20km 圏内の土壌の放射性物質濃度等の測定ポイント
 (試料採取日：平成 23 年 4 月 29 日～5 月 1 日)

※四角内の記載は、ポイント番号を記載。

福島第一原子力発電所から20km圏内の土壌試料の分析結果

平成23年5月31日
文部科学省

1. 測定結果

図面上の の番号	測定試料採取点	採取日	放射能濃度 (Bq/kg)													備考
			⁸⁸ Sr	⁹⁰ Sr	¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁶ Cs	¹³⁷ Cs	^{129m} Te	²³⁴ U	²³⁵ U	²³⁸ U	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	その他検出された核種	
6	大熊町大字熊川(南南西約4km)	4月30日	18	4.1	9,500	18,000	280	17,000	3,800	6.2	0.21	5.8	不検出 (0.00089±0.00089)	不検出 (0.0067±0.0026)	不検出	
41	大熊町大字夫沢(西南西約3km)	4月29日	63	12.0	11,000	52,000	760	49,000	23,000	18.0	0.82	17.0	不検出 (0.0051±0.0023)	0.05	不検出	
A13	大熊町大字夫沢(西南西約2km)	5月1日	430	68.0	110,000	270,000	3,400	270,000	180,000	11.0	0.47	10.0	不検出 (0.0029±0.0021)	0.027	不検出	
A14	双葉町双葉町大字山田(西約7km)	5月1日	13	2.5	7,200	5,000	87	5,000	7,300	5.2	0.22	5.9	不検出 (0.0009±0.0015)	0.020	不検出	

□:今回追加したデータ

2. 結果概要 - ストロンチウムについて -

ストロンチウムについては、半減期50.5日の⁸⁹Srが検出されていることから、福島第一原子力発電所から放出されたものと考えられます。¹³⁷Csの放射能濃度に対する⁹⁰Srの放射能濃度の比は約1/4,000~1/2,000でした。

3. 今回の分析開始日

平成23年5月3日

(参考1) 過去の大気圏内核実験の影響として示されている放射能濃度比は0.026です。

(参考2) 検出の基準としては、A±Bにおいて、AがBの3倍より大きければ、検出されたものと判断されます。

(参考3) (財)日本分析センターによる分析です。

ダストサンプリングの測定結果(1/13)

平成23年5月31日10時00分現在
文部科学省

測定試料採取点	採測日時	放射性物質濃度(Bq/m ³)					空間線量率 (μ Sv/h)	備考
		¹³² I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³² I	¹³² I _e		
【1-1】(46km北西)	相馬郡飯館村佐須滑	3月23日 10:45~10:55	4.0	<0.94	1.2		5.5	[3]
	伊達郡川俣町山木屋	3月23日 10:50~11:10	5.2	<1.1	<1.2		9.0	[36]
【1-3】(32km西西北)	双葉郡葛尾村上野川	3月23日 13:54~14:17	8.0	<1.0	<1.4		9.4	[21]
【1-4】(32km西)	田村市常葉町山根	3月23日 12:40~13:02	2.8	1.2	<1.1		2.3	
【1-4】(32km西)1回目		3月24日 10:58~11:09	3.1	<0.86	<0.99		2	[15]
【1-4】(32km西)6回目	3月24日 15:58~16:09	2.1	<0.94	<1.0		2.2		
【1-5】(23km南)走行測定1回目	双葉郡広野町下北迫	3月23日 13:15~13:58	8300	6.5	6.6		5.5~14.0	
【1-5】(23km南)走行測定2回目		3月23日 14:30~15:10	1800	1.4	2.3		5.5~14.0	
【1-5】(23km南)走行測定3回目		3月23日 15:20~15:59	1100	<1.4	2.1		5.5~14.0	
【1-5】(23km南)走行測定1回目		3月24日 10:06~10:44	5.9	<0.53	<0.66		5.6	
【1-5】(23km南)走行測定2回目		3月24日 10:53~11:33	9.2	<0.63	<0.71		5.6	
【1-5】(23km南)走行測定3回目		3月24日 11:44~12:26	12.0	<0.92	1.1		5.6	
【1-5】(23km南)走行測定		3月25日 11:51~12:38	43.0	1.4	2.0		4.1~5.5	
【1-5】(23km南)1回目		3月25日 13:12~13:42	23.0	0.68	1.4		2	
【1-5】(23km南)2回目		3月25日 14:12~14:42	19.0	1.0	1.3		2.8	
【1-5】(23km南)3回目		3月25日 15:12~15:42	24.0	2.3	2.5		2.5	
【1-5】(23km南)4回目		3月25日 16:12~16:42	10.0	0.74	1.3		2.2	
【1-5】(23km南)1回目		3月26日 12:47~13:21	13.0	<1.2	<1.3		3.9	
【1-5】(23km南)2回目		3月26日 14:21~14:57	10.0	<0.97	1.3		3.9	
【1-5】(23km南)走行測定1回目		3月27日 12:36~13:26	20.0	0.90	0.8		2.8~3.8	
【1-5】(23km南)4回目		3月31日 15:00~15:44	13.0	<0.61	<0.78		2.0	
【1-7】(32km北北西)1回目	南相馬市鹿島区	3月25日 12:58~13:09	3.5	<0.63	<0.89		3.2	
【1-7】(32km北北西)2回目		3月25日 13:58~14:09	4.3	1.4	1.6		3.2	
【1-7】(32km北北西)3回目		3月25日 14:57~15:08	15.0	<0.78	<0.88		3.2	
【1-7】(32km北北西)4回目		3月25日 15:58~16:09	22.0	0.9	1.1		3.2	
【1-7】(32km北北西)5回目		3月26日 11:27~11:38	2.9	<0.85	<0.96		1.5	
【1-7】(32km北北西)6回目		3月26日 13:00~13:11	2.2	<0.82	1.3		1.5	
【1-8】(42km北北西)1回目	相馬市中野	3月28日 13:00~16:00	19.0	2.7	3.2		0.6~1.2	[5]
【2-1】(36km北西)1回目	相馬郡飯館村八木沢	3月29日 12:50~13:45	4.2	<0.57	0.73		7.0	
【2-1】(36km北西)2回目		3月29日 13:49~14:46	3.4	<0.6	0.79		7.0	
【2-1】(36km北西)3回目		3月29日 14:47~15:50	2.9	<0.66	<0.74		7.0	
【2-1】(36km北西)1回目		3月30日 11:15~11:35	4.8	<1.4	<1.8		6.7	
【2-1】(36km北西)2回目	3月30日 15:15~15:35	7.7	<1.8	1.90		7.5		
【2-4】(24km北)1回目	南相馬市原町区高見町	3月29日 11:17~12:15	75.0	35.0	46.0		1.7	
【2-4】(24km北)2回目		3月29日 12:15~13:15	29.0	24.0	34.0		0.4	
【2-4】(24km北)3回目		3月29日 13:15~14:15	32.0	18.0	23.0		0.6	
【2-4】(24km北)4回目		3月29日 14:15~15:00	29.0	20.0	25.0		0.5	
【2-4】(24km北)1回目	3月30日 11:09~11:29	1.8	<0.45	<0.45		0.0		
【2-4】(24km北)4回目	4月1日 15:33~15:53	1.7	0.67	1.0		1.2		
【2-7】(34km西西北)	伊達郡川俣町山木屋	3月29日 12:00~13:00	0.95	<0.45	0.59		8.0	
【2-7】(34km西西北)		3月29日 13:00~14:00	0.66	<0.60	<0.70		8.0	
【2-7】(34km西西北)		3月29日 14:00~15:00	0.75	<0.58	<0.76		8.0	
【2-7】(34km西西北)		3月29日 15:00~16:00	0.90	<0.51	<0.58		8.0	
【2-7】(34km西西北)		3月29日 16:00~17:00	0.69	<0.52	<0.59		8.0	
【2-7】(34km西西北)4回目		3月30日 15:11~15:32	1800	120.0	140.0		15.0	
【3-1】(33km北西)1回目	相馬郡飯館村長泥	3月24日 11:20~11:41	43.0	<0.98	2.0		30	
【3-1】(33km北西)5回目		3月24日 15:20~15:42	3.3	1.1	1.7		30	
【3-1】(33km北西)1回目		3月26日 11:38~12:00	5.8	<3.4	<4.8		26	
【3-1】(33km北西)2回目		3月26日 13:18~13:39	5.2	1.9	2.2		26	
【3-1】(33km北西)1回目		3月28日 11:31~11:52	2.6	2.1	1.8		26	
【3-1】(33km北西)2回目		3月28日 12:53~13:15	2.7	<0.97	<1.2		26	
【3-1】(33km北西)1回目		3月29日 11:18~11:40	2.4	<0.98	1.1		26	
【3-1】(33km北西)2回目		3月29日 13:23~13:50	1.9	<0.81	<1.0		26	
【76】(22km西南西)31回目		双葉郡川内村上川内	4月2日 11:22~11:47	4.5	0.72	1.1		1.0
【76】(22km西南西)32回目	4月2日 11:54~12:36		2.0	0.49	<0.39		1.0	
【76】(22km西南西)33回目	4月2日 12:42~13:47		1.3	0.36	0.45		1.0	
【76】(22km西南西)34回目	4月2日 13:50~14:56		1.6	<0.26	<0.33		1.0	
【76】(22km西南西)35回目	4月2日 14:59~16:09		1.6	0.3	<0.33		1.0	
【76】(22km西南西)31回目	4月3日 11:35~12:34		2.1	0.50	0.59		0.7	
【76】(22km西南西)32回目	4月3日 12:36~13:35		1.4	<0.31	<0.31		0.7	
【76】(22km西南西)33回目	4月3日 13:38~14:37		2.4	<0.37	<0.39		0.7	
【76】(22km西南西)31回目	4月4日 12:00~13:00		1.3	1.2	1.60		0.8	
【76】(22km西南西)32回目	4月4日 13:06~13:57		2.0	0.64	1.10		0.8	
【76】(22km西南西)33回目	4月4日 14:01~14:50		2.3	1.0	0.94		0.8	

備考欄の番号は、モニタリングカーによる測定箇所を示す。

空間線量率は、別途発表済み。

¹³²I、¹³²I_e、その他検出された核種の空間部分については確認中。

尚、ここに掲載された測定は、日本原子力研究開発機構により実施されています。

ダストサンプリングの測定結果(7/13)

採取地点	採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/m ³)						空間線量率 (μ Sv/h)	備考
		¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³² I	¹³² Te	その他検出された核種		
	3月20日 13:57~14:17	24.00	2.44	1.75				0.6	
	3月21日 13:37~13:57	2.69	不検出	不検出				0.5	
	3月22日 12:32~12:52	6.29	不検出	不検出				0.4	
	3月23日 12:50~13:10	1.86	不検出	不検出				0.5	
	3月24日 13:21~13:41	1.19	不検出	不検出				-	
	3月25日 13:35~13:55	12.40	不検出	不検出				0.4	
	3月26日 11:55~12:15	不検出	不検出	不検出				0.6	
	3月27日 11:05~11:25	1.04	不検出	不検出				0.5	
	3月28日 11:25~11:45	0.82	不検出	不検出				-	
	3月29日 11:25~11:45	0.89	不検出	不検出				0.3	
	3月30日 11:00~11:20	不検出	不検出	不検出				0.3	
	3月31日 11:07~11:27	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月1日 10:49~11:09	0.74	不検出	不検出				0.3	
	4月2日 10:42~11:02	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月3日 10:21~10:41	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月4日 10:19~10:39	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月5日 10:51~11:11	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月6日 10:35~10:55	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月7日 10:51~11:11	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月8日 10:38~10:58	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月9日 10:53~11:13	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月10日 10:40~11:00	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月11日 10:45~11:05	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月12日 10:51~11:11	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月13日 10:36~10:56	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月14日 10:56~11:16	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月15日 10:57~11:17	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月16日 10:30~10:50	不検出	不検出	不検出				0.3	
	4月17日 10:35~10:55	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月18日 10:24~10:44	0.95	不検出	不検出				0.2	
	4月19日 11:00~11:20	3.020	不検出	不検出				0.2	
	4月20日 10:37~10:57	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月21日 10:44~11:04	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月22日 10:26~10:46	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月23日 10:43~11:03	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月24日 10:13~10:33	1.33	不検出	不検出				0.2	
	4月25日 11:09~11:29	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月26日 10:51~11:11	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月27日 10:50~11:10	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月28日 10:40~11:00	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月29日 10:34~10:54	不検出	不検出	不検出				0.2	
	4月30日 10:54~11:14	不検出	不検出	不検出				0.2	
	5月2日 10:53~11:14 (5月3日18:42)	不検出	不検出	不検出				0.2	
	5月3日 12:34~12:54 (5月4日15:52)	不検出	不検出	不検出				0.2	
	5月4日 10:25~10:45 (5月5日18:49)	不検出	不検出	不検出				0.2	
	5月5日 10:46~11:06 (5月7日9:51)	不検出	不検出	不検出				0.2	
	5月6日 10:39~10:59 (5月8日9:50)	不検出	不検出	不検出				0.2	
	5月7日 10:40~11:00	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月10日 10:50~11:10	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月11日 10:50~11:10	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月12日 10:36~10:56	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月13日 10:40~11:00	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月14日 10:20~10:40 (5月15日13:46)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月15日 10:15~10:35	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月16日 10:26~10:46	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月17日 10:27~10:47	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月18日 10:35~10:55	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月19日 10:23~10:43	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月20日 10:58~11:18	不検出	不検出	0.869	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月22日 10:29~10:49	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月23日 11:01~11:21	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月24日 10:25~10:45	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月25日 10:30~10:50	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月26日 10:26~10:46	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月27日 10:17~10:37	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	5月28日 10:28~10:48	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	

(2-5) (39km西 南西)

田村郡小野町小野新町

ダストサンプリングの測定結果(11/13)

採取地点	採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/m ³)						空間線量率 (μ Sv/h)	備考	
		¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³² I	¹³² Te	その他検出された核種			
【2-9】(45km西西北)	二本松市金色	3月25日 11:32~11:52	8.67	不検出	不検出				-	
		3月26日 10:10~10:30	7.98	不検出	不検出				-	
		3月27日 10:29~10:48	不検出	不検出	不検出				-	
		3月28日 10:12~10:32	0.78	不検出	不検出				-	
		3月29日 11:56~12:06	2.53	0.814	0.59				-	
		3月30日 11:00~11:10	1.54	不検出	不検出				-	
		3月31日 10:40~10:50	1.34	不検出	0.92				-	
		4月1日 10:52~11:12	不検出	不検出	不検出				-	
		4月2日 9:59~10:19	不検出	不検出	不検出				-	
		4月3日 10:00~10:20	不検出	不検出	不検出				-	
		4月4日 9:56~10:16	不検出	不検出	不検出				-	
		4月5日 10:39~10:49	0.82	不検出	不検出				1.9	
		4月6日 10:18~10:28	1.00	不検出	0.69				2.3	
		4月7日 10:18~10:28	不検出	不検出	不検出				1.7	
		4月8日 10:16~10:26	0.643	不検出	不検出				1.7	
		4月9日 10:11~10:21	不検出	不検出	不検出				1.4	
		4月10日 10:03~10:13	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月11日 10:00~10:10	不検出	不検出	不検出				1.7	
		4月12日 10:16~10:26	不検出	不検出	不検出				1.7	
		4月13日 10:07~10:17	不検出	不検出	不検出				1.1	
		4月14日 10:09~10:19	不検出	不検出	不検出				1.8	
		4月15日 10:20~10:30	不検出	不検出	不検出				2.5	
		4月16日 9:56~10:06	不検出	不検出	不検出				1.5	
		4月17日 9:56~10:06	不検出	不検出	不検出				2.0	
		4月18日 10:00~10:10	1.79	不検出	不検出				1.8	
		4月19日 11:15~11:25	不検出	不検出	不検出				1.7	
		4月20日 10:02~10:12	不検出	不検出	不検出				2.1	
		4月21日 10:26~10:36	不検出	不検出	不検出				1.9	
		4月22日 10:07~10:17	0.907	不検出	不検出				2.0	
		4月23日 10:11~10:21	不検出	不検出	不検出				2.1	
		4月24日 9:50~10:01	不検出	不検出	0.605				2.0	
		4月25日 10:55~11:10	不検出	不検出	不検出				2.1	
		4月26日 10:20~10:35	不検出	不検出	不検出				1.8	
		4月27日 10:10~10:20	不検出	不検出	0.682				2.4	
		4月28日 9:59~10:09	不検出	不検出	不検出				1.7	
		4月29日 9:52~10:02	不検出	不検出	不検出				2.5	
		4月30日 10:07~10:17	不検出	不検出	不検出				2.0	
		5月1日 9:52~10:02	不検出	不検出	不検出				2.5	
		5月2日 9:46~9:56 (5月3日18:27)	不検出	不検出	不検出				1.9	
		5月3日 9:51~10:01 (5月4日15:56)	不検出	不検出	不検出				1.9	
		5月4日 9:40~9:50 (5月5日17:17)	不検出	不検出	不検出				2.4	
		5月5日 9:53~10:03 (5月7日9:44)	不検出	不検出	不検出				2.2	
		5月6日 9:57~10:07 (5月8日11:08)	不検出	不検出	不検出				2.1	
		5月7日 9:54~10:04	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	2.1	
		5月10日 9:55~10:05	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.7	
		5月11日 10:06~10:16	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8	
		5月12日 10:38~10:52	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8	
		5月13日 9:57~10:12	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.7	
		5月14日 9:40~9:55 (5月15日13:42)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.9	
		5月15日 9:31~9:46	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.9	
		5月16日 9:40~9:55	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8	
		5月17日 10:00~10:10	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8	
		5月18日 10:15~10:30	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8	
		5月19日 9:55~10:10	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.6	
		5月20日 9:47~10:02	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.7	
		5月21日 9:40~9:55	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8	
		5月22日 9:45~10:00	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.9	
5月23日 9:55~10:10	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			
5月24日 9:46~9:56	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			
5月25日 9:43~9:58	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			
5月26日 9:44~9:59	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			
5月27日 9:35~9:50	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.7			
5月28日 9:30~9:45	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.6			
【2-10】(50km北)	相馬郡新地町	3月25日 16:25~16:45	33.80	不検出	0.84				-	
【4-1】(80km南西)	白河市	4月7日 14:53~15:13	不検出	不検出	不検出				0.8	
		4月8日 14:45~15:05	不検出	不検出	不検出				0.8	
		4月9日 13:38~13:56	不検出	不検出	不検出				0.9	
		4月10日 13:40~14:00	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月11日 13:50~14:10	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月12日 13:55~14:10	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月13日 14:49~15:09	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月14日 14:25~14:40	不検出	不検出	不検出				0.6	
		4月15日 14:25~14:40	不検出	不検出	不検出				0.6	
		4月16日 13:20~13:35	不検出	不検出	不検出				0.6	
		4月17日 13:20~13:35	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月18日 13:55~14:10	1.15	0.761	不検出				0.5	
		4月19日 13:55~14:10	不検出	不検出	不検出				0.7	
		4月20日 13:30~13:45	不検出	不検出	不検出				0.6	
		4月22日 14:30~14:45	不検出	不検出	不検出				0.8	
		4月23日 14:25~14:40	不検出	不検出	不検出				0.7	
4月24日 13:05~13:20	不検出	不検出	不検出				0.4			

ダストサンプリングの測定結果 (13/13)

採取地点		採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/m ³)					空間線量率 (μ Sv/h)	備考			
			¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³² I	¹³² Te			その他検出された核種		
【4-4】(70km南西)	白河郡泉崎村	4月7日 14:00~14:20 (5月11日 10:55)	不検出	不検出	不検出				0.7			
		4月8日 13:35~13:55	不検出	不検出	不検出				0.7			
		4月9日 13:00~13:18	不検出	不検出	不検出				0.7			
		4月10日 12:55~13:15	不検出	不検出	不検出				0.7			
		4月11日 13:00~13:20	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月12日 13:15~13:30	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月13日 14:00~14:20	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月14日 13:40~13:55	不検出	不検出	不検出				0.5			
		4月15日 13:40~13:55	不検出	不検出	不検出				0.5			
		4月16日 12:40~12:55	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月17日 12:45~13:00	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月18日 12:35~12:50	0.496	不検出	不検出				0.5			
		4月19日 13:10~13:25	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月20日 12:30~12:45	不検出	不検出	不検出				0.5			
		4月22日 13:45~14:00	不検出	不検出	不検出				0.6			
		4月23日 12:50~13:05	不検出	不検出	不検出				0.5			
		4月24日 12:30~12:45	不検出	不検出	不検出				0.4			
		【4-5】(80km南西)	西白河郡西郷村	4月8日 15:23~15:43	不検出	不検出	不検出				0.8	
				4月9日 14:10~14:23	不検出	不検出	不検出				0.8	
				4月10日 14:10~14:30	1.03	不検出	0.542				0.8	
4月11日 14:30~14:45	不検出			不検出	不検出				0.9			
4月12日 14:30~14:45	不検出			不検出	不検出				0.7			
4月13日 15:35~15:55	0.876			不検出	不検出				0.7			
4月14日 14:55~15:10	不検出			不検出	不検出				0.6			
4月15日 15:00~15:15	不検出			不検出	不検出				0.7			
4月16日 13:55~14:10	不検出			不検出	不検出				0.8			
4月17日 13:55~14:10	不検出			不検出	不検出				0.9			
4月18日 14:30~14:45	不検出			不検出	不検出				0.6			
4月19日 14:35~14:40	不検出			不検出	不検出				0.7			
4月20日 14:05~14:20	不検出			不検出	不検出				0.8			
4月22日 15:05~15:20	不検出			不検出	不検出				0.6			
4月23日 15:00~15:15	不検出			不検出	不検出				0.6			
4月24日 13:40~13:55	不検出			不検出	不検出				0.4			

上記測定結果は政府現地対策本部が、福島県に依頼し、その結果を入手したもので、
 4月6日以降の空間線量率は、福島県の緊急時環境放射線モニタリングの値。
¹³²I、¹³²Te、その他検出された核種の空欄部分については確認中。
 ※1:測定実施せず。
 ※2 ()内に測定日時の記載がある試料の放射能濃度は、採取日時から測定日時までの放射能減衰が考慮されていない。
 尚、ここに掲載された測定は、日本分析センター、福島県原子力センターにより実施されています。

土壌の測定結果(1/11)

平成23年5月31日10時00分現在
文部科学省

測点番号・測点名称	採取日時 (測点時刻) 次	放射能濃度 (Bq/kg)								その他の検出された核種	空母濃度率 (LSI%)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{134m} Pm	¹³² Te	¹³⁷ Cs	¹³⁴ La	その他				
【1-1】(62km北西)	福島市杉妻町	4月14日 18.08	5100	7900	9300							0.8	
		4月15日 15.53	11,000	16,000	19,000							1.3	
		4月18日 15.03	5100	9100	11,000							2.1	
		4月19日 15.43	7300	13,000	21,000							1.2	
		4月20日 15.54	7700	13,000	16,000							1.3	
		4月21日 15.12	4800	9700	12,000							1.3	
		4月22日 15.05	4300	15,000	17,000							1.7	
		4月24日 15.11	3200	9400	11,000							1.0	
		4月24日 8.50	3400	9500	12,000							1.0	
		4月25日 8.47	3800	10,000	12,000							0.8	
		4月26日 8.37	2900	11,000	13,000							0.9	
		4月27日 8.55	4300	22,000	32,000							1.0	
		4月28日 8.48	2100	5700	7000							0.9	
		4月29日 14.17	2900	16,000	20,000							1.2	
		4月30日 15.17	2200	12,000	14,000							0.8	
		5月1日 14.59	1500	8300	10,000							0.6	
		5月2日 17.39	1700	10,000	12,000							1.0	
		5月3日 16.47	1900	4500	5200							1.3	
		5月4日 17.19	1300	6200	7500							1.1	
		5月5日 15.43	1400	11,000	13,000							0.5	
		5月6日 17.41	1200	9200	12,000							0.7	
		5月7日 17.30	1100	6300	7700							0.9	
		5月8日 16.05	420	2400	2800							0.7	
		5月9日 15.33	640	6500	7800							1.6	
		5月10日 16.38	910	11,000	13,000	4700	不検出	110	24	²³⁹ Np: 41		0.9	
		5月11日 15.38	540	6600	8200	3700	不検出	73	18	不検出		1.2	
		5月12日 15.44	490	7600	9300	3900	不検出	67	不検出	²³⁹ Np: 30		1.0	
		5月13日 17.00	690	9500	12,000	3500	不検出	90	不検出	不検出		1.0	
		5月14日 8.55	750	12,000	14,000	4200	不検出	130	不検出	不検出		0.9	
		5月15日 8.43	440	7500	8500	2500	不検出	80	不検出	不検出		1.0	
		5月16日 8.33	670	13,000	16,000	5600	不検出	110	不検出	²³⁹ Np: 59		0.9	
		5月17日 8.44	520	12,000	15,000	3400	不検出	140	22	²³⁹ Np: 48		1.0	
		5月18日 15.43	360	7300	8600	3000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8	
		5月19日 8.29	400	8700	11,000	3400	不検出	79	不検出	不検出		0.9	
		5月20日 8.31	430	13,000	15,000	2300	不検出	92	不検出	不検出		1.0	
		5月21日 8.29	380	10,000	12,000	2900	不検出	不検出	不検出	²³⁹ Np: 45		1.0	
		5月22日 8.19	370	10,000	13,000	3100	不検出	79	不検出	不検出		0.9	
		5月23日 8.18	500	18,000	23,000	5400	不検出	160	不検出	不検出		1.0	
		5月24日 8.32	190	5300	7100	2000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.9	
		5月25日 8.28	410	18,000	21,000	8400	不検出	92	不検出	不検出		1.0	
		5月26日 8.50	170	5700	6900	2300	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月27日 8.37	340	12,000	15,000	3600	不検出	62	不検出	不検出		0.9	
		5月28日 8.27	100	1800	2300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8	
		5月29日 8.19	29,000	8,100	8400							4.3	
		4月1日 10.13	11,000	2600	2900							3.3	
		4月2日 10.59	25,000	7900	9000							2.8	
		4月3日 9.52	41,000	18,000	21,000							5.4	
		4月27日 14.40	4400	14,000	16,000							2.3	
		【1-2】(40km西北西)	伊達郡川原町山本屋	4月1日 11.58	3300	1900	1300					0.5	
		【13】(37km西)	田村市常葉町西向	3月31日 10.20	48,000	13,000	15,000					4.1	
		【2】(56km北西)	福島市大波	3月31日 14.35	16,000	5300	6300					2.1	
				4月1日 8.22	31,000	2400	3800					3.8	
4月1日 8.42	13,000			4900	5700					3.8			
4月2日 9.33	53,000			17,000	20,000					3.5			
【2-1】(24km北)	南相馬市原町区高見町	4月3日 11.57	7300	3000	3600					1.0			
		4月4日 12.09	4400	2100	2500					1.0			
		4月15日 12.45	2100	2100	2400					0.7			
		4月16日 11.59	2000	2500	2900					0.3			
		4月18日 12.26	1900	3000	3700					0.3			
		4月20日 13.17	1600	2900	3500					0.3			
		4月21日 12.02	1300	2900	3500					0.3			
		4月22日 11.45	2400	3300	4000					0.7			
		4月23日 13.20	1200	2600	3200					0.6			
		4月24日 14.03	1300	2600	3200					0.2			
		4月25日 12.16	2200	1600	2000					0.3			
		4月26日 11.52	2900	2500	3100					0.5			
		4月27日 11.50	2100	2200	2700					0.5			
		4月28日 13.18	960	1400	1800					0.3			
		4月29日 11.33	1100	2900	3600					0.7			
		4月30日 11.52	540	740	860					0.3			
		5月1日 11.17	960	1300	1400					0.5			
		5月2日 11.31	580	1500	1800					0.3			
		5月3日 12.13	540	1500	1800					0.3			
		5月4日 12.23	630	1400	1800					0.3			
		5月5日 10.10	390	640	870					0.2			
		5月6日 11.23	480	820	990					0.3			
		5月7日 13.05	680	1700	2200					0.5			
		5月8日 11.07	500	1100	1300					0.2			
		5月9日 11.24	260	710	880					0.5			
		5月10日 11.40	460	1500	1900	1100	不検出	不検出	不検出	不検出		0.9	
		5月11日 11.10	140	1300	1500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.5	
		5月12日 12.00	180	1600	2000	840	不検出	19	不検出	不検出		0.4	
		5月13日 13.53	130	1300	1400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月14日 12.27	330	3900	4700	1800	不検出	36	不検出	不検出		0.4	
		5月15日 12.30	240	2700	3300	1400	不検出	26	不検出	不検出		0.4	
		5月16日 11.33	87	1100	1300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月17日 12.41	120	1300	1500	660	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月18日 11.18	190	1500	2000	810	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月19日 12.30	190	3200	3900	1600	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月20日 11.26	190	3700	4500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月21日 11.11	66	990	1300	670	不検出	不検出	不検出	不検出		0.5	
		5月22日 11.08	94	2800	3100	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.5	
		5月23日 11.23	210	4600	5500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月24日 11.56	140	3000	3700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月25日 11.27	110	3000	3800	1500	不検出	27	不検出	不検出		0.4	
		5月26日 13.45	150	4700	5700	2100	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月27日 11.46	85	2700	3400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月28日 12.06	不検出	1100	1300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	

土壌の測定結果 (2/11)

添付V-13-4-(2)

測定場所(測点)	採取日時 (測定日時)※2	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	空母線量率 (μ Sv/h)	備考	
		^{137}I	^{134}Cs	^{137}Cs	^{137}mBa	^{132}Tc	^{138}Cs	^{140}La				
【3-1】(33km北西)	相馬郡飯館村長堤	3月23日 11:10	200,000	39,000	45,000					103.0	【33】	
		3月25日 14:45	251,000	60,700	60,100					27.0		
		3月25日 14:45	341,000	70,800	68,600					27.0		
		3月26日 10:55	15,000	2,820	3,000					26.0		
		3月27日 12:15	93,000	28,300	29,000					20.0		
		3月28日 11:18	110,000	35,900	36,000					43.0		
		3月29日 11:18	220,000	66,600	65,000					19.9		
		3月30日 11:30	190,000	70,900	70,000					17.3		
		3月31日 11:23	160,000	65,700	67,000					18.2		
		4月1日 11:36	130,000	40,100	40,000					18.2		
		4月2日 12:10	61,000	5,530	5,300					21.0		
		4月3日 11:11	69,000	16,000	18,000					21.3		
		4月4日 11:12	125,510	66,086	76,428					18.6		
		4月5日 11:15	88,243	50,432	55,001					16.3		
		4月6日 12:19	90,816	60,493	66,192					13.2		
		4月7日 11:03	74,461	52,012	58,104					19.5		
		4月8日 11:35	72,500	59,000	63,600					15.5		
		4月10日 11:18	66,007	64,788	76,332					18.7		
		4月11日 14:07	62,639	56,170	64,333					17.5		
		4月12日 16:42	41,103	49,313	52,164					15.6		
		4月14日 10:13	43,000	45,886	55,000					18.0		
		4月15日 10:04	30,000	40,000	53,000					14.5		
		4月16日 10:23	10,000	15,000	17,000					15.2		
		4月17日 11:15	21,000	29,000	34,000					11.2		
		4月18日 10:28	38,000	79,000	80,000					19.5		
		4月20日 16:09	22,000	52,000	63,000					16.3		
		4月21日 10:43	36,000	95,000	110,000					13.5		
		4月22日 11:06	40,000	120,000	140,000					16.5		
		4月24日 10:44	26,000	82,000	97,000					15.1		
		4月27日 10:15	24,000	110,000	130,000					14.1		
		4月28日 10:19 (4月29日 16:20)	11,000	79,000	84,000					16.1		
		4月29日 10:26 (4月30日 16:57)	12,000	74,000	85,000					13.8		
		4月30日 11:24 (5月1日 14:47)	9,800	70,000	74,000					17.1		
		5月1日 10:40 (5月2日 17:31)	5,200	39,000	41,000					15.2		
		5月2日 10:59 (5月3日 19:16)	7,900	56,000	63,000					12.6		
		5月2日 10:59	9,700	58,000	71,000					12.6		
		5月3日 10:25 (5月6日 9:44)	7,400	68,000	79,000					14.1		
		5月4日 11:53 (5月6日 18:33)	9,200	110,000	120,000					13.3		
		5月6日 10:36	15,000	120,000	140,000					15.4		
		5月6日 10:36 (5月8日 11:07)	9,000	110,000	120,000					15.4		
		5月8日 9:41 (5月9日 15:27)	3,200	38,000	40,000	16,000	不検出	430	不検出	^{137}mBa : 140		13.1
		5月8日 14:34 (5月9日 16:10)	5,700	66,000	74,000	31,000	不検出	600	不検出	^{137}mBa : 210		15.3
		5月8日 9:27 (5月10日 16:18)	3,700	44,000	50,000	16,000	不検出	480	不検出	不検出		13.0
		5月9日 9:41 (5月11日 17:00)	4,100	52,000	59,000	20,000	不検出	430	不検出	^{137}mBa : 150		15.3
		5月10日 9:50 (5月12日 16:23)	3,700	59,000	71,000	27,000	不検出	500	不検出	^{137}mBa : 190		15.6
		5月11日 9:39 (5月14日 15:47)	3,100	63,000	73,000	25,000	不検出	470	不検出	^{137}mBa : 210		14.3
		5月12日 10:17 (5月14日 16:18)	2,600	52,000	59,000	19,000	不検出	420	不検出	不検出		14.8
		5月13日 10:12 (5月16日 14:37)	2,200	48,000	56,000	20,000	不検出	380	不検出	不検出		14.2
		5月14日 10:00 (5月16日 17:43)	1,600	30,000	35,000	11,000	不検出	200	不検出	不検出		15.5
		5月15日 10:55 (5月18日 15:52)	4,700	140,000	160,000	51,000	不検出	1,000	不検出	^{137}mBa : 460		15.5
5月16日 9:44 (5月18日 18:26)	2,400	76,000	85,000	28,000	不検出	530	不検出	不検出	14.3			
5月17日 11:11 (5月19日 18:44)	2,200	49,000	56,000	17,000	不検出	320	不検出	^{137}mBa : 160	16.0			

土壌の測定結果 (3/11)

添付V-13-4-(2)

測定地点	採取日時 (測定日時)※	放射能濃度 (Bq/kg)								その他検出された核種	放射線量率 (μSv/h)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{137m} Ba	¹³² Te	¹³⁴ Cs	¹⁴⁰ La					
【3-2】(30km西北西)	双葉郡浪江町津島	3月23日 13:17	92,000	13,000	15,000							15.0	【34】
		4月14日 11:38	12,000	11,000	12,000							5.4	
		4月15日 11:20	15,000	17,000	21,000							4.7	
		4月16日 11:30	1,700	21,000	2,300							4.4	
		4月17日 9:41	11,000	17,000	21,000							5.8	
		4月18日 11:30	6,900	3,900	4,800							6.4	
		4月20日 15:03	11,000	19,000	23,000							5.7	
		4月21日 11:51	12,000	21,000	25,000							5.0	
		4月22日 12:01	5,100	8,400	10,000							5.4	
		4月24日 12:02	9,300	22,000	27,000							4.9	
		4月25日 15:42	4,800	16,000	19,000							5.5	
		4月26日 11:58	3,700	23,000	27,000							4.9	
		4月29日 12:27	8,900	75,000	89,000							5.1	
		4月30日 12:46	1,600	7,300	8,900							5.1	
		5月1日 11:45	1,700	6,600	7,500							5.1	
		5月2日 14:30	4,600	13,000	16,000							4.8	
		5月3日 13:25	3,400	26,000	32,000							4.8	
		5月4日 13:52	1,800	14,000	17,000							4.1	
		5月5日 12:01	4,800	40,000	50,000							5.7	
		5月6日 10:59	2,200	8,300	10,000							5.0	
		5月7日 15:36	4,900	21,000	27,000							5.3	
		5月8日 14:18	2,900	32,000	40,000							4.5	
		5月9日 11:37	1,900	15,000	18,000							5.0	
		5月10日 11:06	1,500	24,000	30,000	10,000	不検出	250	65	²¹⁰ Pb = 74		5.1	
		5月11日 10:50	1,500	15,000	19,000	8,000	不検出	160	44	²¹⁰ Pb = 57		5.1	
		5月12日 11:42	1,300	15,000	19,000	7,200	不検出	170	33	不検出		5.2	
		5月13日 12:45	680	8,300	8,000	3,400	不検出	40	不検出	不検出		4.8	
		5月14日 14:29	920	16,000	19,000	7,600	不検出	120	29	不検出		4.9	
		5月15日 13:40	1,200	25,000	31,000	11,000	不検出	250	48	²¹⁰ Pb = 60		4.9	
		5月16日 13:55	1,800	95,000	44,000	16,000	不検出	290	61	不検出		4.8	
		5月17日 13:17	1,000	27,000	33,000	13,000	不検出	190	53	^{137m} Ba = 100		5.4	
		5月19日 11:11	1,200	23,000	28,000	12,000	不検出	190	不検出	不検出		5.0	
		5月20日 12:04	800	17,000	21,000	7,400	不検出	不検出	不検出	不検出		4.9	
		5月21日 12:07	580	15,000	18,000	6,500	不検出	110	不検出	不検出		4.9	
5月22日 10:24	1,300	37,000	45,000	19,000	不検出	250	52	不検出		5.4			
5月23日 10:17	880	28,000	35,000	11,000	不検出	不検出	33	不検出		5.1			
5月24日 10:21	950	28,000	34,000	10,000	不検出	110	不検出	不検出		5.3			
5月25日 10:45	920	25,000	31,000	10,000	不検出	120	不検出	不検出		5.3			
5月26日 11:28	490	18,000	22,000	8,300	不検出	81	不検出	不検出		5.0			
5月27日 12:03	550	30,000	37,000	11,000	不検出	不検出	31	不検出		4.4			
5月28日 12:03	230	14,000	17,000	5,100	不検出	不検出	不検出	不検出		6.0			
3月23日 12:50	11,000	2,800	3,300							2.3			
3月24日 12:58	4,900	170	220							2.5			
4月14日 11:42	1,600	2,200	2,800							0.5			
4月15日 11:40	1,700	2,200	2,400							1.0			
4月16日 11:37	2,400	2,200	2,700							0.5			
4月17日 11:36	2,800	4,500	5,400							0.4			
4月18日 10:47	1,900	3,800	4,400							1.0			
4月20日 11:26	2,200	3,200	3,900							0.3			
4月21日 11:25	1,400	2,100	2,600							0.4			
4月22日 11:27	1,600	3,500	4,200							0.8			
4月23日 11:15	1,200	2,400	2,800							0.4			
4月24日 11:18	1,300	3,000	3,600							0.5			
4月25日 14:43	1,300	4,300	5,200							0.4			
4月29日 11:16	570	2,000	2,500							0.9			
4月30日 12:22	790	3,400	4,000							0.6			
5月1日 11:12	710	3,200	3,800							0.6			
5月2日 11:32	200	1,000	1,200							1.0			
5月3日 12:37	840	5,100	6,000							0.7			
5月4日 12:38	500	2,500	3,100							0.5			
5月5日 13:49	450	3,100	3,700							1.1			
5月6日 14:07	420	2,300	2,800							0.7			
5月7日 11:46	190	1,100	1,400							1.0			
5月8日 12:04	280	1,900	2,200							0.7			
5月9日 11:54	350	3,200	3,800							0.9			
5月10日 11:51	230	2,300	2,900	960	不検出	30	不検出	不検出		0.9			
5月11日 11:57	200	2,300	2,700	820	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月12日 13:34	220	2,800	3,300	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月13日 12:30	160	1,800	2,200	710	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月14日 14:05	51	540	660	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月15日 12:51	150	2,100	2,500	1,000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月16日 11:00	150	1,300	1,600	810	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月17日 12:22	120	1,900	2,200	640	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月18日 12:21	130	2,700	3,200	910	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月19日 11:19	130	2,000	2,500	830	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月20日 10:36	230	4,900	6,000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月21日 10:26	110	2,400	3,100	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.9			
5月22日 10:55	170	2,600	3,300	1,100	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月23日 10:00	52	990	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月24日 10:47	96	2,400	2,900	900	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月25日 10:45	95	2,200	2,700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月26日 10:21	48	1,600	1,900	810	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月27日 11:05	38	1,600	1,900	670	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月28日 12:50	61	3,400	4,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
【3-4】(43km西北西)	二本松市本田	3月23日 11:08	32,000	7,200	8,600						2.8		
【3-5】(47km北西)	伊達郡川原町	3月23日 10:30	4,200	680	770						2.8		

土壤の測定結果 (4/11)

添付V-13-4-(2)

測定箇所	測定日時 (測定日時) 時刻	放射能濃度 (Bq/kg)								その他検出された核種	空母線濃度 (μSv/h)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{134m} Pm	¹³² Te	¹³⁴ Cs	¹³⁶ La					
【3-6】(32km西北西)	双葉郡飯尾村土野川	3月23日 14:00	70,000	9,600	12,000							9.4	【21】
		3月28日 16:32	13,000	2,600	2,900							6.5	
		3月29日 11:53	14,000	4,000	4,600							6.3	
		3月29日 11:34	25,000	6,000	7,100							3.7	
		4月8日 13:20	11,000	6,400	7,600							6.9	
		4月10日 10:37	25,000	21,000	26,000							4.2	
		4月11日 12:58	14,000	10,000	12,000							3.8	
		4月14日 12:04	8,200	8,200	9,300							3.1	
		4月16日 12:04	6,300	3,900	4,600							3.0	
		4月16日 12:20	1,800	2,000	2,300							4.2	
		4月17日 13:33	12,000	14,000	17,000							3.6	
		4月18日 12:10	12,000	15,000	17,000							3.2	
		4月20日 14:19	4,400	8,800	11,000							3.0	
		4月21日 12:43	3,700	8,300	9,700							3.2	
		4月22日 14:10	4,800	11,000	14,000							3.2	
		4月24日 13:25	1,600	3,500	4,100							3.2	
		4月26日 11:30	2,600	6,300	7,500							3.1	
		4月26日 16:20	3,200	12,000	14,000							1.9	
		4月28日 12:24	2,800	11,000	13,000							2.1	
		4月29日 13:17	3,100	11,000	13,000							1.8	
		4月30日 13:51	4,500	22,000	26,000							2.9	
		5月1日 13:23	1,600	2,600	3,000							2.6	
		5月2日 13:52	630	2,300	2,700							3.6	
		5月3日 14:55	2,600	9,800	12,000							3.0	
		5月4日 15:22	310	1,100	1,300							2.4	
		5月6日 11:26	1,100	3,600	4,400							2.8	
		5月6日 11:30	1,800	11,000	13,000							2.7	
		5月7日 12:50	1,000	7,200	8,700							2.6	
		5月8日 13:49	790	5,800	6,900							2.6	
		5月9日 12:19	470	3,700	4,500							2.5	
		5月10日 11:41	960	9,800	12,000	2,900	不検出	92	不検出	⁹⁰ Nb : 44		2.5	
		5月11日 11:40	690	7,300	9,000	2,800	不検出	86	70	⁹⁰ Nb : 30		2.7	
		5月12日 13:27	340	4,100	4,900	1,600	不検出	42	不検出	不検出		2.8	
		5月13日 14:48	370	5,400	6,400	1,800	不検出	51	不検出	不検出		2.5	
		5月14日 14:02	540	7,700	8,900	3,400	不検出	不検出	不検出	不検出		2.5	
		5月15日 14:38	1,100	16,000	19,000	4,900	不検出	130	不検出	⁹⁰ Nb : 61		2.2	
		5月16日 14:30	430	8,900	11,000	3,000	不検出	78	不検出	不検出		2.4	
		5月17日 14:00	340	7,400	9,200	1,900	不検出	不検出	不検出	不検出		2.4	
		5月18日 13:47	360	6,900	8,400	1,900	不検出	不検出	20	不検出		2.5	
		5月19日 9:59	440	11,000	13,000	3,100	不検出	96	不検出	⁹⁰ Nb : 59		2.6	
		5月20日 9:56	69	1,400	1,700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		2.3	
		5月21日 10:01	230	9,900	12,000	3,200	不検出	52	不検出	不検出		2.7	
		5月22日 9:52	420	14,000	17,000	5,800	不検出	100	21	⁹⁰ Nb : 53		2.6	
5月23日 9:49	380	13,000	17,000	4,300	不検出	79	不検出	⁹⁰ Nb : 63		2.6			
5月24日 9:50	350	15,000	18,000	4,100	不検出	100	不検出	⁹⁰ Nb : 68		2.5			
5月26日 10:08	290	11,000	14,000	4,400	不検出	不検出	不検出	不検出		2.6			
5月26日 10:11	180	4,900	6,200	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出		2.6			
5月27日 9:47	170	7,800	9,000	2,000	不検出	不検出	不検出	不検出		2.9			
5月28日 15:11	110	4,200	5,400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		14.0			
3月23日 13:00		69,000	2,100	2,600						0.6			
4月14日 13:13		4,100	1,100	1,300						1.2			
4月16日 14:25		13,000	1,200	1,400						0.6			
4月16日 14:67		8,100	2,700	3,100						1.7			
4月17日 12:58		1,700	170	190						1.0			
4月21日 12:35		5,100	3,100	3,700						0.4			
4月22日 12:28		4,200	2,200	2,700						0.7			
4月23日 12:20		4,600	1,900	2,200						0.6			
4月26日 12:31		2,600	1,700	1,900						0.3			
4月27日 11:15		1,600	990	1,100						0.7			
4月28日 12:29		710	410	480						0.4			
4月28日 13:30		1,800	1,600	1,700						0.4			
4月29日 12:06		1,700	1,400	1,700						1.3			
5月1日 10:57		1,800	1,500	1,900						0.1			
5月2日 14:40		2,300	2,600	3,000						0.2			
5月3日 14:03		2,600	3,900	4,700						0.6			
5月4日 13:39		1,800	2,600	2,900						0.1			
5月6日 13:37		390	590	790						0.1			
5月6日 13:00		1,300	1,400	1,700						1.0			
5月6日 12:16		1,800	2,700	3,300						0.8			
5月8日 13:41		640	1,400	1,700						0.4			
5月8日 12:43		750	1,400	1,700						0.2			
5月10日 12:17		500	2,600	3,200	2,600	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月11日 12:30		910	1,300	1,600	1,200	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月12日 12:46		940	1,700	2,100	3,900	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月14日 13:38		480	1,200	1,400	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月15日 12:43		650	2,200	2,600	5,000	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月16日 12:17		580	1,800	2,200	4,100	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月17日 12:25		580	2,600	3,000	6,100	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月18日 12:12		430	1,700	2,100	2,700	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月19日 12:03		570	2,900	3,500	6,200	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月21日 11:55		540	2,900	3,400	6,200	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月22日 12:11		500	2,600	3,200	4,400	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月24日 11:38		160	990	1,300	1,700	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月26日 12:10		230	1,800	2,200	3,000	不検出	不検出	不検出		0.5			
5月28日 11:48		790	2,500	2,900	4,800	不検出	不検出	不検出	⁹⁰ Nb : 32	14.0			
3月23日 16:22		140,000	2,600	2,900						0.5			
5月2日 12:40		160	290	370	810	不検出	不検出	不検出	不検出	0.7			
3月26日 11:24		6,900	1,300	1,600						2.7			
3月26日 10:48		6,900	1,300	1,600						1.0			
3月26日 12:30		110,000	2,600	2,800						0.6~1.2			
3月26日 13:00		12,000	3,700	4,100						3.7			
3月26日 12:18		11,000	2,800	3,300						1.5			
3月26日 11:17		14,000	3,200	3,800						1.2			
3月28日 10:32		11,000	3,000	3,600						1.3			
3月29日 15:20		8,400	2,700	3,200						1.4			
3月30日 15:54		6,100	1,800	2,000						1.3			
3月31日 12:18		9,600	3,900	4,700						1.0			
4月1日 11:35		5,400	2,400	2,800						1.1			
4月2日 12:49		7,800	3,700	4,400						1.2			
4月3日 11:15		4,900	1,400	1,700						1.3			
4月4日 11:18		5,600	3,700	4,300						1.0			
4月6日 11:21		4,600	3,200	3,900						1.0			
4月7日 11:56		5,100	3,200	3,900						0.6			
4月7日 11:18		4,200	3,000	3,600						0.6			
4月8日 11:29		3,600	3,100	3,800						1.2			
4月10日 10:46		2,400	2,300	2,900						1.8			
4月11日 10:45		4,800	4,100	5,000						1.0			
4月13日 17:08		2,600	3,900	4,800						0.6			
4月16日 11:35		2,000	2,800	3,400						0.7			
4月16日 11:13		1,800	2,900	3,300						0.7			
4月18日 11:32		1,800	3,100	3,500						1.0			
4月20日 12:36		1,400	4,600	5,500						1.0			
4月21日 11:21		1,300	2,500	3,000						1.3			
4月22日 11:06		1,400	4,400	5,200						0.8			
4月23日 12:07		930	2,900	3,500						0.8			
4月24日 12:20		920	3,200	3,700						0.5			
4月26日 11:33		1,100	4,100	5,100						0.5			
4月26日 10:54		790	2,500	3,000						0.7			
4月27日 11:13		1,700	6,600	8,100						0.7			
4月28日 11:48		550	1,900	2,400						0.7			
【3-8】(23km南) 【112】(23km南)	双葉郡広野町下北津	3月23日 13:00									14.0	【112】	
		5月2日 12:40											0.5
		3月26日 11:24		6,900	1,300	1,600							2.7
		3月26日 10:48		6,900	1,300	1,600							1.0
		3月26日 12:30		110,000	2,600	2,800							0.6~1.2
		3月26日 13:00		12,000	3,700	4,100							3.7
		3月26日 12:18		11,000	2,800	3,300							1.5
		3月26日 11:17		14,000	3,200	3,800							1.2
		3月28日 10:32		11,000	3,000	3,600							1.3
		3月29日 15:20		8,400	2,700	3,200							1.4
		3月30日 15:54		6,100	1,800	2,000							1.3
		3月31日 12:18		9,600	3,900	4,700							1.0
		4月1日 11:35		5,400	2,400	2,800							1.1
		4月2日 12:49		7,800	3,700	4,400							1.2
		4月3日 11:15		4,900	1,400	1,700							1.3
		4月4日 11:18		5,600	3,700	4,300							1.

土壌の測定結果 (5/11)

添付V-13-4-(2)

測定場所(地点)	採取日時 (測定日時)※2	放射能濃度 (Bq/kg)								その他検出された核種	放射能濃度 (μSv/h)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{137m} Ba	¹³² Te	¹³⁸ Cs	¹⁴⁰ La					
[3-11](32km北北西)	南相馬市豊島区	3月26日 12:33	8000	1100	1,300							3.2	[7]
		3月28日 11:32	13,000	3,500	4,300							1.5	
		3月29日 10:32	8,200	1,600	2,000							3.2	
		4月16日 11:53	1,700	2,400	2,900							0.4	
		4月18日 11:20	1,900	1,600	2,000							0.6	
		4月18日 11:55	3,000	2,100	3,200							0.4	
		4月20日 12:52	1,600	4,600	2,600							0.5	
		4月21日 11:36	1,200	1,200	1,500							0.6	
		4月22日 11:21	930	1,300	1,700							0.6	
		4月23日 12:16	600	630	850							0.5	
		4月24日 13:52	630	830	1,030							0.7	
		4月25日 11:47	1,100	2,000	2,600							1.0	
		4月28日 11:00	980	1,800	2,200							0.5	
		4月27日 11:26	1,500	2,500	2,900							0.5	
		4月28日 12:12	630	1,600	2,000							0.6	
		4月29日 10:53	380	940	1,200							0.8	
		4月30日 11:07	850	1,800	2,300							0.3	
		5月1日 10:59	550	960	1,300							0.6	
		5月2日 10:59	320	1,100	1,300							0.5	
		5月3日 11:39	470	1,700	2,200							0.6	
		5月4日 11:41	590	2,400	2,900							0.6	
		5月6日 10:55	170	440	560							0.4	
		5月7日 12:44	120	420	510							0.5	
		5月9日 10:44	110	580	690							0.4	
		5月9日 11:01	130	540	630							0.8	
		5月10日 11:17	240	1,100	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		1.0	
		5月11日 10:41	180	910	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8	
		5月12日 11:35	170	2,300	2,800	810	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8	
		5月13日 11:52	110	1,400	1,700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.9	
		5月14日 12:09	52	380	440	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
		5月15日 12:10	100	720	880	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
		5月16日 11:12	230	2,400	3,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月17日 12:26	170	1,900	2,300	260	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
		5月18日 10:58	160	1,600	2,000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月19日 12:06	130	1,300	1,700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月20日 11:07	69	770	1,000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月21日 10:49	120	4,200	5,300	1,700	不検出	28	不検出	不検出		0.7	
		5月22日 10:48	64	1,200	1,400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月23日 11:03	85	890	960	610	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月24日 11:33	74	2,400	3,000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
5月25日 11:09	21	720	890	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月26日 12:56	88	2,400	3,000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月27日 12:53	90	2,300	2,800	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8			
5月28日 12:52	60	1,200	1,600	1,000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.9			
3月26日 14:13	29,000	20,000	627							30.5			
3月28日 10:15	22,000	1,550	1,600							17.8			
3月27日 11:30	120,000	25,500	27,000							25.0			
3月28日 10:25	120,000	27,900	28,000							23.0			
3月29日 9:59	71,000	21,000	22,000							19.2			
3月30日 10:50	71,000	292,000	290,000							18.2			
3月31日 10:45	50,000	14,200	15,000							-			
4月1日 10:39	79,000	27,400	29,000							15.4			
4月2日 11:42	21,000	5,270	5,400							14.0			
4月3日 10:36	60,000	26,000	27,000							12.5			
4月4日 10:27	143,900	5,931	6,907							9.8			
4月6日 10:42	103,970	62,836	68,209							10.6			
4月6日 11:45	84,819	47,848	51,842							10.9			
4月7日 10:30	78,891	48,547	51,167							11.4			
4月8日 10:55	36,900	18,000	20,300							9.0			
4月10日 10:17	59,758	62,813	74,220							12.8			
4月11日 13:32	58,558	58,212	67,722							12.6			
4月12日 16:06	54,507	40,408	46,235							12.3			
4月14日 11:06	33,000	64,000	76,000							10.7			
4月15日 10:45	18,000	18,000	22,000							10.5			
4月16日 10:00	13,000	18,000	21,000							8.3			
4月17日 10:40	17,000	13,000	15,000							9.2			
4月18日 9:53	6,700	8,000	8,100							11.4			
4月20日 16:48	29,000	51,000	62,000							10.5			
4月21日 9:58	33,000	73,000	87,000							10.5			
4月22日 10:29	44,000	180,000	210,000							10.1			
4月24日 10:44	4,000	5,500	6,800							10.8			
4月26日 10:10	11,000	24,000	29,000							11.2			
4月27日 14:42	3,800	9,000	11,000							8.6			
4月29日 9:49 (4月29日 16:32)	7,400	39,000	42,000							7.8			
4月29日 9:54 (4月30日 16:55)	8,200	50,000	56,000							7.5			
4月30日 10:59 (5月1日 14:45)	3,100	14,000	14,000							6.8			
5月1日 9:55 (5月2日 17:29)	4,500	26,000	29,000							7.3			
5月2日 10:35 (5月3日 19:14)	3,600	26,000	27,000							5.4			
5月2日 10:35	5,200	25,000	30,000							5.4			
5月3日 9:51 (5月6日 9:43)	4,700	31,000	34,000							6.9			
5月4日 11:20 (5月6日 18:29)	6,200	50,000	56,000							7.1			
5月5日 10:00	5,000	33,000	40,000							7.2			
5月6日 10:00 (5月8日 11:06)	2,200	20,000	21,000							7.2			
5月7日 10:09 (5月8日 15:07)	2,400	14,000	14,000	5,500	不検出	140	不検出	不検出		7.2			
5月7日 14:54 (5月9日 16:10)	2,900	14,000	14,000	7,600	不検出	130	不検出	不検出		7.8			
5月8日 10:06 (5月10日 16:30)	4,100	38,000	44,000	21,000	不検出	490	不検出	不検出		6.6			
5月8日 10:06 (5月11日 17:03)	4,700	56,000	60,000	23,000	不検出	580	不検出	不検出		7.9			
5月10日 10:18 (5月12日 16:21)	4,700	62,000	70,000	30,000	不検出	510	不検出	不検出		7.9			
5月11日 10:03 (5月14日 15:52)	3,200	38,000	45,000	17,000	不検出	220	不検出	不検出		7.6			
5月13日 10:48 (5月14日 15:17)	3,300	42,000	48,000	21,000	不検出	270	不検出	^{137m} Ba : 140		7.5			
5月13日 10:59 (5月14日 14:25)	1,200	16,000	18,000	6,300	不検出	110	不検出	不検出		6.9			
5月14日 10:33 (5月16日 17:42)	1,400	22,000	26,000	7,600	不検出	200	不検出	不検出		5.3			
5月15日 11:33 (5月18日 15:48)	480	4,000	4,800	2,400	不検出	不検出	不検出	不検出		6.7			
5月16日 10:25 (5月18日 18:24)	1,100	27,000	30,000	11,000	不検出	260	不検出	不検出		7.5			
5月17日 11:48 (5月18日 18:23)	1,100	10,000	12,000	4,800	不検出	74	不検出	不検出		7.0			

土壌の測定結果 (6/11)

添付V-13-4-(2)

測定場所(測点)	採取日時 (測定日時)※2	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	空母線量率 (μSv/h)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{137m} Ba	¹³² Te	¹³⁸ Cs	¹⁴⁰ La				
【3-13】(31 km北西)	茨城県茨江町赤字木	3月26日 14:30	88,700	9,550	9,260					65.0	【32】	
		3月28日 10:40	290,000	33,400	33,000					46.0		
		3月27日 11:55	550,000	78,000	80,000					45.0		
		3月28日 10:51	210,000	8,920	8,200					50.0		
		3月29日 10:57	650,000	93,300	94,000					43.0		
		3月30日 11:08	250,000	53,500	52,000					41.6		
		3月31日 11:04	91,000	39,700	40,000					39.0		
		4月1日 11:01	250,000	122,000	130,000					36.2		
		4月2日 11:55	120,000	31,800	35,000					34.0		
		4月3日 10:55	280,000	110,000	110,000					32.7		
		4月4日 10:50	157,730	89,234	98,551					32.7		
		4月5日 10:59	201,880	93,537	103,330					26.0		
		4月6日 11:59	125,200	53,806	58,761					26.8		
		4月7日 10:47	139,810	65,462	73,554					27.9		
		4月8日 11:23	85,800	63,000	64,300					24.6		
		4月10日 10:54	43,605	37,613	42,820					25.2		
		4月11日 13:53	114,330	120,180	140,550					23.9		
		4月12日 16:25	102,450	77,991	86,040					26.4		
		4月14日 10:50	69,000	64,000	73,000					21.3		
		4月15日 10:24	24,000	25,000	29,000					22.5		
		4月16日 10:16	56,000	75,000	87,000					25.3		
		4月17日 10:55	17,000	8,700	10,000					23.1		
		4月18日 10:15	10,000	16,000	18,000					28.6		
		4月20日 16:27	26,000	46,000	55,000					21.3		
		4月21日 10:22	35,000	66,000	78,000					24.0		
		4月22日 10:50	48,000	180,000	220,000					21.6		
		4月24日 10:25	36,000	80,000	110,000					24.2		
		4月25日 10:28	19,000	82,000	99,000					19.4		
		4月27日 14:25	23,000	110,000	130,000					22.4		
		4月28日 10:07 (4月29日 16:34)	5,700	22,000	24,000					18.7		
		4月29日 10:11 (4月30日 16:56)	12,000	48,000	52,000					19.5		
		4月30日 11:12 (5月1日 14:46)	18,000	110,000	110,000					18.1		
		5月1日 10:24 (5月2日 17:30)	6,300	55,000	58,000					17.8		
		5月2日 10:49 (5月3日 19:15)	11,000	64,000	67,000					19.7		
		5月2日 10:49	15,000	78,000	92,000					19.7		
		5月3日 10:11 (5月6日 9:43)	2,900	7,300	8,200					18.2		
		5月4日 11:36 (5月6日 18:32)	6,000	57,000	60,000					16.9		
		5月5日 10:21	1,800	7,600	9,300					18.9		
		5月6日 10:21 (5月8日 11:06)	5,500	30,000	31,000					18.9		
		5月6日 9:55 (5月8日 15:26)	8,900	130,000	140,000	56,000	不検出	1,500	不検出	^{137m} Ba: 420		18.6
		5月7日 14:38 (5月9日 16:05)	10,000	93,000	97,000	60,000	不検出	1,100	不検出	不検出		19.4
		5月8日 9:41 (5月10日 16:15)	6,200	58,000	63,000	35,000	不検出	740	不検出	^{137m} Ba: 180		17.6
		5月9日 9:53 (5月11日 17:04)	6,600	71,000	75,000	39,000	不検出	780	不検出	^{137m} Ba: 240		20.1
		5月10日 10:05 (5月12日 16:16)	7,900	100,000	110,000	57,000	不検出	1,100	不検出	^{137m} Ba: 270		20.3
		5月11日 9:51 (5月14日 15:52)	4,600	73,000	80,000	33,000	不検出	610	不検出	^{137m} Ba: 330		19.3
		5月13日 10:31 (5月14日 16:18)	3,700	59,000	65,000	28,000	不検出	500	不検出	不検出		19.0
		5月13日 10:38 (5月15日 14:37)	3,700	67,000	71,000	32,000	不検出	540	不検出	^{137m} Ba: 210		17.2
		5月14日 10:16 (5月16日 17:42)	3,100	60,000	64,000	29,000	不検出	470	不検出	^{137m} Ba: 190		15.2
		5月15日 11:21 (5月18日 15:49)	3,100	40,000	47,000	24,000	不検出	310	不検出	不検出		17.3
		5月16日 10:04 (5月18日 18:13)	3,600	83,000	91,000	34,000	不検出	630	不検出	^{137m} Ba: 290		18.5
5月17日 11:27 (5月18日 18:24)	1,500	17,000	20,000	9,900	不検出	不検出	不検出	不検出	17.8			

土壌の測定結果 (7/11)

添付V-13-4-(2)

測定地点	採取日時 (測定日時)※2	放射能濃度 (Bq/kg)								その他の検出された核種	空気線量率 (μ Sv/h)	備考	
		^{137}Cs	^{134}Cs	^{137}Cs	^{137}Cs	^{137}Cs	^{137}Cs	^{137}Cs	^{137}Cs				
【3-14】(40km西北西)	伊達郡川根町山木屋	3月26日 15:35	79,000	15,000	18,000							7.0	【36】
		3月28日 19:30	49,000	8,100	9,300							7.8	
		3月28日 9:15	65,000	18,000	21,000							6.0	
		3月29日 9:41	63,000	17,000	21,000							6.0	
		3月30日 10:18	71,000	20,000	24,000							5.6	
		3月31日 10:21	59,000	24,000	28,000							5.3	
		4月1日 10:11	54,000	20,000	23,000							5.7	
		4月2日 11:20	54,000	22,000	26,000							5.1	
		4月4日 9:52	6,600	3,100	3,300							5.2	
		4月5日 9:26	31,000	17,000	20,000							4.6	
		4月6日 11:05	41,000	21,000	25,000							4.1	
		4月7日 10:02	39,000	24,000	29,000							4.1	
		4月8日 10:07	27,000	21,000	24,000							3.8	
		4月10日 9:41	14,000	10,000	12,000							4.6	
		4月11日 10:36	22,000	21,000	25,000							4.0	
		4月13日 12:07	15,000	17,000	20,000							4.5	
		4月14日 9:57	17,000	20,000	24,000							4.2	
		4月15日 9:39	5,600	6,700	7,800							3.3	
		4月16日 9:37	6,000	7,000	8,100							2.9	
		4月17日 9:22	9,300	13,000	15,000							3.1	
		4月18日 9:31	17,000	28,000	34,000							4.5	
		4月20日 11:03	4,600	6,900	8,400							3.2	
		4月21日 9:32	9,100	19,000	22,000							3.4	
		4月22日 10:10	4,300	9,200	11,000							3.7	
		4月24日 9:39	3,800	7,800	9,200							4.0	
		4月28日 9:36	1,500	2,200	3,100							2.5	
		4月29日 9:36	2,400	8,100	7,300							2.6	
		4月30日 10:33	2,200	6,600	7,800							3.1	
		5月1日 9:32	2,600	23,000	27,000							2.8	
		5月2日 9:48	2,800	15,000	19,000							2.7	
		5月3日 9:30	2,400	16,000	19,000							3.0	
		5月4日 10:58	2,600	9,500	11,000							3.0	
		5月5日 9:39	2,000	11,000	13,000							3.1	
		5月6日 9:21	2,200	15,000	18,000							3.3	
		5月7日 14:08	1,700	14,000	16,000							3.2	
		5月9日 9:04	1,900	19,000	21,000							3.3	
		5月9日 9:20	1,700	19,000	23,000							3.0	
		5月10日 9:29	1,100	11,000	13,000	5100	不検出	120	不検出	不検出		2.7	
		5月11日 9:20	1,100	14,000	18,000	6,700	不検出	110	29	^{238}Pu : 51		2.8	
		5月12日 9:40	220	3,600	4,300	不検出	不検出	26	不検出	不検出		3.1	
5月13日 9:45	640	7,600	9,400	3,500	不検出	89	18	不検出		2.8			
5月14日 9:43	1,300	22,000	26,000	8,100	不検出	160	39	不検出		2.6			
5月15日 10:00	1,100	20,000	24,000	8,700	不検出	200	41	不検出		2.7			
5月16日 9:22	330	4,200	5,000	1,400	不検出	39	不検出	不検出		3.0			
5月17日 10:35	400	5,200	6,500	2,500	不検出	34	不検出	不検出		2.4			
5月24日 13:50	570	17,000	21,000	5,200	不検出	140	不検出	不検出		2.8			
3月25日 14:15	560	390	410							5.5			
3月28日 12:55	31,000	1,600	1,800							3.9			
3月28日 9:54	42,000	1,200	1,500							3.0			
3月28日 16:18	7,800	3,000	3,500							1.7			
【3-16】(45km北西)	相馬市山上												
【37】(48km北西)	伊達市巖山町												
【38】(34km南南西)	いわき市四倉町	4月1日 9:59	15,000	15,000	16,000							4.6	【37】
		4月2日 10:40	20,000	16,000	20,000							4.3	
		4月14日 12:05	3,700	1,800	2,100							0.8	
		4月15日 13:41	4,900	1,200	1,400							0.9	
		4月16日 15:50	4,600	1,000	1,200							0.9	
		4月17日 11:37	5,300	1,100	1,300							0.3	
		4月20日 11:46	4,800	1,800	2,000							1.3	
		4月21日 11:46	4,400	1,700	1,900							1.0	
		4月22日 11:42	3,300	1,400	1,700							0.7	
		4月23日 11:32	4,600	2,400	3,000							0.7	
		4月25日 11:31	2,800	1,500	1,600							0.3	
		4月28日 11:28	970	630	760							0.3	
		4月29日 12:33	3,700	2,800	3,200							0.8	
		4月30日 11:18	1,700	1,200	1,400							0.2	
		5月1日 12:18	1,800	1,800	2,100							0.8	
		5月2日 13:42	1,900	2,700	3,000							0.3	
		5月3日 12:20	2,600	2,700	3,200							0.3	
		5月4日 12:29	1,900	2,500	2,800							0.5	
		5月5日 12:17	2,100	20,000	22,000							0.2	
		5月6日 11:57	1,100	1,400	1,700							0.6	
		5月7日 11:41	1,800	2,200	2,500							1.0	
		5月8日 12:28	1,300	2,200	2,700							0.8	
		5月9日 11:59	630	1,200	1,400							0.7	
		5月10日 11:23	790	1,500	1,700	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月11日 11:18	750	1,600	1,900	2,000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月12日 12:03	660	1,200	1,600	1,800	不検出	不検出	不検出	^{238}Pu : 19		0.3	
		5月14日 12:49	420	1,300	1,600	1,000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4	
		5月15日 11:39	520	1,800	2,300	1,900	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月16日 11:28	490	1,700	2,100	1,500	不検出	不検出	不検出	^{238}Pu : 26		0.3	
		5月17日 11:33	590	2,100	2,500	2,000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月18日 11:13	470	1,600	1,900	1,500	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月19日 11:07	310	1,500	1,800	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月21日 11:12	670	4,000	5,100	2,600	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月22日 11:12	460	2,300	2,800	4,200	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月24日 11:00	190	1,100	1,300	1,700	不検出	不検出	不検出	^{238}Pu : 30		0.3	
		5月26日 11:06	320	2,400	2,800	3,100	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3	
		5月28日 10:56	110	1,000	1,200	1,000	不検出	不検出	不検出	不検出		0.5	

土壌の測定結果 (8/11)

添付V-13-4-(2)

測定場所	採取日時 (測定日時) 時刻	放射能濃度 (Bq/kg)								その他検出された核種	空気線量率 (μSv/h)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{137m} Ba	¹³² Te	¹³⁴ Cs	¹⁴⁰ La					
【89】(41km北北西)	相馬市山上並木	4月16日 10:46	1900	3800	4500							0.5	【89】
		4月18日 10:28	3100	5600	6500							0.8	
		4月19日 10:42	1700	4500	5300							0.6	
		4月20日 11:05	1300	4800	6000							0.6	
		4月21日 10:40	1100	3500	4200							0.6	
		4月22日 10:26	860	4600	5700							1.4	
		4月24日 11:10	1000	4300	5000							0.3	
		4月26日 10:46	990	5700	7100							0.3	
		4月28日 10:16	690	3600	4100							0.6	
		4月27日 10:37	660	4400	5100							0.3	
		4月29日 10:59	1500	2700	3300							0.3	
		4月29日 10:11	520	2800	3300							1.0	
		4月30日 10:22	420	2800	3600							0.5	
		5月1日 10:16	460	3300	4000							0.5	
		5月2日 10:13	370	2900	3600							0.7	
		5月2日 10:32	300	3100	3800							0.6	
		5月4日 10:41	360	3500	4200							0.7	
		5月6日 10:06	340	3400	4200							0.6	
		5月7日 11:35	290	2700	3200							0.6	
		5月8日 9:58	310	2500	3100							1.3	
		5月9日 10:19	280	2000	2600							0.6	
		5月9日 10:24	160	2500	3000	1000	不検出	不検出	不検出	不検出		1.0	
		5月11日 10:00	150	2000	2500	640	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
		5月12日 10:45	99	1400	1700	600	不検出	19	不検出	不検出		0.7	
		5月13日 10:50	120	1800	2200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月14日 10:57	150	3800	4500	2100	不検出	43	不検出	不検出		0.7	
		5月15日 10:48	190	3600	3500	1200	不検出	38	不検出	不検出		0.6	
		5月16日 10:31	190	3600	4500	1400	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
		5月17日 11:25	73	2100	2700	1200	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7	
		5月18日 10:12	140	4700	6100	1800	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
		5月19日 11:12	87	3700	4400	1800	不検出	34	不検出	不検出		0.6	
		5月20日 10:27	94	3500	4600	1200	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6	
5月21日 10:12	93	3900	4700	1300	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月22日 9:56	81	3600	4500	1100	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月23日 10:22	60	3000	3700	1600	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月24日 10:34	45	1100	1300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月25日 10:17	84	3600	4300	1900	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月26日 11:48	不検出	3400	4200	580	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月27日 13:44	41	3200	3900	1400	不検出	不検出	不検出	不検出		0.7			
5月28日 13:30	不検出	2900	3700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.6			
5月31日 12:00	18000	1300	1500							1.5			
4月1日 12:46	24000	2000	2400							1.6			
4月3日 13:33	22000	1800	2200							1.2			
4月4日 12:51	19000	1400	1700							1.5			
5月21日 12:38	19000	940	1100							1.3			
4月1日 12:02	14000	960	1100							1.4			
4月3日 12:57	9900	1200	1400							1.2			
4月4日 12:30	8200	660	800							1.1			
3月31日 13:18	4300	290	330							0.5			
4月1日 11:13	5900	600	710							0.3			
4月3日 11:51	3700	290	410							0.4			
4月4日 11:26	4300	400	440							0.6			
5月21日 14:03	14000	550	650							0.7			
4月1日 10:34	20000	1100	1300							0.8			
4月3日 11:19	14000	990	1200							0.4			
4月4日 10:50	14000	1200	1300							0.7			
4月4日 12:04	5500	1500	1800							0.8			
4月14日 13:03	2300	1300	1600							0.1			
4月15日 10:51	1600	970	1100							0.1			
4月16日 10:42	2300	1400	1900							0.0			
4月17日 10:46	1600	940	1200							0.3			
4月20日 10:42	2500	2000	2400							0.6			
4月21日 10:40	1100	1100	1300							0.6			
4月22日 10:35	430	300	370							0.5			
4月24日 10:28	1300	1600	1900							0.7			
4月27日 12:46	840	1400	1800							0.5			
4月28日 15:18	500	1000	1300							0.5			
4月29日 10:28	550	1200	1400							0.4			
4月30日 11:39	580	1200	1400							0.4			
5月1日 10:33	400	950	1200							1.1			
5月2日 10:40	140	230	290							0.2			
5月3日 10:54	540	1500	1900							0.2			
5月4日 10:59	450	1300	1500							0.2			
5月5日 10:23	360	1200	1500							0.3			
5月6日 14:49	490	1600	1900							0.4			
5月7日 10:22	380	1500	1700							0.5			
5月8日 10:18	270	1100	1200							0.4			
5月9日 10:17	270	1500	1900							0.4			
5月10日 10:16	200	1100	1400	540	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月11日 10:18	220	1700	2000	580	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月12日 11:20	190	980	1200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月13日 10:46	170	1100	1400	610	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3			
5月14日 11:32	160	1300	1500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月15日 11:08	200	1000	1200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月16日 13:12	130	1000	1200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.5			
5月17日 10:52	160	1500	2000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月18日 10:49	77	730	860	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月19日 13:20	120	1200	1400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月20日 11:57	120	2200	2600	不検出	不検出	29	不検出	不検出		0.3			
5月21日 12:02	87	820	1000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月22日 12:20	110	1900	2200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月23日 11:23	120	1300	1600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月24日 12:09	87	1200	1500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月25日 13:04	85	1400	1800	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月26日 11:50	73	1400	1800	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月27日 12:10	78	1500	1900	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.4			
5月28日 11:07	28	690	830	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3			

土壌の測定結果 (9/11)

添付V-13-4-(2)

測定場所	測定日時 (測定日時) *2	放射能濃度 (Bq/kg)								その他検出された核種	空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	備考
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Ms	¹³² Tc	¹³⁸ Cs	¹⁴⁰ La				
【79】(29km北西)	4月14日 11:24	51,000	34,000	43,000							10.7	【79】
	4月15日 11:00	44,000	40,000	49,000							10.9	
	4月16日 11:01	9,900	14,000	16,000							10.0	
	4月17日 10:12	56,000	75,000	86,000							12.7	
	4月18日 10:54	14,000	23,000	27,000							17.5	
	4月20日 15:18	49,000	99,000	120,000							11.5	
	4月21日 11:14	20,000	50,000	61,000							11.5	
	4月22日 11:49	14,000	29,000	34,000							12.0	
	4月24日 11:16	31,000	95,000	110,000							10.1	
	4月28日 10:46	17,000	71,000	88,000							6.0	
	4月29日 11:03	9,400	32,000	39,000							10.5	
	4月30日 12:36	9,900	45,000	52,000							11.1	
	5月1日 11:34	8,500	53,000	63,000							10.5	
	5月2日 14:15	9,000	31,000	38,000							11.0	
	5月3日 13:02	10,000	80,000	97,000							10.2	
	5月5日 11:43	7,100	47,000	56,000							10.1	
	5月6日 10:25	8,700	78,000	95,000							10.1	
	5月7日 15:04	4,700	52,000	64,000							10.3	
	5月8日 10:13	3,400	29,000	37,000							10.0	
	5月9日 10:14	5,300	79,000	99,000							10.1	
	5月10日 10:29	5,600	66,000	82,000	35,000	不検出	750	110	²¹⁰ Pb : 170		9.0	
	5月11日 10:13	3,000	52,000	65,000	26,000	不検出	590	110	²¹⁰ Pb : 120		10.3	
	5月12日 11:30	2,600	40,000	49,000	16,000	不検出	450	46	²¹⁰ Pb : 77		10.0	
	5月13日 11:21	5,800	63,000	78,000	36,000	不検出	640	100	²¹⁰ Pb : 130 ¹³⁷ Ms : 230		9.4	
	5月14日 10:53	3,800	68,000	85,000	29,000	不検出	680	81	²¹⁰ Pb : 110		7.4	
	5月15日 13:29	2,900	57,000	70,000	27,000	不検出	490	69	²¹⁰ Pb : 110		9.3	
	5月16日 13:40	2,100	47,000	57,000	37,000	不検出	360	52	不検出		9.7	
	5月17日 12:02	2,100	57,000	70,000	24,000	不検出	500	50	²¹⁰ Pb : 110		10.0	
	5月18日 12:07	1,000	35,000	43,000	13,000	不検出	250	45	不検出		10.2	
	5月19日 11:24	1,800	48,000	59,000	22,000	不検出	350	66	不検出		9.7	
	5月20日 12:14	2,300	64,000	79,000	26,000	不検出	440	不検出	不検出		9.5	
	5月21日 12:19	1,800	51,000	63,000	18,000	不検出	270	46	不検出		9.1	
5月22日 10:38	2,000	80,000	99,000	31,000	不検出	500	不検出	不検出		10.2		
5月23日 10:26	1,200	46,000	59,000	17,000	不検出	280	不検出	不検出		10.6		
5月24日 10:56	1,200	65,000	82,000	24,000	不検出	290	不検出	不検出		9.7		
5月25日 10:51	1,500	70,000	89,000	24,000	不検出	300	51	²¹⁰ Pb : 110		10.4		
5月26日 11:42	1,800	59,000	72,000	23,000	不検出	320	不検出	¹⁴⁰ Ga : 650		8.4		
5月27日 11:48	1,000	67,000	83,000	23,000	不検出	280	63	²¹⁰ Pb : 94		8.4		
5月28日 10:56	1,100	68,000	83,000	23,000	不検出	310	53	¹³⁷ Ms : 150		10.4		
5月30日 15:40	340,000	170,000	170,000							59.3	【83】*	
4月8日 12:10	210,000	230,000	270,000							53.5		
4月10日 14:51	130,000	130,000	150,000							52.0		
4月11日 14:45	190,000	260,000	310,000							53.5		
5月6日 10:40	31,000	350,000	430,000							41.6		
5月9日 15:22	19,000	230,000	280,000							45.0		
5月9日 10:25	18,000	210,000	250,000							42.2		
5月9日 10:49	20,000	270,000	320,000							43.8		
5月10日 10:48	14,000	180,000	230,000	94,000	不検出	2,000	640	²¹⁰ Pb : 500 ¹³⁷ Ms : 1,200		40.9		
5月25日 11:24	2,800	170,000	210,000	60,000	不検出	770	260	¹³⁷ Ms : 1,100		35.0		
4月14日 10:22	1,700	720	810							0.2	【84】	
4月15日 10:14	860	640	750							0.2		
4月16日 10:32	810	530	650							0.2		
4月17日 9:58	1,200	1,300	1,500							0.4		
4月20日 10:13	1,200	870	960							0.2		
4月21日 10:12	650	780	910							0.7		
4月22日 10:13	400	550	670							0.2		
4月26日 9:55	290	390	430							0.2		
4月27日 10:08	170	320	380							0.0		
4月28日 9:55	270	590	700							0.5		
4月29日 9:59	330	650	820							1.0		
4月30日 9:47	180	430	520							1.1		
5月1日 9:59	250	690	910							1.2		
5月2日 10:10	130	320	410							0.4		
5月3日 9:51	250	1,100	1,300							1.2		
5月4日 10:08	88	300	420							0.2		
5月5日 10:01	95	390	390							0.2		
5月6日 9:37	170	1,000	1,200							1.8		
5月7日 9:32	110	580	750							0.5		
5月8日 9:35	89	570	680							0.2		
5月9日 9:35	120	720	820							0.2		
5月10日 9:49	78	510	590	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月11日 9:41	100	780	900	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月12日 9:44	17	240	290	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月14日 9:59	67	670	780	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月15日 9:59	51	360	420	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月16日 10:05	70	990	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月17日 9:58	47	570	700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月18日 9:52	48	440	530	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月19日 9:45	33	550	660	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月21日 9:50	37	570	610	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.2		
5月28日 9:32	不検出	370	400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		0.3		
4月8日 9:40	2,600	2,000	2,400							1.3	【101】	
4月10日 9:17	3,900	1,700	2,100							1.5		
4月11日 9:19	4,000	2,100	2,500							2.2		
4月13日 10:56	3,600	4,500	5,400							0.9		
4月15日 9:33	2,800	3,600	4,200							1.0		
4月16日 9:25	3,300	4,300	5,000							1.2		
4月18日 9:40	1,200	2,000	2,500							1.0		
4月8日 15:00	7,000	5,300	6,400							1.2	【102】	
4月10日 13:46	5,800	4,400	5,300							1.2		
4月11日 14:12	4,500	3,200	3,800							1.5		
4月14日 17:07	2,700	2,600	3,000							0.8		
4月15日 15:03	4,200	5,400	6,600							1.3		
4月18日 14:12	3,100	4,800	5,300							1.7		
4月19日 14:58	5,300	6,500	8,300							1.1		
4月8日 12:45	2,000	1,400	1,800							0.6		
4月10日 12:16	1,300	570	700							0.5	【103】	
4月11日 12:20	2,000	2,200	2,800							1.5		
4月13日 18:05	2,400	2,800	3,400							0.3		
4月15日 13:13	910	820	990							0.6		
4月18日 12:45	3,000	4,700	5,600							0.6		

土壌の測定結果(10/11)

添付V-13-4-(2)

測定地点	採取日時 (測定日時)※2	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	空間線量率 (μ Sv/h)	備考	
		¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{137m} Ba	¹³² Te	¹³⁴ Cs	¹⁴⁰ La				
【104】(25km西北西)	双葉郡碓氷村	4月8日 12:41	13,000	8,300	9,700						1.7	【104】
		4月10日 16:30	8,000	6,700	7,900						2.9	
		4月11日 13:10	11,000	8,000	8,900						2.6	
		4月12日 13:14	11,000	10,000	12,000						2.4	
		4月17日 9:53	5,400	5,600	6,600						1.6	
		4月18日 11:47	3,900	5,300	6,200						3.4	
		4月20日 14:45	3,700	9,500	11,000						1.6	
		4月21日 12:20	4,000	8,000	9,800						1.8	
		4月22日 13:55	5,800	8,900	10,000						1.2	
		4月24日 12:24	2,800	8,400	9,900						1.7	
		4月25日 11:55	4,100	9,300	11,000						1.7	
		4月25日 12:12	2,000	6,700	8,100						0.9	
		4月29日 12:08	2,700	11,000	13,000						1.6	
		4月30日 13:01	2,700	10,000	13,000						1.3	
		5月1日 12:06	3,500	13,000	16,000						1.7	
		5月2日 14:42	1,800	8,400	10,000						1.1	
		5月3日 13:51	2,400	18,000	22,000						1.1	
		5月4日 15:53	1,300	7,100	8,400						1.3	
		5月5日 12:18	1,800	16,000	19,000						1.7	
		5月6日 11:15	1,900	14,000	19,000						1.6	
		5月7日 12:24	900	6,100	7,100						1.2	
		5月8日 14:03	1,700	11,000	14,000						1.4	
		5月8日 12:04	910	8,800	11,000						1.3	
		5月10日 11:20	1,100	8,800	11,000	5,000	不検出	110	不検出	不検出	1.4	
		5月11日 11:06	720	5,800	7,200	2,900	不検出	80	不検出	不検出	1.3	
		5月12日 13:43	500	4,600	5,600	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出	1.4	
		5月13日 14:04	360	5,900	7,100	1,200	不検出	73	24	不検出	1.3	
		5月14日 13:37	400	4,500	5,400	1,700	不検出	不検出	不検出	不検出	1.3	
		5月15日 14:00	580	6,800	8,300	2,700	不検出	64	不検出	不検出	1.5	
		5月16日 14:14	310	4,800	5,700	1,900	不検出	不検出	不検出	不検出	1.3	
5月17日 13:36	540	8,800	11,000	3,000	不検出	63	不検出	不検出	1.3			
5月18日 13:14	740	14,000	17,000	5,500	不検出	81	不検出	不検出	1.4			
5月19日 10:11	500	7,900	9,800	4,700	不検出	60	不検出	不検出	1.3			
5月20日 10:38	560	7,300	8,800	3,000	不検出	不検出	不検出	不検出	1.2			
5月21日 10:14	540	12,000	15,000	4,900	不検出	不検出	不検出	不検出	1.2			
5月22日 10:06	450	11,000	13,000	4,000	不検出	不検出	不検出	不検出	1.3			
5月23日 9:57	440	12,000	15,000	5,700	不検出	不検出	不検出	不検出	1.4			
5月24日 10:05	170	3,600	4,300	920	不検出	不検出	不検出	不検出	1.4			
5月25日 10:29	120	2,300	2,800	1,000	不検出	不検出	不検出	不検出	1.4			
5月26日 10:28	170	5,100	6,200	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出	1.3			
5月27日 10:20	180	5,300	6,800	1,400	不検出	不検出	不検出	不検出	1.1			
5月28日 12:23	320	12,000	14,000	2,200	不検出	不検出	不検出	²³⁵ U: 65	1.5			
【105】(21km西)	田村市野路町	4月8日 11:20	5,100	2,000	2,400					1.1	【105】	
4月10日 12:30	4,400	2,100	2,600						1.5			
4月11日 10:59	4,400	2,000	2,400						0.5			
4月13日 13:18	2,300	1,300	1,500						0.3			
【106】(30km西南西)	いちき市川前町	4月8日 12:06	1,300	940	1,200					0.6	【106】	
4月10日 12:46	770	1,100	1,400						1.2			
4月11日 10:11	700	870	1,100						0.6			
4月13日 12:20	610	840	970						0.5			
【107】(23km北北西)	南相馬市原町区	4月8日 13:21	5,800	4,400	5,300					2.8	【107】	
		4月10日 12:32	8,000	9,600	12,000					2.2		
		4月11日 12:39	6,000	8,900	11,000					3.3		
		4月13日 18:45	13,000	17,000	21,000					3.1		
		4月15日 13:37	4,600	7,000	8,200					2.3		
		4月17日 12:31	4,800	9,000	11,000					2.4		
		4月18日 13:17	5,200	10,000	12,000					1.6		
		4月20日 14:08	3,800	8,400	10,000					1.4		
		4月21日 13:22	1,800	6,800	8,500					1.9		
		4月22日 13:21	2,600	8,600	11,000					1.2		
		4月24日 14:38	1,800	9,000	9,700					2.2		
		4月25日 13:50	3,100	13,000	15,000					2.2		
		4月26日 12:54	3,100	9,000	11,000					1.6		
		4月27日 13:08	2,500	11,000	14,000					1.3		
		4月28日 14:04	1,200	12,000	15,000					2.0		
		4月29日 12:32	2,000	11,000	14,000					2.3		
		4月30日 13:12	990	6,300	7,600					1.7		
		5月1日 12:01	920	6,100	7,600					1.9		
		5月2日 12:39	460	760	990					1.8		
		5月3日 12:51	380	1,400	1,900					1.6		
		5月4日 13:11	940	7,400	8,800					1.8		
		5月5日 10:39	610	5,900	7,100					1.7		
		5月6日 12:33	840	7,800	9,700					1.8		
		5月7日 14:10	260	1,900	2,400					1.2		
		5月8日 12:16	340	3,400	4,100					1.7		
		5月9日 12:30	230	3,000	3,600					1.6		
		5月10日 13:06	780	11,000	14,000	4,300	不検出	100	39	不検出		2.3
		5月11日 12:37	500	8,200	10,000	3,100	不検出	99	不検出	^{137m} Ba: 85		2.1
		5月12日 13:22	360	6,100	7,700	3,000	不検出	64	21	^{137m} Ba: 60		2.0
		5月13日 13:37	270	6,800	8,400	2,600	不検出	79	21	^{137m} Ba: 50		2.0
5月14日 13:33	220	6,700	8,100	2,600	不検出	49	不検出	不検出	1.8			
5月15日 13:13	270	6,300	7,900	3,300	不検出	不検出	21	不検出	1.8			
5月16日 12:49	390	9,200	12,000	5,000	不検出	不検出	不検出	不検出	2.0			
5月17日 13:12	320	8,400	10,000	3,000	不検出	54	28	^{137m} Ba: 67	1.7			
5月18日 12:59	190	3,900	4,800	1,900	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			
5月19日 14:02	310	10,000	13,000	3,900	不検出	77	不検出	不検出	1.7			
5月20日 12:26	150	7,200	8,000	2,300	不検出	42	28	^{137m} Ba: 59	1.9			
5月21日 12:22	310	11,000	14,000	4,100	不検出	80	不検出	^{137m} Ba: 130	1.8			
5月22日 12:06	190	7,300	9,100	3,200	不検出	不検出	不検出	^{137m} Ba: 89	1.7			
5月23日 12:50	310	11,000	14,000	3,800	不検出	不検出	25	^{137m} Ba: 110	1.7			
5月24日 13:00	51	1,900	2,400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1.7			
5月25日 13:04	160	11,000	14,000	2,800	不検出	不検出	不検出	^{137m} Ba: 110	1.8			
5月26日 14:17	290	8,100	11,000	不検出	不検出	不検出	不検出	^{137m} Ba: 68	1.9			
5月27日 11:15	130	10,800	13,000	2,600	不検出	64	不検出	不検出	1.9			
5月28日 11:34	87	4,500	5,600	2,000	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			

土壌の測定結果(11/11)

添付V-13-4(2)

Table with columns for measurement points (測定地点), measurement dates (測定日時), radionuclides (137Cs, 134Cs, 137Cs, 137mBa, 132Te, 138Cs, 140La), activity concentrations (Bq/kg), other radionuclides (その他検出された核種), and remarks (備考). The table lists numerous measurement points across various locations like Nishimatsuyama and Yamamura, with data for each date and nuclide.

備考欄の番号はモニタリングカーによる測定箇所を示す。
137Cs、134Cs、137Cs、137mBa及び132Teの他検出された核種の空間分布について説明中。
137Cs、134Csは原子力発電所からの放射性降下物の影響によるものと見られる。
137mBaは原子力発電所からの放射性降下物の影響によるものと見られる。
132Teは原子力発電所からの放射性降下物の影響によるものと見られる。
138Csは原子力発電所からの放射性降下物の影響によるものと見られる。
140Laは原子力発電所からの放射性降下物の影響によるものと見られる。
137Cs、134Cs、137Cs、137mBa、132Te、138Cs、140Laの測定は、測定日時から測定日時までの放射能濃度を考慮して行われた。

環境試料の測定結果(1/23)

平成23年5月31日10時00分現在
文部科学省

採取地点	試料名 種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射性濃度(Bq/kg)			その他検出された核種	空間線量率 (μ Sv/h)	備考
			^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs			
【2-1】36km北西	相馬調陸群針木沢	雑草 葉菜 3月18日 12:20	2,520,000	1,880,000	1,900,000		30以上	
		雑草 葉菜 3月19日 11:40	845,000	981,000	1,010,000		26.5	
		雑草 葉菜 3月20日 12:40	2,540,000	2,580,000	2,650,000		25.8	
		雑草 葉菜 3月21日 12:32	1,330,000	1,170,000	1,240,000		20.4	
		雑草 葉菜 3月22日 12:00	1,110,000	1,570,000	1,600,000		15.3	
		雑草 葉菜 3月23日 12:25	819,000	1,560,000	1,620,000		16.8	
		雑草 葉菜 3月24日 13:05	805,000	985,000	1,050,000		13.2	
		雑草 葉菜 3月25日 12:20	400,000	389,000	398,000		12.3	
		雑草 葉菜 3月26日 12:00	1,030,000	2,810,000	2,870,000		10.2	
		雑草 葉菜 3月27日 11:40	508,000	912,000	910,000		11.2	
		雑草 葉菜 3月28日 11:50	381,000	460,000	480,000		9.6	
		雑草 葉菜 3月29日 11:10	330,000	303,000	311,000		9.2	
		雑草 葉菜 3月30日 12:25	576,000	1,820,000	1,890,000		8.5	
		雑草 葉菜 3月31日 11:30	303,000	1,570,000	1,620,000		8.0	
		雑草 葉菜 4月1日 11:30	219,000	704,000	725,000		7.7	
		雑草 葉菜 4月2日 11:24	171,000	828,000	863,000		8.6	
		雑草 葉菜 4月3日 10:55	301,000	1,390,000	1,420,000		7.7	
		雑草 葉菜 4月4日 10:05	192,000	259,000	275,000		7.2	
		雑草 葉菜 4月5日 11:31	297,000	1,390,000	1,440,000		10.6	
		雑草 葉菜 4月6日 11:23	161,000	1,050,000	1,070,000		9.5	
		雑草 葉菜 4月7日 11:07	107,000	612,000	627,000		9.1	
		雑草 葉菜 4月8日 11:30	30,900	84,100	329,000		10.2	
		雑草 葉菜 4月9日 11:15	55,700	303,000	313,000		7.8	
		雑草 葉菜 4月10日 11:20	10,100	28,800	29,200		9.5	
		雑草 葉菜 4月11日 12:05	30,900	321,000	329,000		3.9	
		雑草 葉菜 4月12日 11:42	18,900	103,000	104,000		6.4	
		雑草 葉菜 4月13日 11:04	108,000	900,000	941,000		7.2	
		雑草 葉菜 4月14日 11:15	24,100	250,000	257,000		7.7	
		雑草 葉菜 4月15日 11:30	30,900	84,100	329,000		9.4	
		雑草 葉菜 4月16日 10:55	9,180	147,000	158,000		7.3	
		雑草 葉菜 4月17日 11:20	3,160	22,000	22,500		8.4	
		雑草 葉菜 4月18日 11:05	7,080	43,500	43,500		8.5	
		雑草 葉菜 4月19日 11:23	41,200	355,000	377,000		7.4	
		雑草 葉菜 4月20日 10:52	7,030	131,000	139,000		6.6	
		雑草 葉菜 4月21日 11:05	9,590	214,000	221,000		9.4	
		雑草 葉菜 4月22日 10:51	3,040	45,100	46,400		9.3	
		雑草 葉菜 4月23日 11:15	2,150	34,800	35,700		7.0	
		雑草 葉菜 4月24日 10:55	800	19,500	20,900		6.5	
		雑草 葉菜 4月25日 12:00	1,700	48,800	50,200		6.6	
		雑草 葉菜 4月26日 11:20	2,060	58,300	62,900		7.1	
		雑草 葉菜 4月27日 11:05	1,290	40,100	43,100		7.0	
		雑草 葉菜 4月28日 11:00	796	34,700	35,800		6.7	
		雑草 葉菜 4月29日 11:05	524	9,310	9,280		7.2	
		雑草 葉菜 4月30日 11:52	1,960	48,200	50,700		8.0	
		雑草 葉菜 5月1日 11:25	1,590	58,500	62,900		8.0	
		雑草 葉菜 5月2日 11:19 (5月3日18:35)	1,200	76,000	78,000		7.4	
		雑草 葉菜 5月3日 11:19 (5月4日19:17)	630	37,000	38,000		7.5	
		雑草 葉菜 5月4日 11:10 (5月5日15:19)	190	5,000	5,500		7.2	
		雑草 葉菜 5月5日 11:08 (5月6日18:31)	不検出	3,200	3,500		8.3	
		雑草 葉菜 5月6日 11:25 (5月8日10:43)	620	36,000	38,000		8.6	
		雑草 葉菜 5月7日 11:15 (5月8日15:33)	不検出	11,000	11,000	^{136}Cs : 140	7.7	
		雑草 葉菜 5月8日 11:16 (5月9日16:12)	100	3,400	3,400	不検出	8.1	
		雑草 葉菜 5月9日 11:04 (5月10日16:42)	950	61,000	63,000	^{36}Cl : 670, ^{129m}Te : 15,000, ^{110m}Ag : 440	7.1	
		雑草 葉菜 5月10日 11:12 (5月11日16:43)	510	31,000	31,000	^{36}Cl : 290, ^{129m}Te : 6,400, ^{110m}Ag : 220	7.4	
		雑草 葉菜 5月11日 11:45 (5月12日15:40)	不検出	2,600	2,600	不検出	7.1	
		雑草 葉菜 5月12日 11:29 (5月14日15:34)	530	45,000	48,000	^{36}Cl : 340, ^{129m}Te : 9,000	6.9	
		雑草 葉菜 5月13日 10:56 (5月14日16:05)	不検出	2,600	2,800	不検出	7.5	
雑草 葉菜 5月14日 10:58 (5月15日14:23)	不検出	4,700	4,500	不検出	7.6			
雑草 葉菜 5月15日 10:55 (5月16日11:37)	不検出	5,500	5,800	不検出	7.4			
雑草 葉菜 5月16日 10:50 (5月18日15:49)	不検出	5,000	5,100	不検出	7.3			
雑草 葉菜 5月17日 11:10 (5月19日13:59)	不検出	1,800	1,800	不検出	6.9			
雑草 葉菜 5月18日 11:17 (5月19日19:00)	不検出	5,300	5,800	不検出	6.9			
雑草 葉菜 5月19日 11:22 (5月21日13:34)	不検出	7,200	7,800	不検出	6.9			
雑草 葉菜 5月20日 11:15 (5月21日14:02)	不検出	3,200	3,400	不検出	6.5			
雑草 葉菜 5月21日 10:38 (5月22日12:21)	不検出	2,800	2,700	不検出	7.3			
雑草 葉菜 5月22日 10:55	不検出	1,350	1,560	不検出	7.6			
雑草 葉菜 5月23日 11:11	不検出	8,080	8,500	不検出	7.4			
雑草 葉菜 5月24日 10:45	不検出	6,680	7,150	不検出	7.2			
雑草 葉菜 5月25日 10:42	不検出	3,030	3,320	不検出	7.3			
雑草 葉菜 5月26日 10:58	不検出	2,270	2,540	不検出	6.8			
雑草 葉菜 5月27日 10:59	不検出	3,120	3,490	不検出	7.0			
雑草 葉菜 5月28日 10:55	不検出	11,900	12,400	^{110m}Ag : 801	6.2			
雑草 葉菜 5月29日 10:47	不検出	3,280	3,650	不検出	6.6			

環境試料の測定結果 (2/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射性濃度(Bq/kg)				空間線量率 (μ Sv/h)	備考
				^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	その他検出された核種		
【2-2】(45km)北西 伊達郡川俣町	雑草	葉菜	3月18日 11:45	173,000	73,000	72,900		-	
	雑草	葉菜	3月19日 11:00	184,000	63,800	65,100		-	
	雑草	葉菜	3月20日 12:05	308,000	134,000	138,000		4.2	
	雑草	葉菜	3月21日 12:03	315,000	118,000	120,000		3.5	
	雑草	葉菜	3月22日 11:00	180,000	86,200	88,000		7.8	
	雑草	葉菜	3月23日 11:30	170,000	70,800	73,700		5.5	
	雑草	葉菜	3月23日 11:30	74,400	23,500	23,100		5.5	洗浄済*1
	雑草	葉菜	3月23日 11:30	46,200	15,800	16,000		5.5	洗浄済*1
	雑草	葉菜	3月24日 11:20	141,000	40,600	43,200		5.0	
	雑草	葉菜	3月25日 11:30	155,000	52,200	53,000		7.5	
	雑草	葉菜	3月26日 11:20	79,500	53,400	54,700		4.3	
	雑草	葉菜	3月27日 10:45	50,000	32,400	32,900		5.5	
	雑草	葉菜	3月28日 11:05	46,000	32,500	33,600		5.5	
	雑草	葉菜	3月29日 11:00	71,900	66,800	67,900		4.8	
	雑草	葉菜	3月30日 11:35	33,500	26,000	27,500		4.6	
	雑草	葉菜	3月31日 10:35	33,000	33,400	34,100		4.8	
	雑草	葉菜	4月1日 10:35	52,600	45,800	45,300		3.3	
	雑草	葉菜	4月2日 10:34	34,100	36,800	36,200		3.2	
	雑草	葉菜	4月3日 10:10	16,500	16,200	16,700		3.7	
	雑草	葉菜	4月4日 10:05	46,500	57,900	61,000		3.1	
	雑草	葉菜	4月5日 10:39	31,200	56,400	60,900		1.4	
	雑草	葉菜	4月6日 10:38	31,200	58,100	61,200		1.7	
	雑草	葉菜	4月7日 10:24	6,470	12,100	11,900		1.4	
	雑草	葉菜	4月8日 10:50	7,000	14,900	15,100		1.4	
	雑草	葉菜	4月9日 10:34	9,800	24,400	25,500		1.2	
	雑草	葉菜	4月10日 10:40	5,840	12,000	12,100		1.4	
	雑草	葉菜	4月11日 11:10	7,770	22,400	22,500		1.2	
	雑草	葉菜	4月12日 10:40	6,140	19,100	20,000		0.9	
	雑草	葉菜	4月13日 10:25	24,200	71,900	73,400		1.1	
	雑草	葉菜	4月14日 10:31	62,800	166,000	180,000		1.2	
	雑草	葉菜	4月15日 10:50	7,770	6,380	22,500		1.3	
	雑草	葉菜	4月16日 10:10	1,710	4,470	4,860		1.1	
	雑草	葉菜	4月17日 10:40	690	6,900	6,870		1.1	
	雑草	葉菜	4月18日 10:15	891	2,510	2,410		1.2	
	雑草	葉菜	4月19日 10:34	817	3,280	3,050		0.9	
	雑草	葉菜	4月20日 10:07	884	3,670	3,710		1.0	
	雑草	葉菜	4月21日 10:15	675	1,760	1,680		1.2	
	雑草	葉菜	4月22日 10:08	1,030	1,680	1,900		1.0	
	雑草	葉菜	4月23日 10:29	301	1,070	1,070		1.0	
	雑草	葉菜	4月24日 10:08	392	2,900	3,190		1.0	
	雑草	葉菜	4月25日 11:02	381	2,320	2,400		1.3	
	雑草	葉菜	4月26日 10:37	321	1,570	1,570		1.3	
	雑草	葉菜	4月27日 10:20	430	1,850	2,100		1.3	
	雑草	葉菜	4月28日 10:15	171	1,800	1,810		1.2	
	雑草	葉菜	4月29日 10:20	251	2,590	2,770		1.3	
	雑草	葉菜	4月30日 10:51	305	2,670	2,730		1.4	
	雑草	葉菜	5月1日 10:37	1,300	19,900	20,100		1.3	
	雑草	葉菜	5月2日 10:32 (5月3日18:35)	180	3,700	3,300		1.3	
	雑草	葉菜	5月3日 10:43 (5月4日19:05)	不検出	640	660		1.2	
	雑草	葉菜	5月4日 10:30 (5月5日15:18)	不検出	1,300	1,300		1.1	
	雑草	葉菜	5月5日 10:32 (5月6日18:27)	不検出	810	880		1.1	
	雑草	葉菜	5月6日 10:44 (5月8日10:43)	58	380	360		1.1	
	雑草	葉菜	5月7日 10:32 (5月8日15:30)	不検出	1,200	1,400	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月8日 10:32 (5月9日16:14)	不検出	730	790	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月9日 10:22 (5月10日16:41)	230	6,200	6,500	^{136}Cs : 88	1.4	
	雑草	葉菜	5月10日 10:46 (5月11日16:56)	190	7,100	8,300	^{136}Cs : 120	1.2	
	雑草	葉菜	5月11日 11:12 (5月12日15:37)	47	820	820	不検出	1.3	
	雑草	葉菜	5月12日10:55 (5月14日15:22)	不検出	680	620	不検出	1.4	
	雑草	葉菜	5月13日 10:35 (5月14日15:53)	不検出	620	610	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月14日 10:20 (5月15日14:01)	不検出	1,400	1,400	不検出	1.3	
	雑草	葉菜	5月15日 10:20 (5月16日17:24)	不検出	6,300	6,200	不検出	1.3	
	雑草	葉菜	5月16日 10:10 (5月18日15:40)	不検出	2,000	2,000	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月17日 10:30 (5月19日13:58)	不検出	440	540	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月18日 10:35 (5月19日10:40)	不検出	500	510	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月19日 10:40 (5月21日13:35)	不検出	570	790	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月20日 10:30 (5月21日13:50)	不検出	5,800	5,900	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月21日 10:05 (5月22日12:18)	不検出	970	890	不検出	1.1	
	雑草	葉菜	5月22日 10:13	不検出	2,220	2,530	不検出	1.3	
	雑草	葉菜	5月23日 10:31	不検出	245	348	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月24日 10:07	不検出	559	622	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月25日 10:10	不検出	678	708	不検出	1.3	
	雑草	葉菜	5月26日 10:16	不検出	1,450	1,480	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月27日 10:18	不検出	485	534	不検出	1.2	
	雑草	葉菜	5月28日 10:20	不検出	2,130	2,260	不検出	1.0	
	雑草	葉菜	5月29日 10:17	不検出	55.4	66.3	不検出	1.2	

環境試料の測定結果(3/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/kg)				空間線量率 (μ Sv/h)	備考
				131 I	137 Cs	137 Bs	その他検出された核種		
【2-3】(41 km西) 田村市船引町船引31	雑草	葉菜	3月18日 11:50	36,000	39,700	40,100		1.6	
	雑草	葉菜	3月19日 11:35	66,000	35,500	36,500		0.8	
	雑草	葉菜	3月20日 12:40	75,700	49,200	50,000		0.7	
	雑草	葉菜	3月21日 12:30	30,800	24,200	25,000		0.7	
	雑草	葉菜	3月22日 11:30	43,200	25,300	25,000		1.4	
	雑草	葉菜	3月23日 11:50	24,100	16,200	17,000		1.0	
	雑草	葉菜	3月24日 11:35	29,400	31,800	32,600		0.5	
	雑草	葉菜	3月25日 13:28	23,400	13,800	13,700		0.8	
	雑草	葉菜	3月26日 11:35	33,100	10,800	10,700		0.6	
	雑草	葉菜	3月27日 11:45	33,300	18,900	19,800		0.4	
	雑草	葉菜	3月28日 11:36	37,000	22,600	22,400		0.7	
	雑草	葉菜	3月29日 13:35	24,800	33,800	34,500		0.7	
	雑草	葉菜	3月30日 12:30	18,600	18,900	18,800		0.5	
	雑草	葉菜	3月31日 12:10	15,500	11,300	11,500		0.5	
	雑草	葉菜	4月1日 12:21	15,800	17,800	17,200		0.3	
	雑草	葉菜	4月2日 11:29	15,500	14,800	14,500		0.3	
	雑草	葉菜	4月3日 11:28	9,640	5,880	6,140		0.3	
	雑草	葉菜	4月4日 11:25	8,760	6,940	6,810		0.3	
	雑草	葉菜	4月5日 11:42	7,450	6,980	7,480		0.4	
	雑草	葉菜	4月6日 11:24	6,380	7,690	8,020		0.4	
	雑草	葉菜	4月7日 11:24	2,600	2,440	2,330		0.4	
	雑草	葉菜	4月8日 11:39	9,620	3,510	3,630		0.4	
	雑草	葉菜	4月9日 11:23	1,140	1,710	1,720		0.3	
	雑草	葉菜	4月10日 11:00	1,520	1,680	1,750		0.4	
	雑草	葉菜	4月11日 11:00	709	384	390		0.4	
	雑草	葉菜	4月12日 11:17	773	1,070	1,200		0.4	
	雑草	葉菜	4月13日 11:13	1,460	2,940	2,980		0.3	
	雑草	葉菜	4月14日 11:28	1,280	6,290	6,250		0.3	
	雑草	葉菜	4月15日 11:30	709	606	390		0.3	
	雑草	葉菜	4月16日 11:15	243	948	927		0.3	
	雑草	葉菜	4月17日 11:06	229	662	650		0.3	
	雑草	葉菜	4月18日 11:04	1,840	8,230	8,540		0.3	
	雑草	葉菜	4月19日 13:13	801	3,530	3,780		0.2	
	雑草	葉菜	4月20日 11:15	227	439	384		0.3	
	雑草	葉菜	4月21日 11:40	251	518	508		0.3	
	雑草	葉菜	4月22日 11:23	206	443	436		0.3	
	雑草	葉菜	4月23日 11:23	218	846	856		0.3	
	雑草	葉菜	4月24日 11:08	111	159	195		0.3	
	雑草	葉菜	4月25日 13:40	67	121	170		0.3	
	雑草	葉菜	4月26日 12:30	255	2,700	2,830		0.2	
	雑草	葉菜	4月27日 11:50	不検出	278	273		0.2	
	雑草	葉菜	4月28日 11:55	266	4,920	5,000		0.2	
	雑草	葉菜	4月29日 11:30	不検出	3,070	2,920		0.2	
	雑草	葉菜	4月30日 11:50	不検出	547	561		0.2	
	雑草	葉菜	5月1日 11:47	266	3,880	4,150		0.3	
	雑草	葉菜	5月2日 11:16 (5月3日18:39)	不検出	740	700		0.3	
	雑草	葉菜	5月3日 11:38 (5月4日18:54)	不検出	110	160		0.3	
	雑草	葉菜	5月4日 11:23 (5月5日15:07)	不検出	2,300	2,400		0.2	
	雑草	葉菜	5月5日 11:35 (5月6日18:15)	不検出	130	110		0.3	
	雑草	葉菜	5月6日 11:46 (5月8日10:47)	100	95	83		0.2	
	雑草	葉菜	5月7日 11:45 (5月8日15:27)	68	280	320	不検出	0.2	
	雑草	葉菜	5月8日 11:47 (5月9日16:11)	74	81	120	不検出	0.3	
	雑草	葉菜	5月9日 12:10 (5月10日16:17)	不検出	120	140	不検出	0.2	
	雑草	葉菜	5月10日 11:46 (5月11日17:18)	不検出	270	300	不検出	0.2	
	雑草	葉菜	5月11日 11:50 (5月12日15:30)	不検出	110	99	不検出	0.2	
	雑草	葉菜	5月12日12:37 (5月14日15:19)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
	雑草	葉菜	5月13日11:42 (5月14日15:51)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
雑草	葉菜	5月14日13:10 (5月15日13:58)	不検出	45	62	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月15日11:20 (5月16日17:22)	不検出	140	100	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月16日11:25 (5月18日15:26)	不検出	89	不検出	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月17日12:05 (5月19日13:52)	不検出	1,800	1,700	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月18日12:20 (5月19日18:46)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月19日11:50 (5月21日13:32)	不検出	120	180	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月20日11:40 (5月21日13:49)	不検出	120	92	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月21日11:28 (5月22日12:16)	不検出	71	86	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月22日 10:21	不検出	101	120	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月23日 11:50	不検出	471	不検出	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月24日 11:42	不検出	不検出	172	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月25日 11:43	不検出	298	326	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月26日 11:22	不検出	84.3	113	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月27日 11:15	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月28日 11:07	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2		
雑草	葉菜	5月29日 10:56	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2		

環境試料の測定結果(4/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採期日時 (測定日時)*2	放射性濃度(Bq/kg)			その他検出された核種	空間線量率 (μ Sv/h)	備考	
				131 I	134 Bs	137 Bs				
【2-4】(25km以内)	南相馬市原町区 高見町	雑草	葉菜	3月18日 13:30	86,600	16,700	17,800		-	
		雑草	葉菜	3月19日 13:00	455,000	23,800	24,900		-	
		雑草	葉菜	3月20日 14:30	497,000	23,500	24,700		3.4	
		雑草	葉菜	3月21日 14:07	289,000	12,700	13,400		2.8	
		雑草	葉菜	3月22日 13:35	140,000	16,100	17,200		1.8	
		雑草	葉菜	3月23日 14:10	185,000	16,400	17,200		1.1	
		雑草	葉菜	3月24日 14:40	184,000	25,500	27,900		1.2	
		雑草	葉菜	3月25日 14:20	217,000	16,500	16,800		0.7	
		雑草	葉菜	3月26日 13:50	83,700	9,770	10,500		1.3	
		雑草	葉菜	3月27日 13:25	161,000	37,400	39,900		1.4	
		雑草	葉菜	3月28日 13:27	113,000	23,000	23,900		0.7	
		雑草	葉菜	3月29日 13:30	109,000	15,800	17,000		1.0	
		雑草	葉菜	3月30日 14:45	113,000	12,200	13,100		0.0~1.3	
		雑草	葉菜	3月31日 13:15	65,100	20,500	20,600		1.4	
		雑草	葉菜	4月1日 13:40	44,900	11,900	12,400		1.2	
		雑草	葉菜	4月2日 13:13	89,200	26,600	28,400		0.5	
		雑草	葉菜	4月3日 12:35	170,000	79,600	84,200		1.0	
		雑草	葉菜	4月4日 12:20	55,500	20,200	21,500		0.7	
		雑草	葉菜	4月5日 13:05	66,900	52,900	55,200		0.7	
		雑草	葉菜	4月6日 13:03	45,700	21,400	22,900		0.6	
		雑草	葉菜	4月7日 12:48	21,200	14,400	15,000		0.6	
		雑草	葉菜	4月8日 13:00	22,800	8,500	8,700		0.7	
		雑草	葉菜	4月9日 13:00	9,560	4,510	4,890		0.8	
		雑草	葉菜	4月10日 13:00	15,600	11,100	12,300		0.6	
		雑草	葉菜	4月11日 14:00	24,800	21,100	22,300		0.6	
		雑草	葉菜	4月12日 13:26	14,100	9,970	10,500		0.6	
		雑草	葉菜	4月13日 12:44	7,550	7,090	7,360		0.6	
		雑草	葉菜	4月14日 12:58	8,430	2,530	2,630		0.5	
		雑草	葉菜	4月15日 13:00	24,800	2,770	22,300		0.6	
		雑草	葉菜	4月16日 12:35	13,600	11,200	12,700		0.5	
		雑草	葉菜	4月17日 13:05	4,790	3,010	2,890		0.6	
		雑草	葉菜	4月18日 12:40	4,060	2,720	2,780		0.6	
		雑草	葉菜	4月19日 12:55	3,420	2,690	2,960		0.5	
		雑草	葉菜	4月20日 12:24	4,460	6,580	7,210		0.5	
		雑草	葉菜	4月21日 12:33	3,500	3,440	3,580		0.6	
		雑草	葉菜	4月22日 12:20	4,010	1,750	1,820		0.6	
		雑草	葉菜	4月23日 13:01	3,270	1,410	1,590		0.5	
		雑草	葉菜	4月24日 12:31	5,970	2,570	2,900		0.6	
		雑草	葉菜	4月25日 14:35	4,140	1,850	1,850		0.5	
		雑草	葉菜	4月26日 13:41	6,770	2,580	2,600		0.6	
		雑草	葉菜	4月27日 13:06	3,430	2,020	2,180		0.6	
		雑草	葉菜	4月28日 13:03	4,790	2,770	2,920		0.5	
		雑草	葉菜	4月29日 12:55	2,470	1,750	1,820		0.6	
		雑草	葉菜	4月30日 14:05	1,510	1,480	1,660		0.5	
		雑草	葉菜	5月1日 13:40	2,040	1,480	1,910		0.6	
		雑草	葉菜	5月2日 13:39 (5月3日19:36)	1,600	1,300	1,400		0.6	
		雑草	葉菜	5月3日 13:32 (5月4日19:32)	730	780	840		0.5	
		雑草	葉菜	5月4日 13:25 (5月5日15:14)	1,000	1,200	1,200		0.6	
		雑草	葉菜	5月5日 13:54 (5月6日18:16)	1,100	1,000	1,100		0.6	
		雑草	葉菜	5月6日 14:08 (5月8日10:44)	920	940	1,100		0.6	
		雑草	葉菜	5月7日 13:27 (5月8日15:29)	1,600	1,300	1,400	不検出	0.6	
		雑草	葉菜	5月8日 13:45 (5月9日16:13)	480	680	880	不検出	0.5	
		雑草	葉菜	5月9日 12:58 (5月10日16:19)	560	850	810	不検出	0.6	
		雑草	葉菜	5月10日 13:42 (5月11日17:01)	560	1,000	1,000	不検出	0.5	
		雑草	葉菜	5月11日 13:36 (5月12日15:31)	490	760	890	不検出	0.5	
雑草	葉菜	5月12日13:50 (5月14日15:20)	610	1,800	1,600	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月13日12:38 (5月14日15:51)	290	940	900	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月14日12:33 (5月15日13:59)	370	730	890	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月15日12:40 (5月16日17:23)	170	630	530	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月16日12:25 (5月18日15:33)	190	560	560	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月17日12:40 (5月19日13:53)	240	320	310	不検出	0.4			
雑草	葉菜	5月18日13:10 (5月19日18:40)	160	670	520	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月19日13:33 (5月21日13:33)	420	990	1,200	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月20日14:10 (5月21日13:50)	240	510	520	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月21日12:05 (5月22日12:27)	310	1,200	1,200	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月22日 13:10	144	286	288	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月23日 13:25	324	461	516	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月24日 12:18	391	642	666	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月25日 12:10	387	473	473	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月26日 12:33	282	360	495	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月27日 12:45	412	795	825	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月28日 12:43	352	2,290	2,360	不検出	0.5			
雑草	葉菜	5月29日 12:10	105	1,080	1,150	不検出	0.4			

環境試料の測定結果(5/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/kg)				空間線量率 (μ Sv/h)	備考	
				131 I	134 I 137 Cs	137 Cs	その他検出された核種			
【2-5】(39km西南西)	田村郡小野町小野新町	雑草	葉菜	3月18日 12:35	161,000	28,900	28,300		0.9	
		雑草	葉菜	3月19日 12:15	201,000	70,400	73,800		0.7	
		雑草	葉菜	3月20日 13:50	36,900	11,500	11,700		0.6	
		雑草	葉菜	3月21日 13:40	20,300	11,300	11,200		0.4	
		雑草	葉菜	3月22日 12:40	32,000	8,100	8,120		0.5	
		雑草	葉菜	3月23日 12:50	22,300	10,100	10,300		0.5	
		雑草	葉菜	3月24日 13:18	29,700	4,900	4,900		0.4	
		雑草	葉菜	3月25日 11:39	21,800	7,550	8,040		0.4	
		雑草	葉菜	3月26日 11:50	25,800	5,100	5,150		0.6	
		雑草	葉菜	3月27日 11:10	16,600	5,310	4,970		0.5	
		雑草	葉菜	3月28日 11:25	16,700	4,270	4,550		-	
		雑草	葉菜	3月29日 11:30	16,700	3,840	3,770		0.3	
		雑草	葉菜	3月30日 11:08	10,300	6,200	6,280		0.3	
		雑草	葉菜	3月31日 11:11	9,960	6,740	6,600		0.3	
		雑草	葉菜	4月1日 10:52	9,390	5,320	5,470		0.3	
		雑草	葉菜	4月2日 10:46	6,590	3,370	3,830		0.3	
		雑草	葉菜	4月3日 10:20	5,400	3,190	3,160		0.3	
		雑草	葉菜	4月4日 10:17	4,080	3,890	4,090		0.3	
		雑草	葉菜	4月5日 10:52	5,170	3,310	3,570		0.3	
		雑草	葉菜	4月6日 10:38	4,230	2,670	2,780		0.3	
		雑草	葉菜	4月7日 10:54	2,690	2,290	2,300		0.2	
		雑草	葉菜	4月8日 10:44	933	978	962		0.2	
		雑草	葉菜	4月9日 10:53	601	421	499		0.3	
		雑草	葉菜	4月10日 10:40	637	375	420		0.2	
		雑草	葉菜	4月11日 10:44	357	291	323		0.2	
		雑草	葉菜	4月12日 10:51	695	546	446		0.2	
		雑草	葉菜	4月13日 10:30	620	526	520		0.2	
		雑草	葉菜	4月14日 10:56	336	364	383		0.2	
		雑草	葉菜	4月15日 10:57	357	452	323		0.2	
		雑草	葉菜	4月16日 10:30	165	241	194		0.3	
		雑草	葉菜	4月17日 10:32	115	209	182		0.2	
		雑草	葉菜	4月18日 10:21	171	197	146		0.2	
		雑草	葉菜	4月19日 10:54	726	211	299		0.2	
		雑草	葉菜	4月20日 10:33	362	258	200		0.2	
		雑草	葉菜	4月21日 10:45	248	163	144		0.2	
		雑草	葉菜	4月22日 10:26	279	280	285		0.2	
		雑草	葉菜	4月23日 10:48	180	217	156		0.2	
		雑草	葉菜	4月24日 10:20	118	89.5	98.5		0.2	
		雑草	葉菜	4月25日 11:20	72.2	不検出	81.9		0.2	
		雑草	葉菜	4月26日 10:51	97.3	92.2	111		0.2	
		雑草	葉菜	4月27日 10:55	95.6	92.8	81.4		0.2	
		雑草	葉菜	4月28日 10:45	75.3	155	174		0.2	
		雑草	葉菜	4月29日 14:34	不検出	60.7	57.5		0.2	
		雑草	葉菜	4月30日 11:05	59.3	89.8	98.8		0.2	
		雑草	葉菜	5月1日 10:45	不検出	不検出	77.8		0.2	
		雑草	葉菜	5月2日 11:01 (5月3日18:31)	不検出	不検出	不検出		0.2	
		雑草	葉菜	5月3日 11:04 (5月4日19:06)	不検出	200.0	21.00		0.2	
		雑草	葉菜	5月4日 10:33 (5月5日15:22)	不検出	不検出	不検出		0.2	
		雑草	葉菜	5月5日 10:59 (5月6日18:30)	不検出	300	310		0.2	
		雑草	葉菜	5月6日 10:42 (5月8日10:45)	不検出	140	不検出		0.2	
		雑草	葉菜	5月7日 10:42 (5月8日15:32)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
		雑草	葉菜	5月8日 10:35 (5月9日16:13)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
		雑草	葉菜	5月9日 10:50 (5月10日16:40)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2	
		雑草	葉菜	5月10日 10:55 (5月11日16:21)	不検出	不検出	56	不検出	0.2	
		雑草	葉菜	5月11日 11:00 (5月11日15:39)	不検出	130	120	不検出	0.2	
雑草	葉菜	5月12日 10:45 (5月14日15:23)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月13日 10:44 (5月14日15:55)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月14日 11:20 (5月15日14:03)	不検出	2,000	1,800	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月15日 10:20 (5月16日17:25)	不検出	不検出	56	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月16日 10:31 (5月18日15:41)	不検出	70	93	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月17日 10:34 (5月19日14:02)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月18日 10:40 (5月19日18:59)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月19日 10:30 (5月21日13:33)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月20日 11:09 (5月21日13:51)	不検出	66	65	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月21日 10:26 (5月22日12:20)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月22日 10:30	不検出	不検出	73.0	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月23日 11:15	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月24日 10:35	不検出	不検出	60.3	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月25日 10:35	不検出	不検出	28.8	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月26日 10:28	不検出	27.8	42.3	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月27日 10:20	不検出	33.4	45.3	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月28日 10:40	不検出	47.4	不検出	不検出	0.2			
雑草	葉菜	5月29日 10:36	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2			

環境試料の測定結果 (6/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/kg)				空間線量率 (μ Sv/h)	備考		
				^{131}I	^{137}Cs	^{137}Cs	その他検出された核種				
【2-6】(43km南南西)	いわき市 平字梅本	雑草	葉菜	3月18日 13:40	468,000	10,100	10,100		—		
		雑草	葉菜	3月19日 13:15	690,000	17,400	17,400		—		
		雑草	葉菜	3月20日 15:25	548,000	17,200	17,500		0.6		
		雑草	葉菜	3月21日 15:10	115,000	2,470	2,380		1.5		
		雑草	葉菜	3月22日 13:50	448,000	29,400	18,600		0.6		
		雑草	葉菜	3月23日 14:20	451,000	19,100	30,300		1.0		
		雑草	葉菜	3月24日 15:00	454,000	6,590	6,210		1.4		
		雑草	葉菜	3月25日 13:45	170,000	6,800	6,660		1.1		
		雑草	葉菜	3月26日 13:50	291,000	11,800	12,800		1.0		
		雑草	葉菜	3月27日 12:30	126,000	6,760	7,470		0.8		
		雑草	葉菜	3月28日 12:50	71,800	4,460	4,370		0.3		
		雑草	葉菜	3月29日 13:05	132,000	8,920	9,310		0.7		
		雑草	葉菜	3月30日 12:30	121,000	9,630	10,100		0.3		
		雑草	葉菜	3月31日 12:51	81,800	4,910	4,990		0.7		
		雑草	葉菜	4月1日 12:19	166,000	7,300	7,180		0.8		
		雑草	葉菜	4月2日 12:03	89,200	3,040	2,980		1.4		
		雑草	葉菜	4月3日 11:45	35,600	3,540	3,320		0.4		
		雑草	葉菜	4月4日 11:46	110,000	13,000	13,300		0.7		
		雑草	葉菜	4月5日 12:10	46,800	4,060	4,190		0.4		
		雑草	葉菜	4月6日 12:04	37,500	5,140	5,150		0.4		
		雑草	葉菜	4月7日 12:22	15,000	1,970	1,890		0.4		
		雑草	葉菜	4月8日 12:07	11,600	2,700	2,620		0.3		
		雑草	葉菜	4月9日 12:18	10,300	2,310	2,340		0.3		
		雑草	葉菜	4月10日 12:09	18,600	3,970	4,150		0.4		
		雑草	葉菜	4月11日 12:18	12,300	2,390	2,170		0.3		
		雑草	葉菜	4月12日 12:14	10,400	3,210	3,310		0.3		
		雑草	葉菜	4月13日 12:00	9,950	1,900	1,970		0.3		
		雑草	葉菜	4月14日 12:28	7,090	1,830	1,790		0.3		
		雑草	葉菜	4月15日 12:35	12,300	1,060	2,170		0.3		
		雑草	葉菜	4月16日 11:56	12,700	3,730	4,050		0.3		
		雑草	葉菜	4月17日 12:00	2,490	1,300	1,250		0.3		
		雑草	葉菜	4月18日 11:48	3,740	1,100	1,110		0.3		
		雑草	葉菜	4月19日 12:20	1,890	687	744		0.3		
		雑草	葉菜	4月20日 12:02	2,460	678	683		0.2		
		雑草	葉菜	4月21日 12:12	2,550	749	822		0.2		
		雑草	葉菜	4月22日 11:50	1,720	553	562		0.2		
		雑草	葉菜	4月23日 12:14	1,090	418	463		0.2		
		雑草	葉菜	4月24日 11:32	1,380	656	644		0.2		
		雑草	葉菜	4月25日 12:30	975	621	580		0.2		
		雑草	葉菜	4月26日 12:31	1,030	633	667		0.2		
		雑草	葉菜	4月27日 12:27	881	758	774		0.3		
		雑草	葉菜	4月28日 12:20	589	466	428		0.2		
		雑草	葉菜	4月28日 12:10	467	531	513		0.3		
		雑草	葉菜	4月30日 12:35	234	445	368		0.2		
		雑草	葉菜	5月1日 12:18	296	472	394		0.2		
				雑草	葉菜	5月2日 12:36 (5月3日18:36)	170	480	330		0.2
				雑草	葉菜	5月3日 12:44 (5月4日18:59)	270	370	490		0.2
				雑草	葉菜	5月4日 12:05 (5月5日15:06)	400	550	500		0.2
				雑草	葉菜	5月5日 12:40 (5月6日18:14)	52	510	540		0.2
				雑草	葉菜	5月6日 12:12 (5月8日10:44)	110	410	390		0.2
				雑草	葉菜	5月7日 12:22 (5月8日15:27)	120	270	350	不検出	0.2
				雑草	葉菜	5月8日 12:10 (5月9日16:11)	80	340	290	不検出	0.2
				雑草	葉菜	5月9日 12:18 (5月10日16:15)	91	490	540	不検出	0.2
				雑草	葉菜	5月10日 12:30 (5月11日17:06)	160	270	290	不検出	0.2
				雑草	葉菜	5月11日 12:50 (5月12日15:27)	110	350	430	不検出	0.2
				雑草	葉菜	5月12日12:22 (5月14日15:18)	79	240	190	不検出	0.2
				雑草	葉菜	5月13日12:27 (5月14日15:49)	不検出	270	250	不検出	0.2
		雑草	葉菜	5月14日12:00 (5月15日13:57)	46	290	250	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月15日11:55 (5月16日17:20)	不検出	170	170	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月16日12:07 (5月18日15:27)	不検出	200	210	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月17日12:30 (5月19日13:49)	不検出	150	210	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月18日12:06 (5月19日18:44)	不検出	不検出	不検出	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月19日12:00 (5月21日13:31)	不検出	150	220	不検出	0.3		
		雑草	葉菜	5月20日13:04 (5月21日13:48)	不検出	240	190	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月21日12:08 (5月22日12:14)	不検出	190	200	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月22日 12:10	83.8	182	146	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月23日 13:25	120	375	412	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月24日 12:07	不検出	195	208	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月25日 12:21	89.4	274	277	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月26日 12:11	77.8	708	860	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月27日 12:06	33.8	180	163	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月28日 12:11	不検出	94.8	116	不検出	0.2		
		雑草	葉菜	5月29日 11:59	不検出	125	127	不検出	0.2		

環境試料の測定結果(7/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射能濃度(Bq/kg)				空間線量率 (μ Sv/h)	備考	
				^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	その他検出された核種			
[2-7] (34km西北西)	伊達郡山俣町山 木屋	雑草	葉菜	3月25日 15:07	663,000	491,000	497,000		12.0	
		雑草	葉菜	3月26日 14:03	488,000	561,000	571,000		8.8	
		雑草	葉菜	3月27日 13:44	402,000	484,000	490,000		8.7	
		雑草	葉菜	3月28日 13:39	443,000	674,000	689,000		8.4	
		雑草	葉菜	3月29日 14:50	242,000	381,000	383,000		8.0	
		雑草	葉菜	3月30日 14:00	267,000	330,000	338,000		13.9~15.4	
		雑草	葉菜	3月31日 13:40	227,000	451,000	465,000		6.9	
		雑草	葉菜	4月1日 14:23	503,000	959,000	968,000		6.5	
		雑草	葉菜	4月2日 13:30	256,000	776,000	811,000		6.5	
		雑草	葉菜	4月3日 13:22	153,000	361,000	373,000		6.0	
		雑草	葉菜	4月4日 13:24	119,000	374,000	367,000		5.8	
		雑草	葉菜	4月5日 13:40	189,000	395,000	409,000		3.0	
		雑草	葉菜	4月6日 12:57	162,000	270,000	275,000		3.0	
		雑草	葉菜	4月7日 13:02	90,000	206,000	211,000		-	
		雑草	葉菜	4月8日 13:13	50,100	169,000	173,000		2.6	
		雑草	葉菜	4月9日 12:51	18,700	36,300	37,500		2.4	
		雑草	葉菜	4月10日 12:37	33,900	110,000	113,000		2.4	
		雑草	葉菜	4月11日 12:22	4,800	17,700	17,900		2.4	
		雑草	葉菜	4月12日 12:28	36,600	128,000	129,000		3.0	
		雑草	葉菜	4月13日 12:46	21,500	90,200	97,400		2.9	
		雑草	葉菜	4月14日 12:55	26,700	160,000	166,000		2.8	
		雑草	葉菜	4月15日 12:42	4,800	130,000	17,900		2.9	
		雑草	葉菜	4月16日 12:35	22,800	85,700	92,700		2.7	
		雑草	葉菜	4月17日 12:23	15,500	75,500	80,800		2.8	
		雑草	葉菜	4月18日 12:16	12,500	62,600	66,000		2.2	
		雑草	葉菜	4月19日 14:56	2,120	36,100	36,600		2.1	
		雑草	葉菜	4月20日 12:45	12,500	101,000	105,000		2.5	
		雑草	葉菜	4月21日 13:15	12,400	93,300	98,300		2.4	
		雑草	葉菜	4月22日 12:55	5,310	53,600	56,000		2.6	
		雑草	葉菜	4月23日 12:52	4,480	62,100	63,200		2.2	
		雑草	葉菜	4月24日 13:12	724	6,570	6,760		2.2	
		雑草	葉菜	4月25日 16:00	4,750	61,100	63,200		1.5	
		雑草	葉菜	4月26日 14:15	26,900	233,000	244,000		2.2	
		雑草	葉菜	4月27日 13:28	561	9,500	9,120		2.1	
		雑草	葉菜	4月28日 13:25	3,960	57,200	56,400		2.0	
		雑草	葉菜	4月28日 12:51	2,480	43,500	45,000		2.2	
		雑草	葉菜	4月30日 13:25	4,890	112,000	118,000		2.0	
		雑草	葉菜	5月1日 13:13	1,600	15,100	15,800		2.0	
		雑草	葉菜	5月2日 12:31 (5月3日18:40)	不検出	7,500	7,600		2.4	
		雑草	葉菜	5月3日 13:02 (5月4日19:11)	1,100	27,000	27,000		2.4	
		雑草	葉菜	5月4日 13:08 (5月5日15:19)	不検出	6,500	6,900		2.0	
		雑草	葉菜	5月5日 13:05 (5月6日18:28)	170	2,500	2,900		2.3	
		雑草	葉菜	5月6日 13:24 (5月8日10:48)	580	18,000	20,000		2.4	
		雑草	葉菜	5月7日 13:16 (5月8日15:31)	不検出	2,400	2,700	不検出	2.4	
		雑草	葉菜	5月8日 13:30 (5月8日16:15)	190	3,400	3,700	不検出	2.4	
		雑草	葉菜	5月8日 13:45 (5月10日16:42)	180	1,400	1,200	不検出	2.6	
		雑草	葉菜	5月10日 13:29 (5月11日17:03)	不検出	3,700	3,600	不検出	2.9	
		雑草	葉菜	5月11日 13:15 (5月12日15:38)	180	3,000	3,200	不検出	2.9	
		雑草	葉菜	5月12日14:11 (5月14日15:22)	95	2,900	3,100	不検出	2.6	
		雑草	葉菜	5月13日13:14 (5月14日15:53)	不検出	2,000	2,100	不検出	2.8	
雑草	葉菜	5月14日14:40 (5月15日14:01)	不検出	1,400	1,500	不検出	2.8			
雑草	葉菜	5月15日13:00 (5月16日17:25)	不検出	1,100	1,300	不検出	2.8			
雑草	葉菜	5月16日13:00 (5月18日15:40)	不検出	1,700	1,500	不検出	2.8			
雑草	葉菜	5月17日13:35 (5月19日13:59)	不検出	6,500	6,300	不検出	2.6			
雑草	葉菜	5月18日14:15 (5月19日18:59)	不検出	900	1,100	不検出	2.9			
雑草	葉菜	5月19日14:13 (5月21日13:35)	不検出	1,100	1,200	不検出	2.6			
雑草	葉菜	5月20日13:53 (5月21日13:50)	不検出	1,100	1,200	不検出	2.5			
雑草	葉菜	5月21日14:01 (5月22日12:19)	不検出	500	540	不検出	2.7			
雑草	葉菜	5月22日 13:55	不検出	900	873	不検出	2.7			
雑草	葉菜	5月23日 13:47	不検出	1,010	1,120	不検出	2.8			
雑草	葉菜	5月24日 13:33	不検出	1,010	1,120	不検出	2.8			
雑草	葉菜	5月25日 13:44	不検出	611	643	不検出	2.5			
雑草	葉菜	5月26日 12:25	不検出	1,040	1,120	不検出	2.7			
雑草	葉菜	5月27日 12:35	不検出	2,660	2,670	不検出	2.7			
雑草	葉菜	5月28日 12:08	不検出	436	483	不検出	2.7			
雑草	葉菜	5月29日 11:50	不検出	681	657	不検出	2.6			

環境試料の測定結果(8/23)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*2	放射線濃度(Bq/kg)				その他検出された核種	空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	備考
				^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs				
【2-8】(50km北西)	伊達市月詔町	雑草	葉菜	3月25日 16:18	77,100	39,800	40,700		—	
		雑草	葉菜	3月26日 15:13	39,400	24,500	24,000		—	
		雑草	葉菜	3月27日 15:50	43,900	43,200	44,600		—	
		雑草	葉菜	3月28日 14:37	43,300	52,100	52,000		—	
		雑草	葉菜	3月29日 15:50	37,100	62,800	62,100		1.6	
		雑草	葉菜	3月30日 16:05	33,800	43,700	44,300		—	
		雑草	葉菜	3月31日 14:25	22,500	24,200	24,500		—	
		雑草	葉菜	4月1日 15:14	72,000	92,000	91,600		—	
		雑草	葉菜	4月2日 14:29	60,300	71,000	73,400		—	
		雑草	葉菜	4月3日 14:13	42,700	54,700	56,000		—	
		雑草	葉菜	4月4日 14:16	22,700	56,700	56,700		—	
		雑草	葉菜	4月5日 14:25	24,800	46,600	46,800		1.3	
		雑草	葉菜	4月6日 13:40	11,700	21,700	22,500		1.3	
		雑草	葉菜	4月7日 13:46	9,570	19,900	19,900		1.4	
		雑草	葉菜	4月8日 13:54	5,700	11,200	11,700		1.4	
		雑草	葉菜	4月9日 13:39	2,050	2,410	2,420		0.9	
		雑草	葉菜	4月10日 13:21	4,120	8,550	8,970		1.3	
		雑草	葉菜	4月11日 13:04	4,200	11,000	11,400		1.3	
		雑草	葉菜	4月12日 13:11	2,890	8,770	8,460		1.3	
		雑草	葉菜	4月13日 13:36	3,340	7,880	8,570		1.2	
		雑草	葉菜	4月14日 13:42	5,470	18,700	19,300		1.1	
		雑草	葉菜	4月15日 13:25	4,200	5,290	11,400		1.2	
		雑草	葉菜	4月16日 13:26	889	2,930	3,160		1.1	
		雑草	葉菜	4月17日 13:08	863	2,490	2,660		1.2	
		雑草	葉菜	4月18日 12:57	3,460	13,500	14,400		1.1	
		雑草	葉菜	4月19日 16:00	816	3,020	3,010		1.2	
		雑草	葉菜	4月20日 13:30	559	2,050	2,330		1.3	
		雑草	葉菜	4月21日 14:05	2,120	15,300	16,200		1.1	
		雑草	葉菜	4月22日 13:38	553	2,370	2,380		1.1	
		雑草	葉菜	4月23日 13:48	612	4,070	4,270		1.1	
		雑草	葉菜	4月24日 14:00	829	3,660	4,040		1.1	
		雑草	葉菜	4月25日 17:10	1,030	12,100	12,200		1.1	
		雑草	葉菜	4月26日 15:10	2,600	19,100	20,300		1.0	
		雑草	葉菜	4月27日 14:20	467	4,080	4,000		1.0	
		雑草	葉菜	4月28日 14:15	273	2,630	2,510		1.0	
		雑草	葉菜	4月29日 13:38	241	2,220	2,420		1.1	
		雑草	葉菜	4月30日 14:18	177	4,590	4,650		1.1	
		雑草	葉菜	5月1日 13:55	78	1,500	1,540		1.0	
		雑草	葉菜	5月2日 13:13 (5月3日18:49)	160	1,100	1,300		1.1	
		雑草	葉菜	5月3日 14:06 (5月4日19:08)	190	3,300	3,200		1.1	
		雑草	葉菜	5月4日 14:09 (5月5日15:15)	150	3,600	3,300		1.0	
		雑草	葉菜	5月5日 14:03 (5月6日18:15)	不検出	850	870		1.0	
		雑草	葉菜	5月6日 14:21 (5月8日11:00)	不検出	840	840		1.0	
		雑草	葉菜	5月7日 14:15 (5月8日15:30)	60	830	900	不検出	1.1	
		雑草	葉菜	5月8日 14:33 (5月8日16:14)	63	370	490	不検出	1.1	
		雑草	葉菜	5月9日 15:00 (5月10日16:41)	110	1,300	1,500	不検出	1.0	
		雑草	葉菜	5月10日 14:27 (5月11日17:01)	不検出	960	1,000	不検出	1.1	
		雑草	葉菜	5月11日 14:10 (5月12日15:32)	不検出	590	620	不検出	1.0	
		雑草	葉菜	5月12日15:04 (5月14日15:19)	不検出	610	730	不検出	0.9	
		雑草	葉菜	5月13日14:03 (5月14日15:51)	42	620	750	不検出	1.0	
		雑草	葉菜	5月14日10:20 (5月15日13:53)	不検出	360	370	不検出	0.9	
		雑草	葉菜	5月15日14:06 (5月16日17:22)	不検出	1,100	1,300	不検出	1.0	
		雑草	葉菜	5月16日13:50 (5月18日15:33)	不検出	240	260	不検出	0.9	
		雑草	葉菜	5月17日14:25 (5月19日13:54)	不検出	2,800	2,700	不検出	0.9	
		雑草	葉菜	5月18日15:20 (5月19日18:47)	不検出	600	640	不検出	1.1	
		雑草	葉菜	5月19日15:30 (5月21日13:33)	不検出	270	270	不検出	1.1	
		雑草	葉菜	5月20日14:51 (5月21日13:49)	不検出	170	160	不検出	1.0	
雑草	葉菜	5月21日15:05 (5月22日12:17)	不検出	420	470	不検出	1.1			
雑草	葉菜	5月22日 15:00	不検出	133	151	不検出	1.1			
雑草	葉菜	5月23日 14:48	不検出	123	180	不検出	1.3			
雑草	葉菜	5月24日 14:36	不検出	1,390	1,420	不検出	1.2			
雑草	葉菜	5月25日 14:42	不検出	720	827	不検出	1.1			
雑草	葉菜	5月26日 13:30	不検出	218	241	不検出	1.0			
雑草	葉菜	5月27日 13:55	不検出	2,050	2,200	不検出	1.1			
雑草	葉菜	5月28日 12:55	不検出	503	402	不検出	1.0			
雑草	葉菜	5月29日 12:28	不検出	704	979	不検出	1.0			

環境試料の測定結果(9/23)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)末2	放射能濃度(Bq/kg)			その他検出された核種	空間線量率 (μ Sv/h)	備考		
				¹³⁷ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs					
[2-9] (45km西西北)	二本松市金色	雑草	3月25日 11:40	73,400	231,000	235,000		-			
		雑草	3月26日 10:13	24,300	106,000	106,000		-			
		雑草	3月27日 10:30	73,400	224,000	230,000		-			
		雑草	3月28日 10:13	34,500	221,000	229,000		-			
		雑草	3月29日 11:45	35,000	159,000	160,000		-			
		雑草	3月30日 10:35	31,500	150,000	153,000		-			
		雑草	3月31日 10:50	17,700	127,000	131,000		-			
		雑草	4月1日 11:09	23,600	135,000	135,000		-			
		雑草	4月2日 10:08	35,000	206,000	217,000		-			
		雑草	4月3日 10:06	27,500	161,000	161,000		-			
		雑草	4月4日 10:04	21,600	170,000	170,000		-			
		雑草	4月5日 10:35	15,800	203,000	208,000		1.9			
		雑草	4月6日 10:13	7,800	62,900	66,100		2.3			
		雑草	4月7日 10:10	5,230	60,000	60,000		1.7			
		雑草	4月8日 10:24	6,630	77,500	80,500		1.7			
		雑草	4月9日 10:16	3,590	45,200	46,800		1.4			
		雑草	4月10日 10:00	3,010	25,000	26,500		0.7			
		雑草	4月11日 10:05	3,470	65,200	67,000		1.7			
		雑草	4月12日 10:15	1,670	29,300	29,600		1.7			
		雑草	4月13日 10:07	4,190	51,000	53,800		1.1			
		雑草	4月14日 10:11	1,140	24,200	24,800		1.8			
		雑草	4月15日 10:25	3,470	20,600	67,000		2.5			
		雑草	4月16日 10:05	2,400	23,300	24,800		1.5			
		雑草	4月17日 10:05	1,940	28,400	29,500		2.0			
		雑草	4月18日 9:56	9,750	79,500	82,300		1.9			
		雑草	4月19日 11:18	659	13,100	13,700		1.7			
		雑草	4月20日 9:52	980	7,130	7,370		2.1			
		雑草	4月21日 10:26	553	16,600	16,800		1.9			
		雑草	4月22日 10:10	1,600	42,600	44,100		2.0			
		雑草	4月23日 10:15	524	10,500	11,400		2.1			
		雑草	4月24日 9:54	359	9,880	9,790		2.0			
		雑草	4月25日 11:00	792	26,500	27,000		2.1			
		雑草	4月26日 10:25	不検出	14,600	14,200		1.9			
		雑草	4月27日 10:10	292	4,590	4,550		2.4			
		雑草	4月28日 10:05	304	11,400	11,700		1.7			
		雑草	4月29日 9:55	256	8,030	8,230		2.5			
		雑草	4月30日 10:15	220	10,000	10,400		2.0			
		雑草	5月1日 10:00	159	2,890	3,290		2.5			
		雑草	5月2日 9:51 (5月8日18:38)	360	6,900	7,500		1.9			
		雑草	5月9日 9:51 (5月9日10:59)	450	25,000	27,000		1.9			
		雑草	5月4日 9:43 (5月5日5:39)	不検出	3,500	3,800		2.4			
		雑草	5月5日 9:53 (5月6日18:14)	不検出	1,200	1,300		2.2			
		雑草	5月6日 9:59 (5月8日10:49)	不検出	2,200	2,400		2.1			
		雑草	5月7日 9:57 (5月8日15:28)	不検出	820	800	不検出	2.1			
		雑草	5月8日 9:56 (5月9日18:22)	不検出	870	1,000	不検出	1.9			
		雑草	5月9日 10:09 (5月10日16:19)	不検出	690	590	不検出	1.8			
		雑草	5月10日 9:58 (5月11日17:09)	不検出	1,400	1,700	不検出	1.7			
		雑草	5月11日 10:10 (5月12日15:28)	不検出	1,700	2,000	不検出	1.8			
		雑草	5月12日 10:40 (5月14日15:19)	不検出	580	680	不検出	1.8			
		雑草	5月13日 9:57 (5月14日15:50)	不検出	500	510	不検出	1.7			
		雑草	5月14日 9:46 (5月15日13:59)	不検出	420	430	不検出	1.9			
		雑草	5月15日 9:45 (5月16日17:21)	不検出	410	440	不検出	1.9			
		雑草	5月16日 9:50 (5月18日15:28)	不検出	410	510	不検出	1.8			
		雑草	5月17日 10:10 (5月18日13:45)	不検出	580	590	不検出	1.8			
		雑草	5月18日 10:20 (5月19日18:45)	不検出	370	530	不検出	1.8			
		雑草	5月19日 9:58 (5月21日13:32)	不検出	210	170	不検出	1.6			
		雑草	5月20日 9:47 (5月21日13:49)	不検出	470	480	不検出	1.7			
		雑草	5月21日 9:40 (5月22日12:15)	不検出	150	170	不検出	1.8			
		雑草	5月22日 9:45	不検出	829	863	不検出	1.9			
		雑草	5月23日 9:55	不検出	144	175	不検出	1.8			
		雑草	5月24日 9:52	不検出	不検出	不検出	不検出	1.8			
		雑草	5月25日 9:51	不検出	497	499	不検出	1.8			
		雑草	5月26日 9:46	不検出	14,700	16,600	不検出	1.7			
		雑草	5月27日 9:37	不検出	7,210	7,480	不検出	1.7			
		雑草	5月28日 9:32	不検出	150	153	不検出	1.6			
		雑草	5月29日 9:40	不検出	212	219	不検出	1.6			
		[2-10] (60km西)	相馬郡新井町	雑草	3月25日 16:20	29,300	12,500	12,500		-	
[4-1] (60km南西)	日河市	雑草	4月7日 15:00	4,070	20,700	21,100		0.8			
		雑草	4月8日 14:50	4,180	27,400	28,400		0.8			
		雑草	4月8日 13:50	1,770	14,400	15,300		0.9			
		雑草	4月10日 13:40	1,100	4,550	4,340		0.7			
		雑草	4月11日 14:00	1,360	12,300	12,800		0.7			
		雑草	4月12日 14:00	1,230	12,000	12,600		0.7			
		雑草	4月13日 14:48	504	1,470	1,520		0.7			
		雑草	4月14日 14:18	1,300	4,310	4,210		0.6			
		雑草	4月15日 14:25	1,360	52,100	12,900		0.6			
		雑草	4月16日 13:25	6,400	72,600	78,600		0.6			
		雑草	4月17日 13:25	1,310	17,800	18,600		0.7			
		雑草	4月18日 13:55	1,560	16,500	17,100		0.6			
		雑草	4月19日 14:00	452	6,710	7,800		0.7			
		雑草	4月20日 11:35	1,050	15,700	15,800		0.6			
		雑草	4月21日 14:37	699	7,450	7,910		0.6			
		雑草	4月22日 14:45	657	15,600	16,600		0.9			
		雑草	4月23日 14:25	不検出	4,250	4,770		0.7			
		雑草	4月24日 13:05	不検出	547	595		0.4			
		[4-2] (60km西)	須賀川市八幡町	雑草	4月7日 13:10	7,020	17,200	17,000		0.4	
				雑草	4月8日 11:50	5,520	16,300	16,100		0.4	
雑草	4月9日 11:40			2,790	7,650	7,590		0.4			
雑草	4月10日 11:20			3,180	12,600	13,000		0.4			
雑草	4月11日 11:40			2,990	13,000	13,600		0.3			
雑草	4月12日 11:50			3,100	16,300	16,900		0.4			
雑草	4月13日 12:12			1,440	4,560	4,560		0.4			
雑草	4月14日 11:45			1,800	5,230	5,240		0.3			
雑草	4月15日 12:30			2,930	11,600	13,600		0.3			
雑草	4月16日 11:15			1,680	12,700	14,100		0.3			
雑草	4月17日 11:25			1,600	6,690	6,560		0.3			
雑草	4月18日 11:45			1,910	14,300	15,000		0.3			
雑草	4月19日 11:50			1,430	7,700	8,110		0.3			
雑草	4月20日 11:30			1,050	8,600	8,410		0.3			
雑草	4月21日 12:30			872	11,200	11,300		0.3			
雑草	4月22日 12:00			1,570	21,600	21,600		0.2			
雑草	4月23日 11:54			697	9,100	9,660		0.3			
雑草	4月24日 11:10	826	10,500	10,500		0.2					

環境試料の測定結果 (10/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時) × 2	放射能濃度(Bq/kg)				その他検出された核種	空間線量率 (μ Sv/h)	備考
				¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs				
[4-3] (60km西)	安達郡伏玉村	雑草	葉菜 4月7日 1110	3090	28,000	27,900			0.7	
		雑草	葉菜 4月8日 1035	2970	18,800	17,900			0.9	
		雑草	葉菜 4月9日 1020	1,410	7,870	8,440			0.8	
		雑草	葉菜 4月10日 1020	2,700	13,400	13,800			0.8	
		雑草	葉菜 4月11日 1020	3,150	26,700	27,900			0.9	
		雑草	葉菜 4月12日 1030	1,030	8,860	8,920			0.8	
		雑草	葉菜 4月13日 1046	1,660	9,780	10,700			0.7	
		雑草	葉菜 4月14日 1022	662	1,810	2,150			0.5	
		雑草	葉菜 4月15日 1040	3,150	18,800	27,900			0.7	
		雑草	葉菜 4月16日 1000	2,160	6,790	7,010			0.7	
		雑草	葉菜 4月17日 1010	623	10,400	10,900			0.7	
		雑草	葉菜 4月18日 1010	589	4,250	4,320			0.7	
		雑草	葉菜 4月19日 1030	625	2,240	2,410			0.7	
		雑草	葉菜 4月20日 1010	804	8,700	9,290			0.7	
		雑草	葉菜 4月21日 1040	1,360	19,200	18,900			0.7	
		雑草	葉菜 4月22日 1035	1,240	16,300	17,500			0.7	
		雑草	葉菜 4月23日 1040	327	2,360	2,580			0.6	
		雑草	葉菜 4月24日 1000	851	9,580	9,620			0.5	
		雑草	葉菜 4月25日 1150	233	1,040	991			0.9	
		雑草	葉菜 4月26日 1100	441	10,000	9,810			0.9	
		雑草	葉菜 4月27日 1048	151	350	1,050			0.8	
		雑草	葉菜 4月28日 1038	478	6,890	9,530			0.7	
		雑草	葉菜 4月29日 1032	281	7,390	7,180			0.7	
		雑草	葉菜 4月30日 1055	230	4,740	4,810			0.7	
		雑草	葉菜 5月1日 1043	427	10,600	11,400			0.7	
		雑草	葉菜 5月2日 1016 (5月3日1850)	不検出	1,000	980			0.7	
		雑草	葉菜 5月3日 1031 (5月4日1913)	不検出	1,400	1,500			0.7	
		雑草	葉菜 5月4日 1024 (5月5日1521)	150	4,100	4,100			0.7	
		雑草	葉菜 5月5日 1032 (5月6日1928)	不検出	440	500			0.6	
		雑草	葉菜 5月6日 1043 (5月8日1047)	50	460	580			0.6	
		雑草	葉菜 5月7日 1014 (5月8日1542)	不検出	870	790	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月8日 1040 (5月9日1624)	不検出	350	350	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月9日 1035 (5月10日1641)	不検出	470	530	不検出		0.8	
		雑草	葉菜 5月10日 1038 (5月11日1704)	不検出	360	410	不検出		0.9	
		雑草	葉菜 5月11日 1055 (5月12日1538)	不検出	900	990	不検出		0.9	
		雑草	葉菜 5月12日 1113 (5月14日1523)	不検出	870	950	不検出		0.8	
		雑草	葉菜 5月13日 1040 (5月14日1554)	不検出	1,600	1,700	不検出		0.8	
		雑草	葉菜 5月14日 1027 (5月15日1402)	不検出	不検出	不検出	不検出		0.8	
		雑草	葉菜 5月15日 1010 (5月16日1726)	不検出	97	79	不検出		0.8	
		雑草	葉菜 5月16日 1020 (5月18日1548)	不検出	不検出	96	不検出		0.8	
		雑草	葉菜 5月17日 1045 (5月19日1402)	不検出	3,000	3,200	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月18日 1103 (5月19日1900)	不検出	1,800	2,200	不検出		0.6	
		雑草	葉菜 5月19日 1036 (5月21日1945)	不検出	2,500	2,800	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月20日 1030 (5月21日1352)	不検出	640	760	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月21日 1019 (5月22日1214)	不検出	2,700	2,900	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月22日 1021	不検出	1,510	1,660	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月23日 1035	不検出	3,420	3,450	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月24日 1035	不検出	4,880	4,850	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月25日 1030	不検出	2,080	2,380	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月26日 1020	不検出	428	454	不検出		1.6	
		雑草	葉菜 5月27日 1010	不検出	1,440	1,390	不検出		0.6	
		雑草	葉菜 5月28日 1002	不検出	1,310	1,300	不検出		0.7	
		雑草	葉菜 5月29日 1005	不検出	260	327	不検出		0.6	
		雑草	葉菜 4月9日 1410	3,210	9,430	8,300			0.7	
		雑草	葉菜 4月10日 1340	2,540	13,700	14,000			0.7	
雑草	葉菜 4月9日 1310	1,370	9,470	9,690			0.7			
雑草	葉菜 4月10日 1300	2,430	15,300	15,800			0.7			
雑草	葉菜 4月11日 1310	1,200	7,740	7,950			0.6			
雑草	葉菜 4月12日 1320	1,830	16,400	16,900			0.6			
雑草	葉菜 4月13日 1353	2,190	7,500	7,890			0.6			
雑草	葉菜 4月14日 1336	1,210	4,240	4,490			0.5			
雑草	葉菜 4月15日 1340	1,200	4,810	7,850			0.5			
雑草	葉菜 4月16日 1245	529	7,330	7,630			0.6			
雑草	葉菜 4月17日 1250	923	12,100	12,300			0.6			
雑草	葉菜 4月18日 1235	993	18,700	19,300			0.5			
雑草	葉菜 4月19日 1315	833	9,440	10,200			0.6			
雑草	葉菜 4月20日 1230	476	8,090	8,210			0.5			
雑草	葉菜 4月21日 1358	653	2,110	2,020			0.5			
雑草	葉菜 4月22日 1345	618	11,000	11,500			0.6			
雑草	葉菜 4月23日 1250	240	4,290	4,830			0.5			
雑草	葉菜 4月24日 1230	239	1,870	1,930			0.4			
雑草	葉菜 4月8日 1530	1,830	13,600	14,300			0.8			
雑草	葉菜 4月9日 1420	422	5,070	5,210			0.8			
雑草	葉菜 4月10日 1410	1,180	11,000	11,300			0.8			
雑草	葉菜 4月11日 1440	454	4,140	4,350			0.9			
雑草	葉菜 4月12日 1440	251	6,920	7,330			0.7			
雑草	葉菜 4月13日 1536	1,210	6,920	7,180			0.7			
雑草	葉菜 4月14日 1454	989	7,550	7,950			0.6			
雑草	葉菜 4月15日 1500	454	18,400	4,350			0.7			
雑草	葉菜 4月16日 1400	1,270	24,100	25,200			0.8			
雑草	葉菜 4月17日 1400	1,290	19,300	19,400			0.9			
雑草	葉菜 4月18日 1430	790	14,600	14,800			0.6			
雑草	葉菜 4月19日 1430	378	4,070	4,180			0.7			
雑草	葉菜 4月20日 1405	489	11,800	12,200			0.8			
雑草	葉菜 4月21日 1458	371	7,050	7,020			0.5			
雑草	葉菜 4月22日 1510	920	13,800	14,400			0.6			
雑草	葉菜 4月23日 1500	1,490	34,300	36,000			0.6			
雑草	葉菜 4月24日 1340	不検出	2,100	2,080			0.4			

上記測定結果は政府現地対策本部が、福島県に依頼し、その結果を入手したもので、
 試料は原則洗浄せずに測定。
 その他検出された核種の空間部分については確認中。
 *1:同一試料を対象に洗浄しない場合と洗浄した場合で測定値に差。
 *2: ()内に測定日時の記載がある試料の放射能濃度は、採取日時から測定日時までの放射能減衰が考慮されていない。
 4月5日以降の空間線量率は、福島県の緊急時環境放射線モニタリングの値。
 尚、ここに掲載された測定値は、日本分析センター、福島県原子力センターにより実施されています。

環境試料の測定結果(11/23)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度(Bq/kg)				備考
				¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他検出された核種	
【2-1】(36km:西)	群馬郡館新村八木沢	陸水	池水	3月18日 12:20	2,090	464	511	
		陸水	池水	3月19日 11:36	2,450	862	940	
		陸水	池水	3月20日 12:40	2,010	449	437	
		陸水	池水	3月21日 12:35	1,720	240	246	
		陸水	池水	3月22日 12:00	1,330	173	172	
		陸水	池水	3月23日 12:25	1,260	145	145	
		陸水	池水	3月24日 13:05	1,330	252	268	
		陸水	池水	3月25日 12:20	1,280	481	507	
		陸水	池水	3月26日 12:00	836	164	162	
		陸水	池水	3月27日 11:40	828	139	145	
		陸水	池水	3月28日 11:50	884	162	183	
		陸水	池水	3月29日 11:50	701	154	158	
		陸水	池水	3月30日 12:25	629	109	113	
		陸水	池水	3月31日 11:30	610	150	192	
		陸水	池水	4月1日 11:30	612	166	192	
		陸水	池水	4月2日 11:23	465	133	139	
		陸水	池水	4月3日 10:55	393	110	106	
		陸水	池水	4月4日 10:50	439	89	75	
		陸水	池水	4月5日 11:31	357	93	86	
		陸水	池水	4月6日 11:23	306	92	91	
		陸水	池水	4月7日 11:07	303	225	268	
		陸水	池水	4月8日 11:30	290	123	123	
		陸水	池水	4月9日 11:15	334	110	118	
		陸水	池水	4月10日 11:20	242	105	94.7	
		陸水	池水	4月11日 12:05	202	75	71.9	
		陸水	池水	4月12日 11:42	218	92	95.2	
		陸水	池水	4月13日 11:04	189	75	84.5	
		陸水	池水	4月14日 11:15	179	110	114	
		陸水	池水	4月15日 11:30	151	64	65	
		陸水	池水	4月16日 10:55	122	58	38	
		陸水	池水	4月17日 11:20	109	53	52	
		陸水	池水	4月18日 11:05	112	40	53	
		陸水	池水	4月19日 11:23	117	91	88.7	
		陸水	池水	4月20日 10:52	109	53.0	43.8	
		陸水	池水	4月21日 11:05	85	39.8	29.0	
		陸水	池水	4月22日 10:51	68.6	41.1	39.9	
		陸水	池水	4月23日 11:15	65.8	42.1	56.5	
		陸水	池水	4月24日 10:55	63.8	27.9	38.0	
		陸水	池水	4月25日 12:00	43.0	40.3	32.1	
		陸水	池水	4月26日 11:20	36.6	64.2	57.2	
		陸水	池水	4月27日 11:05	42.8	32.9	38.3	
		陸水	池水	4月28日 11:00	26.0	26.4	26.7	
		陸水	池水	4月29日 11:05	26.3	29.4	39.7	
		陸水	池水	4月30日 11:52	36.1	118	117	
		陸水	池水	5月1日 11:25	33.7	212	204	
		陸水	池水	5月2日 11:19 (5月3日 16:56)	24.0	25	22	
		陸水	池水	5月3日 11:19 (5月4日 17:26)	17	44	57	
		陸水	池水	5月4日 11:10 (5月6日 11:07)	16	19	29	
陸水	池水	5月5日 11:06 (5月7日 9:52)	15	26	25			
陸水	池水	5月6日 11:25 (5月8日 9:44)	15	19	23			
陸水	池水	5月7日 11:23	14.9	63.3	56.4	不検出		
陸水	池水	5月8日 11:20	不検出	86.5	102	不検出		
陸水	池水	5月11日 11:40	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月12日 11:20	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月13日 11:00	不検出	34.2	42.8	不検出		
陸水	池水	5月14日 10:58	6.2	21	21	不検出		
陸水	池水	5月16日 10:50 (5月17日 17:34)	6.6	22	26	不検出		
陸水	池水	5月17日 11:10 (5月18日 17:51)	5.2	8.8	11	不検出		
陸水	池水	5月18日 11:17	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月19日 11:22	不検出	14.3	19.3	不検出		
陸水	池水	5月21日 10:38	不検出	32.4	38.9	不検出		
陸水	池水	5月22日 10:55	不検出	不検出	14.7	不検出		
陸水	池水	5月23日 11:11	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月24日 10:45	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月25日 10:42	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月26日 10:58	不検出	不検出	14.7	不検出		
陸水	池水	5月27日 10:59	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸水	池水	5月28日 10:55	不検出	不検出	18.6	不検出		
陸水	池水	5月29日 10:47	不検出	19.7	18.5	不検出		
【2-5】(39km西南西)	田村郡小野町小野新町	陸水	雨水	3月22日 12:40	7,440	104	107	
		陸水	雨水	3月25日 11:38	3,000	-	800	

上記測定結果は政府現地対策本部が、福島県に依頼し、その結果を入手したものである。

その他検出された核種の空欄部分については確認中。

*1 ()内に測定日時の記載がある試料の放射能濃度は、採取日時から測定日時までの放射能減衰が考慮されていない。

尚、ここに掲載された測定は、日本分析センター、福島県原子力センターにより実施されています。

環境試料の測定結果(12/23)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							備考	
				¹³¹ I	¹³⁴ O _s	¹³⁷ O _s	^{129m} Te	¹³² Te	¹³⁵ O _s	¹⁴⁰ La		その他検出された核種
[2-11](30km北西)	相馬郡飯沼村八木沢	陸上 土壌	3月18日 12:26	406,000	56,300	56,600						
			3月19日 11:40	300,000	27,700	28,100						
			3月20日 12:40	1,170,000	162,000	163,000						
			3月21日 12:32	207,000	30,500	30,900						
			3月22日 12:00	256,000	58,300	57,400						
			3月23日 12:25	135,000	31,400	32,200						
			3月24日 13:06	45,500	1,690	1,870						
			3月25日 12:20	265,000	26,600	27,900						
			3月26日 12:00	564,000	215,000	227,000						
			3月26日 15:20	82,000	28,600	28,000						
			3月27日 11:40	169,000	29,100	29,100						
			3月27日 12:00	69,800	20,100	20,800						
			3月28日 11:50	14,000	1,890	2,040						
			3月28日 12:10	23,100	733	860						
			3月29日 11:50	53,700	5,250	5,650						
			3月29日 12:10	58,400	23,400	25,100						
			3月30日 12:25	89,000	30,500	32,300						
			3月30日 12:45	11,800	398	408						
			3月31日 11:30	149,000	26,900	27,600						
			3月31日 11:45	60,800	24,100	26,500						
			4月1日 11:30	146,000	38,900	43,700						
			4月1日 12:05	21,400	1,290	1,410						
			4月2日 11:24	55,500	7,350	8,140						
			4月2日 11:48	61,800	27,800	30,800						
			4月3日 10:55	103,000	29,900	27,600						
			4月3日 11:15	9,670	814	885						
			4月4日 10:50	70,000	20,400	21,200						
			4月4日 11:10	40,400	20,900	23,100						
			4月5日 11:31	31,600	7,540	8,280						
			4月5日 11:53	59,300	22,300	24,500						
			4月6日 11:23	5,970	2,720	2,890						
			4月6日 11:47	31,100	11,300	12,100						
			4月7日 11:07	52,800	29,700	31,400						
			4月7日 11:30	57,300	3,260	3,500						
			4月8日 11:30	29,000	17,800	19,500						
			4月8日 11:45	64,600	33,600	34,200						
			4月10日 11:45	26,700	32,400	33,800						
			4月11日 12:05	62,600	35,400	35,900						
			4月11日 12:05	26,800	10,100	11,100						
			4月12日 11:42	61,300	33,000	36,800						
			4月12日 12:04	27,800	20,300	23,400						
			4月13日 11:04	20,200	10,900	11,900						
			4月13日 11:20	23,500	25,100	28,100						
			4月14日 11:15	48,900	16,900	18,600						
			4月14日 11:37	9,280	2,560	2,820						
			4月15日 11:30	66,200	27,000	29,600						
			4月15日 11:55	5,740	2,660	3,040						
			4月16日 13:55	14,400	1,820	2,000						
			4月16日 11:18	5,960	1,670	1,720						
			4月17日 11:20	18,200	35,000	38,800						
			4月17日 11:47	12,200	20,400	22,300						
			4月18日 11:05	7,450	8,080	8,850						
			4月18日 11:25	7,400	8,800	9,770						
			4月19日 11:23	5,340	5,730	6,460						
			4月19日 11:43	8,740	5,590	6,220						
			4月20日 10:52	2,120	7,160	8,210						
			4月20日 11:10	9,350	15,800	17,500						
			4月21日 11:05	17,200	26,300	30,200						
			4月21日 11:26	9,100	22,800	25,600						
			4月22日 10:51	13,300	18,600	21,000						
			4月22日 11:15	4,940	11,700	13,400						
			4月23日 11:15	6,260	1,810	2,110						
			4月23日 11:40	4,960	9,540	10,800						
			4月24日 10:55	4,880	1,770	2,000						
			4月24日 11:17	7,410	19,400	21,500						
			4月25日 12:00	3,720	3,620	4,020						
			4月25日 12:30	4,390	9,560	10,800						
			4月26日 11:20	10,300	15,100	17,100						
			4月26日 11:55	2,100	2,850	3,180						
			4月27日 11:05	2,570	10,800	12,100						
			4月27日 11:27	6,680	22,400	24,900						
4月28日 11:05 (4月29日16:32)	4,900	4,300	5,100									
4月28日 11:33 (4月29日13:17)	6,200	31,000	35,000									
4月29日 11:10 (4月30日14:57)	5,000	12,000	13,000									
4月29日 11:34 (4月30日16:59)	2,100	7,400	8,100									
4月30日 11:47 (5月1日4:36)	1,800	2,400	2,500									
4月30日 12:16 (5月1日4:37)	2,000	10,000	12,000									
5月1日 11:25 (5月2日17:02)	2,300	13,000	13,000									
5月1日 11:50 (5月2日16:57)	4,200	27,000	30,000									
5月2日 11:19 (5月3日18:49)	3,600	8,800	8,900									
5月2日 11:43 (5月3日18:56)	1,100	3,100	3,600									
5月3日 11:19 (5月4日19:18)	1,000	3,700	3,600									
5月3日 11:51 (5月4日19:19)	1,500	6,600	6,900									
5月4日 11:10 (5月5日15:31)	2,000	9,100	10,000									
5月4日 11:32 (5月5日15:32)	620	2,100	2,200									
5月5日 11:06 (5月6日18:27)	3100	23,000	25,000									

環境試料の測定結果(13/23)

添付V-13-4-(3)

採集地点	試料名	種類 又は部位	採集時 測定日時*1	放射能濃度 (Bq/kg)										備考	
				¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	^{129m} Te	¹³² Te	¹³⁶ Cs	¹⁴⁰ La	その他検出された核種				
	陸土	土壌	5月5日 11:38 (5月6日 8:18)	1,700	11,000	13,000									
	陸土	土壌	5月6日 11:25 (5月8日 10:51)	3,100	35,000	40,000									
	陸土	土壌	5月6日 11:52 (5月8日 10:50)	2,200	27,000	31,000									
	陸土	土壌	5月7日 11:15 (5月8日 15:06)	720	330	360	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月7日 11:59 (5月8日 15:16)	2,100	21,000	25,000	9,400	不検出	250	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月8日 11:16 (5月9日 15:46)	1,900	20,000	24,000	11,000	不検出	200	不検出	^{110m} Ae : 150				
	陸土	土壌	5月8日 11:40 (5月9日 15:56)	770	4,600	5,400	1,900	不検出	52	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月9日 11:04 (5月10日 16:16)	960	9,200	10,000	4,400	不検出	85	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月9日 11:26 (5月10日 16:28)	1,300	10,000	13,000	4,500	不検出	110	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月10日 11:12 (5月11日 17:02)	1,500	21,000	24,000	9,400	不検出	240	不検出	^{110m} Ae : 150				
	陸土	土壌	5月10日 11:44 (5月11日 16:39)	2,300	35,000	40,000	14,000	不検出	270	不検出	^{110m} Ae : 140				
	陸土	土壌	5月11日 11:45 (5月12日 16:16)	2,700	48,000	53,000	22,000	不検出	410	不検出	^{110m} Ae : 280				
	陸土	土壌	5月11日 12:15 (5月12日 16:17)	1,100	8,300	9,100	3,500	不検出	79	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月12日 11:29 (5月14日 15:51)	3,900	89,000	99,000	35,000	不検出	740	不検出	^{110m} Ae : 520				
	陸土	土壌	5月12日 12:08 (5月14日 15:50)	2,100	39,000	42,000	18,000	不検出	290	不検出	^{110m} Ae : 180				
	陸土	土壌	5月13日 10:56 (5月14日 16:16)	1,300	14,000	16,000	8,200	不検出	130	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月13日 11:21 (5月14日 16:09)	940	12,000	13,000	4,000	不検出	77	不検出	^{110m} Ae : 81				
	陸土	土壌	5月14日 11:23 (5月15日 14:26)	310	2,300	2,600	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月14日 10:58 (5月15日 14:26)	2,000	11,000	12,000	5,800	不検出	100	不検出	^{110m} Ae : 140				
	陸土	土壌	5月15日 11:25 (5月16日 17:40)	710	15,000	16,000	4,300	不検出	不検出	不検出	^{110m} Ae : 120				
	陸土	土壌	5月15日 10:55 (5月16日 17:41)	950	7,700	8,700	5,700	不検出	88	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月16日 11:10 (5月18日 15:43)	490	4,800	5,700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月16日 10:50 (5月18日 15:40)	1,000	28,000	32,000	10,000	不検出	190	不検出	^{110m} Ae : 160				
	陸土	土壌	5月17日 11:30 (5月19日 13:44)	900	25,000	28,000	11,000	不検出	170	不検出	^{110m} Ae : 130				
	陸土	土壌	5月17日 11:10 (5月19日 13:44)	950	19,000	22,000	11,000	不検出	95	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月18日 11:40 (5月19日 18:23)	950	21,000	22,000	7,000	不検出	130	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月18日 11:17 (5月19日 18:24)	3,200	61,000	68,000	28,000	不検出	330	不検出	^{110m} Ae : 210				
	陸土	土壌	5月19日 11:22 (5月20日 15:55)	660	2,700	3,100	3,900	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月19日 11:45 (5月20日 15:55)	520	9,200	9,400	2,900	不検出	83	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月20日 11:15	495	8,820	10,200	不検出	不検出	74.7	不検出	^{110m} Ae : 60.7				
	陸土	土壌	5月20日 11:40	498	10,200	12,100	不検出	不検出	64.7	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月21日 10:38	3,370	40,700	43,900	不検出	不検出	238	不検出	^{110m} Ae : 294				
	陸土	土壌	5月21日 10:58	1,020	23,700	26,800	不検出	不検出	139	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月22日 10:55	349	11,700	12,300	不検出	不検出	不検出	不検出	^{110m} Ae : 89.1				
	陸土	土壌	5月22日 11:15	330	5,430	5,890	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月23日 11:11	639	15,000	16,100	不検出	不検出	不検出	不検出	^{110m} Ae : 102				
	陸土	土壌	5月23日 11:36	572	22,900	26,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月24日 10:45	297	2,670	2,860	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月24日 11:05	722	18,300	21,000	不検出	不検出	91.1	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月25日 10:42	288	12,100	14,100	不検出	不検出	不検出	不検出	^{110m} Ae : 90.4				
	陸土	土壌	5月25日 11:05	683	28,200	30,500	不検出	不検出	115	不検出	^{110m} Ae : 179				
	陸土	土壌	5月26日 10:58	231	8,770	9,310	不検出	不検出	不検出	不検出	^{110m} Ae : 74.6				
	陸土	土壌	5月28日 11:10	723	34,300	37,000	不検出	不検出	154	不検出	^{110m} Ae : 140				
	陸土	土壌	5月27日 10:59	679	7,820	9,130	不検出	不検出	50.4	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月27日 11:21	436	20,200	21,900	不検出	不検出	91.0	不検出	^{110m} Ae : 110				
	陸土	土壌	5月28日 10:55	1,300	3,200	3,610	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
	陸土	土壌	5月28日 11:20	508	20,700	22,800	不検出	不検出	83.3	不検出	不検出				

環境試料の測定結果 (14/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	備考		
				131 I	134 Cs	137 Cs	129m Te	132 Te	136 Cs	140 La				
(2-2) (45km北西)	伊達郡川俣町	陸土	土壌	3月18日 11:45	84,300	13,800	14,200							
		陸土	土壌	3月19日 11:00	85,400	8,690	8,690							
		陸土	土壌	3月20日 12:04	151,000	14,700	15,100							
		陸土	土壌	3月21日 12:10	157,000	15,900	16,500							
		陸土	土壌	3月22日 11:00	38,900	4,840	4,720							
		陸土	土壌	3月23日 11:30	44,600	5,510	6,010							
		陸土	土壌	3月24日 11:20	21,500	1,110	1,160							
		陸土	土壌	3月26日 11:20	29,300	3,920	3,760							
		陸土	土壌	3月27日 10:45	44,900	7,180	7,580							
		陸土	土壌	3月28日 11:05	31,100	2,240	2,470							
		陸土	土壌	3月29日 11:00	34,400	5,680	5,900							
		陸土	土壌	3月30日 11:35	23,800	4,660	5,280							
		陸土	土壌	3月31日 10:35	32,300	6,450	6,810							
		陸土	土壌	4月1日 10:35	19,500	4,700	5,130							
		陸土	土壌	4月2日 10:39	22,000	5,300	5,740							
		陸土	土壌	4月3日 10:10	18,800	7,580	8,140							
		陸土	土壌	4月4日 10:05	18,800	7,190	8,020							
		陸土	土壌	4月5日 10:39	28,300	6,170	6,700							
		陸土	土壌	4月6日 10:39	16,400	5,080	5,320							
		陸土	土壌	4月7日 11:27	17,100	5,070	5,320							
		陸土	土壌	4月8日 10:50	12,000	4,310	4,710							
		陸土	土壌	4月10日 10:40	10,500	6,150	6,680							
		陸土	土壌	4月11日 11:10	8,580	4,710	5,130							
		陸土	土壌	4月12日 10:40	8,040	5,900	6,530							
		陸土	土壌	4月13日 10:25	8,360	5,950	6,650							
		陸土	土壌	4月14日 10:31	5,680	3,970	4,430							
		陸土	土壌	4月15日 10:50	3,760	3,050	3,110							
		陸土	土壌	4月16日 10:10	2,970	1,900	2,150							
		陸土	土壌	4月17日 10:40	3,390	2,600	2,930							
		陸土	土壌	4月18日 10:15	3,060	9,370	1,700							
		陸土	土壌	4月19日 10:34	3,990	3,330	3,720							
		陸土	土壌	4月20日 10:07	1,570	511	508							
		陸土	土壌	4月21日 10:15	4,180	5,210	5,790							
		陸土	土壌	4月22日 10:08	3,260	5,530	6,080							
		陸土	土壌	4月23日 10:29	722	245	268							
		陸土	土壌	4月24日 10:09	2,380	5,040	5,640							
		陸土	土壌	4月25日 11:02	1,780	3,410	3,720							
		陸土	土壌	4月26日 10:37	1,610	3,270	3,650							
		陸土	土壌	4月27日 10:20	1,100	4,080	4,520							
		陸土	土壌	4月28日 10:22 (4月29日16:35)	1,900	6,100	6,700							
		陸土	土壌	4月29日 10:29 (4月30日16:57)	1,300	4,800	5,200							
		陸土	土壌	4月30日 11:15 (5月1日14:30)	1,500	6,100	7,100							
		陸土	土壌	5月1日 10:35 (5月2日17:01)	1,700	6,100	6,500							
		陸土	土壌	5月2日 10:32 (5月3日18:54)	1,400	6,100	6,800							
		陸土	土壌	5月3日 10:43 (5月4日19:00)	590	1,300	1,400							
		陸土	土壌	5月4日 10:30 (5月5日15:14)	1,000	5,500	6,000							
		陸土	土壌	5月5日 10:32 (5月6日18:16)	840	3,600	3,900							
		陸土	土壌	5月6日 10:44 (5月8日10:51)	810	7,400	8,100							
		陸土	土壌	5月7日 10:32 (5月8日15:05)	610	5,000	5,800	2,900	不検出	55	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月8日 10:32 (5月9日 15:42)	190	770	790	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月9日 10:22 (5月10日 16:13)	170	440	530	540	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月10日 10:46 (5月11日 16:42)	580	3,300	3,800	2,000	不検出	37	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月11日 11:12 (5月12日 16:14)	650	6,900	7,300	2,500	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月12日 10:55 (5月14日 15:30)	480	4,900	5,300	2,600	不検出	50	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月13日 10:53 (5月14日 16:13)	390	2,700	3,500	1,100	不検出	25	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月14日 10:20 (5月15日 14:54)	410	4,100	4,500	1,500	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸土	土壌	5月15日 10:20 (5月16日 17:24)	290	3,100	3,400	2,300	不検出	52	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月16日 10:10 (5月18日 15:32)	180	1,300	1,500	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月17日 10:30 (5月19日 13:35)	200	3,500	4,100	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月18日 10:35 (5月19日 18:06)	190	4,000	4,400	2,000	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月19日 10:40 (5月20日 15:52)	150	2,000	2,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月20日 10:30	140	729	844	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月21日 10:05	139	2,070	2,280	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月22日 10:13	195	3,450	3,590	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月23日 10:31	144	2,950	3,410	不検出	不検出	25.8	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月24日 10:07	219	4,850	5,250	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月25日 10:10	181	5,050	5,320	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月26日 10:16	122	4,120	4,470	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月27日 10:18	202	6,540	7,130	不検出	不検出	43.8	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月28日 10:20	56	647	734	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				

環境試料の測定結果 (15/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							備考	
				131 _I	134 _{Cs}	137 _{Cs}	132m _{Te}	132 _{Te}	136 _{Cs}	140 _{La}		その他検出された核種
[2-3] (41km西) 田村市船引町船引	陸上	土壌	3月17日 13:06	8,670	1,210	1,320						
	陸上	土壌	3月18日 11:50	19,300	3,450	3,510						
	陸上	土壌	3月19日 11:35	6,970	1,240	1,260						
	陸上	土壌	3月20日 12:40	5,390	1,160	1,250						
	陸上	土壌	3月21日 12:30	3,000	396	390						
	陸上	土壌	3月22日 11:30	7,290	1,230	1,290						
	陸上	土壌	3月24日 11:35	6,600	1,200	1,310						
	陸上	土壌	3月25日 13:35	5,480	534	533						
	陸上	土壌	3月26日 11:51	5,250	911	1,010						
	陸上	土壌	3月27日 11:45	3,700	739	796						
	陸上	土壌	3月28日 11:37	4,360	979	1,110						
	陸上	土壌	3月29日 13:35	5,090	1,470	1,610						
	陸上	土壌	3月30日 12:30	5,040	307	834						
	陸上	土壌	3月31日 12:10	3,530	1,090	1,180						
	陸上	土壌	4月1日 12:19	3,160	929	934						
	陸上	土壌	4月2日 11:27	2,200	738	803						
	陸上	土壌	4月3日 11:25	3,130	1,460	1,530						
	陸上	土壌	4月4日 11:23	3,070	1,500	1,570						
	陸上	土壌	4月5日 11:42	2,860	1,290	1,410						
	陸上	土壌	4月6日 11:28	772	129	127						
	陸上	土壌	4月7日 11:24	1,230	469	464						
	陸上	土壌	4月8日 11:31	334	142	145						
	陸上	土壌	4月10日 11:06	903	336	393						
	陸上	土壌	4月11日 11:00	593	294	323						
	陸上	土壌	4月12日 11:17	960	381	386						
	陸上	土壌	4月13日 11:13	588	283	296						
	陸上	土壌	4月14日 11:27	782	573	642						
	陸上	土壌	4月15日 11:30	691	645	702						
	陸上	土壌	4月16日 11:15	639	554	618						
	陸上	土壌	4月17日 11:10	859	1,070	1,180						
	陸上	土壌	4月18日 11:04	289	129	153						
	陸上	土壌	4月19日 13:13	457	346	384						
	陸上	土壌	4月20日 11:15	618	1,500	1,680						
	陸上	土壌	4月21日 11:40	543	576	588						
	陸上	土壌	4月22日 11:23	337	389	414						
	陸上	土壌	4月23日 11:23	63	149	143						
	陸上	土壌	4月24日 11:08	149	178	196						
	陸上	土壌	4月25日 13:40	333	414	464						
	陸上	土壌	4月26日 12:30	242	1,110	1,220						
	陸上	土壌	4月27日 11:50	232	558	635						
	陸上	土壌	4月28日 12:00 (4月29日12:00)	310	950	1,100						
	陸上	土壌	4月29日 11:25 (4月30日16:55)	300	980	1,100						
	陸上	土壌	4月30日 11:49 (5月1日14:41)	79	380	410						
	陸上	土壌	5月1日 12:01 (5月2日17:30)	48	100	110						
	陸上	土壌	5月2日 11:16 (5月3日19:05)	210	1,400	1,500						
	陸上	土壌	5月3日 11:38 (5月4日18:58)	180	890	970						
	陸上	土壌	5月4日 11:23 (5月5日15:12)	110	420	480						
	陸上	土壌	5月5日 11:35 (5月6日18:06)	62	250	280						
	陸上	土壌	5月6日 11:46 (5月8日11:09)	94	290	320						
	陸上	土壌	5月7日 11:45 (5月8日15:01)	140	970	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月8日 11:47 (5月9日15:40)	90	200	250	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月9日 12:10 (5月10日 16:11)	48	190	230	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月10日 11:46 (5月11日 16:28)	24	240	300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月11日 11:50 (5月12日 16:12)	38	130	130	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月12日 12:37 (5月14日 15:20)	43	140	160	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月13日 11:42 (5月14日 15:55)	68	720	770	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月14日 13:10 (5月15日 14:52)	70	310	280	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	陸上	土壌	5月15日 11:20 (5月16日 17:22)	67	960	1,100	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
陸上	土壌	5月16日 11:25 (5月18日 15:30)	49	1,300	1,400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月17日 12:05 (5月19日 13:25)	55	1,100	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月18日 12:20 (5月19日 18:07)	76	1,100	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月19日 11:50 (5月20日 16:00)	40	1,400	1,600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月20日 11:40	不検出	104	113	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月21日 11:28	21.4	337	339	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月22日 10:21	14.7	104	96.6	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月23日 11:50	46.4	1,330	1,450	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月24日 11:42	不検出	1,140	1,350	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月25日 11:43	不検出	134	176	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月26日 11:22	43.5	635	763	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月27日 11:15	不検出	83	105	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸上	土壌	5月28日 11:07	不検出	465	499	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		

環境試料の測定結果(17/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	備考		
				131I	134Cs	137Cs	129mTe	132Te	136Cs	140La				
【2-5】(39km西南西)	田村郡小野町小野新町	陸土	土壌	3月17日 14:05	3,210	597	663							
		陸土	土壌	3月18日 12:30	8,170	2,130	2,260							
		陸土	土壌	3月19日 12:15	14,100	4,370	4,630							
		陸土	土壌	3月20日 13:50	10,300	3,050	3,020							
		陸土	土壌	3月21日 13:40	4,890	846	910							
		陸土	土壌	3月22日 11:40	3,220	447	466							
		陸土	土壌	3月23日 12:50	6,430	1,570	1,590							
		陸土	土壌	3月24日 13:18	2,830	696	747							
		陸土	土壌	3月25日 11:39	3,000	722	800							
		陸土	土壌	3月26日 11:50	1,510	148	159							
		陸土	土壌	3月27日 11:10	2,140	123	158							
		陸土	土壌	3月28日 11:25	505	43	59							
		陸土	土壌	3月29日 11:30	2,290	155	161							
		陸土	土壌	3月30日 11:02	2,230	811	947							
		陸土	土壌	3月31日 11:10	1,690	312	342							
		陸土	土壌	4月1日 10:50	1,450	271	281							
		陸土	土壌	4月2日 10:40	1,390	541	600							
		陸土	土壌	4月3日 10:22	1,280	544	671							
		陸土	土壌	4月4日 10:17	791	106	130							
		陸土	土壌	4月5日 10:46	1,410	904	1,040							
		陸土	土壌	4月6日 10:35	650	240	240							
		陸土	土壌	4月7日 10:49	984	572	593							
		陸土	土壌	4月8日 10:40	1,720	1,670	1,900							
		陸土	土壌	4月10日 10:40	926	959	1,040							
		陸土	土壌	4月11日 10:44	316	235	235							
		陸土	土壌	4月12日 10:51	546	359	396							
		陸土	土壌	4月13日 10:30	416	406	429							
		陸土	土壌	4月14日 10:56	637	839	939							
		陸土	土壌	4月15日 10:57	695	1,090	1,050							
		陸土	土壌	4月16日 10:30	230	2,550	268							
		陸土	土壌	4月17日 10:32	225	215	223							
		陸土	土壌	4月18日 10:21	271	257	300							
		陸土	土壌	4月19日 10:54	340	480	516							
		陸土	土壌	4月20日 10:33	143	274	279							
		陸土	土壌	4月21日 10:45	307	614	679							
		陸土	土壌	4月22日 10:26	98.3	67.7	70.2							
		陸土	土壌	4月23日 10:42	289	909	1,020							
		陸土	土壌	4月24日 10:13	275	778	892							
		陸土	土壌	4月25日 11:13	189	698	744							
		陸土	土壌	4月26日 10:51	217	728	835							
		陸土	土壌	4月27日 10:55	136	399	451							
		陸土	土壌	4月28日 10:39 (4月29日16:50)	120	580	620							
		陸土	土壌	4月29日 10:28 (4月30日17:00)	110	660	750							
		陸土	土壌	4月30日 11:09 (5月1日14:37)	120	560	590							
		陸土	土壌	5月1日 10:55 (5月2日17:05)	130	760	910							
		陸土	土壌	5月2日 11:01 (5月3日18:58)	46	300	320							
		陸土	土壌	5月3日 11:04 (5月4日19:18)	49	450	520							
		陸土	土壌	5月4日 10:33 (5月5日15:31)	42	280	250							
		陸土	土壌	5月5日 10:59 (5月6日18:23)	52	480	570							
		陸土	土壌	5月6日 10:42 (5月8日10:58)	120	1,000	1,100							
		陸土	土壌	5月7日 10:42 (5月8日15:05)	77	610	690	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月9日 10:35 (5月9日15:45)	68	870	970	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸土	土壌	5月9日 10:50 (5月10日16:17)	71	1,200	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月10日 10:55 (5月11日16:38)	79	1,100	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月11日 11:00 (5月12日16:16)	77	1,300	1,600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月12日 10:45 (5月14日15:32)	30	200	310	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月13日 10:44 (5月14日16:15)	30	510	590	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月14日 11:20 (5月15日14:25)	60	460	530	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月15日 10:20 (5月16日17:25)	42	620	740	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月16日 10:31 (5月18日15:33)	28	510	610	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月17日 10:34 (5月19日13:47)	34	760	930	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月18日 10:43 (5月19日18:07)	不検出	220	280	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月19日 10:30 (5月20日15:47)	39	1,000	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月20日 11:06	不検出	19.5	27.7	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月21日 10:26	26.5	780	860	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月22日 10:30	26.5	489	549	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月23日 11:13	不検出	1,160	1,280	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月24日 10:33	不検出	915	1,040	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月25日 10:31	不検出	826	949	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月26日 10:28	不検出	1,250	1,530	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月27日 10:20	20	298	342	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月28日 10:37	不検出	1,410	1,600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				

環境試料の測定結果 (18/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	備考		
				131I	134Cs	137Cs	137mTe	132Te	136Cs	140La				
(2-6) (43km 南南西)	いわき市平字橋本	陸土	土壌	3月18日 13:46	3,000	363	61.2							
		陸土	土壌	3月19日 13:15	12,600	279	288							
		陸土	土壌	3月20日 15:17	14,600	412	460							
		陸土	土壌	3月21日 15:10	30,700	1,160	1,220							
		陸土	土壌	3月22日 13:50	1,960	36	23							
		陸土	土壌	3月23日 14:20	32,600	817	840							
		陸土	土壌	3月24日 15:00	27,100	893	951							
		陸土	土壌	3月25日 13:45	23,900	497	519							
		陸土	土壌	3月26日 13:50	41,100	842	875							
		陸土	土壌	3月27日 12:30	25,100	789	849							
		陸土	土壌	3月28日 12:50	11,500	431	465							
		陸土	土壌	3月29日 13:05	15,700	555	617							
		陸土	土壌	3月30日 12:30	1,420	不検出	不検出							
		陸土	土壌	3月31日 12:51	8,370	130	150							
		陸土	土壌	4月1日 12:17	1,540	45	50							
		陸土	土壌	4月2日 12:04	12,600	460	540							
		陸土	土壌	4月3日 11:45	1,400	51	56							
		陸土	土壌	4月4日 11:46	2,070	17	24							
		陸土	土壌	4月5日 12:10	1,280	24	21							
		陸土	土壌	4月6日 12:04	993	35	37							
		陸土	土壌	4月7日 12:11	4,210	323	329							
		陸土	土壌	4月8日 12:03	14,700	1,500	1,700							
		陸土	土壌	4月10日 12:09	8,240	984	1,230							
		陸土	土壌	4月11日 12:18	1,670	170	174							
		陸土	土壌	4月12日 12:14	5,850	899	945							
		陸土	土壌	4月13日 12:00	5,430	658	699							
		陸土	土壌	4月14日 12:28	6,130	683	684							
		陸土	土壌	4月15日 12:35	614	94	114							
		陸土	土壌	4月16日 11:56	1,530	256	305							
		陸土	土壌	4月17日 12:00	5,110	1,670	1,810							
		陸土	土壌	4月18日 11:48	7,280	1,620	1,700							
		陸土	土壌	4月19日 12:20	5,490	1,780	1,960							
		陸土	土壌	4月20日 12:02	4,660	1,430	1,570							
		陸土	土壌	4月21日 12:12	2,540	593	621							
		陸土	土壌	4月22日 11:50	2,780	1,330	1,460							
		陸土	土壌	4月23日 12:40	1,510	519	540							
		陸土	土壌	4月25日 12:35	2,060	944	1,010							
		陸土	土壌	4月26日 12:31	1,470	897	1,040							
		陸土	土壌	4月27日 12:30	1,370	652	752							
		陸土	土壌	4月29日 12:00 (4月30日17:01)	1,200	930	1,000							
		陸土	土壌	4月30日 12:43 (5月1日14:39)	1,400	1,400	1,600							
		陸土	土壌	5月1日 12:26 (5月2日17:06)	1,200	1,200	1,500							
		陸土	土壌	5月2日 12:36 (5月3日18:59)	1,000	1,000	1,100							
		陸土	土壌	5月3日 12:44 (5月4日18:57)	1,200	1,300	1,400							
		陸土	土壌	5月4日 12:05 (5月5日15:11)	1,000	1,200	1,400							
		陸土	土壌	5月5日 12:40 (5月6日18:10)	680	980	1,100							
		陸土	土壌	5月6日 12:12 (5月8日10:59)	690	1,100	1,200							
		陸土	土壌	5月7日 12:22 (5月8日15:00)	980	1,500	1,700	3,000	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月8日 12:10 (5月9日15:39)	600	780	960	1,900	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月9日 12:18 (5月10日16:09)	390	810	890	1,800	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月10日 12:30 (5月11日16:28)	760	1,900	2,200	2,500	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月11日 12:50 (5月12日16:10)	660	2,100	2,200	2,900	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月12日 12:22 (5月14日 15:26)	530	1,600	1,800	3,500	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月13日 12:27 (5月14日 15:54)	77	200	240	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月14日 12:00 (5月15日 14:27)	170	650	700	2,000	不検出	不検出	不検出	110mAg : 41		
		陸土	土壌	5月15日 11:55 (5月16日 17:21)	18	46	55	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月16日 12:07 (5月18日 15:29)	130	370	390	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
		陸土	土壌	5月17日 12:30 (5月19日 13:00)	250	1,200	1,400	1,600	不検出	不検出	不検出	不検出		
陸土	土壌	5月18日 12:08 (5月19日 18:06)	400	1,600	2,000	2,500	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月19日 12:00 (5月20日 15:36)	340	1,600	1,800	3,500	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月20日 13:05	339	1,420	1,590	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月21日 12:06	198	978	1,060	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月22日 12:10	75.5	156	167	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月23日 13:22	241	959	1,140	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月24日 12:10	190	1,160	1,350	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月25日 12:23	225	1,610	1,850	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月26日 12:11	231	1,600	1,840	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月27日 12:06	230	2,160	2,380	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				
陸土	土壌	5月28日 12:08	77	702	786	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出				

環境試料の測定結果(19/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							備考		
				131 _I	134 _{Cs}	137 _{Cs}	132m _{Te}	132 _{Te}	136 _{Cs}	140 _{La}		その他検出された核種	
[2-7] (34km西北西) 伊達新川(保町)山木屋	陸士	土壌	3月25日 15:06	112,000	20,000	21,600							
	陸士	土壌	3月26日 13:59	100,000	20,400	21,900							
	陸士	土壌	3月27日 13:47	50,800	7,310	7,350							
	陸士	土壌	3月28日 13:39	39,800	3,990	4,330							
	陸士	土壌	3月29日 14:50	61,800	22,300	23,400							
	陸士	土壌	3月30日 14:00	42,600	7,060	7,750							
	陸士	土壌	3月31日 13:40	14,700	920	949							
	陸士	土壌	4月1日 14:22	26,400	3,810	3,900							
	陸士	土壌	4月2日 13:29	19,400	5,030	5,340							
	陸士	土壌	4月3日 13:20	43,000	21,600	22,000							
	陸士	土壌	4月4日 13:23	65,900	37,000	38,500							
	陸士	土壌	4月5日 13:40	39,300	14,700	16,300							
	陸士	土壌	4月6日 12:57	30,600	18,600	19,800							
	陸士	土壌	4月7日 13:02	36,300	22,200	22,300							
	陸士	土壌	4月8日 13:08	37,300	21,100	23,300							
	陸士	土壌	4月10日 12:37	9,550	6,880	7,200							
	陸士	土壌	4月11日 12:22	11,400	3,220	3,720							
	陸士	土壌	4月12日 12:28	11,000	6,870	7,600							
	陸士	土壌	4月13日 12:46	6,930	1,380	1,510							
	陸士	土壌	4月14日 12:55	14,400	19,500	22,200							
	陸士	土壌	4月15日 12:42	7,110	4,500	4,770							
	陸士	土壌	4月16日 12:35	7,320	14,400	14,500							
	陸士	土壌	4月17日 12:23	18,500	27,300	30,400							
	陸士	土壌	4月18日 12:16	7,160	9,370	10,300							
	陸士	土壌	4月19日 14:56	5,120	11,200	11,800							
	陸士	土壌	4月20日 12:45	7,390	9,450	10,600							
	陸士	土壌	4月21日 13:15	3,710	17,700	20,200							
	陸士	土壌	4月22日 12:55	8,660	20,100	21,800							
	陸士	土壌	4月23日 12:52	9,260	19,800	22,200							
	陸士	土壌	4月24日 13:12	3,140	3,930	4,590							
	陸士	土壌	4月25日 16:00	8,690	20,100	22,400							
	陸士	土壌	4月26日 14:15	4,810	11,800	12,800							
	陸士	土壌	4月27日 13:28	4,730	21,600	22,700							
	陸士	土壌	4月28日 13:28 (4月29日13:28)	960	1,400	1,400							
	陸士	土壌	4月29日 12:51 (4月30日16:55)	3,800	23,000	24,000							
	陸士	土壌	4月30日 12:51 (5月1日4:42)	2,000	4,700	5,300							
	陸士	土壌	5月1日 13:16 (5月2日17:31)	2,700	8,000	8,600							
	陸士	土壌	5月2日 12:31 (5月3日19:07)	950	3,200	3,400							
	陸士	土壌	5月3日 13:02 (5月4日19:17)	4,000	29,000	31,000							
	陸士	土壌	5月4日 13:08 (5月5日15:30)	1,900	13,000	15,000							
	陸士	土壌	5月5日 13:06 (5月6日18:17)	1,100	7,500	8,500							
	陸士	土壌	5月6日 13:24 (5月8日11:04)	2,000	19,000	21,000							
	陸士	土壌	5月7日 13:16 (5月8日15:04)	1,900	20,000	24,000	9,200	不検出	180	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月8日 13:20 (5月9日15:43)	1,900	18,000	21,000	7,000	不検出	200	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月9日 13:45 (5月10日 16:14)	2,100	22,000	25,000	7,900	不検出	210	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月10日 13:29 (5月11日 16:34)	830	1,600	1,800	1,300	不検出	不検出	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月11日 13:15 (5月12日 16:15)	470	3,000	3,200	1,900	不検出	36	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月12日 14:11 (5月14日 15:30)	190	1,000	1,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月13日 13:14 (5月14日 16:14)	970	13,000	14,000	5,600	不検出	110	不検出	不検出		
	陸士	土壌	5月14日 14:40 (5月15日 14:55)	800	5,400	6,100	2,600	不検出	50	不検出	不検出		
陸士	土壌	5月15日 13:00 (5月16日 17:24)	1,600	24,000	28,000	11,000	不検出	260	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月16日 13:00 (5月18日 15:32)	730	20,000	22,000	7,700	不検出	140	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月17日 13:35 (5月19日 13:36)	440	9,700	11,000	3,900	不検出	80	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月18日 14:15 (5月19日 18:06)	320	7,500	8,100	3,600	不検出	49	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月19日 14:13 (5月20日 15:53)	1,200	27,000	30,000	12,000	不検出	150	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月20日 13:53	455	5,520	5,780	不検出	不検出	36.6	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月21日 14:01	985	18,000	19,600	不検出	不検出	11.2	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月22日 13:55	264	7,150	7,720	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月23日 13:47	245	5,320	5,630	不検出	不検出	32.8	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月24日 13:33	429	20,500	23,300	不検出	不検出	11.4	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月25日 13:43	244	8,120	9,500	不検出	不検出	39.4	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月26日 12:25	443	15,200	17,200	不検出	不検出	71.7	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月27日 12:35	395	9,820	11,200	不検出	不検出	52.3	不検出	不検出			
陸士	土壌	5月28日 12:08	557	16,900	19,800	不検出	不検出	75.4	不検出	不検出			

環境試料の測定結果 (20/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							その他検出された核種	備考			
				131I	134Cs	137Cs	129mTe	132Te	136Cs	140La					
(2-8) (50km北西)	伊達市月形町	陸土	土壌	3月24日 12:10	41,200	6,180	6,850								
		陸土	土壌	3月25日 16:15	20,800	3,570	3,790								
		陸土	土壌	3月26日 15:13	16,000	3,820	3,740								
		陸土	土壌	3月27日 14:54	16,900	2,820	3,070								
		陸土	土壌	3月28日 14:34	22,300	4,910	5,320								
		陸土	土壌	3月29日 15:50	25,700	5,340	5,800								
		陸土	土壌	3月30日 16:05	20,500	3,240	3,360								
		陸土	土壌	3月31日 14:25	27,200	6,040	6,740								
		陸土	土壌	4月1日 15:12	27,000	5,970	6,090								
		陸土	土壌	4月2日 14:27	21,100	5,750	6,100								
		陸土	土壌	4月3日 14:11	25,800	8,250	8,510								
		陸土	土壌	4月4日 14:15	8,270	2,580	2,640								
		陸土	土壌	4月5日 14:25	18,900	6,570	7,180								
		陸土	土壌	4月6日 13:40	3,670	464	494								
		陸土	土壌	4月7日 13:46	2,780	377	400								
		陸土	土壌	4月8日 13:56	9,980	3,850	4,360								
		陸土	土壌	4月10日 13:21	2,510	406	452								
		陸土	土壌	4月11日 13:04	2,290	486	560								
		陸土	土壌	4月12日 13:11	8,940	4,370	4,840								
		陸土	土壌	4月13日 13:36	8,250	6,290	7,160								
		陸土	土壌	4月14日 13:35	8,800	8,000	7,160								
		陸土	土壌	4月15日 13:25	4,110	1,500	8,900								
		陸土	土壌	4月16日 13:26	8,750	8,000	1,600								
		陸土	土壌	4月17日 13:08	4,430	3,710	8,920								
		陸土	土壌	4月18日 12:57	2,170	1,770	4,020								
		陸土	土壌	4月19日 16:00	3,520	4,850	2,010								
		陸土	土壌	4月20日 13:30	1,310	1,000	1,180								
		陸土	土壌	4月21日 14:05	2,430	3,620	4,170								
		陸土	土壌	4月22日 13:38	2,580	4,500	5,060								
		陸土	土壌	4月23日 13:48	2,530	4,510	5,110								
		陸土	土壌	4月24日 14:00	2,090	4,120	4,740								
		陸土	土壌	4月25日 17:10	1,870	1,640	1,850								
		陸土	土壌	4月26日 15:10	1,910	3,420	3,840								
		陸土	土壌	4月27日 14:20	2,350	6,210	7,040								
		陸土	土壌	4月28日 14:20 (4月29日14:20)	1,100	2,300	2,500								
		陸土	土壌	4月29日 13:38 (4月30日13:38)	1,500	2,600	3,000								
		陸土	土壌	4月30日 14:15 (5月1日14:53)	1,100	2,100	2,400								
		陸土	土壌	5月1日 14:01 (5月2日17:26)	640	1,700	2,000								
		陸土	土壌	5月2日 13:13 (5月3日19:06)	1,200	3,000	3,500								
		陸土	土壌	5月3日 14:06 (5月4日18:58)	870	1,900	2,100								
		陸土	土壌	5月4日 14:09 (5月5日15:12)	1,200	2,400	2,800								
		陸土	土壌	5月5日 14:03 (5月6日18:15)	630	1,700	1,700								
		陸土	土壌	5月6日 14:21 (5月8日11:06)	940	3,200	3,900								
		陸土	土壌	5月7日 14:15 (5月8日15:01)	780	3,700	4,000	1,500	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月8日 14:30 (5月9日15:40)	460	810	880	820	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月9日 15:06 (5月10日16:11)	440	1,900	2,000	1,100	不検出	30	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月10日 14:27 (5月11日16:30)	470	3,600	4,400	1,500	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月11日 14:10 (5月12日16:12)	450	1,700	2,000	950	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月12日15:04 (5月14日15:22)	150	500	600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月13日 14:03 (5月14日16:21)	570	5,000	5,600	2,900	不検出	42	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月14日 10:20 (5月15日14:53)	100	490	540	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月15日 14:06 (5月16日17:17)	410	4,500	4,900	2,200	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月16日 13:50 (5月18日15:30)	320	4,500	5,100	1,700	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月17日 14:25 (5月19日13:33)	440	4,000	4,900	2,100	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月18日 15:20 (5月19日18:03)	74	420	490	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
		陸土	土壌	5月19日 15:30 (5月20日15:52)	95	1,800	2,100	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸土	土壌	5月20日 14:51	308	4,020	4,410	不検出	不検出	29.5	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月21日 15:05	71.3	785	770	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月22日 15:00	206	3,670	4,240	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月23日 14:48	39.8	394	425	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月24日 14:36	295	6,800	7,630	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月25日 14:42	167	4,020	4,820	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月26日 13:30	202	6,060	6,700	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月27日 13:55	182	5,430	6,180	不検出	不検出	32.8	不検出	不検出					
陸土	土壌	5月28日 12:55	179	6,520	7,420	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出					

環境試料の測定結果(22/23)

添付V-13-4-(3)

採取地	試料名 種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							備考	
			131I	134Cs	137Cs	137mTe	132Te	135Cs	140La		その他検出された核種
[4-2] (60km西)	須賀川市八幡町	陸士 土壌 4月7日 1310	1,450	1,630	1,630						
		陸士 土壌 4月8日 1150	1,080	869	925						
		陸士 土壌 4月10日 1120	989	1,120	1,280						
		陸士 土壌 4月11日 1140	1,290	1,720	1,820						
		陸士 土壌 4月12日 1150	1,020	1,590	1,760						
		陸士 土壌 4月13日 1212	329	268	321						
		陸士 土壌 4月14日 1147	1,080	1,790	1,830						
		陸士 土壌 4月15日 1200	1,120	1,850	1,950						
		陸士 土壌 4月16日 1115	735	1,280	1,370						
		陸士 土壌 4月17日 1125	702	1,580	1,730						
		陸士 土壌 4月18日 1145	487	1,110	1,190						
		陸士 土壌 4月19日 1150	353	624	675						
		陸士 土壌 4月20日 1130	296	650	736						
		陸士 土壌 4月21日 1230	314	845	911						
		陸士 土壌 4月22日 1200	411	1,270	1,410						
		陸士 土壌 4月23日 1155	312	896	1,050						
		陸士 土壌 4月24日 1110	249	1,030	1,160						
		陸士 土壌 4月7日 1110	3,770	3,200	3,310						
		陸士 土壌 4月8日 1035	4,460	4,780	5,070						
		陸士 土壌 4月10日 1020	5,100	5,670	6,220						
		陸士 土壌 4月11日 1020	3,250	4,240	4,700						
		陸士 土壌 4月12日 1030	2,220	3,050	3,430						
		陸士 土壌 4月13日 1046	2,020	2,980	3,210						
		陸士 土壌 4月14日 1022	6,050	5,100	5,640						
		陸士 土壌 4月15日 1040	545	363	466						
		陸士 土壌 4月16日 1000	2,630	1,250	1,330						
陸士 土壌 4月17日 1010	1,180	647	717								
陸士 土壌 4月18日 1010	1,800	1,770	1,960								
陸士 土壌 4月19日 1030	309	402	480								
陸士 土壌 4月20日 1010	3,140	4,270	4,740								
陸士 土壌 4月21日 1040	3,640	6,210	7,060								
陸士 土壌 4月22日 1033	4,870	9,270	9,910								
陸士 土壌 4月23日 1040	2,800	5,670	6,210								
陸士 土壌 4月24日 1000	3,060	6,860	7,360								
陸士 土壌 4月25日 1150	1,760	4,060	4,560								
陸士 土壌 4月26日 1100	1,630	3,140	3,580								
陸士 土壌 4月27日 1046	1,770	4,060	4,470								
陸士 土壌 4月28日 1037 (4月29日1039)	460	1,200	1,400								
陸士 土壌 4月29日 1025 (4月30日1656)	870	2,500	2,600								
陸士 土壌 4月30日 1050 (5月1日444)	230	660	700								
陸士 土壌 5月1日 1052 (5月2日1733)	410	1,400	1,600								
陸士 土壌 5月2日 1016 (5月3日1913)	31	200	280								
陸士 土壌 5月3日 1031 (5月4日1916)	260	670	770								
陸士 土壌 5月4日 1024 (5月5日1530)	180	650	730								
陸士 土壌 5月5日 1032 (5月6日1821)	130	480	560								
陸士 土壌 5月6日 1043 (5月8日1059)	130	630	710								
陸士 土壌 5月7日 1014 (5月8日1504)	48	580	540	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月8日 1040 (5月9日1543)	170	420	540	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月9日 1055 (5月10日1614)	57	560	610	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月10日 1039 (5月11日1626)	60	510	520	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月11日 1055 (5月12日1615)	340	2,700	3,200	2,600	不検出	38	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月12日 1113 (5月14日1531)	31	300	310	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月13日 1040 (5月14日1614)	51	370	450	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月14日 1027 (5月15日1424)	34	610	730	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月15日 1010 (5月16日1725)	55	450	460	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月16日 1020 (5月18日1542)	36	490	520	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月17日 1045 (5月19日1340)	100	1,100	1,300	820	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月18日 1103 (5月19日1823)	不検出	510	540	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月19日 1036 (5月20日1554)	120	2,800	3,000	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月20日 1030	174	1,560	1,760	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月21日 1019	230	193	207	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月22日 1021	698	461	498	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月23日 1035	不検出	405	474	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月24日 1035	367	733	774	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月25日 1030	294	6,890	7,670	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月26日 1020	81.1	2,250	2,600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月27日 1010	66.2	1,200	1,400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 5月28日 1002	174	6,320	7,400	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出			
陸士 土壌 4月7日 1415	3,670	2,730	2,890								
陸士 土壌 4月7日 1410	1,830	1,340	1,390								
陸士 土壌 4月8日 1340	2,790	2,230	2,410								
陸士 土壌 4月10日 1300	1,280	1,700	1,890								
陸士 土壌 4月11日 1310	1,630	1,700	1,810								
陸士 土壌 4月12日 1320	534	653	702								
陸士 土壌 4月13日 1353	2,020	2,300	2,520								
陸士 土壌 4月14日 1326	1,440	1,850	1,780								
陸士 土壌 4月15日 1340	511	1,370	1,350								
陸士 土壌 4月16日 1245	1,560	3,750	4,140								
陸士 土壌 4月17日 1250	591	1,440	1,490								
陸士 土壌 4月18日 1236	1,760	4,800	5,220								
陸士 土壌 4月19日 1315	585	1,210	1,430								
陸士 土壌 4月20日 1230	256	553	583								
陸士 土壌 4月21日 1359	547	1,640	1,690								
陸士 土壌 4月23日 1250	500	1,260	1,390								
陸士 土壌 4月24日 1230	109	433	454								

環境試料の測定結果 (23/23)

添付V-13-4-(3)

採取地点	試料名	種類 又は部位	採取日時 (測定日時)*1	放射能濃度 (Bq/kg)							備考		
				¹³¹ I	¹³⁴ O _S	¹³⁷ O _S	^{129m} I _e	¹³² I _e	¹³⁵ O _S	¹⁴⁰ La		その他検出された核種	
[4-5] (80km南西)	西白河郡西郷村	陸士	土壌	4月8日 15:30	1,330	956	923						
		陸士	土壌	4月10日 14:10	1,490	1,240	1,460						
		陸士	土壌	4月11日 14:40	4,590	6,060	6,740						
		陸士	土壌	4月12日 14:40	3,660	4,640	5,250						
		陸士	土壌	4月13日 15:36	2,710	4,540	4,760						
		陸士	土壌	4月14日 14:54	2,900	4,220	4,550						
		陸士	土壌	4月15日 15:00	1,840	3,020	3,380						
		陸士	土壌	4月16日 14:00	1,220	1,800	1,680						
		陸士	土壌	4月17日 14:00	1,860	3,300	3,730						
		陸士	土壌	4月18日 14:30	435	2,680	3,070						
		陸士	土壌	4月19日 14:30	1,350	2,830	3,180						
		陸士	土壌	4月20日 14:05	784	1,880	2,010						
		陸士	土壌	4月21日 14:58	904	2,580	2,800						
		陸士	土壌	4月22日 15:10	1,210	3,120	3,580						
		陸士	土壌	4月23日 15:00	278	1,780	2,010						
		陸士	土壌	4月24日 13:40	804	3,010	3,410						
[ms-1] (33km北北西)	南相馬市原町区大原	陸士	土壌	5月24日 10:17	211	6,000	6,440	不検出	不検出	37.6	不検出	^{110m} A _g : 68.5	[ms-1]
[ms-3] (36km北北西)	南相馬市鹿島区上栢窪	陸士	土壌	5月24日 11:36	77.2	10,400	12,100	不検出	不検出	39.3	不検出	不検出	[ms-3]
[ms-4] (27km北北西)	南相馬市原町区高倉	陸士	土壌	5月24日 14:49	53.5	1,730	1,830	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[ms-4]
[ms-5] (25km北北西)	南相馬市原町区高倉	陸士	土壌	5月24日 15:07	268	11,100	11,900	不検出	不検出	68.4	不検出	^{110m} A _g : 127	[ms-5]
[ms-6] (21km北北西)	南相馬市原町区馬場	陸士	土壌	5月24日 13:58	736	45,500	50,300	不検出	不検出	231	不検出	^{110m} A _g : 394	[ms-6]
[ms-7] (22km北北西)	南相馬市原町区馬場	陸士	土壌	5月24日 14:21	183	10,100	11,200	不検出	不検出	46.1	不検出	^{110m} A _g : 54.5	[ms-7]
[ms-8] (20km北)	南相馬市原町区金沢	陸士	土壌	5月24日 12:36	37.4	1,460	1,600	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[ms-8]
[ms-9] (24km北)	南相馬市原町区高見町	陸士	土壌	5月24日 12:55	134	4,150	4,560	不検出	不検出	不検出	不検出	^{110m} A _g : 44.1	[ms-9]
[ms-10] (21km北北西)	南相馬市原町区高	陸士	土壌	5月24日 13:18	130	2,640	2,980	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[ms-10]
[ms-11] (23km北北西)	南相馬市鹿島区大原	陸士	土壌	5月24日 10:59	137	8,890	9,680	不検出	不検出	48.2	不検出	^{110m} A _g : 65.9	[ms-11]
[ms-12] (32km北北西)	南相馬市鹿島区榎原前田境内	陸士	土壌	5月24日 11:04	63.7	1,260	1,480	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[ms-12]
[kw-1] (42km北北西)	伊達郡川俣町小網木字後込	陸士	土壌	5月25日 10:46	191	3,730	3,970	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[kw-1]
[kw-2] (42km北北西)	伊達郡川俣町小網木字上羽釜	陸士	土壌	5月25日 10:59	187	2,920	2,950	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[kw-2]
[kw-3] (40km北北西)	伊達郡川俣町山木屋字下長橋	陸士	土壌	5月25日 11:16	149	6,810	7,270	不検出	不検出	40.6	不検出	不検出	[kw-3]
[kw-4] (37km北北西)	伊達郡川俣町山木屋字房由	陸士	土壌	5月25日 11:35	不検出	7,070	7,440	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[kw-4]
[kw-5] (34km北北西)	伊達郡川俣町山木屋字一畑立山	陸士	土壌	5月25日 11:52	370	12,400	12,900	不検出	不検出	49.2	不検出	不検出	[kw-5]
[kw-6] (33km北北西)	伊達郡川俣町山木屋字広久保山	陸士	土壌	5月25日 12:08	1,060	35,700	40,500	不検出	不検出	162	不検出	不検出	[kw-6]
[kw-7] (45km北北西)	伊達郡川俣町小網木字仲田	陸士	土壌	5月25日 9:53	138	4,010	4,160	不検出	不検出	32.7	不検出	不検出	[kw-7]
[kw-8] (43km北北西)	伊達郡川俣町小網木字泡吹地	陸士	土壌	5月25日 10:08	239	5,200	5,730	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[kw-8]
[kw-9] (43km北北西)	伊達郡川俣町小網木字若松	陸士	土壌	5月25日 10:22	140	6,240	6,920	不検出	不検出	34.7	不検出	不検出	[kw-9]
[kw-10] (42km北北西)	伊達郡川俣町小網木字渡	陸士	土壌	5月25日 10:36	195	6,540	7,200	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[kw-10]
[rn-2] (36km北北西)	二本松市田沢字下曲山	陸士	土壌	5月25日 12:25	64.0	3,180	3,320	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	[rn-2]
(参考)	(参考)	双葉郡大熊町	陸士	土壌	3月31日 13:00	423,000	90,000	98,100					

上記測定結果は政府現地対策本部が、福島県に依頼し、その結果を入手したものである。
^{129m}I_e, ¹³²I_e, ¹³⁵O_S, ¹⁴⁰La。その他検出された核種の空間分布については確認中。
 *1 () 内に測定日時の記載がある試料の放射能濃度は、採取日時から測定日時までの放射能減衰が考慮されていない。
 尚、ここに掲載された測定は、日本分析センター、福島県原子力センターにより実施されています。

福島第一原子力発電所から20-30km 圏内の土壌試料のPu の分析結果

採取場所	採取日時	空間放射線 量率 [μ Sv/h]	Pu-238	Pu-239+240	U-235/U-238
葛尾村 小出谷 付近	3月23日 10:20頃	43.5	検出されず (0.1 Bq/kg 以下)	検出されず (0.1 Bq/kg 以下)	0.00731
浪江町 昼曽根 トンネ ル東側	3月23日 10:40頃	46.5	検出されず (0.1 Bq/kg 以下)	検出されず (0.1 Bq/kg 以下)	0.00726
浪江町 赤字木	3月22日 11:30頃	50.1	検出されず (0.1 Bq/kg 以下)	検出されず (0.1 Bq/kg 以下)	0.00723

福島第1原子力発電所の事故に係る陸土及び植物の放射性ストロンチウム分析結果

試料名	地点番号 または 採取地	採取日	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	^{89}Sr	^{90}Sr	単位
陸土	31* ²	3月17日	30,000	2,300	2,300	13	3.3	Bq/kg湿土
陸土	32* ²	3月16日	100,000	20,000	19,000	81	9.4	Bq/kg湿土
陸土	33* ³	3月16日	160,000	52,000	51,000	260	32	Bq/kg湿土
植物	大玉村	3月19日	43,000	89,000	90,000	61	5.9	Bq/kg生
植物	本宮市	3月19日	21,000	57,000	57,000	28	3.7	Bq/kg生
植物	小野町	3月19日	22,000	12,000	12,000	12	1.8	Bq/kg生
植物	西郷村	3月19日	12,000	25,000	25,000	15	3.8	Bq/kg生

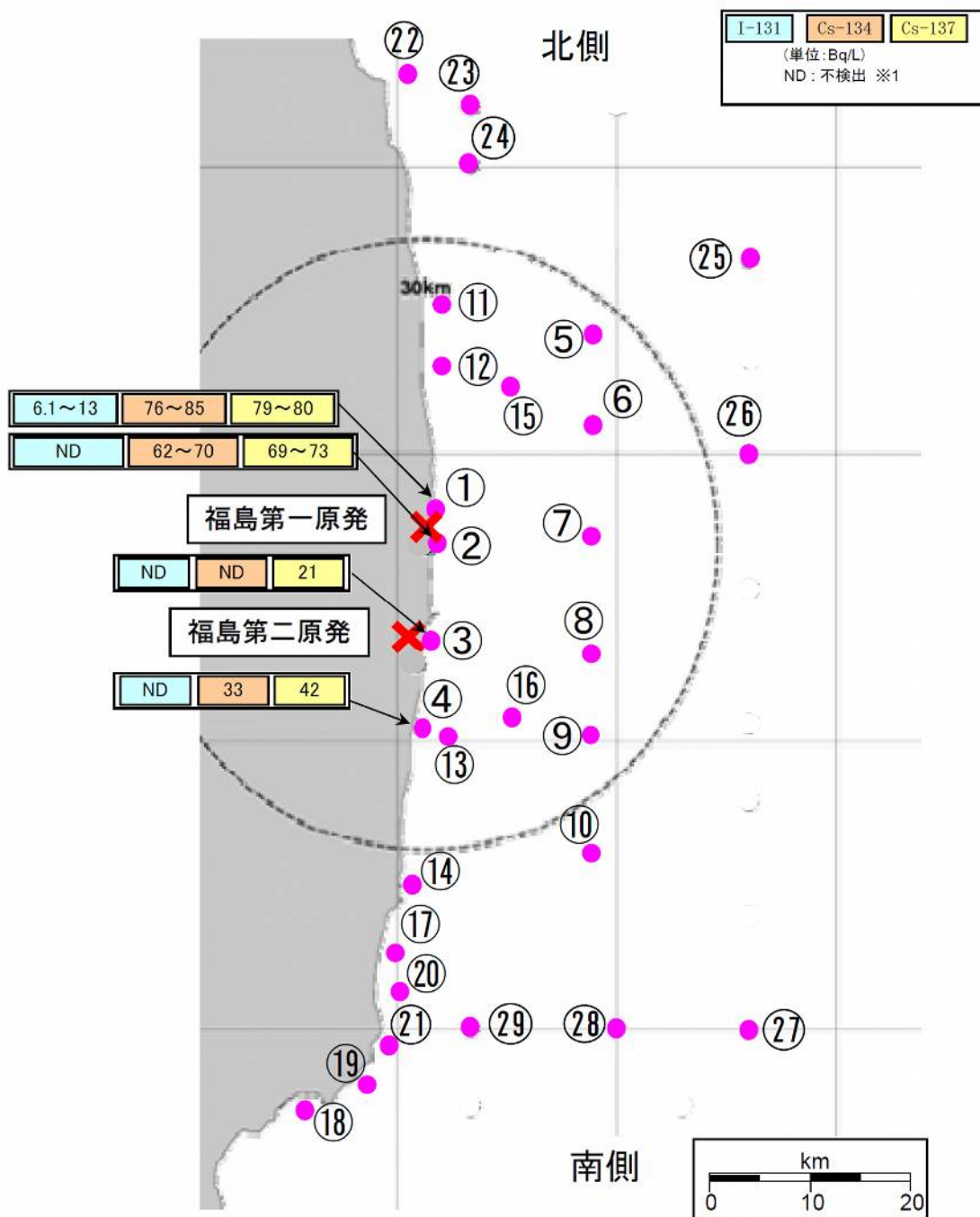
*1 植物は福島県から提供された。

*2 浪江町

*3 飯舘村

福島第一原子力発電所周辺の海水中の放射能濃度分布

(試料採取日:平成23年5月29日)

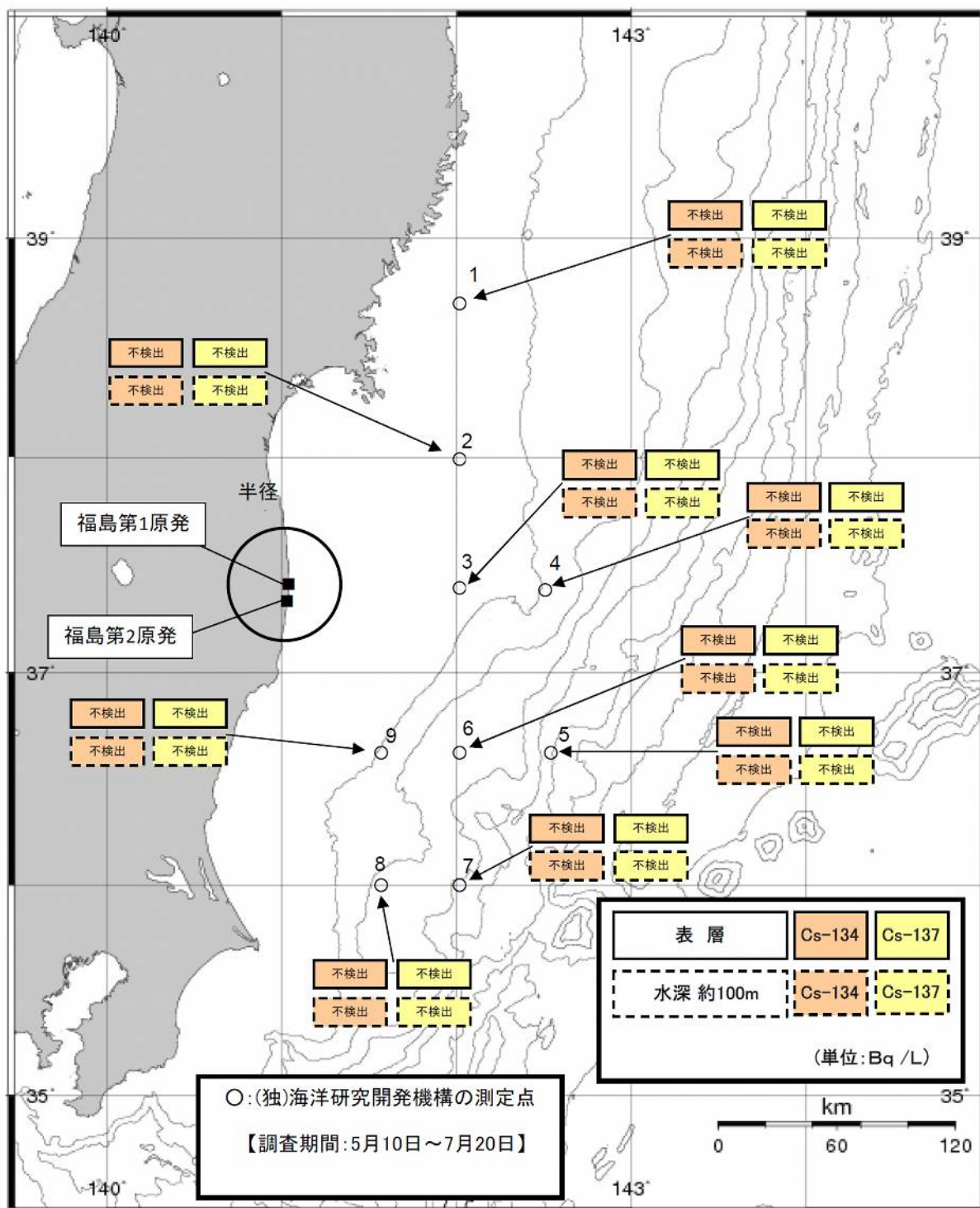


*全て上層

*東京電力(株)の発表 (<http://www.tepco.co.jp/cc/press/index11-j.html>) をもとに文部科学省が作成

※1 本分析における海水の放射能濃度の検出限界値(I-131が約6Bq/L、Cs-134が約14Bq/L)を下回る場合は、NDと記載。

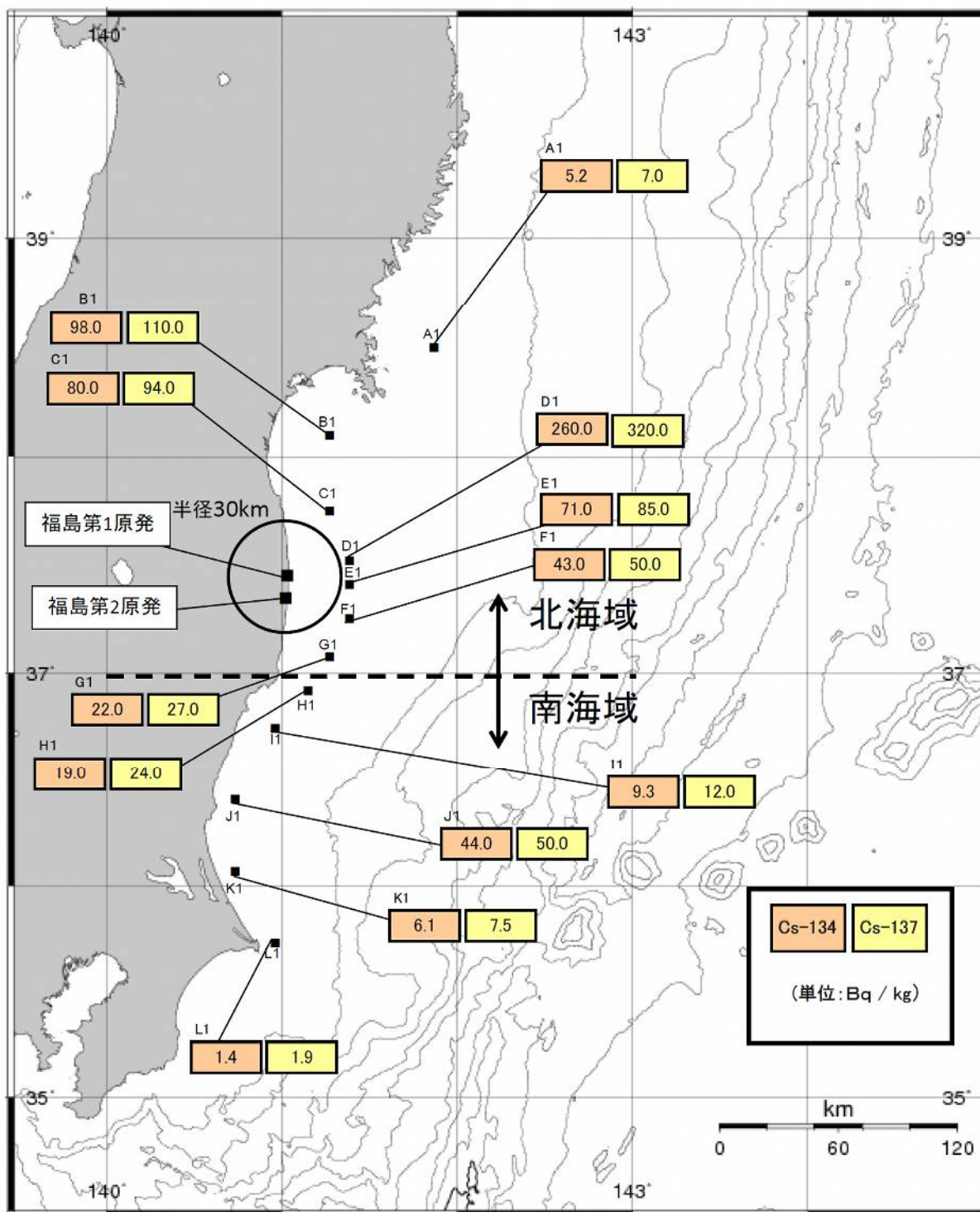
海域モニタリング結果(平成23年5月10日～12日採水)



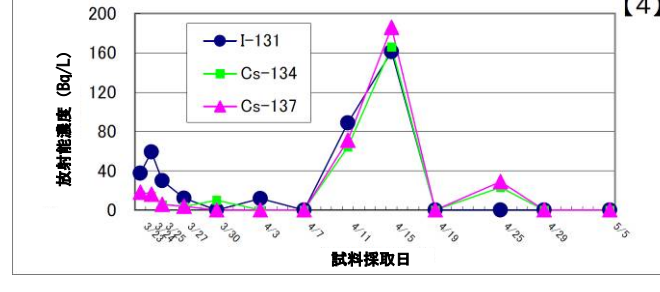
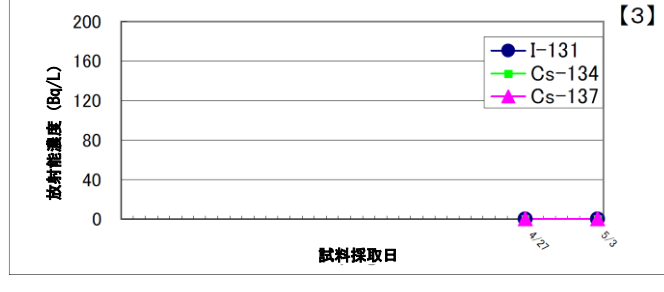
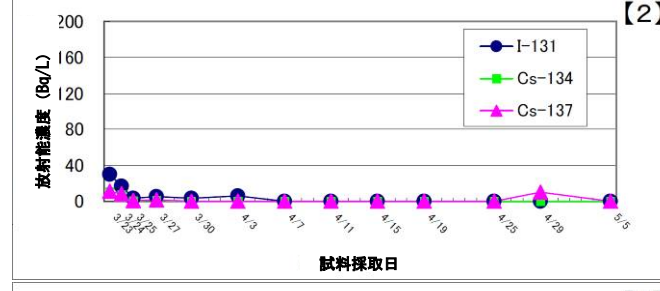
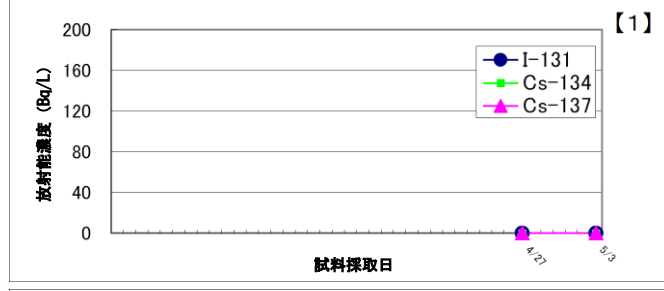
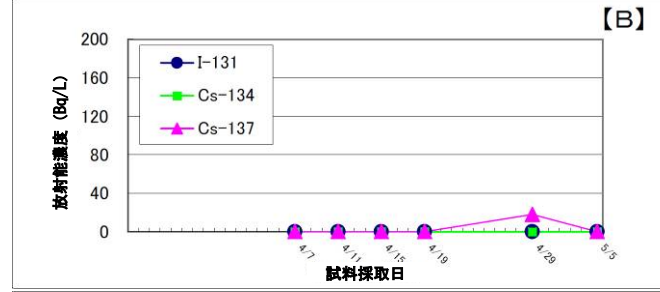
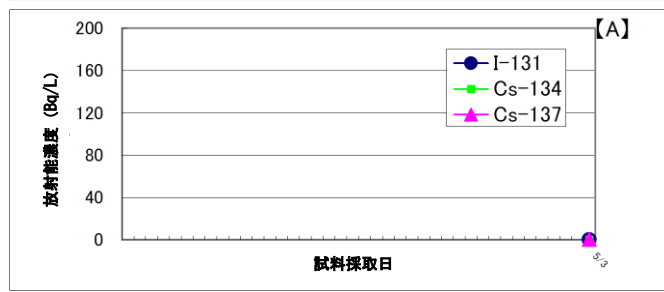
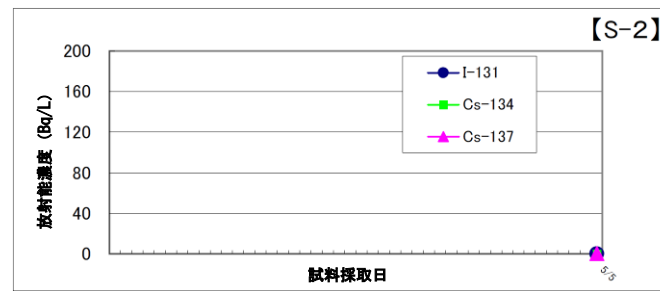
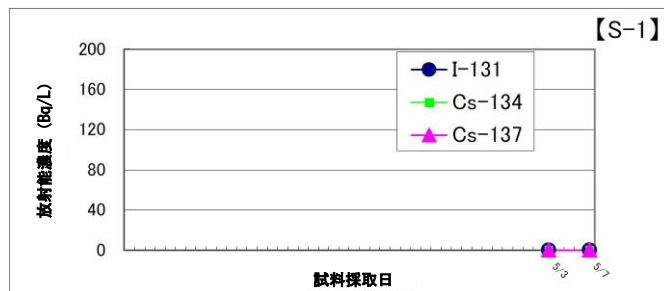
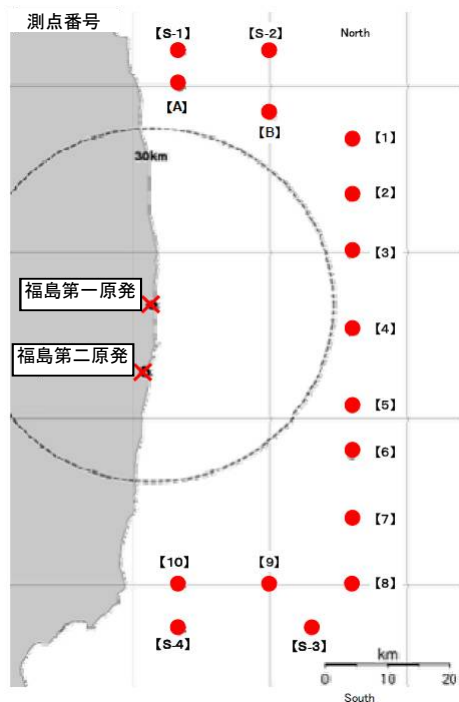
上記測定点の海水温度及び塩分濃度については、独立行政法人 海洋研究開発機構の下記Webにて公開している。
<http://www.godac.jamstec.go.jp/monitoringdata/>

海域モニタリング結果(平成23年5月9日~14日採取)

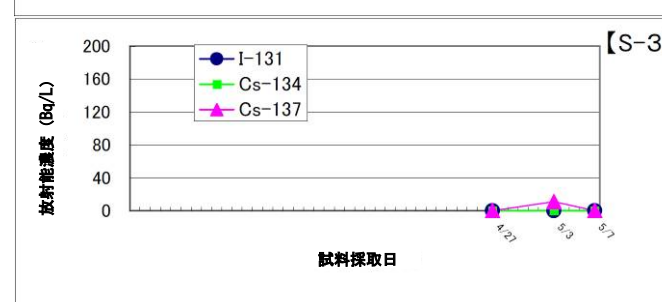
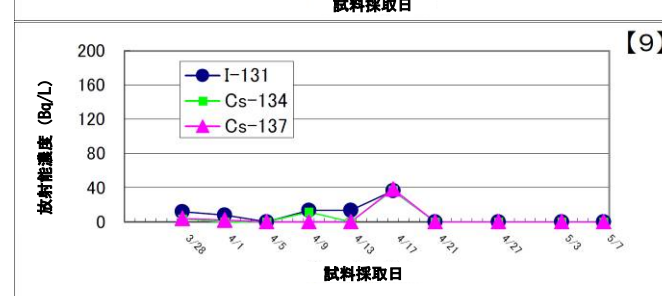
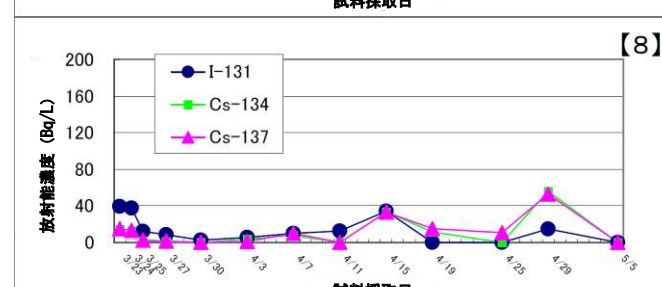
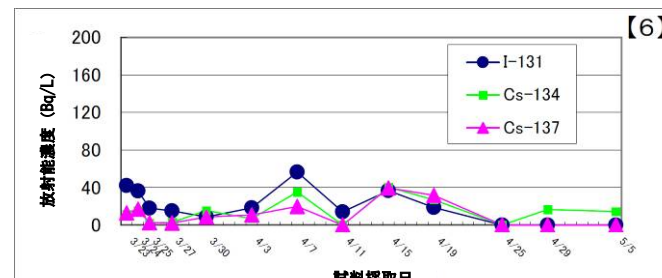
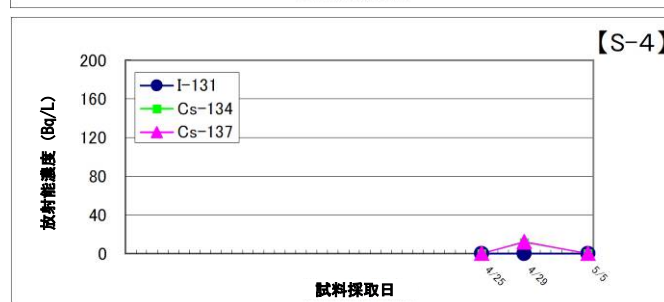
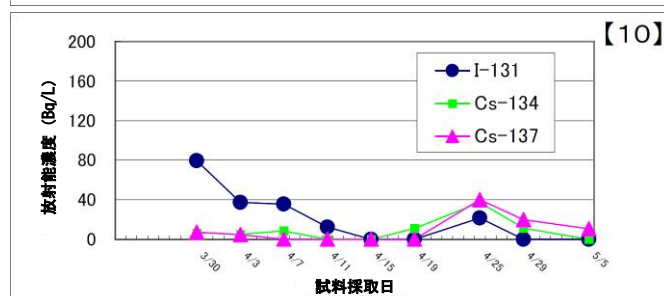
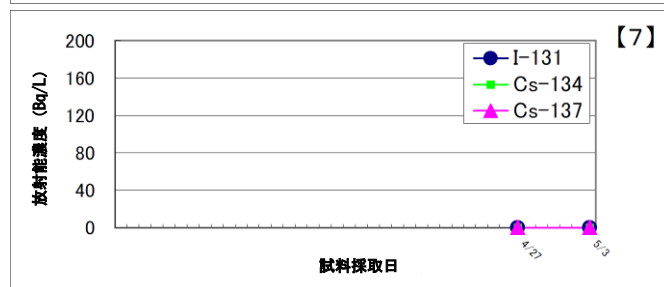
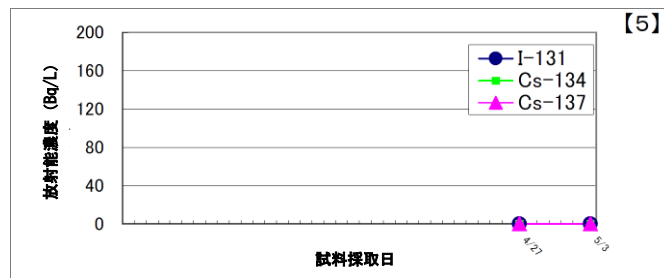
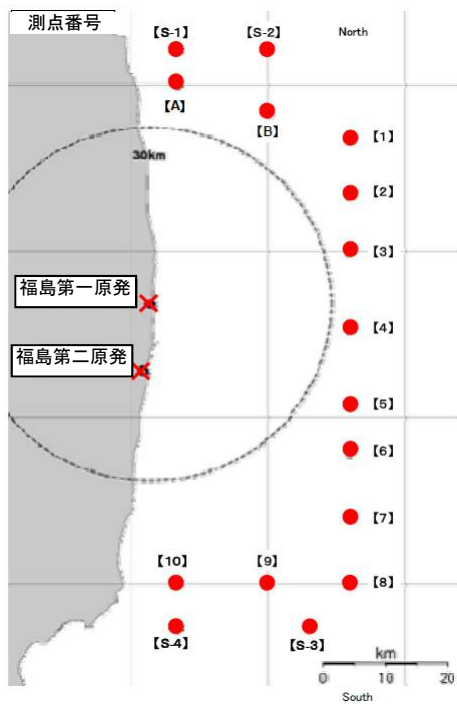
海底土の放射能濃度



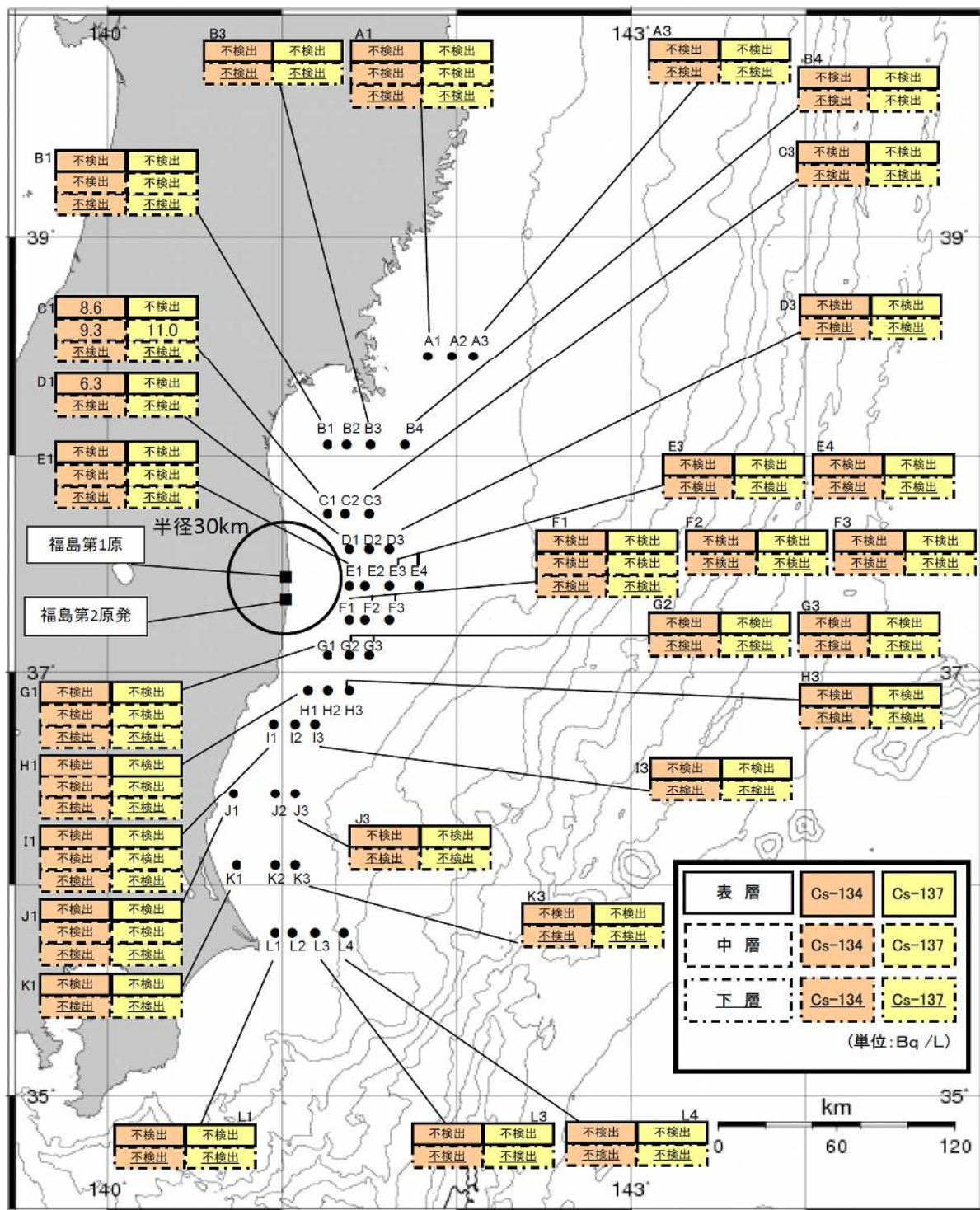
福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング結果 (1/2)



福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング結果 (2/2)



海域モニタリング結果(平成23年5月9日~14日採水)



C1 8.6 不検出
9.3 11.0
不検出 不検出

D1 6.3 不検出
不検出 不検出

G1 不検出 不検出
不検出 不検出

H1 不検出 不検出
不検出 不検出

I1 不検出 不検出
不検出 不検出

J1 不検出 不検出
不検出 不検出

K1 不検出 不検出
不検出 不検出

J3 不検出 不検出
不検出 不検出

F1 不検出 不検出
不検出 不検出

G2 不検出 不検出
不検出 不検出

H3 不検出 不検出
不検出 不検出

I3 不検出 不検出
不検出 不検出

K3 不検出 不検出
不検出 不検出

L1 不検出 不検出
不検出 不検出

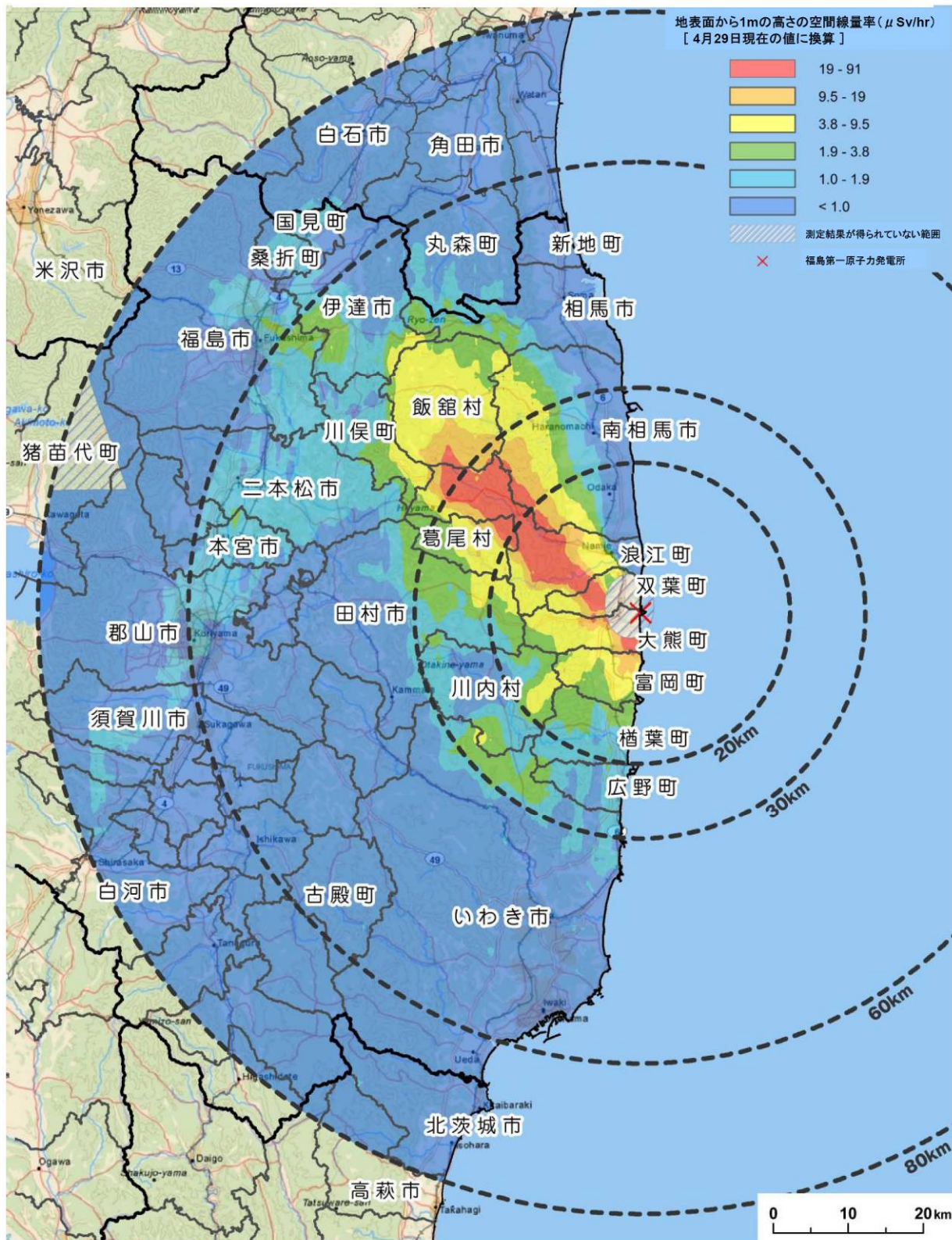
L3 不検出 不検出
不検出 不検出

L4 不検出 不検出
不検出 不検出

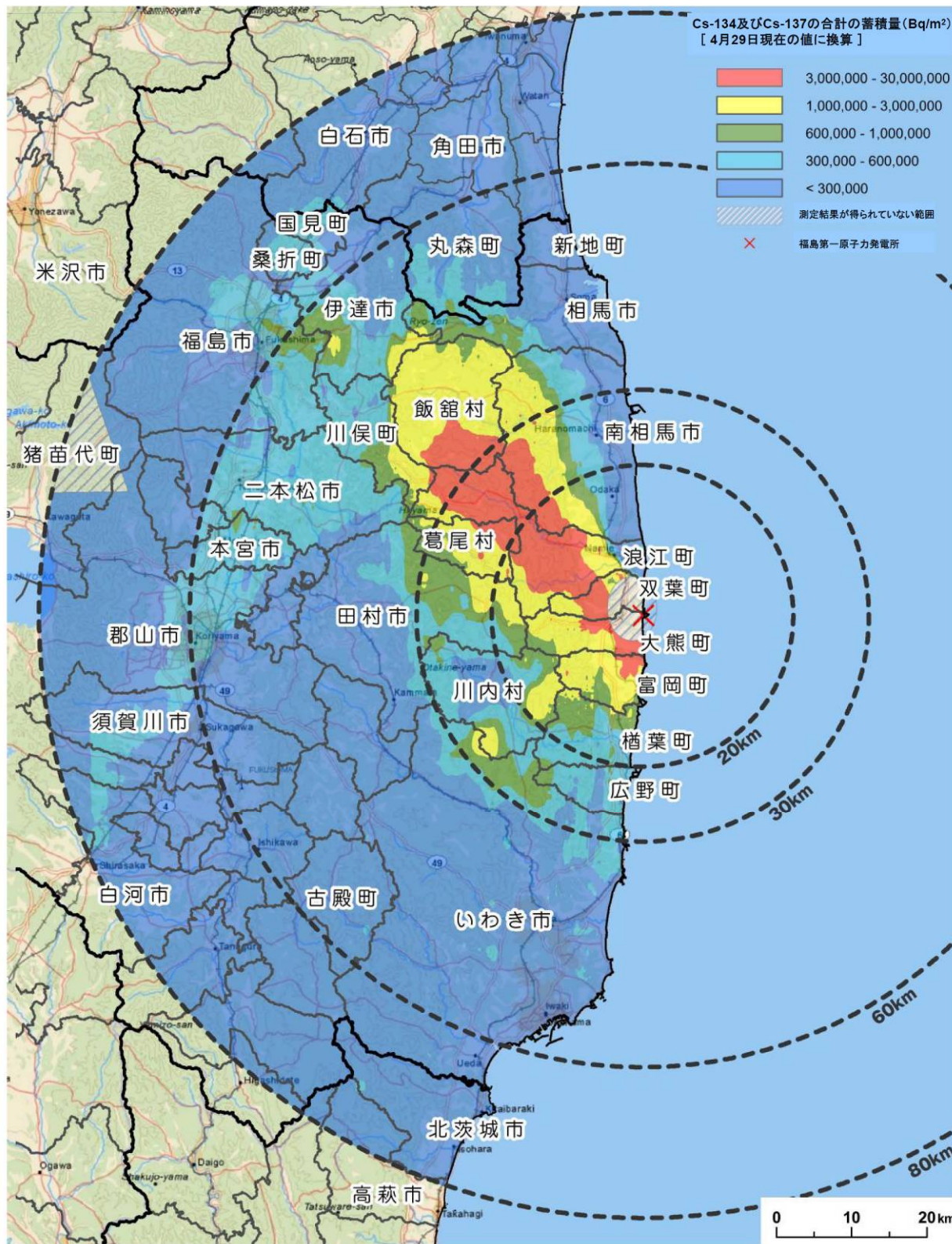
表層	Cs-134	Cs-137
中層	Cs-134	Cs-137
下層	Cs-134	Cs-137

(単位: Bq / L)

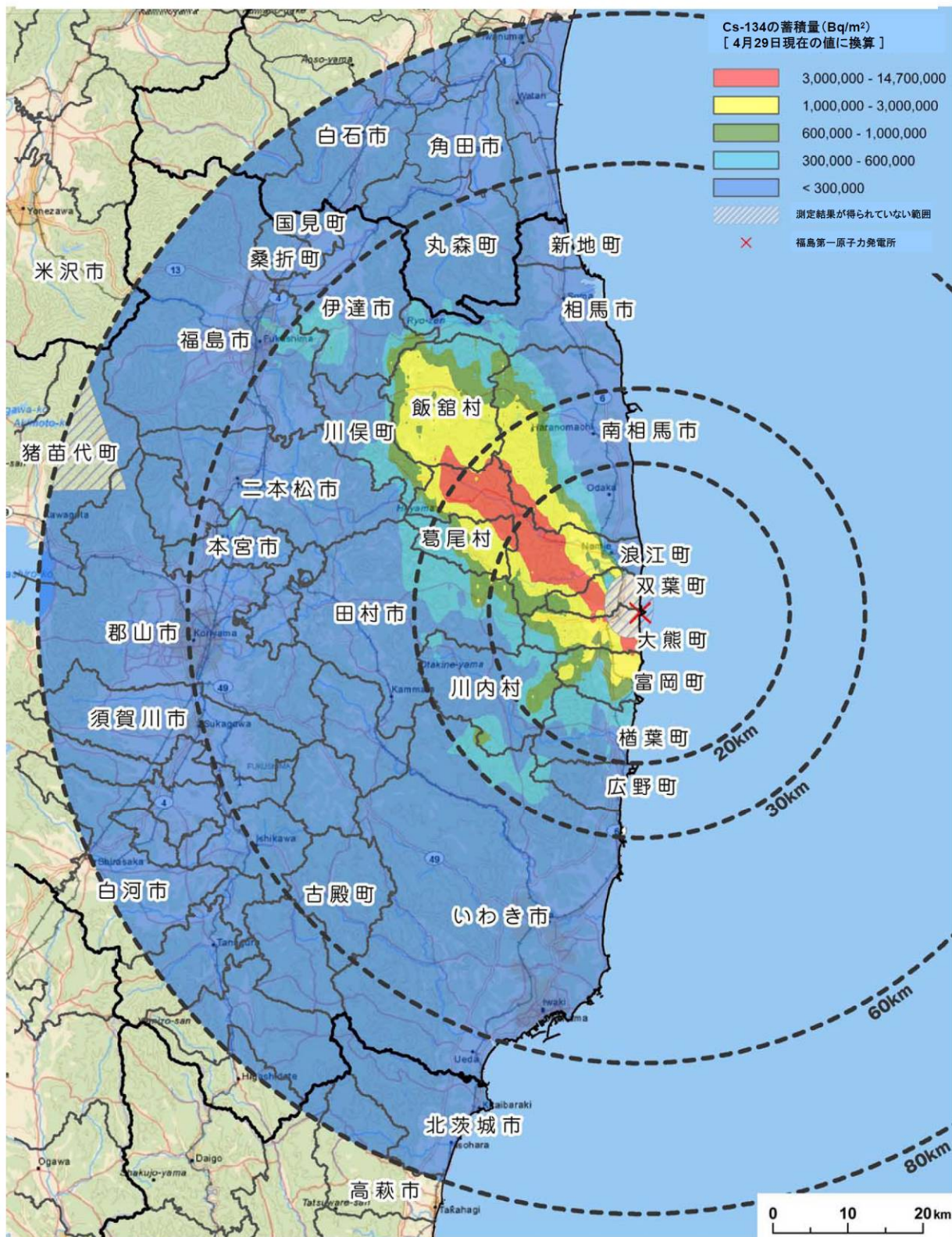
文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果
 (福島第一原子力発電所から80km圏内の線量測定マップ)



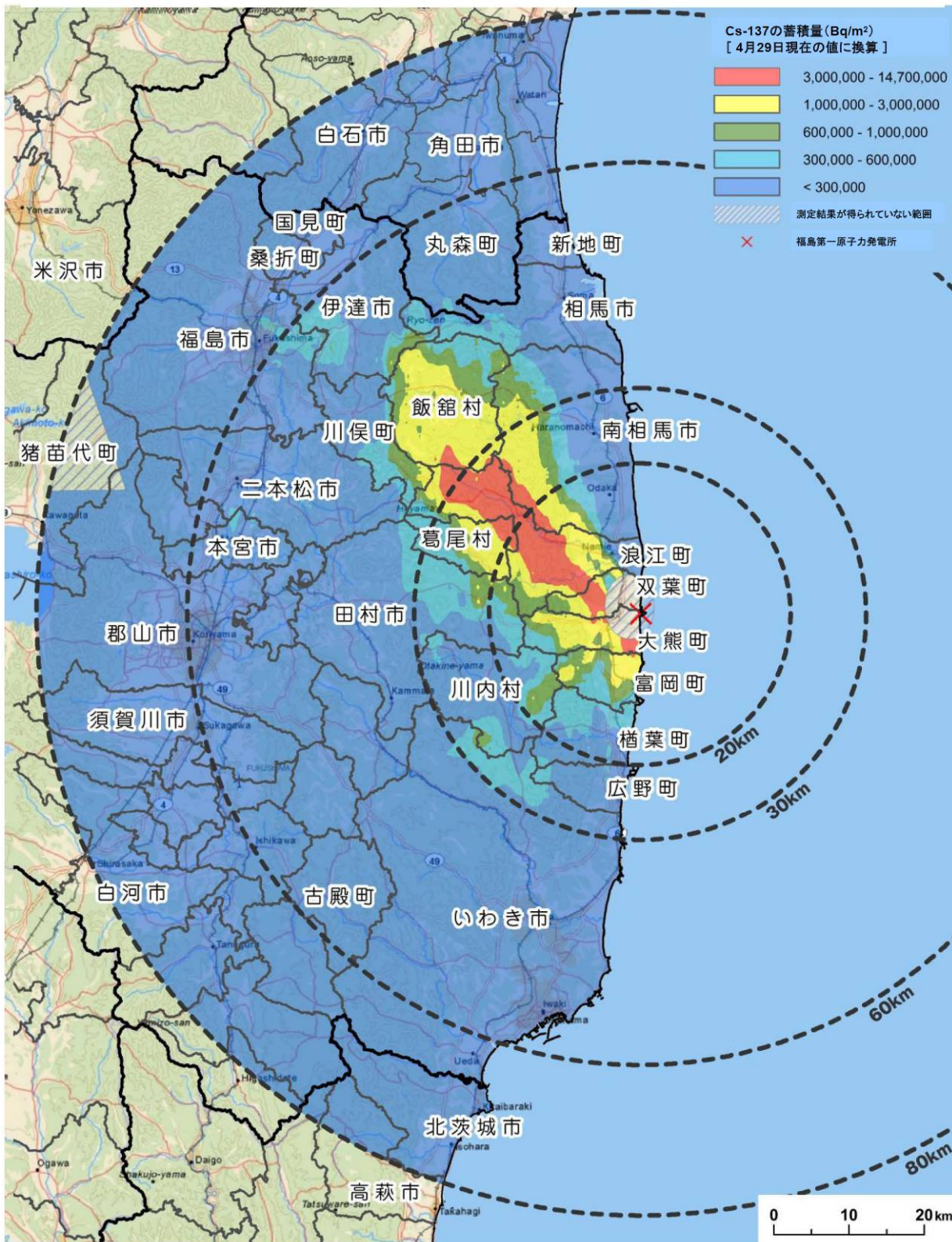
文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果
 (福島第一原子力発電所から80km圏内のセシウム134, 137の地表面への蓄積量の合計)

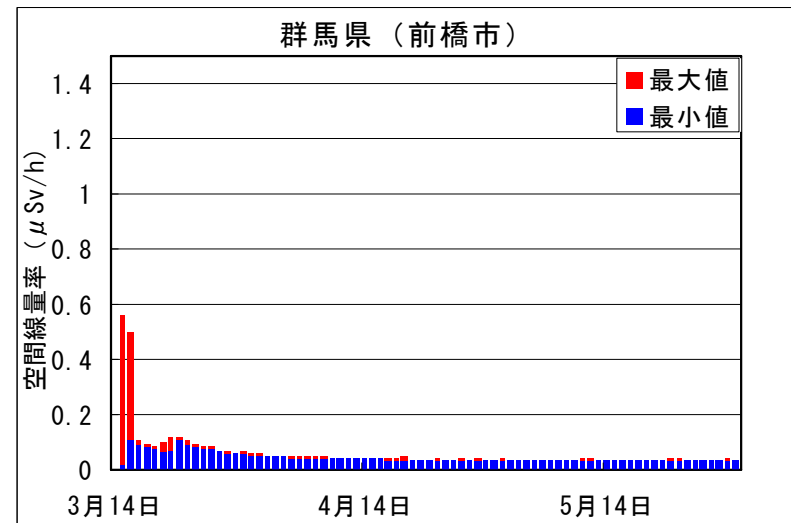
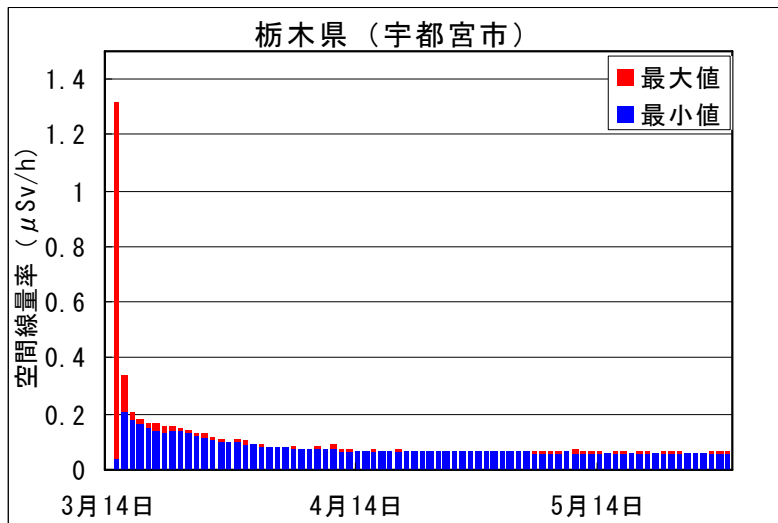
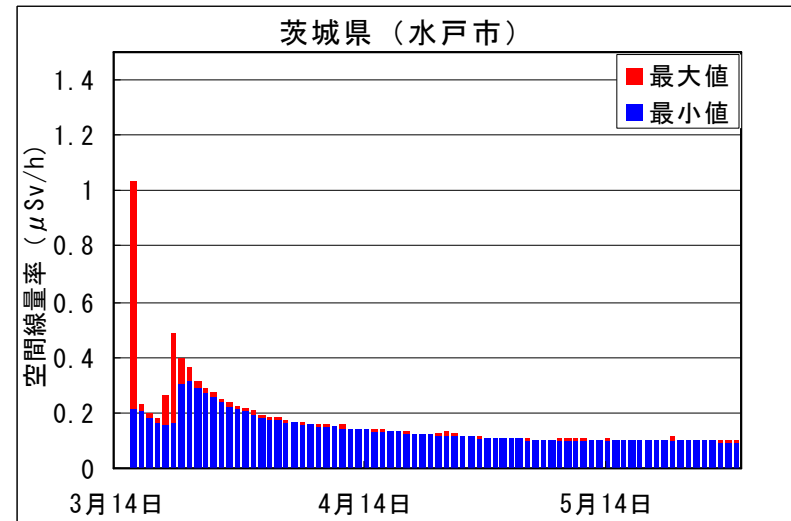
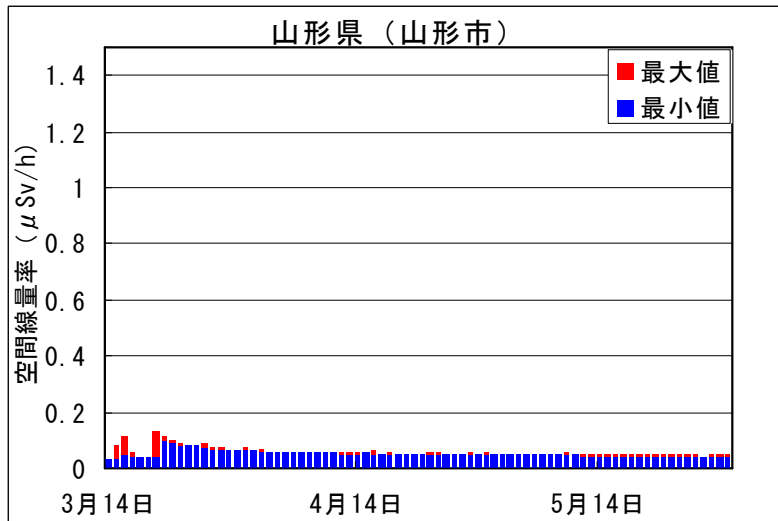


文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果
 (福島第一原子力発電所から80km圏内のセシウム134の地表面への蓄積量)

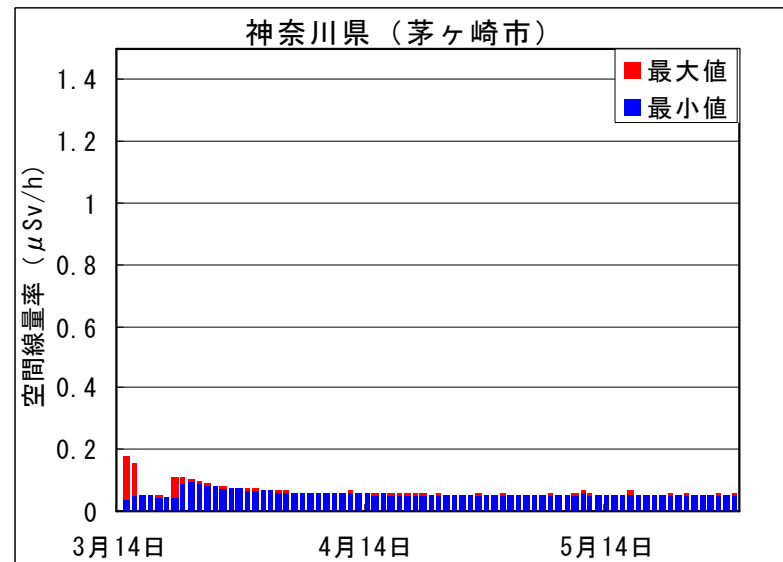
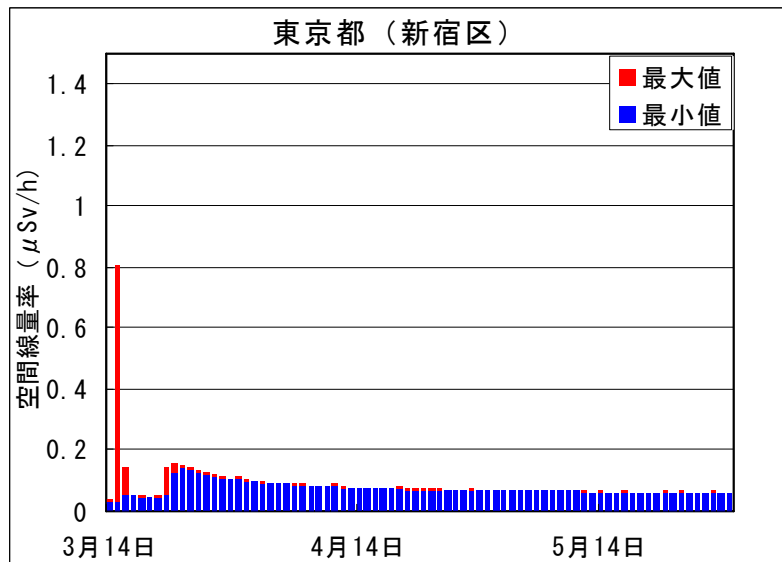
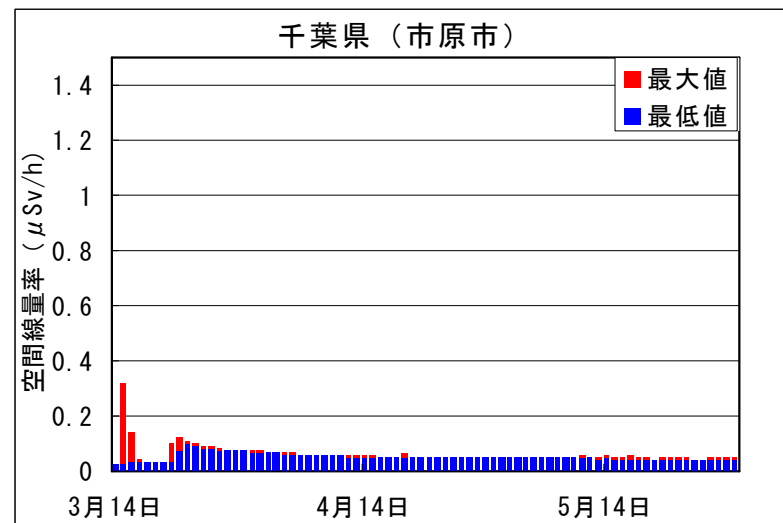
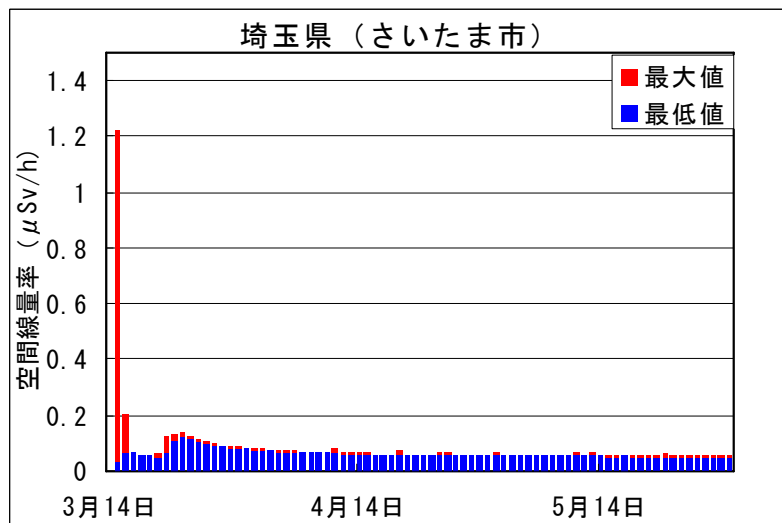


文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果
 (福島第一原子力発電所から80km圏内のセシウム137の地表面への蓄積量)

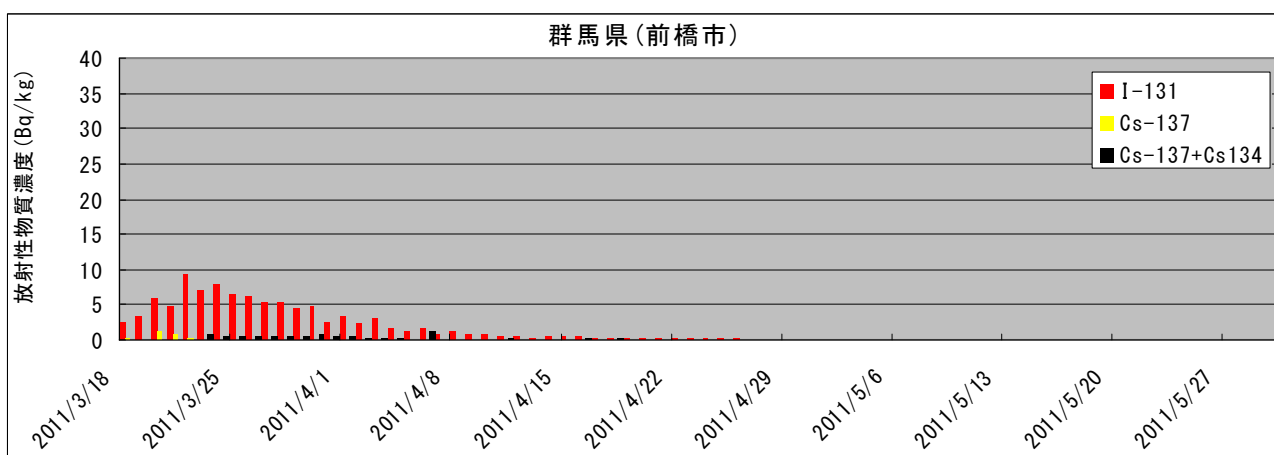
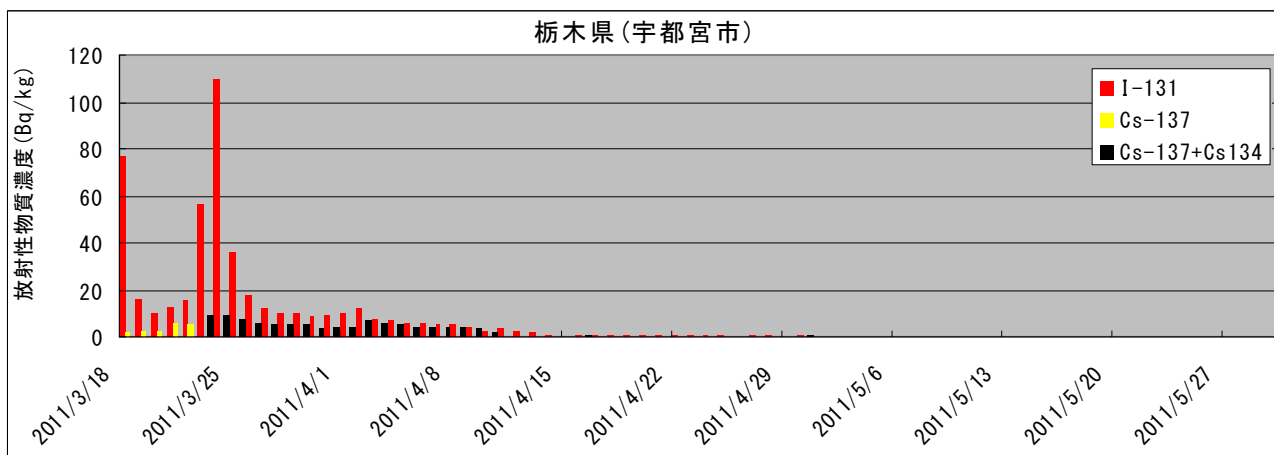
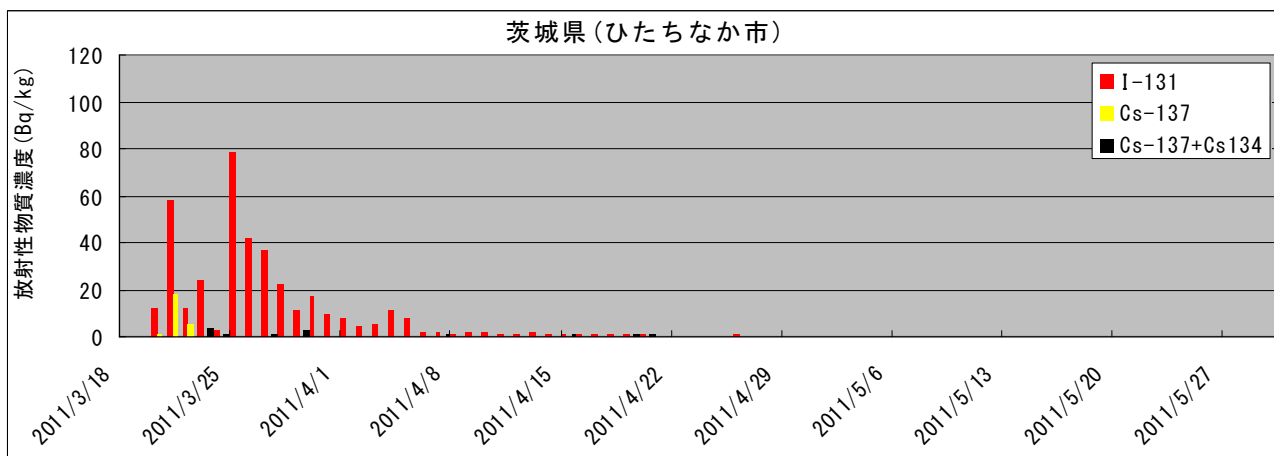




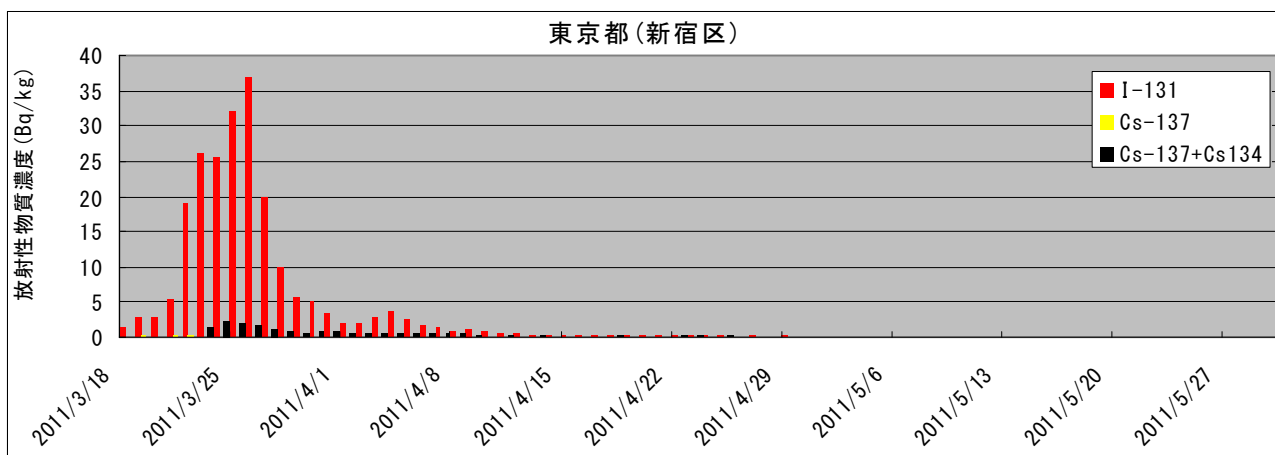
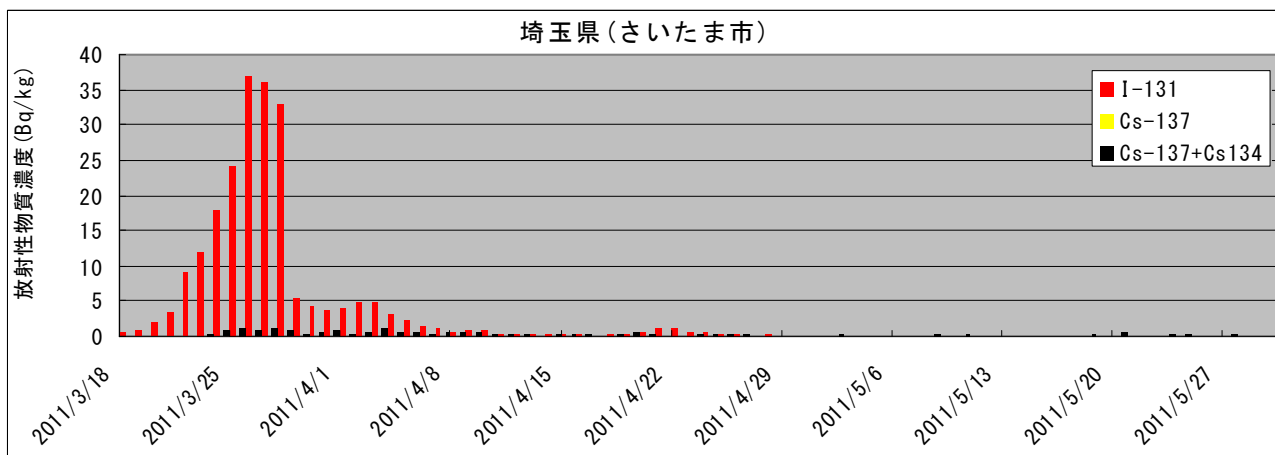
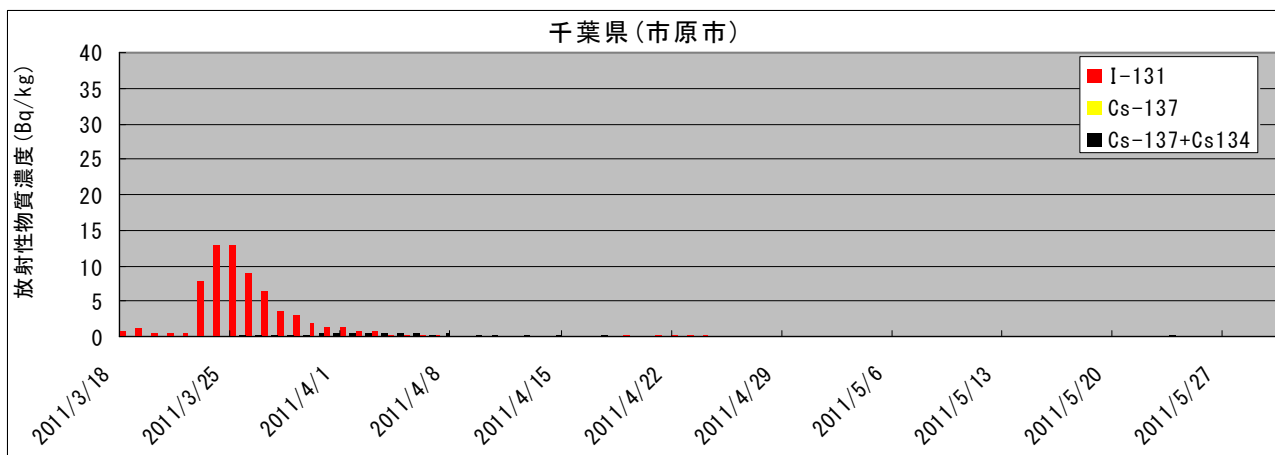
各県の空間線量率推移(1/2)



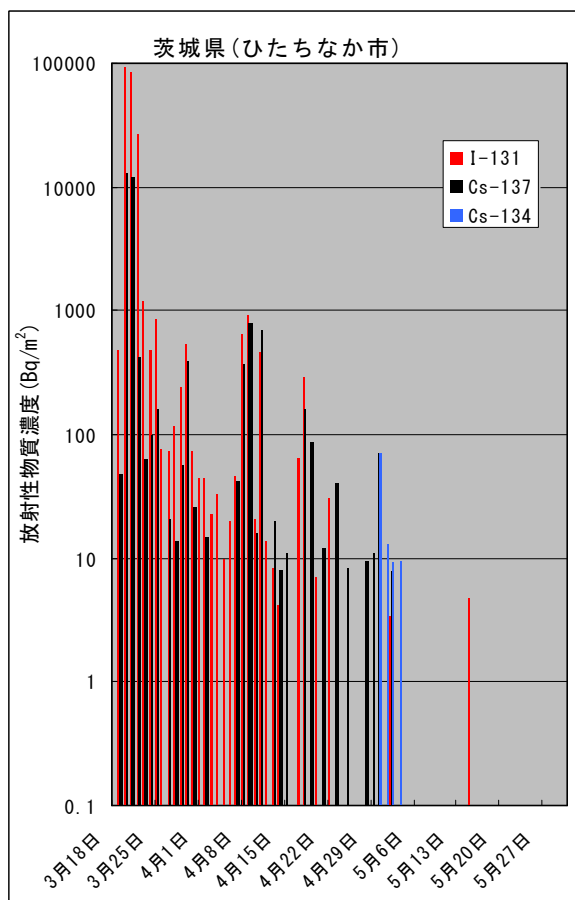
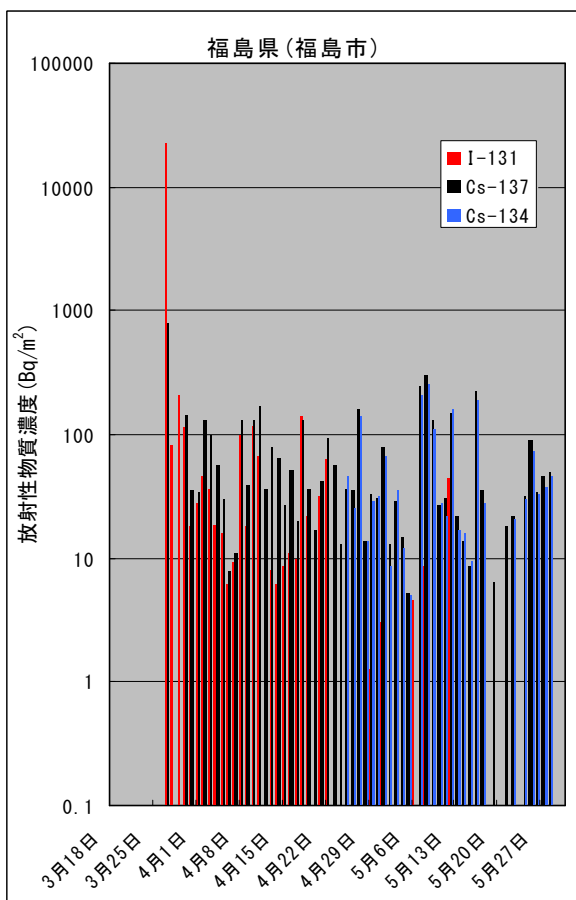
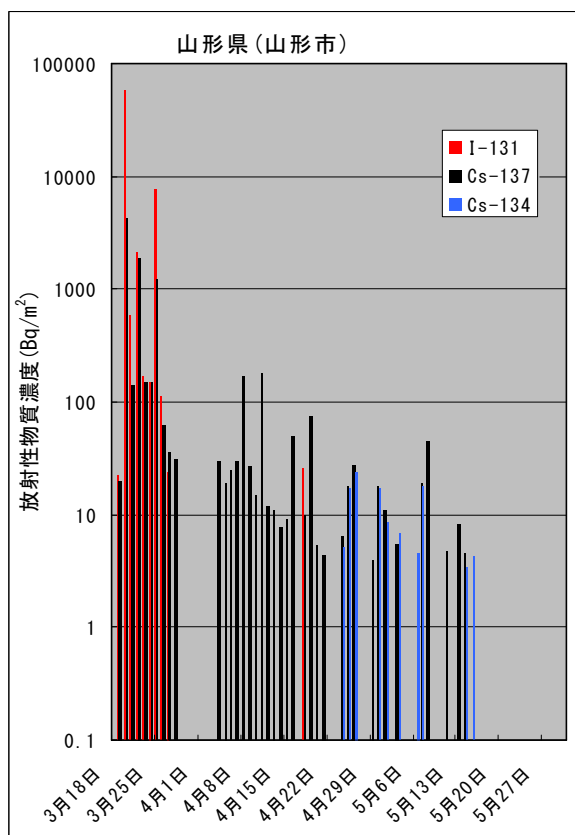
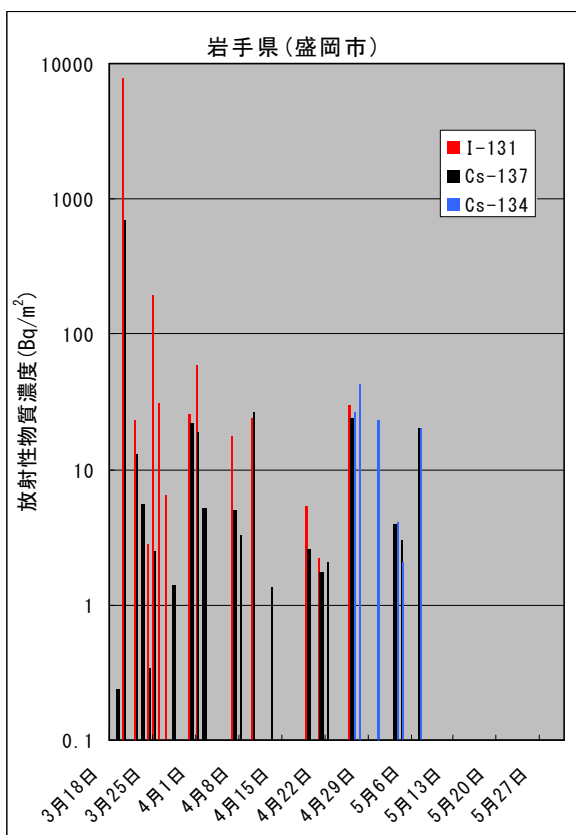
各県の空間線量率推移(2/2)



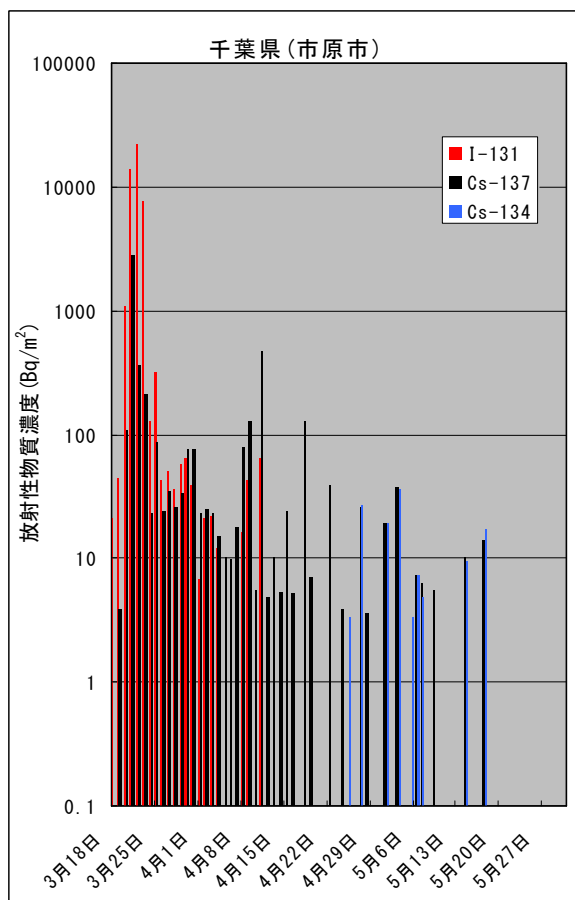
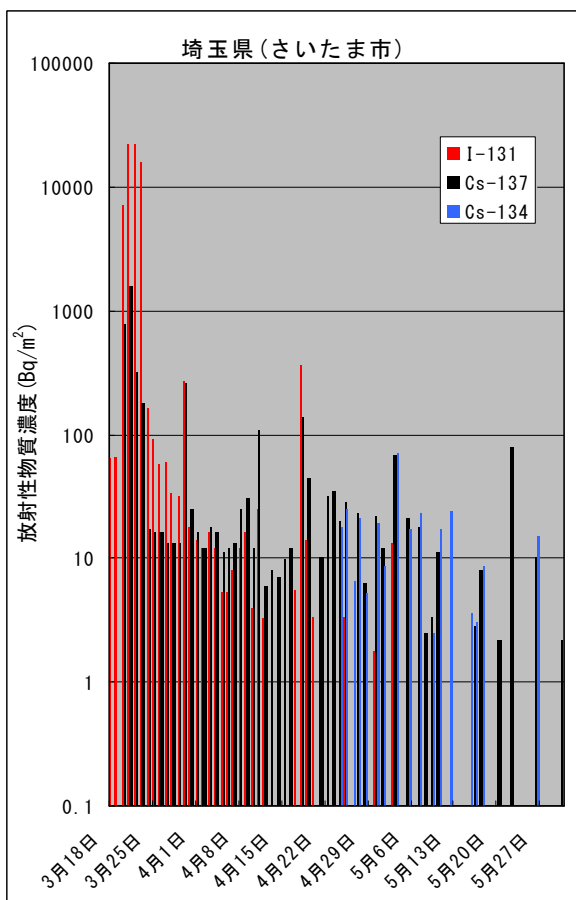
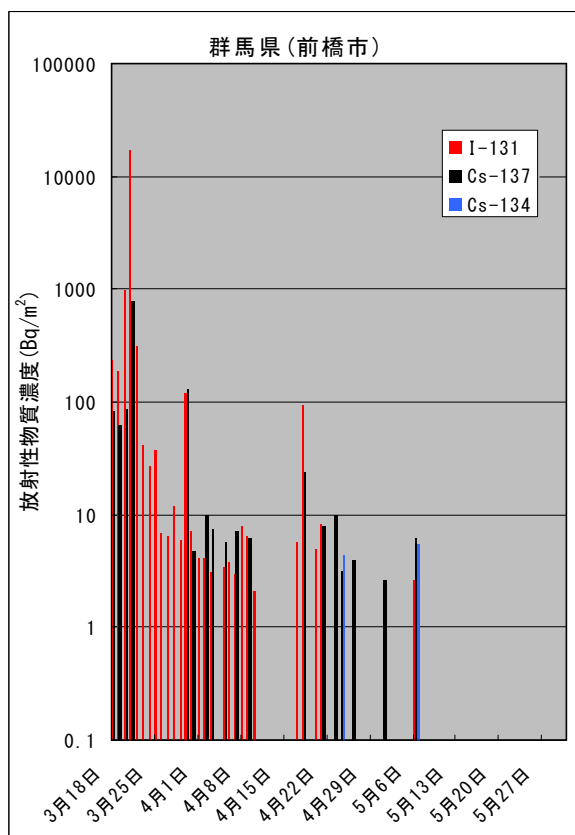
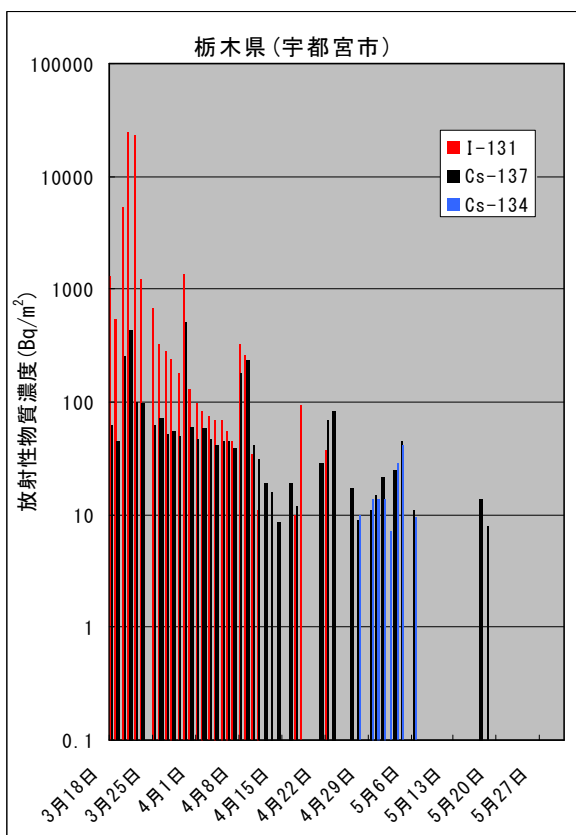
各県の水道水中の放射性物質濃度の推移(1/2)



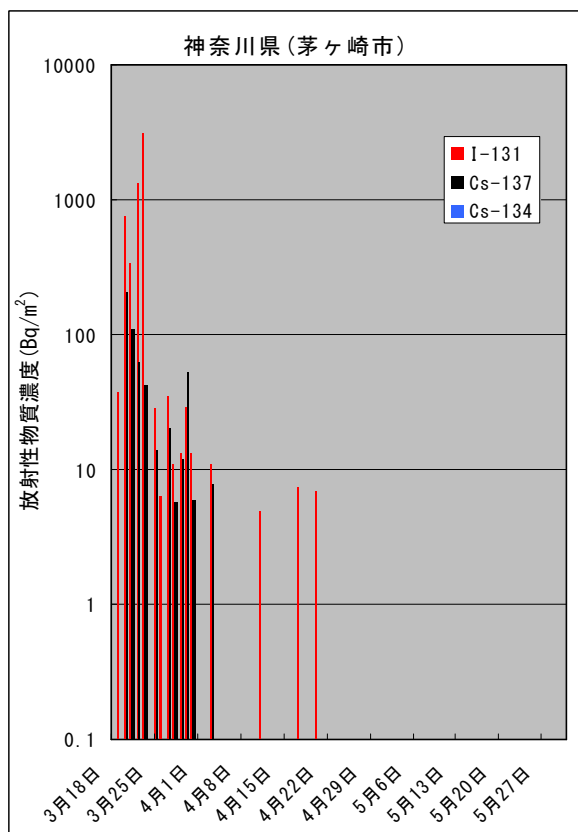
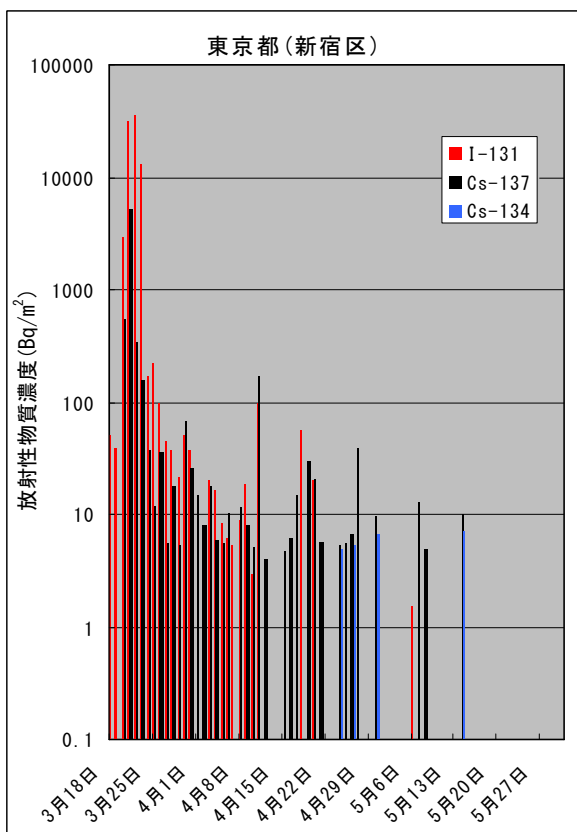
各県の水道水中の放射性物質濃度の推移(2/2)



各県の降下物中の放射性物質濃度の推移(1/3)



各県の降下物中の放射性物質濃度の推移(2/3)



各県の降下物中の放射性物質濃度の推移(3/3)


添付V-19(1) 原子力災害対策特別措置法に基づく食品に関する指示の実績(福島県における出荷制限):6月2日現在

		出荷制限 福島県	
		全域	地域別
原乳			3/21~4/8解除:(喜多方市、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町)
	3/21~ (右の地域を除く)		3/21~4/16解除:(福島市、二本松市、伊達市、本宮市、国見町、大玉村、郡山市、須賀川市、田村市(旧都路村の区域を除く)、三春町、小野町、鏡石町、石川町、浅川町、平田村、古殿町、白河市、矢吹町、泉崎村、中島村、西郷村、鮫川村、塙町、矢祭町、いわき市)
			3/21~4/21解除:(相馬市、新地町)
			3/21~5/1解除:(南相馬市(鹿島区のうち、鳥崎、大内、川子及び塩崎を除く区域に限る。)、川俣町(山木屋の区域を除く。))
野菜類	非結球性葉菜類(ホウレンソウ、カキナ)	3/21~ (右の地域を除く)	3/21~5/4解除:(白河市、いわき市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)
			3/21~5/11解除:(会津若松市、喜多方市、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、湯川村、昭和村、榎枝岐村)
			3/21~5/25解除:(新地町、相馬市、南相馬市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域並びに原町区高倉字助常、原町区高倉字吹屋峠、原町区高倉字七曲、原町区高倉字森、原町区高倉字枯木森、原町区馬場字五台山、原町区馬場字横川、原町区馬場字葉師岳、原町区片倉字行津及び原町区大原字和田城の区域を除く。))
			3/21~6/1解除:(郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)
			3/23~5/4解除:(白河市、いわき市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)
			3/23~5/11解除:(会津若松市、喜多方市、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、湯川村、昭和村、榎枝岐村)
	結球性葉菜類(キャベツ等)	3/23~ (右の地域を除く)	3/23~5/25解除:(新地町、相馬市、南相馬市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域並びに原町区高倉字助常、原町区高倉字吹屋峠、原町区高倉字七曲、原町区高倉字森、原町区高倉字枯木森、原町区馬場字五台山、原町区馬場字横川、原町区馬場字葉師岳、原町区片倉字行津及び原町区大原字和田城の区域を除く。))
			3/23~6/1解除:(郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)
			3/23~4/27解除:(会津若松市、喜多方市、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、湯川村、昭和村、榎枝岐村)
			3/23~5/4解除:(郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、いわき市、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)
			3/23~5/11解除:(福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町(山木屋の区域を除く。)、大玉村、白河市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)
			3/23~5/25解除:(新地町、相馬市、南相馬市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域並びに原町区高倉字助常、原町区高倉字吹屋峠、原町区高倉字七曲、原町区高倉字森、原町区高倉字枯木森、原町区馬場字五台山、原町区馬場字横川、原町区馬場字葉師岳、原町区片倉字行津及び原町区大原字和田城の区域を除く。))
アブラナ科の花蕾類(ブロッコリー、カリフラワー等)	3/23~ (右の地域を除く)	3/23~4/27解除:(白河市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)	
		3/23~5/4解除:(いわき市)	
		3/23~5/11解除:(郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)	
		3/23~5/18解除:(会津若松市、磐梯町、猪苗代町、喜多方市、北塩原村、西会津町、会津美里町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、南会津町、下郷町、榎枝岐村、只見町)	
カブ	3/23~ (右の地域を除く)	3/23~5/4解除:(福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、いわき市、桑折町、国見町、川俣町(山木屋の区域を除く。)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、大玉村、天栄村、玉川村、平田村)	
		3/23~5/18解除:(白河市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村、会津若松市、磐梯町、猪苗代町、喜多方市、北塩原村、西会津町、会津美里町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、南会津町、下郷町、榎枝岐村、只見町)	
原木しいたけ(露地)	-	4/13~:(伊達市、飯館村、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、川俣町、葛尾村、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域に限る。)、川内村(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域に限る。))	
		4/18~:(福島市)	
		4/13~4/25解除:(いわき市)	
		4/25~:(本宮市)	
たけのこ	-	4/13~5/16解除:(田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、新地町)	
		4/13~5/23解除:(川内村(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。))	
		5/9~:(伊達市、相馬市、いわき市、三春町、天栄村)	
		5/13~:(南相馬市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、西郷村)	
くさそてつ(ごごみ)	-	5/9~:(福島市、桑折町)	
ウメ	-	6/2~:(福島市、伊達市、桑折町)	
水産物		4/20~	
イカナゴの稚魚			

※ の箇所は、出荷制限の対象

添付V-19(2) 原子力災害対策特別措置法に基づく食品に関する指示の実績(福島県以外の地域における出荷制限) 6月2日現在

		出荷制限									
		茨城県		栃木県		群馬県		千葉県		神奈川県	
		全域	地域別	全域	地域別	全域	地域別	全域	地域別	全域	地域別
原乳		3/23~4/10 解除		-		-	-	-	-	-	-
野菜	ホウレンソウ	3/21~4/17 解除 (右の地域を除く)	3/21~6/1 解除 北茨城市、 高萩市	3/21~4/27 解除	3/21~4/21 解除 那須塩原市、 塩谷町	-	3/21~4/8 解除	-	4/4~4/22解除 旭市、香取市、 多古町	-	-
	非結球性葉菜類(ホウレンソウ、コマツナ等)	3/21~4/17 解除		3/21~4/14 解除		-	3/21~4/8 解除	-		-	-
	カキナ	3/21~4/17 解除				-		-		-	-
	シュンギク、チンゲンサイ、サンチュ	-		-		-	-	-	4/4~4/22解除 旭市	-	-
	パセリ	3/23~4/17 解除		-		-	-	-	4/4~4/22解除 旭市	-	-
セルリー	-		-		-	-	-	4/4~4/22解除 旭市	-	-	
その他		6/2~		-	6/2~ 鹿沼市、大田原市	-		-	6/2~ 八街市、大網白里 町、野田市、成田 市、富里市、山武市	-	6/2~ 南足柄市、小田原 市、粟川町、清川 村、真鶴町、湯河原 町

※  の箇所は、出荷制限の対象

添付V-19(3) 原子力災害対策特別措置法に基づく食品に関する指示の実績(摂取制限)

6月2日現在

		摂取制限	
		福島県	
		全域	地域別
野菜	非結球性葉菜類(ホウレンソウ、コマツナ等)	3/23~ (右の地域を除く)	3/23~5/4解除: (白河市、いわき市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)
			3/23~5/11解除: (会津若松市、喜多方市、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、湯川村、昭和村、檜枝岐村)
			3/23~5/25解除: (新地町、相馬市、南相馬市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域並びに原町区高倉字助常、原町区高倉字吹屋峠、原町区高倉字七曲、原町区高倉字森、原町区高倉字枯木森、原町区馬場字五台山、原町区馬場字横川、原町区馬場字薬師岳、原町区片倉字行津及び原町区大原字和田城の区域を除く。))
			3/23~6/1解除: (郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)
	結球性葉菜類(キャベツ等)	3/23~ (右の地域を除く)	3/23~4/27解除: (会津若松市、喜多方市、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、湯川村、昭和村、檜枝岐村)
			3/23~5/4解除: (郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、いわき市、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)
			3/23~5/11解除: (福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町(山木屋の区域を除く。)、大玉村、白河市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)
			3/23~5/25解除: (新地町、相馬市、南相馬市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域並びに原町区高倉字助常、原町区高倉字吹屋峠、原町区高倉字七曲、原町区高倉字森、原町区高倉字枯木森、原町区馬場字五台山、原町区馬場字横川、原町区馬場字薬師岳、原町区片倉字行津及び原町区大原字和田城の区域を除く。))
	アブラナ科の花蕾類(ブロッコリー、カリフラワー等)	3/23~ (右の地域を除く)	3/23~4/27解除: (白河市、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村)
			3/23~5/4解除: (いわき市)
			3/23~5/11解除: (郡山市、須賀川市、田村市(東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20キロメートル圏内の区域を除く。)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村、平田村)
			3/23~5/18解除: (会津若松市、磐梯町、猪苗代町、喜多方市、北塩原村、西会津町、会津美里町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町)
原木しいたけ(露地)	-	4/13~:	飯館村
水産物	イカナゴの稚魚	4/20~	

※ の箇所は、摂取制限の対象

添付 V-20

放射線防護に係る線量基準の考え方

国際放射線防護委員会（ICRP）や国際原子力機関（IAEA）は、公衆が受ける積算線量の基準を、平常時のものと事故時のものとに分けて示しており、我が国もそれに従っている。

（１）平常時における積算線量

平常時における公衆の放射線防護の基準については、原子力発電所の通常の運転による放射線の影響をできるだけ低く抑えるという考え方から、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度を定める告示」において年間 1 ミリシーベルトの線量限度（dose limit）を定めている。これは国際放射線防護委員会（ICRP）の 1990 年勧告における年間 1 ミリシーベルトを採用したものである。

（２）事故時の積算線量

事故時における公衆の放射線防護の基準については、

- (a) 事故発生初期における大きな被ばくを避けるための基準
- (b) 緊急時の状況（事故継続等）における放射線防護の基準
- (c) 事故収束後の汚染等を考慮した状況での放射線防護の基準

の 3 つに分けられる。図 A にこれらの線量基準の考え方の概要を図示する。

(a) 事故発生初期における大きな被ばくを避けるための基準

事故発生初期の防護対策（屋内退避／避難）を実施するために用いられる指標については、原子力安全委員会の指針「原子力施設等の防災対策について」において、外部被ばく実効線量の予測線量 10～50 ミリシーベルト（屋内退避）及び 50 ミリシーベルト以上（避難）が設定されている。これは、IAEA 安全要件 GS-R-2「原子力又は放射線の緊急事態に対する準備と対応」（2002 年）等を参考に設定したものである。

(b) 緊急時の状況（事故継続等）における放射線防護の基準

今回の事故において、放出された放射性物質の累積が局所的に生じ積算線量が高くなった地域に居住し続けた場合、公衆が受ける放射線の積算線量が高水準になるおそれがあるため、原子力災害対策本部長である内閣総理大臣は、原子力安全委員会の意見を聴いて、「計画的避難区域」を設定し

た。この計画的避難区域を設定するに当たっては、ICRP の 2007 年勧告で事故時の緊急時被ばく状況における公衆を防護するための参考レベルとして 20～100 ミリシーベルトが提示されていること、IAEA 安全指針 GSG2 「原子力又は放射線の緊急事態に対する準備と対応」(2011 年)で緊急時の状況における防護措置の対策は年 100 ミリシーベルト以下で最適化されるべきとされていること、そして「被ばく線量は合理的に達成できる限り低く保たれるべき」との基本原則を考慮して、事故発生から 1 年間の積算線量が 20 ミリシーベルトに達するおそれがあることを指標として採用した。

(c) 事故収束後の汚染等を考慮した状況での放射線防護の基準

ICRP の 2007 年勧告で、事故収束後の汚染等を考慮した状況(現存被ばく状況)における公衆を防護するための参考レベル(reference level)として年間 1～20 ミリシーベルトが提示されている。また、「被ばく線量は合理的に達成できる限り低く保たれるべき」という最適化の原則は、現存被ばく状況にも適用されるとされている。

以上の線量基準の根拠を表 A に整理した。

表 A 線量基準の根拠

線量の基準	根拠
<p>(1) 平常時における積算線量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆の被ばく線量限度 1 mSv/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済産業省告示「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度を定める告示」第三条：周辺監視区域外の線量 ・ ICRP 勧告 Publication60 (1990 年)：公衆被ばくの線量限度
<p>(2) 事故時の積算線量</p>	
<p>(a) 事故発生初期の大きな被ばくを避けるための基準</p> <p>10mSv(屋内退避)、 50mSv(避難)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力安全委員会指針「原子力施設等の防災対策について」 ・ IAEA 安全要件 GS-R-2「原子力又は放射線の緊急事態に対する準備と対応」(2002 年)
<p>(b) 緊急時の状況(事故継続等)における放射線防護の基準</p> <p>20~100mSv</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICRP 勧告 Publication103 (2007 年) ・ IAEA 安全指針 GSG2「原子力又は放射線の緊急事態に対する準備と対応」(2011 年)
<p>(c) 事故収束後の汚染等を考慮した状況での放射線防護の基準</p> <p>1~20mSv/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICRP 勧告 Publication103 (2007 年)：事故収束後の汚染等を考慮した状況(現存状況)における公衆を防護するための参考レベル

ICRP：国際放射線防護委員会

IAEA：国際原子力機関

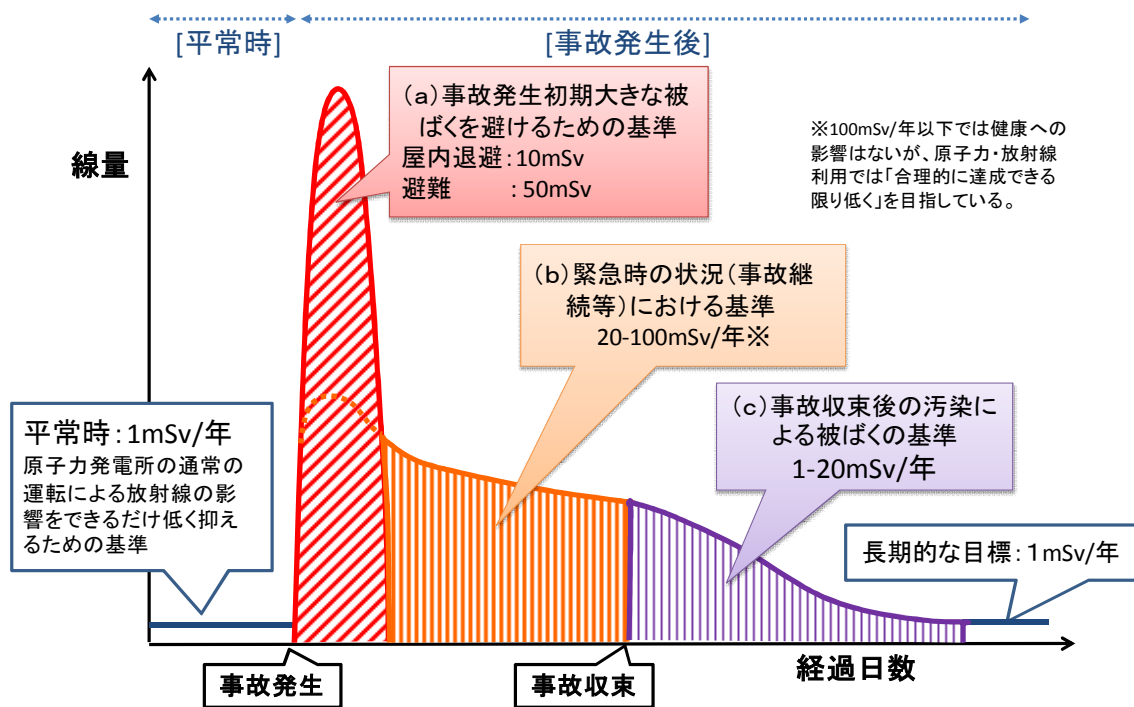


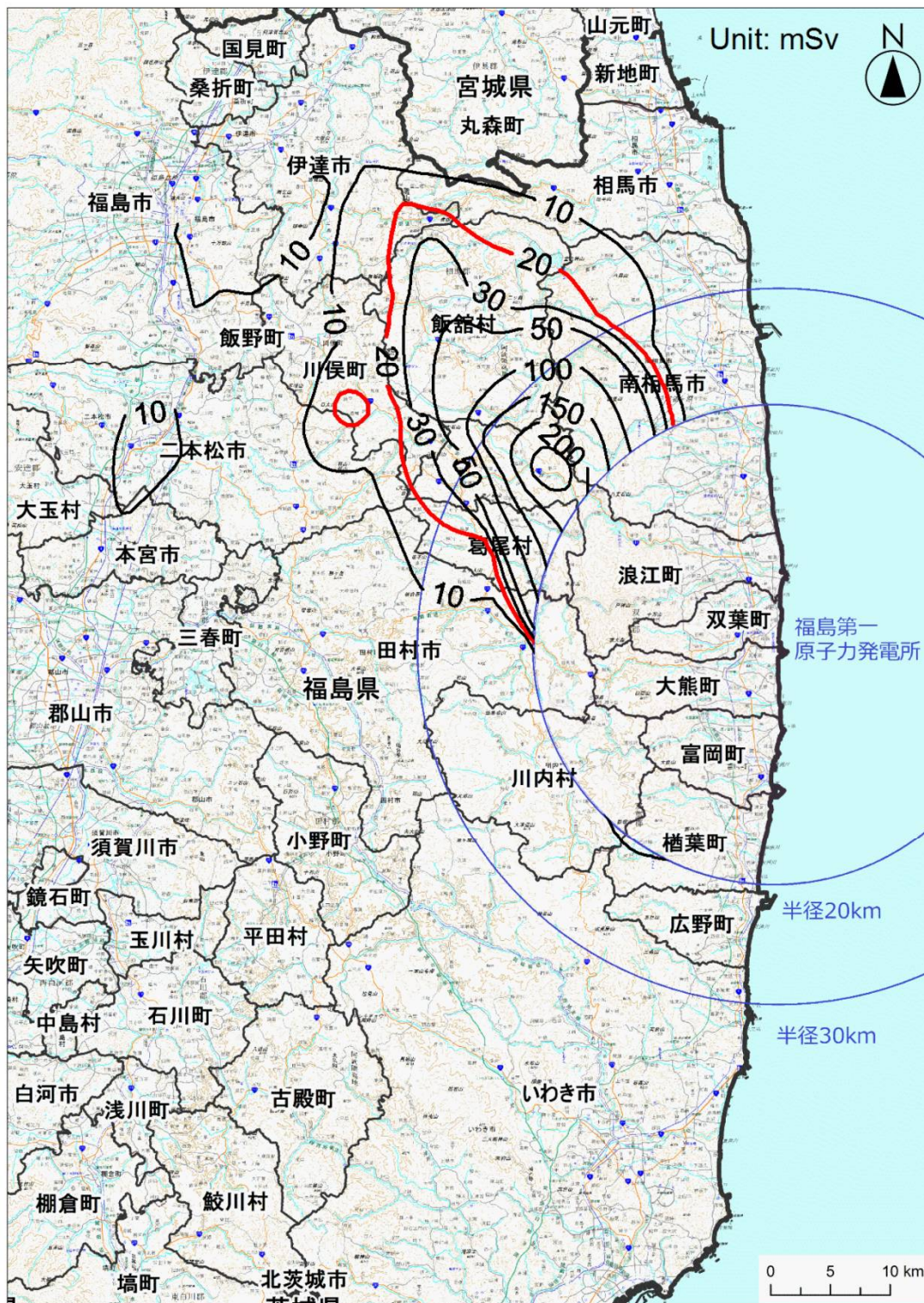
図 A 放射線防護の線量の基準の考え方

1. 実測に基づく各地点の積算線量の推定値

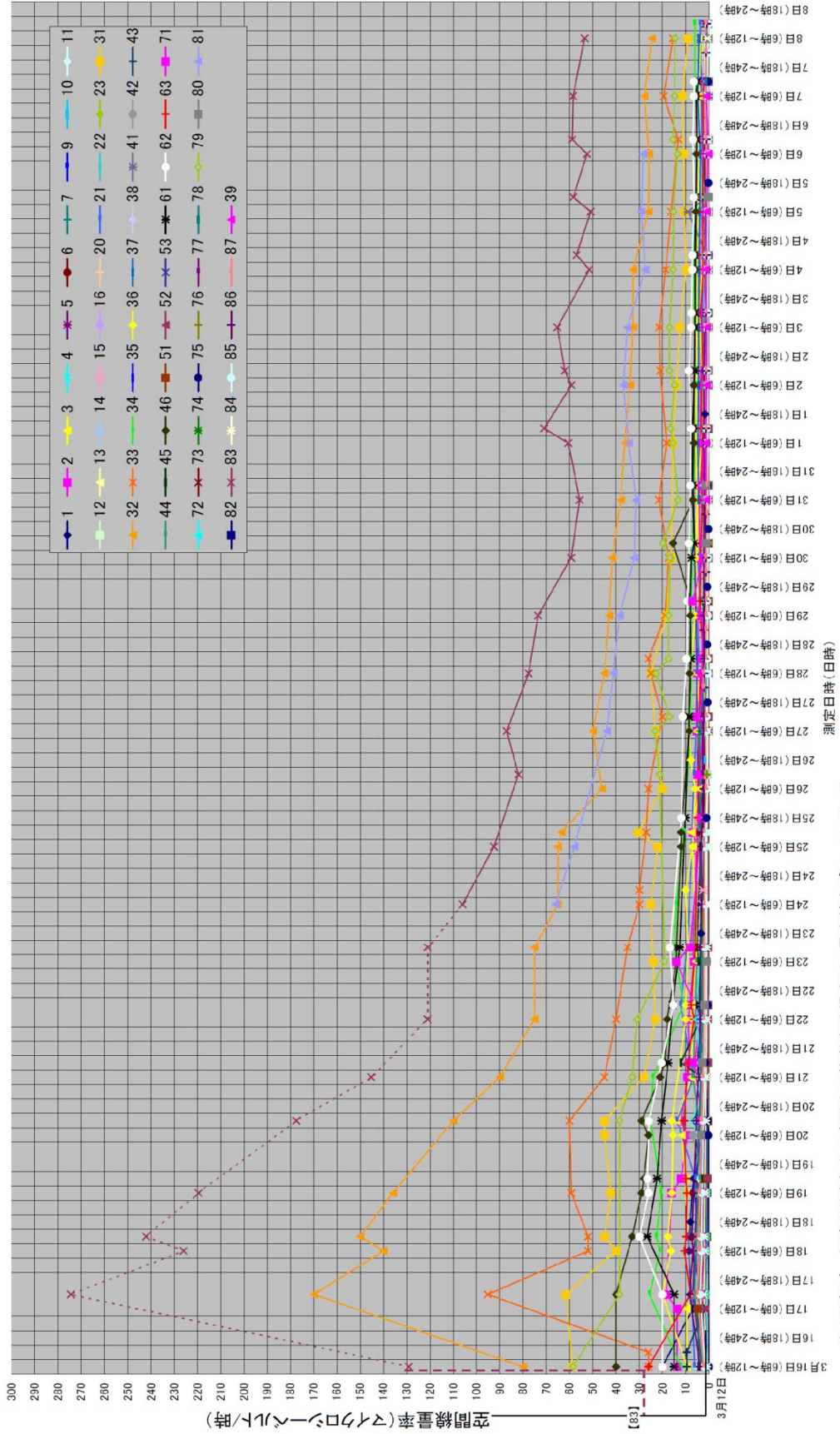
地点番号	地点のおおよその住所	距離	方位	測定開始日	積算線量の推定値 (mSv) 【※1】	積算線量注記	最新測定値 (mSv/h) 【※3】	平成24年3月11日時の積算線量の推定値 (mSv) 【※4】
○83	双葉郡浪江町赤宇木柵平	24km	北西	3月24日	34.0	【※2】	0.0570	313.9
○81	双葉郡浪江町赤宇木石小屋	31km	北西	3月24日	20.3	【※2】	0.0274	154.8
○32	双葉郡浪江町赤宇木手七郎	31km	北西	3月16日	20.8		0.0260	148.4
○79	双葉郡浪江町下津島菅深	29km	西北西	3月16日	8.5		0.0153	83.6
○31	双葉郡浪江町津島沖仲	30km	西北西	3月17日	8.0		0.0106	60.1
○34	双葉郡浪江町津島大高木	30km	西北西	3月19日	3.7	【※2】	0.0065	35.6
21	双葉郡浪江町津島東館(双葉郡葛尾村上野川)	30km	西北西	3月17日	1.7		0.0023	13.0
○33	相馬郡飯館村長泥	33km	北西	3月16日	11.1		0.0163	91.1
○62	相馬郡飯館村草野大師堂	39km	北西	3月17日	4.0		0.0071	38.8
○61	相馬郡飯館村八木沢	36km	北西	3月17日	3.2		0.0061	33.2
63	相馬郡飯館村二枚橋	44km	北西	3月17日	1.5		0.0028	15.3
○46	伊達郡川俣町山木屋向出山	34km	西北西	3月17日	4.5		0.0057	32.4
○36	伊達郡川俣町山木屋長橋(伊達郡川俣町山木屋大洪)	41km	西北西	3月20日	2.8	【※2】	0.0046	25.4
4	伊達郡川俣町大字鶴沢字川端	47km	北西	3月17日	0.8		0.0017	9.1
78	伊達郡川俣町鶴沢	48km	北西	3月20日	0.9	【※2】	0.0017	9.3
○37	伊達市霊山町石田室司沢	48km	北西	3月31日	2.6	【※2】	0.0039	21.8
3	伊達市霊山町石田彦平	46km	北西	3月17日	1.8		0.0028	15.5
2	福島市大波瀧ノ入	56km	北西	3月17日	2.1		0.0030	16.8
1	福島市杉妻町	62km	北西	3月16日	1.4		0.0011	6.8
85	福島市荒井原宿	66km	西北西	3月27日	0.4	【※2】	0.0004	2.4
77	いわき市小川町上小川	26km	南西	3月20日	1.0	【※2】	0.0015	8.4
74	いわき市小川町高萩	36km	南南西	3月20日	0.4	【※2】	0.0006	3.3
75	いわき市内郷御殿町	43km	南南西	3月20日	0.2	【※2】	0.0002	1.2
44	いわき市大久町大久矢ノ目沢	28km	南南西	3月17日	0.9		0.0010	5.8
38	いわき市四倉町白岩保木田	34km	南南西	3月31日	0.5	【※2】	0.0010	5.5
73	いわき市四倉町	35km	南	3月20日	0.5	【※2】	0.0006	3.4
72	いわき市久之浜町久之浜字北荒蒔	31km	南	3月20日	0.6	【※2】	0.0012	6.5
84	いわき市三和町差塩	39km	南西	3月26日	0.3	【※2】	0.0005	2.7
45	双葉郡楢葉町山田岡美し森	20km	南	3月17日	0.9		0.0017	9.3
71	双葉郡広野町下北迫苗代替	23km	南	3月20日	1.1	【※2】	0.0012	7.0
11	二本松市太田字下田	43km	西北西	3月17日	0.8		0.0015	8.2
10	二本松市針道中島	44km	西北西	3月17日	0.7		0.0016	8.5
35	二本松市田沢萩平	37km	西北西	3月19日	0.6	【※2】	0.0015	8.0
86	郡山市大槻町長右工門林	63km	西	3月27日	1.0	【※2】	0.0014	7.8
87	双葉郡川内村上川内花ノ内	29km	西南西	3月27日	0.6	【※2】	0.0011	6.0
76	双葉郡川内村上川内早渡	22km	西南西	3月20日	0.5	【※2】	0.0008	4.4
43	双葉郡川内村下川内宮渡	22km	西南西	3月16日	0.4		0.0004	2.3
42	田村市常葉町山根富岡	33km	西	3月17日	0.6		0.0011	6.0
15	田村市常葉町山根鹿島	32km	西	3月17日	0.6		0.0017	8.9
14	田村市常葉町常葉内町	34km	西	3月17日	0.2		0.0006	3.1
13	田村市常葉町西向屋形	37km	西	3月17日	0.3		0.0008	4.2
41	田村市都路町古道寺ノ前	21km	西	3月17日	0.5		0.0009	5.0
20	田村市船引町新館下	41km	西	3月17日	0.4		0.0008	4.3
23	田村市船引町新館曲山(田村市船引町南移水中内)	41km	西北西	3月17日	0.4		0.0006	3.4
22	田村市船引町上移字後田	35km	西北西	3月17日	0.3		0.0006	3.3
12	田村市船引町船引字小沢川代	39km	西	3月17日	0.2		0.0005	2.7
52	田村市船引町船引馬場川原	41km	西	3月17日	0.2		0.0003	1.6
39	相馬市山上上並木	41km	北北西	4月1日	0.7	【※2】	0.0010	5.6
5	相馬市中野寺前	42km	北北西	3月17日	0.4		0.0008	4.4
6	南相馬市鹿島区西町	32km	北	3月17日	0.6		0.0013	7.0
7	南相馬市鹿島区寺内本屋敷	32km	北北西	3月17日	0.6		0.0008	4.5
80	南相馬市原町区高見町	24km	北	3月20日	0.7	【※2】	0.0006	3.6
51	田村郡小野町小野新町館廻	39km	西南西	3月17日	0.2		0.0002	1.2

○印は、平成24年3月11日時点の積算線量推定値が20mSvを超えた地点を示す。
 ※1: 3月12日6時から4月5日24時までの積算値で、屋内滞在(16時間)における木造家屋の低減効果を考慮
 ※2: 測定開始日が3月19日以降の地点の3月16日から測定開始日前日までの線量データは、線量変化が最も急である地点32の線量と比例するとして計算
 ※3: 4月5日13時プレス発表時までの空間線量率
 ※4: 4月6日以降は最新測定値【※3】が継続すると仮定して計算

2. 実測に基づく積算線量の推定値の分布図
(平成24年3月11日までの積算線量)



3. 空間線量率の測定値の推移



注:測定データが区分された6時間内に複数ある場合は、最大値をプロットしている。
点線部分は実測値ではなく、地点32の値と比例するとして推定した値

ヨウ素 131 とセシウム 137 の大気放出量に関する試算

福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の量を正確に推定することが困難な状況ではあったが、原子力安全委員会は、4月12日、事故の全容を把握する一環として、独立行政法人日本原子力研究開発機構の協力を得て、福島第一原子力発電所から大気中に放出されたヨウ素 131 とセシウム 137 の大気放出量の推定的試算値を公表した。3月11日から4月5日までの大気中への一部の核種の放出放射能総量として、ヨウ素 131 が 1.5×10^{17} Bq、セシウム 137 が 1.2×10^{16} Bq（5月12日に 1.3×10^{16} Bq と修正）という推定的試算値が得られた。

本推定は、環境モニタリングデータと毎時 1Bq の単位放出率を仮定した大気拡散計算との比較から放出率を推定する逆推定法により行った。使用したデータは、文部科学省、財団法人日本分析センター及び独立行政法人日本原子力研究開発機構が測定したものである。推定のほとんどは、ダストサンプリングによるヨウ素 131 とセシウム 137 の大気中濃度と、計算値の比較により行った。ただし、プラント北西部で降雨による大量の地表沈着をもたらしたと考えられる3月15日日中の放出については、ダストサンプリングデータが無かったため、この時間帯のヨウ素 131 とセシウム 137 の放出率は、放射性プルームが去った後の地表沈着核種からの空間線量率分布の計算と実測値の比較により求めた。その結果、ヨウ素 131 の放出率は毎時 10^{16} Bq 程度であり、放出期間は福島県内の環境モニタリング値等から12時から15時あたりと推定したが、当日朝9時ごろからプラント正門で線量上昇が認められるため、放出総量の推定では、保守的に9時から15時まで6時間の放出を推定とした。ヨウ素 131 の放出は、3月15日の大量放出以降3月24日まで毎時 10^{14} Bq オーダーで推移し、それ以降、4月初旬にかけて毎時 10^{12} から 10^{11} Bq のオーダーまで減少。セシウム 137 の放出量は、ダストサンプリングデータのヨウ素 131 / セシウム 137 の比から推定しており、その比の幅は1から100程度ある中で、ヨウ素 131 の放出率変動と同様の傾向を示している。

本推定に用いた最初の測定データは、3月15日朝のデータであり、3月14日以前の放出推移は、まだ明確でない。そのため、本試算値は、シビアアクシデント評価や環境影響評価の研究者により、さらに精度を向上させていく必要がある。

なお、今回の事故により環境中に放出された放射性物質としては、他に、大気中に放出された希ガス、海洋に放出された放射性物質、敷地内の表層や土壌中に沈着したものがある。

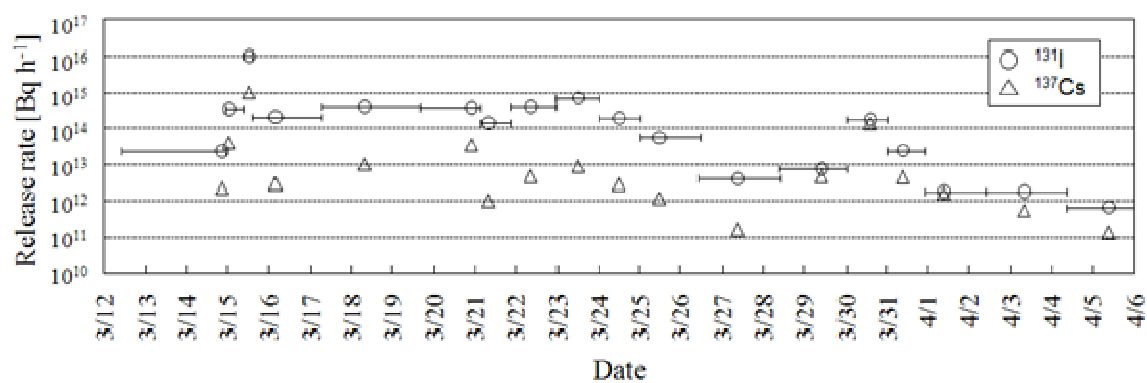


図 ヨウ素 131 及びセシウム 137 の放出率の暫定推定値。

横棒は、推定放出継続時間を示す。

(出典：2011年5月12日第31回原子力安全委員会資料 4-2号)

福島第一原子力発電所2号機の取水口スクリーン付近 のコンクリート亀裂部からの流出量について

1. 流出量の評価

平成23年4月2日午前9時30分頃に流出を発見、その後止水工事を
行い、4月6日午前5時38分頃流出は停止した。

流出が発見された前日の4月1日の昼頃の時点では、スクリーン近傍
の空間線量率は1.5mSv/hであることが確認されており、線量率の上昇
は見られないこと及び漏洩箇所に近いピット付近で海面への流出に伴
う音が聞こえていなかったことから、その時点では4月2日～6日のよ
うな形での流出が始まっていたとは想定しがたい。しかし、流出開始時
期を特定できないことから、念のため、4月1日より流出が始まったと
仮定して流出量の評価を行った。

また、流出後の状況は、遠隔カメラで監視されており、その状況は以
下の通りであった。

止水工事は4月5日午後3時頃から、トレンチ下部への薬剤注入（水
ガラス）が開始され、流出の減少が確認されているが、ここでは、止水
工事前の状況が継続したとして評価した。

以上から流出量は、流況写真より以下の通り評価した。

- ・ 流出水の落下距離 75 cm
- ・ 着水面・到達距離 65 cm
- ・ 流出口径 30mm（*）

として、約 4.3m³/時の流出が4月1日から6日まで、5日間（120 時
間）継続したとし、約 520m³の流出量とした。

（*）流況写真による判読、止水作業関係者からの聞き取り等から流出
口径を 30 mm程度とした。

2. 流出水の放射性物質濃度

流出水の放射性物質濃度は、4月2日午後4時30分に試料採取された
2号機スクリーン流入水の分析結果から、以下の通りとした。

- ・ 流出水濃度：ヨウ素 131 — 5.4×10^6 ベクレル/cm³
セシウム 134 — 1.8×10^6 ベクレル/cm³
セシウム 137 — 1.8×10^6 ベクレル/cm³

3. 放出された放射性物質総量の推定

・ 放出量内容：ヨウ素 131	—	2.8×10^{15}	ベクレル
セシウム 134	—	9.4×10^{14}	ベクレル
セシウム 137	—	9.4×10^{14}	ベクレル
(上記の合計)		4.7×10^{15}	ベクレル

4. 流出元の推定

流出水の核種分析結果とピット内滞留水の核種分析結果から、放射性物質濃度は同レベルであることが判明しており、流出水はピット内滞留水と同一と推定される。また、ピット及び2号機トレンチについては構造的につながっていることが確認されており、流出水は2号機タービン建屋から2号機トレンチを介して海へ流出したと考える。

5. 放射性物質を含む水の拡散抑制及び流出防止に対する対応策について

(1) 流出した放射性物質を含む水の拡散抑制策

放射性物質を含む水が流出した2号機取水口については、2号機スクリーンに鉄板を設置するとともに、港湾にはシルトフェンスを設置し、4号機スクリーン南側防波堤には大型土のう袋62袋を設置し、拡散を抑制するとともに、放射性物質吸着剤（ゼオライト）を入れた土壌10袋を1～4号機のスクリーン室前面に投入するなどによって放射性物質の吸着を図り、沖合への流出を最小限に抑制している。更に、4号機スクリーン南側の防波堤付近へ鋼矢板や、放射性物質吸着装置の設置などの対策も検討していく。

(2) 放射性物質を含む水の流出防止策

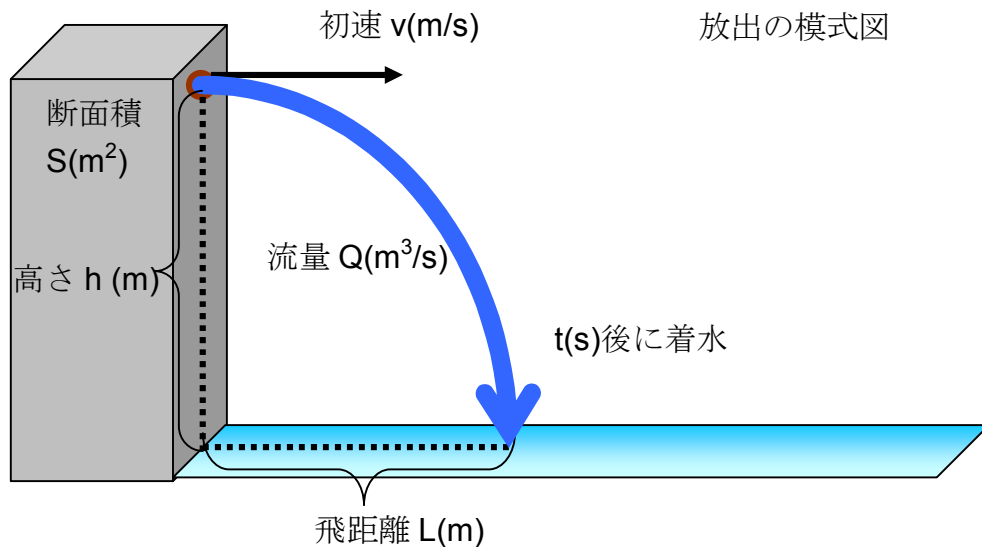
タービン建屋等に滞留している放射性物質に汚染された水の外部への流出を確実に防止するため、濃度の高い汚染水については集中廃棄物貯蔵建屋へ移送し、厳格な管理・貯蔵を実施している。また、トレンチと建屋の遮断を進める。さらに、滞留水の保管・処理を着実に進めるために、放射能レベルに応じた保管タンク等の設置や汚染水の除染・塩分処理を行うための水処理施設の整備を進めていく。

(3) 環境への影響の調査について

沿岸・沖合における海水モニタリングについて、採取地点を増やすとともに、魚介類の放射性物質の測定により経過観察を続けていく。

以 上

放出流量の評価方法



飛距離と高さから、放出された液体が自由落下運動をしたとして、流量を以下の式を用いて算出する。

垂直方向は自由落下運動 $h = \frac{1}{2}gt^2 \Leftrightarrow t = \sqrt{\frac{2h}{g}}$

水平方向は等速運動 $v = \frac{L}{t} = \frac{L}{\sqrt{\frac{2h}{g}}}$ 流量 $Q = Sv = \frac{SL}{\sqrt{\frac{2h}{g}}} \dots \textcircled{1}$

<前提>

断面積 : $S = \text{直径 } 3\text{cm} = 7.07 \times 10^{-4}(\text{m}^2)$

飛距離 : $L = 0.65(\text{m})$

高さ : $h = 0.75(\text{m})$

重力加速度 : $g = 9.8(\text{m/s}^2)$

①式に前提条件を代入して、流量を以下の通りに評価する。

$$Q = \frac{SL}{\sqrt{\frac{2h}{g}}} = \frac{7.07 \times 10^{-4} \times 0.65}{\sqrt{\frac{2 \times 0.75}{9.8}}} = 1.17 \times 10^{-3}(\text{m}^3/\text{s}) \neq 4300(\ell/\text{h})$$

写真（平成23年4月5日14時20分頃撮影）



約75cm

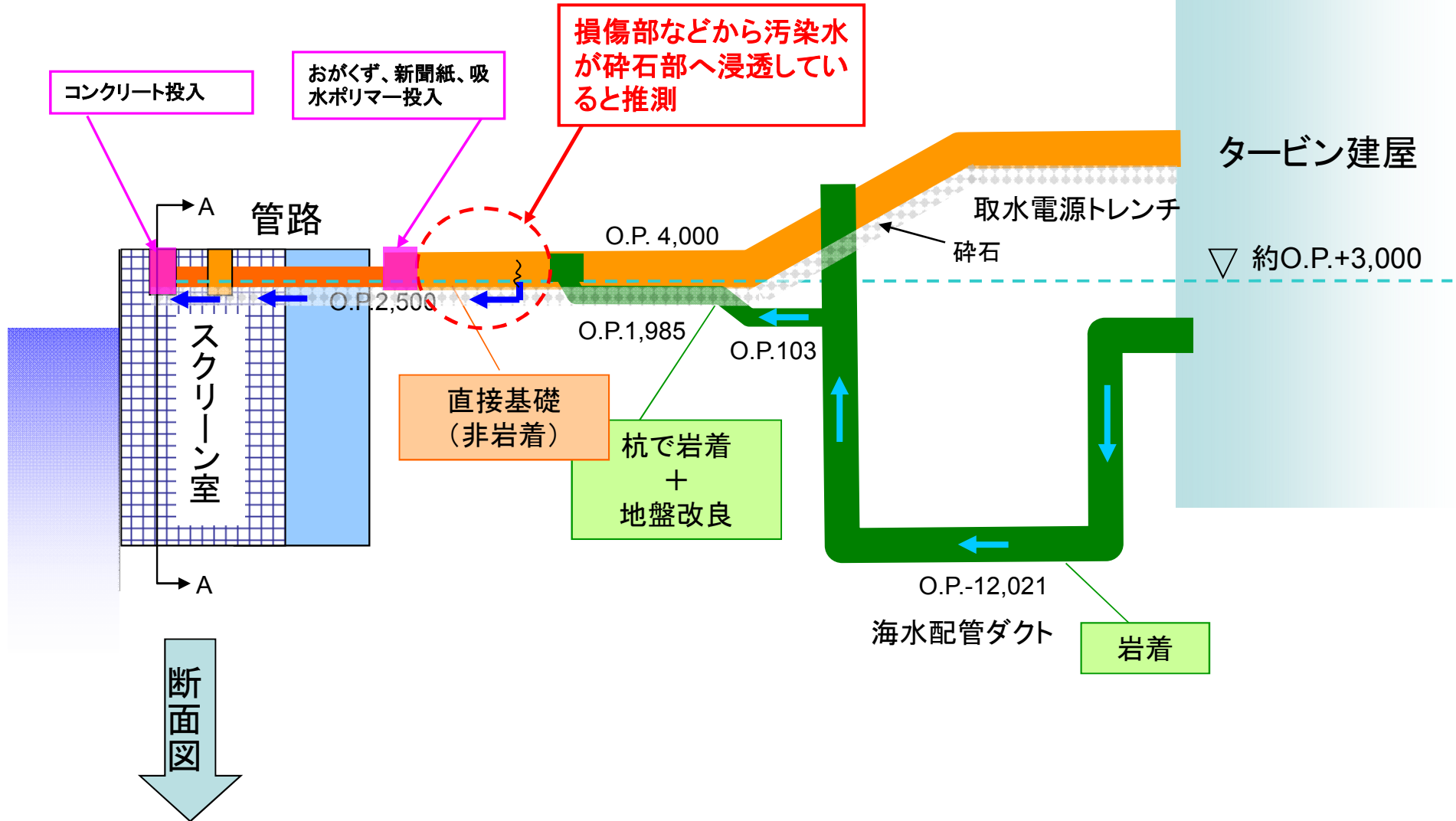
約65cm

想定される要因

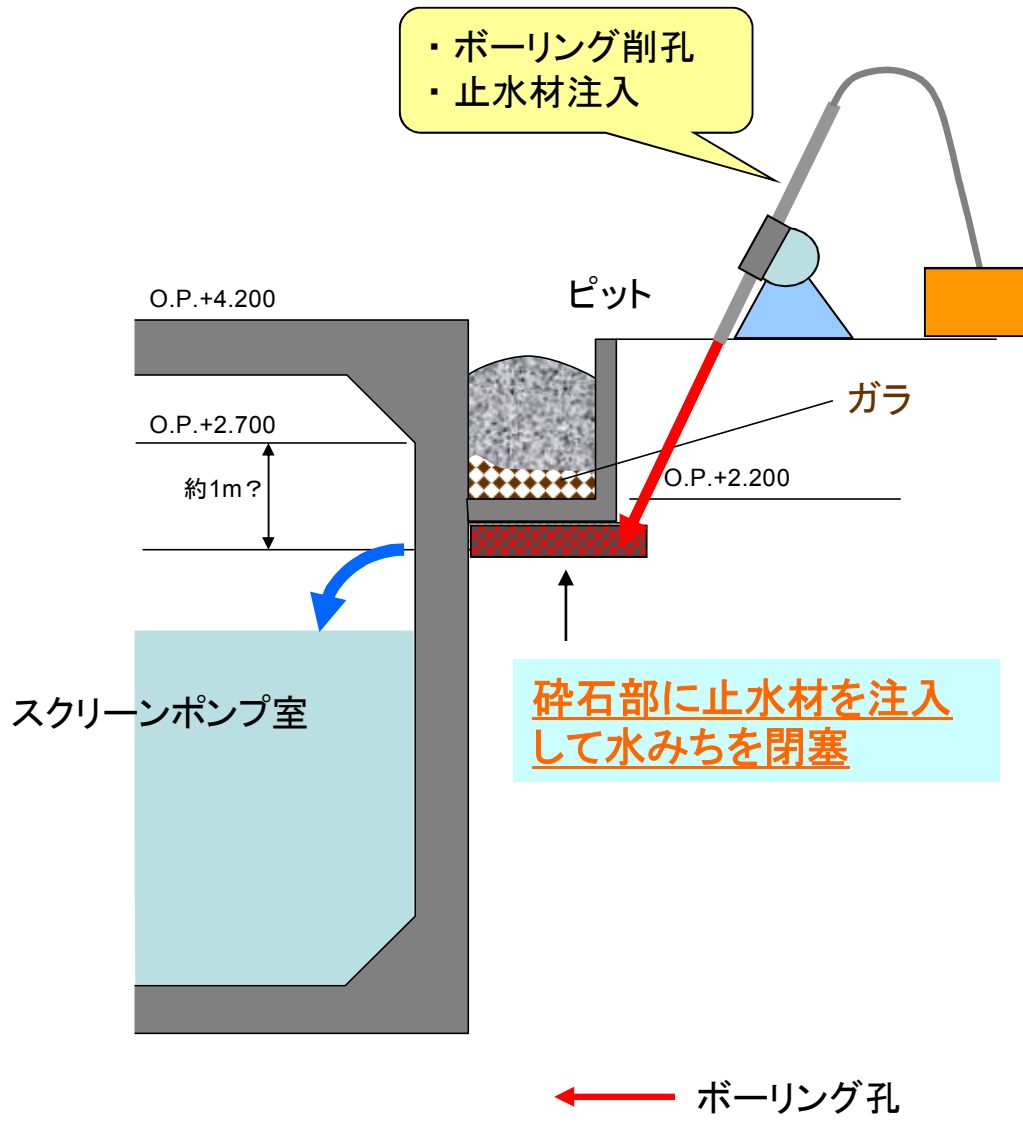
参考3

<想定される原因>

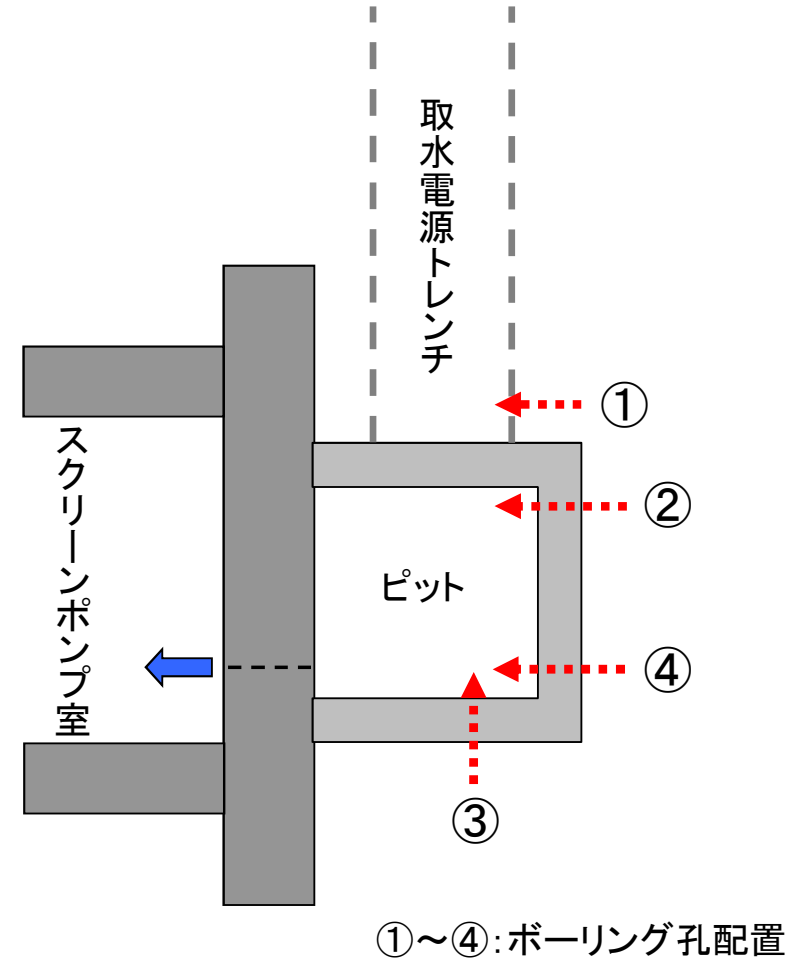
- ・ トレンチ下部に敷設されている砕石部が水みちとなり、流出している可能性が高い。



現状考えている対策工事



A-A断面図



平面図

福島第一原子力発電所第3号機取水口付近からの放射性物質 を含む水の外部への流出への対応について

1. 事象の概要

本事象は、5月11日午後0時30分頃、取水口付近において立坑の閉塞作業に従事していた作業員が、ピットへの流水の音を聞き、ピットの蓋を開放しその状況を把握したが、その時点ではまだ、スクリーンエリアへの流出は認識していなかった。

その後、現場の再確認の際、スクリーン室のカバーハッチを開放し内部を CCD カメラで確認した結果、同日午後4時5分頃、ピットからスクリーンエリアに水が流出していることを確認した。

流出水は高濃度の放射性物質を含んでいることから3号機タービン建屋側から海水配管トレンチを経由し電源ケーブルトレンチ取合部から電線管を通じてタービン建屋海側にある電源ケーブルピットに流出した排水が、当該ピットの北側にある電源ケーブルピットとスクリーンポンプ室間のコンクリート壁に生じた貫通部から3号機取水口のスクリーンエリアに流出したものと考えられる

当該ピットからスクリーンエリアへの流出を確認後、直ちにピット内の電線管のケーブルを切断しウェスを詰め、ピット内をコンクリートで閉塞した結果、5月11日午後6時45分に流水が停止したことを CCD カメラで確認した。

2. 流出量の評価

(1) 流出量の評価

流出量は電線管路から電源ケーブルピットへの流況およびピット壁を貫通してスクリーンエリアへの流況の目視確認結果から評価した。

a 電源ケーブルピットへの流況

ケーブルが敷設された電線管の空隙部からピットへの流入が確認されたが、電線管の直径10cm、本数4本、空隙の状況写真(5月11日午前10時30分頃)から、水面幅6cm、落下距離1.27m、飛距離0.5mとして評価した結果、流出量は約 $6\text{m}^3/\text{時}$ (約100リットル/分)となった。

b 電源ケーブルピットからスクリーンエリアへの流況

ピットからスクリーンエリアには、円筒状の流出が確認され、電線管路をウェスで止水した後の写真(5月11日午後6時30分頃)から、直径5cm、落下距離1.4m、飛距離0.3mとして、評価した結果は、約 $4.3\text{m}^3/\text{時}$ (約72リットル/分)となった。

しかしながら、ピットからスクリーンエリアへの流出状況について作業員に聞き取りをしたところ、ウェスによる止水前は流出量が多かったとの観察結果があったことから、今回の流量は電線管路からの流出状況から約 6 m³/時とした。

(2) 流出時間の評価

流出が確認された電源ケーブルピットの上流側に当たる 3 号機立坑内の水位の記録を確認した結果は以下の通りであり、

5 月 4 日午前 7 時 (O. P. +3, 140mm) から 5 月 10 日午前 7 時 (O. P. +3, 240mm) の期間は一日当たり 10mm~30mm の上昇が認められ、5 月 10 日午前 7 時から 5 月 11 日午後 5 時までは 20mm の減少が認められた。

この上昇と減少の期間を最小二乗法で、それぞれ相関を求めた結果、上昇と減少の分岐点は 5 月 10 日午前 2 時頃となった。

このことから、水位が下降に転じた 5 月 10 日午前 2 時より流出が開始されたと推定して評価することとした。

また、3 号機取水口付近の海水に含まれる放射性物質の定期的なモニタリングとして福島第一原子力発電所 1~4 号機取水口内南側海水放射能濃度と 2 号機バースクリーン付近の海水放射能濃度測定などが実施されている。その測定記録を確認した結果、5 月 10 日の午前 7 時頃までの測定結果は全体として減少傾向にあったものが、5 月 11 日の午前 7 時以降上昇に反転していた。また、3 号機スクリーンエリアから少し北方へ離れた 1~4 号機取水口北側放射能濃度記録も同様の傾向であった。このことから、5 月 10 日の午前 7 時頃に流出が開始されたと推定され、立坑の水位変化からの発生時刻の評価は保守的なものとする。

更に、5 月 11 日 午後 6 時 45 分に止水が確認されていることから、流出時間は、5 月 10 日午前 2 時から 5 月 11 日午後 7 時までの約 41 時間と評価した。

結論として、上記 (1)、(2) から、流出水の量は、6 m³/時で、41 時間継続したとして、約 250m³と評価された。

(3) 放射性物質の流出量

a 流入水の放射性物質濃度

平成 23 年 5 月 11 日午後 1 時 30 分に採水した電源ケーブルピット内に流入した放射性物質の濃度は、

以下の通りである。

セシウム 137 ; 3.9 × 10⁴Bq/ cm³

セシウム 134 ; 3.7 × 10⁴Bq/ cm³

ヨウ素 131 ; $3.4 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$

(2) の流出水の流出量と上記の放射性物質の濃度から、スクリーンエリアの海水に流出した放射性物質量は以下の通り算出した。

セシウム 137	; $3.9 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3 \times 250 \text{m}^3 = 9.8 \times 10^{12} \text{Bq}$
セシウム 134	; $3.7 \times 10^4 \text{Bq/cm}^3 \times 250 \text{m}^3 = 9.3 \times 10^{12} \text{Bq}$
ヨウ素 131	; $3.4 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3 \times 250 \text{m}^3 = 8.5 \times 10^{11} \text{Bq}$
合計	; $2.0 \times 10^{13} \text{Bq}$

3. 再発防止と港湾外への拡散に向けた対策

(1) 流出リスクのあるピットの閉塞

放射性物質を含む水がスクリーンエリアに流出される可能性のあるピットは全て5月19日までに閉塞工事を終了した。今後、さらなる対策として、海水配管トレンチと接続しているピット27箇所を、6月末までにコンクリート等で閉塞する。

(2) 1～4号機スクリーンポンプ室の隔離

1～4号機の各スクリーンポンプ室前面に角落とし等を設置し、6月末までに閉塞する。

(3) ゼオライト入り土嚢の設置

早期の対策として、取水口内部にゼオライト入り土嚢を設置する。(5月末まで)

(4) 循環型浄化装置の設置

循環型の浄化装置をスクリーンエリアに設置し、取水口の海水を循環させることにより放射性セシウムを除去する。(5月末までに設置、6月上旬、運転開始)

(5) 海水モニタリングの継続と強化

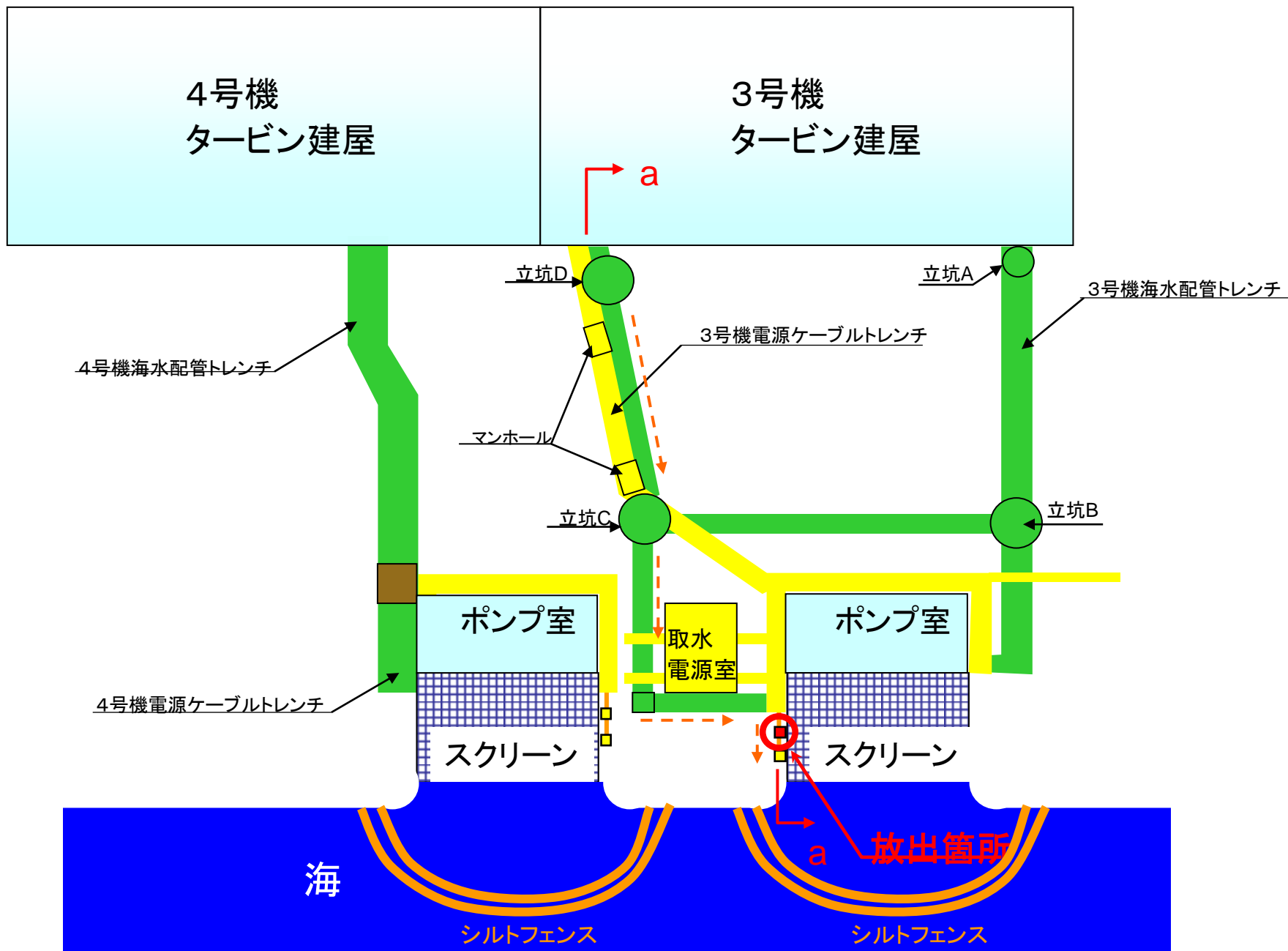
港湾内外の海水モニタリングを継続し、放射性物質の濃度に有意な変動がないか確認していく。

1, 3, 4号機においては、2号機と同様にシルトフェンス内側の海水の分析を実施し、モニタリング体制を強化する事としたい。

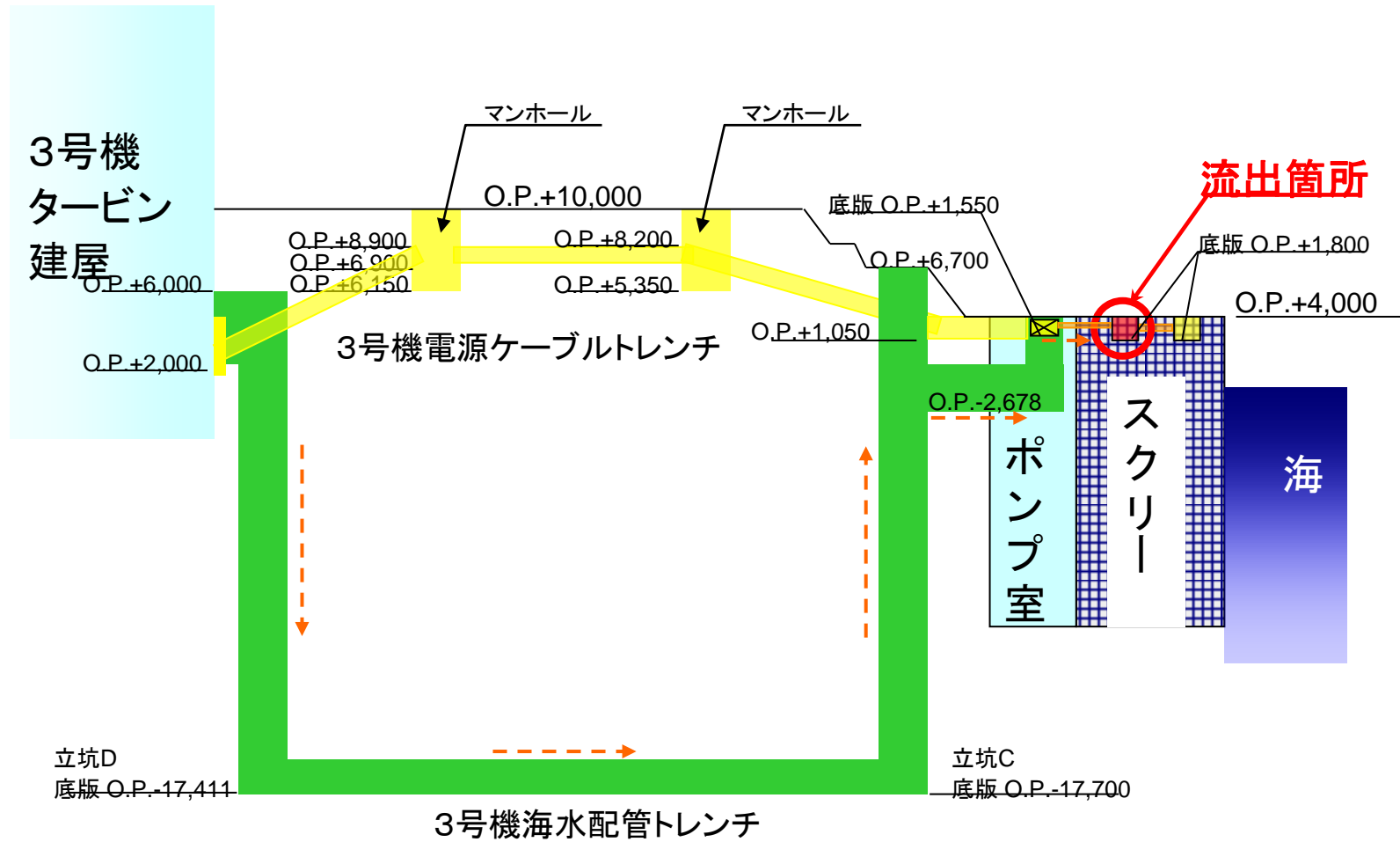
以上

3号機海水配管トレンチ 平面図

参考1



3号機海水配管トレンチ 縦断図(a-a断面)

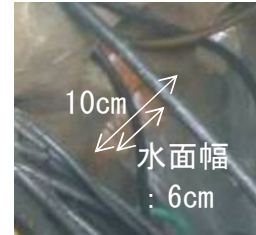


3号機取水口付近への流出状況について

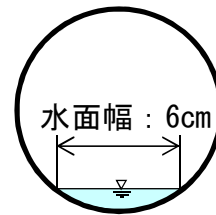
参考2

【電源ケーブルピットへの流況】

撮影日時：平成23年5月11日



(左図拡大)



電線管の断面図

1.27m落下する時間：

$$\sqrt{\{ (2 \times 1.27) / 9.8 \}} = 0.51 \text{ (s)}$$

水平方向の速度：

$$0.5 \text{ (m)} \div 0.51 \text{ (s)} = \text{約} 1.0 \text{ (m/s)}$$

電線管の直径：10 (cm)

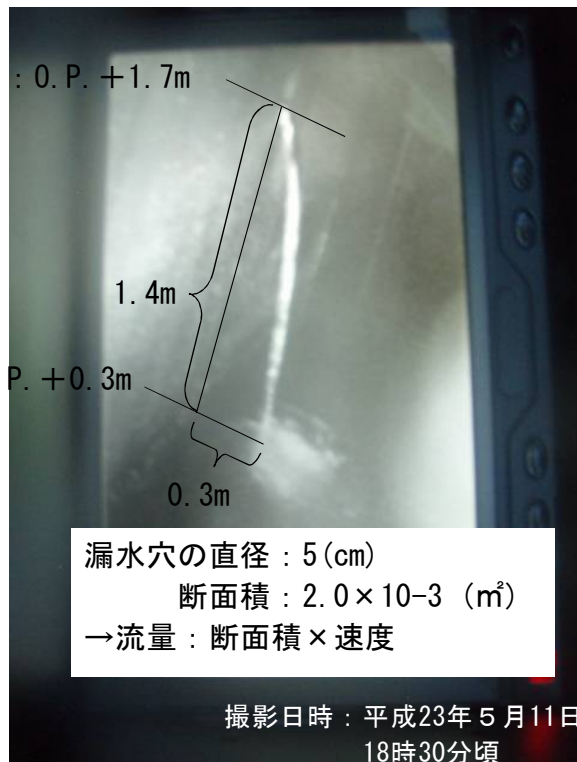
流水の水面幅：6 (cm)

断面積： $4.1 \times 10^{-4} \text{ (m}^2\text{)}$

→流量：断面積 × 4本 × 速度

【電源ケーブルピットからスクリーンエリアへの流況】 (ウェス止水後)

漏水穴の高さ：O.P. +1.7m



5月11日 18時30分の潮位：O.P. +0.3m

海面までの落下時間：

$$\sqrt{\{ (2 \times 1.4) / 9.8 \}} = 0.55 \text{ (s)}$$

水平方向の速度：

$$0.3 \text{ (m)} \div 0.55 \text{ (s)} = 0.6 \text{ (m/s)}$$

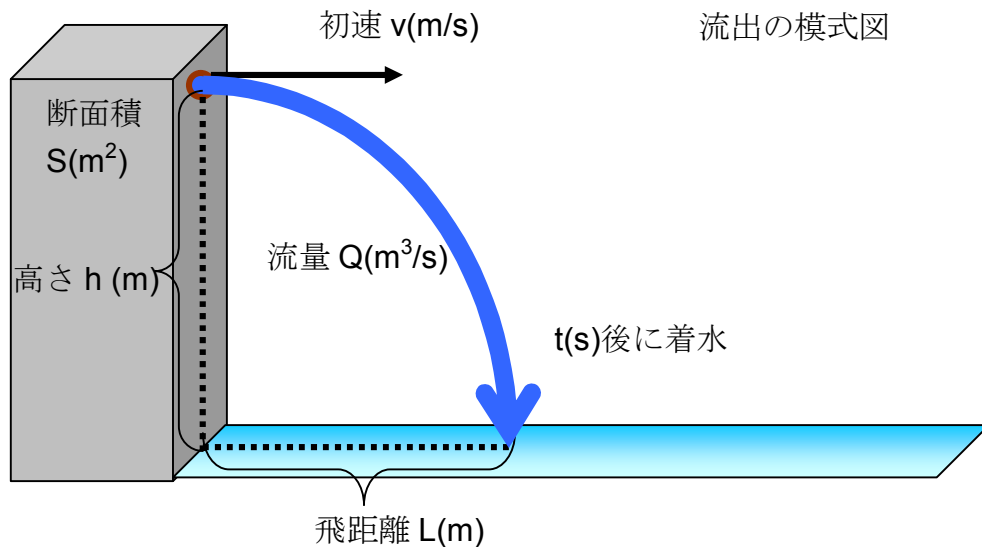
漏水穴の直径：5 (cm)

断面積： $2.0 \times 10^{-3} \text{ (m}^2\text{)}$

→流量：断面積 × 速度

撮影日時：平成23年5月11日
18時30分頃

流出流量の評価方法



飛距離と高さから、流出した液体が自由落下運動をしたとして、流量を以下の式を用いて算出する。

垂直方向は自由落下運動 $h = \frac{1}{2}gt^2 \Leftrightarrow t = \sqrt{\frac{2h}{g}}$

水平方向は等速運動 $v = \frac{L}{t} = \frac{L}{\sqrt{\frac{2h}{g}}}$ 流量 $Q = Sv = \frac{SL}{\sqrt{\frac{2h}{g}}} \dots \textcircled{1}$

<前提>

- 電線管の直径：10 (cm)、流水の水面幅：6 (cm)
- 電線管 1 本における流水の断面積： $S = 4.1 \times 10^{-4} (\text{m}^2)$
- 飛距離： $L = 0.50 (\text{m})$
- 高さ： $h = 1.27 (\text{m})$
- 重力加速度： $g = 9.8 (\text{m/s}^2)$

①式に前提条件を代入して、流量を以下の通りに評価する。

$$Q = \frac{SL}{\sqrt{\frac{2h}{g}}} \times 4 \text{本} = \frac{4.1 \times 10^{-4} \times 0.5}{\sqrt{\frac{2 \times 1.27}{9.8}}} \times 4 \text{本} = 1.6 \times 10^{-3} (\text{m}^3/\text{s}) \neq 6 (\text{m}^3/\text{h})$$

福島第一原子力発電所からの低レベルの滞留水などの海洋放出の結果について

現在、福島第一原子力発電所タービン建屋内には、多量の放射性廃液が存在しており、特に2号機の廃液は、極めて高いレベルの放射性廃液である。

これを安定した状態で保管するには、集中廃棄物処理施設に移送することが必要と考えている。しかし、同施設内には、現状、1万トンの低レベルの滞留水などが既に保管されており、新たな液体を受け入れるには、現在保管されている滞留水などを排出する必要がある。

また、5号機ならびに6号機では、サブドレンピットに低レベルの地下水が溜まってきており、建屋の内部に地下水の一部が浸入してきており、このままでは原子炉の安全確保上重要な設備を水没させる恐れが出てきている。

そのため、極めて高い放射性廃液をしっかりと管理貯蔵するために、集中廃棄物処理施設内に溜まっている低レベルの滞留水（約1万トン）と、5号機および6号機のサブドレンピットに保管されている低レベルの地下水（延べ1,500トン）を、原子炉等規制法第64条1項に基づく措置として、準備が整い次第、海洋に放出することとした。

その後、低レベル滞留水等の海洋放出の準備を行っていたが、準備が整ったことから、4月15日午後7時に集中廃棄物処理施設内に留まっていた低レベル滞留水などを海洋に放出することとし、また、同日午後9時に、5号機および6号機のサブドレンピットに留まっていた低レベルの地下水を海洋に放出することとした。

集中廃棄物処理施設内に溜まっていた低レベルの滞留水などについては、4月4日午後7時3分より放水口の南側の海洋への放出を開始し、4月10日午後5時40分までに放出を完了した。その後、4月11日午前9時55分、建屋内の滞留水が十分排水され、高レベルの廃水を受け入れるに当たっての建屋内における対策（止水対策など）を実施することに支障がないことを確認した。

5号機および6号機のサブドレンピットに留まっていた低レベルの地下水については、4月4日午後9時より5、6号機放水口より海洋への放出を開始し、4月9日午後6時52分までに放出を完了した。

このたびの低レベルの滞留水などの海洋放出に際しては、経済産業省原子力安全・保安院からの指示を受けて、海洋モニタリングを着実に実施するとともに、さらに、測定ポイントおよび実施頻度を増加し、放射性物質の拡散による影響を調査・確認したうえで、その結果を公表してきた。

発電所近傍を含めた測定ポイントにおける放射能濃度については、放出前1週間の推移と比較しても、大きな変動は見られなかった。

今回、海洋へ放出された低レベル滞留水等の量は、集中廃棄物処理施設より約 9,070 トン、5号機および6号機のサブドレンピットより約 1,323 トン（5号機：約 950 トン、6号機：約 373 トン）であり、放出された全放射エネルギーは約 1.5×10^{11} ベクレルであった。

今回の放出の完了に伴い、当社は、2号機タービン建屋内の極めて高いレベルの放射性廃液等については、集中廃棄物処理施設の建屋内における止水対策などが整い次第、同施設の建屋に移送し、安定した状態で保管することとした。

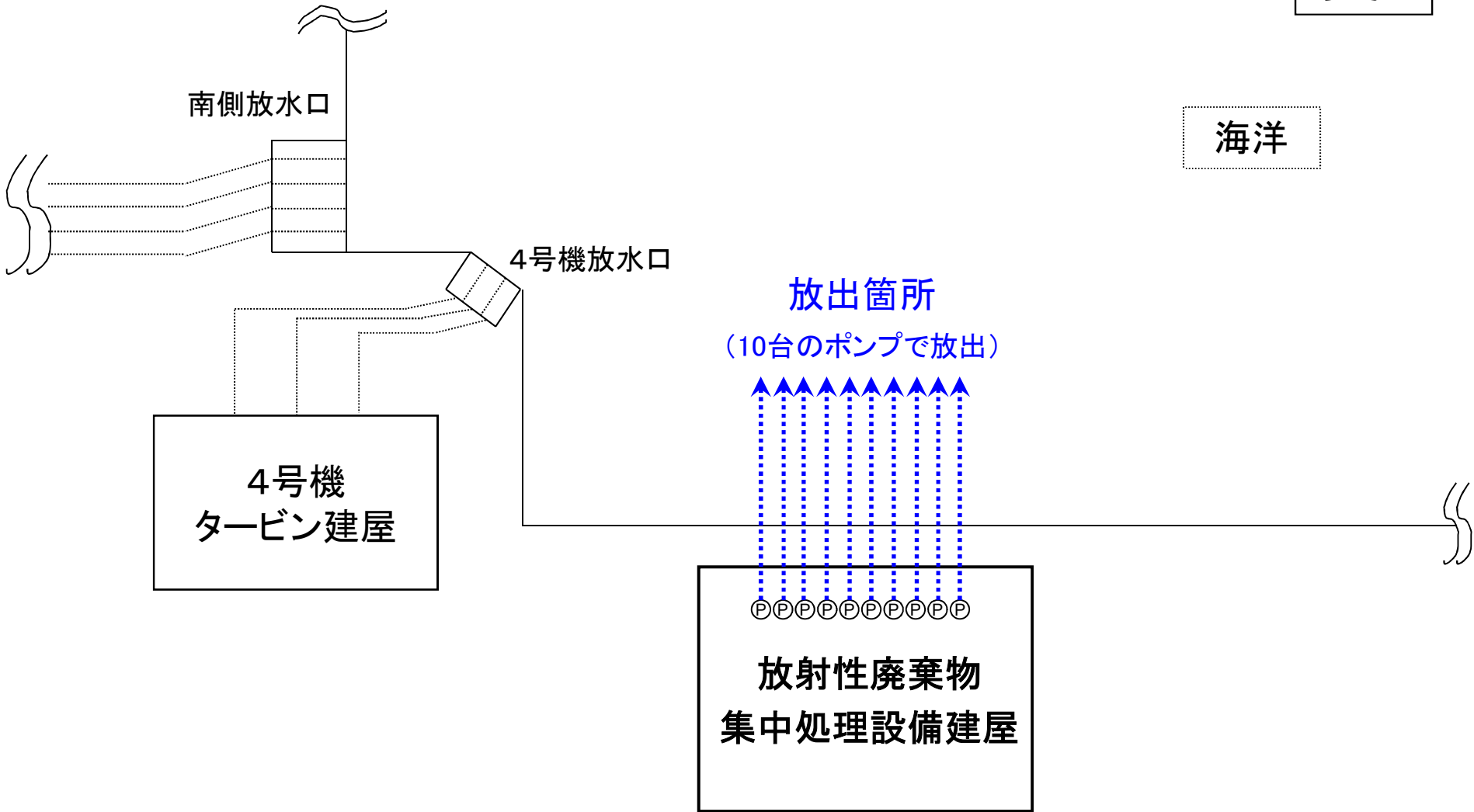
また、今後、5号機および6号機のサブドレンピットに溜まった地下水については、屋外に設けた仮設タンク等に受け入れることとし、適切な放射能低減策を検討していく。

さらに、海洋モニタリングのために現在実施している海水の調査の評価結果を引き続きしっかりと注視し、影響評価を行っていく。

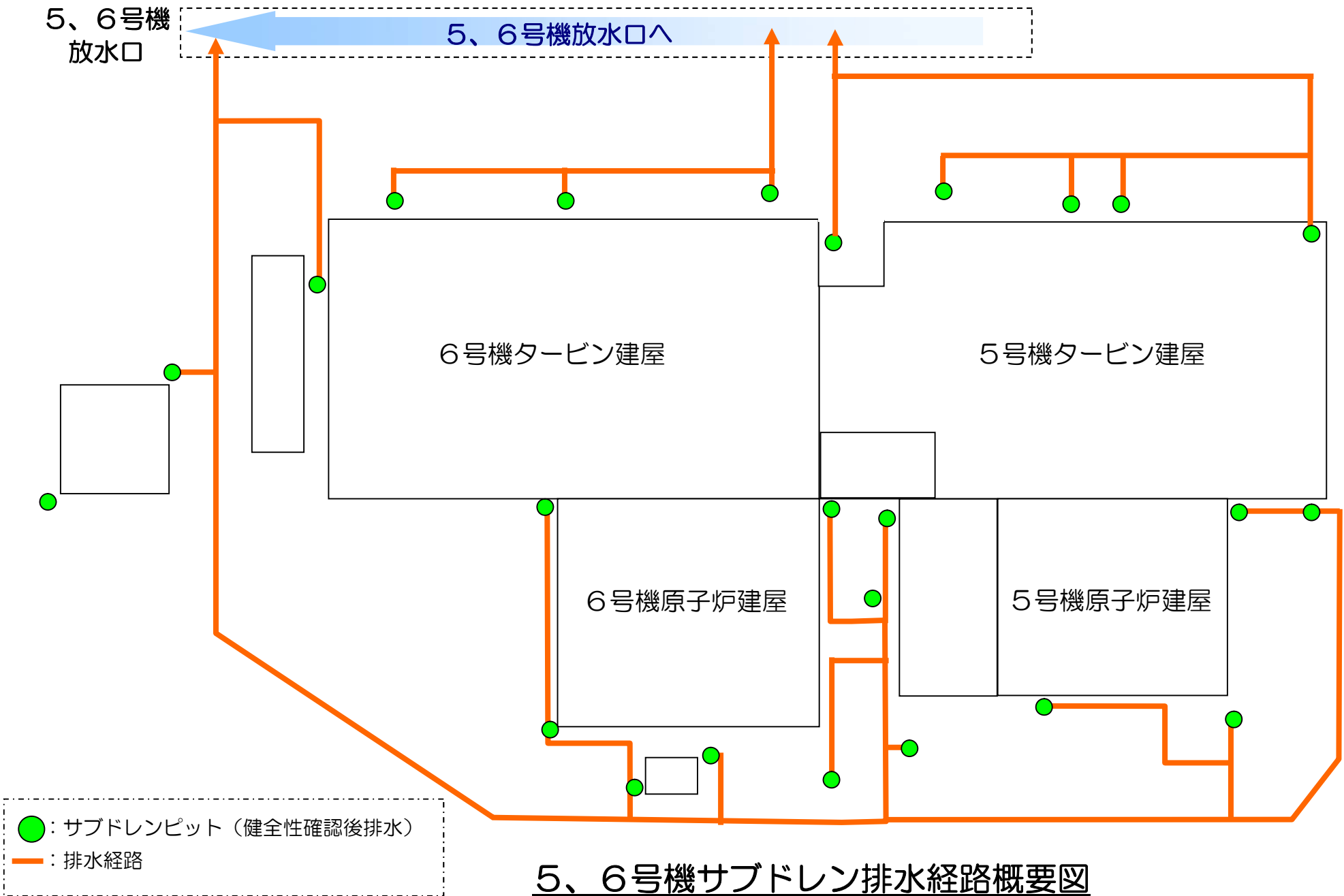
以 上

参考1

海洋



福島第一原子力発電所 低レベル滞留水の海洋放出イメージ



福島第一原子力発電所 滞留水及びサブドレン水核種分析結果

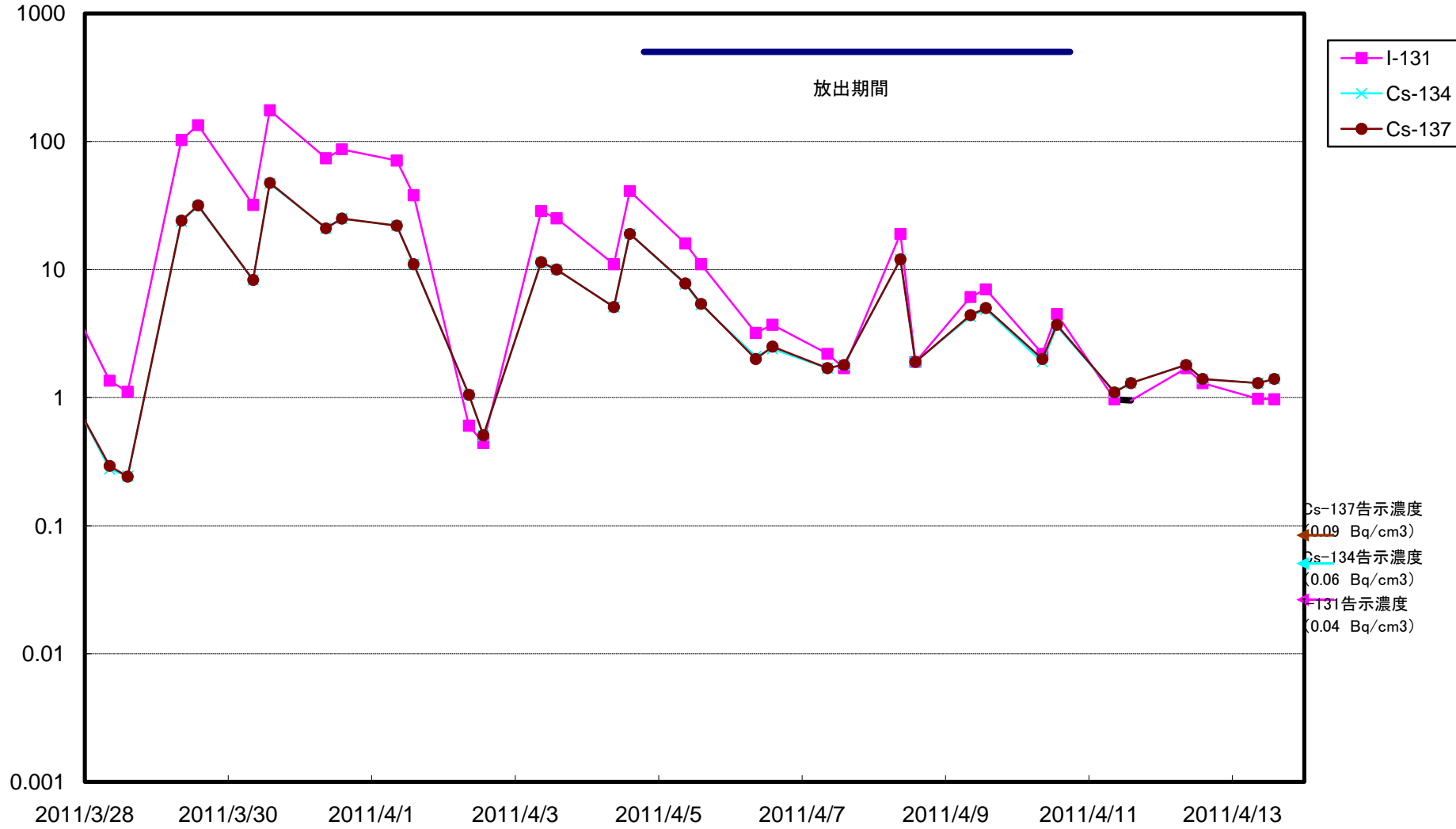
参考3

試料採取日時刻	平成23年3月28日 15時30分	平成23年3月28日 16時00分	平成23年3月30日 10時30分	平成23年3月30日 10時40分
採取場所	集中廃棄物処理施設 滞留水(非管理区域側)	集中廃棄物処理施設 滞留水(管理区域側)	5号機 サブドレンピット水	6号機 サブドレンピット水
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)			
I-131 (約8日)	6.3E+00	8.7E-01	1.6E+00	2.0E+01
Cs-134 (約2年)	2.7E+00	4.4E+00	2.5E-01	4.7E+00
Cs-137 (約30年)	2.8E+00	4.4E+00	2.7E-01	4.9E+00

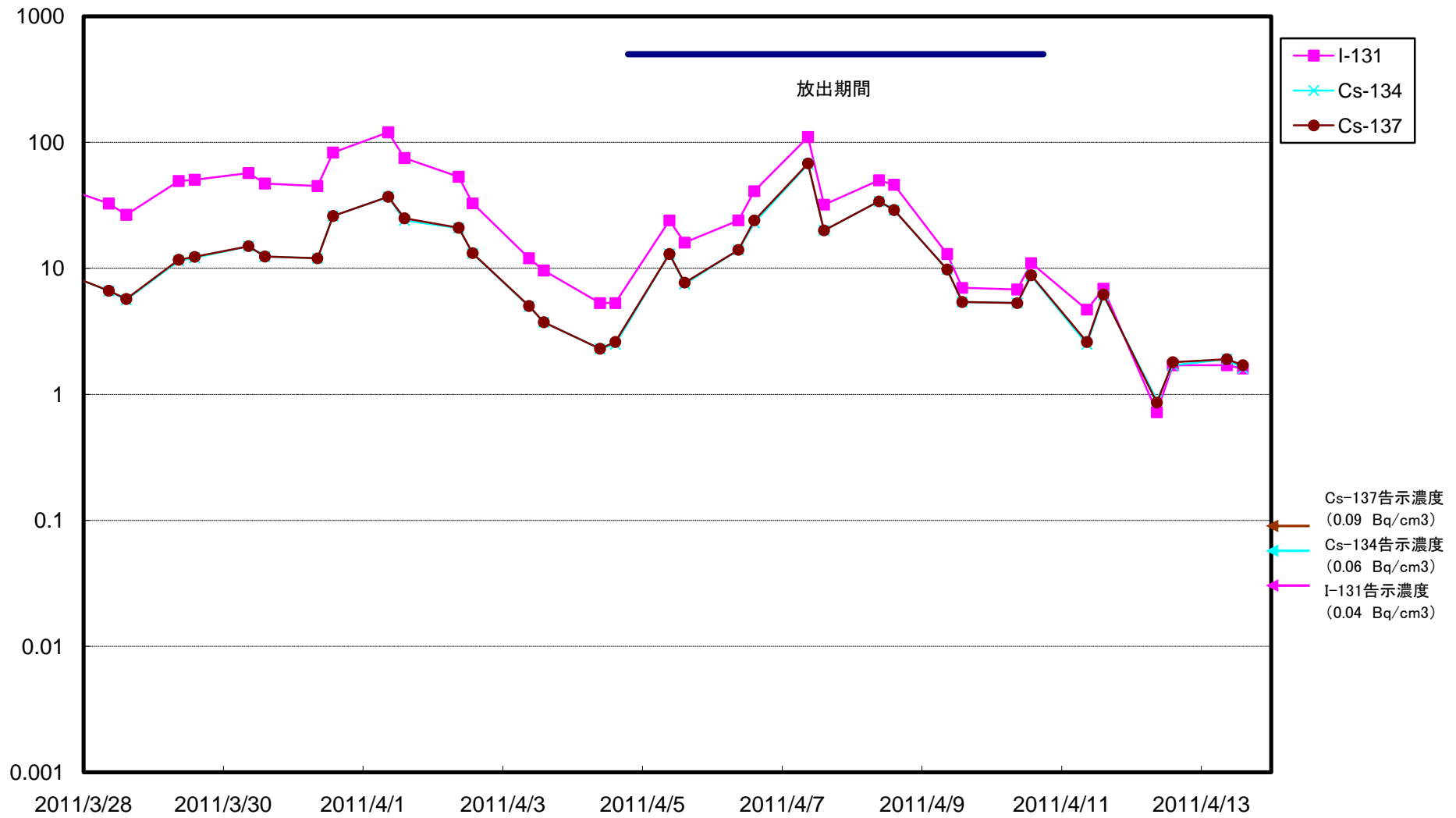
※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}を表す。

※ I-131, Cs-134, Cs-137の3核種については確定値。その他の核種については評価中。

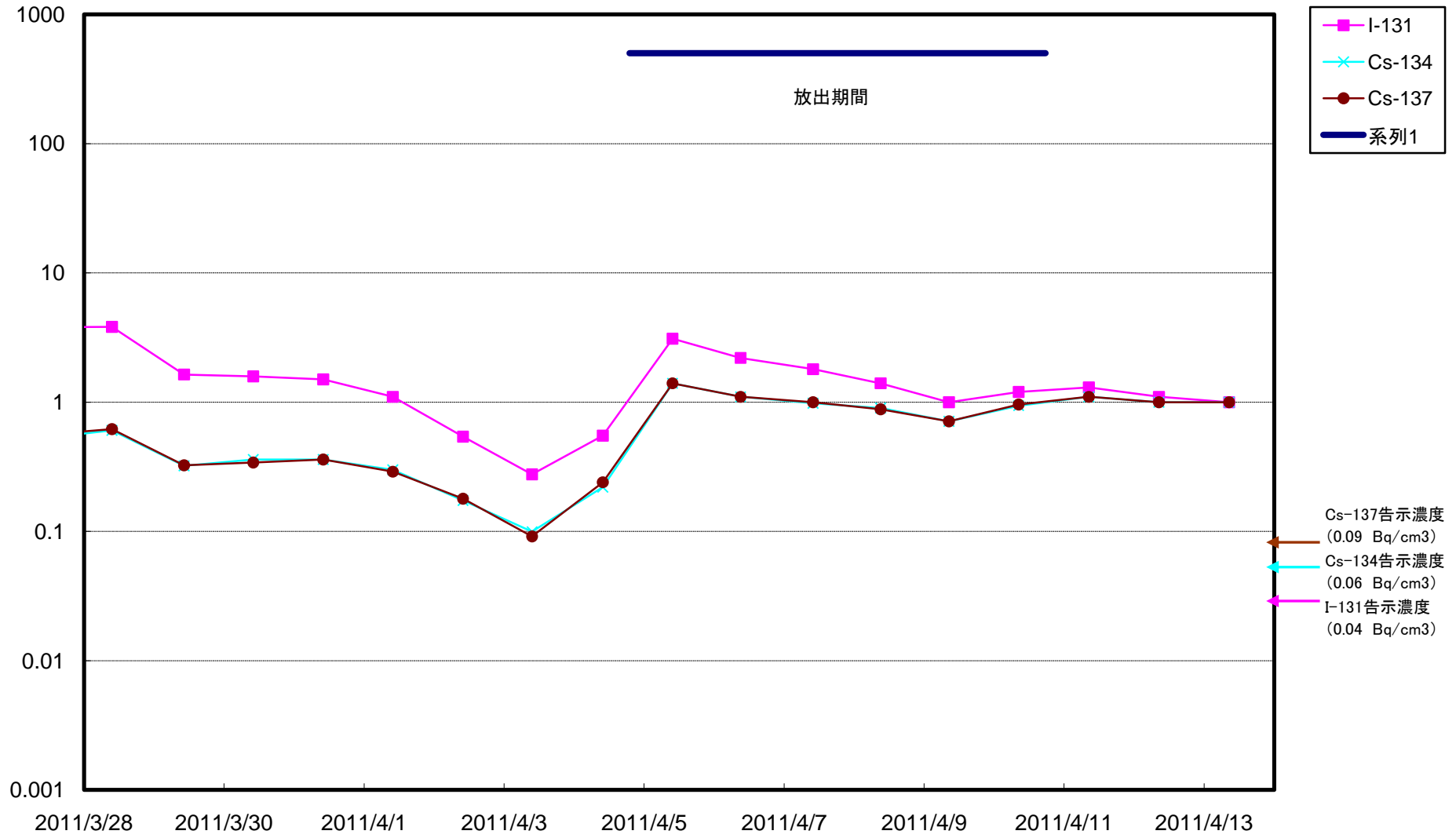
海水中放射性物質の核種分析結果
1F南放水口付近 海水放射能濃度(Bq/cm³)



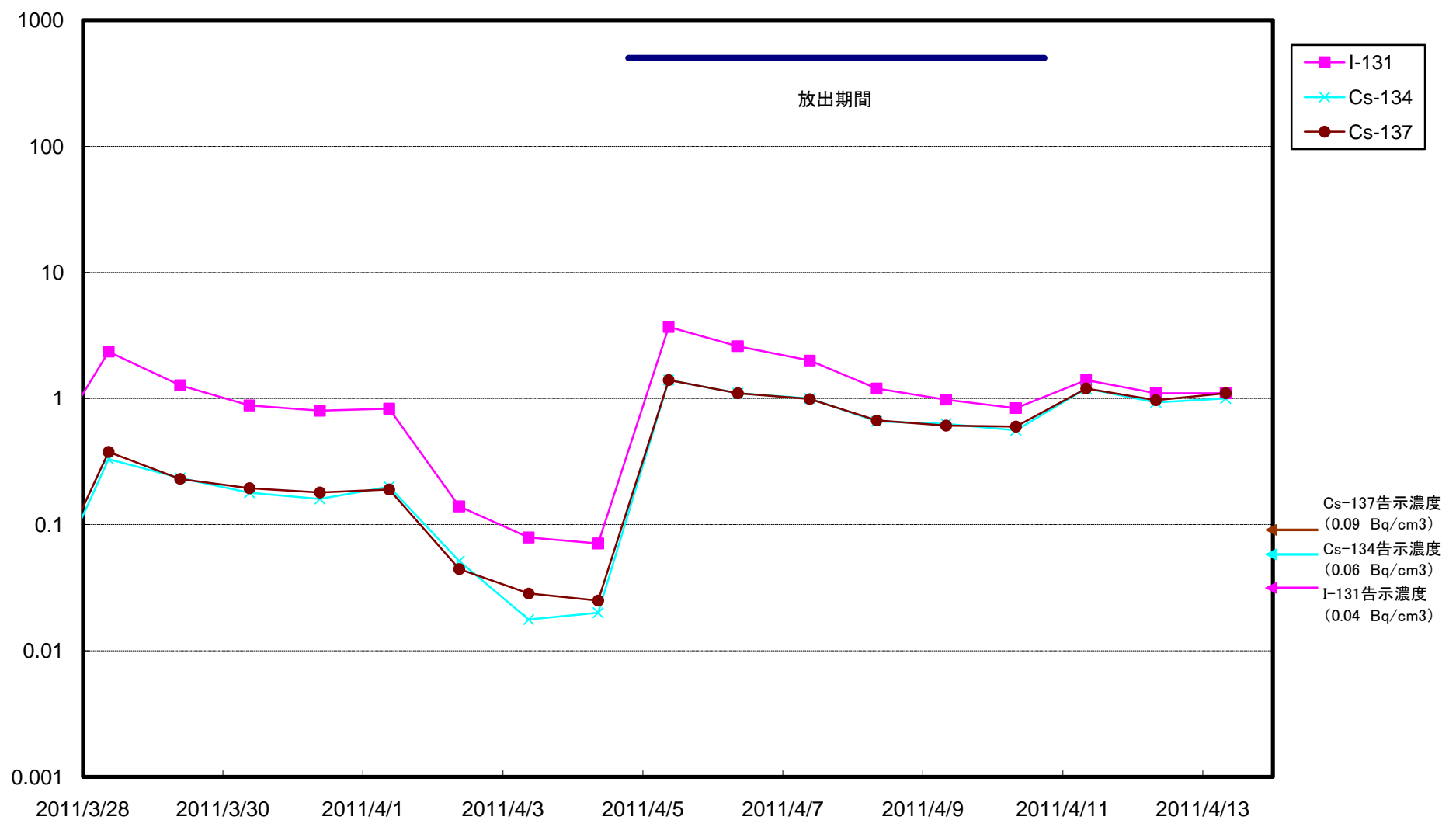
海水中放射性物質の核種分析結果
 1F 5~6放水口北側(5~6u放水口から北側に約30m地点)放射能濃度(Bq/cm³)



海水中放射性物質の核種分析結果
2F北側放水口付近 海水放射能濃度 (Bq/cm³)



海水中放射性物質の核種分析結果
 2F岩沢海岸付近 海水放射能濃度(Bq/cm³)

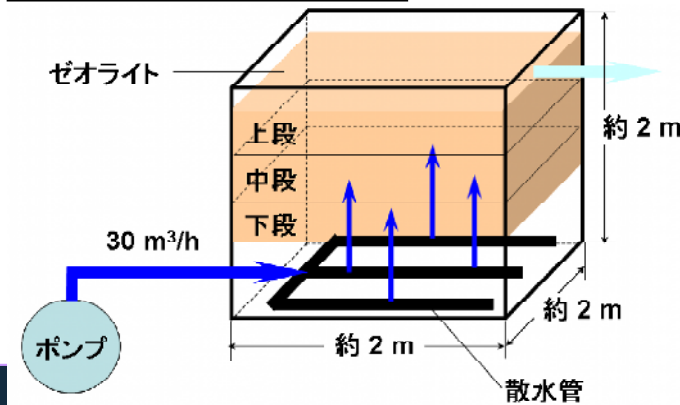


放射性物質を含む液体の拡散防止強化対策

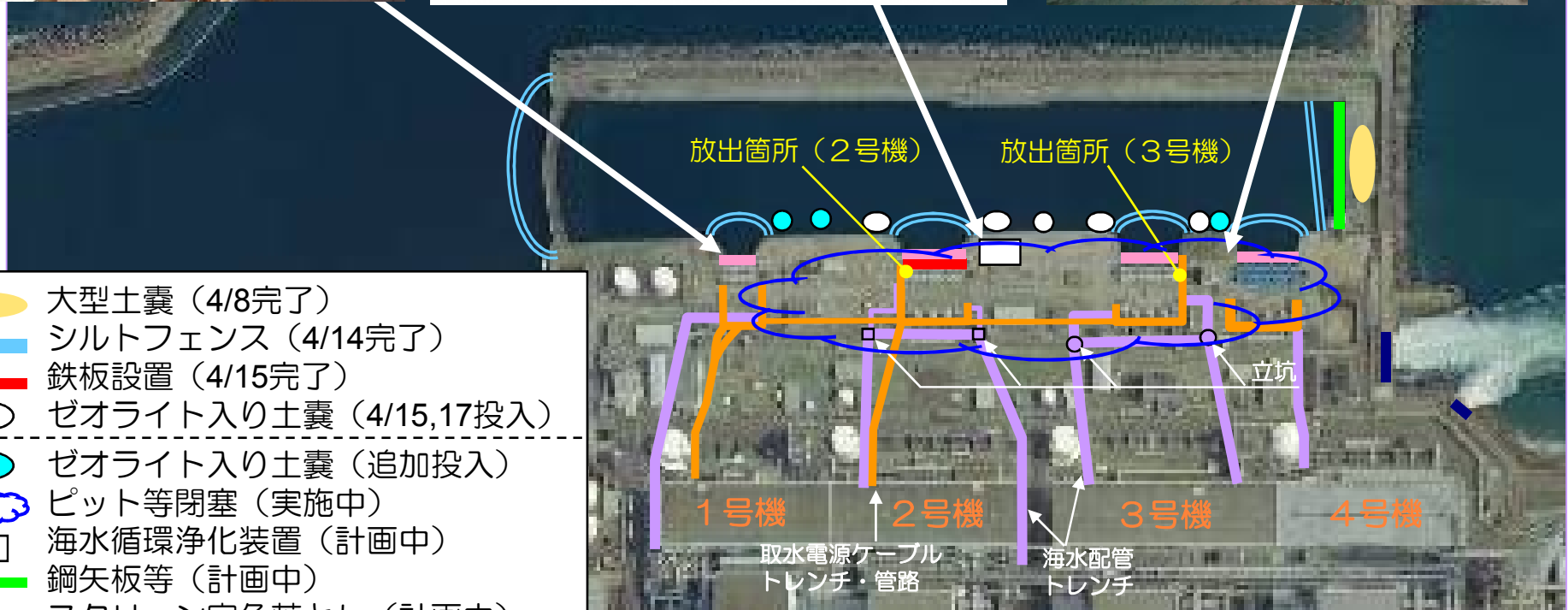
角落としの設置













海水循環浄化装置の設置



ピット等の閉塞



-  大型土嚢 (4/8完了)
-  シルトフェンス (4/14完了)
-  鉄板設置 (4/15完了)
-  ゼオライト入り土嚢 (4/15,17投入)
-  ゼオライト入り土嚢 (追加投入)
-  ピット等閉塞 (実施中)
-  海水循環浄化装置 (計画中)
-  鋼矢板等 (計画中)
-  スクリーン室角落とし (計画中)
-  放水口角落とし (計画中)

基発0428第1号

平成23年4月28日

都道府県労働局長 殿

厚生労働省労働基準局長

(公 印 省 略)

緊急作業に従事した労働者のその後の緊急作業以外の放射線業務による被ばく線量に係る指導について

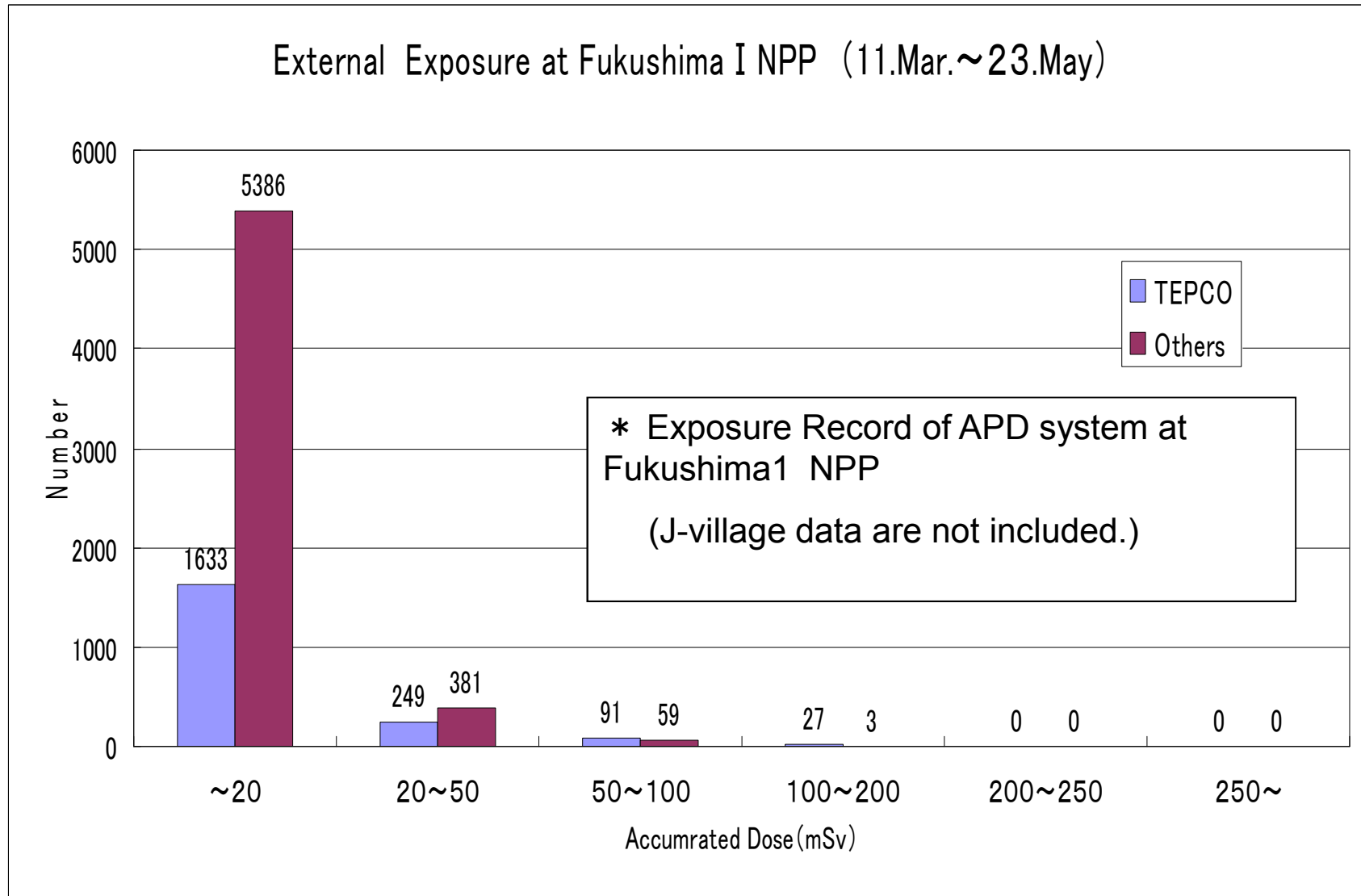
平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための電離放射線障害防止規則の特例に関する省令により、福島第一原子力発電所において、特にやむを得ない緊急の作業に限って、緊急作業時における被ばく限度を100mSvから250mSvへと引き上げ、電離放射線障害防止規則第1条の基本原則を踏まえて、平成23年3月15日付け基発0315第7号の記の第2に細部事項を示したところであるが、福島第一原子力発電所における特にやむを得ない緊急作業に従事させた労働者のその後の緊急作業以外の放射線業務による被ばく線量に係る指導について、下記のとおり示すので留意されたい。

記

- 1 福島第一原子力発電所における特にやむを得ない緊急作業による被ばく線量が100mSv以下の労働者のその後の緊急作業以外の放射線業務への従事については、当該緊急作業に従事した期間を含む5年間における当該放射線業務従事者の被ばく線量の総量が100mSvを超えないようにその低減化を図るよう指導すること。

なお、これは、福島第一原子力発電所における特にやむを得ない緊急作業を含む被ばく線量の総量についての取扱いであり、緊急作業以外の放射線業務のみでの被ばく線量が1年間につき50mSvを超えた場合には法令違反となることについては変更はないこと。

- 2 福島第一原子力発電所における特にやむを得ない緊急作業による被ばく線量が100mSvを超えた労働者のその後の緊急作業以外の放射線業務への従事については、当該緊急作業に従事した期間を含む5年間の残りの期間について、それ以上被ばくさせないように指導すること。



経済産業省

平成 23・05・25 原院第 1 号

平成 23 年 5 月 25 日

東京電力株式会社

取締役社長 清水 正孝 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭

N I S A - 1 6 8 d - 1 1 - 5

N I S A - 3 2 6 d - 1 1 - 2

福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の放射線管理に対する評価結果について（指示）

平成 23 年 4 月 27 日に貴社から実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度等を定める告示（平成 13 年経済産業省告示第 187 号。以下「線量告示」という。）に規定する線量限度を超えて作業を行っていた者がいた旨の報告を受け、原子力安全・保安院（以下「当院」という。）は、「福島第一原子力発電所の放射線業務従事者の線量限度を超える被ばくに係る原因究明及び再発防止対策の策定等について（指示）」（平成 23 年 4 月 27 日付け平成 23・04・27 原院第 4 号）を指示しました。これに対して、同年 5 月 2 日及び 5 月 11 日に貴社から「福島第一原子力発電所の放射線業務従事者の線量限度を超える被ばくに係る原因究明及び再発防止対策の策定等について」の報告があり、当院は、当該報告について評価を行いました。

この結果、次の①から③までの実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（昭和 53 年通商産業省令第 77 号。以下「炉規則」という。）及び線量告示に抵触する事実があったことは遺憾であり、当院は、貴社に対して、厳重に注意します。

- ①福島第一原子力発電所の免震重要棟において、炉規則及び線量告示に規定する放射線業務従事者の呼吸する空気中の放射性物質の濃度限度（ヨウ素131において0.001ベクレル/立方センチメートル）を超えていたにもかかわらず、適切な防護装備を実施させなかったこと。
- ②同発電所において、女子従業員2名が線量告示に規定する線量限度（5ミリシーベルト/3か月）を超えていたことに加え、放射線業務従事者ではない女子従業員5名が、管理区域に設定しなければならない場所において、作業を行っていたことは、炉規則に抵触しており、また、これらの者のうち2名が公衆の線量限度（1ミリシーベルト/年）を超過していたこと。
- ③福島第二原子力発電所の建屋外において、同年3月14日から4月21日まで線量告示に定める管理区域の設定基準値（1.3ミリシーベルト/3か月）を超えていたにもかかわらず、線量について管理していなかったこと。

さらに、当院は、貴社に対し、従業員の労働安全、健康管理及び生活改善について、放射線業務従事者の放射線管理が適切になされる観点から、更なる改善に努めるとともに、放射線業務従事者の放射線管理を適切に行い、福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所において、保安規定を遵守させるため、下記の対策を講じることを求めます。

記

1. 作業現場の放射線量の事前測定及び作業の監督が適切に行われるよう、放射線の測定等を行う者を増員する等体制の強化を行うこと。
2. 作業を行う従業員全員に着用できる十分な数の個人線量計を確保すること。
十分な数の個人線量計が確保できるまでの間、放射線量を管理すべき場所において、代表者のみに個人線量計を携帯させる場合は、放射線量を管理すべき場所内の放射線量が同等であることをあらかじめ確認している現場に限ること。
3. 被ばく線量の評価が完了していない従業員の評価を速やかに行うとともに、福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の原子炉施設保安規定によって3か月に1回行うこととされている内部被ばく評価を早急に確実に実施すること。

4. 貴社の社内規程において定められている放射線業務従事者の登録に必要な健康診断を速やかに実施させること。
5. 放射線業務従事者の線量管理を確実にを行うため、早急に線量管理に関するシステムを復旧させ、財団法人放射線影響協会放射線従事者中央登録センターへの登録を確実にを行うこと。
6. 平成23年5月11日に当院に報告された女子の放射線業務従事者の数に関する再調査については、その調査方法が適切なものではなかったことから、今後、再発しないように適切な調査が実施されるよう対策を策定すること。
7. 放射線業務について、法令に抵触する事象があった場合には、速やかに当院まで報告を行うこと。

I A E A 専門家の活動

1 放射線計測

(1) 陸上における専門家チーム

3月18日から4月20日までの間、4つの放射線計測チームが訪日し、下記の日程で放射線計測を実施した。

① 第1陣

3月18日～31日（東京都，神奈川県，千葉県，埼玉県，群馬県，栃木県，茨城県及び福島県）

② 第2陣

3月24日～4月1日（福島県）

③ 第3陣

4月1日～11日（福島県）

④ 第4陣

4月11日～18日（福島県）

(2) 海洋に関する専門家

4月1日から6日までの間、I A E A モナコ環境研究所の海洋専門家1名が訪日し、同2日から4日にかけて独立行政法人海洋研究開発機構の観測船「みらい」に乗船して海洋モニタリング活動を観察するとともに、技術的助言を行った。

2 食品モニタリング

3月26日から4月1日までの間、I A E A 及びF A O 合同の食品モニタリング・チーム3名が訪日し、27日から30日までの間、それぞれ福島県、茨城県、栃木県及び群馬県を訪問し、関係自治体等と意見交換を行うとともに、食品モニタリングについて技術的助言を行った。

3 沸騰水型原子炉

4月3日から12日までの間、I A E A の沸騰水型原子炉専門家（4月6日までは2名、4月7日以降は更に1名追加）が訪日し、4月6日に福島第一原子力発電所を、4月7日に福島第二原子力発電所を訪問した他、滞在中に日本政府関係者（原子力安全・保安院，外務省，文部科学省，内閣府等）及び東京電力関係者と意見交換を行った。

4 その他

3月24日から4月12日までの間、I A E A 国際支援調整官1名が訪日し、上記1～3のI A E A 専門家等の活動の全般的な調整を行った。

主な国際会議における日本側関係者による説明

開催日	会議名（開催地）	説明内容の概要
3月20日	国際原子力機関（IAEA）事務局技術ブリーフィング（ウィーン）	日本側による情報提供努力、放射線モニタリングの状況、福島第一原子力発電所5・6号機の現状
3月21日	IAEA事務局技術ブリーフィング（ウィーン）	地震の概要、結果と原因、福島第一原子力発電所1～6号機の現状、保安院としての対策及び福島県内の環境放射能測定値
3月21日	IAEA特別理事会（ウィーン）	天野事務局長の訪日、事故と対処の現状、日本側による情報提供努力、国際機関との協力、環境モニタリングの現状、屋内待避・避難、ICAO及びWHOのプレスリリース
3月22日	国際エネルギー機関（IEA）緊急時問題常設作業部会（SEQ）／石油市場常設作業部会（SOM）合同会合（パリ）	事故の現状、電力需要、石油・ガス市場及び関連措置
3月29日	世界貿易機関（WTO）貿易交渉委員会（TNC）非公式会合（ジュネーブ）	日本産品に対する輸入制限
3月30～31日	WTO衛生植物検疫措置（SPS）委員会公式会合（ジュネーブ）	日本産食品の安全と各国による輸入制限
4月4日	第5回原子力安全条約検討会合日・IAEA共催サイドイベント（ウィーン）	福島第一原子力発電所各号機の現状と対処、放射線モニタリングの状況、政府と東京電力との間の協力
4月6日	原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）非公式会合（ウィーン）	日本側による情報提供努力
4月6日	クリーンエネルギー大臣会合	事故概要と対処、放射線モニタリング、食品・飲料水・作業員への影響、日本経済への影響、情報提供努力
4月19日	チェルノブイリ25周年関連原子力サミット（キエフ）	原子力安全の重要性、事故発生の原因、事故の現状と対処、国際的な情報発信、今後の事故の検証と経験の国際社会との共有
4月19日	国際原子力エネルギー・フレームワーク（IFNEC）基盤整備WG会合	事故概要と対処、放射線モニタリング、食品・飲料水・作業員への影響、情報提供努力
4月27～29日	経済協力開発機構・多国間設計評価プログラム（OECD/MDEP）（パリ）	事故の現状と対処、東京電力によるロードマップの発表、日本国内の原発に関する緊急対応措置、住民及び環境に与えている影響、放射線モニタリング、国際社会との情報共有

4月28～29日	経済協力開発機構・原子力機関（OECD/NEA） 運営委員会及び規制当局会合（パリ）	事故の現状と対処、東京電力によるロードマップの発表、日本国内の原発に関する緊急対応措置、住民及び環境に与えている影響、放射線モニタリング、国際社会との情報共有
5月16～24日	世界保健機構（WHO）第64回世界保健会合（ジュネーブ）	事故概要と対処、被災者支援、放射線のリスク、食品・水の安全、国際社会への情報提供
5月17～19日	OECD/NEA第69回放射線防護・公衆衛生委員会（CRPPH）（パリ）	事故概要と対処、放射性物質の放出分布状況（土壌の測定結果等）、環境影響（モニタリング状況、作業員3名の被曝の例）、国際社会への情報提供
5月23日	UNSCEAR第58回会合（ウィーン）	事故の概要、放射線の影響、モニタリング、国際社会との情報共有

在京外交団に対する説明会の開催状況

開催日時	参加在京 外交団・国 際機関数 (注)	出席者概 数	テーマ	ブリーチャー
1 3月13日	約50か国・ 機関	約80名	原発の状況	外務省、原子力安全・保安院
2 3月14日	約60か国・ 機関	約110名	原発の状況、避難関連	外務省、原子力安全・保安院
3 3月15日	60か国・2 機関	約120名	原発の状況、避難関連	外務省、文部科学省、原子力安全・保安院
4 3月16日	46か国・2 機関	約110名	原発の状況、環境モニタリング、放射線に関する説明	外務省、文部科学省、原子力安全・保安院、放射線医学総合研究所
5 3月17日	42か国・1 機関	約90名	原発の状況、環境モニタリング、放射線に関する説明	外務省、文部科学省、原子力安全・保安院
6 3月18日	不明	約80名	原発の状況、環境モニタリング、領事関連	外務省、文部科学省
7 3月19日	不明	約60名	原発の状況、食品の安全、環境モニタリング、国際民間航空機関(ICAO)プレスリリース	外務省、文部科学省、原子力安全・保安院
8 3月20日	不明	約60名	原子炉の状況、原発近くの放射線量、世界保健機関(WHO)プレスリリース、食品・水の安全、領事関連	外務省、文部科学省、厚生労働省、国立保健医療科学院
9 3月21日	51か国・1 機関	約70名	原発の状況、食品・水の安全、港湾及び航空の安全、環境モニタリング、領事関連	外務省、文部科学省、厚生労働省、原子力安全・保安院、国土交通省
10 3月22日	52か国・1 機関	約80名	原発の状況、国際海事機構(IMO)プレスリリース、食品の安全、環境モニタリング、放射線に関する説明、領事関連	警察庁、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省
11 3月23日	46か国・2 機関	約70名	原発の状況、食品・水の安全、運輸・流通関連情報、放射線に関する説明、領事関連	外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、原子力安全・保安院
12 3月24日	55か国・2 機関	約70名	原発の状況、港湾の安全、食品・水の安全、放射性物質拡散シミュレーション(SPEEDIによる)、環境モニタリング、領事関連	原子力安全委員会、警察庁、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省
13 3月25日	52か国・1 機関	約70名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、IMOプレスリリース	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省、海上保安庁
14 3月26日	約40か国・ 機関	約60名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、領事関連	外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
15 3月27日	37か国・2 機関	約50名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、領事関連	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
16 3月28日	59か国・4 機関	約80名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、原子力安全・保安院
17 3月29日	62か国・2 機関	約80名	原発の状況、食品の安全、港湾の安全、環境モニタリング、領事関連	原子力安全委員会、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、原子力安全・保安院、国土交通省
18 3月30日	56か国・3 機関	約80名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、航空現況	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省
19 3月31日	52か国・2 機関	約70名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、地震関連、領事関連	外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
20 4月1日	51か国・1 機関	約60名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、領事関連	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
21 4月2日	45か国	約50名	原発の状況(2号機ピットから海洋への高濃度放射性排水の流出を含む)、環境モニタリング、食品・水の安全	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
22 4月4日	51か国・1 機関	約60名	原発の状況(2号機ピットから海洋への高濃度放射性排水の流出、低濃度放射性滞留水の放出を含む)、IMO、ICAO及び国際航空運送協会(IATA)プレスリリース、環境モニタリング、原子力安全委員会定例会議、食品・水の安全、領事関連、	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省
23 4月5日	48か国・1 機関	約60名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、食品・水の安全、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、
24 4月6日	48か国	約50名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、食品・水の安全、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
25 4月7日	55か国	約60名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、食品の安全、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
26 4月8日	49か国・1 機関	約50名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、放射性物質拡散シミュレーション、港湾の安全、食品の安全、環境モニタリング、余震の影響	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省、気象庁

在京外交団に対する説明会の開催状況

開催日時	参加在京 外交団・国 際機関数 (注)	出席者概 数	テーマ	ブリーチャー
27 4月9日	31か国	約30名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、食品・水の安全、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
28 4月11日	43か国・1 機関	約50名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、食品・水の安全、環境モニタリング、避難関連、余震の状況	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、気象庁
29 4月12日	63か国・2 機関	約80名	原発の状況(国際原子力・放射線事象評価尺度(INES)の評価変更を含む)、食品・水の安全、放射性物質拡散シミュレーション(SPEEDIIによるものも含む)	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
30 4月13日	48か国・1 機関	約50名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、INES評価、地震関連	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
31 4月14日	48か国・1 機関	約50名	原発の状況、食品・水の安全、環境モニタリング、地震関連	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
32 4月15日	37か国・1 機関	約40名	原発の状況(低放射性滞留水の放出を含む)、食品・水の安全、ICAOプレスリリース、環境モニタリング、領事関連	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省
33 4月18日	51か国	約60名	原発の状況(ロードマップを含む)、環境モニタリング、食品の安全、IMOプレスリリース	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省、東京電力
34 4月19日	45か国・1 機関	約50名	原発の状況、食品の安全、原子力安全委員会定例会議、領事関連	原子力安全委員会、外務省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
35 4月20日	42か国	約50名	原発の状況、食品の安全、環境モニタリング、原子力安全委員会定例会議	原子力安全委員会、警察庁、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
36 4月21日	32か国	約30名	原発の状況、食品の安全、環境モニタリング、避難関連	原子力安全委員会、原子力被災者生活支援チーム、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
37 4月22日	23か国	約30名	原発の状況、食品の安全、港湾の安全、環境モニタリング、避難関連、被災者支援	原子力安全委員会、総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、国土交通省
38 4月25日	30か国	約30名	原発の状況(低濃度放射性滞留水の放出を含む)、食品の安全、家畜の状況、環境モニタリング、原子力安全委員会定例会議	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院
39 4月26日	28か国・1 機関	約30名	原発の状況、食品の安全、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
40 4月27日	28か国	約30名	原発の状況、食品の安全、環境モニタリング、港湾の安全	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、原子力安全・保安院、国土交通省
41 4月28日	23か国	約30名	原発の状況(作業員の被曝上限を含む)、食品の安全、環境モニタリング、原子力安全委員会臨時会議	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
42 5月2日	25か国	約30名	原発の状況、松本外務大臣寄稿の紹介、食品の安全、家畜の状況、放射線の健康への影響、環境モニタリング、原子力安全委員会定例会議	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、
43 5月6日	24か国	約20名	原発の状況(1号機原子炉建屋内の作業環境改善を含む)、食品の安全、放射線の健康への影響、環境モニタリング	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、水産庁、原子力安全・保安院、東京電力
44 5月9日	28か国	約30名	原発の状況(1号機原子炉建屋内の作業環境改善を含む)、食品の安全、環境モニタリング、原子力安全委員会定例会議、浜岡原発の停止要請	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、水産庁、原子力安全・保安院
45 5月10日	23か国	約20名	原発の状況、食品の安全、環境モニタリング、SPEEDIIによる放射性物質拡散シミュレーション、浜岡原発の停止要請	原子力安全委員会、外務省、文部科学省、厚生労働省、原子力安全・保安院
46 5月11日	22か国	約30名	原発の状況(3号機ピットから海洋への汚染水の流出を含む)、食品の安全、原子力安全委員会臨時会議、環境モニタリング、領事関連	原子力安全委員会、警察庁、外務省、文部科学省、厚生労働省、原子力安全・保安院

在京外交団に対する情報提供等の実績

3月11日	在京公館及び館員の被災状況の照会先の送付 宮城県ホームページ及び官邸ホームページの紹介
3月12日	在京公館及び館員の被災状況の照会先最新版の送付 国際赤十字委員会（ICRC）ホームページの紹介 福島第一原発から20km圏内及び福島第二原発から10km圏内からの避難勧告に関する情報提供
3月13日	官房長官会見記録抜粋（福島第一原発及び第二原発関連）の送付 在日外国人の安否確認のための情報提供依頼 輪番停電の可能性に関する情報提供
3月14日	在日外国人の安否確認のための情報提供依頼（締切通知） 輪番停電継続の可能性に関する情報提供 保安院ホームページ（原発関連技術データ）及び官邸ホームページの紹介
3月15日	屋内待避勧告（福島第一原発から20～30km圏内）に関する情報提供 避難勧告区域の地図の紹介 各種震災関連ホームページの紹介 気象庁ホームページの紹介
3月16日	文科省ホームページ（放射線調査結果等）の紹介
3月17日	外務省ホームページ（放射線量等）及び文科省ホームページ（放射線調査結果等）の紹介 在日外国人対応事務所連絡先の送付
3月18日	放射線医学総合研究所ホームページの紹介 在日外国人関連情報（法務省）の提供
3月19日	日本製品の輸出関連情報の提供
3月21日	飯館市の飲料水からの放射性ヨウ素の検出に関する情報提供
3月22日	福島第一原子力発電所排水口付近の海水における放射性物質の検出に関する情報提供
3月29日	福島第一原子力発電所土壌からのプルトニウムの検出に関する情報提供
4月4日	福島第一原子力発電所集中廃棄物処理建屋からの低濃度汚染水の海洋放出予定に関する情報提供
4月6日	福島第一原子力発電所2号機ピットからの漏水停止に関する情報提供 福島第一原子力発電所1号機格納容器への窒素注入に関する情報提供
4月8日	4月7日23時50分に発生した地震の福島第一原子力発電所における影響に関する情報提供
4月10日	福島第一原子力発電所集中廃棄物処理建屋からの低濃度汚染水の海洋放出の終了予定に関する情報提供 福島第一原子力発電所2号機立坑の高レベル汚染水の復水器への移送開始予定に関する情報提供
4月11日	福島第一原子力発電所集中廃棄物処理建屋からの低濃度汚染水の海洋放出の終了に関する情報提供 官房長官記者会見における計画的避難区域の設定方針の発表についての情報提供 4月11日17時に発生した地震の福島第一原子力発電所における影響に関する情報提供
4月12日	原子力安全・保安院報道発表資料「東北太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故・トラブルに対するINES（国際原子力・放射線事象評価尺度）の適用について」の概略及び公表予定の連絡
4月15日	原子力安全・保安院報道発表資料「排出基準を超える放射性物質濃度の排水の海

	洋放出について（報告）」の公表予定の連絡及び同資料の送付
4月17日	東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所・事故の収束に向けた道筋」の公表予定の連絡及び同資料の送付
4月19日	原子力安全・保安院報道発表資料「高い放射線レベルが検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送の開始について（お知らせ）」の公表予定の連絡及び同資料の送付
4月21日	原子力災害対策本部報道発表資料「警戒区域の設定について」及び東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所2号機汚染水の止水対策と海洋への流出量について」の送付
4月25日	原子力安全・保安院報道発表資料「東京電力株式会社福島第一原子力発電所2号機から流出した高濃度の放射性物質を含む汚染水について」の送付
5月1日	東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所1号機 原子炉建屋内の作業環境改善について」の送付
5月3日	東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所沖合における海底土の放射性物質の核種分析の結果について」の送付
5月5日	福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋への作業員の入域に関する情報提供及び東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所第1号機における燃料域上部まで原子炉格納容器を水で満たす措置の実施に係る報告書（概要）」の送付
5月6日	海江田経済産業大臣談話「緊急安全対策の実施状況の確認と浜岡原子力発電所について」の送付
5月8日	東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所1号機 原子炉建屋内の作業環境改善と二重扉の開放について」及び原子力安全・保安院報道発表資料「東京電力福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋内の放射性物質濃度の低減措置の実施に係る報告書の評価について」の送付
5月11日	東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所3号機取水口付近からの放射性物質を含む水の外部への流出の可能性について」の送付
5月15日	東京電力報道発表資料「当社福島第一原子力発電所1号機の炉心状態について」の送付 原子力安全・保安院報道発表資料「高い放射性レベルが検出された排水の集中廃棄物処理建屋への移送について（お知らせ）」の公表予定の連絡及び同資料の送付
5月17日	原子力災害対策本部報道発表資料「東京電力福島第一原子力発電所事故の収束・検証に関する当面の取組のロードマップ」、「原子力被災者への対応に関する当面の取組方針」及び「原子力被災者への対応に関する当面の取組のロードマップ」並びに東京電力報道発表資料「『福島第一原子力発電所・事故の収束に向けた道筋』の進捗について」及び「当面の取り組み（課題／目標／主な対策）のロードマップ5／17改訂版」の送付
5月21日	東京電力報道発表資料「福島第一原子力発電所第3号機取水口付近からの放射性物質を含む水の外部への流出への対応について」及び「排出基準を超える放射性物質濃度の排水の海洋放出に係る影響に関する報告書の経済産業省原子力安全・保安院への提出について」の送付
5月24日	東京電力報道発表資料「東京電力福島第一原子力発電所2号機・3号機の炉心状態について」並びに原子力安全・保安院報道発表資料「東京電力福島第一原子力発電所第3号機からの高濃度の放射性物質を含む汚染水の流出及び対応について」及び「排出基準を超える放射性物質濃度の排水の海洋への影響について」の送付

日付	場所	ブリーファー	会見内容(動画等)
4/1	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=320&storytopic=3&ml lang=en
4/2	FPC	副広報官、外務省、文科省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=322&storytopic=3&ml lang=en
4/3	官邸	副広報官、内閣府、外務省、文科省、厚労省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=325&storytopic=3&ml lang=en
4/4	官邸	副広報官、内閣府、外務省、文科省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=327&storytopic=3&ml lang=en
4/5	官邸	副広報官、内閣府、外務省、文科省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=329&storytopic=3&ml lang=en
4/6	官邸	副広報官、内閣府、海洋研究開発機構、外務省、農水省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=331&storytopic=3&ml lang=en
4/7	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、農水省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=333&storytopic=3&ml lang=en
4/8	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、農水省、保安院、 国交省	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=335&storytopic=3&ml lang=en
4/9	FPC	副広報官、外務省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=337&storytopic=3&ml lang=en
4/10	FPC	副広報官、外務省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=339&storytopic=3&ml lang=en
4/11	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、農水省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2082.html
4/12	官邸	官房長官、副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、農水 省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2085.html
4/13	官邸	内閣広報参事官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2088.html
4/14	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2092.html
4/15	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、農水省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2094.html
4/17	FPC	総理補佐官、副広報官、外務省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=343&storytopic=3&ml lang=en
4/18	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2097.html
4/19	FCCJ	副広報官、外務省、保安院、農水省	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=346&storytopic=3&ml lang=en

4/20	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院、厚労省	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2104.html
4/21	FPC	外務省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=347&storytopic=3&ml lang=en
4/22	官邸	内閣広報参事官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院、国交省	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2107.html
4/25	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2111.html
4/27	FCCJ	総理補佐官、副広報官、外務省、経産省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=349&storytopic=3&ml lang=en
4/28	FPC	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、保安院、農水省	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=352&storytopic=3&ml lang=en
5/2	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2126.html
5/6	FPC	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=355&storytopic=3&ml lang=en
5/9	FCCJ	総理補佐官、保安院	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=358&storytopic=3&ml lang=en
5/11	FPC	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院、農水省	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=360&storytopic=3&ml lang=en
5/13	官邸	副広報官、内閣府、外務省、海洋研究開発機構、厚労省、保安院、農水省	http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2142.html
5/17	FPC	総理補佐官、副広報官、内閣府、保安院、東京電力	http://fpci.jp/modules/news3/index.php?page=article&storyid=364&storytopic=3

外国プレスによる閣僚等に対するインタビュー

インタビュー実施日	インタビュー対象者	報道機関名
3/18 (書面)	松本外務大臣	新華社通信(中国)
3/20	枝野官房長官	CNN(米)
3/24	枝野官房長官	トムソン・ロイター(英)
3/29	福山官房副長官	RTL(独)
3/30	枝野官房長官	ウォール・ストリート・ジャーナル紙(米)
3/31	枝野官房長官	フィナンシャル・タイムズ紙(英)
4/10	枝野官房長官	エコノミスト誌(英)、ニューヨーク・タイムズ紙(米)、ブルームバーグ(米)、BBC(英)、CBS(米)
4/19	枝野官房長官	フェニックスTV(香港)
4/19	枝野官房長官	CCTV(中国)
4/19 (電話)	細野総理補佐官	FOCUS誌(独)
4/22	枝野官房長官	ウォール・ストリート・ジャーナル紙(米)
4/23	細野総理補佐官	ウォール・ストリート・ジャーナル紙(米)
4/23	細野総理補佐官	フィナンシャル・タイムズ紙(英)
4/26	細野総理補佐官	ウクライナTV(ウクライナ)
4/29	松本外務大臣	ワシントン・ポスト紙(米)
5/1	松本外務大臣 (於:ダカール)	RTS(セネガル国営放送局)(セネガル)
5/9 (書面)	松本外務大臣	環球時報(中国)
5/16	辻元総理補佐官	王建鋼氏(中国) ※新華社等様々な中国メディアで報じられる予定
5/16	辻元総理補佐官	Monocle 誌(英)
5/19	松本外務大臣	香港フェニックスTV(中国)
5/24	菅総理大臣	フィナンシャル・タイムズ紙(英)

Japan's road to recovery and rebirth

BY NAOTO KAN

On March 11, Japan was hit by one of the most powerful earthquakes in recorded history. We are making all-out efforts to restore livelihoods and recover from the series of tragedies that followed the Great East Japan Earthquake. The disaster left more than 28,000 people, including foreign citizens, dead or missing.

Since March 11, Japan has been strongly supported by our friends around the world. On behalf of the Japanese people, I would like to express my sincerest gratitude for the outpouring of support and solidarity we have received from more than 130 countries, nearly 40 international organizations, numerous nongovernmental organizations and countless individuals from all parts of the world. The Japanese people deeply appreciate the *kizuna* ("bonds of friendship") shown to us. Through this hardship, we have come to truly understand that a friend in need is a friend indeed.

Immediately after the earthquake, the United States, our most important friend and ally, provided swift cooperation. President Obama kindly called me to convey his strong commitment that the United States stood ready to provide all-out support to the Japanese people during this time of great difficulty. He reaffirmed that the relationship between our nations is unshakable. So many Japanese citizens, including myself, were enormously encouraged by these remarks. From an early stage in the response efforts, U.S. forces have diligently performed relief activities on multiple fronts as part of Operation Tomodachi (Japanese for "friendship"). The attitude that Americans have demonstrated during this operation has deeply touched the hearts and minds of the Japanese. Support has come from not only the government but also NGOs and countless individuals, in various forms of humanitarian assistance, search-and-rescue missions, charity events and fundraising. We have also received full U.S. support in responding to the accidents at the Fukushima Daiichi nuclear power plant, from providing equipment and other material assistance such as fire trucks and special protective suits, to dispatching nuclear experts and radiation-control teams.

I take very seriously, and deeply regret, the nuclear accidents we have had at the Fukushima Daiichi plant. Bringing the situation under control at the earliest possible date is my top priority. Leading a unified effort by the government, I have mobilized all available resources to combat the risks posed by the plant, based on three principles: First, give the highest priority to the safety and health of all citizens, in particular those residents living close to the plant; second, conduct thorough risk management; and, third, plan for all possible scenarios so that we are fully prepared to respond to any future situations. For example, we continue to make the utmost efforts to address the issue of outflow of radioactive water from the plant into the

ocean. In addition, the government has taken every possible measure to ensure the safety of all food and other products, based on strict scientific criteria. We have taken great precautions to ensure the safety of all Japanese food and products that have reached and will continue to reach markets. To ensure domestic and foreign consumer confidence in the safety of Japanese food and products, my administration will redouble its efforts to maintain transparency and keep everyone informed of our progress in the complex and evolving circumstances at the Fukushima Daiichi plant.

I pledge that the Japanese government will promptly and thoroughly verify the cause of this incident as well as share information and the lessons learned with the rest of the world to help prevent such accidents in the future. Through such a process, we will proactively contribute to global debate to enhance the safety of nuclear power generation. Meanwhile, regarding a comprehensive energy policy, we must squarely tackle a two-pronged challenge: responding to rising global energy demand and striving to reduce greenhouse gas emissions to combat global warming. Going forward, I would like to present a clear vision to the world — which includes the aggressive promotion of clean energy — that may contribute to solving global energy issues.

The Great East Japan Earthquake and the resulting tsunami are the worst natural disasters that Japan has faced since the end of the Second World War. Reconstruction of the devastated Tohoku region will not be easy. I believe, however, that this difficult period will provide us with a precious window of opportunity to secure the "Rebirth of Japan." The government will dedicate itself to demonstrating to the world its ability to establish the most sophisticated reconstruction plans for East Japan, based on three principles: first, create a regional society that is highly resistant to natural disasters; second, establish a social system that allows people to live in harmony with the global environment; and third, build a compassionate society that cares about people, in particular, the vulnerable.

The Japanese people rose from the ashes of the Second World War using our fundamental strength to secure a remarkable recovery and the country's present prosperity. I have not a single doubt that Japan will overcome this crisis, recover from the aftermath of the disaster, emerge stronger than ever, and establish a more vibrant and better Japan for future generations.

I believe that the best way for Japan to reciprocate the strong *kizuna* and cordial friendship extended to us is to continue our contribution to the development of the international community. To that end, I will work to the best of my ability to realize a forward-looking reconstruction that gives people bright hopes for the future. I would wholeheartedly appreciate your continued support and cooperation. Arigatou.

The writer is prime minister of Japan.

4月30日(土)・5月1日(日)付 International Herald Tribune 紙 日本語

Japan is open for business

Takeaki Matsumoto

We promise you that Japan will reshape itself into a more dynamic country.

TOKYO After the earthquake and tsunami disaster, many foreign dignitaries, including French President Nicolas Sarkozy and U.S. Secretary of State Hillary Clinton, have expressed their solidarity with Japan. "The Japanese are indomitable and courageous," Australian Prime Minister Julia Gillard said when she visited an evacuation shelter in the afflicted region.

The Great East Japan Earthquake and Tsunami are the worst natural disasters Japan has encountered since the end of the Second World War. However, Japan will not simply rebuild what used to be, but aim for an innovative reconstruction that focuses on the future by fully mobilizing its signature strengths: a society with high levels of technology, safety and security.

We promise all of you that Japan will reshape itself into a more dynamic country, harnessing the support and solidarity offered to us from all over the world. Japan is and will remain open for business and travel. International organizations such as the International Civil Aviation Organization, the International Maritime Organization and the

World Health Organization have been making objective assessments, and state that excessive travel restriction measures are unnecessary. I would call on all readers to trust such information, rather than being misguided by sensational media reports, and come to Japan with peace of mind for sightseeing, study, business or any other purposes.

Regarding the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station, a Roadmap was released by the Tokyo Electric Power Company (TEPCO). We expect to move from the "emergency response phase" to the "planned and stabilizing action phase."

The government will regularly follow up, monitoring the progress of the work and making necessary safety checks in order to ensure the implementation of the roadmap in a steady and safe manner.

The government has been constantly monitoring air, water and food. Most of the radioactive materials were released in the first several days of the accident, and radiation levels in the air have been gradually declining since.

In Tokyo, for instance, the level of radiation has never reached a point at which it would affect human health. It is declining steadily, and has reached the level at which it was measured before the accident.

As for food products, measures have been taken to prevent domestic distribution of those products that have a higher radiation level than the standard set in accordance with the recommendations of the International Commission on Radiological Protection. Naturally, such products will not be exported. Radiation levels that exceed the authorized threshold have thus far been found only in limited kinds of agricultural and fishery products in limited areas. When necessary, certification is issued to declare that a product does not originate in the affected region.

Industrial products are manufactured in factories outside of the no-entry zone, and remain under strict quality control. It is therefore unlikely that those products will be affected by radioactive materials, and their safety is ensured. Data on the radiation levels in ports and airports are published regularly. In addition, a guideline on radiation measurements for export containers and ships was published by the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Attestation of measurement results started at the Yokohama port on April 28.

If you imagine that the whole of Japan is covered by debris, that is completely wrong. Most of Japan remains unharmed by the disaster, and the streets have leapt back to life. The major highway that runs through the most affected Tohoku region was reopened only two weeks after the earthquake. The Shinkansen, the bullet train that connects Tokyo and Tohoku region, became fully operational again on April 29. Many affected companies and factories are recovering at surprising speed, helped by innovative approaches to tackling the crisis. Domestic and international supply chains are being reconnected. Japan's strength for manufacturing remains on full display.

Allow me to quote Dr. Donald Keene, professor emeritus at Columbia University, expressing his will to obtain Japanese nationality after the disaster: "Japan was hit hard for the moment, but it will surely resurrect to become an even more splendid country."

If you are thinking of supporting us in our path towards recovery, the most effective way would be to visit Japan and buy our excellent products, just as before. I call on all of you to be more engaged in the exchange with Japan.

TAKEAKI MATSUMOTO is Japan's minister for foreign affairs.

Japan's road to recovery and rebirth

A pledge from the Japanese prime minister to bolster nuclear safety and international trust.

Naoto Kan

On March 11, Japan was hit by one of the most powerful earthquakes in recorded history. We are making all-out efforts to restore livelihoods and recover from the series of tragedies that followed the Great East Japan Earthquake. The disaster left more than 28,000 people, including foreign citizens, dead or missing. Since March 11, Japan has been strongly supported by our friends around the world. On behalf of the Japanese people, I would like to express my sincerest gratitude for the outpouring of support and solidarity we have received from more than 130 countries, nearly 40 international organizations, numerous nongovernmental organizations, and countless individuals from all parts of the world. The Japanese people deeply appreciate the *kizuna* ("bonds of friendship") that have been shown to us. Through this hardship, we have come to truly understand that a friend in need is a friend indeed.

I take very seriously, and deeply regret, the nuclear accidents we have had at the Fukushima Daiichi plant. Bringing the situation at the plant under control at the earliest possible date is my

top priority. Leading a unified effort by the government, I have mobilized all available resources to combat the risks posed by the plant, based on three principles: first, give the highest priority to the safety and health of all citizens, in particular those residents living close to the plant; second, conduct thorough risk management; and, third, plan for all possible scenarios so that we are fully prepared to respond to any future situations. For example, we continue to make the utmost efforts to address the issue of outflow of radioactive water from the plant into the ocean. In addition, the government has taken every possible measure to ensure the safety of all food and other products, based on strict scientific criteria. We have taken great precautions to ensure the safety of all Japanese food and products that reach the market and will continue to do so. To assure domestic and foreign consumer confidence in the safety of Japanese food and products, my administration will redouble its efforts to maintain transparency and keep everyone informed of our progress in the complex and evolving circumstances at the Fukushima Daiichi plant.

I pledge that the Japanese government will promptly and thoroughly verify the cause of this incident, as well as share information and the lessons

learned with the rest of the world to help prevent such accidents in the future. Through such a process, we will proactively contribute to the global debate to enhance the safety of nuclear power generation. Meanwhile, regarding a comprehensive energy policy, we must squarely tackle a two-pronged challenge: responding to rising global energy demand and striving to reduce greenhouse gas emissions to combat global warming. Going forward, I would like to present a clear vision to the world — that includes the aggressive promotion of clean energy — that may contribute to solving global energy issues.

The Great East Japan Earthquake and the resulting tsunami are the worst natural disasters that Japan has faced since the end of World War II. Reconstruction of the devastated Tohoku region will not be easy. I believe, however, that this difficult period will provide us with a precious window of opportunity to secure the "Rebirth of Japan."

The government will dedicate itself

to demonstrating to the world its ability to establish the most sophisticated reconstruction plans for East Japan, based on three principles: first, create a regional society that is highly resistant to natural disasters; second, establish a social system that allows people to live in harmony with the global environment; and third, build a compassionate society that cares about people, in particular, the vulnerable.

The Japanese people rose from the ashes of the Second World War using our fundamental strength to secure a remarkable recovery and the country's present prosperity. I have not a single doubt that Japan will overcome this crisis, recover from the aftermath of the disaster, emerge stronger than ever, and establish a more vibrant and better Japan for future generations.

I believe that the best way for Japan to reciprocate the strong *kizuna* and cordial friendship extended to us is to continue our contribution to the development of the international community. To that end, I will work to the best of my ability to realize a forward-looking reconstruction that gives people bright hopes for the future. I would wholeheartedly appreciate your continued support and cooperation.

NAOTO KAN is prime minister of Japan.

福島第一原発事故等に関する日本政府機関HPにおける外国語での情報提供

1 英語

主な内容	掲載場所	初回掲載日	最終更新日	更新回数
総理・官房長官会見、メッセージ等	首相官邸ホームページ	3月11日	5月29日	286回
原子力発電所への被害状況や原子力安全・保安院の対応等	原子力安全・保安院ホームページ	3月12日	5月31日	530回
渡航関連情報、国際機関が発出した情報等	外務省ホームページ	3月13日	5月31日	34回
原子力発電所周辺の気象資料等	気象庁ホームページ	3月13日	5月31日	250回
被災後の原子力施設の状況のサマリー	経済産業省ホームページ	3月15日	5月28日	46回
環境モニタリング結果(空間線量率、積算線量、海域、航空)等	文部科学省ホームページ	3月16日	5月31日	1153回
食品・飲料水の放射線検査、出荷制限／摂取制限等	厚生労働省ホームページ	3月23日	5月31日	208回
放射線拡散予測、環境モニタリング結果評価等	原子力安全委員会ホームページ	3月23日	5月31日	154回
農林水産物に関するQ&A等	農林水産省ホームページ	3月25日	5月31日	122回

2 中国語

主な内容	掲載場所	初回掲載日	最終更新日	更新回数
渡航関連情報、国際機関が発出した情報等	外務省ホームページ	3月15日	5月31日	33回
環境モニタリング結果(空間線量率、積算線量、海域、航空)等	文部科学省ホームページ	3月16日	5月31日	1067回

3 韓国語

主な内容	掲載場所	初回掲載日	最終更新日	更新回数
渡航関連情報、国際機関が発出した情報等	外務省ホームページ	3月15日	5月31日	30回
環境モニタリング結果(空間線量率、積算線量、海域、航空)等	文部科学省ホームページ	3月16日	5月31日	1057回

4 その他の言語(ポルトガル語、スペイン語及びロシア語)

主な内容	掲載場所	初回掲載日	最終更新日	更新回数
渡航関連情報	外務省ホームページ	3月30日	5月31日	4回

在外公館ウェブサイトにおける事故関連情報の提供

・ 掲載公館数 : 99公館

※アジア・大洋州地域（19）、北・中南米地域（18）、欧州地域（33）、
中東・アフリカ地域（25）、国際機関代表部（4）

・ 掲載言語 : 29言語

※日本語、英語、スペイン語、仏語、中国語、ロシア語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、インドネシア語、トルコ語、ポーランド語、チェコ語、アゼルバイジャン語、スロバキア語、ルーマニア語、エストニア語、タイ語、アラビア語、グルジア語、ハンガリー語、クロアチア語、ノルウェー語、リトアニア語、ボスニア語、ラトビア語、ブルガリア語、ベトナム語

- ・ 掲載日 : 大多数の公館においては、地震直後（3月11日）から3月中旬頃までに関連情報のウェブサイトへの掲載を開始している。各公館とも適宜情報の更新を行っている他、関連省庁等（総理官邸、外務省、経産省、文科省、国交省、厚労省等）のウェブサイトへのリンクを設置することにより、最新情報の提供に努めている。

INESに基づく暫定評価の考え方

国際原子力機関（IAEA）及び経済協力開発機構の原子力機関（NEA）が、原子力施設等の個々の事故・トラブルについて、それが安全上どのような意味を持つものかを簡明に表現できるような指標として策定し、1992年3月に加盟各国に提言した INES（国際原子力・放射線事象評価尺度）については、我が国においても、1992年8月1日から運用を開始している。その運用において、我が国では、トラブル発生後、原子力安全・保安院（以下、保安院）が暫定評価を行い、原因究明が行われ再発防止対策が確定した後、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会に設置された INES 評価小委員会が専門的、技術的な立場から検討し、正式評価を行うこととしている。

今回の東京電力福島第一原子力発電所の事故では、事故の状況を判断できるようになってきた時点において、第1報から第4報まで暫定評価を更新しており、それぞれの詳細な暫定評価の考え方について、以下に示す。

（1）第1報

東北太平洋沖地震による福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の事故・トラブルに対する INES の適用については、3月11日15時42分に福島第一原子力発電所1～4号機において全交流電源喪失により電動駆動ポンプが使用不能となり、さらに福島第一原子力発電所1、2号機において原子炉水位の監視ができず注水状況が不明なため、注水されていない可能性を踏まえて、16時36分には非常用炉心冷却装置注水不能と判断したことから、保安院は、速報として、レベル3の暫定評価を行い、IAEAのホームページ Nuclear Events Web-based System (NEWS)に投稿し公表した。なお、投稿では福島第一原子力発電所1、2号機に加えて福島第二原子力発電所1号機についてもレベル3としているが、その後の整理では、電動駆動ポンプが使用不能となった時点で福島第一原子力発電所3、4号機についてもレベル3であり、福島第二原子力発電所1号機に加えて福島第二原子力発電所2、4号機についても、津波による溢水で残留熱除去海水系のポンプが動作不能となり、崩壊熱を海へ輸送できなくなっていたことから、レベル3となるものであった。

（2）第2報

3月12日、さらに事故は進展し、福島第一原子力発電所1号機において格納容器ベントや原子炉建屋の爆発があり、環境への放射性物質の放出に至ったが、その際に放出した放射性物質の中にヨウ素、セシウム等が確認されたことから、炉心インベントリーの約0.1%を超える放射性物質の燃料集合体からの放出をもたらす事故が発生しているものと判断し、速報と

して、レベル4の暫定評価を行い、NEWSに投稿し公表した。なお、原子炉施設の電源が喪失していて排気筒モニタ等での放出放射エネルギーに関する測定値が得られなかった他、発電所周辺は西風で海に向かって流れていたため、周辺のモニタリングの測定値の上昇が比較的小さかったこともあり、放出放射エネルギーは現在想定している程の放出があったものとは認識できておらず、事故の終息に至っていないため、INESユーザーズマニュアル2008年版の基準のうち「人と環境」にかかる評価は今後実施するものとした。同様に、燃料の損傷が数%相当を超えないと判断したものでもなく、レベル4以上、との認識であった。

(3) 第3報

その後、福島第一原子力発電所2、3号機についても燃料の損傷が起き、各号機の格納容器内雰囲気モニタ(CAMS)の測定値及びその値に基づく燃料損傷割合推定値が東京電力から報告^{※1}された。当該推定値は、原子炉冷却材喪失事故を想定したスクラム後の経過時間とCAMS指示値との関係図を基に出されたものであり、今回の事故とは必ずしも想定が整合しているものではないため、あくまで推定であって数値には不確かさが残るものの、その後のプラントデータの推移も確認し、燃料の損傷が数%相当を超えることは間違いないものとして、保安院は、3月18日に福島第一原子力発電所1～3号機についてレベル5の暫定評価を行い、報道発表するとともに、NEWSに号機毎に投稿し公表した。その際には、福島第一原子力発電所4号機、福島第二原子力発電所1、2、4号機についてのレベル3の暫定評価もあわせて報道発表するとともに、NEWSに号機毎に投稿し公表した。なお、保安院は、このときも、放射性物質の環境への放出は継続しており、事故の終息に至っていないため、放出放射エネルギーの推定による「人と環境」にかかる評価は今後実施するものとした。

※1 東京電力は、3月15日時点で、燃料損傷割合の推定値について、1号機約70%、2号機約33%、3号機約30%とされており、4月27日にそれぞれ約55%、約35%、約30%と訂正されている。

(4) 第4報

以上の経緯から、福島第一原子力発電所の事故・トラブルに対するINES評価は大気中への放出放射エネルギーの推定が課題となっていたため、保安院は、推定作業を進め、4月12日に推定値をとりまとめてレベル7の暫定評価を行い、報道発表するとともに、NEWSにサイト全体として投稿し公表した。評価においては、保安院では、原子力安全基盤機構(JNES)の原子炉の状態等の解析結果から試算を行い、福島第一原子力発電所の原子炉から大気中への放射性物質の総放出量をまとめており、表に示すとおり、INES評価

のレベル7に相当する値となっている。

また、原子力安全委員会においても大気中への放射性物質の総放出量の推定的試算のその時点での結果がとりまとめられ、ヨウ素 131 とセシウム 137 について、モニタリングの測定結果から逆算により福島第一原子力発電所全体の放出量として求められており、同じくレベル7に相当する値となっている。

	福島第一での想定放出量		(参考)
	保安院概算	安全委員会発表値	チェルノブイリでの放出量
ヨウ素 131 …(a)	13 万テラベクレル (1.3×10^{17} Bq)	15 万テラベクレル (1.5×10^{17} Bq)	180 万テラベクレル (1.8×10^{18} Bq)
セシウム 137	6 千テラベクレル (6.1×10^{15} Bq)	1 万 2 千テラベクレル (1.2×10^{16} Bq)	8 万 5 千テラベクレル (8.5×10^{16} Bq)
(ヨウ素換算値) …(b)	24 万テラベクレル (2.4×10^{17} Bq)	48 万テラベクレル (4.8×10^{17} Bq)	340 万テラベクレル (3.4×10^{18} Bq)
(a) + (b)	37 万テラベクレル (3.7×10^{17} Bq)	63 万テラベクレル (6.3×10^{17} Bq)	520 万テラベクレル (5.2×10^{18} Bq)

(注) 保安院概算と原子力安全委員会発表値におけるヨウ素換算値は、INES ユーザーズマニュアルに基づく換算を当院が行った。本表に記載の値は、本報告書の「VI. 福島原子力発電所等の事故の発生・進展」の「5. 福島原子力発電所等の各号機等の状況」に記載した事象進展解析のその時点での試解析の結果に基づくものであり、その後の解析条件の検討を踏まえて本報告書ではまとめているため、総放出量の推定値が異なっている。

INES 評価のレベル7に相当する値は、放射線影響としてヨウ素 131 と等価となるように換算した値として数万テラベクレル (10^{16} ベクレルのオーダー) を超える値。

また、この暫定評価にあたっては、以下の点に留意して対応した。

① レベル7公表の際の説明

レベル7の暫定評価を公表する際には、レベル7はINESの評価の中で最も重い評価だが、過去同じ評価となったチェルノブイリ発電所事故における環境への放射性物質放出量と比べると、現時点では約1割前後と見込まれていることその他、以下の点について説明を行っている。

・チェルノブイリでは急性の大量被ばくによる死者が28人出た。東京

電力福島第一発電所事故（以下、東電福島）では、そのような事態は発生していない。100mSv を超える被ばくをした者は 21 人いるものの、線量を管理しつつ作業を行っている。

- ・チェルノブイリでは原子炉が爆発した後、大規模な火元が発生し、多量の放射性物質が広範囲に拡散された。東電福島では水素爆発はあったものの、大規模かつ継続的な火元はない。
- ・チェルノブイリでは放射性物質による汚染のため、事故後作業に立ち入ることが困難で、放置せざるを得なかった。東電福島では、事故を収束するための作業を行える状況は確保されている。

また、本評価で用いた放出放射エネルギーの推定値はその時点での試算であり、放射性物質の環境への放出は継続しており、その後も継続して情報を収集し、評価していくこととしている。その評価内容については、本報告書の VI. 福島原子力発電所等の事故の発生・進展」の「5. 福島原子力発電所等の各号機等の状況」及び「VI. 放射性物質の環境への放出」の「1. 放射性物質の空気中への放出」に記載したとおりである。

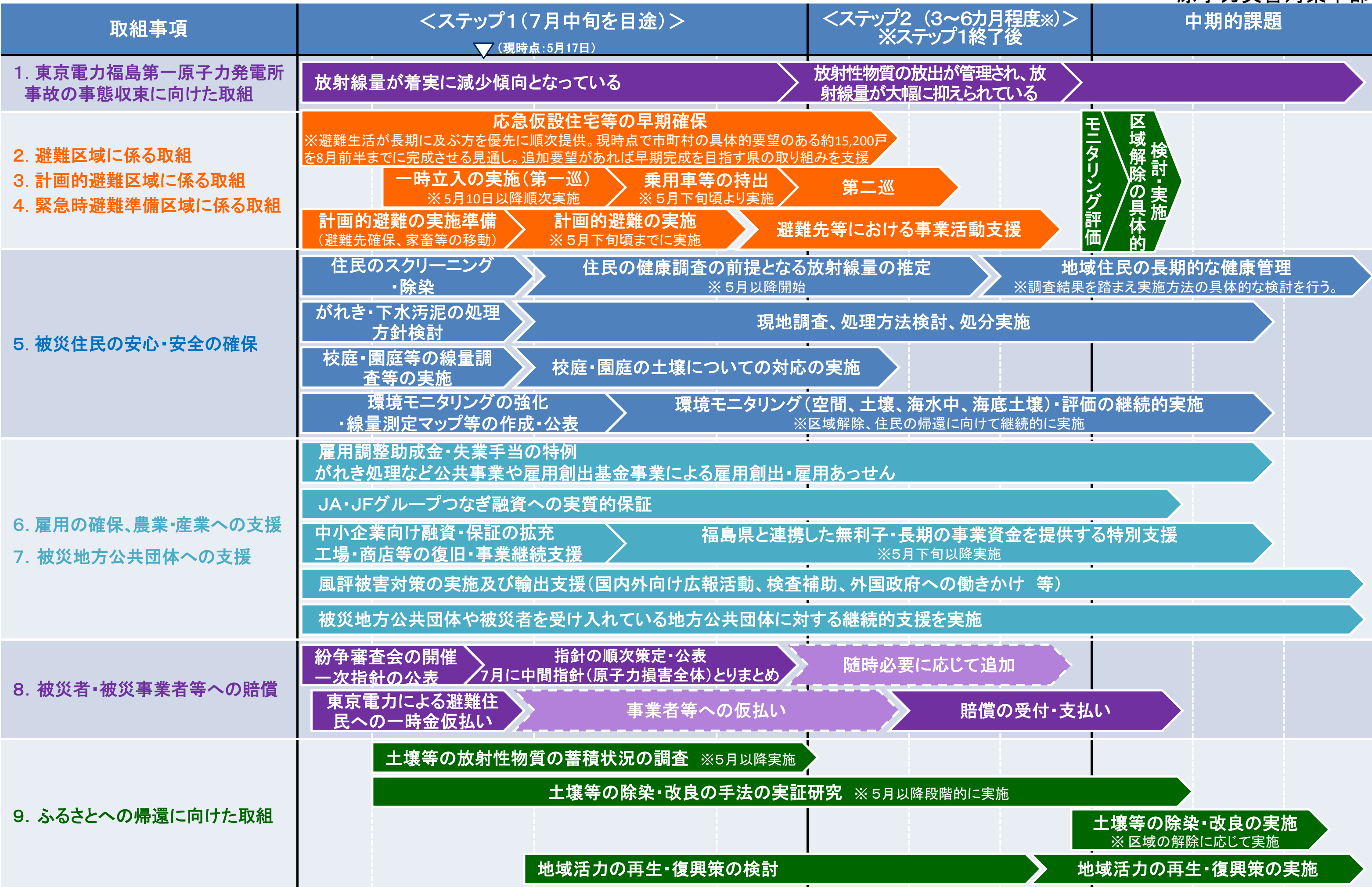
② 評価・広報の時期

レベル7の暫定評価については、保安院が、評価・公表が遅いなどの指摘を受けている。実態としては、科学的データに基づく公平な評価を行うため、プラントのデータ入手に努め、蓄積したデータに基づき「VI. 福島原子力発電所等の事故の発生・進展」の「5. 福島原子力発電所等の各号機等の状況」に記載した検討や、「VI. 放射性物質の環境への放出」の「1. 放射性物質の空気中への放出」に記載した検討を行う時間が必要であったところであり、保安院は、4月12日の時点で、試算段階ではあるものの、レベル7に相当する値であることを判断したものである。

今回の暫定評価にあたって、保安院は、広報としての必要性を考えた場合、不確かな状態での取扱いをどうすべきだったのか、INES 評価にかかわらず、大規模な事故における運用の難しさを目の当たりにした。特に INES は数値としてわかりやすい反面、評価にあたってはマニュアルに基づき詳細に検討する必要がある、海洋への放射性物質放出についての人と環境への影響の考慮など、一般の受け止めるイメージとの間でのギャップがあるために誤解が生じる可能性があり、そのギャップの払拭を平時より進める必要があるものと考えられる。

原子力被災者への対応に関する当面の取組のロードマップ

平成23年5月17日
原子力災害対策本部



原子力被災者への対応に関する 当面の取組方針

平成 23 年 5 月 17 日
原子力災害対策本部

原子力被災者への対応に関する当面の取組方針について

平成 23 年 5 月 17 日
原子力災害対策本部

未曾有の被害を生んだ東日本大震災に続き、東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生した、あの「3 月 11 日」から、2 ヶ月が経過しました。

この 2 ヶ月が、原子力事故による被災者の皆さんにとって、いかに長く、苦しく、困難な日々であったか。避難区域の設定により、震災への対応もままならぬまま、着の身着のままで避難せざるをえなかった皆さんの不安、また、屋内退避区域の設定により、不便な生活を強いられたり、自主避難することとなった皆さんの思いには、言葉では言い尽くせないものがあると思います。

避難所の変更による相次ぐ移動や、生活面の不自由やプライバシー確保も不十分な避難所での長期の生活、何ら根拠のない誹謗中傷、仕事や教育などの環境の激変などにより、原子力事故による被災者の皆さんが受けた肉体的・精神的なストレスはいかばかりかと存じます。

さらに、被災した農林水産業や中小企業の皆さんも、いわれのない風評被害を受けたり、避難により事業継続が困難となるなど、甚大な損害が生じています。

今、この瞬間も、多くの方が避難所生活を余儀なくされています。また、放射線量が高い地域の皆さんには、今後の計画的な避難に向けた準備を進めていただいております。さらに、その他の地域でも緊急時における避難準備を整えていただくなど、今回の事故によって多くの皆さんの生活に大きな御不便をおかけしています。

東京電力福島第一原子力発電所の状況は、依然予断を許しません。現場では、一日も早い収束に向けて、必死の作業が続けられております。そうした作業に従事しておられる方々の多くが、自らも原子力事故による被災者であることには、本当に胸がしめつけられる思いです。

今何よりも求められていることは、4 月 17 日に東京電力が示した「事故の収束に向けた道筋」を着実に実現させることです。そうすれば、6 ヶ月から 9 ヶ月後には、原子炉は冷温停止状態となり、放射性物質の放出が管理され、放射線量が大幅に抑えられることとなります。

その実現に向けて、国も、東京電力任せではなく、できる限りの対応をしてまいります。

これまでは、避難区域の設定など原子力事故による被災者の皆さんの安全確保を第一に取り組んでまいりましたが、これに加えて、これからは二次避難先の確保など生活面での対応についても、国は、福島県や関係市町村の他、福島県外で被災者を受け入れてくださっている自治体の皆さんの協力を得て、力の限り取り組んでまいります。

先般、平成 23 年度補正予算が成立したところであり、仮設住宅の建設や雇用の創出などの対応を一層強化してまいります。さらに、住民の方々の御希望の強かった警戒区域への一時立入も開始しました。

こうした対応を含め、今回、国として、原子力発電所の事故による被災者の方々と及び被災自治体への対応にかかる当面の課題とその取組方針をとりまとめました。

これは、原子力事故による被災者の皆さん、被災自治体や関係自治体の皆さん、さらに国民の皆さんに、政府一丸となった当面の取組の全体像と今後の見込みを、御理解いただくためのものです。まずは、ここにとりまとめた施策を着実に進めてまいります。

しかし、これは、あくまで「当面の」取組に過ぎません。今後、原子力事故による被災者の皆さんが直面するであろう「すべての」課題に対しても、国として正面から取り組んでいくことは言うまでもありません。

東京電力福島第一原子力発電所の 1 号機が営業運転を開始してから、今年ちょうど 40 年目にあたります。

長きにわたり国の原子力政策、電源政策の一番の理解者であり、安全であると信じ、原子力発電所とともに共存してきた皆さんの、今回の事故によって裏切られたとの強い思いに、国は真正面から向き合わねばなりません。

原子力政策は、資源の乏しい我が国が国策として進めてきたものであり、今回の原子力事故による被災者の皆さんは、いわば国策による被害者です。復興までの道のりが仮に長いものであったとしても、最後の最後まで、国が前面に立ち責任を持って対応してまいります。

必ずや、被災者の皆さんが、再びふるさとの地に立ち、住み慣れた我が家に戻り、そして、豊かな自然と笑顔があふれるコミュニティを取り戻す日がやってくると確信しています。そして、その日が実現するまで、国として力を尽くす覚悟です。

目 次

1. 東京電力福島第一原子力発電所の事態収束に向けた取組	10
(1) 事態収束に向けた取組.....	10
① 国による支援・安全性の確認.....	10
② 国際協力.....	13
③ 事故原因等の調査・検証.....	14
(2) 安全対策の実施.....	14
2. 避難区域に係る取組	16
(1) 避難区域の設定.....	17
(2) 一次避難の状況.....	18
(3) 二次避難先の確保.....	19
① 応急仮設住宅の確保.....	19
② 国家公務員宿舎・公営住宅等の活用.....	19
③ 民間賃貸住宅借上げの活用.....	19
(4) 要介護者や障害者等への対応.....	20
① 要介護者や障害者等の福島県外への搬送.....	20
② 福祉仮設住宅の設置支援.....	20
(5) 警戒区域の設定及び一時立入の実施.....	21
① 警戒区域の設定.....	21
② 一時立入の実施.....	21
(6) 区域内の農産物や家畜等の取扱い.....	22
① 農林水産事業者の損害に対する賠償について.....	22
② 区域内の農産物や家畜等について.....	22
(7) 中小企業者の損害に対する賠償について.....	23
(8) 避難区域解除までの支援.....	23
① 区域解除までの支援体制及び情報提供.....	23
② 区域における治安維持.....	23

3. 計画的避難区域に係る取組	24
(1) 計画的避難区域の設定	25
(2) 避難先の確保	25
① 応急仮設住宅の確保	25
② 国家公務員宿舎・公営住宅等の確保	25
③ 短期の避難先の確保	26
(3) 要介護者や障害者等への対応	26
① 要介護者や障害者等の域外避難	26
② 計画的避難区域内における事業継続の例外（介護施設）	26
③ 福祉仮設住宅の設置支援（再掲）	26
(4) 円滑な計画的避難の実施	27
① 住民の円滑な移転支援	27
② 計画的避難区域内における事業継続の例外	27
③ 計画的避難を終えるまでの住民の放射線管理	27
(5) 区域内の農産物や家畜等の取扱い	27
① 農林水産事業者の損害に対する賠償について（再掲）	27
② 区域内の農産物や家畜等について	28
(6) 中小企業者の損害に対する賠償について（再掲）	28
(7) 計画的避難区域解除までの支援	29
① 区域解除までの支援体制及び情報提供	29
② 区域における治安維持	29
4. 緊急時避難準備区域に係る取組	30
(1) 緊急時避難準備区域の設定	31
(2) 生活インフラ等の確保・産業活動支援	31
(3) 区域内の農産物や家畜等の取扱い	32
① 農林水産事業者の損害に対する賠償について（再掲）	32
② 区域内の農産物や家畜等について	32
(4) 中小企業者の損害に対する賠償について（再掲）	33
(5) 緊急時避難準備区域解除までの支援	33
① 区域解除までの支援体制及び情報提供	33
② 区域における治安維持	33

5. 被災住民の安心・安全の確保	34
(1) 地域コミュニティの維持	35
(2) 医療・介護等の確保と健康不安等への対応	36
① 各区域における医療・介護等の確保	36
② 住民のスクリーニング及び除染	37
③ 住民の健康管理及び心のケア	37
④ 住民の長期的な健康管理（放射線量の評価）	37
(3) 教育への支援	38
① 避難先での子どもの就学機会の確保等	38
② 学校等の校舎・校庭等の利用について	38
(4) 環境モニタリング等の充実（環境モニタリング強化計画）	39
① 継続的な環境モニタリングの実施	39
② 線量測定マップ等の作成	40
③ 農地における環境モニタリングの実施	40
④ 海域における環境モニタリングの実施	40
⑤ 食品、水道水中の放射性物質モニタリングの実施	40
⑥ 教育施設等における環境モニタリングの実施	41
⑦ 福島県内における環境試料分析能力の向上	41
(5) がれきや下水汚泥等の取扱い	41
① がれき等の取扱い	41
② 下水汚泥の取扱い	42
(6) 原子力災害・被災者向け広報の充実	42
(7) その他の対策	43
6. 雇用の確保、農業・産業への支援	44
(1) 雇用の確保	46
① 復旧事業等による確実な雇用創出	46
② 雇用の維持・生活の安定	46
③ 新たな就職に向けた支援	47
(2) 農畜産業・水産業等	48
① 出荷制限等の指示による影響と今後の対応	48
② 風評被害対策及び農林水産物・食品の輸出支援	48
③ 農林水産物や土壌等への放射性物質による影響と今後の対応	49
④ 事業活動支援	50
(3) 中小企業対策	51
(4) 製造業・小売業等	52
① 風評被害対策及び工業品等の輸出支援	52
② 事業活動支援	53

(5) 交通・運輸業	54
(6) 観光業	55
(7) その他の対策	55
① 地域金融への支援	55
② 被災者、被災企業に対する金融面の支援	55
③ 消費者に対する適切な情報提供	56
7. 被災地方公共団体への支援	57
(1) 被災地方公共団体の機能回復に向けた取組	57
(2) 役場機能を移転した市町村や避難者の受入れ地方公共団体への支援	58
8. 被災者・被災事業者等への賠償	59
(1) 原子力損害賠償紛争審査会の定める指針について	59
(2) 仮払補償金について	60
(3) 東京電力福島原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する政府の支援の枠組みについて	61
9. ふるさとへの帰還に向けた取組	62
(1) 区域解除の考え方の整理	62
(2) 土壌等のモニタリング・スクリーニング・除染等	63
① 農地等の土壌等のモニタリング・スクリーニング	63
② 農地等の土壌等の除染・改良	63
(3) ふるさとの地域活力の再生に向けた検討課題	64

1. 東京電力福島第一原子力発電所の事態収束に向けた取組

(取組の概要)

4月17日に東京電力が発表した「福島第一原子力発電所・事故の収束に向けた道筋」(ロードマップ)に基づき、安全や環境に及ぼす影響や作業環境に配慮しながら、一刻も早い事態収束に取り組む。同時に、今回の知見を踏まえ、国内の他の原子力発電所における安全対策を早急に実施する。

(1) 事態収束に向けた取組

- ロードマップに基づき、安全や環境に及ぼす影響や作業環境に配慮しながら、一刻も早い事態収束に取り組む。

<当面の取組>

- ・東京電力に対し、ロードマップの着実かつ極力早期の実施を求めるとともに、定期的にフォローアップを行い、作業の進捗確認と必要な安全性確認を行う。
- ・東京電力の行う以下を始めとする対策のうち必要なものについて、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条に基づく報告徴収を行い、その必要性、安全性、環境への影響等について評価、確認する。

① 国による支援・安全性の確認

(原子炉の冷却)

- ・窒素封入・冷却状態の安全性確認／炉心状態の解析
原子炉冷却を進める過程において水素爆発が発生するリスクを低減するために実施される窒素封入について、実施方法等を確認する。原子炉を安定的に冷却するための注水操作については、炉心状態の解析を踏まえて、その有効性、水バランスへの影響等について評価する。
- ・冷却方法の安全性及び環境影響確認
原子炉を早期に冷温停止にするための冷却方法について、安全性及び環境への影響等について確認する。
- ・建屋モニタリングのためのロボット導入支援
作業員の被ばく線量低減、現場作業効率の向上を図るため、建屋内の線量測定や漏水の検知等、建屋等の状態を監視するための遠隔操作可能なロボットについて、内外の情報を収集しつつ、関係機関からの提供等を円滑に調整・促進し、その導入を支援している。

- ・原子炉建屋開口部開放による環境への影響評価
原子炉の安定的冷却に関する作業等のために1号機原子炉建屋に入域するのに先立ち、建屋内の換気による放射性物質の拡散の可能性があることから、その環境への影響について確認した。今後も、最初に行う建屋の開放作業については、同様の確認を行う。

(使用済燃料プールの冷却)

- ・無人ヘリの活用・プール内サンプリングの促進
使用済燃料の損傷状況を推定するため、無人ヘリを用いたビデオカメラによる撮影、プール水のサンプリング分析を促進し、プール内の状況を適切に把握する。
- ・使用済み燃料取出・移送に関するプランの検討
プールに貯蔵されている使用済燃料について、その破損状況を確認した上で、安全性を確保できる適切な取り出し方法、専用のキャスクによる移送等について検討を促進する。
- ・代替冷却設備の安全性確認
使用済燃料を確実に冷却することを目的として、既設の配管等を利用して設置する代替冷却設備について、その健全性、漏えい防止、被ばくの低減等について確認する。

(放射性物質で汚染された水（滞留水）の閉じ込め、保管・処理・再利用)

- ・集中廃棄物処理建屋への高レベル汚染水移送の安全性確認
タービン建屋地下階に滞留している高レベル汚染水を集中廃棄物処理建屋に移送するにあたって、漏洩による環境への影響を防止、低減するための措置等について確認するとともに、漏えい等に係る監視を継続する。
- ・高レベル汚染水処理装置、貯蔵タンク等の安全性、水収支バランスの確認
高レベル汚染水処理装置、貯蔵タンク、海水淡水化設備等から構成される高レベル汚染水処理システムについて、構成する各設備の安全性を確認する。また、高レベル汚染水、中・低レベル汚染水が、貯蔵タンクの容量を超過しないよう、水バランスが適切に設計されていることを確認する。さらに、暫定的に使用される施設については、その期間を明確化し、可能な限り早期に使用を終了する計画となっていることを確認する。
なお、米国・仏国などの放射能除去に関する実績がある各国を始め、除染装置についての情報を内外から収集するとともに、仏国AREVA社や米国KURION社の高濃度汚染水処理システムについて、早急な連絡調整を行い、速やかな導入・輸送を可能とした。当該システムについても、その安全性を確認する。
- ・メガフロート導入・移送の円滑化支援
中・低レベル汚染水の貯蔵容量を確保するために設置されるメガフロートについて、静岡県清水市との間で、その提供について調整を行うとともに、東京

電力福島第一原子力発電所施設内での係留に関し法令上問題がないことを関係省庁間で速やかに確認した。また、メガフロートの止水機能等の改善状況について現場確認を行った。引き続き、その活用について適切な支援、安全性の確認を行う。

(地下水汚染の拡大防止)

- ・地下水が放射性物質により汚染され外部に拡大することを防止するための設備の安全性を確認し、地下水汚染拡大防止が適切に実施されていることを評価、確認する。

(大気・土壌での放射性物質の抑制)

- ・原子炉建屋カバリングの設計・導入支援／安全性確認
放射性物質の放出及びその環境への拡散を抑制するために設置される換気・フィルター付きの原子炉建屋カバーについて、その効果、安全性等について評価、確認する。
- ・飛散防止剤の検討・導入支援
放射性物質の飛散防止剤について、その導入を促進するとともに、屋外・建屋を含めて適切・効果的に散布がなされるよう取り組む。
- ・がれき撤去のためのロボット導入支援
作業員の被ばく線量低減、現場作業効率の向上を図るため、がれき撤去のための遠隔操作可能なロボットについて、内外の情報を収集しつつ、関係機関からの提供等を円滑に調整・促進し、その導入を支援している。

(余震対策)

- ・津波対策の確認
電源多重化等の津波対策が適切になされていることを評価、確認するとともに、様々なリスクを想定したスラリー利用等の多様な放射線遮へい対策が適切になされていることを確認する。
- ・4号機プールの健全性、補強方法の確認
原子炉建屋が大きく損傷している4号機について、使用済燃料プールの健全性、支持構造物による補強方法が適切なものとなっていることを確認する。また、これに併せ、1号機から4号機の他の建屋について、その耐震安全性、必要な補強について確認する。

(作業環境の安全確保、生活環境・健康管理の改善)

- ・線量計・防護服等の情報収集・導入支援
現場のニーズに応じた線量計や防護服等に関する内外の情報を収集しつつ、その円滑な導入を促進する。
- ・作業員の被ばく、作業安全の管理体制の監視

東京電力による作業員の労働安全、被ばく低減のための管理体制が適切に機能していること等について監視を行う。

- ・作業員の生活環境改善のための検討促進
福島第一、福島第二、Jビレッジにおける食事、入浴、就寝環境の改善、仮設寮の設置など、作業員の生活環境改善のための検討・取組を促進する。
- ・健康管理の強化・管理体制の確認
 - －被ばく線量管理、臨時の健康診断の徹底
東京電力に対し、内部被ばくを含め作業員の被ばく線量管理、臨時の健康診断の実施の徹底等について指示した。今後、定期的に実施状況の報告を求める。
 - －作業届の提出
緊急作業のうち一定のものについては、あらかじめ労働基準監督署に作業届を提出させることとし、労働者の被ばく管理等について確認する。
 - －長期的な健康管理
緊急作業に従事した全ての作業員の、離職後を含めて長期的に被ばく線量等を追跡できるデータベースを構築し、長期的な健康管理を行う。

[参考：事業者による被ばく線量管理体制の整備]

- ・作業員の作業環境改善のために、防護具の脱衣が可能なクリーンエリア付き休憩所を設置する準備を進めている。また、個々人が携行するポケット線量計の読み取り機能を持つ線量管理システムを構築中であり、今後、故障した管理用コンピュータ等の設備の修復・拡充を図っていく。また、内部被ばく管理の体制整備を進め、東京電力福島第一及び第二原子力発電所が所有するホールボディカウンタ（WBC）を共用もしくは他機関から調達し、作業員の定期的な内部被ばく測定を体制を整えていく。その後、WBCを新設して機能の拡充を図る。中期的には、全自動線量管理システムの導入等を進める。

② 国際協力

(海外からの専門家受入れ・資機材提供等に関する協力促進)

- ・米国など海外からの専門家を受入れ、原子炉・使用済燃料プールの安定化、放射性物質の拡散防止、放射能汚染水への対応、モニタリング等に関する支援を得ている。また、外務省を窓口、内閣官房、原子力安全・保安院、原子力災害対策本部、東京電力等が調整し、海外支援物資（原子炉・使用済燃料プールの安定化等のための物資や原子力発電所による事故の被災者支援に活用するための物資）の受入れを随時実施している。

[参考1：原子炉・使用済燃料プールの安定化等のための物資の主な事例]

- ・米国より、消防車、大型放水用ポンプ、防護服、バージ船、ホウ素、個人線量計、ロボット等
- ・仏国より、防護服、防護マスク、ポンプ、発電機、コンプレッサー等
- ・英国より、放射線測定器、防護マスク等
- ・中国より、コンクリートポンプ車

[参考2：被災者支援に活用するための物資の主な事例]

- ・米国、仏国、英国、カナダ、ロシア、韓国等より、個人線量計、サーベイメーター、防護服

(放射性物質の排出・管理等に関する国際通報の強化)

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故の最新の状況について、I A E Aへの継続的な情報提供、I A E Aから加盟国への情報提供を随時実施している。また、放射性物質の排出・管理等について、在京大使館等へのメール、F A X等による情報提供を随時実施している。さらに、原則毎日、海外プレスへのブリーフィングを実施するとともに、外交団ブリーフィングも継続的に実施している。

[参考3：東京電力福島第一原子力発電所の現状]

- ・原子炉については、安定的冷却状態に向け、1～3号機の注水作業を継続している。水素爆発を防止するため、1号機格納容器に窒素を充填している（2、3号機も計画）。
- ・1～4号機の使用済燃料プールについては、安定的な冷却に向け、放水や配管を利用した注水を継続している。
- ・放射性物質で汚染された水の抑制に関して、2号機取水口付近から海に流出していた汚染水については、既に止水済みである。2号機タービン建屋やトレンチ（立坑）の汚染水については、トレンチから汚染水を集中廃棄物処理施設に移送しているところである。その他の汚染水もタンクへの移送やメガフロート船等で保管するための準備を実施している。
- ・土壌や大気汚染の抑制に関しては、各号機建屋周辺への飛散防止剤の散布、がれきの撤去を実施している。

③ 事故原因等の調査・検証

- ・原子力事故の原因等を調査・検証していくための準備を進める。その際には、独立性、公開性、包括性という3つの基本的な考え方に基づき行っていく。また、国際的にも事実を公開するとともに、I A E A等の国際機関とも連携していく。

(2) 安全対策の実施

- ▶ 今回の知見を踏まえ、国内の他の原子力発電所における安全対策を早急に実施する。

<当面の取組>

- ・原子力安全・保安院は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、3月30日に、各電気事業者等に対して、津波により3つの機能（全交流電源、海水冷却機能、使用済燃料貯蔵プール冷却機能）を全て喪失したとしても、炉心損傷等を防止できるよう、緊急安全対策に直ちに取り組むとともに、これらの実施状況を早急に報告するよう指示した。
- ・当該指示に基づき、各電気事業者等から緊急安全対策の実施状況の報告を受け、保安検査官が立入検査等を行い、電源車・ポンプ車等の資機材の配備状況、緊急時の対応マニュアルの整備状況、緊急時対応訓練の実施状況等について厳格な確認を行った。その結果、5月6日、各電気事業者等から報告のあった緊急安全対策は、適切に実施されているものと判断した。

- ・また、4月7日に発生した平成23年宮城県沖地震により東北電力東通原子力発電所において外部電源が喪失した。その後、外部電源が復旧したが、非常用ディーゼル発電機が全て機能喪失したことを踏まえ、4月9日に「非常用発電設備の保安規定上の取扱いについて（指示）」を发出した。これを受け、原子炉設置者から保安規定変更認可申請書が提出され、5月11日、申請内容について、緊急安全対策の実施状況報告、立ち入り検査等を踏まえ、保安規定を厳格に審査し、認可した。
- ・さらに、4月7日の宮城県沖地震により、広域にわたる停電が発生し、一部の原子力施設で一時的に外部電源を喪失する事象が発生したことを踏まえ、外部電源の信頼性確保に向け、各号機について複数（全て）の外部電源への接続を確保することや所内の電源施設の強化等の対策を指示した。今後、事業者からの報告を受け、原子力安全・保安院において、厳格に評価・確認する予定。
- ・保安検査等により、各電力事業者等が概ね5月中に完了することとしている建屋の浸水対策について、その実施状況を厳格に確認するとともに、中長期対策として行うこととしている海水ポンプ等の予備品の確保や空冷式の大容量非常用発電機の設置、津波に対する防護措置についても、その実施状況を厳格に確認していく。
- ・さらに、各電力事業者等に対して、継続的に必要な改善措置を促すことにより、緊急安全対策の信頼性向上について継続的に取り組む。

[参考：電気事業者等に対する安全対策の指示]

- ・各事業者から順次実施状況の報告書が提出され、原子力安全・保安院において立入検査等を実施し、その実施状況や実効性を確認している。

(3月30日の緊急安全対策指示)

津波によって全ての電源を喪失したことが東京電力福島第一原子力発電所の現在の事態を招いた大きな要因の一つとして考えられるため、原子力安全・保安院から電気事業者等に対し、津波により全ての電源を喪失しても冷却機能を維持できるよう、訓練の実施なども含めた緊急安全対策の実施を指示した。

(4月9日の安全対策指示)

4月7日の宮城県沖地震により東北電力 東通原子力発電所1号機の非常用ディーゼル発電機が動作不能の状態に陥ったことを踏まえ、原子炉が冷温停止中であっても原子炉毎に2台以上の非常用ディーゼル発電機を動作可能としておくことを指示した。

(4月15日の外部電源の信頼性確保指示)

4月7日の宮城県沖地震により、広域にわたる停電が発生し、一部の原子力施設で一時的に外部電源を喪失する事象が発生したことを踏まえ、外部電源の信頼性確保に向け、各号機について複数（全て）の外部電源への接続を確保することや所内の電源施設の強化等の対策を指示した。

2. 避難区域に係る取組

(取組の概要)

東京電力福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所における事故の発生以来、原子力災害対策本部としては、発電所における不測の事態に備え、住民の健康と安全を最優先に対応を行ってきた。

発電所における事故の状況の推移を踏まえ、11日には東京電力福島第一原子力発電所から半径3km圏内からの避難指示を、そして翌12日には、半径10km圏内、さらに安全確保に万全を期す観点から半径20km圏内からの避難指示を発出した。避難指示の発出後は、福島県、市町村等が連携して避難区域の住民の避難が実施された。

他方、5月中旬の時点でも、依然として約7千人の住民が福島県内の一次避難所での生活を余儀なくされている。応急仮設住宅の早期建設を進めると同時に、公営住宅等の確保や民間賃貸住宅の借上げに対する支援を行うなど、被災者の住生活環境の改善に全力を挙げていく。

なお、要介護者や障害者等は特に避難所生活の負担が大きいことから、福島県からの要請を受けて一次避難先から県外で継続的な受入れが可能な施設への搬送を完了している。県内への帰還要望を踏まえながら、引き続き、関係地方公共団体と連携して対応する。

東京電力福島第一原子力発電所から半径20km圏内の地域は、住民の安全確保の観点から、福島県及び市町村に対して、原子力災害対策特別措置法に基づく指示を行い、4月22日午前0時、当該区域を警戒区域として設定し、区域内への立入りを原則、禁止した。

警戒区域の設定とあわせ、事故発生以来、着の身着のまま避難した住民による貴重品等の持ち出しや、公的機関及び立入りが認められなければ著しく公益を損なうことが見込まれる法人等によるやむを得ない立入りが可能となるよう、安全の確保が十分に図られる範囲内において一時立入りを認めることとした。一時立入者の安全確保を前提に、5月10日以降、順次実施している。

今後、事故が収束し、警戒区域の解除に至るまでの間、被災者の生活の安定や安全の確保、被災地方公共団体の支援等に継続的に取り組んでいく。

(1) 避難区域の設定

- 東京電力福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の周辺地域の住民の健康と安全を確保するため、原子力発電所の状況等を踏まえ、原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力災害対策本部長（内閣総理大臣）が避難及び屋内退避の指示を行った。
- 区域の設定等については、放射線量の測定結果や、原子力発電所の状況等を踏まえ、原子力安全委員会の意見も聴いた上で、住民の健康と安全の確保に万全を期す観点から決定した。

[参考1：東京電力福島第一原子力発電所に係る原子力災害対策本部長からの避難指示等について]

- ・3月11日 [21:23] : 発電所から半径3km圏内の住民は、避難。発電所から半径3kmから10km圏内の住民は、屋内退避。
- ・3月12日 [5:44] : 発電所から半径10km圏内の住民は、避難。
[18:25] : 発電所から半径20km圏内の住民は、避難。
- ・3月15日 [11:00] : 発電所から半径20km以上30km圏内の住民は、屋内退避。
- ・4月21日 [11:00] : 避難区域を災害対策基本法の警戒区域に設定するよう指示。
- ・4月22日 [9:44] : 従来の屋内退避指示を解除し、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定。

[参考2：東京電力福島第二原子力発電所に係る原子力災害対策本部長からの避難指示等について]

- ・3月12日 [7:45] : 発電所から半径3km圏内の住民は、避難。発電所から半径3kmから10km圏内の住民は、屋内退避。
[17:39] : 発電所から半径10km圏内の住民は、避難。
- ・4月21日 [11:00] : 避難区域を発電所から半径10km圏内から半径8km圏内に変更。

[参考3：避難区域の対象人口]

- ・東京電力福島第一原子力発電所から半径20km圏内及び福島第二原子力発電所から半径8km圏内が避難区域となっており、区域の人口は、合計で約78,000人（平成22年国勢調査速報を基に推計）。

(2) 一次避難の状況

- 原子力災害対策本部長からの避難指示に基づき、福島県、市町村等が連携し、避難区域の住民の避難が実施された。
- 5月上旬時点でも、福島県内の約130箇所の一次避難所施設に約7,000人が、また、福島県外に約35,000人が避難しており、二次避難先の確保や仮設住宅等への早期移転を全面的に支援していく。

[参考1：福島県内の一次避難所施設数及び受入人数の推移※]

福島県	3月20日時点		5月16日時点	
	避難所施設数	受入人数	避難所施設数	受入人数
一次避難地域				
県北	104	10,032	22	1,634
県中	139	14,753	26	1,995
県南	30	1,771	7	304
会津	44	4,171	20	511
南会津	27	372	1	9
相双	22	4,499	17	1,582
いわき	156	5,044	35	1,204
合計数	522	40,642	128	7,239

(出典：福島県のホームページから集計 ※原子力災害以外の理由による避難も含む。)

[参考2：福島県外への避難の状況(5月16日時点)※]

区分	都道府県名	人数	備考
県外避難	山形県	1,861	105 箇所
	茨城県	329	24 箇所
	栃木県	2,284	82 箇所
	群馬県	2,739	104 箇所
	埼玉県	4,101	37 箇所
	千葉県	409	90 箇所
	新潟県	7,877	189 箇所
	東京都	4,156	102 箇所
	神奈川県	1,424	150 箇所
	その他(35 道府県)	10,346	839 箇所
計		35,526	1,722 箇所

(出典：福島県災害対策本部「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報」※原子力災害以外の理由による避難も含む。)

(3) 二次避難先の確保

- 避難所生活の長期化を回避し、被災者の住環境を改善するため、応急仮設住宅等の用地確保及び建設、公営・公団住宅等の活用を早急に進める。
- また、仮設住宅等の用地確保の課題等を踏まえ、民間賃貸住宅借上げも活用していく。

<当面の取組>

① 応急仮設住宅の確保

- ・福島県においては、5月17日時点で、市町村から具体的要望のある約15,200戸（地震・津波被災者向けの仮設住宅を含む。）について、8月前半までに完成させる見通しとなっており、市町村から追加の要請があった場合、逐次発注し、早期完成を目指すこととしている。
- ・政府として、引き続き県の取り組みを支援し、応急仮設住宅の供給を急ぐ。

② 国家公務員宿舎・公営住宅等の活用

- ・国家公務員宿舎、雇用促進住宅、地方公共団体の公営住宅等を50,000戸以上確保し、各都道府県に対し、情報の提供を行うとともに、被災者の受入れ調整を進めてきている。都道府県・市町村の協力を得て、入居済み又は入居者決定戸数は、5月16日時点で9,632戸となっており、引き続き、国家公務員宿舎・公営住宅等の活用に取り組んでいく（福島県内では、受入れ可能総数1,209戸のうち776戸が提供済み）。
- ・また、被災者の中期的な避難先を確保する観点から、約700の業界団体等を通じて、会員企業における社宅等の自主的な提供を要請した（3月20日）。本要請を受け、142社から230施設の申し出が寄せられ、これにより約7,500名の入居が可能となっており、引き続き入居先の拡大を進めている。

③ 民間賃貸住宅借上げの活用

- ・応急仮設住宅については、用地確保等の課題があることに加え、応急仮設住宅を待たずに被災者が自ら民間賃貸住宅に入居している事例も少なくない。
- ・こうした状況下、震災以降に自ら民間賃貸住宅を確保した被災者について、その契約以降、都道府県名義の契約に置き換えた場合には、国庫負担の対象としたところである（4月30日付けで「東日本大震災に係る応急仮設住宅としての民間賃貸住宅の借上げの取扱いについて」を岩手県、宮城県、福島県の各知事宛に発出済み）。

[参考1：「東日本大震災に係る応急仮設住宅としての民間賃貸住宅の借上げの取扱いについて」の概要]

- ・被災した県が、現に救助を要する被災者に対して、応急仮設住宅として民間賃貸住宅を借りあげて提供する場合には、その費用は、災害救助法の国庫負担の対象となる。

- ・発災以降に被災者名義で契約した者も同様とする。
- ・家賃は地域の実情、被災者の家族構成等によりまちまちであると想定されるものの、一戸当たり月額6万円（岩手・宮城県内陸地震の実績）を参考として示した。
- ・このような取扱については、県外の避難者についても同様とする。

[参考2：「福島県民間賃貸住宅借上げの取扱いについて（5月14日：福島県災害対策本部）」の概要]

- ・原則として、月ごとの家賃等の限度額は6万円とするが、一住戸への入居人数が5名（乳幼児を除く）以上の場合、限度額を9万円とする。
- ・また、当該特例措置の対象世帯要件を緩和し、「高齢者の介護、障害者や乳幼児への対応、子どもの通学などの理由により、避難所等での生活が困難であると市町村が認める世帯」の要件を付さないこととする。

（4）要介護者や障害者等への対応

- 避難区域の障害者施設の入所者について、福島県の要請を踏まえ、他県で継続的な受入れを行える施設への避難を完了した。
- また、他県の介護施設等への要援護者の受入れ可能状況を把握し、福島県へ提供するとともに、要援護者の受入れの仕組みを構築し、避難区域の介護施設入所者について県外への避難を完了した。
- 他県の施設へ避難した入所者等について、福島県内への帰還要望の有無を踏まえ、引き続き、関係地方公共団体と連携した支援を行う。
- 要介護者や障害者等が居住しやすい設備や構造を有する応急仮設住宅の設置支援を行う。

<当面の取組>

① 要介護者や障害者等の福島県外への搬送

- ・避難区域から一時的に他の施設に避難していた障害者施設の入所者等について、福島県の要請を受け、他県の施設への受入れの調整を行い、継続的に受け入れることができる施設への避難を完了した。
- ・避難区域から一時的に他の施設に避難していた介護施設の入所者について、受入れの仕組みを利用し県外への避難を完了した。
- ・他県の施設へ避難した入所者等について、福島県内の他の地域への帰還の要望がある場合には、関係地方公共団体と連携した支援を行うこととしている。

② 福祉仮設住宅の設置支援

- ・スロープや生活援助員室等の日常生活上特別な配慮を必要とする高齢者や障害者等が居住しやすい設備や構造を有する応急仮設住宅（福祉仮設住宅）が設置されるよう財政的な支援をしていく。

(5) 警戒区域の設定及び一時立入の実施

- 東京電力福島第一原子力発電所半径 20km 圏内について、住民の安全を確保するため、4 月 22 日午前 0 時、当該区域を警戒区域に設定し、区域内への立入りを原則、禁止した。
- 警戒区域の設定にあわせ、20km 圏内の住民の自宅への一時立入を行う。地方公共団体と調整を行い、5 月 10 日以降、順次実施している。

<当面の取組>

① 警戒区域の設定

- ・東京電力福島第一原子力発電所半径 20km 圏内について、住民の安全確保に万全を期すため、原子力災害対策本部長が原子力災害対策特別措置法に基づき、福島県知事及び関係市町村長に対し、同区域を警戒区域に設定することを指示した(4月21日)。
- ・4月22日午前0時以降、当該区域に消防隊、警察、自衛隊等の緊急事態応急対策に従事する者以外の者が、市町村長の許可なく立入りを行うことは禁止されている。
- ・なお、警戒区域設定後は、東京電力福島第一原子力発電所から 20km 周辺の主要道路上 10 ヶ所において区域内に流入する車両の検問を実施している。

② 一時立入の実施

- ・避難区域内の被災者は、事故発生時に緊急に避難したため、必要な物資を持ち出せなかった者が大半であり、自宅への一時立入の強い要望がある。このため、警戒区域の設定に併せ、地方公共団体の協力の下、一時立入を実施する。
- ・対象市町村(注) それぞれの対象者数見込みや準備状況を勘案し、5月10日から、川内村(5月10日及び12日)、葛尾村(5月12日)及び田村市において順次実施している。
- ・他の6市町については、5月13日に開設された「福島県警戒区域一時立入り受付センター」(コールセンター)において希望者を受け付け、5月中旬から順次実施していく予定。

(注) 大熊町、葛尾村、川内村、田村市、富岡町、浪江町、樽葉町、双葉町及び南相馬市(50音順)

[参考：一時立入の基本的考え方]

(立入対象区域)

- ・東京電力福島第一原子力発電所から半径 20km 圏内の区域とする。ただし、安全性の確保から同発電所から半径 3 km 圏内の区域、高い空間線量率等により立入りのリスクが大きいと考えられる区域、及び津波の被害を受けた区域であり、一時立入者に危険を及ぼ

すと考えられる区域を除く。

(安全確保策)

- ・安全確保に万全を期す観点から、一時立入に際しては、特別の例外を除いて一世帯当たり一名で、バスを利用し集団で行動することが原則となる。
- ・警戒区域への入域に際しては、タイベック・スーツ等を着用し、線量計やトランシーバー等を携帯する。帰る際にはスクリーニングを確実に実施する。この結果、必要と認められる場合には除染を実施する。また、持ち出し品については、財布、通帳等必要最小限のものとし、在宅時間は最大2時間程度とする。
- ・自家用車等の持出しについては、住民立入りの実施と並行して準備を行い、スクリーニング等の体制が準備でき次第、5月下旬頃から実施する予定である。
- ・ペットの収容については、住民の一時立入と連動して、国及び福島県が合同で保護活動を開始したところである。
- ・また、立入りができなければ著しく公益を損なうことが見込まれる法人等についても、個別に判断の上、立入りを認めることとする。

(6) 区域内の農産物や家畜等の取扱い

<当面の取組>

① 農林水産事業者の損害に対する賠償について

- ・農林水産事業者の損害に対する賠償について、第3回原子力損害賠償紛争審査会において第一次指針を策定し、政府指示による出荷制限や、県の要請等による出荷自粛などにより生じた損害に関する賠償の考え方を明らかにした(4月28日)。
- ・また、5月12日に開催された原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合において、原子力災害被害者に対する緊急支援措置が決定され、その中で第一次指針を踏まえた東京電力から農林漁業者に対する仮払い等の実施が盛り込まれた。

② 区域内の農産物や家畜等について

- ・警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域の各区域内における稲の作付制限について、原子力災害対策本部長が原子力災害対策特別措置法に基づき福島県知事に対して指示を発出した(4月22日)。作付制限に伴う損害についても、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期していく。
- ・5月12日、原子力災害対策特別措置法第20条第3項の規定に基づき、警戒区域内の家畜について、原子力災害対策本部長から福島県知事に対して、当該家畜の所有者の同意を得て、当該家畜に苦痛を与えない方法(安楽死)によって処分するよう指示した。

(7) 中小企業者の損害に対する賠償について

<当面の取組>

- ・第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針が策定され、政府による避難等の指示によって生じた営業損害や財産価値の喪失、事業者が負担した検査費用等を対象として、損害の範囲についての基本的な考え方が明らかにされた(4月28日)。
- ・中小企業者に対する東京電力による迅速な損害賠償の実現に向け、政府による避難等の指示があった区域等において中小企業者が被った営業損害について、製造業、サービス業、小売業、建設業など多様な実態が存在することを踏まえつつ、円滑な仮払いの実施に向けた仕組みについて、関係者間で早急に検討を実施する。

(8) 避難区域解除までの支援

- 被災地方公共団体や住民のニーズをきめ細かに把握できるよう、国家公務員を被災市町村等へ派遣する等の支援を行うとともに、関係者間の連絡体制を維持する環境を整備する。
- 住民の安心・安全と区域の治安を確保するため、警戒区域内の治安維持に万全を期す。

<当面の取組>

① 区域解除までの支援体制及び情報提供

- ・被災住民のニーズを適切に把握し、それに応えることができるよう、引き続き、政府関係者が、避難所や被災市町村を直接訪問し、市町村長等と十分な意見交換を行っていく。
- ・原子力災害により被災した市町村へ国家公務員を派遣するなど、被災地方公共団体とのコミュニケーションの強化を図り、住民ニーズの把握と情報提供を積極的に行っていく。
- ・原子力災害対策本部、現地対策本部、福島県及び被災市町村との緊密な連絡体制を維持するため、簡易型のテレビ会議が行える環境を整備する。

② 区域における治安維持

- ・東京電力福島第一原子力発電所から30km圏内の治安維持を目的に編成されたパトロール部隊により警戒警ら活動を実施している。
- ・また、警戒区域の設定を受け、東京電力福島第一原子力発電所から20km圏周辺の主要道路上10ヵ所において区域内に流入する車両の検問を実施している。

3. 計画的避難区域に係る取組

(取組の概要)

3月15日以降、屋内退避の指示が出されていた東京電力福島第一原子力発電所の半径20kmから30km圏内の区域については、4月22日に屋内退避が解除された。

しかしながら、事故発生後、継続的に行ってきた放射線量の測定及びデータの分析結果を踏まえて、気象的、地理的条件等から、事故発生から1年の期間内に積算線量が20ミリシーベルトに達するおそれがある地域については、住民の健康への影響等を踏まえ、概ね1ヶ月を目途に区域外への避難を求める「計画的避難区域」として設定した(4月22日)。

計画的避難区域のうち、特に飯舘村、川俣町については、追加的な避難先が必要となることから、応急仮設住宅、公営住宅、雇用促進住宅や民間賃貸住宅等の活用を含めて、円滑な避難ができるよう万全を期す。

また、計画的避難の実施に当たり、対象区域が含まれる地元市町村との密接な連携及び協力体制を構築するため、飯舘村と川俣町に関係省庁の職員等が常駐する現地政府対策室を設置し、地域住民等のニーズにきめ細かく対応していく。

なお、計画的避難区域においては、十分に安全を確保した上で屋内において活動を行っても安全上問題がないと考えられる事業所や施設に限り、特例的に、継続して活動を行うことを認めることとし、政府としても限定された条件下における活動継続の支援を行う。

計画的避難区域においても避難区域と同様に、防犯上の懸念が存在するため、地元市町村、警察と協力の上、政府としても治安維持に万全を期す。

(1) 計画的避難区域の設定

- 東京電力福島第一原子力発電所の半径20km以遠の周辺地域において事故発生から1年の期間内に積算線量が20ミリシーベルトに達するおそれがある地域については、住民の健康への影響を踏まえ、概ね1ヶ月を目途に区域外への避難を求める「計画的避難区域」とした(4月22日)。
- 区域の設定等については、放射線量の測定結果や、原子力発電所の状況等を踏まえ、原子力安全委員会の意見も聴いた上で、住民の健康と安全の確保に万全を期す観点から決定した。

[参考：計画的避難区域に該当する地域と当該区域の人口]

計画的避難区域 対象市町村	計画的避難区域 人口(人)
飯舘村(全域)	約6,200
葛尾村(20km圏外)	約1,300
浪江町(20km圏外)	約1,300
川俣町(一部)	約1,200
南相馬市(一部)	約10
合計	約10,000人

(注：平成22年国勢調査速報を基に推計)

(2) 避難先の確保

- 計画的避難区域のうち、特に飯舘村、川俣町については、追加的な避難先が必要となることから、応急仮設住宅、公営住宅、雇用促進住宅や民間賃貸住宅等の活用を含めて、円滑な避難ができるよう万全を期す。

<当面の取組>

① 応急仮設住宅の確保

- ・福島県においては、5月17日時点で、市町村から具体的要望のある約15,200戸(地震・津波被災者向けの仮設住宅を含む。)について、8月前半までに完成させる見通しとなっており、市町村から追加の要請があった場合、逐次発注し、早期完成を目指すこととしている。
- ・政府として、引き続き県の取り組みを支援し、応急仮設住宅の供給を急ぐ。

② 国家公務員宿舎・公営住宅等の確保

- ・国家公務員宿舎、公営住宅、雇用促進住宅、民間賃貸住宅等については、必要な数を確保できるように支援する。

③ 短期の避難先の確保

- ・ 応急仮設住宅の建設が完了するまでの間、短期の避難先として、県内外の旅館・ホテル等に避難できるよう、福島県と被災市町村の協力体制を支援する。
- ・ 避難する住民の多い飯舘村及び川俣町においては、5月上旬に、住民の具体的な希望を詳細に調査している。これに基づき、マッチングを急ぎ、5月下旬には具体的な移転を目指しており、飯舘村及び川俣町の現地政府対策室を通じて支援していく。

(3) 要介護者や障害者等への対応

- 在宅等で生活する障害者や高齢者等について、域外の他の施設での受入れの要請があれば、関係地方公共団体と連携しつつ対応する。
- 一部の介護施設の入所者について、福島県等と協力し、域外へ搬送を完了した。
- 介護施設入所者の移動負担の回避等の観点から、特に、町、村が必要と認める介護施設等については、一定の条件の下、区域内における事業継続を認める。
- 要介護者等が居住しやすい設備や構造を有する応急仮設住宅の設置支援を行う。(再掲)

<当面の取組>

① 要介護者や障害者等の域外避難

- ・ 在宅等で生活する障害者や高齢者等について、域外の他の施設での受入れの要望があれば、関係地方公共団体と連携しつつ対応することとしている。

② 計画的避難区域内における事業継続の例外（介護施設）

- ・ 介護施設入所者の移動負担の回避等の観点から、入所者や従事者の安全が確保できるとの前提で、特に、町、村が必要と認める介護施設については、入所者及び従事者が受ける放射線量を的確に管理することなど、一定の条件の下、区域内における事業継続を認める。

③ 福祉仮設住宅の設置支援（再掲）

- ・ スロープや生活援助員室等の日常生活上特別な配慮を必要とする高齢者や障害者等が居住しやすい設備や構造を有する応急仮設住宅（福祉仮設住宅）が設置されるよう財政的な支援をしていく。

(4) 円滑な計画的避難の実施

- 計画的避難区域の市町村及び住民のニーズをきめ細かに把握するとともに、緊密な連携を図るため、飯舘村及び川俣町に現地政府対策室を設置し、円滑な避難の実施を目指す。
- 町村の基盤となる最低限の雇用の維持等の観点から、住民の健康や安全の確保を前提に、市町村の責任の下、一定の条件を付した上で区域内での事業継続を認めることとする。
- 計画的避難が終了するまでの住民の被ばく量を測定し、健康への影響を把握する。

<当面の取組>

① 住民の円滑な移転支援

- ・ 計画的避難区域の市町村及び住民のニーズをきめ細かに把握し、計画的避難が円滑に進むよう、市町村長等とも十分に意見交換を実施している。
- ・ また、飯舘村及び川俣町に管理職級を含む関係省庁の職員9名を常駐させ、現地政府対策室を発足させた。現地政府対策室において、地元町村、福島県と密接に連携しながら、避難への対応、相談、生活支援等を行う。

② 計画的避難区域内における事業継続の例外

- ・ 町村の基盤となる最低限の雇用の維持や、介護施設入所者の移動負担の回避等の観点から、雇用者や入所者の安全が確保できるとの前提で、特に、町、村が必要と認める施設については、従事者が受ける放射線量を的確に管理することなど、一定の条件の下、区域内における事業継続を認める。
- ・ 国においては、環境モニタリングの結果を適時に福島県及び市町村に情報提供するとともに、放射線量を管理する上で必要となる線量計等の資機材を支援する。

③ 計画的避難を終えるまでの住民の放射線管理

- ・ 計画的避難区域の住民が避難するまでに受けた放射線の量を把握するため、要望等に応じ、当該区域の住民に線量計を配布する。

(5) 区域内の農産物や家畜等の取扱い

<当面の取組>

① 農林水産事業者の損害に対する賠償について（再掲）

- ・ 農林水産事業者の損害に対する賠償について、第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針を策定し、政府指示による出荷制限、県の要請等による出荷

自粛などにより生じた損害に関する賠償の考え方を明らかにした（4月28日）。

- ・また、5月12日に開催された原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合において、原子力災害被害者に対する緊急支援措置が決定され、その中で第一次指針を踏まえた東京電力から農林漁業者に対する仮払い等の実施が盛り込まれた。

② 区域内の農産物や家畜等について

- ・警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域の各区域内における稲の作付制限について、原子力災害対策本部長が原子力災害対策特別措置法に基づき福島県知事に対して指示を発出した（4月22日）。作付制限に伴う損害についても、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期していく。（再掲）
- ・区域内の家畜を区域外に移動・出荷したいとの方針が福島県から示されたことを受け、農場から家畜を搬出する際の検査・除染などの手続きを整理し通知するとともに、家畜の円滑な移動を支援するため、福島県に対し、同区域の家畜の移動先のあっせんや畜産専門の担当者の派遣などの人的支援を行っている。

（6）中小企業者の損害に対する賠償について（再掲）

<当面の取組>

- ・第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針が策定され、政府による避難等の指示によって生じた営業損害や財産価値の喪失、事業者が負担した検査費用等を対象として、損害の範囲についての基本的な考え方が明らかにされた（4月28日）。
- ・中小企業者に対する東京電力による迅速な損害賠償の実現に向け、政府による避難等の指示があった区域等において中小企業者が被った営業損害について、製造業、サービス業、小売業、建設業など多様な実態が存在することを踏まえつつ、円滑な仮払いの実施に向けた仕組みについて、関係者間で早急に検討を実施する。

(7) 計画的避難区域解除までの支援

- 被災地方公共団体や住民のニーズをきめ細かに把握できるよう、現地政府対策室を設置し、地元町村、福島県と密接に連携しながら、避難への対応、相談、生活支援等を行う。また、関係者間の連絡体制を維持する環境を整備する。
- 住民の安心と安全を確保するため、関係地方公共団体とも連携しながら区域内の治安維持に万全を期す。

<当面の取組>

① 区域解除までの支援体制及び情報提供

- ・飯舘村及び川俣町に管理職級を含む関係省庁の職員9名を常駐させ、現地政府対策室を発足させた。現地政府対策室において、地元町村、福島県と密接に連携しながら、避難への対応、相談、生活支援等を行う。
- ・国と福島県及び被災市町村との緊密な連絡体制を維持するため、簡易型のテレビ会議が行える環境を整備する。(再掲)

② 区域における治安維持

- ・東京電力福島第一原子力発電所から30km圏内の治安維持を目的に編成されたパトロール部隊により警戒警ら活動を実施している。
- ・検挙活動を目的とした機動捜査隊を投入し、犯罪の予防及び犯人の検挙に努めている他、流動検問を行う部隊を投入し、警戒活動を実施している。
- ・30km圏外の指定区域については、関係機関、地方公共団体等と連携し、治安維持の方策について検討している。

4. 緊急時避難準備区域に係る取組

(取組の概要)

事故発生以降、東京電力福島第一原子力発電所から放出された放射線量のモニタリング結果を踏まえ、4月22日には、一部の積算線量が高くなるおそれがある地域を計画的避難区域と設定する一方、20kmから30km圏内の地域のうち、計画的避難区域を除く区域に対しては屋内退避の指示を解除することとした。

しかしながら、未だ安定しない事故の状況を踏まえ、緊急時において速やかに当該区域から避難あるいは屋内退避が可能となるよう準備を行う必要があると考えられる区域を「緊急時避難準備区域」と設定することとした。

緊急時避難準備区域においては、緊急時における屋内退避や避難が可能な準備を行うことを前提に、同区域内で、勤務等のやむを得ない用務等を行うことは妨げられない。一方で、緊急時における速やかな自力での避難が困難と考えられる子どもや高齢者、入院患者等については、引き続き、当該区域に入らないことが求められる。

当該区域においては、原則として、住民の生活や事業者の活動が継続されることとなるため、原子力災害対策本部としても、当該区域における生活基盤の確保に取り組み、郵便や物流を始め経済活動の状況等について、定期的な実態把握を行うなど適切に対応していく。

なお、区域解除までの間、福島県及び被災市町村と緊密に連携をとり、治安維持を含め避難区域、計画的避難区域と同様に万全を期すこととしている。

(1) 緊急時避難準備区域の設定

- 東京電力福島第一原子力発電所から半径 20km から 30km 圏内の区域に係る屋内退避の指示は解除した。
- 一方で、未だ安定しない事故の状況に鑑み、緊急時における避難等の対応が求められる可能性が否定できない地域については、緊急時の屋内退避や避難が可能な準備を求める「緊急時避難準備区域」とした（4月22日）。
- 区域の設定等については、放射線量の測定結果や、原子力発電所の状況等を踏まえ、原子力安全委員会の意見も聴いた上で、住民の健康と安全の確保に万全を期す観点から決定した。

[参考：緊急時避難準備区域に該当する地域と当該区域の人口]

※ 緊急時避難準備区域は、計画的避難区域に設定される区域を除く、概ね 20km から 30km の区域で以下の市町村が対象となっている。

※ なお、子ども、妊婦、要介護者、入院患者などは、当該区域に入らないことが引き続き求められる。

緊急時避難準備区域 対象市町村	緊急時避難準備区域 人口（人）
広野町（全域）	約 5,400
檜葉町（20km 圏外）	約 10
川内村（20km 圏外）	約 1,700
田村市（一部）	約 4,000
南相馬市（一部）	約 47,400
合計	約 58,500 人

（注：平成 22 年国勢調査速報を基に推計）

(2) 生活インフラ等の確保・産業活動支援

- 「緊急時避難準備区域」においては、勤務等のやむを得ない用務や、生活関連物資等の当該地域への運送、運搬を行うために区域に入ることは妨げられない。
- 国としても、同区域の医療、輸送・物流を含めた生活基盤に支障が生じないよう、定期的の実態把握をするなど確実に対応していく。

<当面の取組>

- ・ 緊急時避難準備区域における郵便物等集配業務及び郵便局業務は、4月25日から再開している（局舎倒壊郵便局を除く）が、倒壊郵便局（1局）の復旧については、地方公共団体の復興に関する計画等を踏まえて検討していくこととしており、復旧に向けた取組を支援していく。

- ・運輸関係事業者団体に対し、緊急時避難準備区域でのバス・タクシー・トラックの運行の留意点について傘下会員への周知を依頼するとともに、輸送の適切な実施に努めるよう指導した。
- ・緊急時避難準備区域における入院医療体制については、今後の段階的な再開に向け、福島県が国と連携しながら関係地方公共団体及び医療機関との調整に着手している。
- ・地域医療再生基金を活用して、医療施設の整備を進めるとともに、医療人材の確保等にも取り組む。
- ・区域内における産業活動や物流等の定期的な実態把握に努め、必要に応じて適切な対応策を講じていく。
- ・区域内に居住する障害者等に対する適切なケアの確保のため、関係地方公共団体と連携しつつ対応することとしている。

(3) 区域内の農産物や家畜等の取扱い

<当面の取組>

① 農林水産事業者の損害に対する賠償について（再掲）

- ・農林水産事業者の損害に対する賠償について、第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針を策定し、政府指示による出荷制限、県の要請等による出荷自粛などにより生じた損害に関する賠償の考え方を明らかにした（4月28日）。
- ・また、5月12日に開催された原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合において、原子力災害被害者に対する緊急支援措置が決定され、その中で第一次指針を踏まえた東京電力から農林漁業者に対する仮払い等の実施が盛り込まれた。

② 区域内の農産物や家畜等について

- ・警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域の各区域内における稲の作付制限について、原子力災害対策本部長が原子力災害対策特別措置法に基づき福島県知事に対して指示を発出した（4月22日）。作付制限に伴う損害についても、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期していく。（再掲）
- ・区域内の家畜を区域外へ移動・出荷したいとの方針が福島県から示されたことを受け、農場から家畜を搬出する際の検査・除染などの手続きを整理し通知するとともに、家畜の円滑な移動を支援するため、福島県に対し、同区域の家畜の移動先のあっせんや畜産専門の担当者の派遣など人的支援を行っている。

(4) 中小企業者の損害に対する賠償について（再掲）

<当面の取組>

- ・第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針が策定され、政府による避難等の指示によって生じた営業損害や財産価値の喪失、事業者が負担した検査費用等を対象として、損害の範囲についての基本的な考え方が明らかにされた（4月28日）。
- ・中小企業者に対する東京電力による迅速な損害賠償の実現に向け、政府による避難等の指示があった区域等において中小企業者が被った営業損害について、製造業、サービス業、小売業、建設業など多様な実態が存在することを踏まえつつ、円滑な仮払いの実施に向けた仕組みについて、関係者間で早急に検討を実施する。

(5) 緊急時避難準備区域解除までの支援

- 緊急時の屋内退避や避難が円滑に行えるよう、市町村、県及び国が密接に連携して対応していく。また、関係者間の連絡体制を維持する環境を整備する。
- 区域内の犯罪の予防等に万全を期す。

<当面の取組>

① 区域解除までの支援体制及び情報提供

- ・区域内の住民については、常に緊急時の屋内退避や避難が可能な準備をしておくことが求められているため、緊急時の屋内退避や避難が円滑に行えるよう関係地方公共団体と国とが密接に連携し対応する。
- ・国と福島県及び被災市町村との緊密な連絡体制を維持するため、簡易型のテレビ会議が行える環境を整備する。（再掲）

② 区域における治安維持

- ・緊急時避難準備区域においては、交番等の機能が維持されている。また、東京電力福島第一原子力発電所から30km圏内の治安維持を目的に編成されたパトロール部隊と連携しながら警戒警ら活動を実施している。
- ・検挙活動を目的とした機動捜査隊を投入し、犯罪の予防及び犯人の検挙に努めている他、流動検問を行う部隊を投入し、警戒活動を実施している。

5. 被災住民の安心・安全の確保

(取組の概要)

[地域コミュニティの維持]

- ・避難生活の長期化に伴い、都道府県や市町村が、避難住民の一次避難所から二次避難先や仮設住宅等への移動を進めていくことになるが、その際に、政府としても、住民の安心・安全の確保と同時に、地域コミュニティの維持に配慮しながら進められるよう必要な支援を行っていく。

[医療・介護等の確保と健康不安等への対応]

- ・要介護者や障害者等の安心・安全を確保するため、関係地方公共団体と連携し、県外で継続的に受入れが可能な施設への搬送を含め万全の対応を行っていく。
- ・また、被ばくに対する住民の健康不安を取り除くため、住民のスクリーニング及び除染を確実に行うとともに、住民の健康管理が適切になされるよう、健康相談ホットラインの開設、専門家の巡回等による健康相談や心のケアを行っていく。
- ・さらに、住民が受けた放射線量の評価に関する関係者の取組に対し（独）放射線医学総合研究所等が協力を行う。

[教育への支援]

- ・避難区域等の保育所、幼稚園、小中学校及び高校は、休園・休校とされており、避難先等における子どもの就学機会の確保等に万全を期す。
- ・また、福島県内の教育施設における土壌等の取扱いについて、環境モニタリングの測定結果を踏まえつつ、早急に対応していく。

[環境モニタリング等の充実]

- ・東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出状況について「環境モニタリング強化計画」に基づき、米国エネルギー省を含め関係機関が緊密に連携することにより、総合的な放射線モニタリングを実施する。
- ・また、「放射線量分布マップ」等を策定・公表するとともに、計画的避難区域等を重点的に測定することにより、事故状況の全体像の把握や、区域等の解除に向けて活用していく。
- ・農地や教育施設等における環境モニタリングに取り組むとともに、福島県内を中心に食品、環境モニタリング試料等の放射能濃度の分析拠点を整備していく。

[がれきや下水汚泥等の取扱い]

- ・福島県内のがれき等の災害廃棄物の処理について、現地調査を実施した上で、放

放射性物質により汚染されたおそれのある災害廃棄物の基準や処理方法について、モニタリング等の結果を踏まえ、早急に対応していく。

[原子力災害・被災者向け広報の充実]

- ・国民に対して、正確かつ迅速な事故の情報を伝えるため、毎日記者会見を開催している。
- ・避難住民にわかりやすく、必要な情報を確実に届けるため、地元ラジオでの広報番組の放送を行うとともに、「ニュースレター」を避難所等で掲示している。
- ・また、インターネットや全国向けラジオ放送の活用など、県外避難者向けの情報提供も行っていく。

(1) 地域コミュニティの維持

- | |
|---|
| <p>➤ 都道府県や市町村が、避難住民の一次避難所から二次避難先や仮設住宅等への移動を進めていく際に、地域コミュニティの維持に配慮しながら進められるよう必要な支援を行う。</p> |
|---|

<当面の取組>

- ・応急仮設住宅の入居に当たり、被災者、特に高齢者、障害者等が安心して居住できるように、地域の実情に応じ、従前のコミュニティが可能な限り維持されるよう配慮するものとし、入居者選定に当たる地方公共団体に対し、必要な助言を行っている。
- ・一定規模以上の応急仮設住宅の建設に際しては、集会所などコミュニティの維持に必要な施設が併設されるよう各都県を支援している。
- ・移転後においても、例えばITを活用するなど、地域のつながりを維持する方向での支援を工夫する。

(2) 医療・介護等の確保と健康不安等への対応

- 避難区域等の各区域の実態に合わせて、関係地方公共団体と連携して、要介護者や障害者等への対応を確実にやっていく。
- 被ばくに対する住民の健康不安を取り除くため、住民のスクリーニング及び除染を確実に行う。また、住民の健康管理が適切になされるよう、健康相談ホットラインを開設するとともに、専門家の巡回等による健康相談や、心のケアを行っていく。
- 住民が受けた放射線量の評価に関する関係者の取組に対し、(独)放射線医学総合研究所等が協力を行う。

<当面の取組>

① 各区域における医療・介護等の確保

(各区域共通)

- ・各区域の住民（避難等の指示後に、区域外に転出した場合も含む）は、医療機関の窓口負担の支払いを不要とする。同様に、介護サービス利用時における利用料（自己負担分）等の支払いも不要とする。

(避難区域) (再掲)

- ・避難区域から一時的に他の施設に避難していた障害者施設の入所者について、福島県の要請を受け、他県の施設への受入れの調整を行い、継続的に受け入れることができる施設への避難を完了した。
- ・他県の介護施設等への要援護者の受入れ可能状況を把握し、福島県へ提供するとともに、要援護者の受入れの仕組みを構築し、避難区域の介護施設入所者について県外への避難を完了した。
- ・他県の施設へ避難した入所者等について、福島県内の他の地域への帰還の要望がある場合には、関係地方公共団体と連携した支援を行うこととしている。

(計画的避難区域) (再掲)

- ・在宅等で生活する障害者や高齢者等について、域外の他の施設での受入れの要望があれば、関係地方公共団体と連携しつつ対応することとしている。

(緊急時避難準備区域) (再掲)

- ・緊急時避難準備区域における入院医療体制については、今後の段階的な再開に向け、福島県が国と連携しながら関係地方公共団体及び医療機関との調整に着手している。
- ・地域医療再生基金を活用して、医療施設の整備を進めるとともに、医療人材の

確保等にも取り組む。

(その他)

- ・国民年金保険料の取扱いについて、福島県下の13市町村の住民は、家屋などの財産の損害が概ね2分の1以上の場合でなくとも免除の申請ができることとする。

② 住民のスクリーニング及び除染

- ・3月13日から、避難住民等に対し表面汚染のスクリーニングを実施している。福島県内の避難所を巡回するとともに、スクリーニング及び除染を継続しており、5月5日までに18万人以上に対し実施した。なお、計測又は脱衣等の上の再計測の結果、いずれも基準値以下であり、健康に影響を及ぼす事例は確認されていない。
- ・原子力安全委員会が行ったSPEEDIによる試算において甲状腺被ばく線量が比較的高いとされた地域を対象に小児甲状腺スクリーニングを実施した。なお、3月26日～3月30日にいわき市、川俣町、飯舘村の小児10～15歳約1,000人に対して実施した結果、スクリーニングレベルを超えた事例は確認されていない。
- ・福島県からの要請を受け、避難所等における被ばく不安解消を目的としたスクリーニング等の実施のため、医師等の派遣を行い、また、各都道府県等に対しても医師等の派遣のあっせん・調整を行っている。
- ・指定公共機関（(独)日本原子力研究開発機構及び(独)放射線医学総合研究所）及び大学等の放射線の専門家及び医師、看護師等を派遣し、現地において行われる住民スクリーニング及び除染活動の円滑な実施を図っている。

③ 住民の健康管理及び心のケア

- ・(独)日本原子力研究開発機構及び(独)放射線医学総合研究所の協力を得て、周辺住民に、放射線影響に関して説明する健康相談ホットラインを開設した。
- ・被災地においては、地元及び全国の地方公共団体から派遣された保健師等が避難所の巡回等を行い、健康相談を実施しながら、必要な保健医療福祉サービスに結びつける支援を行っている。
- ・精神科医等からなる「心のケアチーム」を8チーム確保（5月10日現在）し、同チームは、避難区域から避難した被災者の避難先地域を中心に活動している。
- ・また、福島県外において放射線の影響に関する不安を持つ方へ相談や放射線量の測定等の対応ができるよう、全国の地方公共団体に体制整備を依頼している。

④ 住民の長期的な健康管理（放射線量の評価）

- ・住民の長期的な健康管理を行う上で必要となる住民が受けた放射線量の評価に

関する関係者の取組に際し、（独）放射線医学総合研究所等が協力を行う。

（3）教育への支援

- 避難区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域の保育所、幼稚園、小中学校及び高校は、休園・休校とされており、避難先等における子どもの就学機会の確保等に万全を期す。
- また、福島県内の教育施設における土壌等の取扱いについて、環境モニタリングの測定結果を踏まえつつ、早急に対応していく。

<当面の取組>

① 避難先での子どもの就学機会の確保等

- ・各都道府県教育委員会に対し、被災児童生徒等の学校への受入れ、教科書の無償支給、就学援助等の弾力的な扱いを要請している。また、学校運営の本格復旧や児童生徒の心のケアを行うため、被災県や被災児童生徒等を受け入れた都道府県に対し教職員定数を加配するとともに、被災した児童生徒等の就学支援やスクールカウンセラーの緊急派遣のための措置を講じる。
- ・廃校や空き教室等の改修工事等により応急仮設校舎を確保する。
- ・各大学等に対し、被災学生への経済的支援や学費等の納付猶予、相談体制の充実を要請している。これを受けて、各大学等は、被災した学生の就学機会の確保のための授業料等減免を実施している。
- ・被災等により家計が急変した学生等を支援するため、補正予算により奨学金対象の規模を拡充し、（独）日本学生支援機構の緊急採用奨学金（無利子）の申請を随時受け付けている。
- ・震災により帰国した留学生も含め、さらに多くの優秀な留学生に日本で学んでもらうための施策に取り組んでいく。

② 学校等の校舎・校庭等の利用について

- ・福島県が県内（20km 圏内の警戒区域等を除く）の小中学校、中学校、幼稚園、保育所及び特別支援学校の約 1,600 校を対象とした環境放射能モニタリングの結果を踏まえ、放射線量測定値が比較的高かった 52 校について、文部科学省において再調査を実施した（4 月 14 日）。
- ・上記モニタリングの結果等を受け、原子力災害対策本部において、国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告や原子力安全委員会の助言等を踏まえ、「福島県内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方」を策定した（4 月 19 日）。
- ・再調査の対象となった 52 校について、福島県と連携して継続的に空間線量率を測定す

るとともに、教職員が積算線量計を携帯することにより、実際の被ばく状況を確認し、内部被ばくの影響を評価するため、適切にダストサンプリングを行う。これらの結果について、2週間に1回以上の頻度を目安として、原子力安全委員会に報告する。

- ・放射線量をできる限り低減させる方策の1つとして、校庭等の土の上下を入れ替える等の方法について、その効果や具体的な方法等を検証するため、(独)日本原子力研究開発機構に依頼し、福島大学と協力して実地調査を行った(5月8日)。
- ・これらの実地調査を踏まえ、5月11日には学校等の校庭・園庭における空間線量率の低減策について、「まとめて地下に集中的に置く方法」と「上下置換法」の2つの方法が児童生徒等の受ける線量を減らしていく観点から有効であるとして、福島県教育委員会等に事務連絡を行った。

(4) 環境モニタリング等の充実(環境モニタリング強化計画)

- 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出状況について「環境モニタリング強化計画」に基づき、米国エネルギー省を含め関係機関が緊密に連携することにより、総合的な放射線モニタリングを実施する。
- また、「放射線量分布マップ」等を策定・公表するとともに、計画的避難区域等を重点的に測定することにより、事故状況の全体像の把握や区域等の解除に向けて活用していく。
- 農地や教育施設等における環境モニタリングに取り組むとともに、福島県内を中心に食品、環境モニタリング試料等の放射能濃度の分析拠点を整備していく。

<当面の取組>

① 継続的な環境モニタリングの実施

- ・東京電力福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の放出状況を把握し、国民の安全や安心を確保するため、様々な手段を駆使し、総合的な放射線モニタリングを実施し、モニタリング結果の公表を行っている。具体的には、福島県、(独)日本原子力研究開発機構、電力会社等と連携し、空間線量率のモニタリングを実施するとともに、空気中のダストや土壌等のサンプル調査を実施している。
- ・4月22日以降は、計画的避難区域等を重点的に測定するとともに、測定結果については、事故状況の全体像の把握や区域等の解除に向けて活用していくため、「環境モニタリング強化計画」を策定し、モニタリングの実施体制も強化した。
- ・モニタリング体制を強化する一環として、放射線量率の高い地域については、簡易型線量計を活用することにより、積算放射線量の測定も実施している。加えて、同計画に基づき、計画的避難区域や放射線量率の高い地域の固定測定地

点を増やすとともに、土壌モニタリングの強化、海域モニタリングの広域化を図っていく。

- ・東京電力福島第一原子力発電所から 80km の範囲内において、米国エネルギー省と連携し、空間線量率及び地表面における放射性物質の蓄積状況についてモニタリングを実施している。また、福島大学による県内のモニタリングの他、全国の国立大学等においてモニタリングを実施している。
- ・東京電力により原子力発電所のサイト内及び近辺の海域等の環境モニタリングが適切に実施されるよう指導監督している

② 線量測定マップ等の作成

- ・「環境モニタリング強化計画」に基づき、4月24日時点の「線量測定マップ」及び「積算線量推定マップ」を発表した（4月26日）。今後、月に2回程度更新することを予定している（5月16日に更新済み）。また、「土壌濃度マップ」についても作成する。
- ・上記の線量測定マップ等により、事故状況の全体像の把握や、区域等の解除に向けて活用していく。

③ 農地における環境モニタリングの実施

- ・農地土壌における放射性物質の濃度の把握に向けて、補正予算において、放射線測定装置の調達及び分析のための費用を措置した。
- ・今後、農地土壌における放射性物質の濃度の分布傾向を把握する。

④ 海域における環境モニタリングの実施

- ・（独）海洋研究開発機構による海水採取とダストサンプリング等、及び（独）日本原子力研究開発機構による測定・分析により、東京電力福島第一原子力発電所の沖合における海域モニタリングを実施し、結果の公表を行ってきた。
- ・海域モニタリングの広域化を図るため、宮城県、福島県、茨城県の各沖合の広域調査、水産物モニタリングの拡大等を文部科学省と水産庁により共同で実施する。

⑤ 食品、水道水中の放射性物質モニタリングの実施

- ・原子力安全委員会が策定した「原子力施設等の防災対策について」において示された指標を参考として、食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値を設定した。
- ・食品中の放射性物質に係るモニタリング検査について、ガイドラインや最新の情報に基づく指示を行い、関係地方公共団体が検査計画を策定して実施している。
- ・水道水中の放射性物質については、各地方公共団体等において水道水の検査を継続して実施しており、国において毎日その結果を公表している。また、検査

結果が指標等を超過した場合には、水道事業者に対して水道水の摂取制限及び広報の要請を行うこととしている。

⑥ 教育施設等における環境モニタリングの実施

- ・学校や地域住民が安全・安心の観点から放射線量を確認できるよう、福島県教育委員会と連携して学校等において積算線量計を用いた調査を継続的に行うとともに、ダストサンプリング、土壌モニタリングも組み合わせて、福島県内の児童生徒や地域住民の受ける線量の低減に資するため環境放射能の状況を把握していく。

⑦ 福島県内における環境試料分析能力の向上

- ・福島県内に食品、環境モニタリング試料等の放射能濃度の分析の拠点を整備していく。

(5) がれきや下水汚泥等の取扱い

- 福島県内のがれきや下水処理場から発生する汚泥等の取扱いについて、現地調査を実施した上で、放射性物質により汚染されたおそれのある災害廃棄物の基準や処理方法について、モニタリング等の結果を踏まえ、早急に対応していく。

<当面の取組>

① がれき等の取扱い

- ・福島県内の災害廃棄物の当面の取扱いについて、放射性物質による汚染のおそれを考慮に入れて、政府内部で整理を行い、原子力安全委員会からの助言も踏まえ、今後の方針を取りまとめた（5月2日）。
- ・本方針に基づき、福島県内の災害廃棄物の取扱いについては以下のとおり進めていく。
 - (ア) 避難区域及び計画的避難区域の災害廃棄物については、当面の間、移動及び処分は行わない。
 - (イ) 避難区域及び計画的避難区域以外の地域のうち、浜通り及び中通り地方にある災害廃棄物については、当面の間、仮置き場に集積しておき、処分は行わない。処分については、災害廃棄物の汚染状況についての現地調査結果を踏まえ検討する。
 - (ウ) その他の地域にある災害廃棄物については、従前通り計画的に処分を行う。
- ・なお、学識経験者から構成される検討会を環境省に設置し、放射性物質により汚染されたおそれのある災害廃棄物の基準や処理方法について、モニタリング等の結果を踏まえ、早急に検討を行う。

② 下水汚泥の取扱い

- ・福島県の下水処理場において、下水汚泥等から放射性物質が検出された問題に関して、政府内部で対応を検討し、原子力安全委員会の助言も得た上で、当面の考え方について取りまとめた（5月12日）。
- ・福島県内の下水汚泥等の取扱い等については当面以下の考えに基づき進めていく。
 - （ア）脱水汚泥、溶融炉のスラグ等については、県内の下水処理場、管理型処分場等に仮置きし、モニタリングを実施することを基本とする。
 - （イ）脱水汚泥等をセメント材料として再利用する場合は、クリアランスレベル以下であることを確認する。既に生産されたセメントについては、放射線の影響を評価し、安全であることが確認された。また、下水汚泥等のコンポスト（肥料）としての利用については、当面自粛を求める。
- ・なお、仮置きした脱水汚泥等の処分方法等については引き続き検討する。

（6）原子力災害・被災者向け広報の充実

- 国民に対して、正確かつ迅速に事故の情報を伝えるため、毎日記者会見を開催している。
- 避難住民にわかりやすく、必要な情報を確実に届けるため、地元ラジオでの広報番組の放送を行うとともに、「ニュースレター」を避難所等で掲示している。
- また、インターネットや全国向けラジオ放送の活用など、県外避難者向けの情報提供も行っていく。

<当面の取組>

- ・国民に対して、正確かつ迅速な事故の情報を伝えるため、毎日プレス資料を作成・公開するとともに、記者会見を開催している。
- ・避難住民にわかりやすく、確実に情報を届けるため、地元ラジオを通じた情報提供「守ります！ 福島」（ラジオ福島 エフエムふくしま 放送日：毎日）を行っている。
- ・ラジオでは、聴取者からの質問に一問一答形式で回答するとともに、原子力災害に係る重要事項についてもタイムリーに情報提供している（例：警戒区域の指定や東京電力による仮払補償金の支払の方針決定等）。
- ・また、避難所等に「ニュースレター」を掲示するなど、現地ニーズに沿った情報も提供している（例：り災証明不要の支援手続、水道水の基準について等）。
- ・さらに、インターネットへのこれらのコンテンツの掲載（ラジオ番組のPod Cast配信など）や政府広報の活用（全国向けラジオ放送「震災情報 官邸発」、ハンドブック、壁新聞、新聞への情報掲載等）により、県外避難者向けの情報提供も行っていく。

(7) その他の対策

<当面の取組>

- ・放射線被ばくについての風評等に基づく人権侵害事案の予防のため「放射線被ばくについての風評被害等に関する緊急メッセージ」を法務省ホームページに掲載し、啓発活動を行っている（4月21日掲載）。
- ・また、啓発活動のためのチラシを全国の法務局・地方法務局へ配布し、避難所地域での配布、公共機関やコンビニエンスストアへの掲出等、各地域の実情に応じた方法による啓発活動を行っている（4月27日以降）。

6. 雇用の確保、農業・産業への支援

(取組の概要)

[基本方針]

風評被害を含め原子力災害固有の被害状況を踏まえ、政府一丸となって、雇用の確保や農業・産業活動の支援策を実施していく。また、警戒区域等の解除後に、ふるさとに戻って生活を再建し、地域経済を再生する上で必要となる支援策について検討していく。

[雇用の確保]

- ・ 「日本はひとつ」しごとプロジェクトに基づき、雇用対策を推進する。
- ・ がれき処理などの復旧事業を中心に地元優先雇用の取組を進めていくとともに、雇用創出基金事業の活用により、被災地における雇用の場を提供していく。
- ・ 雇用調整助成金や失業手当の特例措置等により、被災地域における雇用の維持や生活の安定を確保していく。
- ・ また、被災学生を含め被災者に対する新たな就職に向けた支援についても、ハローワークを始めとする関係機関と連携して、地元や避難先での就業を支援していく。

[農畜産業・水産業等への支援]

- ・ 政府等による農作物の出荷制限や作付制限を余儀なくされている、又は避難区域内等において家畜の安楽死による処分等を余儀なくされている農林水産事業者に対して、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期す。
- ・ また、被災地等の農林水産品について海外の政府機関を始め国内外の関係機関に対して適切な情報提供を行うとともに、過度に厳しい輸入禁止等の措置に関する情報収集・働きかけを行うなど、風評被害対策や農林水産品・食品の輸出促進を確実に実施していく。
- ・ 農林水産物や土壌等への放射性物質による影響について、安全性の観点から早急に検証を行い、技術的な課題についても対応していく。
- ・ また、出荷制限等を受けた農林水産事業者に対しＪＡ・ＪＦグループが実施するつなぎ融資について、国による実質的な保証を措置するなど、事業活動を支援していく。

[中小事業者対策]

- ・東日本大震災復興緊急保証、東日本大震災復興特別貸付を新たに創設し、貸付条件の緩和等を行うとともに、返済猶予を始めとした既往債務の条件変更など被災中小企業の実情に応じた対応を行っていく。
- ・また、工場や商店等の復旧支援として、中小企業等が一体となって進める施設の復旧・整備や、仮設工場・仮設店舗の整備などに確実に対応していく。
- ・経済産業省と福島県の間で基本合意した、警戒区域等から移転を余儀なくされる中小企業等に対する原則無担保で長期の無利子貸付制度について、可及的速やかに具体的な設計を検討する。
- ・政府による避難等の指示があった区域等において営業損害を被った中小企業者に対して、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期す。

[製造業・小売業等への支援]

- ・風評被害対策、工業品等の輸出支援の実施のため、外国政府等に対し適切な情報提供を行い、冷静な対応を要請するとともに、国内の検査体制の充実や検査支援などを確実に実施していく。

[交通・運輸業、観光業等への支援]

- ・交通・運輸業や、観光業など、風評被害の影響を受けやすい事業については、外国政府を始め、国内外の関係機関に対して正確な情報提供を行うとともに、過度に厳しい規制等がある場合には、見直すよう対応していく。また、国内事業者に対して、海外動向に関する情報を適切に提供していく。
 - ・その他、原子力災害により被災した地域における地域金融への支援や、消費者に対する適切な情報提供についても、確実に対応していく。
-

(1) 雇用の確保

- 「日本はひとつ」しごとプロジェクトに基づき、雇用対策を推進する。
- がれき処理などの復旧事業を中心に「地元優先雇用の取組」を進めていくとともに、雇用創出基金事業の活用により、被災地における雇用の場を提供していく。
- 雇用調整助成金や失業手当の特例措置等により、被災地域における雇用の維持や生活の安定を確保していく。
- また、被災学生を含め被災者の新たな就職に向け、関係機関が連携して、被災者の受入れに積極的な企業の発掘及びマッチングなど地元や避難先での就業を支援していく。

<当面の取組>

① 復旧事業等による確実な雇用創出

- ・ がれき処理などの復旧事業を中心に地元優先雇用の取組を進めていくことにより、被災地における就労の場を確保する。
- ・ 実施要件の緩和と基金の積み増しを行った雇用創出基金事業について、都道府県や市町村による直接雇用または、企業やNPO等への委託による雇用により、避難所・仮設住宅での高齢者や子供の見守り、農産物や観光地のPR等で、被災者の雇用機会を創出する。

② 雇用の維持・生活の安定

- ・ 雇用調整助成金について、これまでの支給日数にかかわらず、支給限度日数を最大300日とすることや被保険者期間6か月未満の被保険者も助成対象とするといった特例措置等により、経済上の理由により事業活動が縮小した企業等の雇用維持への取組を支援する。
 - ※1 「警戒区域」及び「計画的避難区域」に指定されたことにより事業活動が縮小した場合は、雇用調整助成金の助成対象とはならないが、当該区域外での事業継続を目指した準備活動を行っている場合は、助成対象となる。
 - ※2 「緊急時避難準備区域」については、緊急時に屋内退避や避難が可能な準備をしておくことが必要な区域であり、当該区域内に所在する事務所であっても、事業活動を継続することができることから、当該区域の指定を受けた後に経済上の理由により、事業活動が縮小した場合は、助成対象となる。
- ・ 避難指示等を受けた地域において休業や一時的な離職を余儀なくされた雇用者に対して、失業手当の給付を行う特例措置を講じ、その給付日数について、現行の個別延長給付(原則60日分)に加え、更に60日分延長し、生活の安定を図る。

③ 新たな就職に向けた支援

- ・『「日本はひとつ」しごと協議会』を中心に、地方公共団体や関係団体が連携して生活支援から効果的な就労支援までを一体的に実施する。また、ハローワークなどによる避難所におけるきめ細かな出張相談を行うとともに、ハローワークの全国ネットワークを活用することにより、被災者対象求人の確保を図り、地元や避難先における就労を支援する。
- ・被災者向けの合同企業説明会を開催するとともに、業界団体や中小企業団体に要請し、被災者の受入れに積極的な企業を発掘していく。
- ・雇入れ助成（被災者雇用開発助成金）などにより、原子力災害による避難者も含め、被災者の雇用を促進する。あわせて、職業転換給付金を活用する等して、地元以外での就職を希望する被災者への支援を行う。
- ・被災学生等のための専用求人の開拓や、新卒者の内定取消の防止、被災学生等を積極的に採用する企業による面接会の開催など、被災学生等への支援の強化を図る。また、未内定者等と中小企業をマッチングするドリームマッチプロジェクトにおいて、被災地域の学生に配慮し選考日や入社日等について柔軟な対応が可能な地元企業の求人情報の検索を行えるようにするなど、被災地域の未内定者等と中小企業のマッチングを支援する。
- ・新卒者就職応援プロジェクト（インターンシップ事業）の参画企業の中で、被災地域の新卒者等を雇用する意欲のある企業を発掘し公表していく。また、同事業において、被災地域の新卒者等の状況に応じて実習参加時間を短くする等、柔軟に対応していく。
- ・関係省庁が連携し、関係機関の協力を得て東日本大震災で被災された学生等への、首都圏で就職活動するための宿泊施設の無償提供を実施する。

(2) 農畜産業・水産業等

- 政府等による農作物の出荷制限や作付制限を余儀なくされている、又は避難区域内等において家畜の安楽死による処分等を余儀なくされている農林水産事業者に対して、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期す。
- また、被災地等の農林水産品について海外の政府機関を始め国内外の関係機関に対して適切な情報提供を行うとともに、過度に厳しい輸入禁止等の措置に関する情報収集・働きかけを行うなど、風評被害対策や農林水産品・食品の輸出促進を確実に実施していく。
- 農林水産物や土壌等への放射性物質による影響について、安全性の観点から早急に検証を行い、技術的な課題についても対応していく。
- また、出荷制限等を受けた農林水産事業者に対しJA・JFグループが実施するつなぎ融資について、国による実質的な保証を措置するなど、事業活動を支援していく。

<当面の取組>

① 出荷制限等の指示による影響と今後の対応

- ・農林水産事業者の損害に対する賠償について、第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針を策定し、政府指示による出荷制限、県の要請等による出荷自粛などにより生じた損害に関する賠償の考え方を明らかにした。
- ・なお、JAグループ等各団体は、多数の農家等を代表して損害賠償を取りまとめており、4月28日、JA茨城県中央会及び栃木県中央会が、東京電力に対し第1回の請求を実施した。
- ・また、5月12日に開催された原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合において、原子力災害被害者に対する緊急支援措置が決定され、その中で第一次指針を踏まえた東京電力から農林漁業者に対する仮払い等の実施が盛り込まれた。

② 風評被害対策及び農林水産物・食品の輸出支援

(国内事業者や消費者への情報発信)

- ・流通業者等に対し科学的・客観的な根拠に基づく冷静な対応を要請した他、消費者や小売業者に対し普段どおりの買い物や商売が行われるよう農林水産大臣からメッセージを発信している。また、消費者団体や地方公共団体、NPO、企業等と連携しつつ、被災地等の農林水産物等の消費促進を応援する取組「食べて応援しよう！」を展開しており、政府広報等の活用も含め、積極的な情報発信を行っていく。
- ・関係地方公共団体から報告された食品中の放射性物質の検査結果について、暫定規制値を超えなかったものも含め、迅速に公表していく。

(外国政府等への情報発信)

- ・日本産農林水産物・食品の安全イメージを回復するため、日本産農林水産物・食品に関する国内の措置結果等を外国政府等に発信している。その他、海外における情報提供として、外務大臣による英字紙への寄稿、在外公館等のホームページによる情報発信（計40ヶ言語）や海外産業界等への説明会を北京、ニューヨーク等の世界の主要都市にて実施している。

(過度に厳しい輸入規制措置に対する情報収集・働きかけ)

- ・各国・地域の在外公館、在京大使館等を通じて、我が国からの農林水産物・食品等の輸出品に対する各国の措置について情報収集を行っている他、我が国が実施した措置や検査結果について説明するとともに、二国間会議やWTO会合等、国際会議等を通じ我が国の農水産品等に対して過度に厳しい輸入規制措置をとることがないように働きかけ・申し入れを実施している。

(海外動向の国内事業者への情報提供)

- ・農林水産省のホームページにおいて、諸外国の規制措置や輸出に際しての留意事項等を随時更新し情報提供を実施するとともに、輸出相談窓口を設置し、都道府県や事業者等からの相談を常時受け付けている。

(諸外国向けの放射性物質の検査の証明書等への対応)

- ・EU等に食品等を輸出する際には、生産日や産地、放射性物質の検査の証明書の添付が必要となったため（EUの場合は3月28日以降）、原則として都道府県において証明書を発行するための体制を整備している。なお、水産物及び酒類は原則として国で証明書を発行している。
- ・放射性物質の検査への対応については、補正予算等により、都道府県及び民間団体による輸出用の放射性物質の検査機器の導入等に対し助成を行う。また、日本産農林水産物・食品の信頼回復や風評被害防止に向けた市場分析等を行う。なお、酒類については国で放射能検査機器を導入し、体制が整備され次第、放射能検査証明書を発行する他、市場分析等を行う。

③ 農林水産物や土壌等への放射性物質による影響と今後の対応

- ・東京電力福島第一原子力発電所の周辺地域における農作業の安全や放射性物質の農作物への移行の減少を図るための取組等について農業現場に周知するため、技術指導を発出（4月18日）するとともに、農家向けのQ&A集を公表した。
- ・家畜については、家畜を計画的避難区域等から区域外へ移動したいという福島県の意向を受けて、検査、除染等の手続きを整理し通知するとともに、移動先のあっせんや専門担当者の派遣等の支援を行っている。また、食品衛生法上の暫定規制値を超えない牛乳や牛肉を生産していく目安として、牛に給与する牧草等の放射性物質の暫定許容値を示したところであり、現在、県が行っている牧草等の検査の結果を踏まえ、事故後に収穫した粗飼料の使用や放牧について

指導を行っている。

- ・ 麦類については、避難（警戒）区域及び計画的避難区域における収穫作業は困難であり、緊急時避難準備区域における収穫作業についても一定の制約を受けると考えられる。また、稲については、4月22日に避難（警戒）区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域における作付を控えるよう指示した。なお、大気中の放射線の量や土壌中の放射性物質の量などからみて必要な地域においては、サンプルを検査し食品衛生法の暫定規制値を超える場合には出荷制限を行うこととし、その検査方法について今後検討する。また、わらの取扱いや暫定規制値を超えた米麦等（残さを含む。）の処理・活用方法等について検討している。
- ・ 放射性物質がきのこ原木に与える影響調査や、周辺地域のきのこ原木のサンプリング調査を実施し、きのこ原木の安全性を検証し、安定供給の方策等を取りまとめていく。
- ・ 水産物については、都道府県と連携し、水産物中の放射性物質のモニタリングを実施してきたところである。さらに、5月2日付けで水産物の放射性物質検査に関する基本方針を策定し、検査対象を広げる等、水産物の放射性物質検査の強化を図っている。また、モニタリング結果や放射性物質の魚への影響等に関するQ&A集をホームページにより情報提供している。

④ 事業活動支援

- ・ 出荷制限等を受けた農林水産事業者に対してJA・JFグループが行っているつなぎ融資について、債務延滞者等であってもより円滑に資金の融通がなされるよう、つなぎ融資について農業・漁業信用基金協会による無担保・無保証人保証の対象とし、国による実質的な保証を措置した。
- ・ 被災食品製造業者・販売業者等に対して、立ち直りを支援するために措置した長期・低利の融資制度を活用して支援を行っていく。

(3) 中小企業対策

- 原子力災害や風評被害により影響を受けた中小企業等への資金繰り対策として、東日本大震災復興緊急保証、東日本大震災復興特別貸付を新たに創設し、貸付条件の緩和等を行うとともに、返済猶予を始めとした既往債務の条件変更など被災中小企業の実情に応じた対応を行っていく。
- 工場や商店等の復旧支援として、中小企業等が一体となって進める施設の復旧・整備や、仮設工場・仮設店舗の整備などに確実に対応していく。
- 経済産業省と福島県の間で基本合意した、警戒区域等から移転を余儀なくされる中小企業等に対する原則無担保で長期の無利子貸付制度について、可及的速やかに具体的な設計を検討する。
- 政府による避難等の指示があった区域等において営業損害を被った中小企業者に対して、適切な賠償が迅速に行われるよう、万全を期していく。

<当面の取組>

(資金繰り支援)

- ・原子力災害や風評被害により影響を受けた中小企業を含め、震災により直接的、間接的に著しい被害を受けた中小企業を対象に、既存の災害関係保証やセーフティネット保証とは別枠の東日本大震災復興緊急保証を創設した。また、日本政策金融公庫等が実施する既存の融資制度についても貸付限度額、金利引き下げなどを大幅に拡充した東日本大震災復興特別貸付（一部、実質無利子化）を創設した。
- ・小規模企業に対して、無担保、無保証で貸付を実施する小規模事業者経営改善資金（マル経）融資について、提出書類の簡素化を実施するとともに、震災の直接又は間接的に被害を受けた一定の小規模企業に対し、貸付限度額、金利引下げ措置を拡充した。
- ・日本政策金融公庫、商工組合中央金庫及び信用保証協会に対して、返済猶予等既往債務の条件変更、貸付手続きの迅速化及び担保徴求の弾力化等について、被災中小企業の実情に応じた対応を要請している。
- ・日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、信用保証協会等において、特別相談窓口を設置し、被災者に対しての相談を行っている。
- ・経済産業省と福島県の間で、警戒区域等に事業所を有し、その移転を余儀なくされる中小企業等に対し、（独）中小企業基盤整備機構を活用して、通常の金融支援措置ではない、原則無担保で長期の無利子貸付を行うことで基本合意した（4月22日）。今後、可及的速やかに具体的な設計を検討していく。

(工場・商店等の復旧支援)

- ・被災地域の中小企業等が一体となって進める復興事業計画を都道府県が認定し、

その計画に不可欠な施設の復旧・整備を国と都道府県が連携して補助する。

- ・(独)中小企業基盤整備機構が、仮設工場・仮設店舗等を整備し、市町村を通じて原則無償で貸し出す。
- ・被災中小企業の要望・課題等に応じた経営相談等に応じるため、相談員や専門家を派遣する。

(中小企業者の損害に対する賠償について)

- ・第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針が策定され、政府による避難等の指示によって生じた営業損害や財産価値の喪失、事業者が負担する検査費用等を対象として、損害の範囲についての基本的な考え方が明らかにされた(4月28日)。
- ・中小企業者に対する東京電力による迅速な損害賠償の実現に向け、政府による避難等の指示があった区域等において中小企業者が被った営業損害について、製造業、サービス業、小売業、建設業など多様な実態が存在することを踏まえつつ、円滑な仮払いの実施に向けた仕組みについて、関係者間で早急に検討を実施する。

(その他)

- ・(ア)下請中小企業との取引の維持・再開や優先的発注、及び(イ)原子力災害に関して科学的・客観的根拠に基づき適切に取引を実施するよう、親事業者(約22,000社)に要請した。

(4) 製造業・小売業等

- 風評被害対策、工業品等の輸出支援の実施のため、外国政府等に対し適切な情報提供を行い、冷静な対応を要請するとともに、国内の検査体制の充実や検査支援など風評被害対策及び工業品等の輸出支援に確実に対応していく。

<当面の取組>

① 風評被害対策及び工業品等の輸出支援

(外国政府等への情報発信)

- ・海外における情報提供として、外務大臣による英字紙への寄稿、在外公館等のホームページによる情報発信(計40ヶ言語)を実施している。
- ・外国政府や企業等に対し我が国の現状や取組を説明し、科学的データに基づいた対応を要請している。また、北京、ニューヨーク等世界の主要都市において、海外産業界に対して(独)日本貿易振興機構の海外事務所と在外公館等が連携しながら原子力事故及び我が国の取組に関し、説明会を実施している。

- ・海外で開催される国際展示会や日本関連行事の開催にあわせて東北ブースを設置する等の販売支援の実施を検討している。

(過度に厳しい輸入規制措置に対する情報収集・働きかけ)

- ・我が国からの工業品や医薬品等の輸出品に対する各国の措置について情報収集を行い、我が国事業者が不利な立場に置かれないよう、外国政府等に対する申し入れ等の働きかけを行っている。

(海外動向の国内事業者への情報提供)

- ・経済産業省、(独)日本貿易振興機構等のホームページにおいて、諸外国の放射線検査等の情報を事業者に対して提供している。また、(独)日本貿易振興機構や(独)日本貿易保険において相談窓口を設置し、個別の事業者からの問い合わせに対応している。

(検査支援)

- ・福島県ハイテクプラザに対する(独)産業技術総合研究所からの放射線測定機器の貸出しや専門家派遣等の支援の他、福島市内における測定等の臨時技術相談窓口開設のための専門家派遣等を実施した。引き続き、福島県の検査体制強化に向けた取組について支援していく。
- ・輸出品に係る放射線量検査を要求される事業者の負担を軽減するため、補正予算により輸出品に係る放射線量検査の検査料を補助する(検査料について、中小企業は10分の9、大企業は2分の1を補助)。
- ・我が国で建造する新造船及び舶用製品への放射線量鑑定の求めがあれば、国が確認書を発行している。

(関係機関・団体との連携)

- ・風評被害による、取引停止、発注の大幅な減少や過度に厳しい取引条件を課すこと等を防止するため、関係の業界団体等に対し要請文を発出した(4月28日)。
- ・(独)日本貿易振興機構では、情報収集、外国政府・企業等に対する説明会の開催、緊急相談窓口の設置、放射線検査を実施する公的機関及び商工会議所での証明書発給サービスの周知等を実施している。
- ・(独)日本貿易保険では、り災中小企業への保険契約諸手続の猶予等の措置、相談窓口の設置、風評被害への対応として貿易保険によってカバーされる損失の事例の周知等を実施している。

② 事業活動支援

- ・工業用水道について、早期の復旧のため補助を行う。
- ・工場立地法の緑地面積規制等の運用について、生産施設の復旧が行われる場合

には弾力的な運用とするよう、福島県を含む関係地方公共団体に通知した。

(5) 交通・運輸業

- 国内事業者に対して、必要な情報提供を行うとともに、正当な理由なく運送の引受を拒絶することのないようタクシー業界に対して指示を出している。
- また、外国政府に対して我が国の港湾・空港の放射線対策及び安全性等にかかる説明等を含め働きかけを実施するとともに、海外動向について国内事業者に適切に情報提供を行っている。

<当面の取組>

(国内事業者や消費者への情報発信)

- ・栃木県、茨城県、千葉県各タクシー協会に対して、正確な情報の把握に努め、正当な理由なく運送の引受を拒絶することのないよう、傘下会員に対して徹底するよう指導した。また、(社)全国乗用自動車連合会に対しても同旨を指導した(3月19日)。

(外国政府等への情報発信)

- ・海外における情報提供として、外務大臣による英字紙への寄稿、在外公館等のホームページによる情報発信(計40ヶ言語)を実施している。
- ・各国・地域に対し、在外公館等を通じて、我が国の港湾・空港の放射線対策及び安全性等にかかる説明等を含め働きかけを実施している。

(海外動向の国内事業者への情報提供)

- ・国際海事機関(IMO)からプレスリリースが発出される都度、その内容を報道発表するとともに海運会社、港湾管理者、在外公館等へ情報提供している。
- ・また、4月22日に「港湾における放射線対策」について公表した。同日、在外公館を通じ、IMO、海外の政府に周知するとともに、在京外交団、在京海外プレス、(社)日本船主協会等へ説明した。

(6) 観光業

- 海外への正確な情報提供を行うとともに、官民一体となった旅行振興キャンペーンを行うなど、関係機関とも連携して、国内外の旅行需要の回復策を引き続き講じていく。
- また、日本に対する行き過ぎた渡航規制等がある場合には、見直すよう働きかけを行っていく。

<当面の取組>

(国内外の観光交流の活性化)

- ・被災地を始めとする日本への旅行自粛の風潮や風評被害に対応し、官民一体となった旅行振興キャンペーン等の国内旅行の活性化策、ビジット・ジャパン事業による海外への正確な情報発信やプロモーション等による旅行需要の回復等を講じており、引き続き、関係機関と連携して対応していく。

(行き過ぎた渡航規制等の措置に対する働きかけ)

- ・ビジット・ジャパン事業 15 重点市場国・地域を中心に、在外公館等を通じて、各国・地域の当局に対し、最新で正確な情報を伝え、行き過ぎた渡航規制があればそれを見直すよう、働きかけを行っている。

(7) その他の対策

<当面の取組>

① 地域金融への支援

- ・国の資本参加を通じて、金融機関の金融仲介機能を強化し、厳しい状況にある地域経済や中小企業を支援する枠組みである、金融機能の強化のための特別措置に関する法律について、適用要件に係る震災の特例を設けるなどの法改正を検討する。金融機関が経営判断として資本増強が適切と判断する際は、同法の活用の積極的な検討を促すことなどを含め、金融面からの地域経済下支えに万全を期す。

② 被災者、被災企業に対する金融面の支援

- ・金融機関に対して、災害の影響を直接、間接に受けている顧客から、返済猶予等の貸付条件の変更等やつなぎ資金の供与等の申込みがあった場合には、中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律の趣旨を踏まえ、できる限りこれに応じるよう努めること等を要請しており、これを受け、金融機関においては、自身も被災している中、こうした考えを当局と共有し、懸命に金融仲介機能の発揮に努めている。

③ 消費者に対する適切な情報提供

- ・食の安全に関しては、野菜や食品等の出荷制限や摂取制限及び出荷制限の一部解除について、消費者に正確な情報をわかりやすく伝達するとともに、消費者に冷静な対応をお願いする消費者担当大臣メッセージを随時発出している。
- ・4月28日から「復興アクション」の一環として、「FUKUSHIMAを正しく理解しよう」プロジェクトを立ち上げ、（ア）東日本を中心に活動する消費者団体と連携したシンポジウム・セミナー等の開催、（イ）食の安全に関する情報をわかりやすく提供するQ&Aの作成、（ウ）食の安全に関する消費者の意識把握などを行っていく。

7. 被災地方公共団体への支援

(取組の概要)

被災した地方公共団体による行政サービスの提供が円滑となるよう、随時、首長等から現状、課題、要望事項を丁寧にかがいがいながら、被災市町村の仮庁舎の建設や情報システムの整備等に加え、国家公務員を被災地方公共団体へ派遣するなど、政府一丸となり支援していく。

原子力災害により役場機能を移転した地方公共団体の支援を行うとともに、避難者を受け入れている地方公共団体への支援についても配慮する。

なお、避難の広域化とともに避難生活も長期化する中、被災した地方公共団体や避難者の受け入れ地方公共団体への支援のあり方を今後検討していく。

(1) 被災地方公共団体の機能回復に向けた取組

- 被災した地方公共団体による行政サービスの提供が円滑となるよう、随時、首長等から現状、課題、要望事項を丁寧にかがいがいながら、被災市町村の仮庁舎の建設や情報システムの整備等に加え、国家公務員を被災地方公共団体へ派遣するなど、政府一丸となり支援していく。

<当面の取組>

- ・福島県及び被災市町村のニーズに対応し、福島県及び被災市町村等に対して 246 名の国家公務員を派遣している。

[参考：福島県内への国家公務員の派遣状況]

総務省 8 名、外務省 2 名、財務省 35 名、文科省 12 名、厚労省 68 名、農水省 4 名、経産省 74 名、国交省 17 名、環境省 1 名、防衛省 1 名、警察庁 22 名、金融庁 2 名

- ・各府省の独自のルートによる派遣に加え、全国知事会・市長会・町村会のシステムなどによる地方公務員の派遣について支援・協力を依頼し、被災地方公共団体のニーズに合う形での人的支援を行っていく。
- ・また、被災市町村の行政機能の応急復旧を図るため、補正予算により、被災市町村の仮庁舎の建設及び情報システムの整備等を支援していく。
- ・「市町村行政機能サポート窓口」において引き続き各種相談に応じていく。
- ・避難した被災者から避難先の市町村に提供された避難者の所在地等の情報を避難元の県や市町村に提供し、避難者への情報提供等を行う「全国避難者情報シ

システム」を構築した。避難者からの情報提供を受付中であり、今後も避難者の所在地の把握に努めていく。

- ・電源立地交付金を原資として既に造成した基金について、当初の目的から変更し、災害復旧・復興に資する事業への活用を可能とした。
- ・また、電源立地交付金の交付対象となっている被災地方公共団体からの申請があれば、通常6月に行うところを4月にも交付を行うこととした。また、申請に際しては、避難先にある被災地方公共団体の臨時役場まで経済産業省の担当者が直接訪問し、交付金事業の相談や交付金事務の支援を行っている。

(2) 役場機能を移転した市町村や避難者の受け入れ地方公共団体への支援

- 原子力災害により役場機能を移転した地方公共団体の支援を行うとともに、避難者を受け入れている地方公共団体への支援についても配慮する。
- なお、避難の広域化とともに避難生活も長期化する中、被災した地方公共団体や避難者の受け入れ地方公共団体への支援のあり方を今後検討していく。

<当面の取組>

- ・原子力災害対策本部、現地対策本部、福島県及び被災市町村との緊密な連絡体制を維持するため、簡易型のテレビ会議が行える環境を整備する。(再掲)
- ・原子力災害により役場機能を移転した8町村に対して、国との連絡体制を強化するためパソコンや複合機等の設置を支援している。引き続き、パソコン等の機器の搬出・設営についても支援していく。
- ・被災地でない都道府県が、被災県からの要請を受けて避難所の設置等の救助を行った場合、被災県を通じて、その費用は国庫負担の対象としている。また、被災県の手続負担を軽減するため、各都道府県からの被災三県(岩手県、宮城県、福島県)への請求手続を厚生労働省にて取りまとめることとしている。
- ・役場機能を移転した町村に居住していた避難者の所在を確認するために、福島県が設置したコールセンターについて、各都道府県に周知するとともに、総務省のホームページ等を活用して幅広く広報している。

8. 被災者・被災事業者等への賠償

(取組の概要)

原子力損害の賠償に関する法律に基づき、被災者への賠償を迅速、公平かつ適切に行う。

原子力損害賠償紛争審査会においては、被害者の迅速・公平・適正な救済の必要性を踏まえ、原子力損害に該当する蓋然性の高いものから、順次、原子力損害の範囲の判定等の指針を策定していく。

「原子力災害被害者に対する緊急支援措置について」の決定（4月15日）を踏まえ、原子力災害対策特別措置法に基く指示に従い避難・屋内退避を余儀なくされた住民に対して、東京電力により仮払補償金の支払いが行われており、5月中にも概ね振り込みを終えることを目標としている。

また、政府の指示により出荷制限等を余儀なくされたり、又は避難指示を受け家畜の安楽死による処分等を余儀なくされた事業者に対し、当面の必要な資金を可及的速やかに支払うこととする「原子力災害被害者に対する緊急支援措置について」が決定された（5月12日）。本決定を受けて、東京電力は、5月末頃までに仮払いの開始を目指すとしている。

「東京電力福島原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する政府の支援の枠組み」について、原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合として決定した（5月13日）。

(1) 原子力損害賠償紛争審査会の定める指針について

- 東京電力が被害者に対し行う賠償が、迅速、公平かつ適切に進められるよう、万全を期す。
- 原子力損害賠償紛争審査会においては、被害者の迅速・公平・適正な救済の必要性を踏まえ、原子力損害に該当する蓋然性の高いものから、順次、原子力損害の範囲の判定等の指針を策定していく。

<当面の取組>

- ・東京電力が被害者に対し行う賠償が、迅速、公平かつ適切に進められるよう、原子力損害賠償紛争審査会の設置に関する政令を閣議決定し、原子力損害賠償

紛争審査会が設置された（4月11日）。

- ・被害者の迅速・公平・適正な救済の必要性を踏まえ、原子力損害に該当する蓋然性の高いものから、順次原子力損害の範囲の判定等の指針を策定していく。
- ・第3回原子力損害賠償紛争審査会において、第一次指針を策定し、政府の指示による避難や農産物の出荷停止などにより生じた損害に関する賠償の考え方を明らかにした（4月28日）。
- ・本指針をホームページに公開するなど、関係省庁及び各都道府県へ伝達した。
- ・第一次指針で対象とされなかった損害項目やその範囲についても検討を進めている。

（2）仮払補償金について

- 「原子力災害被害者に対する緊急支援措置について」の決定（4月15日）を踏まえ、原子力災害対策特別措置法に基く指示に従い避難・屋内退避を余儀なくされた住民に対して、東京電力により仮払補償金の支払いが行われており、5月中にも概ね振り込みを終えることを目標としている。
- また、政府の指示により出荷制限等を余儀なくされたり、又は避難指示を受け家畜の安楽死による処分等を余儀なくされた事業者に対し、当面の必要な資金を可及的速やかに支払うこととする「原子力災害被害者に対する緊急支援措置について」が決定された（5月12日）。本決定を受けて、東京電力は、5月末頃までに仮払いの開始を目指すとしている。

<当面の取組>

- ・原子力発電所事故による経済被害対応本部（注）において「原子力災害被害者に対する緊急支援措置について」を決定した（4月15日）。
（注）原子力発電所事故経済被害対応チームに改組されている。
- ・本決定を受け、東京電力は各市町村の協力を得て請求書の配布や説明会を実施中であり、4月26日から実際の支払いが開始されており、5月中にも仮払補償金の振り込みを概ね終えることを目標に作業を進めている。
- ・5月12日、原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合を開催した。同会合において、政府の指示により出荷停止等を余儀なくされ、又は避難指示を受け家畜の安楽死による処分等を余儀なくされた事業者に対し、当面の必要な資金を可及的速やかに支払うこととする「原子力災害被害者に対する緊急支援措置について」が決定された。
- ・本決定を受け、東京電力は、生産者団体等の協力も得つつ、5月末頃までに仮払いを開始することを目指す旨の発表を行った。

(3) 東京電力福島原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する政府の支援の枠組みについて

- 「東京電力福島原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する政府の支援の枠組み」について、原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合として決定した（5月13日）。

<当面の取組>

- ・5月13日、東京電力福島原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する政府の支援の枠組みについて、原子力発電所事故経済被害対応チーム関係閣僚会合として決定した。
- ・今回決定された枠組みは、(ア)迅速かつ適切な損害賠償の実施、(イ)原子力発電所の安定化及び事故処理に係る事業者等への悪影響の回避、(ウ)国民生活に不可欠な電力の安定供給、の3つを確保するため、原子力損害が発生した場合の損害賠償等の支払い等に対する支援組織（機構）を設け、支援を行うものである。

9. ふるさとへの帰還に向けた取組

(取組の概要)

ふるさとへの帰還を実現するためには、住民の健康及び安全が確保されることが大前提であり、発電所からの放射性物質が管理され、放射線量が大幅に抑えられる状況になることが、不可欠である。

このため、まずは、ロードマップに基づき、安全や環境に及ぼす影響や作業環境に配慮しながらも、一刻も早い事態収束に取り組むことが極めて重要である。

その上で、原子力災害対策本部としては、事故状況の全体像を把握するとともに各区域の解除に向けた検討にいつでも着手できるよう、放射性物質の分布状況等を確実に把握するため、環境モニタリングを強化し的確に実施していく。

また、ふるさとへの帰還に向けた着実な一歩を進めていくため、住民の生活や農業・産業活動の基盤となる土壌等のモニタリング・スクリーニング・除染等や、がれき等の処理について、効果的かつ効率的に行えるよう関係機関が連携して、確実に取り組んでいく。

さらに、原子力災害により被災した地域の活力を再生していく上で取り組むべき課題への対応については、福島県及び関係地方公共団体と緊密に協議しつつ、「東日本大震災復興構想会議」を始めとする関係機関とも連携し、早急に検討を進めていく。

(1) 区域解除の考え方の整理

- 放射性物質の分布状況等を確実に把握するため、環境モニタリングを強化し的確に実施する。
- 発電所からの放射性物質の放出が基本的に管理される状況になると判断される時点で、モニタリング結果を踏まえ、各区域の見直しを検討する。

<当面の取組>

- ・東京電力福島第一原子力発電所周辺を含む適切な範囲での放射性物質の分布状況の把握、今後の各区域（警戒区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域）における線量評価や放射性物質の蓄積状況評価のための準備などに考慮してモニタリングを実施する。

- ・その際には、様々な手法を駆使し、総合的な放射線モニタリングを実施する「環境モニタリング強化計画」に基づき、継続的なモニタリングを行っていく。特に、「放射線量分布マップ」等を策定・公表するとともに、計画的避難区域等を重点的に測定することにより、事故状況の全体像の把握や区域等の解除に向けて活用していく。
- ・区域等の解除に際しては、原子炉及び使用済燃料プールともに確実かつ長期にわたって冷却が可能な機能を確保し、原子炉が冷温停止状態となり、放射性物質の放出が基本的に管理される状況になると判断される時点で、その時点までのモニタリング結果を踏まえ原子力安全委員会の意見も聴いた上で、避難区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域の見直しを検討することとし、今後、解除の考え方について整理・検討を進める。

(2) 土壌等のモニタリング・スクリーニング・除染等

- 住民の生活や農業・産業活動の基盤となる①土壌等のモニタリング・スクリーニングを行うとともに、必要に応じて②土壌の除染・改良について、効果的かつ効率的に行えるよう、関係機関が連携して確実に取り組んでいく。

<当面の取組>

① 農地等の土壌等のモニタリング・スクリーニング

- ・東京電力福島第一原子力発電所周辺の土壌について、3月18日以降、継続してモニタリングを実施している。4月22日以降は、「環境モニタリング強化計画」に基づき、土壌表層中の放射性物質の蓄積状況を把握するため「土壌濃度マップ」を作成する。
- ・農地土壌については、補正予算において、放射線測定装置の調達及び分析のための費用を措置しており、農地土壌における放射性物質の濃度の把握を行う。

② 農地等の土壌等の除染・改良

- ・農地土壌における放射性物質汚染を除去する実践可能な手法について検討し、その成果について、現場への普及に向けた取組を行っていく。

(3) ふるさとの地域活力の再生に向けた検討課題

- 原子力災害により被災した地域の活力を再生していくに当たり、以下に例示するような様々な中長期的な課題への取組が必要とされることから、福島県及び関係地方公共団体と緊密に協議していくとともに、「東日本大震災復興構想会議」を始めとする関係機関とも連携し、早急に検討を進めていく。

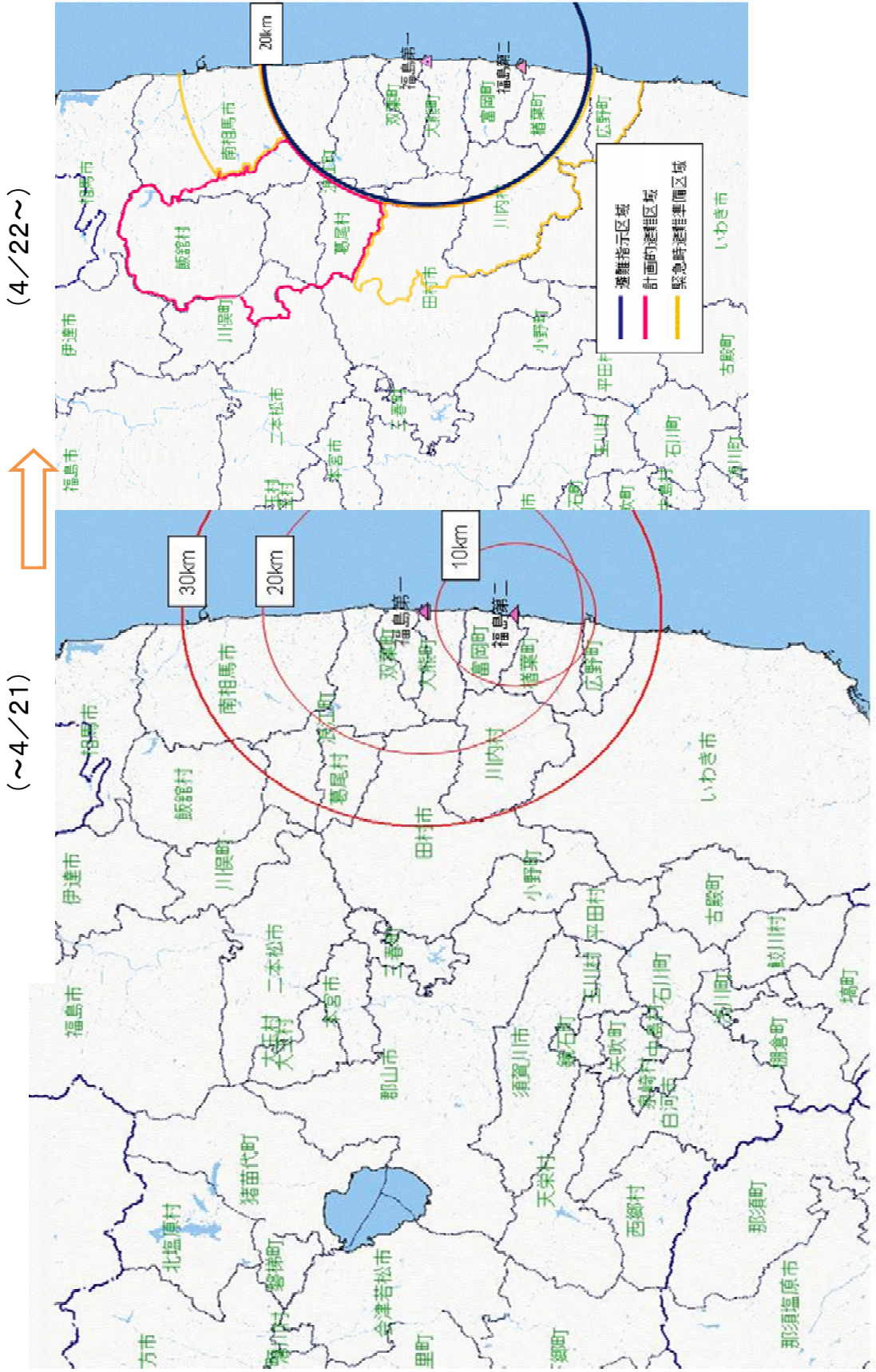
<主な検討課題>

- 国内外における風評被害対策
- 子どもを始め住民の長期的な健康管理
- 放射性物質を帯びた土壌、がれき、下水汚泥等の除去及び最終的な処理
- ふるさとに戻り、農業・産業を継続する事業者等への支援のあり方
- 雇用の確保や新産業の創出を含めた今後の街づくりと、これを実現するための支援のあり方
- 原子力災害により失われた生活基盤の回復、地域活力の再生に向けた継続的な取組を支えていくための国としての支援のあり方
- 原子力災害により被災した地域の復旧・復興のための支援を一元的かつ長期的に推進するための国の体制のあり方

等

以 上

[参考: 計画的避難区域及び緊急時避難準備区域の対象区域]



東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を受けた我が国の具体的な対応策

緊急安全対策等

1. 緊急安全対策

3月30日、福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえ、経済産業大臣は、他の原子力発電所に対する対策として以下の緊急安全対策を電力事業者等に指示し、5月6日、原子力安全・保安院は、その実施状況（女川、福島第一、第二を除く。）が適切であることを確認した（概要については を参照）。なお、これは、今般の地震を踏まえて津波を明確にリスクとして認識し、全交流電源喪失に至った場合でも、炉心損傷など深刻な事態を避けるために必要な対策を実施したものである。

これにより、福島第一原子力発電所事故と同程度の津波に対しても、必要な安全性は確保される。（教訓24、27）

全交流電源等喪失対策 [短期対策]

() 緊急時対応計画の作成・点検

津波による被害想定を考慮した緊急時対応計画を策定し、所要の操作に必要な場所へのアクセスルートを多様化するとともに、ベントや海水注入の手順及び権限を明確にした。（教訓5、10）

() 緊急時の電源確保

所内電源が喪失し、緊急時電源が確保できない場合に、電源車を始めとする必要な電力を機動的に供給する代替電源を確保した。（教訓2、10）

() 緊急時の除熱機能、使用済燃料貯蔵プールの冷却の確保

海水系施設若しくはその機能が喪失した場合、使用済燃料貯蔵プールの冷却若しくはプールへの通常の所内水供給が停止した場合を想定し、消防車、ポンプ車等を始めとする機動的な除熱機能の復旧対策や冷却水を供給する対策を準備した。（教訓3、4）

() 緊急時対応訓練、緊急点検の実施

津波に起因する緊急時対応のための機器、設備の緊急点検を実施した上、津波による全交流電源等喪失対策について訓練を実施し、その手順を確立した。（教訓6、13、15）

建屋への浸水対策 [短期対策]

() 建屋への浸水対策

全交流電源等喪失対策に使用される機器について、津波の影響を及ぼさないよう浸水対策を行った。（教訓1、2、7、8）

冷温停止を迅速化することにより信頼性を向上する措置 [中長期対策]

() 海水ポンプ電動機等の予備品の確保
迅速に冷温停止できるよう本設の残留熱除去系等の復旧に必要な海水ポンプ電動機の予備品や海水ポンプの代替ポンプを確保することを計画した。(教訓3)

() 空冷式非常用発電機等の設置
崩壊熱除去のための熱交換ポンプを稼働する容量を備えた大型の発電機を津波の影響を受けにくい高台等に設置することを計画した。(教訓2、3)

津波に対する防護措置 [中長期対策]

() 海岸部の防潮堤の設置、建屋周りの防潮壁の設置、建屋周りの水密化
緊急安全対策の信頼性の一層の向上のため、防潮堤、防潮壁の整備、建屋周りの水密化等により、原子炉施設の安全上重要な機器に津波の影響を及ぼさないようにすることを計画した。(教訓1、8)

2. 外部電源の信頼性確保に関する指示

4月15日、原子力安全・保安院は、各原子力発電所について、外部電源からの受電による信頼性向上の観点から、各号機と複数の電源線のすべての回線との接続、送電鉄塔(電源線)の強化、開閉所の浸水対策を電力事業者に指示した。(教訓1、2)

3. その他原子力発電所における取組

各原子力発電所においては、地震等を観測する装置等を設置しており、データの記録を行っている。(教訓1)

4. 国、自治体等の取組

・環境モニタリングの強化

環境モニタリングについて、モニタリングカー等により放射線量の測定、公表を実施した。また、福島県においては、環境モニタリング計画を作成、実施している。(教訓17)

・現地と中央等の意思決定機能の徹底

今回の災害対応においては、福島県庁、Jビレッジ等の周辺施設を活用して対応した。また、福島原子力発電所事故対策統合本部(現:政府・東京電力統合対策室。以下「統合本部」という。)原子力被災者支援チーム等において、情報の共有、迅速な支援の実施など課題に応じて柔軟に組織を編成し、対応した。(教訓18)

・対外的なコミュニケーションの強化

国は、被災自治体に幹部を含む関係省庁職員を派遣するとともに、避難所へのニュースレターの配布、地元ラジオの放送等による情報提供、福島事故対応や緊急安全対策について原子力発電所立地自治体等への説明など、地元住民等

とのコミュニケーションの強化に努めてきた。(教訓19)

・各国からの支援等への対応や国際社会とのコミュニケーションの強化

国は、各国からの支援の受入れのため、政府内や支援供与国との連携体制の構築等を図ってきた。また、国際原子力機関（IAEA）への、またIAEAを通じて各国への迅速かつ正確な情報提供に努めるとともに、在京外国公館、外国メディア等への説明を通じ、事故と我が国による対処、及びその影響についての正確な理解を促すよう努めてきた。また、日本の輸出品の外国による輸入規制について、国際社会に対し、科学的根拠に基づく対応を呼びかけている。(教訓20)

・放射性物質放出の影響の的確な把握・予測

国は、SPEEDIの効果的活用の観点から、SPEEDIにより分析を行ったものについて公開を行ってきた。(教訓21)

・原子力災害時の広域避難や放射線防護基準の明確化

国は、考え方を明確に示した上で計画的避難区域や緊急時避難準備区域を設定し、避難を実施した。また、食品の安全基準について暫定規制値を設定するとともに、水道についても摂取制限に係る指標等を設定した。(教訓22)

・安全規制行政体制の強化

国は、原子力災害対策本部の下、統合本部、原子力被災者支援チームなど、情報の共有、迅速な支援の実施などの課題に応じて柔軟に組織を編成し、対応した。(教訓23)

・法体系や基準・指針類の整備・強化

国は、高経年化対策の着実な実施と高経年化プラントの対策実施状況を立入検査で確認・評価をした。(教訓24)

・緊急作業に従事する作業員の健康管理の強化・管理体制の確認

国は、作業員の被ばく線量管理や臨時の健康診断の徹底及び一定の緊急作業に係る作業届の提出による被ばく管理の確認を実施してきた。さらに、被ばく線量等に関するデータベースの構築等により、作業員の長期的な健康管理を行う。(教訓12)

・原子力安全や原子力防災に係る人材の確保

原子力安全規制を担う原子力安全・保安院においては、人材育成プログラムを構築し、研修等を積極的に実施してきた。(教訓25)

追加的緊急安全対策

既に講じた緊急安全対策に加え、福島原子力発電所事故を踏まえ、万が一シ

ピアアクシデントが発生した場合の対応をより迅速なものとする観点から、追加的な緊急対策として以下の事項の実施を6月末までに事業者に求めるとともに、国においても速やかに対策を講ずることとした。

- ・水素爆発防止対策の強化

BWRについて、水素爆発防止を目的とした措置の手順の策定と訓練の実施、ブローアウトパネル開手段確保などの水素放出口の確保を求める。またPWRについて、水素漏洩時の排出のための電源車等によるアニュラス排気設備への電力供給、電源車等によるイグナイター（水素燃焼器）への電力供給の確保などを求める。（教訓9）

- ・事故対応環境の強化

構内PHS通信設備への非常用電源供給の確保、トランシーバーの確保など構内通信手段の確保、可搬式照明装置の確保、非常用電源車による換気空調系設備等による中央制御室の放射線遮蔽機能の維持など事故時の対応環境のインフラ整備を求める。（教訓11）

- ・事故時の放射線被ばくの管理体制の強化

緊急時の作業人数を踏まえ、事故時に個人線量計を十分に確保するように求める。また、事故時に放射線管理の要員を拡充できる体制の整備を求める。（教訓12）

- ・緊急時対応資材の管理

事故時に迅速に復旧を行うため、がれき等処理するための十分な重機の配備を求める。高い線量下での作業を防護するマスク、防護服等を十分確保し、事故対応の時間内に事業者間で融通するなどの手順を明確化することを求める。（教訓15）

- ・対外的なコミュニケーションの強化

国は、本報告書も含め、新たな対策、今後の安全確保、原子力防災の在り方について立地自治体等にきめ細かく説明を行う。（教訓19）

- ・放射性物質放出の影響の的確な把握・予測

国は、事故により放出源情報が十分に得られない場合なども想定したSPEEDIの分析結果の迅速な公表、自治体、住民への説明の手順についてマニュアルの見直しを行う。（教訓21）

更なる安全性向上のための中長期対策

上記の短期的対策に加え、福島第一原子力発電所事故を踏まえた対応をより確実かつ恒久的なものとするための中長期対策として、既に緊急安全対策等で計画済みのものに加え、今後実施までに明らかとなる事実も考慮に入れながら、

以下の項目を新たに行うこととする。

1. シビアアクシデントの防止策の強化

・地震・津波等への対策の強化

今般の地震・津波発生メカニズム分析等を行い、得られた知見を耐震バックチェックに反映させるとともに、現在実施している耐震バックチェックを加速・早期完了させる。また、新耐震指針への適合の法令要求化（バックフィットの導入）について検討し、3年以内の実現を目指す。さらに、今般の事故を踏まえた耐震指針（施設の重要度分類を含む）の見直しの要否や、バックチェックについても、過去の地震、津波の実績や断層調査等を踏まえて地震の想定を行う手法が長期間を要することから、一定の目標水準を予め設定し、耐震、津波対策を行う手法の要否について検討する。また、防波堤の設置等、津波対策の規制への取り入れについても検討する。

さらに、外的事象の一つであるテロ対策についても、近年その重要性が高まる中、今回の事故を踏まえた対策がテロ対策にも資する面があることを踏まえ、さらに万全を期すため、不審者の侵入防止策の徹底等を始め、治安当局等と連携しつつ、より一層の防護措置の強化に向けた必要な対策を事業者に求めていく。（教訓1）

・電源の確保

蓄電池の大容量化や既設バックアップ電源からの充電確保、浸水により機能が全喪失しないよう安全上重要な制御機器や電源盤を上層階・高台に設置するなどの分散配置、開閉所設備の耐震性強化、非常用電源の燃料タンクの耐震性強化、非常用電源確保に必要な燃料油の調達体制の整備など、緊急時の電源確保に必要な対策について事業者に求めていくとともに、所内電源の冷却方式の多様化（例：空冷式と水冷式）の規制要求化について検討する。（教訓2）

・原子炉及び格納容器の確実な冷却機能の確保

取水ピットや大規模淡水タンクの耐震強化など、原子炉及び格納容器への注水の水源確保に必要な対策や、格納容器スプレイング等の機器に対する点検の強化、貯水池や海水ピットへの吸い込み用ポンプ等の設置や電源を要さず原子炉及び蒸気発生器への外部注水を可能とするポンプ・注水設備（例：DG駆動ポンプ、高圧配管等）の整備など、確実な注入手段の確保に必要な対策について事業者に求めていく。また、海水による冷却のための取水ピットの設置、取水ポンプ予備品の配備、取水箇所が多様化、空冷式冷却システム等の開発と整備など、崩壊熱や補機からの廃熱等を除去するためのヒートシンクの確保に必要な対策についても事業者に求めていく。（教訓3）

・使用済燃料プールの確実な冷却機能の確保

使用済燃料貯蔵プールの冷却系配管等の耐震強化、使用済燃料プールの水位計・温度計への非常用電源からの電源供給の確保、使用済燃料プールの冷却ポンプ等の点検の強化、使用済燃料プールの状態監視の強化（ITV等）、ドラ

イキャスク貯蔵の導入など、使用済燃料プールの確実な冷却機能の確保に必要な対策について事業者に求めていくとともに、使用済燃料の保管に関する規制の見直し（例：位置、保管期間）を検討する。（教訓４）

- ・アクシデントマネジメント（AM）対策の徹底

国は、設計要求事項の見直しや、確率的安全評価（PSA）の活用により、発生がまれであるが被害が甚大となるシビアアクシデント発生防止対策を検討し、対象を拡大した上でAM対策の法制化を行う。その際、火災、地震、津波PSAの手法を確立して活用する。（教訓５）

確率論的安全評価（PSA）：外部電源喪失などの起因事象が発生し炉心損傷などに至る確率を計算する手法。PSAを用いて予め設計の弱点を洗い出すことで、事故の発生、拡大防止などに役立てることが可能となる。

- ・複数炉立地における課題への対応

安全確保のために必要な号機間、建屋間の隔離の徹底や、複数号機の立地における工学的独立性の確保（原子炉建屋とタービン建屋の配置等の適切化）など、多数基の同一サイトでの立地における課題への対応に必要な対策について事業者に求めていく。（教訓６）

- ・原子力発電所の配置等の基本設計上の考慮

使用済燃料の保管に関する規制の見直し（例：位置）【再掲】を検討するとともに、原子炉建屋とタービン建屋の配置等の適切化【再掲】などを事業者に求めていく。（教訓７）

- ・重要機器施設の水密性の確保

安全上重要な制御機器の上層階・高台への分散配置【再掲】など、重要機器施設の水密性の確保に必要な対策を事業者に求めていく。（教訓８）

２．シビアアクシデントへの対応策の強化

- ・水素爆発対策の強化

BWRにおける原子炉建屋への可燃性ガス濃度制御系等の設置による水素蓄積防止措置の実施や、福島第一原子力発電所で発生した事象（漏洩経路）の調査を踏まえた建屋内水素検知器の設置や水素を逃がす装置（水素ベント）の原子炉建屋への設置、PWRにおける静的触媒型水素結合装置の格納容器への設置など、水素爆発対策の強化に必要な対策を事業者に求めていく。（教訓９）

- ・格納容器ベントシステムの強化

ベントへのフィルタ等の設置や、ラプチャーディスク設計・作動条件の評価・見直し、ベントのAO弁へのアキュムレータ設置や、事故時を想定したベント排気ラインの独立性（隣接号機への漏洩防止）の強化など、格納容器ベントシステムの強化に必要な対策を事業者に求めていく。（教訓１０）

- ・事故対応環境の強化

通信システムの強化（電源の多様化等）や、緊急時対策室の機能強化（免震・遮へい・必要人員収容能力の確保等）、事務棟の耐震強化など、事故対応環境の強化に向けた対策を事業者に求めていく。（教訓 1 1）

- ・シビアアクシデント対応の訓練の強化

一次冷却材管破断事故等に起因するシビアアクシデント及びその長期化・深刻化を想定した緊急時対応訓練の実施など、シビアアクシデント対応の訓練の強化を事業者に求めていく。

また、近年、重要性が高まっているテロ対応訓練についても、事業者に必要な対策を求めていく。（教訓 1 3）

- ・原子炉及び格納容器の状態把握のための計装系の強化

シビアアクシデント時にも十分機能する圧力容器及び格納容器の計装系、並びに使用済燃料プールの計装系の開発及び整備など、状態把握のための計装系の強化を事業者に求めていく。（教訓 1 4）

- ・緊急時対応資機材とレスキュー部隊の整備

事業者に対し、ロボットや無人ヘリ等も含めた緊急時対応資機材の集中管理体制の整備や、これを運用する高度な災害対応能力を有するレスキュー部隊の整備、関係機関との連携強化を求めていく。（教訓 1 5）

3．原子力防災対応の強化

- ・現地と中央等の意思決定機能の徹底

現地の原子力災害対策本部がハード面及びソフト面で十分に機能を発揮できるよう、国は、オフサイトセンターの通信・施設の機能強化や業務マニュアルの見直し、さらには代替センター（バックアップオフサイトセンター）の整備を図るとともに、原子力発電所内の前線基地（オンサイト）の整備として、今般の福島原子力第一発電所事故後における「ビレッジ」や、小名浜コールセンター等に相当する機能を確保する。また、災害時に用いるテレビ会議システムについて、官邸や原子力安全・保安院等の政府関係機関間において繋がっているが、すべての電力事業者も含め連結させることを検討する。さらに、関係法令の見直し等を行うことで、現地、中央、オンサイト、オフサイトそれぞれについてより迅速な対応を行うことが可能となる法整備等を検討する。（教訓 1 8）

- ・原子力防災訓練の充実・強化

国は、今般の福島原子力第一発電所事故への対応で見られた課題等を踏まえ、災害対応の手順の明確化や周知等を始めとして、総合防災訓練の充実・強化に向けた検討を行う。（教訓 1 8）

- ・自然災害と原子力事故との複合事態への対応

国は、個別の災害対策にとどまらず複合的災害への対応の在り方について、

関係省庁の即応体制や指揮命令のあり方の見直しも含め、府省横断的に検討を進め、中央防災会議等で検討を行うとともに、地方自治体に対し防災計画への反映を求めていく。(教訓16)

- ・環境モニタリングの強化

環境モニタリングを確実にかつ計画的に実施する体制を構築するため、国は、緊急時におけるオンサイト及びオフサイトのモニタリングデータの収集及び公開を迅速に行う手順の策定、無人空中モニタリングの充実、広域拡散評価の導入など、環境モニタリング強化のための対策を行う。(教訓17)

- ・対外的なコミュニケーションの強化

周辺住民等に対する避難等の指示の連絡や国民への情報公表等を強化する観点から、国は、地方自治体の防災計画の見直しや緊急時計画区域(EPZ)の拡大を検討するとともに、事故状況の評価や事故対応の進捗等に関する情報提供(リスクコミュニケーション)のあり方を見直す。(教訓19)

- ・各国からの支援等への対応や国際社会への情報提供の強化

国は、海外各国からの資機材等の支援受入等について、政府内及び支援供与国との連携体制を確認・強化する。また、国際社会への情報提供については、関連する国際的枠組みの改善、及び、科学的根拠に基づく対応を可能にする一層迅速で正確な情報提供を行うことを含め、各国・国際機関・外国メディア等への情報共有の在り方を見直す。(教訓20)

- ・放射性物質放出の影響の的確な把握・予測

国は、ERSSの強化(放射性物質放出の影響に関するデータ入手のためのシステム強化)、SPEEDIの毎正時の単位放出の図面等の迅速な公表手順、体制等の確立、及び広域拡散評価の導入を行う。(教訓21)

- ・原子力災害時の広域避難や放射線防護基準の明確化

国は、放射線防護に係る緊急時計画区域(EPZ)の見直し、食品、原子力災害時における成人も子どもも含めた一般公衆に対する被ばく等に関連する基準の策定を行う。(教訓22)

4. 安全確保の基盤の強化

- ・安全規制・防災体制の強化

国は、原子力安全規制に係る責任体制の明確化等を図るため、原子力安全・保安院を経済産業省から独立させ、原子力安全委員会や各省も含めて原子力安全規制行政や環境モニタリングの実施体制の見直しの検討に着手する。

また、緊急時の対応において明確な責任の所在の下に迅速な対応を行うため、プラントの緊急時対応、住民の避難・安全の確保、被災者支援、環境モニタリング、放射線防護(食品の出荷制限、食品・水道水の摂取制限)、医療支援などの防災業務について、原子力施設に関するテロ対策のあり方も含め、政府組織

内の役割分担、責任体制の明確化、組織の見直し、必要な資機材の整備拡充等を行う。(教訓23)

・法体系や基準・指針類の整備・強化

国は、事故の原因から得られた知見を取り入れた原子力安全や原子力防災の法体系・基準等の見直しとともに、既に許認可済みの施設に対し新法令等を適用するいわゆるバックフィットの法制化を検討する。また、今回の事故の解析に基づいて高経年化による劣化事象(圧力容器の脆化、疲労、熱時効、ケーブル絶縁劣化等)が設備の損傷や機能低下に影響していないことの詳細な評価や、炉型の違いと事故要因との関係の検証、原子炉設計の技術進歩を踏まえた既設炉の信頼性向上のための設計の評価・改善(定期安全レビューの活用等)を行う。(教訓24)

・原子力安全や原子力防災に係る人材の確保

原子力安全・防災に係る人材の十分な確保を図るため、国は事業者とともに、原子力専門人材ネットワークの構築のための教育機関との連携強化を図りながら、規制機関及び専門機関における人材育成の強化、官民交流等も含めた専門人材の積極的登用、オンサイト対応とオフサイト対応における専門人材のあり方の関係の整理等を行う。(教訓25)

・安全系の独立性と多様性の確保による安全規制要求の在り方

国は、非常用発電機や海水冷却系(取水)等の安全系の設置場所、冷却方式の独立性と多様性(津波等のハザードを考慮した分散配置、空冷方式と海水冷却方式の採用等)の確保の観点から、安全規制要求の在り方について検討する。(教訓26)

・リスク管理における確率論的安全評価制度(P S A)の効果的利用

国は、P S Aを活用した安全向上対策の実現のため、原子力発電所の設計要求事項の見直し、火災、地震や津波に関するP S Aの導入促進、シビアアクシデントマネジメント対策の法制化等を検討する。(教訓27)

5. 安全文化の徹底

・安全文化の徹底

原子力に携わる全ての者が安全文化を備え、不断の原子力安全の向上を図るため、国及び事業者は、組織の安全目標の設定、個人と組織における安全文化の醸成活動の推進・評価・改善、教育機関との連携強化、規制機関の人材育成等に取り組む。(教訓28)